Ⅰ　国民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信

1-(1) 有形文化財の収集・保管、次代への継承

1-(1)-①　有形文化財の収集等

1-(1)-①-1　所蔵品一覧表

（単位：件）　令和6年3月31日現在

	国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館		
	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文
合計	150,277	135	1,012	121,021	89	650	9,011	29	200	1,953	13	114	18,292	4	48
絵画	14,136	35	219	11,207	21	105	2,469	9	60	309	4	44	151	1	10
書跡	3,745	37	175	1,930	14	60	1,491	17	78	153	5	29	171	1	8
彫刻	1,722	1	50	1,114	0	24	363	0	3	160	1	16	85	0	7
建築	87	0	2	30	0	0	49	0	1	5	0	0	3	0	1
金工	17,568	3	61	16,450	1	17	686	2	31	171	0	11	261	0	2
刀剣	3,584	21	59	3,468	19	58				16	0	0	100	2	1
陶磁	4,552	0	22	2,970	0	13	1,373	0	3	81	0	0	128	0	6
漆工	4,808	6	32	3,974	4	20	546	0	3	110	2	5	178	0	4
染織	5,363	2	30	3,994	0	21	995	1	8	98	1	1	276	0	0
考古	30,764	5	78	28,651	5	55	705	0	11	749	0	8	659	0	4
民族資料	2,618	0	0	1,284	0	0	0	0	0	101	0	0	1,233	0	0
歴史資料	21,631	0	12	6,250	0	5	334	0	2	0	0	0	15,047	0	5
和書	17,560	0	2	17,560	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
写真資料	2,794	0	2	2,794	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋 絵画	747	4	31	747	4	31									
東洋 書跡	1,737	10	13	1,737	10	13									
東洋 彫刻	824	0	20	824	0	20									
東洋 金工	1,041	0	0	1,041	0	0									
東洋 陶磁	3,119	0	11	3,119	0	11									
東洋 漆工	529	0	4	529	0	4									
東洋 染織	618	0	1	618	0	1									
東洋 考古	5,990	0	2	5,990	0	2									
東洋 民族	3,595	0	0	3,595	0	0									
法隆寺献納宝物	326	11	184	326	11	184									
黒田記念館収蔵品	819	0	2	819	0	2									
準歴史資料(含和書)	0	0	0	0	0	0									

＊東京国立博物館は、列品管理規程による「東洋関係の列品」あり
　京都国立博物館・奈良国立博物館・九州国立博物館は、東洋の作品も「日本」に含む
＊列品管理規程改正により、新たに「写真資料」が追加され、東京国立博物館の列品「その他」は「写真資料」に変更した。
＊列品に編入されていない資料については、「準歴史資料(含和書)」の項目にしるし、列品化整理中の資料と分けて表示している。
＊東京国立博物館、京都国立博物館では、国宝・重要文化財の数は文化庁の指定件数に合わせている。
＊九州国立博物館の所蔵品件数のカウント方法が、4年度まで一部他館と異なっていたため、5年度資料から表記を改めた。

1-(1)-①-1（参考）
【奈良文化財研究所】

○保管及び所蔵文化財・資料概要（主なもの）

令和6年3月31日現在

保管及び所蔵文化財・資料名	数
［文化遺産部］	
国宝・重要文化財建造物保存図	約30,400枚
国宝・重要文化財建造物摺拓本	約26,000枚
国宝・重要文化財建造物写真乾板	約32,200枚
北浦定政関係資料（重要文化財）	約1,100点
棚田嘉十郎関係資料	26点
関野貞関係資料	54点
菅原大三郎関係資料	7箱
中村泰寄贈文書	一式
森薀資料	約4,500点
村岡正資料	約3,000点
小林剛関係資料	約38箱
牛川喜幸関係資料	2,927点
塚原家寄贈資料(歴史資料)	3箱
岡嶋家寄贈 大極殿標木建設等資料	1箱
溝辺家寄贈 大極殿標木	2本(4片)
川辺富子寄贈資料	一括

［都城発掘調査部（平城地区）］	数
平城宮跡出土木簡（国宝）	3,184点
興福寺旧境内土壙（一乗院宸殿跡下層）出土品（重要文化財）	一括
平城宮・京出土土器・土製品	31,541箱
平城宮・京出土木製品・金属製品・石製品	36,548箱
平城宮・京出土瓦類	1,005,936箱
平城宮・京出土木簡	253,247点
塚原家寄贈資料(考古資料)	7箱
長屋王家木簡附平城京跡左京三条二坊出土木簡（重要文化財）	1,809点

［都城発掘調査部(飛鳥・藤原地区)］	数
軒丸瓦・軒平瓦	37,139点
丸瓦・平瓦　　土嚢袋	約167,867袋
丸瓦・平瓦　　整理箱	41,926箱
土器　　整理箱	17,100箱
土製品	15,165点
木器・木製品	34,387点
木簡	35,323点
建築部材	約3,000点
金属製品	20,047点
石器・石製品	15,014点
漏刻復原模型	1点
幢幡復原模型（台付き）	一式
飛鳥大仏頭部複製（模刻）	1点
藤ノ木古墳鞍復原模型	1点
富本銭枝銭復原模型	一式
碁盤復原模型	1点
鉄釜鋳造土坑復原模型	1点
〔平城宮跡資料館〕	
木簡レプリカ	一式
第1回大日本帆走飛行競技大会メダル	1個

［飛鳥資料館］	数
高松塚古墳出土品(海獣葡萄鏡 銀製太刀金具 棺金具 ガラス小玉漆塗り木棺)(重要文化財)	一式
須弥山石	1点
石人像	1点
飛鳥寺塔跡出土舎利荘厳具	一式
飛鳥寺出土瓦類	一式
山田寺跡出土品（重要文化財）	一括
和田廃寺鴟尾（都城発掘調査部（飛鳥・藤原地区所属）	1点
川原寺出土水波紋土磚	2点
岡出土車石	8点
飛鳥各地出土瓦類	一式
川原寺裏山出土三尊磚仏	2点
飛鳥川原宮出土唐居敷	1点
高松塚古墳壁画模写（前田青邨、平山郁夫等）	3面
高松塚古墳人物復元衣装	一式
石上神宮七枝刀レプリカ	1点
水落遺跡遺構1/20模型	1点
猿石模刻	一式
亀石模刻	1点
須弥山石復元模刻	1点
石人像復元模刻	1点
出水酒船石模刻	2点
阿武山古墳出土　玉枕　冠帽　復元模型	3点
川原寺伽藍1/50模型	1点
山田寺金堂復原	1点
飛鳥京復原模型	1点
山田寺発掘遺構1/100模型	1点
石舞台古墳1/20模型	1点
飛鳥寺発掘遺構1/100模型	1点
石のカラト古墳1/20模型	1点
野中寺銅造弥勒菩薩半伽像レプリカ	1点
銅造摩耶夫人及天人像レプリカ	4点
威奈大村骨蔵器レプリカ	1点
長谷寺法華説相図レプリカ	1点
諸陵周垣成就記並諸陵図譜	1点
鼓銅図録	1点
高松塚古墳木棺模造	1点
八釣マキト５号古墳石室	1点
十二支拓本（表装済み・収納箱あり）	一式
キトラ古墳模型	1点
山東省済南市解放橋北唐墓石棺　青龍・白虎・小口面拓本	各1点
近藤千尋関連資料	一式

保管及び所蔵文化財・資料名	数
武人復原	1点
山田寺灯籠復原	1点
具注歴木簡レプリカ	1点
天皇木簡レプリカ	1点
壬申の乱ジオラマ	一式
牽牛子塚古墳ミニジオラマ	1点
キトラ古墳出土品金銅製鐶座金具レプリカ	2点
キトラ古墳出土品銀鐶付六花形飾金具レプリカ	2点
キトラ古墳出土品大刀・銀製鞘尻金具レプリカ	2点
キトラ古墳出土品大刀・銀装把レプリカ	1点
キトラ古墳出土品鉄地銀張金象嵌帯執金具レプリカ	3点
キトラ古墳出土品琥珀玉レプリカ	4点
キトラ古墳出土品金銅製鐶座金具復元品	10点
キトラ古墳出土品銅釘復元品	一括
キトラ古墳出土品銀鐶付六花形飾金具復元品	10点
キトラ古墳出土品円環棺金具復元品	10点
飛鳥池遺跡出土施釉陶器復元品	3点
鍛冶工房風景想定復元図	1点
銅造観音菩薩立像（夢違観音）複製品	1体
隅田八幡宮人物画像鏡複製品	1点
山田寺仏頭複製品	1点
金銅小野毛人墓誌複製品	1点
筑前国嶋郡川辺里大宝２年戸籍残簡複製品	2点
人頭石（光永寺）複製品	1点
鍔淵寺銅造観音菩薩立像複製品	1点
重要文化財圀勝寺銅壺鋳造模型（下道圀依母婦人骨蔵器）	1点
四十八体仏如来坐像複製	1点
丙寅年銘菩薩半跏像複製品	1具
於美阿志神社石塔婆のうち供養具	一括
牽牛子塚古墳出土品	一括
マルコ山古墳出土品	一式
高松塚古墳壁画漆喰印刷複製	一式
飛鳥池遺跡出土施釉陶器復元品	3点一式
飛鳥池遺跡出土木簡複製品	13点
暗文土師器復原制作品（脇田宗孝氏制作）	5点
一町長法寺押出仏複製品	1点
飛鳥寺塔跡出土　蛇行状鉄器複製品	1点
飛鳥寺塔跡出土　馬鈴複製品	1点
扶桑略記　巻二十一～二十八	7冊
高松塚古墳石室　原寸模型	1台
高松塚古墳石室　1/20模型	1台
藤原宮跡木簡複製品	4点一括
飛鳥池遺跡木簡複製品	5点一括
二面石（橘寺　模刻）	1点
呉文字ヘラ書き丸瓦	1点
特別史跡山田寺跡出土「銅板五尊像」　原寸鋳造	1点
特別史跡山田寺跡出土「銅板五尊像」　拡大樹脂製（４倍）	1点
国宝「高松塚古墳壁画」コロタイプ印刷複製品	一式
天武天皇・持統天皇御陵図、崇峻天皇御陵図、懿徳天皇御陵図、元正天皇御陵図	各1点

［埋蔵文化センター］	数
埼玉県真福寺貝塚資料	一式
岡山県福田貝塚資料	一式
埼玉県上福岡貝塚資料	一式
神奈川県田戸遺跡資料	一式
神奈川県子母口貝塚	一式
神奈川県大口坂貝塚資料	一式
能登縄文資料（15遺跡）	一式
千葉県曽谷貝塚資料	一式
長野県石小屋遺跡資料	一式
山形県蜂沢洞窟資料	一式
東京都小豆沢貝塚資料	一式
茨城県広畑貝塚資料	一式
中国・朝鮮瓦磚資料	一式
岡山地方陶棺資料	一式
下総国分寺・尼寺資料	一式
関東地方加曽利B式資料	一式
岩手県足沢遺跡資料	一式
茨城県浮島貝塚資料	一式
千葉県幸田貝塚資料	一式
滋賀県安土遺跡資料	一式
岡山県黒土遺跡資料	一式
神奈川県保土ヶ谷貝塚資料	一式
千葉県姥山貝塚資料	一式
宮城県川下り・響き資料	一式
大木囲貝塚	一式
東貝塚	一式
室浜貝塚	一式
福浦島貝塚	一式
里浜貝塚	一式
東北縄文晩期末資料	一式
東北各地発見縄文資料	一式
北海道資料	一式
発見地不詳縄文資料	一式
発見地不詳須恵器資料	一式
発見地不詳石器・石斧資料	一式
愛知県西滋賀貝塚資料	一式
愛知県吉胡貝塚資料	一式
茨城県前浦遺跡資料	一式
関東地方埴輪資料	一式
静岡県登呂遺跡資料	一式
発見地不詳須恵器資料	一式
発見地不詳石器・石斧資料	一式
愛知県西滋賀貝塚資料	一式
茨城県前浦遺跡資料	一式
関東地方埴輪資料	一式
現生動物標本	一式
年輪年代学用木材標本	一式

収蔵品件数合計（過去5か年）

（単位：件）　令和6年3月31日現在

		令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文
収蔵品合計	国立博物館 計	161,827 (145,174)	359	2,349	162,276 (145,623)	362	2,409	162,603 (145,950)	365	2,417	163,753 (147,100)	365	2,424	170,600	371	2,427
	東京国立博物館	123,099	145	928	123,228	147	948	123,368	147	952	124,124	147	953	124,356	144	953
	京都国立博物館	14,740	122	867	14,796	122	878	14,940	124	879	15,217	123	882	15,656	124	880
	奈良国立博物館	3,936	65	439	3,958	66	442	3,927	66	442	3,925	67	444	3,931	67	444
	九州国立博物館	20,052 (3,399)	27	115	20,295 (3,642)	27	141	20,368 (3,715)	28	144	20,487 (3,834)	28	145	20,486	28	147
	皇居三の丸尚蔵館	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6,171	8	3
所蔵品	国立博物館 計	147,844 (131,191)	135	1,002	148,086 (131,433)	135	1,006	148,424 (131,771)	135	1,006	149,519 (132,866)	135	1,009	150,277	135	1,012
	東京国立博物館	119,871	89	646	119,942	89	648	120,073	89	648	120,812	89	649	121,021	89	650
	京都国立博物館	8,130	29	200	8,150	29	200	8,279	29	200	8,526	29	200	9,011	29	200
	奈良国立博物館	1,911	13	114	1,929	13	114	1,930	13	114	1,947	13	114	1,953	13	114
	九州国立博物館	17,932 (1,279)	4	42	18,065 (1,412)	4	44	18,142 (1,489)	4	44	18,234 (1,581)	4	46	18,292	4	48
	皇居三の丸尚蔵館	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	0	0
寄託品	国立博物館 計	12,299	193	1,178	12,409	196	1,201	12,427	198	1,203	12,506	198	1,203	12,428	197	1,201
	東京国立博物館	2,591	52	245	2,651	54	262	2,651	54	262	2,668	54	260	2,675	52	260
	京都国立博物館	6,520	88	615	6,547	88	618	6,562	90	619	6,587	89	619	6,541	90	617
	奈良国立博物館	1,974	52	306	1,988	53	309	1,956	53	309	1,937	54	311	1,937	54	311
	九州国立博物館	1,214	1	12	1,223	1	12	1,258	1	13	1,314	1	13	1,275	1	13
	皇居三の丸尚蔵館	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	0	0
長期借用品	国立博物館 計	1,684	31	169	1,782	31	202	1,752	32	208	1,728	32	212	7,895	39	214
	東京国立博物館	637	4	37	635	4	38	644	4	42	644	4	44	660	3	43
	京都国立博物館	90	5	52	99	5	60	99	5	60	104	5	63	104	5	63
	奈良国立博物館	51	0	19	41	0	19	41	0	19	41	0	19	41	0	19
	九州国立博物館	906	22	61	1,007	22	85	968	23	87	939	23	86	919	23	86
	皇居三の丸尚蔵館	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6,171	8	3

＊九州国立博物館の所蔵品件数のカウント方法が、4年度まで一部他館と異なっていたため、5年度資料から表記を改めた。九州国立博物館所蔵品件数の欄の上段には修正後の数値を、下段の丸括弧内には修正前の数値を記載している。

＊九州国立博物館寄託品件数について、開館直後から生じていた件数の誤計算があったため、5年度において修正し、元年度から4年度の欄に修正後の数値を記載している。

＊5年度より長期借用品件数を追加した。（機構施設間での借用品については従来どおり所蔵施設の所蔵品件数として取り扱う。）

1-(1)-①-3 令和5年度新収品一覧表

（単位：件）　令和6年3月31日現在

		国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館			皇居三の丸尚蔵館		
		購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入
合計		787			209			485			6			87			0		
計		52	674	61	26	122	61	16	469	0	1	5	0	9	78	0	0	0	0
絵画		7	113	0	3	4	0	4	108	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
書跡		1	21	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0
彫刻		2	212	1	0	0	1	0	211	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0
建築		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金工		1	79	5	0	0	5	1	75	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
刀剣		2	0	0	1	0	0			0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
陶磁		8	3	0	0	0	0	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漆工		2	3	5	0	0	5	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
染織		2	85	20	0	62	20	0	23	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
考古		3	16	24	0	2	24	0	6	0	0	2	0	3	6	0	0	0	0
民族資料		0	50	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0
歴史資料		2	38	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0
和書		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
写真資料		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋	絵画	11	17	0	11	17	0												
	書跡	0	1	0	0	1	0												
	彫刻	8	0	0	8	0	0												
	金工	0	0	0	0	0	0												
	陶磁	0	28	0	0	28	0												
	漆工	0	0	0	0	0	0												
	染織	3	0	0	3	0	0												
	考古	0	7	0	0	7	0												
	民族	0	0	5	0	0	5												
法隆寺献納宝物		0	0	0	0	0	0												
黒田記念館収蔵品		0	1	0	0	1	0												

＊東京国立博物館は、列品管理規程による「東洋関係の列品」あり
＊列品管理規程改正により、新たに「写真資料」が追加され、東京国立博物館の列品「その他」は「写真資料」に変更した。

付表・文化財収集件数の推移

5年間の新収品一覧表

（単位：件）

		令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入
合計		980			242			338			1,097			787		
小計		87	125	768	69	155	18	41	254	43	56	436	605	52	674	61
絵画		31	9	0	7	8	0	6	104	1	5	122	0	7	113	0
書跡		2	8	0	3	59	0	2	11	0	1	111	0	1	21	0
彫刻		1	0	0	1	18	0	1	3	0	3	2	0	2	212	1
建築		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0
金工		3	12	0	6	1	0	3	9	0	3	4	19	1	79	5
刀剣		0	1	0	2	9	0	0	0	2	0	31	1	2	0	0
陶磁		1	11	0	4	2	0	1	13	4	2	1	2	8	3	0
漆工		1	8	0	5	1	0	1	6	5	6	6	6	2	3	5
染織		3	7	0	7	5	0	8	2	22	4	127	6	2	85	20
考古		34	10	0	30	31	0	11	41	1	29	12	0	3	16	24
民族資料		0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	19	0	50	1
歴史資料		3	50	0	3	1	0	2	0	0	3	2	2	2	38	0
和書		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
写真資料		0	0	767	0	0	16	0	0	0	0	0	511	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋	絵画	3	1	0	0	0	0	5	4	0	0	1	0	11	17	0
	書跡	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	7	0	0	1	0
	彫刻	4	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	8	0	0
	金工	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	陶磁	0	1	0	0	0	0	0	30	2	0	2	0	0	28	0
	漆工	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	染織	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	2	1	3	0	0
	考古	0	4	0	0	3	0	0	27	0	0	1	1	0	7	0
	民族	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0	3	28	0	0	5
法隆寺献納宝物		0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
黒田記念館収蔵品		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0

1-(1)-①-4 令和5年度新収品一覧
【東京国立博物館】（計209件）

（１）購入（26件）

＜絵画＞（3件）

1　名称	高雄曼荼羅図像（たかおまんだらずぞう）	品　　質	紙本墨画
作 者 等		員　　数	2帖
時　　代	鎌倉時代・13世紀	寸 法 等	金剛界 縦32.0cm 横28.5cm ； 胎蔵界 縦31.7cm 横28.5cm
作品概要	神護寺に現存する国宝「両界曼荼羅図」通称「高雄曼荼羅」の各尊像を白描で写し、尊像のおおよその形に切り抜いた本紙を台紙に貼り付け、列帖装としたもの。明治2年（1869）に開版された御室版高雄曼荼羅（『大正新修大蔵経』図像部第一巻所収）の底本として知られる。金剛界（全92丁）と胎蔵界（全188丁）の二帖から成る。図像の有無によって「ウ」「ム」と記された添付紙があり、金剛界は148図、胎蔵界は232図を数える（一頁に複数の図像が添付される場合も一図として数えられており、実際はもう少し多い）。一部の本紙には墨をはじいた痕跡が確認でき、平安・鎌倉時代の密教図像に見られる油紙の使用が窺える。また、胎蔵界「ウ二百十七」の上方にはいっそう古様な添付紙があり、本作品の原本の添付紙が貼られた可能性がある。なお、後見返しには天保12年（1841）、高山寺の慧友による修理銘が記される。 高雄曼荼羅は経年の劣化により、尊像の見えにくい部分も見られるが、本作品はそのような部分も良く写されており、高雄曼荼羅に描かれた尊像を復元、考察する上で非常に有用である。また、同じく高雄曼荼羅を写した鎌倉時代の図像には、長谷寺と醍醐寺に伝来した作例が現存する。同一図像を比較すると長谷寺本の方が図像の細部まで写すものも見られるが、醍醐寺本は金剛界の一部しか残されていない。さらに、高雄曼荼羅の図像が写された経緯を記す奥書が残されているのは本作品のみである。		

2　名称	源氏物語図屏風（若菜上） （げんじものがたりずびょうぶ（わかなじょう））	品　　質	紙本着色
作 者 等	伝土佐光則（1583～1638）筆	員　　数	6曲1隻
時　　代	江戸時代・17世紀	寸 法 等	本紙 縦154.0cm ； 横362.0cm
作品概要	屏風装。『源氏物語』第34帖「若菜上」を主題とする屏風。桜の咲く光源氏の六条院の庭で柏木らが蹴鞠に興じる中、飛び出した唐猫が御簾を巻き上げる。そこにいた源氏の正妻・女三宮の姿を見た柏木が恋に落ちるという場面を、屏風一隻に大きく描く。第6扇裏面の記述により、もとはもう一隻が存在していたと考えられる。		

3　名称	観音変相図（かんのんへんそうず）	品　　質	紙本墨画淡彩
作 者 等	雪舟等楊（款）	員　　数	1面
時　　代	室町時代～江戸時代・15～17世紀	寸 法 等	本紙 縦104.0cm 横45.0cm
作品概要	額装（もと掛幅装）。『観音経（法華経普門品）』に説かれる情景（黒風が吹いて船を羅刹鬼国に陥らせても、観音の名を唱えれば救済されるという場面）と三面六臂の観音図像を一図に収めた作。同様の主題を描く画幅が模本や縮図も含め複数あり、元は三十三観音図として制作されたうちの一図ないしその写しと思われる。墨画を主体としながらも、衣文や装飾などには適宜金泥を施している。落款に記される「雪舟六十七歳」は文明18年（1486）にあたり、西国の守護大名で雪舟を庇護した大内氏の観音懺法仏事に用いられたものとも想定されている。中国・明時代の洪武28年（1395）に開版された『出相観音経』の図様にほぼ一致し、雪舟による仏画制作のプロセスを探るうえでも貴重である。		

＜刀剣＞（1件）

4　名称	［重要文化財］太刀　銘 備前国長船住左衛門尉藤原朝臣則光於作州鷹取庄黒坂造 鷹取勘解由左衛門尉菅原朝臣泰佐打ス之 長禄参年己卯十二月十三日 （たち　めい　びぜんのくにおさふねじゅうさえもんのじょうふじわらのあそんのりみつ　さくしゅうたかとりのしょうくろさかにおいてつくる　たかとりかげゆうさえもんのじょうすがわらのあそんたいすけこれをうたす　ちょうろくさんねんつちのとうじゅうにがつじゅうさんにち）	品　　質	鉄製鍛造
作 者 等	則光	員　　数	1口
時　　代	長禄3年（1459）	寸 法 等	刃長68.1cm　反り1.9cm
作品概要	鎬造、庵棟。刃長、身幅とも尋常で、先反りつき、中鋒。表裏に棒樋と添樋を掻き、梵字と護摩箸を彫る。地鉄は精美な板目で、地沸つき、淡く映りが立つ。刃文は互の目に丁子を交えて華やかで、匂口深く小沸づいて冴える。刃中に足、葉しきりに入り、金筋かかり、変化に富む。茎は生ぶで鑢目は勝手下がり、先は栗尻、目釘穴二つ。表裏に長銘を切る。 本品は「注文打」ともいわれる特注品である。銘文の内容から、美作国鷹取庄黒坂（現岡山県勝田郡勝央町黒坂）一帯を所領とした武士とみられる鷹取泰佐が、長禄３年（1459）に備前長船刀工の則光を招いて製作させたものであることがわかる。		

＜東洋絵画＞（11件）

5　名称	光背化仏図（こうはいけぶつず）	品　　質	土壁彩色
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	6～8世紀	寸 法 等	高33.3cm 幅21.4cm
作品概要	如来像の光背の一部である。画面の左側には如来像の衣の端と光背の線の一部を、そして右側には化仏2尊を描く。化仏は頭の後ろに頭光を表わし、両手は印を結び、両足は蓮の花の上に坐す。着衣の形式は通肩である。化仏が坐る蓮の花の下には左右両側にそれぞれ茎とつぼみを描く。2本の茎は化仏の左右を囲むように上に伸び、化仏の上で結び目を作る。本作品は仏教寺院の壁面に描かれていたと考えられる。		

6　名称	女子供養者図（じょしくようしゃず）	品　　質	土壁彩色
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	8～9世紀	寸 法 等	高19.0cm 幅21.7cm
作品概要	女子供養者図の一部である。女子供養者が両手で柄香炉を持つ。柄香炉から煙が立ち上る。女子供養者は長い髪を内側に丸めて肩の上にまとめ、頭部の左側に髪飾り、右耳に珠をつなげたイヤリングをつける。大袖のゆったりした内衣を着て、肩に大きな連珠円文を表わした肩掛けを羽織る。女子供養者も柄香炉も墨線だけで描く。女子供養者の上方にはベンガラ色の線で開蓮華文を描く。本作品は仏教寺院の壁面に描かれていたと考えられる。		

7　名称	蓮池図（れんちず）	品　　質	土壁彩色
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	7～9世紀	寸 法 等	高10.6cm 幅20.1cm
作品概要	蓮池図の一部である。画面の上方には欄干、中央には上半身裸形の童子と蓮のつぼみ、そして右下には蓮のつぼみの中で化生を待つ童子を描く。欄干に囲まれた宝池の中で化生した童子と思われる。本作品は仏教寺院の壁面に描かれていたと考えられる。		

8　名称	天人舞踊図（てんにんぶようず）	品　　質	土壁彩色
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	6～8世紀	寸 法 等	高17cm 幅14.2cm
作品概要	天人舞踊図の一部である。天人は上半身裸形で、天衣を翻して踊る。天人は頭には宝冠を戴、右上腕に腕釧、首に長い瓔珞を掛ける。本作品は仏教寺院の壁面に描かれていたと考えられる。		

9　名称	酒宴図（しゅえんず）	品　　質	土壁彩色
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	6～8世紀	寸 法 等	高34cm 幅23cm
作品概要	胡人の酒宴図の一部である。画面の中央には胡人が胡坐し、その周りに唐風の服装をした仕女3人が給仕するさまを描く。胡人は頭髪が巻髪で、その上に帽子を被り、腰にベルトを締め、短剣をつける。右手で仕女1人を抱きかかえている。胡人に向かって右側後ろには、双髻の若い女性が正面を向き、右側下方には女性が水瓶を持って立つ。本作品は仏教寺院の壁面に描かれていたと考えられる。		

10　名称	蓮池図（れんちず）	品　　質	土壁彩色
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	6～8世紀	寸 法 等	高27.7cm 幅32.8cm
作品概要	蓮池図の一部である。画面の上方と下方には欄干、中央に童子、童女、女性をそれぞれ描く。童子と童女はいずれも裸形である。女性は水着のような服を着ている。欄干に囲まれた宝池と思われる。本作品は仏教寺院の壁面に描かれていたと考えられる。		

11　名称	菩薩図（ぼさつず）	品　　質	土壁彩色
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	6～8世紀	寸 法 等	高13.6cm 幅26.1cm
作品概要	菩薩2尊を描く。いずれの菩薩も頭の後ろに光背を表わす。菩薩の頭部から下は欠損する。本作品は仏教寺院の壁面に描かれていたと考えられる。		

12　名称	千仏図（せんぶつず）	品　　質	土壁彩色
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	6～7世紀	寸 法 等	高36.2cm 幅22.1cm
作品概要	千仏図の一部である。画面は方形が6面に区画され、その中にそれぞれ通肩定印の坐仏を描く。本作品は仏教寺院の壁面に描かれていたと考えられる。		

13　名称	排簫奏者図（はいしょうそうしゃず）	品　　質	土壁彩色
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	6～8世紀	寸 法 等	高29.2cm 幅23.7cm
作品概要	胡人が排簫を吹く姿を描く。胡人は胡服に身を包み、ベルトで腰を締め、短剣を付ける。ベンガラで輪郭線を描く。本作品は仏教寺院の壁面に描かれていたと考えられる。		

14　名称	菩薩・毘那夜迦図（ぼさつ・びなやかず）	品　　質	土壁彩色
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	6～8世紀	寸 法 等	高24.1cm 幅30.1cm
作品概要	画面中央には菩薩1尊、左側に菩薩１尊、右側に毘那夜迦1尊をそれぞれ描く。中央の菩薩は、頭や身体の後ろにそれぞれ光背を表わす。頭の上に三面宝冠を戴く。坐勢は交脚坐である。右の毘那夜迦は猪頭四臂で法螺貝を持つ。身体の背後に光背を表わす。坐勢は交脚坐である。左の菩薩は頭部をうっすらと確認するものの、そのほかは剥落が著しい。本作品は仏教寺院の壁面に描かれていたと考えられる。		

15　名称	光背化仏図（こうはいけぶつず）	品　　質	土壁彩色
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	6～8世紀	寸 法 等	高28.8cm 幅19.0cm
作品概要	如来像の光背の一部である。画面の左側には如来像の衣の端と光背の線の一部を、そして右側には化仏2尊を描く。化仏は頭の後ろに頭光を表わし、両手は印を結び、両足は蓮の花の上に坐す。着衣の形式は通肩である。葉文の中に、定印の坐仏を描く。坐仏は、仏立像が描かれていたと思われる左方に顔を向けて坐している。坐仏の法衣はベンガラ、頭部は黒色に塗られている。本作品は仏教寺院の壁面に描かれていたと考えられる		

＜東洋彫刻＞（8件）

16　名称	菩薩像頭部（ぼさつぞうとうぶ）	品　　質	塑造彩色
作 者 等		員　　数	1個
時　　代	3～4世紀	寸 法 等	高21.6cm 幅18.5cm 奥行14.0cm
作品概要	小さく巻いた黒い髪を束ねて髻にし、赤い玉をつないだ飾りで結ぶ。頭頂には孔が穿たれている。顔は白く、唇は赤く塗られている。眉の線を弧状に引き、髭を細く描く。耳朶に耳璫を付ける。本作品は仏教寺院に設けられた仏龕に安置されていたと考えられる。		

17　名称	菩薩像頭部（ぼさつぞうとうぶ）	品　　質	塑造彩色
作 者 等		員　　数	1個
時　　代	唐時代・7～10世紀	寸 法 等	高15.2cm 幅10.7cm 奥行11.4cm
作品概要	頭髪は生え際を表すが、束ねた髻はすでに欠失している。その箇所に木芯が見える。髪の生え際には黒の彩色が残る。顔の表面の彩色はほぼ失われているが、両目の瞳には黒色、唇には赤色が残る。本作品は石窟寺院の洞窟内に設けられた仏龕に安置されていたと考えられる。		

18　名称	乾闥婆像頭部（けんだつばぞうとうぶ）	品　　質	塑造彩色
作 者 等		員　　数	1個
時　　代	唐時代・7～10世紀	寸 法 等	高41.4cm 幅29.2cm 奥行3.6cm
作品概要	乾闥婆が被っていた獅子兜は上部を欠損するも、その両側は兜の形状を残している。大きく見開いた眼には、当時、象嵌が施されていたと見える孔が残っている。鼻は大きく鷲鼻で、口角を引き、顎に髭を蓄える。本作品は石窟寺院の洞窟内に設けられた仏龕に安置されていたと考えられる。		

19　名称	仏坐像（ぶつざぞう）	品　　質	塑造彩色
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	北魏時代・4～6世紀	寸 法 等	高41.4cm 幅29.2cm 奥行3.6cm
作品概要	頭の後ろに頭光、身体の後ろに身光をそれぞれ表わす。頭光はほぼ円形で、黄色を塗り、墨線で描き起こす。身光は三重の楕円形で、内側を白色、中を橙色、そして外側を赤褐色に塗る。着衣は通肩である。両手は腹の前で印を結び、両足は方形台座の上に坐す。本作品は石窟寺院の洞窟内の壁面に貼り付けられていたと考えられる。		

20　名称	仏坐像（ぶつざぞう）	品　　質	塑造彩色
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	北魏時代・4～6世紀	寸 法 等	高22.9cm 幅18.1cm 奥行3.0cm
作品概要	頭の後ろに頭光、身体の後ろに身光をそれぞれ表わす。頭光はほぼ円形で、黄色を塗り、墨線で描き起こす。身光は三重の楕円形である。着衣は通肩である。両手は腹の前で印を結び、両足は方形台座の上に坐す。本作品は石窟寺院の洞窟内の壁面に貼り付けられていたと考えられる。		

21　名称	文官立像（ぶんかんりゅうぞう）	品　　質	土製彩色
作 者 等		員　　数	1軀
時　　代	唐時代・8世紀	寸 法 等	高28.4cm 幅7.5cm 奥行3.8cm
作品概要	頭に黒い帽子を被り、白い中国式の文官の服を着る。ベルトで腰を締める。両手は前に組み、左胸の上に載せる。顔は白く塗り、両眉、両目、口髭を墨線で、唇を朱線で描く。		

22　名称	仏立像（ぶつりゅうぞう）	品　　質	ストゥッコ、彩色
作 者 等		員　　数	1軀
時　　代	6～7世紀	寸 法 等	高16.9cm 幅7.7cm 総高3.0cm
作品概要	頭の後ろに頭光を表わし、右手を挙げて、左手を下げて、蓮の花の上に立つ。着衣の形式は通肩である。仏の背後を黒色、頭光を褐色、衣を緑色に塗る。本作品は仏教寺院に設けられた仏龕の壁面に貼り付けられていたと考えられる。		

23　名称	ストゥッコ及びテラコッタ製出土資料 （すとぅっこおよびてらこったせいしゅつどしりょう）	品　　質	
作 者 等		員　　数	1件（71個）
時　　代	6～7世紀	寸 法 等	
作品概要	ストゥッコ製断片資料26個、テラコッタ製・陶製断片資料43個、壁画断片資料2個の計71個からなる。		

＜東洋染織＞（3件）

24　名称	幾何学文様更紗（インド更紗） （きかがくもんようさらさ（いんどさらさ））	品　　質	木綿、手描き媒染・蝋防染
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	18世紀	寸 法 等	長さ320cm 幅227cm
作品概要	白の木綿地に手描き技法を駆使し、媒染と蝋防染を用いて染め上げた更紗。中央を大きく八角形に区切り、内部には花文を配した菱繋ぎ文を、外側には花文と山形文を連ねた幾何学文様をあらわす。両端は点文の中に花文を散らした鋸歯文とする。本作はスマトラ南東部のランプン伝世とされ、中央を菱形や円で区切った長さ約300cm、幅200cm前後の類例は同地域からも見つかっている。しかし、左右対称に染めた幅100cm前後の裂を、2枚はぎ合せることを意図された作品が多く、織幅227cmもの作品は非常に貴重である。本作はスマトラ島現地にて、儀礼用布として用いられたと考えられる。また、このような文様構成は、ドドットと呼ばれるインドネシアの王族の正装用腰巻に通じており、インド、インドネシア間の染織文化の交流を示唆する点でも重要な作品である。		

25　名称	銅版捺染　人物文様キルティングベッドカバー（ヨーロッパ更紗）（どうばんなっせん　じんぶつもんようきるてぃんぐべっどかばー（よーろっぱさらさ））	品　　質	平織（木綿）、銅版捺染、刺子
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	19世紀	寸 法 等	長さ266cm 幅201cm
作品概要	表面に人物文様更紗、裏面に幾何花文更紗を配し、中綿を入れキルティングしたフランス製のベッドカバーである。両面はいずれも19世紀初頭より行われたエッチングにより、化学染料で直接捺染した裂と考えられる。2種類の裂のはぎ合せで表面が構成されており、コの字形に「時は過ぎ去るが、友情は過ぎ去らない」「感謝は美徳に通ず」といった寓意画を、中央部にはハインリヒ・マルシュナー作曲のオペラ「吸血鬼」より、ルースペン伯爵が吸血鬼と暴かれ地獄に落ちる最終幕などを染めた裂を配す。		

26　名称	木版捺染　花文様キルティングベッドカバー（ヨーロッパ更紗）（もくはんなっせん　はなもんようきるてぃんぐべっどかばー（よーろっぱさらさ））	品　　質	平織（木綿）、木版捺染、刺子
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	18世紀後半～19世紀	寸 法 等	長さ283cm 幅275.5cm
作品概要	表面に白地に可憐な花文様を染めた更紗、裏面には藍地に小花文をあらわした更紗を配し、中綿を入れキルティングした、フランス製のベッドカバーである。表面は同文様を染めた裂を、3枚はぎ合せとする。銅版捺染が開始された19世紀以降も、フランスでは木版を用いた製作を行っていた。本作も同型の文様が繰り返されるものの、一部ズレが認められることから、使用する色数ごとに製作した木版を用いて、直接捺染したものと考えられる。		

（２）寄贈（122件）

＜絵画＞(4件)

1　名称	松芝不老図（しょうしふろうず）	品　　質	紙本墨画淡彩
作 者 等	富岡鉄斎（1836～1924）筆	員　　数	1幅
時　　代	明治～大正時代・19～20世紀	寸 法 等	136.5cm×32.2cm
作品概要	掛幅装、牙軸。君子の象徴とされる松に竹、蘭に、長寿の象徴とされる寿石、霊芝をとりあわせる。贈答品として東アジアの文人画家に広く好まれた主題であり、鉄斎も同様の主題を多く制作している。		

2　名称	春景山水図（しゅんけいさんすいず）	品　　質	紙本墨画淡彩
作 者 等	池大雅（1723～76）筆	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代・18世紀	寸 法 等	130.6cm×33.0cm
作品概要	掛幅装。柳の揺れる春の風景を描く。江戸時代、手本として大いに活用された『八種画譜』からの学習が指摘されている。左上には王維の七言絶句の後半二句（「ひっそりと寂しげに散る花、山に響く鳥の声、青々とした柳、川を渡りゆく人」を詠んだ句）を書している。		

3　名称	西湖図（せいこず）	品　　質	紙本墨画淡彩
作 者 等	池大雅（1723～76）筆	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代・18世紀	寸 法 等	94.3cm×19.5cm
作品概要	掛幅装。中国浙江省杭州市の西にある湖、西湖の春景を淡い色彩で描いた作品。画面下部から上部へと蛇行するようなモチーフの配置は、田能村竹田など江戸後期以降の文人画家が使用する構図とみえる。		

4　名称	幽谿帰驢図（ゆうけいきろず）	品　　質	紙本墨画淡彩
作 者 等	青木木米（1767～1833）筆	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代・文政12年（1829）	寸 法 等	96.1cm×27.5cm
作品概要	掛幅装。文政12年（1829）11月、木米63歳の作品。山間の水辺にかかる橋を驢馬に乗った人物が歩みゆく様子を描く。遠山には潤いのある墨や代赭を、岩には擦れた墨の筆致も組み合わせている。画面左上の款記から「停雲楼」で酒を飲みながら「別所君」の求めに応じて制作したものとわかる。「別所君」は『平安人物志』に登場する画家で、呉春や岡本豊彦に学んだ別所東渓（金五郎）と推定されている。		

＜染織＞(62件)

5　名称	振袖　青縮緬地花園風景模様（ふりそで　あおちりめんじはなぞのふうけいもよう）	品　　質	縮緬（絹）、友禅染、刺繍
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	身丈158.0cm 裄63.5cm
作品概要	大正期に流行したアルペン模様と称される異国風景模様である。モダンで華やかな友禅染だが、菊花紋の五つ紋が入り、結婚前の若い女性が礼装用として用いた振袖である。明治期頃より用いられ始めたシボの強い壁縮緬地に、液描友禅と称する色糊で直接油彩画のようなタッチで描く技法を用いて、印象派の絵画のように彩りの美しい花園の風景を褄から裾にかけて染める。青い地色は空をイメージし、両胸あたりに紫がかった雲が浮かび、木陰を生み出す木々が描かれ、左身頃に描かれる花園を仕切る壁の向こうには秘密の花園があるかのようである。共八掛にも表地と同じ模様が描かれ、胴裏には鮮やかな赤色の平絹を用いる。		

6　名称	振袖　象牙色縮緬地四季草花模様（ふりそで　ぞうげいろちりめんじしきくさばなもよう）	品　　質	縮緬（絹）、友禅染、刺繍、金箔
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	身丈171.0cm 裄65.6cm
作品概要	縮緬地に華やかな模様を施し、五つ紋には三つ葉葵紋を白抜き・上絵で施していることから、徳川家ゆかりの若い女性が礼装用に用いた振袖であろう。近代的な液描の技法も交えた友禅染で、伝統的な松に藤がかかる模様を立木で表わし、その周囲に蕨、桃、蒲公英、桜草、菊、鶏頭、紅葉などの四季草花をアール・デコ調にデザインする。さらに金銀の箔糸や、近代的な素材であるラメ箔糸、メタルヤーン、ビーズなどを用いて刺繍を加え、きらめきを添える。共八掛で、胴裏は白平絹である。5ｃｍほど内上げした跡がみられる。		

7　名称	振袖　赤紫色縮緬地観桜遊楽模様（ふりそで　あかむらさきいろちりめんじかんおうゆうらくもよう）	品　　質	縮緬（絹）、友禅染、金箔
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	身丈155.8cm 裄62.5cm
作品概要	シボの強い壁縮緬を振袖に仕立て、五つ紋には橘紋を白上げ・上絵で施した若い女性の礼装用の振袖である。友禅染で多くの女性が花見を楽しむ姿が、屏風を立て、琴を弾いたり、舞を舞ったり、春草を摘んだり、禿を連れた花魁だったりなど、江戸時代後期の風俗で描かれる。また、ところどころに金の箔糸や絹糸で刺繍が加えられる。共八掛で仕立てられ、胴裏には赤い平絹が用いられる。		

8　名称	振袖　赤縮緬地四季草花模様（ふりそで　あかちりめんじしきくさばなもよう）	品　　質	縮緬（絹）、友禅染、刺繍
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	身丈164.8cm 裄65.0cm
作品概要	近代以降に好まれたシボの強い壁縮緬で仕立てられた振袖で、五つ紋には、橘紋の繻紋が銀糸の菅繻で施されることから、若い女性の礼装用に用いられたのであろう。豪華な藤の花房、牡丹、菊、梅などを描絵友禅で染め、さらに金銀の箔糸や、大正～昭和初期に好まれたラメ箔糸、釜糸などを用いて駒留や刺し繍などの刺繍を加える。さらに、編刺繍など新しい技法を取り入れ、虹色に輝く樹脂をその中に埋め込むなど、最新の素材を用いた斬新な加飾技法が活かされた振袖である。共八掛がつき、胴裏には白平絹がつく。		

9　名称	振袖　黒金通し縮緬地流水に百花模様（ふりそで　くろきんどおしちりめんじりゅうすいにひゃっかもよう）	品　　質	縮緬（絹）、友禅染、刺繍
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	身丈173.0cm 裄64.5cm
作品概要	全面に金の箔糸を織入れた豪華な縮緬地を振袖に仕立て、五つ紋には、橘紋を白上げ・上絵で施した若い女性の礼装用の振袖である。友禅染で流水に浮かぶ梅、木蓮、桜、藤、牡丹、燕子花、百合、菊、竜胆など四季折々の花模様を全身に染め、金の箔糸のほか、近代以降に特徴的なラメ箔糸なども用い、刺繍を加える。共八掛がつき、裏地には赤の平絹を用いる。4.5cmほどの内上げがある。		

10　名称	単衣振袖　黒絽地杉木立鳩模様（ひとえふりそで　くろろじすぎこだちはともよう）	品　　質	絽（絹）、絞り、刺繍
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	身丈167.8cm 裄63.0cm
作品概要	五越絽に絞りや刺繍で模様をあらわした単衣、つまり夏の衣装である。五つ紋が入るはずだったが、結局用いることなく白く染め抜かれたままになっている。本来は、若い女性の礼装用に調製されたのであろう。夜の闇を思わせるファンタジックな模様だが、緑、黄、茶、白の鹿の子絞りで染め、その間を飛び交う鳩は、鮮やかな化学染料で染めたブルーとピンク、白い絹糸で刺繍する。化学染料の鮮やかな色使いが歓迎されていた時代の感覚を今に伝える。暗がりの杉木立の中に、立体感のある鳩の刺繍が浮かび上がる。元来、釜糸を用いる和刺繍は鳥の羽根を表現するのに適していた。その他、金の箔糸を複雑に絡み合わせた刺繍など、モダンな刺繍技法が取り入れられる。鳩模様は江戸時代には見られることのない模様だが、近代以降、欧米では平和の象徴とされていたことから、日本においても、戦時とともに用いられるようになったとされる。		

11　名称	中振袖　象牙色縮緬地扇面雲模様（ちゅうぶりそで　ぞうげいろちりめんじせんめんくももよう）	品　　質	縮緬（絹）、友禅染、刺繍、金箔
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	身丈152.0cm 裄63.5cm
作品概要	縮緬地を振袖に仕立て、背中央に木瓜紋の一つ紋を緑撚糸の相良繍で入れた若い女性の正装用の衣装である。全身に金泥を入れた源氏雲紋を散らし、友禅染で染めた扇模様を散らす。扇には、松、椿、橘、桐鳳凰、南天、御所車など吉祥模様をあらわしたみやびやかなデザインで、１つとして同じ模様がなく丁寧な仕事が施されている。また、源氏雲の内部には、金銀の泥を用いて、鹿の子絞り風の模様や草花の模様が施される。また、扇の紐の一部は、リアルな房をつけ、あるいは紐と房を紅白の絹糸で刺繍する。八掛には表地と同系色の縮緬が用いられ、胴裏には赤い平絹が用いられる。		

12　名称	中振袖　萌黄縮緬地四季耕作模様（ちゅうぶりそで　もえぎちりめんじしきこうさくもよう）	品　　質	縮緬（絹）、友禅染
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	身丈153.0cm 裄62.0cm
作品概要	縮緬地に裾模様をあらわした中振袖で、五つ紋には影紋に白上げにした桔梗紋が施される。色留袖に準じる、若い女性の正装用に用いられたのであろう。田植えや脱穀など、四季耕作の図を描絵友禅で丁寧に染める。八掛には表地と同系色の縮緬が用いられ、胴裏には赤い平絹が用いられる。2cmほどの内上げがある。		

13　名称	中振袖　黄縮緬地向日葵月見草模様（ちゅうぶりそで　きちりめんじひまわりつきみそうもよう）	品　　質	縮緬（絹）、友禅染、刺繍
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	身丈165.5cm 裄63.5cm
作品概要	鮮やかな黄色に染めた縮緬に友禅染で立木模様さながらの背高の向日葵と、愛らしい月見草を染めた少女向けの訪問着である。空の黄色、雲の水色、向日葵の紫、倒錯した配色のコントラストがシュールで斬新なデザインである。月見草が伝統的な糸目糊に色挿しの友禅染なのとは対照的に、向日葵は大胆なタッチで昭和初期に出回った液描きの技法で描く。絹糸、平金糸やラメ箔などの刺繍が加わることで格を上げているが、特に向日葵の花の中央部分の相良繍は見事な繍技である。独特の近代的な友禅染と刺繍の技法、モダンな構図は、大正～昭和期に東京で活躍した呉服商「大彦」の作風を思わせる。2cmほどの内上げが見られる。		

14　名称	中振袖　黒縮緬地モダン花散模様（ちゅうぶりそで　くろちりめんじもだんはなちらしもよう）	品　　質	縮緬（絹）、ろうけつ染、銀摺箔
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	身丈159.0cm 裄63.0cm
作品概要	成人向けよりも少し長めの中振袖に仕立てた少女向けである。近代以降に好まれたシボの強い壁縮緬を黒地に染め、浮かび上がるような鮮やかな色彩で、マーガレット、チューリップ、向日葵、木、星に、ブレスレットやバッグなどのお出かけアイテムを加えて、ポップなデザインでろうけつ染にする。一部に銀箔による装飾がみられる。八掛には海老茶色の羽二重が用いられ、胴裏は白平絹である。3cmほどの内上げがある。		

15　名称	中振袖　染分縮緬地更紗模様（ちゅうぶりそで　そめわけちりめんじさらさもよう）	品　　質	縮緬（絹）、友禅染、刺繍
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	身丈160.0cm 裄61.5cm
作品概要	シボの強い縮緬地を複雑に染め分けながら、パッチワーク風に更紗模様を表わした若い女性向けである。大正期から昭和初期に行われた液描友禅を用いながら、江戸時代に日本にもたらされた「扇手」や「ゴマ手」と称されるインド更紗の模様や、愛らしい草花の模様を、ところどころに刺繍で彩る。相良繍のほか、ラメ箔、片撚糸などを用いて独創的な刺繍が点点と用いられており、表情を豊かにする。更紗は江戸時代を通して非常に人気の高い染め模様であったことから、近代以降も着物や帯の模様に好まれたが、華やかな模様が展開された大正から昭和初期にかけては、このようなモダンな更紗模様が生まれていた。裏地には紅縮緬を用いる。モダンな友禅染と独特の刺繍技法からは、大正～昭和期に東京で活躍した呉服商「大彦」の作風を思わせる。		

16　名称	中振袖　藤色縮緬地苧環猫模様（ちゅうぶりそで　ふじいろちりめんじおだまきねこもよう）	品　　質	縮緬（絹）、友禅染、刺繍、切付
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和時代・20世紀	寸 法 等	身丈158.5cm 裄60.0cm
作品概要	橘紋の1つ紋がある、若い女性が正装用とした中振袖である。縮緬地にカラフルな苧環と手鞠の模様を友禅染で染めるが、特に糸を色糊による細い糊糸目で全身に施した技術が優れている。また、黒猫が一匹左前身頃に表わされるが、黒い天鵞絨を黒猫の形にかたどり、切付（アップリケ）とし、猫の毛並みの質感を表現している。猫の首輪には赤い鹿の子絞りの裂を縫い付けている。共八掛で胴裏には赤い平絹が用いられる。		

17　名称	黒留袖　黒縮緬地波鯉模様（くろとめそで　くろちりめんじなみこいもよう）	品　　質	縮緬（絹）、友禅染、刺繍
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	身丈149.8cm 裄62.5cm
作品概要	黒縮緬地に波に鯉の模様を友禅染で表わし、五つ紋には、陰紋の五三桐紋を白上げにする。白羽二重の重ねがつくことから、既婚女性が礼装に用いる黒留袖であろう。ラメ箔糸や金銀の箔糸による刺繍が加えられる。色糊を用いた独特の友禅染と刺繍を取り合わせたデザインは、大正～昭和期に東京で活躍した呉服商・大彦の様式である。特に鯉のデザインは、令和4年度に大彦の遺族から寄贈を受けた「色留袖小豆色縮緬地波の丸魚の丸模様」（I-4552）に酷似し、おそらくこの黒留袖も大彦染であろう。共八掛で胴裏には白平絹が用いられ、袖裏には赤い平絹が用いられる。2.5cmほどの内上げが見られる。		

18　名称	色留袖　葡萄色縮緬地饗宴模様（いろとめそで　えびいろちりめんじきょうえんもよう）	品　　質	縮緬（絹）、友禅染、刺繍
作 者 等	野口眞造（大彦）作	員　　数	1領
時　　代	昭和時代・20世紀	寸 法 等	裄164.0cm 裄66.0cm
作品概要	シボの強い縮緬地にモダンな裾模様をあらわした色留袖で、比翼仕立で仕立てられる。五つ紋には、花菱入り木瓜紋が白上げ、上絵で施される。裾の模様は液描も交えた洋風のアーチ型や天蓋を表わし、石畳の床がある宮殿の室内で、イタリア、ルネッサンス調の衣装をまとった笛を吹く少年や象にまたがる少年、着飾った女性などが友禅染で表わされる。それに加え、金の箔糸による刺繍が加えられる。また、右衿の端に「大彦染」の方印の白上げがある。『大彦野口眞造染繍美術衣裳第2集』78番に、同様の模様を染めた黒留袖が掲載されることから、同じ大彦染で地色を替えた色留袖の代表作である。		

19　名称	紋付着物　黒縮緬地百鬼夜行模様（もんつききもの　くろちりめんじひゃっきやこうもよう）	品　　質	縮緬（絹）、友禅染
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	身丈165.0cm 裄67.0cm
作品概要	シボの強い壁縮緬地に腰から下に模様をあらわし、三つ紋には四つ目結紋を白上げにした既婚女性の正装用の着物である。百鬼夜行図を大胆に友禅染で表わし、ユーモラスな表情を持つ妖怪の表現が個性的な衣装である。八掛にもおどろおどろしい雲のような染模様が施され、胴裏には紅平絹が用いられる。3cmほとの内上げがある。		

20　名称	紋付着物　藤色織紋縮緬地田植模様（もんつききもの　ふじいろおりもんちりめんじたうえもよう）	品　　質	紋縮緬（絹）、友禅染、金銀泥
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	身丈156.5cm 裄63.0cm
作品概要	笹模様の地紋を織り出した紋縮緬に描絵友禅で裾模様をあらわした袷仕立の着物である。背に陰紋で八つ剣紋を白上げ、上絵で表わした紋付の着物である。裾模様は薊が咲き、燕が飛び交う初夏の景に田植えをする笠をかぶった女性の姿を表わす。また、模様には金銀の泥を用いてきらめきを添える。八掛には同系色の縮緬を用い、胴裏には白平絹を用いる。		

21　名称	紋付着物　紫ろうけつ縮緬地花模様（もんつききもの　むらさきろうけつちりめんじはなもよう）	品　　質	縮緬（絹）、ろうけつ染、友禅染、刺繍
作 者 等	皆川月華作	員　　数	1領
時　　代	昭和時代・20世紀	寸 法 等	身丈148cm 裄63.0cm
作品概要	縮緬地にろうけつ染でひび割れのような独特の模様を地模様に染め、上紋に胡蝶蘭やグラジオラスといった洋花をろうけつ染で華やかに染め上げた訪問着である。部分的に金銀の箔糸や白い絹撚糸で刺繍が加えられる。裏地には紫平絹が用いられる。		

22　名称	単衣紋付着物　萌黄絹縮地舟遊び模様（ひとえもんつききもの　もえぎきぬちぢみじふなあそびもよう）	品　　質	縮緬（絹）、友禅染、刺繍、描絵
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	身丈150.3cm 裄59.0cm
作品概要	霞風に銀の箔糸を織入れた絹縮地に描絵友禅で舟遊びの図を裾に表わす。背に陰紋で蔦紋が1つ白上がりに上絵で施される。絹縮の経緯糸は細く強い撚りをかけた絹糸で薄手に織られ、単仕立になっており、夏季の単衣として仕立てられたもので涼やかである。模様は、江戸時代後期の風俗をまとった3人の女性が葦の間に浮かぶ舟に乗り、涼みながら灯篭を流す様が描かれる。2cmほどの内上げがある。		

23　名称	訪問着　赤紫惣鹿子絞綸子地鶴亀波珊瑚模様（ほうもんぎ　あかむらさきそうがのこしぼりりんずじつるかめなみさんごもよう）	品　　質	綸子（絹）、絞り、刺繍
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	身丈166.5cm 裄64.0cm
作品概要	綸子地に全身に鹿の子絞りを施した着物は、江戸時代にも流行が続いた惣鹿の子で伝統的に贅沢の象徴といえる技法である。そこに、さらに刺繍で長寿を表わす鶴亀の模様や宝模様の１つである珊瑚、波模様などを刺繍で表わした晴れ着である。八掛には鹿の子絞りで雲模様を染めた綸子が用いられ、胴裏には赤い平絹が用いられる。		

24　名称	訪問着　葡萄色縮緬地烏柳模様（ほうもんぎ　えびいろちりめんじからすやなぎもよう）	品　　質	縮緬（絹）、友禅染、刺繍
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	身丈150.5cm 裄63.0cm
作品概要	シボの強い縮緬地を葡萄色に染め、雪が降り積もる柳の間を飛び交う烏という粋筋な意匠を友禅染で染める。弾けるように飛び散る雪の表現は、戦後、友禅染の表現技法として取り入れられるようになった手法である。烏には特に伝統的な絹の釜糸を用いた刺繍が効果的に用いられ、黒光りする烏の羽根をリアルに表わしている。八掛には表地と異なる縮緬を用い、胴裏には赤い平絹が用いられる。		

25　名称	訪問着　紫紋縮緬地クリスマス風景模様（ほうもんぎ　むらさきもんちりめんじくりすますふうけいもよう）	品　　質	紋縮緬（絹）、友禅染
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	身丈146.0cm 裄61.0cm
作品概要	平地に経4枚綾で模様を織り出した伝統的な紋縮緬地には、竹、梅、菊、蘭といった四君子に雲模様を織り出した伝統模様である。それとは対照的に、モダンなクリスマス模様を染めた訪問着である。腰から裾にかけて、雪が降り積もるモミの木、煙突のあるレンガ作りの家、その煙突のてっぺんには大きな袋を担いだ赤い衣装のサンタクロースが描かれている。現代的な模様ではあるが、用いられた紋縮緬の特徴から大正期頃と考えられる。パーティー用に趣向を凝らした衣装なのではないだろうか。八掛は茶地縮緬を用い、胴裏には白の平絹が用いられる。3cmほどの内上げが見られる。		

26　名称	訪問着　黒綸子地クリスマス模様（ほうもんぎ　くろりんずじくりすますもよう）	品　　質	綸子（絹）、友禅染、金泥
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和時代・20世紀	寸 法 等	身丈158cm 裄64.0cm
作品概要	橘唐草模様をモダンに織り出した綸子地に無線友禅でクリスマス模様を染めた訪問着である。後ろ右肩には柊のクリスマスリースを、袖には星、ベル、靴下といったクリスマスのオーナメントを表わし、裾には大きなクリスマスツリーと四頭のトナカイ、赤いコスチュームのサンタクロースが描かれる。クリスマス・パーティー用に特別に染められた着物であろう。八掛には羽二重が用いられ、胴裏には白平絹が用いられる。		

27　名称	訪問着　ミントグリーン色縮緬地草花鯱模様（ほうもんぎ　みんとぐりーんいろちりめんじくさばなしゃちもよう）	品　　質	縮緬（絹）、ろうけつ染、刺繍
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和時代・20世紀	寸 法 等	身丈157.5cm 裄62.0cm
作品概要	シボの強い壁縮緬地に金銀の箔糸を織入れ、地色をさわやかなミントグリーンに染め、個性的な線で模様をろうけつ染にした訪問着である。梅、松、笹、紅葉、菊に鯱を取り合わせた日本の伝統模様であるが、ポップでモダンな色使いとデザインが個性的である。一部に平金銀箔糸や撚り箔糸を用い、きらめきを加える。八掛には茶縮緬を用い、胴裏には赤い平絹が用いられる。		

28　名称	訪問着　淡ピンク縮緬地ダッコちゃん模様（ほうもんぎ　うすぴんくちりめんじだっこちゃんもよう）	品　　質	銀通し縮緬（絹）、友禅染
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和時代・1960年代	寸 法 等	身丈158.5cm 裄65.0cm
作品概要	淡いピンク地に染めた縮緬地には、銀の箔糸が全通しで織入れられている。1960年代に日本で大流行したダッコちゃん人形を右肩に１つ、裾に2つ友禅染であらわし、鋭角三角形を散らした模様と組み合わせたモダンな訪問着である。八掛にはオレンジの暈しを入れた平絹が用いられ、裏地には白平絹が用いられる。3cmほどの内上げがある。		

29　名称	浴衣　紺木綿地蜘蛛の巣模様（ゆかた　こんもめんじくものすもよう）	品　　質	木綿、筒描き、彩色
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	身丈171.5cm 裄64.0cm
作品概要	紺木綿地の背中に大胆に蜘蛛と蜘蛛の巣の模様を描いた男物の浴衣である。袖口は縫い窄められずに大きく開口し、単仕立となっている。江戸時代に発達し、湯上りに着用した浴衣の形状を持つ。		

30　名称	羽織　黒浮織紋縮緬地落葉蜘蛛の巣模様（はおり　くろうきおりもんちりめんじおちばくものすもよう）	品　　質	浮織紋縮緬（絹）、友禅染、刺繍
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	身丈100.0cm 裄60.0cm
作品概要	平地に強い撚りのかかった緯糸で菊葉、紅葉、松葉の地紋を浮き紋で織り出した織物を黒地に染めて、三つ紋を花菱紋の菅繍で表わす。正装用の女羽織である。蜘蛛の糸は糊糸目で白上げにし、落ち葉や蜘蛛は絹糸の刺し繍で表わす。袖や裾には暈し染で霞模様を表わす。裏地には紅白段の平絹を用いる。		

31　名称	羽織　赤紫紋縮緬地渦巻蝶模様（はおり　あかむらさきもんちりめんじうずまきちょうもよう）	品　　質	紋縮緬（絹）、絞り、刺繍
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	身丈101.0cm 裄61.5cm
作品概要	縮緬や膨れ織などを組み合わせて壺垂れ模様を織り出した織物に縫い締め絞りで大きな渦巻模様を染めた女羽織である。銀糸の菅繍で陰紋の蔦紋を一つ紋に表わしていることから、正装用に用いられたのであろう。やや、袖が長いことから、少女用に仕立てられたのであろう。黒い蝶と白い蝶は縫い締め絞りと刺繍で表わされるが、黒い蝶は金銀の箔糸で刺繍を加え、白い蝶は緑・赤・黄・紫・虹色の絹糸を用いてカラフルに刺繍している。裏地には繻子地に型友禅で鼓模様を染めた裂を用いる。		

32　名称	羽織　赤紫金銀襴地狆手鞠模様（はおり　あかむらさききんぎんらんじちんてまりもよう）	品　　質	金銀襴（絹）、友禅染、刺繍
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	身丈100.0cm 裄63.4cm
作品概要	平絹に狆の模様を金銀の箔糸で織り出した生地を用い、中振袖に仕立てられた少女用の羽織である。狆の織模様に合わせて、手鞠の模様や糸の模様を色糊を用いた友禅染で染める。また、手鞠の一部には、金銀の箔糸や絹糸で刺繍が加えられる。裏地には雪輪模様を染めた平絹が用いられる。		

33　名称	長羽織　藤色縮緬地狐薄模様（ながはおり　ふじいろちりめんじきつねすすきもよう）	品　　質	縮緬（絹）、友禅染、刺繍
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和時代・20世紀	寸 法 等	身丈139.5cm 裄64.5cm
作品概要	シボの強い壁縮緬地を藤色に染めた女性用の長羽織である。表には、薄の中で跳ねる狐の姿が友禅染で染められ、狐のひげや尾や毛並みには刺繍が部分的に加えられる。裏地には白の羽二重が用いられる。		

34　名称	夏羽織　黒紋紗地蝙蝠星裏模様（なつばおり　くろもんしゃじこうもりほしうらもよう）	品　　質	紋紗（絹）、刺繍、銀摺箔、白上げ
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	身丈96.0cm 裄63.3cm
作品概要	網状に地を織り出し蝙蝠模様を紋絽で透かし模様にし、無双仕立にした女羽織である。三つ紋に陰紋の抱き揚羽蝶紋を白上げ、上絵で表わした正装用の羽織である。表には、赤漆の箔糸で蝙蝠模様を竹屋町風に織り出し、裏模様に星を胡粉で描いて、絽の隙間から白い星の模様が透けて見えるようにし、透けた感覚が涼を誘う夏用である。		

35　名称	夏羽織　黒紗地墨田川花火裏模様（なつばおり　くろしゃじすみだがわはなびうらもよう）	品　　質	紗（絹）、友禅染、刺繍
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	身丈92.5cm 裄62.0cm
作品概要	経糸三本を捩る無紋紗（羅）地を黒地に染め、無双仕立にした夏用女羽織である。背には一つ紋をつけたのみの無地であるが、裏地に花火が上がる隅田川の夜景を友禅染で染め、模様が透けて見えるような仕掛けとなっている。模様に部分的に銀泥が加えられる。		

36　名称	夏羽織　黒絽地破れ芭蕉雀裏模様（なつばおり　くろろじやぶればしょうすずめうらもよう）	品　　質	絽（絹）、友禅染、銀摺箔
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	身丈94.5cm 裄59.0cm
作品概要	三越絽の縮緬を黒地に染めて無双仕立とし、向かい茗荷菱紋の一つ紋を白絹糸の纏い繍で表わした正装用の夏用女羽織である。表は一見無地であるが、裏側に風にあおられる破れ芭蕉の葉、雨、羽ばたく雀の模様を友禅染で表わし、表から透けて見えるような仕掛けとなっている。芭蕉の葉の輪郭線には銀泥が用いられる。		

37　名称	夏羽織　水色紋絽地ヨット模様（なつばおり　みずいろもんろじよっともよう）	品　　質	紋絽（絹）、友禅染
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	身丈92.0cm 裄61.0cm
作品概要	五越絽地に平織で波模様を織り出した縮緬風の生地で仕立てられた夏用女羽織である。肩から裾にかけて、濃い青から薄い青、夕焼けを思わせるオレンジ色の暈しから水面の薄い青へとグラデーションで染め分ける。友禅染と描絵を併用して空を飛ぶカモメ、水面に浮かぶヨットを表わし、ヨットの中には麦わら帽子が2つ描かれることからおそらくは男女のカップルを表わしていると思われる。沖へ向かう風景がロマンチックな雰囲気を醸す。		

38　名称	羽織　黒縮緬地韋駄天猪裏模様（はおり　くろちりめんじいだてんいのししうらもよう）	品　　質	縮緬（絹）、描絵
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	身丈105cm 裄66.5cm
作品概要	縮緬地を無双仕立にした男羽織である。表地は鼠色に染めた無地で、一つ紋に剣花菱紋を菅繍で入れる。羽裏には、猪の背の上に立つ韋駄天を描絵で表わす。その周囲は雲模様を暈し染にする。明治・大正・昭和期には男羽織の羽裏に意匠を凝らすことが流行したが、その一例である。無双仕立の羽織は、実際に裏を表に返して着用することも想定していたのであろう。		

39　名称	羽織　黒縮緬地達磨裏模様（はおり　くろちりめんじだるまうらもよう）	品　　質	縮緬（絹）、織紋縮緬（絹）、描絵
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	身丈90.0cm 裄68.0cm
作品概要	平絹を黒地に染めた男羽織である。裏地は撚糸を織入れて霞風の模様を織り出した平絹地を用い、裏模様には、白地を裾濃に黒く染め、白地の部分に中央に大きな達磨を、その周囲に小さな達磨を5つ、赤い姫達磨を1つ墨絵淡彩で描いている。「玉章」の落款があるが、筆者は不明である。		

40　名称	白鳥織羽織（はくちょうおりはおり）	品　　質	木綿、白鳥の羽毛、苧麻
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	身丈106.8cm 裄60.5cm
作品概要	白鳥織と称される地方の特産織物で仕立てられた羽織である。秋田県由利本荘市岩城町亀田周辺で昭和30年頃まで織られていたと言われる白鳥織は、暖をとるために木綿平織の間に白鳥の羽毛を織り交ぜた特殊な織物である。この織物には緯糸に苧麻に柿渋を塗った糸が織り込まれており、それが横筋の模様となって現れている。裏地には、経糸も緯糸もともに2飛びずつ飛んで織られる綾織の白木綿が用いられ、緯糸の一部には茶色の木綿糸も織入れられ横筋の模様が織り出されている。		

41　名称	一つ身振袖　臙脂色縮緬地遠山餅搗兎模様（ひとつみふりそで　えんじいろちりめんじとおやまもちつきうさぎもよう）	品　　質	縮緬（絹）、型友禅、金銀泥、刺繍
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	身丈115.5cm 裄31.3cm
作品概要	一つ身とは、幼児が着用する産衣で、背縫いのない反物1幅で仕立て、最初から共裂で帯がつく仕立てとなっている。縮緬地に友禅染で、背中に大きく満月を配し、その内側に杵を持ち、餅つきの準備をする5羽の兎を表わす。また、その周囲には、幾重もの遠山を表わし、遠山の内には、花菱唐草、酢漿草、鉄線、橘、紅葉、菊唐草、桔梗などの草花を染める。また、金銀の箔糸による駒留や絹糸の刺繍などが加えられる。化学染料であるが、明るい色を組み合わせ、幼年の少女にふさわしく愛らしいデザインである。三つ紋には、陰紋の酢漿草紋を小さく白上げにし、上絵を施す。七五三などの宮参りに用いたものであろう。共八掛がつき、胴裏には赤い平絹が用いられる。		

42　名称	被布　水浅葱縮緬地猫手鞠冊子模様（ひふ　みずあさぎちりめんじねこてまりさっしもよう）	品　　質	縮緬（絹）、描絵
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	身丈70.5cm 幅29.0cm
作品概要	被布とは、もともと江戸時代、茶人や俳人、町芸者などの間で着用された上着だったが、近代以降は、袖をなくし幼女が着用する上着として用いられるようになった。水浅葱色に染めた縮緬地に描絵で猫と手鞠を表わした愛らしい被布には、背中央に小さく違い鷹の羽紋が入り、七五三などの宮参りで着用したものと考えられる。前方には紅白の糸で作られた飾り紐がつく。裏地には、ピンクの平絹を用いる。		

43　名称	祝着　縹木綿地富士山男児模様（いわいぎ　はなだもめんじふじさんだんじもよう）	品　　質	平織木綿、友禅染
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	身丈108.0cm 裄47.5cm

作品概要	幼年の男児が晴着として用いる着物である。木綿地に描絵友禅で、左前身頃に富士山、猪にまたがる武将姿の少年、右前身頃に扇を掲げる武将姿の少年、後ろ身頃に従者を携えた金烏帽子に狩衣指貫姿の少年が描かれる。振袖は袖口を閉じずに大きく開き、白上げで一文字に三ツ星紋の五つ紋が入る。裏地には紺地木綿が用いられ、中綿が入る。

44　名称	祝着　縹木綿地牧童模様（いわいぎ　はなだもめんじぼくどうもよう）	品　　質	平織木綿、描絵
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	身丈89.0cm 裄40.5cm
作品概要	幼年の男児が晴着として用いる着物である。背縫いはなく、袖口は広く開けたままに仕立て、帯を縫い付けたいわゆる一つ身である。縹木綿地に描絵で牛を携えた童子が笛を吹く姿や童子が草を刈る姿を表す。五つ紋には剣酢漿草紋を白上げにし、赤い糸で背守りをつける。裏地には紺平絹を用い、中綿を入れる。		

45　名称	祝着　黒羽二重地日露戦争戦勝名場面図（いわいぎ　くろはぶたえじにちろせんそうせんしょうめいばめんず）	品　　質	羽二重（絹）、友禅染
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	身丈107.0cm 裄42.0cm
作品概要	幼年の男児が晴着として用いる着物である。羽二重地に友禅染で日露戦争において日本軍が旅順を攻略し、ロシア軍が撤退していく様子を友禅染で表わした、いわゆるプロパガンダ模様を表わしている。また、部分的に金の箔糸や絹糸で刺繍が施される。背縫いのない一つ身の仕立てで、帯が縫い付けられ、白い絹糸で背守りが施される。五つ紋には、三つ柏紋を白上げし、上絵を施す。裏地には黒平絹が用いられ、中綿が入る。		

46　名称	丸帯　黒繻子地鶏ひよこ模様（まるおび　くろしゅすじにわとりひよこもよう）	品　　質	繻子（絹）、刺繍
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	明治～大正時代・20世紀	寸 法 等	長さ405.6cm 幅31.5cm
作品概要	表も裏も同じ裂で仕立てられた正装用の丸帯である。黒繻子地に絹糸で、太鼓の部分に雄雌の鶏を、織り留の部分に赤い実がつく植物を、腹の部分に落ち葉と3羽のひよこを、刺し繍を中心とした刺繍で表わす。ほとんど撚りのかかっていない絹糸を用いる特徴がある和刺繍では、鳥模様のような羽が写生的に表現できる点に特色がある。		

47　名称	丸帯　紫地唐花唐草鳳凰模様（まるおび　むらさきじからはなからくさほうおうもよう）	品　　質	平絹、刺繍
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	長さ398.0cm 幅32.0cm
作品概要	表も裏も同じ裂で仕立てられた正装用の丸帯である。平絹地に全面に隙間なく、絹の撚糸や金の箔糸を用いて鳳凰に唐花唐草の模様を刺繍する。刺し繍を中心に相良繍や駒留といった和刺繍の技法を駆使し、敷き詰めるように模様を表わした豪華な丸帯は、特に明治末期から大正期にかけて経済力のある婦女の間で流行した。		

48　名称	丸帯　農村秋景図錦（まるおび　のうそんしゅうけいずにしき）	品　　質	錦（絹）
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	長さ404.0cm 幅31.5cm
作品概要	表も裏も同じ裂で仕立てられた正装用の丸帯である。平地に絵緯糸で絵画のような模様を織り出す高度な技術が用いられる。紋丈49cmの間に、水車のある農家、牛や鍬で田んぼを耕す農民、大きな蕪が映える畑、秋野などが表現される。		

49　名称	丸帯　金地花鳥模様（まるおび　かなじかちょうもよう）	品　　質	平絹、刺繍
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	長さ408.0cm 幅33.0cm
作品概要	表も裏も同じ裂で仕立てられた正装用の丸帯である。白平絹地に全面に刺繍で花鳥模様を表わす。金の箔糸と黄色の糸を撚り合せた糸で地を刺繍して金地とし、鳳凰、孔雀、雉、雀、鶯といった鳥や、百合、薔薇、桜草、秋桜などの花々を色とりどりの刺繍糸で刺し繍の技法を主として刺繍する。織留の部分に菱に三つ柏紋の繍紋が紫の絹糸と金糸で施される。		

50　名称	丸帯　白地古鏡模様綴織（まるおび　しろじこきょうもようつづれおり）	品　　質	綴織（絹）
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	長さ408.0cm 幅32.2cm
作品概要	表も裏も同じ裂で仕立てられた正装用の丸帯である。白地にさまざまな色糸を用いて、古い鏡をデザインした紐つきの鏡模様を織り出す。鏡の模様は１つとして同じ模様はなく、さまざまな団花文、楼閣に鶴、尾長鳥、向かい鴛鴦、竹に雀、松、菊花、など古典的な模様である。		

51　名称	丸帯　白地鴛鴦扇面冊子模様唐織（まるおび　しろじおしどりせんめんさっしもようからおり）	品　　質	唐織（絹）
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	昭和時代・20世紀	寸 法 等	長さ402.5cm 幅32.0cm
作品概要	表も裏も同じ裂で仕立てられた正装用の丸帯である。伝統的な唐織を近代化されたジャガード機で織り出す。白地の部分には破れ唐花入り菱繋ぎ文を織り出し、上紋には紋丈54.5cmの間に、金糸を交えた縫取織で扇面に鴛鴦、葦、菊などの模様を織り出す。		

52　名称	丸帯　茶塩瀬地御伽草子模様（まるおび　ちゃしおぜじおとぎぞうしもよう）	品　　質	塩瀬（絹）、描絵
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	長さ399.0cm 幅31.2cm
作品概要	表も裏も同じ裂で仕立てられた正装用の丸帯である。塩瀬地に描絵でさまざまな御伽草子模様を表わす。茶地を斑染めにした地に、花咲爺、金太郎、かちかち山、雀の恩返し、猿蟹合戦、瘤取爺、桃太郎、一寸法師などを描く。		

53　名称	丸帯　淡茶地牡丹獅子模様唐織（まるおび　うすちゃじぼたんじししもようからおり）	品　　質	唐織（絹）
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	昭和時代・20世紀	寸 法 等	長さ451.5cm 幅32.0cm
作品概要	表も裏も同じ裂で仕立てられた正装用の丸帯である。白茶地に金の箔糸を交えた縫取織で紋丈49cmの間に、波間に踊る獅子と牡丹を織り出した華麗な丸帯である。牡丹獅子模様は伝統的な吉祥模様で日本では謡曲「石橋」などでも親しまれていることから、鎌倉時代より染革や染織の模様に取り入れられてきた。この帯は留袖など礼装用に用いられたものであろう。		

54　名称	丸帯　淡黄銀通し綾地ギリシャ風人物風景模様（まるおび　うすきぎんどおしあやじぎりしゃふうじんぶつふうけいもよう）	品　　質	銀通し綾（絹）、描絵、刺繍
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	昭和時代・20世紀	寸 法 等	長さ407.0cm 幅33.0cm
作品概要	表も裏も同じ裂で仕立てられた正装用の丸帯である。銀通しの経三枚綾地に、森の中、冠を載せた貴婦人、鎧兜姿の男性、壺を抱えた女性、編み上げサンダルをはいた少年など、ギリシャ風の欧風古典模様を描絵で表わす。部分的に、金の箔糸の駒留、絹糸の菅繍、スパンコール装飾なども加えられる。このような異国情緒のあるデザインは、大正期から昭和初期に流行した。		

55　名称	丸帯　淡緑塩瀬地薔薇孔雀模様（まるおび　うすみどりしおぜじばらくじゃくもよう）	品　　質	塩瀬（絹）、描絵
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	長さ410.0cm 幅31.5cm
作品概要	表も裏も同じ裂で仕立てられた正装用の丸帯である。花鳥画に描かれることの多い孔雀は、江戸時代には唐織や帯地に孔雀の羽根を織ったデザインが見られるが、鳥としての模様は近代以降に流行した。ヨーロッパにおけるアールヌーボーという美術様式において孔雀の模様が好まれるようになり、産業デザインに力を入れつつあった日本においても、華やかな孔雀のデザインが展開された。大正期から昭和初期にかけて流行した友禅染技法である液描きで、やはり流行だった薔薇とともに表わされた華麗な帯である。		

56　名称	丸帯　藍鼠縮緬地白孔雀模様（まるおび　あいねずちりめんじしろくじゃくもよう）	品　　質	縮緬（絹）、刺繍
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	昭和初期・20世紀	寸 法 等	長さ413.0cm 幅32.5cm
作品概要	表も裏も同じ裂で仕立てられた正装用の丸帯である。ヨーロッパにおけるアールヌーボーという美術様式において孔雀の模様が好まれるようになり、産業デザインに力を入れつつあった日本においても、華やかな孔雀のデザインが展開された。近現代の女性の着物や帯には、孔雀模様が頻繁に表わされる。この丸帯は縮緬地に伝統的な和刺繍で白孔雀を長い尾羽とともに表現した優美なデザインである。		

57　名称	丸帯　金通し地獅子模様（まるおび　きんんどおしじししもよう）	品　　質	金通し平織（金糸・絹）、刺繍
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	昭和時代・20世紀	寸 法 等	長さ392.4cm 幅32.0cm
作品概要	表も裏も同じ裂で仕立てられた正装用の丸帯である。金の箔糸を全通しした織物に背面にでる太鼓部分に雄々しい鬣を持つ緑色の獅子を刺繍する。また、前面にあたる部分にも小さな緑の獅子を刺繍する。和刺繍では絹の釜糸を効果的に用いるが、この刺繍では、撚りの利いた絹糸を用い、刺繍に立体感がある。獅子の漫画のような表情も現代的である。メリハリのある迫力のあるデザインである。		

58　名称	袋帯　黒格子織地花ハート模様（ふくろおび　くろこうしおりじはなはーともよう）	品　　質	浮紋織（絹）、漆箔
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	昭和時代・20世紀	寸 法 等	長さ404.0cm 幅30.5cm
作品概要	表とは異なる裂を用いて袋状に縫い合わせた袋帯である。表地にはランダムに崩れたような表現になるように工夫された格子模様を黒漆の箔糸で織り出し、紋丈63cmの間に金銀の箔糸や、ショッキングピンクやレモンイエロー、エメラルドグリーン、ブルーやホワイトのカールがかかった絹糸を用いて立体的にハートやチューリップ、花、くずれた水玉などの模様を織り出す。ポップでサイケデリックな色彩とデザインは若い少女が用いたものと思われる。		

59　名称	名古屋帯　紫紗地木賊兎模様（なごやおび　むらさきしゃじとくさうさぎもよう）	品　　質	紗（絹）、刺繍、切付
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	長さ331.5cm 幅32.0cm
作品概要	帯に結んだ際に後ろ腰に出る太鼓の部分を一重にして簡便に結べるように工夫された名古屋帯である。経糸を3本綟った紫の紗地に、背に当たる太鼓の部分に金銀の箔糸と白絹糸を荒く撚り合わせた糸と緑の絹糸の縫取織で細長い木賊を織り出し、銀の箔糸と白いモールで白兎を、黒とグレーの絹糸で黒い兎を縫取織で織り出す。兎の毛の質感を立体的に織り出したユニークな織帯である。木賊は鏡を磨く素材であり、鏡は月を表わすことから、月と兎の関連性から木賊と兎の組み合わせも江戸時代よりよく表される模様となった。		

60　名称	名古屋帯　黒繻子地幽霊屋敷模様（なごやおび　くろしゅすじゆうれいやしきもよう）	品　　質	繻子（絹）、刺繍、切付
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	横343.2cm 幅30.5cm
作品概要	帯に結んだ際に後ろ腰に出る太鼓の部分を一重にして簡便に結べるように工夫された名古屋帯である。黒繻子地に背に当たる太鼓の部分に祭の出し物である幽霊屋敷を表わす。絹糸のほか、ラメ箔糸なども用いて伝統的な和刺繍の刺し繍で繊細に屋敷や提灯の明かりなどを表現し、幽霊屋敷の幟には荒く織られた絹の平織物を切付（アップリケ）にして文字模様を刺繍する。粋な遊び心が感じられるデザインである。		

61　名称	名古屋帯　白銀綾地浦島太郎模様（なごやおび　はくぎんあやじうらしまたろうもよう）	品　　質	綾（絹）、銀箔糸、刺繍
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	昭和時代・20世紀	寸 法 等	長さ366.0cm 幅31.5cm
作品概要	帯に結んだ際に後ろ腰に出る太鼓の部分を一重にして簡便に結べるように工夫された名古屋帯である。銀の箔糸を織り込んだ経三枚綾地に、背に当たる太鼓の部分に亀に乗って竜宮城へ出かける浦島太郎を刺繍する。伝統的な和刺繍の技法に鮮やかな色合いの絹糸や金銀の箔糸を組み合わせ、立体的な刺繍を施す。また、前面にあたる部分には竜宮城を刺繍で表わす。ストーリー性のあるデザインが見る人も着る人も楽しませる。		

62　名称	名古屋帯　水色絽地金魚模様（なごやおび　みずいろじきんぎょもよう）	品　　質	絽（絹）、ビーズ、刺繍
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	昭和時代・20世紀	寸 法 等	長さ419.0cm 幅32.5cm
作品概要	帯に結んだ際に後ろ腰に出る太鼓の部分を一重にして簡便に結べるように工夫された名古屋帯である。緯糸に銀糸を交互に織り入れた三越一越絽に、ガラスビーズを用いて金魚、水草、流水の模様を刺繍した涼し気な夏用の帯である。		

63　名称	名古屋帯　白塩瀬地花唐草鸚鵡模様（なごやおび　しろしおぜじはなからくさおうむもよう）	品　　質	塩瀬（絹）、型友禅、刺繍
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	昭和時代・20世紀	寸 法 等	長さ338.0cm 幅29.3cm
作品概要	帯に結んだ際に後ろ腰に出る太鼓の部分を一重にして簡便に結べるように工夫された名古屋帯である。経糸を密にして緯糸を太くした羽二重（密度のある絹平織）である塩瀬地に刺繍と型友禅で模様を表わす。型友禅は、パステルカラーを用いて花唐草と鸚鵡を染め、帯の太鼓になる部分には、花の輪郭や花芯、鸚鵡などに絹糸や金銀の箔糸で刺繍を加え、華やかに仕上げている。少女向けの小紋や銘仙などに合わせた帯であろう。		

64　名称	名古屋帯　黒繻子地みみずく模様（なごやおび　くろしゅすじみみずくもよう）	品　　質	繻子（絹）、刺繍
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	昭和時代・20世紀	寸 法 等	長さ345.0cm 幅32.0cm
作品概要	帯に結んだ際に後ろ腰に出る太鼓の部分を一重にして簡便に結べるように工夫された名古屋帯である。背にあたる太鼓の部分には、黒い繻子を夜の闇に見立てて、檜の枝にとまるみみずくを赤い色調で闇夜に浮かび上がるかのように刺繍する。みみずくを絹糸の風合いを生かした立体感のある刺繍で表わした点が見どころである。みみずくの背後には、銀泥で細い三日月が描かれ、夜の森の静けさが感じられる。帯を締めると、垂れの部分に赤、白、金の星ぼしが瞬く夜空がみみずくの下に現れるデザインになっており、遊び心がある。		

65　名称	名古屋帯　白繻子地黒猫手鞠模様（なごやおび　しろしゅすじくろねこてまりもよう）	品　　質	繻子（絹）、刺繍、切付
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	昭和時代・20世紀	寸 法 等	長さ333.3cm 幅31.0cm
作品概要	帯に結んだ際に後ろ腰に出る太鼓の部分を一重にして簡便に結べるように工夫された名古屋帯である。白い繻子地に、背にあたる太鼓の部分に伝統的な和刺繍の刺し繍を用いて、黒猫の毛並みを写生的に表わす。また、前面には、手鞠模様を刺繍するが、鹿の子絞りの模様は織物で再現し切付（アップリケ）にした上からさらに刺繍を施した凝った意匠となっている。少女が着用した帯であろう。		

66　名称	名古屋帯　白塩瀬地ユニコーンと少女図（なごやおび　しろしおぜじゆにこーんとしょうじょず）	品　　質	塩瀬（絹）、刺繍
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	昭和時代・20世紀	寸 法 等	長さ328cm 幅30.5cm
作品概要	帯に結んだ際に後ろ腰に出る太鼓の部分を一重にして簡便に結べるように工夫された名古屋帯である。白い塩瀬地に、背に当たるお太鼓の部分にイラストレーターの宇野亜喜良風の少女とユニコーンを刺繍で表わす。カラフルな色合いの絹撚り糸で刺し繍するほか、金の箔糸を撚り合わせた糸で相良繍を加え煌めきを添える。前面には「UNICORN」の飾り文字をピンク、赤、黄の刺繍糸で刺繍する。少女のおしゃれ着に用いられたのであろう。		

＜考古＞(2件)

67　名称	埴輪 顎髯の男子（はにわ あごひげのだんし）	品　質	土製
作 者 等	伝茨城県出土	員　数	1個
時　代	古墳時代・6世紀	寸 法 等	総高173cm
作品概要	先の尖った鍔広の高い帽子を被り、髪は大きな下げ美豆良を結い、長いひげを胸までたらした、ほぼ等身大の男子像。右手は腰にあてがい、左手を大刀にかけて、細い目で正面を見つめて起立する。袴は赤色顔料で円文を飾り、脚結する。		

68　名称	埴輪 琴をひく男子（はにわ ことをひくだんし）	品　質	土製
作 者 等	伝茨城県桜川市出土	員　数	1個
時　代	古墳時代・6世紀	寸 法 等	総高69.5cm
作品概要	円筒の上部を、円形の腰掛に作り、これに膝をそろえて腰掛けて、膝にのせた五弦の琴をつまびく男子像。尖り帽を被り、下げ美豆良を肩先までたらし、腰に大刀を佩く。		

＜東洋絵画＞(17件)

69　名称	西廂記書画冊（せいそうきしょがさつ）	品　質	（画）絹本着色、（書）紙本墨書
作 者 等	（画）仇英（生没年不詳）款、（書）文徴明（1470～1559）款	員　数	1冊（画12､書12）
時　代	明～清時代・17～18世紀	寸 法 等	（画）31.0cm×27.7cm、（書）30.8cm×28.8cm
作品概要	冊子装。張生と鶯鶯の恋物語をえがいた戯曲『西廂記』（全21幕）から12幕を選び、右にその場面の画を描き、左に歌詞を書く。錯簡あり、正しい順番は、「仏殿奇逢」「僧寮仮館」「紅責張生」「墻角聯吟」「月下焚香」「斎壇闢會」「恵明寄簡」「白馬解囲」「錦字伝情」「倩紅問病」「堂前巧弁」「鞍馬秋風」。		

70　名称	阿閦金剛三十二尊曼荼羅（あしゅくこんごうさんじゅうにそんまんだら）	品　質	綿本着色
作 者 等		員　数	1面
時　代	19～20世紀	寸 法 等	本紙 縦64cm 横42cm ； 額 縦80.5cm 横57.9cm
作品概要	現在は額装される。『秘密集会』阿閦金剛三十二尊曼荼羅を中心に、画面上部には数多くのラマ僧を描く。インドの祖師から始まり、チベット仏教ゲルク派の宗祖ツォンカパ（1357～1419）を経て、同派の諸師を描く。二段目の中央に描かれる人物がツォンカパと推測されるが、それ以外の人物は剥落のため同定は難しい。本来は金泥で各人物名が記入されていたとみられるが、ほとんど確認できない。木綿地に顔料で描かれており、中国風の山水表現を採用しないことから、中央チベットまたはネパールで19～20世紀ごろに製作されたチベット仏教の軸装仏画（タンカ）と考えられる。		

71　名称	柏鷹図軸（はくようずじく）	品　質	絹本着色
作 者 等	辺文進（生没年不詳）筆	員　数	1幅
時　代	明時代・15世紀	寸 法 等	145.7cm×74.0cm
作品概要	掛幅装、牙軸。柏にとまる鷹、岩陰の熊、そこから逃げる雉を描き、「英雄が栄誉を得る」ことを意味する（「鷹熊」と「英雄」が同音、「錦鶏（雉）」は「錦標（優勝牌）」の象徴とされる）。明代皇帝に愛された主題。		

72　名称	山水人物図軸（さんすいじんぶつずじく）	品　質	絹本着色
作 者 等	鄭文英（生没年不詳）筆	員　数	1幅
時　代	明時代・宣徳9年(1434)	寸 法 等	127.3cm×51.5cm
作品概要	掛幅装、玉軸。平らかな山水景のなかに、馬に乗って出立しようとする官員を描く。一説に、鄭文英の叔父で宮廷画家の鄭時敏が北京に旅立つ場面を描いたという。		

73　名称	靈陽十景図冊（れいようじっけいずさつ）	品　質	絹本墨画淡彩
作 者 等	伝夏芷（生没年不詳）筆	員　数	1冊（10図）
時　代	明時代・15～16世紀	寸 法 等	各27.5cm×54.0cm
作品概要	冊子装。歙県（安徽省）の霊金と陽坡の景勝地を10選び、当地の名門、方氏一族のために描いたもの。		

74　名称	道院馴鶴図軸（どういんじゅんかくずじく）	品　質	絹本墨画淡彩
作 者 等	張路（生没年不詳）筆	員　数	1幅
時　代	明時代・16世紀	寸 法 等	140.0cm×97.0cm
作品概要	掛幅装、牙軸。靄のただよう雪景山水を背景に高士と鶴を描く。		

75　名称	老松鳴鶴図軸（ろうしょうめいかくずじく）	品　質	絹本墨画淡彩
作 者 等	張路（生没年不詳）筆	員　数	1幅
時　代	明時代・16世紀	寸 法 等	122.5cm×100.0cm
作品概要	掛幅装、牙軸。山水景のなかに、松にとまる鶴をながめる二人の高士を描く。		

76　名称	柳塘游鴨図軸（りゅうとうゆうおうずじく）	品　質	絹本墨画
作 者 等	林良（1424?～?）筆	員　数	1幅
時　代	明時代・15～16世紀	寸 法 等	141.7cm×80.0cm
作品概要	掛幅装、牙軸。柳の下をゆうゆうと泳ぐ鴨を描く。		

77　名称	蘆辺双鵜図軸（ろへんそううずじく）	品　　質	絹本墨画
作 者 等	林良（1424?～?）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・15～16世紀	寸 法 等	147.0cm×75.0cm
作品概要	掛幅装、牙軸。蘆や雑木の生い茂る水辺にたたずむ、つがいの鵜を描く。		

78　名称	月下撫琴図軸（げっかぶきんずじく）	品　　質	絹本墨画淡彩
作 者 等	汪肇（生没年不詳）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・16世紀	寸 法 等	128.2cm×50.0cm
作品概要	掛幅装、木軸。月夜、松の下、香炉を焚き、琴を弾じる高士を描く。		

79　名称	人物山水図軸（じんぶつさんすいずじく）	品　　質	絹本墨画淡彩
作 者 等	汪肇（生没年不詳）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・16世紀	寸 法 等	128.0cm×49.2cm
作品概要	掛幅装、玉軸。吹きすさぶ風の中、右上に浮かぶ仙人を見送る農夫を描く。何らかの故事を表すと想像されるが詳細は不明。		

80　名称	高士濯足図軸（こうしたくそくずじく）	品　　質	紙本墨画淡彩
作 者 等	王諤（生没年不詳）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・16世紀	寸 法 等	116.9cm×103.8cm
作品概要	掛幅装、木軸。山水を背景に川の流れで濯足する（足を洗う）高士を描く。濯足はけがれた世間を避けて隠遁生活を行なう隠者の象徴的行為。		

81　名称	竹石図（ちくせきず）	品　　質	絹本墨画
作 者 等	朱端（生没年不詳）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・16世紀	寸 法 等	178.0cm×104.0cm
作品概要	掛幅装、牙軸。強い風に吹かれて揺れる、初夏の竹を描く。		

82　名称	漁童吹笛図軸（ぎょどうすいてきずじく）	品　　質	絹本墨画淡彩
作 者 等	鄭文林（生没年不詳）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・16世紀	寸 法 等	162.7cm×76.7cm
作品概要	掛幅装、牙軸。松と梅の下、横笛を吹きながら踊る童子と、それをはやす男たちを描く。後ろには漁夫の姿が見える。何らかの故事をふまえた作品と考えられているが、詳細は不明。		

83　名称	柳蔭人物図軸（りゅういんじんぶつずじく）	品　　質	絹本墨画
作 者 等	鄭文林（生没年不詳）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・16世紀	寸 法 等	161.0cm×70.0cm
作品概要	掛幅装、牙軸。柳の下、瓶を後ろ手に隠しながら盃を差し出す男と、それを眺める白衣の老人を描く。何らかの故事をふまえた作品と考えられているが、詳細は不明。		

84　名称	騎驢訪友図軸（きろほうゆうずじく）	品　　質	絹本墨画淡彩
作 者 等	伝馬俊（生没年不詳）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・16世紀	寸 法 等	177.5cm×99.5cm
作品概要	掛幅装、牙軸。雪山を背景に、茅屋から馬にのって旅立とうとする高士一行を描く。旧蔵者の桑名鉄城は箱に「騎驢訪友図」と題す。		

85　名称	楊柳群鷺図軸（ようりゅうぐんろずじく）	品　　質	絹本着色
作 者 等	筆者不詳	員　　数	1幅
時　　代	明時代・16～17世紀	寸 法 等	181.7cm×79.0cm
作品概要	掛幅装、牙軸。柳と芙蓉を背景に3羽の白鷺を描く。芙蓉は栄華を、白鷺は出世を意味しており、典型的な吉祥画題といえる。四季4幅対の秋幅であった可能性もある。		

＜東洋書跡＞(1件)

86　名称	漆書文語軸（しっしょぶんごじく）	品　　質	紙本墨書
作 者 等	金農（1687～1763）筆	員　　数	1幅
時　　代	清時代・乾隆9年（1744）	寸 法 等	縦131.5cm 横35.6cm
作品概要	掛幅装、塗（木）撥軸。金農が67歳時に、言行に関する教訓を詠う七言律詩一首を、自ら創始した「漆書」という様式で書写した一幅。		

＜東洋陶磁＞(28件)

87　名称	青磁象嵌牡丹文油瓶（せいじぞうがんぼたんもんゆへい）	品　　質	青磁
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	高麗時代・12～13世紀	寸 法 等	高3.1cm 口径2.7cm 高台径4.3cm
作品概要	灰色硬質の胎。丸い小壺を上から押しつぶしたような扁平なかたちで、白土と黒土を用いた象嵌技法で牡丹文をほどこす。青磁釉はやや暗い発色で総釉、高台内に珪石目が３つ残る。		

88　名称	粉青印花縄簾文小瓶（ふんせいいんかなわすだれもんしょうへい）	品　　質	陶製
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	朝鮮時代・15～16世紀	寸 法 等	高7cm 口径2.3cm 高台径3.0cm
作品概要	灰色の胎。丸い胴に喇叭状にひらいた小さな口が付いた小瓶。素地に白土をかけ、頸と胴を二段に分けてスタンプ（印花）で縄簾に似た細かい文様を表わす。総釉で底の畳付きは釉を拭っており、砂が付着している。		

89　名称	白釉硯（はくゆうすずり）	品　　質	陶製
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	朝鮮時代・16世紀	寸 法 等	高3.3cm 長8.0cm 幅5.0cm
作品概要	赤茶色の胎。長方形の板状の素地の天面を方形に削り込み、硯の池と陸部分をつくる。陸部分は釉を剥いでいる。底面を前後に傾斜に差をつけて面取りしている。総体に白土で化粧をして、釉をかけたもので、側面に釉をかけたときの工人の指痕が残る。		

90　名称	白釉水滴（はくゆうすいてき）	品　　質	陶製
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	朝鮮時代・16世紀	寸 法 等	高7.2cm 底径3.3cm
作品概要	灰色の胎。宝珠形に細い注口がついた注器で、口と相対する部分に小さな孔が空いている。総体に白釉がかかる。釉はムラが多く、特に畳付き周辺に白く溜まっている。		

91　名称	青花文字文水滴（せいかもじもんすいてき）	品　　質	磁製
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	朝鮮時代・18世紀	寸 法 等	高2.6cm；3.4cm×3.4cm
作品概要	硬質白磁胎。方形で天面に孔があり、小さな口が付いた水滴。四角を面取りしている。黒色がかった青花で天面に花文、四側面に「迂怪之物」の文字を配す。わずかに青みを帯びた釉がかかり、底面は釉を拭っている。		

92　名称	白磁官人香立（はくじかんじんこうたて）	品　　質	磁製
作 者 等		員　　数	1個
時　　代	朝鮮時代・15～16世紀	寸 法 等	高6.0cm 幅4.3cm
作品概要	硬質白磁胎。膝頭を開いて座り、両手を前に重ねて組んだ姿の人物像で、手の部分は孔が空いている。青みがかった透明釉がかかり、底面は釉を拭っている。		

93　名称	白磁小瓶（はくじしょうへい）	品　　質	磁製
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	朝鮮時代・15～16世紀	寸 法 等	高8.9cm 口径2.6cm 底径3.8cm
作品概要	硬質白磁胎。ゆるやかな下膨れの形をした瓶で、喇叭状に開いた口が付く。総体に透明釉がかかり、やや灰青色を呈している。底部畳付きに砂目跡が残る。		

94　名称	白磁鍔縁小皿（はくじつばぶちこざら）	品　　質	磁製
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	朝鮮時代・16世紀	寸 法 等	高1.3cm 径9.3cm 底径4.5cm
作品概要	やや夾雑物を含んだ硬質白磁胎。鍔縁のある丸皿で、見込みを一段削り込んでいる。底はごく低く高台を削り出しており、総釉。畳付きに砂目が残る。		

95　名称	白磁鍔縁小皿（はくじつばぶちこざら）	品　　質	磁製
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	朝鮮時代・16世紀	寸 法 等	高2.1cm 径9.9cm 底径4.0cm
作品概要	夾雑物を含んだ硬質白磁胎。鍔縁のある丸皿で、見込みを一段深く削り込んでいる。底はごく低く高台を削り出しており、総釉。畳付きに砂目が残る。		

96　名称	白磁瓶（はくじへい）	品　　質	磁製
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	朝鮮時代・18世紀	寸 法 等	高11.2cm 口径3.2cm 高台径4.6cm
作品概要	硬質白磁胎。下膨れの胴と喇叭状にひらいた口部を持つ瓶。総体に透明釉がかかる。わずかに灰色を帯びてみえる。高台内の中央に凸状に兜巾立っており、畳付きに砂目が残る。		

97　名称	青花秋草文水滴（せいかあきくさもんすいてき）	品　　質	磁製
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	朝鮮時代・18世紀	寸 法 等	高3.0cm 径5.0cm
作品概要	硬質白磁胎。柿の実の形をした水滴で天面中央に孔が空いており、側面に小さな注口が付く。天面に青花で秋草文を配す。高台内に砂目が残り、畳付きは粗く掻き削られた跡がみられる。高台内にシールが1枚貼られている。		

98　名称	白磁硯（はくじすずり）	品　　質	磁製
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	朝鮮時代・18世紀	寸 法 等	高1.0cm；8.7cm×3.7cm
作品概要	夾雑物の混じった硬質白磁胎。長方形の硯で、いわゆる池と丘はゆるやかに削って整えている。総体に透明釉をかけ、底面の釉は拭っている。		

99　名称	青花有蓋花文方壺（せいかゆうがいかもんほうこ）	品　　質	磁製
作 者 等		員　　数	1合
時　　代	朝鮮時代・18世紀	寸 法 等	高5.8cm 口径2.7cm 底径2.5cm
作品概要	夾雑物を含んだ硬質白磁胎。青銅器に由来する方壺で、平らな蓋が付く。胴の四面に青花で花文を、蓋の天面に「寿」字を配す。透明釉を総体にかける。底面は縁を面取りして、釉を拭っている。		

100　名称	白磁竹筒形筆筒（はくじたけつつがたひっとう）	品　　質	磁製
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	朝鮮時代・18世紀	寸 法 等	高12.5cm 口径8.0cm 底径7.8cm
作品概要	硬質白磁胎。竹を切ってつくった器を写した筒形容器。胴中央下と裾部分に節を削り出しており、わずかに口縁に向かってひらいた形である。総体に透明釉をかけており、青みがかってみえる。畳付きと高台内中央に砂目が残る。		

101　名称	白磁輪花形餅型（はくじりんかがたもちがた）	品　　質	磁製
作 者 等		員　　数	1個
時　　代	朝鮮時代・19世紀	寸 法 等	高2.4cm 径5.0cm 底径4.4cm
作品概要	硬質白磁胎。餅型で、型の文様は小さな菊花を7個円形に集めたもの。足の側面に孔をあけている。総体に透明釉をかけており、青みがかってみえる。足の畳付きと外側に砂目が残る。畳付きは一部釉を打ち掻いた跡がみられる		

102　名称	白磁花形餅型（はくじはながたもちがた）	品　　質	磁製
作 者 等		員　　数	1個
時　　代	朝鮮時代・19世紀	寸 法 等	高3.5cm ； 径5.5cm 底径3.5cm
作品概要	硬質白磁胎。餅型で、型の文様は菊花をあらわしたもの。持ち手部分の先にも「寿」字をモチーフにした型文があらわされている。菊花の型面の裏に小さな目跡が残る。		

103　名称	白磁花形餅型（はくじはながたもちがた）	品　　質	磁製
作 者 等		員　　数	1個
時　　代	朝鮮時代・1852年	寸 法 等	高3.9cm 径5.0cm 底径3.0cm
作品概要	硬質白磁胎。餅型で、型は8弁の花文をあらわす。持ち手部分に青花で「南湖　壬子十一月日　李＝」の銘文が書かれている。足の畳付き部分を除いて総釉。畳付きは打ち掻いた跡があり、疵が残る。		

104　名称	青花環飾大油瓶（せいかかんしょくだいゆへい）	品　　質	磁製
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	朝鮮時代・19世紀	寸 法 等	高8.3cm 口径2.3cm 高台径6.0cm
作品概要	硬質白磁胎。丸い胴部に、小さく短く垂直に立ち上がった頸部をそなえた瓶。頸部の付け根に青花で蓮花文を巡らす。		

105　名称	青花蝶文合子（せいかちょうもんごうす）	品　　質	磁製
作 者 等		員　　数	1合
時　　代	朝鮮時代・19世紀	寸 法 等	高2.0cm 径3.6cm
作品概要	硬質白磁胎。八角形の蓋物で、底面に8つの短く小さな足がつく。身の内側は丸い突起が盛り上がっている。天面に青花で蝶文を配し、合わせ口を除いて総釉である。		

106　名称	白磁片口（はくじかたくち）	品　　質	磁製
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	朝鮮時代・19世紀	寸 法 等	高4.1cm　口径7.2cm　高台径3.7cm
作品概要	硬質白磁胎。杯に面取りした小さな注口がついている。総体に透明釉がかかり、高台畳付きは釉を拭っている。		

107　名称	白磁小瓶（はくじしょうへい）	品　　質	磁製
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	朝鮮時代・18世紀	寸 法 等	高5.7cm　口径1.2cm　高台径2.3cm
作品概要	硬質白磁胎。丸い胴に細い頸が付き、口縁がわずかに外反する。総体に透明釉がかかり、青みがかってみえる。畳付きと高台内に砂が付着している。		

108　名称	鉄砂柳葡萄文小壺（てっさやなぎぶどうもんこつぼ）	品　　質	磁製
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	朝鮮時代・18世紀	寸 法 等	高4.9cm　口径3.3cm　底径4.0cm
作品概要	夾雑物を含んだ硬質白磁胎。鉄絵でざっくりと葡萄らしき文様を配す。文様は淡い発色である。総体にかかる透明釉は青みがかってみえる。底部は砂が付着している。		

109　名称	鉄砂菊花竹文壺（てっさきくかたけもんつぼ）	品　　質	磁製
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	朝鮮時代・18世紀	寸 法 等	高13.6cm　口径6.8cm　底径8.7cm
作品概要	硬質白磁胎。鉄絵で胴の片面に竹文、もう片面に菊花文を配す。文様は深く濃い発色で、筆の勢いが感じられる。総体に透明釉をかける。底には砂が付着している。		

110　名称	飴釉刻文壺（あめゆうこくもんつぼ）	品　　質	磁製
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	朝鮮時代・19世紀	寸 法 等	高14.2cm　口径8.5cm　高台径8.8cm
作品概要	硬質白磁胎。筒形で肩と裾を斜めに面取りした壺で、胴部に線状の文様を刻んでいる。総体に飴釉をかける。釉にはムラがある。		

111　名称	白磁水滴（はくじすいてき）	品　　質	磁製
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	朝鮮時代・15～16世紀	寸 法 等	高4.5cm　最大幅6.4cm　底径4.0×4.0cm
作品概要	硬質白磁胎。直方体の水滴であるが、それぞれの辺の長さが微妙に異なるため、天面、側面がそれぞれ斜めに傾いている。天面中央に小さな孔が空いており、側面の一方に注口が付く。総体に透明釉をかける。底には低く四角い高台が付く。		

112　名称	加彩文官俑（かさいぶんかんよう）	品　　質	加彩陶
作 者 等		員　　数	1軀
時　　代	北魏時代・6世紀	寸 法 等	高58.3cm 幅10.7cm 奥行6.5cm
作品概要	副葬用の人物俑。前後の合范により体躯と頭部を成形し、内部は中空とする。体側面後方は縦方向のヘラケズリを施したのち、ユビナデで整える。衣文は線刻によってあらわす。肌には薄桃色の顔料を、衣には朱色の顔料を塗布する。一部に白下地と橙色の顔料がみえる。頭には小冠と籠冠を重ね、顎をひき、ややうつむき加減で前方をみつめる。広袖の衣を右衽に身に着け、長裙を重ね、腰で締めた帯は正面で垂下する。右腕は体側面にあて、左腕はやや肘を曲げ、手を帯の脇に置く。 体躯を扁平に作るのは洛陽遷都後の北魏俑の特徴であるが、本作は扁平に作りながらも側面からみると前後への量感が現れ始めている点を指摘できる。この特徴から本作は520年代半ば頃の制作と判断される。		

113　名称	黒釉合子（こくゆうごうす）	品　　質	陶製
作 者 等		員　　数	1合
時　　代	唐～五代・9～10世紀	寸 法 等	高4.0cm　径5.6cm　高台径3.3cm
作品概要	茶色の陶胎。蓋の天面を面取りした小合子で、底は高台を削り出している。つやのある黒釉をかけるが、蓋裏と身の合口、立ち上がり、また底は裾から露胎とする。		

114　名称	青磁輪花小杯（せいじりんかしょうはい）	品　　質	青磁
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	五代・10世紀	寸 法 等	高5.6cm　口径8.3cm　高台径4.2cm
作品概要	白色硬質胎。10弁の輪花形の小杯で、見込みは深く、口縁にかけて薄づくりである。青磁釉は淡い草緑色を呈する。内底に俗に鏡と呼ばれる円圏が設けられ、高台は撥状に開いて立つ。高台脇を一段削っている。総釉で畳付のみ釉を拭っている。		

＜東洋考古＞(7件)

115　名称	星雲文鏡（せいうんもんきょう）	品　　質	銅鋳製
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	前漢時代・前2世紀	寸 法 等	径10.8cm
作品概要	円形鏡。地金はにぶい暗灰色を呈する。鏡背の中央に連峰鈕を設ける。鈕座は円環座で、その周囲を16個からなる連弧文がめぐる。内区は四乳を四隅に配して画面をゆるやかに四分し、それぞれに五個一組からなる乳状突起群を左右対称に規則的に配列し、これらを列ねるように突線状の雲気がめぐる。鏡縁には16個からなる連弧文をめぐらせる。 乳状突起とこれを突線がつなぐ意匠は星雲文と呼ばれ、前漢時代に隆盛した。本品は乳状突起の配列が規則的であり、定型化した段階の星雲文鏡のすがたをよく示す。		

116　名称	「昭明」連弧文鏡（「しょうめい」れんこもんきょう）	品　　質	銅鋳製
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	前漢時代・前1世紀	寸 法 等	径9.7cm
作品概要	円形鏡。地金はにぶい灰白色を呈する。鏡背の中央に半球鈕を設け、円環形の鈕座を据え、その外縁から三条の輻射文と一条の輻射文が交互に四つずつ派生し、その先端は12個からなる連弧文と接続する。平縁の鏡縁までの空間は、斜行櫛歯文帯で挟まれた銘帯とする。		

117　名称	虺龍文鏡（きりゅうもんきょう）	品　　質	銅鋳製
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	前漢時代・前1世紀	寸 法 等	径13.2cm
作品概要	円形鏡。地金はにぶい灰白色を呈する。鏡背の中央に半球鈕を設け、鈕座は四葉文の変形である十二連珠文とし、圏帯を伴う。平縁の鏡縁までの空間は斜行櫛歯文帯で挟まれた文様帯とし、四方向に乳を配して場面をゆるやかに四文してその合間にS字形の虺龍文をあらわす。それぞれの虺龍文には1羽から3羽の鳥文がいずれも鏡縁を天、鈕を地とした側面形で計8羽配される。鏡縁は厚みのある平縁とする。		

118　名称	獣帯鏡（じゅうたいきょう）	品　　質	銅鋳製
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	前漢時代・前1世紀	寸 法 等	径13.1cm
作品概要	円形鏡。地金はにぶい灰白色を呈する。鏡背中央に半球鈕を設け、鈕座は四葉座で圏帯を伴う。四葉座の葉間に長宜子孫の4字を陽鋳する。内区は斜行櫛歯文で挟まれた文様帯とし、四方に配した乳が場面をゆるやかに四分して白虎、青龍、朱雀、羽人などを細線であらわす。周縁には複線波文帯がめぐる。		

119　名称	海獣葡萄鏡（かいじゅうぶどうきょう）	品　　質	銅鋳製
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	唐時代・8世紀	寸 法 等	径11.7cm
作品概要	円形鏡で鏡縁はわずかに内傾しながら立ち上がる。地金は黒灰色を呈する。 鏡背の中央に伏獣鈕を設ける。円形の界圏で内外区を分かつ。内区は葡萄唐草文を地文とし、鈕のまわりでは顔を上方に向けた俯瞰形の狻猊4頭が反時計回りに回遊するさまを表す。外区も葡萄唐草文を地文とし、様々な姿勢の鳥12羽と蝶1匹を表す。 外縁帯にも地文の葡萄唐草文が及んでいる。		

120　名称	宝相華八稜鏡（ほうそうげはちりょうきょう）	品　　質	銅鋳製
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	唐時代・8世紀	寸 法 等	径12.1cm
作品概要	八稜鏡。地金は黒灰色を呈する。 鏡背の中央に半球鈕を設ける。鈕座はなく、円形の段差で内外区を分かつ。内区には花文を方形にまとめた宝相華文を鈕を取り囲むように5つ配置する。 外区には稜に対応するように、側面形の蝶と花枝を交互に配す。		

121　名称	牡丹文四花鏡（ぼたんもんしかきょう）	品　　質	銅鋳製
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	遼～金時代・10～13世紀	寸 法 等	縦11.8cm　横11.6cm
作品概要	四花鏡。地金は黄土味がかった暗灰色を呈する。鏡背の中央に小さな半球鈕を設ける。鈕座はなく、鏡背面は平坦な浮彫風の牡丹文を敷き詰め、周囲を連珠文で囲繞する。鏡縁は薄い平縁とする。		

＜黒田記念館収蔵品＞(1件)

122　名称	焚火（たきび）	品　　質	板、油彩
作 者 等	黒田清輝（1866～1924）筆	員　　数	1面
時　　代	大正3年（1914）頃	寸 法 等	縦34.6cm×横26.0cm、額寸：縦53.0cm×横45.0cm×厚4.5cmcm
作品概要	畑で積み藁を背に農婦が焚火をする様子を、俯瞰的に描き出している。画面右下にあるサインは、大正3年の作である《田園の夏》（東京国立博物館蔵）と類似し、古郡静子氏がこの作品を譲り受けた大正3年12月からそう遡らない時期に描かれたものであろう。大正期の黒田は鎌倉材木座の別荘を拠点として、農村風景をよく描いた。大正3年の第8回文展に出品した《其日のはて》（焼失）のような大作もある一方で、粗いタッチで身辺の印象をまとめた小品も多く残されている。本作品も別荘近辺の鄙びた光景に感興を覚えスケッチ風に仕上げた、後年の黒田らしい佳品といえよう。		

（２）編入（61件）

＜彫刻＞1件、＜金工＞5件、＜漆工＞5件、＜考古＞13件、＜民族資料＞1件、＜東洋民族＞5件、

1～30　名称	ロザリオ残欠　ほか（ろざりおざんけつ　ほか）	員　数	30件
作品概要	過去に列品として登録されていたが、種々の事由により台帳から削除された作品のうち、令和4年度から令和5年度に行った列品情報調査の結果、存在が確認された作品30件。		

＜染織＞(20件)

31　名称	振袖　紅地蜀江模様（ふりそで　べにじしょっこうもよう）	品　質	金襴（絹、金箔糸）
作 者 等		員　数	1領
時　代	江戸時代・18～19世紀	寸 法 等	身丈129.0cm、肩幅67.0cm、袖幅31.5cm
作品概要	変わり蜀江文を織り出した紅地金襴で仕立てた振袖である。衽のない特殊な形式で、身八つ口がある。背縫いはないことから織り幅の広い金襴を使用して仕立てられたことがわかる。裏地は後代のもので、能装束を仕立て替えて振袖とした可能性が考えられる。		

32　名称	夜着　浅葱紗綾地竹破れ檜垣模様（よぎ　あさぎさやじたけやぶれひがきもよう）	品　質	紗綾（絹）、友禅、描絵
作 者 等		員　数	1領
時　代	江戸時代・18世紀	寸 法 等	身丈162.0cm、裄66.5cm
作品概要	夜着は、着物の形状をした江戸時代の掛布団である。本来は表地と裏地の間に分厚く中綿が入るが、現状では除かれ、表地のみの状態となっている。補修及び仕立替えされた痕があり、背縫いの部分の模様がずれる。生地は紗綾（平地経四枚綾）で、卍繋ぎを地紋とし、その間に牡丹や柘榴の折枝文を散らした模様を織り出す。伝存する夜着の多くは友禅染で吉祥模様を表わすことが多い。本作例では、浅葱に染めた地に白上げにより竹文と破れ檜垣を大胆に表わし、墨による描線と色挿し及び暈しにより細部を描写している。		

33　名称	羽織　茶縮緬地龍丸模様（はおり　ちゃちりめんじりゅうまるもよう）	品　質	紋縮緬（絹）、錦（絹）、金襴（絹）、天鵞絨（絹）、縮緬（絹）、平絹
作 者 等		員　数	1領
時　代	江戸時代・18～19世紀	寸 法 等	身丈120.0cm、裄64.0cm
作品概要	広袖で裾に襞を設けた道服の形状に似た羽織である。身頃の表地は大柄の龍丸文を織り出した紋縮緬で、袖に白・浅葱・青緑の三色の縮緬で襞を付け、さらに小桜文を織り出した藍地金襴で縁取る。袖口には括り緒を付け、天鵞絨地を用いて丸に十字紋の三つ紋とする。身頃と襞の堺に蜀江文様の錦を用い、背中央と前身頃の両端に平紐で抱きあわじ結びの菊綴を縫い付ける。衿先は雲状に裁断し、衿下に紺と金撚糸を合わせた垂れ紐を付ける。裏地は藍地繻珍の蜀江文様、襞は浅葱地に経繻子で卍繋ぎを地紋とし、全体に菊様の花葉模様を配した豪奢なものである。本品は紋縮緬や錦など舶来の中国産の華やかな裂をふんだんに用いており、家紋が入ることから、武家で行事の際に使用された特別な装束と考えられる。		

34　名称	上衣・袴　朱紅地立涌日輪扇龍丸模様（うわぎ・はかま　しゅこうじたてわくにちりんおうぎりゅうまるもよう）	品　質	繻珍（絹）、革、平絹
作 者 等		員　数	1具
時　代	江戸時代・19世紀	寸 法 等	上衣：身丈92cm、肩幅55.5cm、袖幅38cm、袴：丈81.5cm、腰幅39.5cm
作品概要	上衣の表地は紅の繻子地に地絡・全越で箔糸と緑や白の絵緯糸を織り入れ、向かいあう日輪扇紋と龍丸文を入れた立涌文を表わしている。衿はやや特殊な形式の盤領とし緑の飾り紐で縁取る。衿と身頃の間に紐を縫い込み、黒・黄・臙脂・藍に染めた円状の革を縫い付け、上方の革に日の丸扇紋を摺箔で表した凝った意匠である。肩には白平絹の紐が垂れる。袖付け部分は前方が開き、縁を衿と同じ飾り紐で縁取る。袖と裾には、円周に沿って藍地の蝦夷錦を短冊状に縫ったものを縫い付け、袖口に左右縒の括り緒を付ける。さらに腰を淡茶の柔らかい革で巻いた上に、青緑の撚糸で千鳥掛にする。裏地は萌黄平絹である。袴の表地は上衣と共通し、股の開きがなく、菊綴が２個附属する。豪奢で特殊な形状から、武家において行事の際にあつらえられた特別な装束と考えられる。		

35　名称	陣羽織　紅緞子地唐花模様星梅鉢紋付（じんばおり　べにどんすじからはなもようほしうめばちもんつき）	品　質	緞子（絹）、繻子（絹）
作 者 等		員　数	1領
時　代	江戸時代・18世紀	寸 法 等	身丈98.5cm、裄57.0cm
作品概要	陣羽織は、武士が鎧の上から着用する上着である。表地、襟、紋に用いられる緞子は、すべてヨーロッパ風の唐花模様を大きく織り出した華やかなものである。裏地は鮮やかな黄の繻子地を用いる。背に星梅鉢紋の切付がある。		

36　名称	火事頭巾　黒精好地波模様（かじずきん　くろせいごうじなみもよう）	品　質	精好（絹）、羽二重（絹）、繻珍、縮緬（絹）
作 者 等		員　数	1頭
時　代	江戸時代・19世紀	寸 法 等	丈95.0cm、幅60.0cm
作品概要	武家女性が火事に備えてあつらえた一具の装束の内、頭巾である。表地は鉄媒染が酸化し、裂損が進み剥落しているが、黒地の精好と羽二重を用い、下辺に白地繻子を切り付け、大きく波を表わしている。額は白縮緬と雲龍文の紅地繻珍により華やかに飾る。		

37　名称	唐織　紫地鶴松竹梅模様（からおり　むらさきじつるしょうちくばいもよう）	品　質	唐織（絹）
作 者 等		員　数	1領
時　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	身丈168.5cm、裄60.0cm
作品概要	松竹梅に鶴の模様を織り出した唐織である。裾に袵がついていた縫い痕があり、元は打掛であった可能性がある。江戸時代の様式化された唐織の意匠とは異なり、色合いも化学染料の発色であることから、大正期に制作された衣装と考えられる。		

38　名称	唐織　龍菊牡丹模様（からおり　りゅうきくぼたんもよう）	品　　質	唐織（絹、平銀糸）
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	身丈139.0cm、肩幅64.5cm、袖幅32.0cm
作品概要	蜀江文の地紋に、龍丸文、菊文、牡丹文、宝尽文などを表わした唐織である。経三枚綾地に平銀糸を地絡で押さえ、半越の三枚綾綴じで地紋を織り出し、萌黄や黄の絵緯糸を半越に入れ、浮文を織り出す。平銀糸と絵緯糸は全通となるため裏に糸が浮き、擦れにより糸が切れた個所が散見される。組織としては唐織といえるが、いっぱんに龍丸文は男性役の能装束（厚板）に、菊や牡丹のような植物文は女性役の能装束（唐織）に用いられ、ともに表わされる点が珍しく、蟻先の尖らせ方もやや唐突である。江戸時代に固定化された能装束の形式とは異なることから、幕藩体制が崩壊した影響で低迷期にあった近代の能装束と考えられる。		

39　名称	厚板　紫地飛鶴模様（あついた　むらさきじひかくもよう）	品　　質	表地：繻珍（絹）、裏地：平絹
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	身丈158.5cm、裄72.5cm
作品概要	仕立ての形式から、能装束の厚板と考えられる衣装である。紫繻子地に平金糸、白・茶・青緑・青紫などの鮮やかな絵緯を織り入れた繻珍を表地として用い、飛鶴模様を全面に表わし、それぞれの鶴の内部を埋めるように片輪車文や花菱文を表わす。裏地は紫の平絹とする。化学染料によるとみられる色彩や帯地に用いられることが多い地質など、江戸時代の厚板に用いられる典型的な織物とは異なることから、幕藩体制が崩壊した影響で低迷期にあった近代の能装束とみられる。		

40　名称	厚板　緑白段雲龍模様（あついた　みどりしろだんうんりゅうもよう）	品　　質	厚板（絹）
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	身丈166.0cm、裄71.0cm
作品概要	経糸を緑と白で段で締め切りに染め分け、卍繋ぎと毘沙門亀甲の地紋を金箔糸で織り出す。緯糸には黒・朱・黄・浅葱・桃色などの絵緯糸を織り入れて縫取織とし、雲文や龍文を浮文で織り出している。技法としては唐織に近いが、龍文など男性的な意匠が用いられており、能装束の厚板として用いられたものであろう。鮮やかな化学染料の色合いが際立ち、江戸時代に固定化された能装束とはやや特徴が異なることから、幕藩体制が崩壊した影響で低迷期にあった近代の能装束と考えられる。		

41　名称	長絹　萌黄地車輪矢車模様（ちょうけん　もえぎじしゃりんやぐるまもよう）	品　　質	紋絽（絹）
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	江戸時代・19世紀	寸 法 等	身丈121.0cm、裄117.5cm
作品概要	広袖で衽のない形式の上衣であることから能装束の長絹であろう。長絹はもともとは公家装束の１つであったが、能が流行した室町時代には、主に舞を舞う女性役が着用し、江戸時代には絽や紗の薄物が好んで用いられた。本品は、表地は平金糸を緯三枚綴じにし、網代文を地に互の目に矢車文と車輪文を配した紋絽である。模様の様式や色合いから、女性役よりもむしろ、優雅な男性役に用いられたものであろう。現状では、袖の露や胸紐は欠損する。		

42　名称	長絹　白紗地松鶴模様（ちょうけん　しろしゃじまつつるもよう）	品　　質	紗（絹）、縫取織
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	身丈106.5cm、裄93.0cm
作品概要	白地の紗に、松を啄ばむ鶴と青海波が平金糸と緑の絹糸による縫取織で表されている。袖には紫の露が付く。このような広幅の上衣である長絹は、江戸時代には能装束として主として女性役の上衣として用いられた。絽や紗の薄物が好まれ、舞を舞う際に広袖が軽やかに翻る効果が求められた。本作品は模様や用いられる織の技法など江戸時代に固定化された長絹の形式とはやや異なることから、幕藩体制が崩壊した影響で低迷期にあった近代の能装束とみられる。		

43　名称	狩衣　萌黄地桜模様（かりぎぬ　もえぎじさくらもよう）	品　　質	金襴（絹、金箔糸）、更紗（木綿・型染）、平絹
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	江戸時代・19世紀	寸 法 等	身丈111.0cm、肩幅37.5cm、袖幅67.0cm
作品概要	狩衣は、本来宮廷貴族の男性が狩りや旅などの活動的な外出着とした略装であるが、本品は派手やかな金襴の大柄な模様であることから、能装束として用いられた狩衣と考えられる。能においては、金襴の狩衣は天皇や大臣などの高位の人物や神を示す装束として用いられる。本品は前丈に対して後丈が短く、表地は緑地金襴（経繻子、別絡、全越）で小桜紋を地に大柄の桜文を規則的に織り出す。裏地は袖部分は紅地平絹、身頃は花葉模様のヨーロッパ更紗であり、更紗は後補と考えられる。		

44　名称	狩衣　紫地網代竹模様（かりぎぬ　むらさきじあじろたけもよう）	品　　質	金襴（絹、金箔糸）
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	江戸時代・18～19世紀	寸 法 等	身丈131.5cm、裄106.0cm、肩幅43.0cm、袖幅84.0cm
作品概要	狩衣は、本来宮廷貴族の男性が狩りや旅などの外出着として工夫された装束であるが、本品は大柄できらびやかな金襴で仕立てられていることから、能装束として用いられた狩衣と考えられる。能においては、金襴の狩衣は天皇や大臣などの高位の人物や神の役に用いられる装束として用いられる。現状では、袖の括り緒が欠け、前身頃の胸元から首元の受緒にかけて斜めに裁断されるなど、やや変則的な形式となる。表地は紫地金襴（経繻子、別絡、全越）で網代文を地に大柄の竹文を散らした模様を織り出し、裏地は紫地平絹とする。		

45　名称	直垂　黒精好地鶴亀松模様（ひたたれ　くろせいごうじつるかめまつもよう）	品　　質	精好（絹）、平絹、型染
作 者 等		員　　数	1具
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	身丈90.3cm、裄98.0cm、袴：丈108.0cm、腰幅39.5cm
作品概要	黒精好地に型染で鮮やかに鶴、亀、松を染めた直垂である。本来、直垂とは鎌倉時代以降、武家の礼装である上下一対の装束であり、本品もその様式を踏襲するものであるが、その鶴亀紋を配した典型的なデザイン様式から、能「三番叟」に用いられた装束と考えられる。その一方で、江戸時代の様式化された直垂と異なり、鶴が阿吽形となっていない点、能・狂言で用いられる素襖に五つ紋で表される雪輪に薺紋が染められている点、袖に露が欠けている点、胸紐が革でなく茶色平絹となるなど、直垂と素襖が合体し、あるいは伝統的な様式が簡略化されたような点が見られる。江戸時代に固定化された能・狂言の装束とは特徴が異なることから、幕藩体制が崩壊した影響で低迷期にあった近代の能装束と考えられる。		

46　名称	側次　白平絹地波濤模様摺箔（そばつぎ　しろへいけんじはとうもようすりはく）	品　　質	平絹、金襴（絹、金箔糸）、摺箔（銀）
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	江戸時代・18～19世紀	寸 法 等	身丈69.0cm、肩幅50.0cm
作品概要	両脇裾に欄を設けた側次の形状をしており、小ぶりであることから子方の衣装と考えられる。表地は白平絹地に銀の摺箔で波濤文を表す。雲龍宝尽文の金襴（S流れ経三枚綾地、別絡、全越、平金糸は紙胎で地緯糸よりやや細い）で衿と腋を縁取り、裏地は木綿とする。おそらくは、能装束の着付として用いられる摺箔を子方向けに仕立替えたものであろう。		

47　名称	掛袱紗　地紙散模様（かけふくさ　じがみちらしもよう）	品　　質	塩瀬（絹）、描絵、刺繍
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	長65.0cm、幅72.0cm
作品概要	掛袱紗とは、江戸時代、慶事などの贈与品の上を覆うように掛けて贈るために用いられ、刺繍や描き絵などで美麗に装飾がなされた正方形に近い形状の覆い布である。本品は白の塩瀬地に地紙を散らした模様で、地紙は金撚糸で輪郭を縁取り、松や波などの描絵を施している。江戸時代の様式を踏襲しているが、描き絵には、円山風、光琳風、など大正期に流行した復古的な模様を盛り込んだような要素がみられる。		

48　名称	僧帽　白地龍麒麟亀甲模様（そうぼう　しろじりゅうきりんきっこうもよう）	品　　質	縫取織(絹)
作 者 等		員　　数	1頭
時　　代	江戸時代・19世紀	寸 法 等	丈90.0cm、幅20.5cm
作品概要	頭頂がとがった形状の僧帽である。表地を経緯共に白糸の粗い平織りを地に、平金糸や絵緯を縫取で織り込んだ錦とし、裏地に紫平絹を用いる。頭頂部が触れる部分には墨書のある反故紙を重ねている。表地では、11.5cm程度の文丈の中に、龍、麒麟、亀甲形の中に松や波千鳥を配し、宝尽文などさまざまな模様を段で表わす。		

49　名称	打敷　淡紅縮緬地刺子（うちじき　うすべにちりめんじさしこ）	品　　質	縮緬（絹）、友禅染、刺子
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	長60.5cm、幅96cm
作品概要	地となる裂は、友禅染や型鹿子で模様を染めた着物の裂を接ぎ合わせ、その上から緑・白・朱・浅葱・黒の順に縞となるよう、S撚の糸を二本取りにして刺している。華やかな色糸を縞模様に表わした刺し子はあまり例を見ないが、様々な端切れを接ぎ合わせて長方形に仕立てた形状から、寺院で用いられる打敷と考えられる。		

50　名称	淡茶縮緬無地単衣（うすちゃちりめんむじひとえ）	品　　質	縮緬（絹）
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	大正時代・20世紀	寸 法 等	身丈134.5cm、裄62.5cm
作品概要	淡茶地の縮緬を用いた男性用の単衣であり、仕立てに明治後期から大正期にかけての近代的な形状がみられる。反物の織り終わりの部分を利用した尻当てがつく。両織耳の経糸に黒糸を織り入れて処理している。		

＜考古＞(11件)

51　名称	石匙（いしさじ）	品　　質	石製（頁岩）
作 者 等	岩手県陸前高田市広田町 中沢浜貝塚出土	員　　数	1個
時　　代	縄文時代(後～晩期)・前2000～前400年	寸 法 等	長2.4cm 幅2.6cm 厚0.6cm
作品概要	石匙は縄文時代を通して製作された携帯用加工具である。剥片の端部につまみ状の抉入部を作り出し、それ以外の縁辺を細部調整により刃部に仕上げている。		

52　名称	石匙（いしさじ）	品　　質	石製（頁岩）
作 者 等	岩手県大船渡市三陸町（港浜）出土	員　　数	1個
時　　代	縄文時代（早期）～（晩期）・前7000～前400年	寸 法 等	長7.2cm 幅2.7cm 厚1.4cm
作品概要	石匙は縄文時代を通して製作された携帯用加工具である。剥片の端部につまみ状の抉入部を作り出し、それ以外の縁辺を細部調整により刃部に仕上げている。		

53　名称	凹石（くぼみいし）	品　　質	石製（緑泥片岩）
作 者 等	出土地不詳	員　　数	1個
時　　代	縄文時代（前期～晩期）・前4000～前400年	寸 法 等	長10.0cm 幅6.0cm 厚4.5cm
作品概要	凹石は縄文時代の堅果類を粉砕するために用いられた道具。表面には四ヶ所の凹みが確認できる。本例は縄文時代の祈りの道具である石棒が役目を終えて破砕されたのちに、その破片を転用して凹石の素材として再利用したものである。縄文時代の道具のライフヒストリーを考えるうえでも重要な作品である。		

54　名称	礫器（れっき）	品　　質	石製（砂岩）
作 者 等	出土地不詳	員　　数	1個
時　　代	縄文時代（早期）～（晩期）・前7000～前400年	寸 法 等	長7.2cm 幅8.0cm 厚2.6cm
作品概要	礫器は縄文時代の木材等の加工に用いられた道具。円礫の一端を両面から打ち欠き、刃部を作出している。		

55　名称	敲石（たたきいし）	品　　質	石製（安山岩）
作 者 等	出土地不詳	員　　数	1個
時　　代	縄文時代（早期）～（晩期）・前7000～前400年	寸 法 等	長6.3cm 幅5.8cm 厚3.1cm
作品概要	敲石は石器製作や堅果類の粉砕のためのハンマーとして用いられた道具で、縄文時代を通して使用された。自然の円礫をそのまま用い、打ち割りの際に対象に接触した箇所に痘痕状の使用痕が確認できる。		

56　名称	石錘（せきすい）	品　　質	石製
作 者 等	出土地不詳	員　　数	8個
時　　代	縄文時代（早期）～（晩期）・前7000～前400年	寸 法 等	①ホルンフェルス製 長6.1cm 幅4.6cm 厚1.0cm ； ②ホルンフェルス製 長11.3cm 幅5.4cm 厚1.5cm ； ③泥岩製 長5.3cm 幅3.8cm 厚1.8cm ； ④泥岩製 長6.7cm 幅4.4cm 厚2.2cm ； ⑤砂岩製 長7.7cm 幅4.8cm 厚1.3cm ； ⑥砂岩製 長6.7cm 幅5.6cm 厚2.0cm ； ⑦泥岩製 長5.0cm 幅4.2cm 厚1.3cm ； ⑧礫岩製 長7.1cm 幅5.2cm 厚1.3cm
作品概要	石錘は縄文時代の漁労に用いられた石製の錘。扁平礫の両端を打ち欠いた「打欠石錘」（①・②・⑤・⑥・⑧）、溝状の切れ目を入れた「切目石錘」（③・④・⑦）がある。		

57　名称	石鏃（せきぞく）	品　　質	石製（チャート）
作 者 等	愛知県名古屋市熱田区高蔵町　高蔵遺跡出土	員　　数	1個
時　　代	弥生時代(中～後期)・前2～後3世紀	寸 法 等	長2.4cm 幅1.3cm 厚0.7cm
作品概要	石鏃は縄文時代から弥生時代にかけて用いられた狩猟具である。押圧剥離により全体の形状を整え、柄に装着するための基部を作出している。		

58　名称	ヤス状刺突具残欠（やすじょうしとつぐざんけつ）	品　　質	骨製（シカ）
作 者 等	愛知県名古屋市熱田区高蔵町 高蔵遺跡出土	員　　数	1個
時　　代	弥生時代(中～後期)・前2～後3世紀	寸 法 等	長4.5cm 幅1.1cm 厚0.7cm
作品概要	ヤス状刺突具は柄の先端に装着して用いる漁労具である。全面を研磨し、先鋭な先端部および基部付近に逆刺を作出している。断面形状は扁平となる。		

59　名称	磨製石斧・打製石斧（ませいせきふ・だせいせきふ）	品　　質	石製（凝灰岩）
作 者 等	南樺太 鈴谷川　鈴谷貝塚出土	員　　数	7個
時　　代	鈴谷文化期・前4～6世紀	寸 法 等	①緑色凝灰岩製 長12.5cm 幅5.6cm 厚1.8cm ； ②凝灰岩製 長11.2cm 幅5.6cm 厚2.9cm ； ③凝灰岩製 長10.1cm 幅5.1cm 厚1.5cm ； ④緑色凝灰岩製 長7.3cm 幅4.6cm 厚1.5cm ； ⑤凝灰岩製 長7.8cm 幅4.2cm 厚1.7cm ； ⑥凝灰岩製 長8.0cm 幅3.9cm 厚1.6cm ； ⑦緑色凝灰岩製 長6.1cm 幅3.7cm 厚1.6cm
作品概要	鈴谷文化期の磨製石斧および打製石斧である。磨製石斧は刃部が磨き上げられた石斧で、樹木の伐採などに用いられた木材伐採具・加工具。打製石斧は全体を打ち割りによって製作した掘削具で、地面を掘り下げた竪穴住居や根茎類の採集に使用されたと考えられる。		

60　名称	尖頭器（石銛）（せんとうき（いしもり））	品　　質	石製（凝灰岩、頁岩、チャート）
作 者 等	南樺太　亜庭湾　南貝塚（ソロイヨフカ遺跡）出土	員　　数	6個
時　　代	南貝塚文化期・9～12世紀	寸 法 等	①凝灰岩製 長5.2cm 幅2.2cm 厚0.9cm ； ②頁岩製 長5.4cm 幅2.6cm 長0.6cm ； ③チャート製 幅4.7cm 厚2.2cm 長0.8cm ； ④凝灰岩製 幅4.3cm 厚2.3cm 横0.7cm ； ⑤凝灰岩製 長6.9cm 幅2.6cm 厚1.2cm ； ⑥チャート製 長6.4cm 幅2.6cm 厚1.0cm
作品概要	南貝塚文化期の尖頭器（石銛）である。オホーツク文化では漁労や海獣狩猟が生業の中心で、本例も漁労具として使用された。		

61　名称	尖頭器（石銛）・石鏃（銛先鏃）（せんとうき（いしもり）・せきぞく（もりさきぞく））	品　　質	石製（凝灰岩、チャート、頁岩、玉髄）
作 者 等	南樺太　亜庭湾　南貝塚（ソロイヨフカ遺跡）出土	員　　数	7個
時　　代	南貝塚文化期・9～12世紀	寸 法 等	①凝灰岩製 長9.8cm 幅5.3cm 厚2.4cm ； ②凝灰岩製 長6.5cm 幅3.2cm 厚1.2cm ； ③凝灰岩製 長5.2cm 幅2.1cm 厚0.7cm ； ④玉髄製 長5.3cm ； ④凝灰岩製 幅1.9cm 厚0.7cm ； ⑤凝灰岩製 長3.6cm 幅1.7cm 厚0.5cm ； ⑥凝灰岩製 長3.2cm 幅1.6cm 厚0.4cm ； ⑦玉髄製 長2.6cm 幅1.0cm 厚0.3cm
作品概要	南貝塚文化期の尖頭器（石銛）、石鏃（銛先鏃）である。南貝塚文化期は漁労や海獣狩猟が生業の中心で、本例も漁労具として使用された。		

【京都国立博物館】（計485件）

（１）購入（16件）

＜絵画＞（4件）

1　名称	重要美術品　山水図（じゅうようびじゅつひん　さんすいず）	品　　質	紙本墨画淡彩
作 者 等	江西龍派・心田清播賛　伝周文筆	員　　数	1幅
時　　代	室町時代　15世紀	寸 法 等	98.5×42.5
作品概要	現存数のごく少ない15世紀前半の詩画軸の中でも、周文様式を正しく伝える極めて希少な数点のうちの1つとしてよく知られるもの。同時代を代表する建仁寺の詩僧、江西龍派・心田清播の自筆の賛も備わる。京都にありながら正系の周文様式の作例を1点も有しない当館において、中世水墨画展示のコアとなり得る優品。上野家旧蔵品。		

2　名称	山水図（さんすいず）	品　　質	紙本墨画淡彩
作 者 等	鑑貞筆	員　　数	1幅
時　　代	室町時代　16世紀	寸 法 等	115.0×31.9
作品概要	16世紀前半の南都で活躍した画僧、鑑貞の山水図（瀟湘八景図対幅の左幅か）で、小品中心に30点ほど見出されている鑑貞画の中でも大きく、描き込み入念な円熟期の優品である。鑑貞は、狩野派や雪舟派が広く活躍した戦国期の画壇を知る上で重要な存在で、その基準作の一つである本作は、当館の中世水墨画展示において活用機会が多々見込まれる。		

3　名称	八尾狐図（やおのきつねず）	品　　質	紙本著色
作 者 等	狩野探幽筆	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代　寛永14年（1637）	寸 法 等	縦109.3cm　横56.3cm
作品概要	徳川家光が夢に見た狐を、狩野探幽に描かせたことが史料上から判明する稀有な作品である。家光自筆の日付および黒印、寛永寺開山天海筆の年号、さらに浅草寺別当忠尊の裏書をともなう。将軍およびその側近と御用絵師との関係を示す点できわめて貴重であり、歴史的意義も高い重要作品である。		

4　名称	源氏物語　葵絵巻（げんじものがたり　あおいえまき）	品　　質	紙本著色
作 者 等	不詳	員　　数	6巻
時　　代	江戸時代　17世紀	寸 法 等	第一巻　縦35.4cm　長1240.4cm、第二巻　縦35.4cm　長996.7cm、第三巻　縦35.4cm　長1246.3cm、第四巻　縦35.4cm　長1248.3cm、第五巻　縦35.4cm　長1297.8cm、第六巻　縦35.4cm　長1375.6cm
作品概要	『源氏物語』本文のすべてを詞章とする、きわめて異例かつ豪華な絵巻で、古典籍収集家の杉原盛安が制作を企図したいわゆる盛安本、幻の源氏絵巻とも呼ばれる作品群の一部。六帖分が国内外に分蔵されるが、断簡となっているものも多く、六巻がまとまって伝わる点で貴重。南部家伝来。		

＜書跡＞（1件）

5　名称	古文書　附 文書袋　三点（もんじょ　つけたりもんじょぶくろ　さんてん）	品　　質	紙本墨書
作 者 等		員　　数	18通
時　　代	鎌倉～室町時代　13～16世紀	寸 法 等	細目は作品概要を参照
作品概要	鎌倉時代から室町時代にかけての古文書18通。宛所に統一性はなく、発給者は①西園寺家、②名家（日野家・柳原家など）、③外記（中原家・小槻家）に大別され、まとまりごとに紙縒りで綴じられている。それぞれに対応する文書袋が付属し、これらは加賀前田家のもので、同家により蒐集された文書群の一部であることが明らかとなった。すべてがウブなことに加え、従来、ほとんど内容が知られておらず、とくに西園寺公衡を中心とする鎌倉時代の文書は、当該期の朝儀や政治状況を知るうえで注目される。細目は以下の通り。 ●第1綴 ①西園寺公衡書状（縦33.3cm　横105.7cm）、②西園寺公衡書状（縦33.9cm　横101.9cm）、③西園寺公衡書状（縦34.3cm　横74.5cm）、④西園寺公衡書状（縦34.1cm　横81.6cm）、⑤西園寺公衡書状（縦32.3cm　横100.0cm）、⑥某書状（縦33.5cm　横95.2cm） ●第2綴 ①柳原資明書状（縦30.3cm　横95.1cm）、②日野行光書状（縦29.5cm　横44.8cm）、③土御門資家書状（縦27.6cm　横42.5cm）、④坊門信経書状（縦32.1cm　横40.2cm）、⑤後嵯峨上皇院宣（縦28.4cm　横38.4cm）、⑥柳原資明書状（縦31.0cm　横47.1cm）、⑦日野資冬書状（縦33.3cm　横48.3cm） ●第3綴 ①中原師世書状（縦29.4cm　横42.6cm）、②小槻周枝書状（縦28.1cm　横42.8cm）、③中原師象書状（縦25.5cm　横41.1cm）、④久我長通書状（縦30.4cm　横44.6cm）、⑤中原清種書状（縦32.1cm　横50.6cm）		

＜金工＞（1件）

6　名称	［重要美術品］刀　銘丹波守吉道 （かたな めい たんばのかみよしみち）	品　　質	鉄製　鍛造
作 者 等	丹波守吉道（初代）	員　　数	1口
時　　代	桃山時代　17世紀	寸 法 等	刃長75.1cm、反り1.5cm
作品概要	桃山時代の京都の刀工・丹波守吉道の手による打刀。吉道はこの時代を代表する刀工集団三品派の一人で名工の誉れが高い。本品は吉道の最高傑作として古くから知られ、唯一の重要美術品に認定されている。特筆すべきは吉道が考案した打ち寄せる波際のような刃文が明確にあらわれている点で、これは後に「簾刃」と呼称される刃文構成として定着化した。		

＜陶磁＞（8件）

7　名称	緑釉鶏頭壺（りょくゆうけいとうこ）	品　　質	施釉陶器
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	中国・隋～唐時代　6～7世紀	寸 法 等	高36.7　口径9.3×7.3　底径11.7×11.3（cm）
作品概要	注ぎ口を鶏頭にかたどった緑釉の壺である。肩部には紐を通すための小さな穴があいた耳がついている。紐孔部分は直しと思われ、当初は把手があったことが考えられる。唐時代の白磁鳳首瓶に造詣が近しいことなどから、隋から唐時代初期の頃につくられたものと推測される。底部以外掛けられた緑釉は全体に銀化している。実業家、倉橋藤治郎（1887ー1946）の旧蔵品である。		

8　名称	五彩織部写手鉢（ごさいおりべうつしてばち）	品　　質	五彩磁器
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	中国・明時代　17世紀	寸 法 等	高8.8　口径13.2×12.0（cm）
作品概要	桃山時代に焼かれた織部焼の向付を手本としてつくられたと思われる五彩手付鉢である。内外には緑と赤を基調にした幾何学的な文様や縄目文、花文などを描いている。手付の部分を緑釉でべた塗りした様子は織部焼の手付鉢を思わせる。こうした様子から織部焼の向付などを手本とし、明らかに日本からの注文によって製作されたものと考えられる。		

9　名称	五彩花卉唐草人物文鉢「大明年造」銘 （ごさいかきからくさじんぶつもんはち　「だいみんねんぞう」めい）	品　　質	五彩磁器
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	中国・明時代　16世紀	寸 法 等	高11.8　口径27.5　高台径13.1（cm）
作品概要	内面には花唐草文、外面には仙人や鳥獣を描いた五彩の鉢である。景徳鎮窯で焼かれたものと思われる。透明釉を掛けた白磁の上に赤、緑、黄の三色の上絵具を用いて文様を丁寧に描いており、底裏に青花で二重丸枠を描き、そのなかに「大明年造」の銘が記され、脇に「大」と赤絵で記している。のびのびとした筆使いで唐草文や仙人、鳥獣などが描かれており，赤、緑、黄と三色ではあるが、明るく華麗な色彩美をみせる。		

10　名称	白流彩文三足香炉（しろながしさいもんさんそくこうろ）	品　　質	施釉陶器
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	中国・金時代　13世紀	寸 法 等	高7.3　口径8.3　胴径8.6（cm）
作品概要	墨流し技法を用い、器面に白い渦状の文様を表した三足香炉である。本作の形状が中国古代青銅器の鬲(れき)の形から変化したものと思われるが、胴の形が袴をはいたようにもみえることから、日本ではこうしたものを袴腰とも呼んでいる。中国・河北省の磁州窯系の窯で焼かれたものと思われる。		

11　名称	青磁碗（せいじわん）	品　　質	青磁
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	中国・唐時代　8～9世紀	寸 法 等	高3.8　口径15.1　高台径6.3（cm）
作品概要	中国・浙江省の越州窯系の窯で焼かれた青磁碗である。本作のように高台から口縁にかけて直線的に開き、大きめの高台を持つ青磁碗は、越州窯系の窯で数多く生産されており、平城京、平安京や太宰府などにおいて出土が確認されており、生産された時期とそれほど差がなく日本へももたらされていることがわかる。		

12　名称	青磁輪花碗（せいじりんかわん）	品　　質	青磁
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	中国・唐時代　9～10世紀	寸 法 等	高4.1　口径14.1×14.3　底径4.9（cm）
作品概要	中国・浙江省の越州窯系の窯で焼かれた輪花形の青磁碗である。本作は高台から口縁にかけてやや膨らみをもって開いており、口縁は輪花形となっている。日本国内においても、平城京、平安京や太宰府などにおいても輪花形の青磁碗の出土が確認されており、前述の青磁碗と同様に、生産された時期とそれほど差がなく日本へももたらされていることがわかる。この種の青磁が喫茶に用いられていたことについての確証はないが、中国、日本においても喫茶の場において茶碗として用いられていた可能性は考えられる。		

13　名称	青磁唾壺（せいじだこ）	品　　質	青磁
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	中国・唐時代　9～10世紀	寸 法 等	高11.3　口径14.6（cm）
作品概要	中国・浙江省の越州窯系の窯で焼かれた青磁唾壺である。国内では平城京、大宰府などにおいて出土事例がみられ、平成24年の調査で福岡県筑紫野市の堀池遺跡の平安時代の墓から、副葬品として完形の唾壺が出土しているが、類例は少ない。平城京や各地の官衙などからは、本作のような越州窯系青磁唾壺を写したと思われる緑釉陶器製の唾壺の出土がみられており、奈良時代、平安時代において唾壺が重要な調度品であったことが裏付けられる。		

14　名称	三彩枕（さんさいまくら）	品　　質	施釉陶器
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	中国・唐時代　8世紀	寸 法 等	高5.7　幅12.1×9.8（cm）
作品概要	小振りの唐三彩枕である。胎土は白く、精製されたものを用いている。湾曲した上面には中央と四隅に花文を丁寧に型押しし、側面には斑文を表している。平城京や藤原京、平城京などにおいて本作のような小ぶりの枕の出土もみられる。		

＜漆工＞（2件）

15　名称	象象嵌蒔絵印籠箪笥　笠翁細工 （ぞうぞうがんまきえいんろうだんす　りつおうざいく）	品　　質	木製　漆塗　象嵌　蒔絵
作 者 等		員　　数	1基
時　　代	江戸時代	寸 法 等	
作品概要	明代の版本『方氏墨譜』所収の古墨「九貢」図から採った象を、堆朱や堆黒、陶片や鼈甲の象嵌、密陀絵、漆絵、蒔絵を用いて印籠箪笥の蓋に表した典型的な笠翁細工。笠翁こと小川破笠（1663～1747）は青年期には芭蕉門下の俳人であったが50代後半に蒔絵制作者となった異例の経歴を持つ。異素材の象嵌で中国風を示す明解な様式は19世紀の欧州で人気を博したため模倣作も多く、総じて破笠作ではなく笠翁細工、破笠細工と呼ぶのが一般的となっている。		

16　名称	紋章入蒔絵飾り皿（もんしょういりまきえかざりざら）	品　　質	木製、漆塗、蒔絵
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	江戸時代	寸 法 等	直径29.7cm　高1.8cm
作品概要	江戸時代中期に来日したオランダ東インド会社の商人が、特注した輸出漆器の一例。おそらく西洋文化圏の錫製の皿の形を模した、平底の皿である。黒地に金蒔絵で、縁に四季の花鳥と楼閣山水図、見込に西洋の盾形の紋章を表す。盾の中には樹木の前を走り抜ける狐を描く。この紋章は19世紀のデ・フォス（キツネの意）家の女性が封蠟に用いた例があるが、デ・フォスは一般的な名であり、家を特定できない。しかし、ピーテル・デ・フォスという名の人物が17世紀末に二度にわたって出島の商館長を務めているため、この人物のための注文品であった可能性が高い。		

（１）寄贈（469件）

＜絵画＞（108件）

1～97 名称	チベット仏教絵画（ちべっとぶっきょうかいが）	品　　質	綿本着色ほか
作 者 等		員　　数	97件
時　　代	15～20世紀	寸 法 等	
作品概要	チベット密教研究者の北村太道氏によって収集された仏教絵画（97件）： 釈迦牟尼仏像　1幀、阿閦如来像　1幀、阿弥陀如来像　1幀、不空成就如来像　1幀、薬師如来像　1幀、文殊菩薩像　1幀、白色ターラー菩薩像　1幀、金剛薩埵像　1幀、金剛薩埵像　1幀、秘密成就馬頭像　1幀、仏頂尊勝母像　1幀、マチク・ラブドゥンマ像　1幀、外成就法王像　1幀、五世カルマパ・テシンシェクパ像　1幀、チャクラサンヴァラ六十二尊曼荼羅図　1幀、ヴァジュラバイラヴァ十三尊曼荼羅図　1幀、ヴァスダーラー曼荼羅図　1幀、チャクラサンヴァラ父母仏像　1幀、一切智毘盧遮那仏像　1幀、薬師如来像　1幀、兜率天上の弥勒菩薩像　1幀、不動尊像　1幀、六臂マハーカーラ像　1幀、ダーキニー像　1幀、ペンデンラモ像　1幀、ラクシュミー流八臂十一面観音菩薩像　イシュワリ・カルマーチャーリヤ筆　1幀、金剛手菩薩像　1幀、金剛手菩薩像　1幀、地蔵菩薩像　1幀、弥勒如来像　1幀、不動諸態像　1幀、極楽浄土図　1幀、十六羅漢渡海図　1幀、無量寿仏像（タンカ下絵）　1幀、ターラー像（白描）　1幀、ラクシュミー流十一面観音菩薩像　1幅、ターラー菩薩像　1幅、白傘蓋仏母像　1幅、白傘蓋仏母金剛三十七尊曼荼羅　1幅、金剛薩埵像　イェシェードルジェ（ギューメー密教学堂）筆　1幅、『秘密集会』阿閦金剛像　1幅、釈迦十六羅漢諸尊像　10幅、白色ターラー菩薩像　1幅、四臂観音像　1幅、三部主尊像（文殊本尊）　1幅、白色ターラー菩薩像　1幅、サチェン・ラーフラ像　1幅、五趣輪廻図　1幅、ヴァジュラバイラヴァ（ナクタン）像　1幅、カーラチャクラ（時輪金剛）像　1幅、弥勒菩薩倚像　1幅、緑色ターラー菩薩像　1幅、外成就法王像　1幅、金剛宝座図　1幅、金剛薩埵像　1面、仏伝図　1面、白色如意宝珠マハーカーラ像　1面、黄色大毘沙門天と八大夜叉大将像　1面、チャクラ図　1枚、四臂観音像（タンカ下絵）　1枚、無量寿口密曼荼羅図　1枚、四天王に囲繞された金剛薩埵曼荼羅図　1枚、九バイラヴァに囲繞された降三世曼荼羅図　1枚、八陽と二十八宿に囲繞された降三世曼荼羅図　1枚、火焔日輪業曼荼羅図　1枚、六面十二臂降三世曼荼羅図　1枚、黄色大毘沙門天と八大夜叉大将像　1枚、ラクシュミー流十一面観音菩薩像　1枚、ラクシュミー流十一面観音菩薩像　1枚、金剛界曼荼羅図　1枚、チャクラサンヴァラ父母仏像　1枚、菩薩立像　1枚、釈迦牟尼仏像　1幅、『秘密集会』阿閦金剛三十二尊曼荼羅図　1枚、サラスヴァティー像　1枚、金剛界曼荼羅図　サムテンタルチェン筆　1枚、ヴァジュラバイラヴァ十三尊曼荼羅図及び『秘密集会』阿閦金剛三十二尊曼荼羅図（キーゴンパ所伝）　4枚、ヴァジュラバイラヴァ十三尊曼荼羅図（灌頂用）　サムテンタルチェン筆　1枚、チャクラサンヴァラ六十二尊曼荼羅図（灌頂用）　サムテンタルチェン筆　1枚、『秘密集会』阿閦金剛三十二尊曼荼羅図（砂曼荼羅下絵）　1枚、ヴァジュラバイラヴァ十三尊曼荼羅図（砂曼荼羅下絵）　1枚、チャクラサンヴァラ六十二尊曼荼羅図（砂曼荼羅下絵）　1枚、阿閦九尊曼荼羅図　1枚、五趣輪廻図（木版画）　1枚、諸尊像（木版画）　7枚、ミラレーパ像（ヒマチャルプラデシュ州タシジョン・カンバガル寺版）　1枚、パドマサンバヴァ八変化（カトク・ドルジェデン版）　8枚、白傘蓋陀羅尼輪護符（木版画）　1枚、仏伝図（デルゲ版）　8枚、経板絵（ネパール）　3枚、大孔雀明妃像　1幀、パンチャラクシャー（五護陀羅尼）明妃像　1幀、金剛手菩薩像　1幀、経巻頭絵（『華厳経』）　1幀、経巻頭絵（『宝積経』）　1幀、クルクッラー十五尊三昧耶曼荼羅図　1幀、馬頭最秘密忿怒曼荼羅図（ニンマ派）　1幀、チベット医学図　6幀		

98　名称	紅玻璃阿弥陀像（ぐはりあみだぞう）	品　　質	絹本着色
作 者 等		員　　数	1幅
時　　代	南北朝～室町時代	寸 法 等	縦81cm、横35.1cm
作品概要	伝 東寺観智院		

99　名称	花鳥図（かちょうず）	品　　質	紙本著色
作 者 等	雲谷等顔筆	員　　数	1幅
時　　代	桃山時代　17世紀	寸 法 等	
作品概要	山水図の多い雲谷等顔にあって、珍しい著色の花鳥図。印章の欠損状況から慶長16年（1611）以前、画業の中後期に当たる時期の作と見られる。		

100 名称	白鷹図（はくようず）	品　　質	絹本著色
作 者 等	伝徽宗筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代　16世紀	寸 法 等	
作品概要	当館所蔵の「探幽縮図　鷹図巻」に収録される作品。探幽の外題も付属しており、当時は一定の評価を受けて流通していたことがわかる。近世における中国絵画受容の観点から興味深い作品。		

101 名称	蘇東坡・杜子美・政黄牛図 （そとうば・としび・せいおうぎゅうず）	品　　質	紙本墨画
作 者 等	狩野探幽筆	員　　数	3幅対
時　　代	江戸時代　17世紀	寸 法 等	各
作品概要	北宋の士大夫蘇東坡、唐の詩人杜甫、そして政黄牛つまり北宋の惟政禅師を描いた三幅対。政黄牛図には玉室宗珀（大徳寺147世）が、ほか2幅には江月宗玩（大徳寺156世）が着賛する。「探幽」の号を使用する以前、34歳以前の早い時期の作として貴重である。		

102 名称	柿図（かきず）	品　　質	紙本墨画
作 者 等	狩野探幽筆	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代　17世紀	寸 法 等	
作品概要	「鹿のけは 筆になりてもやすからず つひにれう紙の 上ではてけり」の賛は、連歌師の宗訊の作として江戸時代にはよく知られていた狂歌。印など検討を要する部分もある。		

103 名称	芦雁図（ろがんず）	品　　質	紙本墨画
作 者 等	狩野山雪筆	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代　17世紀	寸 法 等	
作品概要	京狩野において定番の図様を描く作品。		

104 名称	東山名所図巻（ひがしやまめいしょずかん）	品　　質	紙本著色
作 者 等	佐久間草偃筆	員　　数	1巻
時　　代	江戸時代　18～19世紀	寸 法 等	
作品概要	呉春に学んだ佐久間草偃は、京都の名勝・庭園を紹介した『都林泉名勝図会』（1799）の挿図筆者として知られる。その草偃の珍しい肉筆画で、東福寺から三十三間堂・方広寺・清水など東山一帯を中心とする社寺が描かれる。		

105 名称	住吉物語絵巻断簡（すみよしものがたりえまきだんかん）	品　　質	紙本著色
作 者 等		員　　数	1幅
時　　代	室町～桃山時代　16世紀	寸 法 等	縦17.7　横47.7
作品概要	『住吉物語』は代表的な継子いじめ譚。原態は『枕草紙』や『源氏物語』よりも古く成立しており、後世の改変を経ながら長く読み継がれた。本作は『住吉物語』を描いた絵巻の断簡で、継母に苛まれる姫君が尼（かつての乳母）の住む住吉に身を隠す場面。乳母の居宅からは淡路島が見える。天地が通常よりも小さいサイズで特殊である。奈良絵本の一種といえる。		

106 名称	闔家全慶図（こうかぜんけいず）	品　　質	絹本著色
作 者 等	滝和亭筆	員　　数	1幅
時　　代	明治33年（1900）	寸 法 等	縦141.8cm　横57.0cm
作品概要	闔家全慶とは、つがいの鶏に雛を添えて描く図のこと。一家の幸福を寓意する吉祥画題である。款記から、71歳の最晩年作とわかる。共箱に「青山博士」のために描いたことが記されているが、この青山氏とは明治天皇の侍医を務めた青山胤通のこと。明治39年に上野で行われた和亭の遺作展にも出品されている。		

107 名称	岡本梅林図巻（おかもとばいりんずかん）	品　　質	紙本墨画淡彩
作 者 等	橋本青江筆	員　　数	1巻
時　　代	明治3年（1870）	寸 法 等	縦16.0cm　長342.5cm
作品概要	江戸時代、吉野の桜、丹波の栗などと並び称された岡本の梅林を描く。水墨を主体としながら、随所に用いられた淡い色彩が美しく、初春の趣を効果的に表現した佳品。款記から、青江が師岡田半江の作品を写したものとわかる。		

108 名称	松崖懸瀑図（しょうがいけんばくず）	品　　質	紙本墨画
作 者 等	陶冷月筆	員　　数	1幅
時　　代	中華民国20年（1931）	寸 法 等	42.0×26.0
作品概要	陶冷月（1895～1985）は、油彩画を学び、中国の伝統画題と融合させた月夜の画家として知られる。本図は陶冷月の通例の作とは趣が異なるが、為書より吉川幸次郎に贈った作であることが判る。『吉川幸次郎全集』第２巻の口絵にも採用され、書中で吉川自身によって入手の経緯が明らかにされている。		

＜書跡＞（6件）

109 名称	チベット仏教経典（ちべっとぶっきょうきょうてん）	品　　質	紺紙銀字ほか
作 者 等		員　　数	一括
時　　代	15～20世紀	寸 法 等	
作品概要	チベット密教研究者の北村太道氏によって収集された仏教経典（一括）。チベット語による経典、儀軌類のほか、ポン教経典、サンスクリット写本の零本などが様々含まれる。		

110 名称	詩文稿冊（しぶんこうさつ）	品　　質	紙本墨書
作 者 等	傅山筆	員　　数	1帖（10開）
時　　代	明末清初　17世紀	寸 法 等	各29.0×12.2
作品概要	傅山（1607-84）による行書の詩文稿。謝稚柳（1910-1997、字は稚柳、号は壮暮翁）の跋をともなう。		

111 名称	七言絶句（しちごんぜっく）	品　　質	絖本墨書
作 者 等	傅山筆	員　　数	1幅
時　　代	明末清初　17世紀	寸 法 等	172.5×47.7
作品概要	傅山（1607-84）は幼少より魏晋の楷書を学び、顔真卿や王羲之の行書に進むとともに、金石にいち早く着目して秦漢の篆隷や金文も善くした。長条幅に一気呵成に筆を振るった行書や連綿草で知られ、本書もその独自の風格を伝えている。清末の海上画派である蒲華（字は作英）の旧蔵。		

112 名称	瑯琊台刻石（明拓）（ろうやだいこくせき　みんたく）	品　　質	紙本墨拓
作 者 等		員　　数	1幅
時　　代	秦時代　紀元前219年刻	寸 法 等	
作品概要	「始皇七刻石」の一つで現存2碑の内のひとつ。始皇帝側近の李斯の書と伝えられる。本拓には清の高鳳翰の画や翁方綱の跋、清末の楊守敬の跋などが添えられている。明拓は楊守敬による考証。		

113 名称	開通褒斜道刻石（清拓）（かいつうほうやどう　しんたく）	品　　質	紙本墨拓
作 者 等		員　　数	2幅
時　　代	後漢時代　永平9年（西暦66）刻	寸 法 等	103.0×120.0、120.0×133.0
作品概要	漢中の褒から斜へ通じる道路が開通したことを記念した刻石。摩崖刻で、もと陝西褒城の石門にあったが、1970年代に褒河ダムの建設に伴いはずされた書は古様で篆書の筆意をのこす。本拓は整本を二つに分けて対幅としている。		

114 名称	大宝積経巻第二十三（北野経王堂一切経） （だいほうしゃっきょうまきだいにじゅうさん（きたのきょうおうどういっさいきょう））	品　　質	紙本墨書
作 者 等		員　　数	1帖
時　　代	室町時代　応永19年（1412）	寸 法 等	縦25.7cm　横12.4cm
作品概要	北野経王堂の増範という僧が北野天満天神法楽のため、勧進書写した一切経のうちの1帖。奥書には、「於北野社寺仁如法一切経之内　本願増範／一校了／摂州河辺郡橘御薗内若王子住右筆弁然／応永十九年壬辰三月廿四日」とある。増範は応永19年3月17日から8月15日の5箇月あまりのうちに、東は越後や尾張、西は肥前や薩摩など、まさに諸国を東奔西走し、僧俗およそ200人の助力を得てこの一切経を完成させた。		

＜彫刻＞（211件）

115～323 名称	チベット仏像（ちべっとぶつぞう）	品　　質	銅造、乾漆造、塑造など
作 者 等		員　　数	209躯
時　　代	9～20世紀	寸 法 等	-
作品概要	チベット密教学者である北村太道氏（種智院大学名誉教授）が蒐集した金銅仏を中心としたチベット仏像のコレクションである。制作地はチベットの中心地をはじめ、西チベット、ラダック、中国（元・明・清）、モンゴル、ネパールなどチベット文化圏を包括し、制作年代も多岐にわたるもので、チベット密教美術の展開や地域性を研究する上で網羅的な資料である。本品を収蔵し、調査を進めていくことで展示・研究への活用が期待できる。 釈迦如来立像　1躯、釈迦如来坐像　1躯、釈迦如来坐像　1躯、釈迦如来坐像　1躯、釈迦如来坐像　1躯、釈迦如来坐像　1躯、釈迦如来坐像　1躯、釈迦如来坐像　1躯、釈迦如来坐像　1躯、釈迦如来坐像　1躯、釈迦如来坐像　1躯、釈迦如来坐像　1躯、無量寿如来坐像　1躯、無量寿如来坐像　1躯、無量寿如来坐像　1躯、無量寿如来坐像　1躯、無量寿如来坐像　1躯、無量寿如来坐像　1躯、無量寿如来坐像　1躯、無量寿如来坐像　1躯、無量寿如来坐像　1躯、無量寿如来坐像　1躯、無量寿如来坐像　1躯、毘盧遮那仏坐像　1躯、四面大日如来仏頭　1個四面八臂大日如来坐像　1躯、阿閦如来坐像　1躯、阿閦如来坐像　1躯、阿閦金剛坐像　1躯、文殊菩薩坐像　1躯、文殊菩薩坐像　1躯、文殊菩薩坐像　1躯、文殊菩薩坐像　1躯、文殊菩薩坐像　1躯、文殊菩薩立像　1躯、弥勒菩薩立像　1躯、弥勒菩薩立像　1躯、弥勒菩薩倚像　1躯、観音菩薩立像　1躯、観音菩薩立像　1躯、十一面観音菩薩立像　1躯、十一面観音菩薩立像　1躯、十一面観音菩薩立像　1躯、十一面観音菩薩立像　1躯、十一面観音菩薩立像　1躯、千手観音菩薩立像　1躯、四臂観音菩薩坐像　1躯、四臂観音菩薩坐像　1躯、四臂観音菩薩坐像　1躯、緑ターラー坐像　1躯、緑ターラー坐像　1躯、緑ターラー坐像　1躯、緑ターラー坐像　1躯、緑ターラー坐像　1躯、緑ターラー坐像　1躯、緑ターラー坐像　1躯、緑ターラー坐像　1躯、緑ターラー坐像　1躯、緑ターラー坐像　1躯、緑ターラー坐像　1躯、白ターラー坐像　1躯、白ターラー坐像　1躯、白ターラー坐像　1躯、最勝自在施ターラー坐像　1躯、観音菩薩立像　1躯、普賢菩薩立像　1躯、普賢菩薩立像　1躯、地蔵菩薩立像　1躯、菩薩坐像　1躯、金剛薩埵坐像　1躯、持金剛仏坐像　1躯、持金剛仏坐像　1躯、持金剛仏坐像　1躯、持金剛仏坐像　1躯、持金剛仏坐像　1躯、持金剛父母仏坐像　1躯、持金剛父母仏坐像　1躯、執金剛秘密主立像　1躯、摧破金剛坐像　1躯、グヒヤサマージャ父母仏坐像　1躯、チャクラサンヴァラ父母仏立像　1躯、チャクラサンヴァラ父母仏立像　1躯、チャクラサンヴァラ父母仏立像　1躯、四臂サンヴァラ父母仏立像　1躯、金剛畏怖父母仏立像　1躯、三面六臂ヤマーンタカ父母仏立像　1躯、金剛畏怖立像　1躯、金剛畏怖父母仏立像　1躯、秘密馬頭金剛立像　1躯、秘密馬頭金剛父母仏立像　1躯、歓喜仏母坐像　1躯、白傘蓋仏母坐像　1躯、白傘蓋仏母坐像　1躯、仏頂尊勝母坐像　1躯、ヴァスダラー坐像　1躯、秘密成就クルクラー立像　1躯、白如意マハーカーラ立像　1躯、白如意マハーカーラ立像　1躯、白如意マハーカーラ立像　1躯、毘沙門天坐像　1躯、毘沙門天坐像　1躯、毘沙門天騎獅像　1躯、毘沙門天騎獅像　1躯、帝釈天坐像　1躯、閻魔天立像　1躯、閻魔天立像　1躯、ハモー騎馬像　1躯、ハモー騎馬像　1躯、ダーキニー立像　1躯、ダーキニー立像　1躯、ガルダ立像　1躯、ガネーシャ涅槃像　1躯、舎利佛立像　1躯、目犍連立像　1躯、ツォンカパ坐像　1躯、ツォンカパ坐像　1躯、ラマ僧坐像　1躯、ラマ僧坐像　1躯、ラマ僧坐像　1躯、ラマ僧坐像　1躯、ラマ僧坐像　1躯、大成就者父母仏坐像　1躯、大成就者坐像　1躯、供養女坐像　1躯、供養女倚像　1躯、毘沙門天坐像　1躯、持国天立像　1躯、黄色ジャムバラ立像　1躯、釈迦如来坐像　1躯、釈迦如来坐像　1躯、文殊菩薩坐像　1躯、無量寿如来坐像　1躯、無量寿如来坐像　1躯、薬師如来坐像　1躯、文殊菩薩坐像　1躯、緑ターラー坐像　1躯、白衣観音坐像　1躯、ヤマーンタカ坐像　1躯、ラマ僧坐像　1躯、白ターラー坐像　1躯、ダーキニー立像　1躯、観音菩薩立像　1躯、ターラー立像　1躯、無量光如来坐像　1躯、金剛薩埵坐像　1躯、四臂観音坐像　1躯、四臂観音坐像　1躯、持金剛立像　1躯、緑ターラー坐像　1躯、釈迦如来坐像　1躯、弥勒菩薩倚像　1躯、釈迦如来坐像　1躯、釈迦如来坐像　1躯、弥勒菩薩立像　1躯、不空成就立像　1躯、執金剛秘密主立像　1躯、釈迦如来坐像　1躯、釈迦如来坐像　1躯、釈迦如来坐像　1躯、薬師如来坐像　1躯、グヒヤサマージャ父母仏坐像　1躯、緑ターラー坐像　1躯、マハラジャバラ坐像　1躯、白ジャムバラ騎獣像　1躯、光背断片　1個金剛薩埵坐像　1躯、大日如来坐像　1躯、ダーキニー立像　1躯、ハモー騎馬像　1躯、クベーラ坐像　1躯、釈迦如来坐像　1躯、クベーラ坐像　1躯、秘密馬頭金剛立像　1躯、ラマ僧坐像　2躯、ラマ僧坐像　1躯、釈迦如来坐像　1躯、弥勒菩薩立像　1躯、文殊菩薩坐像　1躯、金剛薩埵坐像　1躯、不動明王立像　1躯、白傘蓋仏母坐像　1躯、金剛薩埵坐像　1躯、金剛薩埵坐像　1躯、閻魔天立像　1躯、緑ターラー坐像　1躯、無量寿如来坐像　1躯、持金剛父母仏坐像　1躯、金剛薩埵坐像　1躯、白ターラー坐像　1躯、仏弟子立像　1躯、四臂弁才天坐像　1躯、薬師如来坐像　1躯、金剛弁才天立像　1躯、四臂観音菩薩坐像　1躯、宝生如来坐像　1躯、緑ターラー坐像　1躯、普賢菩薩立像　1躯、釈迦如来坐像　1躯、不動明王立像　1躯、獅子像　1躯、部族神像　1躯、ガネーシャ立像　1躯、歓喜天双身立像　1躯、歓喜天双身坐像　1躯、金剛女坐像　1躯		

324 名称	木造蓮華形仏龕（もくぞうれんげぎょうぶつがん）	品　　質	木造
作 者 等		員　　数	1基
時　　代	室町時代　15世紀	寸 法 等	厨子高9.7cm
作品概要	未敷蓮華を象った仏龕で、八葉のうち六弁が扉として開く構造である。仏龕内中央に檀木から彫出した地蔵菩薩立像、左右に不動明王坐像と愛染明王坐像を配し、蓮弁に四天王を描く。本作品のように蓮弁が開く構造をもつ仏龕は他に類を見ず、また地蔵菩薩を中心に不動・愛染を脇侍とする三尊形式も儀軌に見出せない珍しい形式であり、展示での活用が期待できる。		

325 名称	猿面（さるめん）	品　　質	木造
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	室町時代　15～16世紀	寸 法 等	縦23.8cm、横19.0cm
作品概要	異形の動物面。大きく見開いた両眼は飛び出し、口は舌をはね上げ、鬼神のような表現をもつ。中世に遡る神楽面である可能性も高く、他に類例のない作品である。		

＜金工＞（75件）

326～372 名称	北村コレクション　金属工芸 （きたむらこれくしょん　きんぞくこうげい）	品　　質	銅製　鋳造　他
作 者 等		員　　数	47件
時　　代	13～20世紀	寸 法 等	
作品概要	北村大道氏蒐集のチベット仏教美術を中心とするコレクションのうち、金属工芸分野に属する作品群。内容は器形・時代・地域が多岐にわたっているが、チベット仏教に特有の仏塔模型（チョルテン）など、我が国の仏教美術品との比較上重要な作品を多く含んでいる。 チョルテン　附塔内仏　1基、チョルテン　1基、チョルテン　1基、チョルテン　1基、チョルテン　1基、チョルテン　1基、独鈷杵　1口、五鈷杵　31口、九鈷杵　8口、九頭龍杵　2口、三鈷鈴　1口、五鈷鈴　13口、九鈷鈴　2口、鈴　1口、組法具　1組、組法具　1組、組法具　1組、組法具　1組、金錍　1口、五鈷羯磨　1口、金剛橛　12口、金剛剣　2口、三昧耶剣　2口、金剛斧　4口、金剛鎚頭　1口、金剛鉤頭　1口、翦刀　6口、三叉戟頭　2口、護摩杓　8口、護摩杓頭　1口、匙　8口、摩尼輪筒　2口、七器　7口、杯　1口、飲食器　2口、天目台　天目蓋　1組、水瓶　1口、髑髏杯　5口、払子　1柄、蓮華台　1口、三角皿　1口、鏡　3面、神獣形燭台　1対、鉄鉢　1口、仏龕　2口、荘厳具　2口、錺金具　2枚、錠前　1組		

373～400 名称	柴田コレクション（しばたこれくしょん）	品　　質	銅製　鋳造　他
作 者 等		員　　数	28件
時　　代	平安～江戸時代　12世紀～19世紀	寸 法 等	
作品概要	柴田芳明氏蒐集による仏教美術および七宝錺金具のコレクション。平安時代の鏡から江戸時代の引手金具まで作品の種類・時代を幅広く含んでおり、展示や研究の面で既存の収蔵品との相乗効果が見込まれる。 1.薬師如来鏡像　1面　2.金銅装懸守　附　胎蔵界供養法次第　1巻　1懸　3.瑞花鴛鴦五花鏡　1面　4.金銅千手観音懸仏　1面　5.金銅阿弥陀如来懸仏（鏡板欠失）　1躯　6.金銅天部形懸仏（鏡板欠失）　1躯　7.金銅侍者像懸仏（鏡板欠失）　1躯　8.銅香水壺1口　9.金銅阿弥陀三尊像懸仏　1面　10.七宝唐草文五三桐紋引手　16個　11.七宝葵文釘隠　4個　12.七宝松葉繋文釘隠　3個　13.七宝四花透雪花文引手　6箇　14.七宝七宝繋花菱文引手　6箇　15.七宝瓢雲文引手　5個　16.七宝五三桐雲文引手　4個　17.七宝七宝繋文引手　4個　18.七宝四花七宝文引手　4個　19.七宝四花唐草文引手　3個　20.七宝四花七宝文引手　2個　21.七宝四花七宝文引手　2個　22.七宝菱形花菱文引手　2個　23.金銅橘文引手　4個　24.金銅四花梅鉢梅唐草文引手　8個　25.七宝樹花文木瓜形水滴　1個　26.七宝亀形筆架　1個　27.七宝唐花唐草文引手　8個　28.七宝草花文丸形水滴　1個		

＜陶磁＞（3件）

401 名称	鉄釉狛犬（てつゆうこまいぬ）	品　　質	施釉陶器
作 者 等		員　　数	1対
時　　代	室町時代　15～16世紀	寸 法 等	高　阿形18.3、吽形18.4（cm）
作品概要	阿吽形になる陶製の狛犬一対である。底部以外に鉄釉が掛けられている。東海地方を中心として数多くの陶製狛犬が作られ、各地の神社等に奉納されており、本作もそうしたもののーつであろう。瀬戸窯で焼かれたものと考えられる。		

402 名称	焼締擂鉢（やきしめすりばち）	品　　質	施釉陶器
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	室町時代　15～16世紀	寸 法 等	高10.9　口径29.3×28.3　底径13.0（cm）
作品概要	片口となり表面に朱を施したものと思われる擂鉢である。内面の立ち上がりと底面に擂り目が入れられている。焼成が土器質ともいえるような胎土となっている。		

403 名称	油滴盤（ゆてきばん）	品　　質	施釉陶器
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	中国・明時代　15～16世紀	寸 法 等	高14.4　口径33.5　底径21.8（cm）
作品概要	いわゆる天目釉と呼ばれる黒色の釉が掛けられら、内面底部を中心としてに油滴班がみられる盤である、盥状の形をしており、口縁部が玉縁状に仕上げられている。釉は底部と腰周り以外にたっぷり掛けられている。内底には星形上の目跡が残る。磁州窯系の窯で焼かれたものと思われる。		

＜漆工＞（2件）

404 名称	赤間石丸硯　忠岑銘　　附　水滴および籠地箱 （あかまいしまるすずり　ただみねめい　つけたり　すいてきおよびかごじはこ）	品　　質	石製　鉄製　紙胎　漆塗
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	室町～江戸時代	寸 法 等	
作品概要	日本で産出する数少ない硯に適した石材である赤間石の硯。底裏に「忠岑」と線刻されている。附属の古様な被せ蓋の容器は、紙縒りを編んで漆を塗ったように観察され、底板を補強するために中央にのみ長方形の薄い基台を設けるなど、珍しい形状を示す。朝鮮半島の器物との比較など、今後の研究材料として有用である。		

405 名称	菊花散蒔絵螺鈿小香箪笥 （きっかちらしまきえらでんしょうこうだんす）	品　　質	木製、漆塗、蒔絵、螺鈿、銀
作 者 等		員　　数	1基
時　　代	江戸～明治時代	寸 法 等	
作品概要	細かな螺鈿と切金を組み合わせた漆芸技法による小型の箪笥。この技法は、清朝の工房でも作られ、琉球漆器にも見られるが、本品はおそらく富山藩主前田家に仕えた京都出身の杣田家による幕末から明治期の贈答用あるいは輸出用の品である。愛らしい小品ながら精密な指物技術に精緻な漆芸技法が光る。		

＜染織＞（23件）

406～421 名称	北村コレクション　染織品 （きたむらこれくしょん　せんしょくひん）	品　　質	絹ほか
作 者 等		員　　数	16件
時　　代	中国およびチベット　16～20世紀	寸 法 等	
作品概要	北村大道氏がチベットおよび周辺国にて蒐集した、チベット仏教関係の染織品。その内訳は以下の通りで、尊像となる繡仏、高僧や大臣の衣服、灌頂や修法で用いる宝冠や座具、宗教演劇の仮面や衣装などで構成されている。 刺繍文殊菩薩像　1枚、上衣（トゥンカ）　2領、龍袍　1領、垂瓔珞　1枚、刺繍種子幡　1旒、須弥山図刺繍敷物　1枚、火焔宝珠文様刺繍敷物　1枚、龍文様刺繍座具　1枚、羯磨文様切付座具　1枚、刺繍ツォンカパ像　1枚、演劇衣装　一式、五智宝冠　6頭、五智宝冠残闕（大日如来）　1枚、五智宝冠残闕（不空成就如来）　1枚、螺髪　2頭、羯磨文様カーペット　1枚		

422 名称	白木綿地人物文様繡茶具褥 （しろもめんじじんぶつもんようぬいちゃぐじょく）	品　　質	木綿地　絹糸刺繍
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	生地：インド　16～17世紀 仕立：明治～大正時代　19～20世紀	寸 法 等	縦76.5cm　横60.0cm
作品概要	煎茶に用いる長方形で袷仕立ての茶具褥。表地は白木綿地。淡黄の絹糸で、狩猟をする人物・獣頭の人物と女性・動物・草花を、返し繡と鎖繡を中心にあらわす。裏地は黄平絹だが、一部に紺と赤茶の真田風の織筋を交える。縁取りは黄茶繻子。		

423 名称	赤木綿地菩薩文様更紗敷物 （あかもめんじぼさつもんようさらさしきもの）	品　　質	木綿地更　紗染
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	インド　19世紀	寸 法 等	縦93.5cm　横304.0cm
作品概要	袷仕立ての長方形の大きな一枚布で、敷物として使用されたものだろう。表地は木綿地の更紗。フィールドは、赤地の背景に紫の雲立涌を配し、立涌内に合掌をして坐す黄色の仏像を納める。ボーダーは、外側が紫地に赤と黄色の花文様、内側が黄色地に赤と紫の花唐草。いわゆる仏手と呼ばれる更紗で、タイの市場に向けてインドで製作されたものである。短片を縦、長片を横として文様付けされており、本来は横長の用途に用いたと考えられる。裏地は白木綿、「他九十二号/立涌仏手シャム更紗」の墨書あり。		

424 名称	享保雛（きょうほびな）	品　　質	桐塑胡粉塗・絹ほか
作 者 等		員　　数	1対
時　　代	江戸時代　18世紀	寸 法 等	男雛高47.0cm（烏帽子含）
作品概要	細面に切れ長の目で、毛髪には絹糸を植えつけた、享保雛らしい大型の雛人形。男雛も女雛も装束は公家風だが、実際の装束とは異なるうえ、通例では用いない豪華な金襴で仕立てられている。綾部藩の家老をつとめた平和家の伝来品。		

425 名称	衣裳人形 童子坐姿（どうじざすがた）	品　　質	桐塑胡粉塗・絹ほか
作 者 等		員　　数	1躯
時　　代	江戸時代　18世紀	寸 法 等	高14.0cm
作品概要	顔や手先は胡粉を塗った桐塑で製作し、胴体には藁や紙などを芯に美しい衣裳を着せ付けた人形。童子は主題としてたいへん好まれ数多く製作されたが、これは顔や手先がたいへん丁寧につくられている。綾部藩の家老をつとめた平和家の伝来品。		

426 名称	雛道具（ひなどうぐ）	品　　質	紙本着色　木胎黒漆塗蒔絵
作 者 等		員　　数	1式
時　　代	江戸～昭和時代　19～20世紀	寸 法 等	雛屏風高31.5cm
作品概要	享保雛とともに飾られた雛道具類。雛屏風、雪洞、懸晩、高坏などで構成される。雛屏風には珍しく、伊勢物語の一場面が描かれている点が注目される。綾部藩の家老をつとめた平和家の伝来品。		

427 名称	押絵五人囃子（おしえごにんばやし）	品　　質	紙胎裂貼
作 者 等		員　　数	5枚1組
時　　代	江戸時代　19世紀	寸 法 等	高28.0～29.0cm
作品概要	押絵とは、厚紙で切り抜いた形を裂地でくるみ、それらを貼り重ねることにより人物や文様を表す、羽子板などでも用いられる技法。これらの五人囃子の背後には、何かに引っかけて立てかけるための部品が付されており、掛軸などに差して飾られたものだろう。綾部藩の家老をつとめた平和家の伝来品。		

428 名称	古今雛（こきんびな）	品　質	桐塑胡粉塗・絹ほか
作 者 等		員　数	1対
時　代	江戸時代　嘉永二年（1849）頃	寸 法 等	男雛高31.0（烏帽子含）
作品概要	ガラスで表面を覆う玉眼を入れた雛人形。女雛には天冠が添えられ、袖口を薬玉の刺繍で飾る。雛人形を納める箱に嘉永二年の墨書があることから、その頃の製作と考えられる。玉眼を入れた雛人形二例が嘉永年間の箱書を伴うことから、この頃に玉眼の雛人形が上方で流行したと推測できる。京都で炭問屋を営む商家に伝来した。		

＜考古＞（6件）

429 名称	磚仏（せんぶつ）	品　質	
作 者 等		員　数	一式
時　代	17～20世紀	寸 法 等	
作品概要	寺院の壁面装飾や仏塔に収められたものと、亡くなった人の遺灰を粘土に練りこんで、		

430 名称	グゲ遺跡出土品（ぐげいせきしゅつどひん）	品　質	
作 者 等		員　数	一式
時　代		寸 法 等	
作品概要	西チベットの仏教遺跡であるグゲ遺跡で採集したとされる資料。独鈷杵や蓮華座の破片とみられる土製品、拓本資料からなる。		

431 名称	加彩灰陶鈁（かさいはいとうほう）	品　質	土製
作 者 等		員　数	1個
時　代	中国　前漢前・中期　前２～前１世紀	寸 法 等	
作品概要	青銅器の鈁を模した加彩灰陶。おそらくは墓に副葬されたとみられる。四角錘形の蓋が付属する。彩色は退色が進んでいるが、硬く焼成した灰陶の器面に、白・赤・黄・緑などで文様を描いたとみられる。鈁とは横断面が方形を呈する壺の一種で、底部に高台がつく。二面には、獣面形の金具「鋪首」描いた痕跡がみえる。それ以外の部位には巻雲文・連続円文などを飾る。		

432 名称	土馬（どば）	品　質	土製
作 者 等		員　数	1個
時　代	8世紀	寸 法 等	全高13.3cm、全長15.3cm
作品概要	馬の形を模した土製の形代。頭は粘土を折りたたんで三日月形にする。竹管を押圧して描かれた目の上に墨による眉のような表現がある。鞍の表現もない裸馬で、尾が上に跳ね上がっている。その特徴から奈良時代の所産とみられる。		

433 名称	複弁蓮華文軒丸瓦（ふくべんれんげもんのきまるがわら）	品　質	土製
作 者 等		員　数	1個
時　代	8世紀	寸 法 等	瓦当径18cm、全長34cm
作品概要	藤原京、および平城京の型式番号で6276型式Ab種と呼ばれる軒丸瓦である。瓦当文様から本薬師寺もしくは薬師寺所用の創建軒丸瓦と考えられるが、瓦笵の摩耗や傷みが進んでいることから、おそらくは薬師寺所用と考えられる。玉縁部は欠損しているものの、丸瓦体部までが残存する。		

434 名称	均整唐草文軒平瓦（きんせいのきひらかわら）	品　質	土製
作 者 等		員　数	1個
時　代	12世紀	寸 法 等	瓦当残存幅13cm、瓦当厚6.4cm、全長12cm
作品概要	平安時代初期の平安宮の文様を模した復古朝の文様をもつ。凹面に墨書があるが、判読はできない。平安末期12世紀後半のものとみられる。 同笵品は京都市右京区梅ケ畑の平岡八幡宮で採集されており、東側に瓦窯があると推定されているお。そらくは平岡八幡宮周辺で採集された可能性が高い。		

＜歴史資料＞（35件）

435～468 名称	北村コレクション　歴史資料 （きたむらこれくしょん　れきししりょう）	品　質	
作 者 等		員　数	34件
時　代	17～20世紀	寸 法 等	
作品概要	書簡（河口慧海）　1通、書簡（ツァワ・ティトゥルより柱本瑞俊宛）　1通、書簡（ツァワ・ティトゥルより大谷光瑞宛）　1通、降伏儀礼資具図　67点、拓本（尊像・種子等）　16点、木版（タルチョ）　5点、木版画（法具）　2点、木版画（阿弥陀仏）　1枚、サラスヴァティー（弁才天）像（白描）　1枚、ツァクリ（絵札）　4枚、諸尊像（白描）　3面、諸尊像（版画）　8枚、諸尊像（版木）　9点、チベット古銭　一式、図像資料写真（モノクロ）　一式、帽子　1頭、人骨製前掛　1連、骨製首飾　2連、数珠　3連、振太鼓　2個、頭蓋骨製振太鼓　1個、手鼓　1個、太鼓　1個、小銅鉢(ティンシャク）　一式、縦鉢(ブクヂャル）　1組、法螺　1個、長笛（ラグドゥン）　1個、中笛（ギャリン）　2個、小笛　1個、楽器　1個、ヤク像　1口、トルマ　2口、合子　1口、髑髏垂飾　1個		

469 名称	昭和大礼 五節舞姫 関連資料 （しょうわたいれい　ごせちまいひめかんれんしりょう）	品　質	絹織物、紙
作 者 等		員　数	一式
時　代	20世紀	寸 法 等	絹織物：幅35cm、長さ約11.40m
作品概要	昭和大礼に五節舞姫を務めた日野西兌子氏の関連資料一式。五節舞姫を務めた際に宮内庁より給典された錦紗、手紙、五節舞姫の歌譜、記念写真などから成る。		

【奈良国立博物館】　（計6件）

（１）購入（1件）

＜彫刻＞（1件）

1　名称	木造二十八部衆立像のうち　婆藪仙人（もくぞうにじゅうはちぶしゅうりゅうぞう　ばすうせんにん）	品　　質	木造　彩色（現状古色塗り）
作 者 等		員　　数	一軀
時　　代	鎌倉時代　13世紀	寸 法 等	総高60.6cm　像高53.8cm　髪際高48.5cm
作品概要	千手観音の眷属である二十八部衆のうちの一尊。先年当館の館蔵品となった愛宕念仏寺（京都）旧蔵二十八部衆の四軀と、作風・台座形式・銘文などが共通しており、かつて一具であったと考えられる。鎌倉時代まで遡る二十八部衆の遺例は少なく、本品は貴重である。		

（２）寄贈（5件）

＜彫刻＞（1件）

1　名称	木造菩薩立像（もくぞうぼさつりゅうぞう）	品　　質	木造（ヒノキ材か）　彩色　漆箔
作 者 等		員　　数	一軀
時　　代	平安時代　12世紀	寸 法 等	総高46.2cm　像高37.2cm　髪際高33.2cm
作品概要	一般に「興福寺千体仏」と称される仏像群のひとつ。明治5年（1872）に興福寺が廃寺処分となり、同15年に再興された際の記録に、北円堂に数百体の像があったと記されており、千体仏はこれにあたると考えられている。藤田美術館などにまとまった数が所蔵されているほか、巷間に少なからず伝わっているが、全容は把握されていない。本品は伏し目の表情、なだらかな面、緩やかな曲線の体つきや着衣など、平安時代後期の典型を示している。		

＜絵画＞（1件）

2　名称	千手観音二十八部衆像（せんじゅかんのんにじゅうはちぶしゅうぞう）	品　　質	絹本著色　掛幅装
作 者 等		員　　数	一幅
時　　代	鎌倉時代　13世紀	寸 法 等	[本紙]：縦113.8cm　横64.1cm（ただし上方8.3cm　下方2.0cmは補絹） [表装]：縦200.8cm　横84.2cm
作品概要	千手観音の眷属である二十八部衆のうちの一尊で、かつて京都嵯峨野の愛宕念仏寺に伝来していた。均整の取れた自然な人体表現や写実的な顔立ちなどから、制作は鎌倉時代中期まで遡るとみられる。同じ二十八部衆のうち四軀がすでに当館館蔵品として収蔵されており、本像を加えることは学術的にも有意義である。		

＜漆工＞（1件）

3　名称	木造鳳凰（法隆寺金堂天蓋附属）模造　　附 台（もくぞうほうおう（ほうりゅうじこんどうてんがいふぞく）もぞう　つけたり　だい）	品　　質	木造　彩色
作 者 等	加納鉄哉	員　　数	一軀　附一基
時　　代	明治20年（1887）	寸 法 等	木造鳳凰　模造：縦21.4cm　台：高36.0cm　径27.7cm
作品概要	法隆寺金堂内陣を飾る天蓋に取り付けられた木造鳳凰の模造で、原品に極めて忠実に造られている。天板裏の墨書から、明治20年（1887）に彫刻家の加納鉄哉が制作したことがわかる。近代彫刻や近代の文化財模造制作の歴史を知る上でも貴重な事例である。		

＜考古＞（2件）

4　名称	複弁蓮華文軒丸瓦・偏行唐草文軒平瓦（ふくべんれんげもんのきまるがわら・へんこうからくさもんのきひらがわら）	品　　質	瓦製
作 者 等		員　　数	軒丸瓦二点　軒平瓦一点
時　　代	飛鳥時代（7世紀）	寸 法 等	軒丸瓦①　瓦当径18.6cm　瓦当厚5.0cm　全長42.5 軒丸瓦②　瓦当径19.6cm　瓦当厚2.2cm 軒平瓦　瓦当幅29.8cm　瓦当厚5.2cm　残存長25.3cm
作品概要	藤原宮の大極殿や朝堂院で用いられた瓦。状態が良好であり、また制作時の諸痕跡を残していることから、瓦研究において注目すべき資料でもある。		

5　名称	円筒埴輪（船絵線刻）（えんとうはにわ（ふなえせんこく））	品　　質	土製
作 者 等		員　　数	一口
時　　代	古墳時代　5世紀	寸 法 等	高53.0cm　口径32.5cm　底径24.5cm（いずれも最大値）
作品概要	全国的に出土が希少な、船の絵が線刻された円筒埴輪。正確な出土地は不明だが、近畿地方から出土したものと考えられる。古墳時代の船絵は葬送にかかわる船を描いたものと解釈されており、当時の死生観や思想を紹介する上でも貴重なものである。		

【九州国立博物館】（計87件）

（１）購入（9件）

＜彫刻＞（1件）

1　名称	重要文化財　男神坐像（じゅうようぶんかざい　だんしんざぞう）	品　　質	木造彩色
作 者 等		員　　数	1軀
時　　代	平安時代 12世紀	寸 法 等	像高50.9
作品概要	細長い目に上唇を突き出した面相、胴長で奥行きの薄い体部や脚部の膝張の狭さ、簡略化した衣文表現、素地に直接白土下地彩色とする技法などは平安時代後期・12世紀頃の神像彫刻の特徴を備えている。当館収蔵の「女神坐像」（C63）とは、上記の特徴にくわえて、ヒノキの一木造りで体側部に別材を矧ぎ付ける構造、白点で構成された花文などの特徴も酷似している。また、体幹部材の幅がほぼ一致し、像底にみえる年輪幅もよく似ており、両像は同木から彫出した一具の像の可能性が指摘されている。本来「女神坐像」（C63）と対をなしていたと考えられる本像が収蔵品として加わることで、両像の造立当初の安置状況を復元することができる。		

＜刀剣＞（1件）

2　名称	重要文化財　短刀　銘左／筑州住（じゅうようぶんかざい　たんとう　めいさ　ちくしゅうじゅう）	品　　質	鉄・鍛造
作 者 等	左　筑前国	員　　数	1口
時　　代	南北朝時代 14世紀	寸 法 等	総長35.3　刃長25.4　反0.25
作品概要	平造、庵棟、身幅やや広く、反わずかにつく。鍛は小板目詰んで綾杉風の大肌を交え、地景入り、地沸厚くつく。刃文は沸出来で、湾れに小互の目をわずかに交え、中程から先にかけて焼幅広く、ところどころに荒沸交じる。総体に砂流し、金筋かかり、特に上半には強く砂流しがかかる。帽子は乱れ込んで突き上げ、沸強く付き、先強く掃き掛ける。茎は生で、舟形で反り付き、先浅い刃上がり栗尻。鑢目は大筋違、目釘孔2つ開く。指表に「左」、指裏に「筑州住」の銘を浅く切る。鎺は金無垢台付二重鎺で、上貝下面には毛彫で「長」「左文字」を刻む。拵は金沃懸地桐紋散鞘合口拵。		

＜染織＞（2件）

3　名称	白綸子地雪持笹に松竹梅島台宝尽し文様繍小袖（しろりんずじゆきもちざさにしょうちくばいしまだいたからづくしもんようぬいこそで）	品　　質	表：絹（綸子）／総刺繍　裏：絹（胴裏は紅絹・八掛は綾）
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	江戸時代 18世紀初頭	寸 法 等	丈151.5　裄60.0（後幅30.0　前幅22.5　衽幅16.0　衿幅11.3　衿下76.0　袖丈55.2　袖付26.0　袖幅30.0　衿肩あき9.5）
作品概要	松竹梅や島台、宝尽くしの吉祥文で構成した総繍い小袖。文様とフキの厚みから、婚礼に際して着用された打掛と考えられる。本品のような、腰の上下で文様が途切れる立木文様は、江戸中期のはじめ頃から好まれるようになった。婚礼にまつわる白地に吉祥文様を配した衣装としては、19世紀前半ごろの遺例に複数確認されるような、波間の岩より松竹が伸び、鶴亀があらわされる蓬莱文様の小袖がある。本品は、松竹梅の構成が蓬莱文様小袖とは異なること、桜の花や雪輪の表現や、左腰にわずかに余白を残す構図に古様が見られることから、元禄期（1688-1704）ごろの製作と考えられる。蓬莱文様の小袖に先行する婚礼衣装は遺例が少なく、貴重な作例である。		

4　名称	浅葱平地垣に梅菊文様友禅小袖（あさぎひらじかきにうめきくもんようゆうぜんこそで）	品　　質	表：絹（平絹）／友禅染　裏：絹（平絹）
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	江戸時代 18世紀前半	寸 法 等	丈149.5　裄64.0（後幅31.5 前幅23.8　衽幅15.0　衿幅11.6　衿下61.0　袖丈60.0　袖付60.0　袖幅32.5　衿肩あき10.0）
作品概要	友禅染の小袖。本品は左腰に空間を開けた文様構成や、垣の内側を白場にのこす表現、生地に縮緬が用いられていないところに古様が見られるが、花弁に用いられる反対色のぼかしや、背面から前面にかけての文様にやや連続性が見られる構成からは、時代が下る様子が見られる。元禄13年（1700）の雛形『当流七宝常盤ひいなかた』には、植物文は伴わないが、屏風を同構図で配する作例が見られる。これらにより、本品は元禄から正徳頃にかけての江戸中期の作例と考えられる。友禅染が萌芽期から円熟期へ移行する時期に作成された優品である。		

＜考古＞（3件）

5　名称	イモガイ形土製品（いもがいがたどせいひん）	品　　質	土製
作 者 等		員　　数	1個
時　　代	縄文時代 前1,000-前300年	寸 法 等	最大径6.4　高2.8
作品概要	縄文時代晩期の東北から北海道南西部にかけて出土する亀ヶ岡文化の装飾品である。南島に棲む巻貝の一種、イモガイの螺頭部から製作された装飾品を模して作られたものと言われる。イモガイの入手は九州との交流によるものと考えられる。 東北の亀ヶ岡文化は縄文時代を代表する文化であるが、その後半期の西日本では中国大陸から水田稲作が伝わっており、弥生時代が始まっている。亀ヶ岡文化の土器やその製作技法は弥生時代開始期の九州に伝わり、弥生土器の成立に大きな影響を与えたと言われる。九州の弥生文化では、イモガイは腕輪に加工されて墳墓に副葬される。縄文時代から弥生時代の移行期においては、日本列島の東西端でイモガイが珍重されており、本品からはその東端の状況を知ることができる。青森県五所川原市五月女萢出土。		

6　名称	壺形土器（つぼがたどき）	品　　質	土製
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	弥生時代 前4-前2世紀	寸 法 等	最大径50.0　高54.0
作品概要	東北地方の弥生時代前半期の土器。ほぼ完存する大形の土器であることから、棺として土中に埋設された土器棺であったと考えられる。 土器棺の風習は世界各地で認められ、特に弥生時代の日本列島では発達した。弥生時代前半期の東北地方では大形壺を土器棺とし、二つの系統を持つ土器が使用された。一つは本品のような胴部上半付近に最大径を持ち、胴部に縄文が施された土器で、縄文時代最末期の亀ヶ岡文化の伝統を受け継いだ在地系のものである。もう一つは、胴部中央付近に最大径を持ち、胴部上半に数条の沈線が施された土器で、西日本の弥生時代開始期の壺の影響を受けたものである。本品からは、この時期の東北地方の在地系の土器棺の様相を知ることができる。青森県五戸町切谷内菖蒲川出土。		

7　名称	埴輪　武人（はにわ　ぶじん）	品　　質	土製
作 者 等		員　　数	1軀
時　　代	古墳時代 6世紀	寸 法 等	幅：36.0　奥行：24.0　高：113.0
作品概要	群馬県伊勢崎市上武士天神山古墳出土とされる武人形埴輪である。冑をかぶり、肩甲と手甲をつけ、大刀と刀子を腰に佩いて武装した男子をあらわす。胴甲は着けず前合せの服を着用し、冑の錣の内側に下げ美豆良を下げ、首には丸玉を連ねた首飾りをつけており、葬儀に参列する武人をあらわすものか。冑は横矧鋲留衝角付冑と呼ばれる形式をよく再現し、また上衣の前合せ部のとじ紐、刀子の鞘、靴に縫い目が表現されるなど、細部の表現に見ごたえがある。伝えられる出土地は古くより多くの形象埴輪の出土で広く知られる。		

＜歴史資料＞（2件）

8　名称	帝鑑図説（ていかんずせつ）	品　　質	紙本活字墨刷
作 者 等	（原本）張居正・呂調陽編、（秀頼版）西笑承兌跋	員　　数	6冊
時　　代	江戸時代 慶長11年（1606）	寸 法 等	（前集〈第1冊-第4冊〉）縦28.5　横19.2　厚1.5-1.7、（後集〈第5冊・第6冊〉）縦26.9　横19.0　厚1.2-1.4
作品概要	『帝鑑図説』は、中国古代皇帝の善蹟（前集・聖哲芳規81話）と悪行（後集・狂愚覆轍36話）の逸話を集めた挿絵入りの書で、明時代後期の大学士・張居正らが10歳で即位した万暦帝のために編纂した。万暦元年（1573）刊行の潘允端版（宮内庁書陵部蔵）や複数の明版があるほか、日本でも豊臣秀頼への献辞を伴う慶長11年（1606）刊の古活字版（秀頼版）など多数の版が出版された。 本資料は、和刻本のうち最も刊行年の早い秀頼版に該当する。その内容は、陸樹声序文、張居正進図疏、前後集題字・目録・本編（図見開き一丁、本文9行）、後跋、王希烈後叙、西笑承兌跋文からなる。前集4冊と後集2冊の大きさが異なるため後世に一式として整えられた可能性があるが、第6冊巻末に西笑承兌の跋を有する稀少な「有跋本」として知られる。		

9　名称	須弥山儀図（しゅみせんぎず）	品　　質	紙本木版多色刷
作 者 等		員　　数	1幅
時　　代	江戸時代 文化10年（1813）	寸 法 等	本紙：縦128.9　横55.6、表装：縦189.6　横61.9　軸長67.5
作品概要	脚付きの盤上の中心に、中央が細くくびれた形の山があり、同心円状に広がる海と陸地の周囲には、太陽や月、星が配される。山の名は須弥山といい、仏教的な世界観・宇宙観において、世界の中心にそびえる巨山と考えられた。本図は、こうした世界観（須弥山説）を分かりやすく説明するために作られた模型を図示したもので、上部には仏教天文学の祖と呼ばれる天台宗僧侶、普門円通（1754-1834）の賛を付す。日本では18世紀末からヨーロッパ製の世界図が流入し、西洋の知識や理解に基づく世界観が広まってゆくが、一方では19世紀に入っても須弥山説のような世界観が存続していた。この模型は可動式であったと見られ、錘を吊るした柱が付随している。		

（１）寄贈（78件）

＜書跡＞（15件）

1　名称	雍正帝福字額（ようせいていふくじがく）	品　　質	木製漆塗
作 者 等	（原跡）雍正帝筆	員　　数	1面
時　　代	中国・清時代　（原跡）雍正12年（1734）、（額）18世紀	寸 法 等	縦141.0　横141.0（100.5四方）　最大厚（額縁部）14.0
作品概要	一辺 100.5 cm四方の菱形の額。群青顔料を施した地の中央に、4 つの部材を釘で打ち付けて「福」の大字を表す。福字は金箔押し、額縁には 9 頭の龍を彫刻する。龍の体部は金箔を押し、歯は白、口は赤の彩色を施す。裏面中央に木製銘板（刻銘「雍正十二年十二月二十八日／御賜／和碩康親王〈臣〉巴爾図」）がある。雍正 12 年（1734）12 月 28 日に雍正帝より自筆の「福」字の書を下賜された和碩康親王巴爾図が、書を元に仕立てた額と考えられる。巴爾図は清の皇族。その父は太祖ヌルハチの孫で4 代皇帝康熙帝の従兄。福字の皇帝御書は新年の招福を祈念して揮毫され、宮中で掲げられ、また臣下に頒賜された。そこには君臣関係の確認や、忠臣としての顕彰の意味もあったと想定される。		

2　名称	十月（かんなづき）	品　　質	紙本墨書
作 者 等	日比野五鳳筆	員　　数	1面
時　　代	昭和年間筆、令和4年（2022）「日比野五鳳・光鳳・博鳳展―きよらの伝承―」出品	寸 法 等	額：縦69.0　横57.0　本紙：縦34.0　横27.0
作品概要	日比野五鳳（1901-85）は「大字仮名運動」を広めた一人で、戦後の書壇に大きな影響を与えた仮名書家である。清澄で透明感のある書風が特徴である。 本品は五鳳の生前に発表されることのなかった作品で、令和4年（2022）に開催された展覧会「日比野五鳳・光鳳・博鳳展―きよらの伝承―」に初めて公開されたもの。鳥の子紙に『万葉集』巻第8所収の大伴池主の和歌1首を揮毫する。中央の行頭を高くし、左右を低くする散らし書きで、行頭から行末にかけて右方向に傾いており、五鳳の作品のベースともいえる寸松庵色紙を思わせる。全神経を筆先に集中させたかのような緊張感をもって書き始め、直筆と連綿の表現で書き進める。潤筆の細く、切れのある線と、渇筆の肉厚な線との対比が表現されている作品である。		

3　名称	清き瀬の音（きよきせのと）	品　　質	彩箋墨書
作 者 等	日比野五鳳筆	員　　数	1面
時　　代	昭和年間筆、令和4年（2022）「日比野五鳳・光鳳・博鳳展―きよらの伝承―」出品	寸 法 等	額：縦50.5　横45.0　本紙：縦17.5　横14.5
作品概要	日比野五鳳（1901-85）は「大字仮名運動」を広めた一人で、戦後の書壇に大きな影響を与えた仮名書家である。清澄で透明感のある書風が特徴である。 本品は五鳳の生前に発表されることのなかった作品で、令和4年（2022）に開催された展覧会「日比野五鳳・光鳳・博鳳展―きよらの伝承―」に初めて公開されたもの。具引きした朱色の料紙に『万葉集』巻第7所収の作者不詳の和歌1首を揮毫する。中央の行頭を高くし、左右を低くする散らし書きで、かつ中央に余白を作り出しており、五鳳の作品のベースともいえる寸松庵色紙を思わせる。全体的に、起筆は鋭角であるものの、丸味を帯び、優美な印象を与える。墨の潤渇や連綿、空間配置といった、五鳳の様々な表現を見て取ることのできる作品である。		

4　名称	寶（たから）	品　　質	彩箋墨書
作 者 等	日比野五鳳筆	員　　数	1面
時　　代	昭和年間筆、令和4年（2022）「日比野五鳳・光鳳・博鳳展―きよらの伝承―」出品	寸 法 等	額：縦53.5　横59.7　本紙：縦22.5　横29.5
作品概要	日比野五鳳（1901-85）は「大字仮名運動」を広めた一人で、戦後の書壇に大きな影響を与えた仮名書家である。清澄で透明感のある書風が特徴である。 本品は五鳳の生前に発表されることのなかった作品で、令和4年（2022）に開催された展覧会「日比野五鳳・光鳳・博鳳展―きよらの伝承―」に初めて公開されたもの。具引きした白の料紙に『万葉集』巻第5所収の山上憶良の和歌1首を揮毫する。重心を下に置き、上部に空間をあけるとともに、前半5行と最終2行との間に余白を作り出す。上部の余白を生かすため、渇筆気味に書き始め、3行目で墨継ぎをし、その箇所が鮮明に目に映るだけでなく、視線が最終2行に流れてしまわないように、一度静止させるかのような表現となっている。最終2行は墨量を減らすことで、線の細さも相俟って、紙面左の空間を窮屈にせず、開放的なものとしている。		

5　名称	月夜（つきよ）	品　　質	彩箋墨書
作 者 等	日比野五鳳筆	員　　数	1面
時　　代	昭和年間筆、令和4年（2022）「日比野五鳳・光鳳・博鳳展―きよらの伝承―」出品	寸 法 等	額：縦58.0　横71.0　本紙：縦28.0　横39.0
作品概要	日比野五鳳（1901-85）は「大字仮名運動」を広めた一人で、戦後の書壇に大きな影響を与えた仮名書家である。清澄で透明感のある書風が特徴である。 本品は五鳳の生前に発表されることのなかった作品で、令和4年（2022）に開催された展覧会「日比野五鳳・光鳳・博鳳展―きよらの伝承―」に初めて公開されたもの。金砂子と銀野毛を撒いた料紙に松尾芭蕉が元禄4年（1691）に詠んだ俳句を揮毫する。渇筆で3行を書き、余白を大きくとり、潤筆で最終1行を記す。前半3行と中央の余白が最終行への期待感を生み出し、最終行の墨の濃さと落款が本品の安定感をもたらしている。俳句の叙情性を失うことなく、全体の調和がとれているところに、五鳳の技量と美意識が見出せる。		

6　名称	流水（りゅうすい）	品　　質	紙本墨書
作 者 等	日比野五鳳筆	員　　数	1面
時　　代	昭和年間筆、令和4年（2022）「日比野五鳳・光鳳・博鳳展―きよらの伝承―」出品	寸 法 等	額：縦82.0　横69.0　本紙：縦50.0　横39.0
作品概要	日比野五鳳（1901-85）は「大字仮名運動」を広めた一人で、戦後の書壇に大きな影響を与えた仮名書家である。清澄で透明感のある書風が特徴である。 本品は五鳳の生前に発表されることのなかった作品で、令和4年（2022）に開催された展覧会「日比野五鳳・光鳳・博鳳展―きよらの伝承―」に初めて公開されたもの。鳥の子紙に古語「流水先を争わず」を揮毫する。題材から五鳳晩年の作品と推測される。華美を一切排除し、純粋さを極限にまで高めた作品であり、漢字と仮名に向き合った五鳳の書の美意識を見て取れる作品である。墨の潤渇の変化は、言葉どおり、川の豊かな流れを感じさせるかのような表現である。速い筆の動きの後、最後は強い線と濁点が打たれた「ず」で締めくくる。落款は間延びしない位置にあり、書に安定感をもたらしている。		

7　名称	東大寺興福寺等関係文書（とうだいじこうふくじとうかんけいもんじょ）	品　　質	紙本墨書
作 者 等		員　　数	1巻
時　　代	鎌倉時代 13-14世紀	寸 法 等	縦32.5-32.8 全長744.9
作品概要	鎌倉時代（13～14世紀）の古文書12通を貼り継いで一巻としたもの。古文書は、大半が奈良の東大寺または興福寺に伝来したもので、東大寺領播磨国大部荘の経営に関わる「後堀河天皇綸旨」（寛喜3年〈1231〉3月11日付）や、建治3年（1277）に興福寺が春日の神木を戴いて朝廷に強訴したことに関わる「亀山上皇院宣」（同年6月10日）などが含まれる。薄墨色の染め紙（宿紙）に墨書された天皇の綸旨など貴重な原本史料は、様々な展示構成への展開が可能であり、また内容面から見ても、従来知られていない歴史情報を含む古文書があるなど、学術研究上の発展に資するものである。		

8　名称	仏師院派関係文書（ぶっしいんぱかんけいもんじょ）	品　　質	紙本墨書
作 者 等		員　　数	1巻
時　　代	南北朝時代-室町時代 14-15世紀	寸 法 等	縦39.2 全長953.8
作品概要	足利義満・義政などの将軍や管領を含む室町幕府関係者が、平安時代の定朝の流れをくむ院派の仏師に丹波国国分寺地頭職を安堵した文書の正文（花押あり）12通と、院派傍系の仏師に将軍が仏像の製作を命じた文書の写し5通の計17通を成巻したもの。京都で書画の鑑定をよくした雨森善四郎(1793～1881)の旧蔵品。院派は足利将軍家と緊密な関係を結んで活動したことが知られ、足利氏の菩提寺等持院の本尊造立料として院吉に与えられた丹波国分寺地頭職は、その後院広、院誉、院実と足利義政の時代まで継承された。南北朝～室町時代の仏師院派に関するまとまった史料群として貴重なもので、仏教美術史の観点からも重要な史料群である。		

9　名称	詠歌大概（えいがたいがい）	品　　質	彩箋墨書
作 者 等	後奈良天皇筆	員　　数	1帖
時　　代	室町時代 16世紀	寸 法 等	縦25.6 横17.6
作品概要	後奈良天皇が、色変わりの華麗な料紙に藤原定家の歌論書『詠歌大概』を書写したもの。 父の後柏原天皇から受け継いだ、「後柏原院流」と呼ばれるおおらかで豊潤な書風が見て取れる。後奈良天皇は総じて濃墨を好み、重厚さを帯びた運筆と転折の抑揚に特徴がある。冒頭の漢文体の歌論部は肉太で調和のとれた行書で、秀歌例を挙げた「秀歌躰大略」の部分は柔和な草書で書き分けるなど、後奈良天皇の技量の高さをうかがわせる。 本品は後欠のため、奥書が存在するかどうか不明であり、また書写年も不明であるが、後奈良天皇の『詠歌大概』への関心を示す記録があり、本品書写当時の後奈良天皇の学問環境や三条西実隆の影響を知る上で重要な資料である。		

10　名称	和歌色紙「染てけり」（わかしきし「そめてけり」）	品　　質	紙本墨書
作 者 等	後西天皇筆	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代 17世紀	寸 法 等	表装：縦133.5 横36.2 軸長40.7 本紙：縦15.7 横13.5
作品概要	後西天皇が『続古今和歌集』巻第5「秋下」所収の和歌(作者不詳)を墨書した和歌色紙。後西天皇は、父の後水尾天皇の影響を受けて学問を好み、公卿を相手に古典講読を行うほどであった。また、和歌にも卓越した才能を発揮した。 伸びやかで穏やかな書風、渇筆がちな筆跡は、後水尾天皇の書風に近しく、父から手ほどきを受けたことがうかがえる。本品の潤渇の変化、「梨(り)」や「遊(ゆ)」、「ふ」、「山」、「農(の)」といった、後西天皇に特徴的な筆跡が見られる。		

11　名称	和歌色紙「麓をは」（わかしきし「ふもとをば」）	品　　質	紙本墨書
作 者 等	後西天皇筆	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代 17世紀	寸 法 等	表装：縦164.0 横44.8 軸長48.8 本紙：縦20.7 横16.7
作品概要	後西天皇が『新古今和歌集』巻第5「秋歌下」所収の藤原公実の和歌を墨書した和歌色紙。後西天皇は、父の後水尾天皇の影響を受けて学問を好み、公卿を相手に古典講読を行うほどであった。また、和歌にも卓越した才能を発揮した。 伸びやかで穏やかな書風、渇筆がちな筆跡は、後水尾天皇の書風に近しく、父から手ほどきを受けたことがうかがえる。本品の潤渇の変化、「は」や「農(の)」、「山」といった、後西天皇に特徴的な筆跡が見られる。 料紙は布目打ちし、表面に凹凸があるが、墨の潤渇、筆線の太細を巧みに変化させている。山形県指定文化財「後西天皇宸翰和歌懐紙(麓をば)」(本間美術館所蔵)は、本品と同じ和歌を書いたものである。本間美術館所蔵品に比べて本品は、柔和で伸びやかな書風である。		

12　名称	和歌御会短冊（わかぎょかいたんざく）	品　　質	彩箋墨書
作 者 等	題：霊元天皇筆 和歌：霊元天皇・烏丸光雄・平松時量・橋本公綱・甘露寺方長・藪嗣章・慈光寺冬仲・水無瀬氏信・滋野井実光・万里小路雅房・押小路公音・園基福・姉小路公量・坊城俊広・日野西国豊・四辻季輔・冷泉為経筆	員　　数	1帖
時　　代	江戸時代 17世紀	寸 法 等	折本：縦38.6 横11.5 霊元天皇短冊：縦37.8 横5.5、烏丸光雄短冊：縦36.2 横5.5、平松時量短冊：縦36.0 横5.6、橋本公綱短冊：縦36.5 横5.5、甘露寺方長短冊：縦36.4、横5.5、藪嗣章短冊：縦36.5 横5.2、慈光寺冬仲短冊：縦36.0 横5.6、水無瀬氏信短冊：縦36.0 横5.3、滋野井実光短冊：縦36.0 横5.4、万里小路雅房短冊：縦36.6 横5.5、押小路公音短冊：縦36.3 横5.6、園基福短冊：縦36.7 横5.2、姉小路公量短冊：縦35.8 横5.2、坊城俊広短冊：縦37.6 横5.5、日野西国豊短冊：縦37.6 横5.2、四辻季輔短冊：縦37.2 横5.3、冷泉為経短冊：縦37.5 横5.3
作品概要	霊元天皇以下、計17名の和歌短冊。霊元天皇は、有職故実に通じ、文芸の才能に恵まれ、特に歌道に造詣が深く、生涯に詠んだ歌は6千首を超えるともいわれる。父・後水尾天皇や兄・後西天皇の穏やかな書風とは異なり、霊元天皇の書風は力強さと大らかさが特徴である。 本品の霊元天皇短冊の和歌は、延宝4年(1676)8月24日の月次和歌御会での和歌であることが判明するものの、他の短冊は8月24日の月次和歌御会のものではない。判明するもののうち、橋本公綱・日野西国豊・四辻季輔の短冊は、他の御会のときのものである。 短冊は詠者の自筆であり、また1枚だけでも鑑賞することができるために珍重され、江戸時代に収集が行われた。短冊を綴じていた水引が切られたことで短冊が離散し、失われたもの、あるいは残されたとしても、1枚しか残らないために詠作背景のわからないものが多い。本品は同一の御会ではないものの、霊元天皇と霊元期の公卿らの筆跡を伝え、17世紀後半の公家の書風を知ることができる作品である。		

13　名称	鷹司兼熙詠草集（たかつかさかねひろえいそうしゅう）	品　　質	紙本墨書
作 者 等	鷹司兼熙筆	員　　数	1巻
時　　代	江戸時代 元禄8-11年(1695-98)頃	寸 法 等	縦36.1 横1291.1 軸長37.4
作品概要	鷹司兼熙(1659-1725)の折紙詠草(横詠草)26葉を貼り継いで巻子装に仕立てたもの。このうち18葉は和歌御会の記録などと一致し、兼熙が左大臣在任中の元禄8-11年(1695-98)頃の御会のための詠草であることが確認できる。また全葉に批点があり、袖には「兼熙上」とあることから、その点者は霊元天皇と考えられる。父の後水尾天皇の影響を強く受けた霊元天皇は、文芸に秀で、和歌や学問に高い関心を持った。父とともに、近世初期・前期の宮廷歌壇を主宰し、活性化させた天皇として知られる。本作品は霊元天皇宸筆の批点・添削がある鷹司兼熙の自筆詠草として希少性が高く、霊元天皇の詠歌指導の様子を伝える資料としても高い学術的価値を持つ。		

14　名称	和漢朗詠集抜書（わかんろうえいしゅうぬきがき）	品　　質	紙本墨書
作 者 等		員　　数	1巻
時　　代	江戸時代 17-18世紀	寸 法 等	縦31.4 横454.3 軸長31.6
作品概要	和漢朗詠集より漢詩と和歌を交互に8首ずつ（漢詩は冒頭2句のみ）、全16首を抜き書きする。本紙は雁皮紙と思われる料紙9紙を継ぎ、巻子装に仕立てる。和漢朗詠集は平安時代中期の成立当初から、詩歌が必須の教養であった宮廷社会で人気を博し、美麗な調度手本が制作された。その後も長く古典として、また漢文の幼学書や書の手本として広く尊重され、江戸時代にも装飾料紙や本作品のような素紙に、和漢朗詠集の一部を抜き書きした作例が確認できる。本作品は書の手本として作成された書巻と考えられる。装飾性は無いが、光沢ある良質な料紙に、漢詩を行草書で、和歌を仮名で揮毫する。整った丁寧な筆致で、平滑な料紙により墨色の濃淡の変化が良好にうかがえる。		

15　名称	和漢朗詠集抜書（わかんろうえいしゅうぬきがき）	品　　質	紙本墨書
作 者 等	有栖川宮職仁親王筆	員　　数	2帖
時　　代	江戸時代 18世紀	寸 法 等	乾：縦33.3 横8.2 全長467.3 坤：縦33.3 横8.2 全長478.1
作品概要	本品は、有栖川宮職仁親王が『和漢朗詠集』所収の漢詩と和歌を書写したもの。職仁親王は、霊元天皇の第17皇子で、後西天皇の孫の正仁親王が嗣子なく薨じたことをうけ、有栖川宮家を継承した。歌道に優れたほか、父・霊元天皇の書風を受け継ぎ、有栖川流を創始した。有栖川流は現在、秋篠宮文仁親王に継承されている。 職仁親王は、霊元天皇の力強く、おおらかな書風を受け継ぎながらも、より典麗な書風を展開し、本品においても十分に発揮している。本品は、『和漢朗詠集』所収の漢詩と和歌を正確に全てを書写する目的ではなく、手本として書写されたものだと考えられる。		

＜金工＞（4件）

16　名称	菊花散鏡（きっかちらしきょう）	品　　質	銅鋳造
作 者 等	朝鮮半島	員　　数	1面
時　　代	高麗時代 14世紀	寸 法 等	面径15.9
作品概要	鏡胎の薄い円鏡。鏡背面は隆帯を一条めぐらし、内外区に区画する。中央に隅丸長方形をなす鈕を設け、鉄鐶を通す。鈕を中心に押型で捺された菊花文を鈕から外縁へ向けて4・8・14個の順に三重に配する。大きく外反した鏡面は、後代に研磨され、やや黄色味を帯びた地色を呈する。なお本品は、古鏡蓋として後代に茶の湯釜の蓋に転用されたため鈕に鐶が通されており、鐶の輪先が折れ曲がって延び蓋に降りた掻き立て鐶となっている。		

17　名称	五鈷鈴（ごこれい）	品　　質	銅鋳造、鍍金
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	南北朝時代 14世紀	寸 法 等	総高18.6 口径7.7
作品概要	鈷・把部と鈴身部を別鋳とする五鈷鈴。鈷は、把上より垂直に伸びる中鈷と、逆刺を伴う4つの脇鈷からなる五鈷形をなす。把の鬼目は二重睨で4ヶ所に鋳出し、鬼目の上下に配した蓮弁帯は、やや縦長の間弁付重圏八葉蓮華とし、把上部を二条の紐で約す。全体にやや鋳出しが甘く、全体に黄味がかった色調を呈する。一方、やや白味を帯びる鈴身部は、笠形上に間弁付重圏八葉蓮華を精緻にあらわし、弁先にやや大きめの連珠をめぐらす。また、連珠より下の胴部には、むくりをもうけた後、2条の細い隆帯と、その上下に子持三条帯をめぐらす。鈴身部下端の駒の爪は、厚く作り出し外反する。なお、鈴身の内側には環を設け、舌を吊り下げる。鈷・把部と鈴身部で作行や色味が大きく異なることから、鈷・把部は後補と考えられる。		

18　名称	宝珠鈴（ほうじゅれい）	品　　質	銅鋳造、鍍金
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	江戸時代 18世紀	寸 法 等	総高18.8 口径6.8
作品概要	鈷・把部と鈴身部を別鋳とする宝珠鈴。宝珠のまわりには多数の沈線を刻んだ薄板の心葉形が付き、火焔宝珠となる。鈴身部は鈷・把部と比べるとやや古色を呈する。笠形上に間弁付重圏八葉蓮華をあらわし、弁先に連珠をめぐらす。		

19　名称	三鈷鈴（さんこれい）	品　　質	銅鋳造、鍍金
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	室町時代 15世紀	寸 法 等	総高18.4 口径7.4
作品概要	鈷・把部と鈴身部を別鋳とする三鈷鈴。鈷は、把上より垂直に伸びる中鈷と、逆刺を伴う2つの脇鈷からなるやや縦長の三鈷形をなし、中鈷に鋳付く脇鈷には稜角に添って中鈷の根本にまで樋を刻む。把の鬼目はやや扁平ながら出のある二重瞼で4ヶ所に鋳出し、鬼目(ｷﾓｸ)の上下に配した蓮弁帯はやや縦長で鏨立ち、先端に細かな蕊(ｼﾍﾞ)を伴う。また、把上部は二条の紐帯で約す。鈴身は撫で肩となる一方、鈴身部下端の駒の爪は厚く作り出し外反する。なお、鈴身の内側には環を設け、舌を吊り下げる。		

＜考古＞（6件）

20　名称	埴輪　盾持人（はにわ　たてもちびと）	品　　質	土製
作 者 等		員　　数	1軀
時　　代	古墳時代 6世紀	寸 法 等	高72.5　幅23.0　奥行18.7
作品概要	盾持人物形埴輪と総称される形象埴輪の一例。円筒埴輪の上部に男性の頭部をあらわし、前面に盾を表現する板状部材を付すことで、盾を持って立つ人物を表現したもの。手足は表現されず、頭部には髷を横置きする髪型があらわされていて、これらは盾持人物形埴輪に通例の表現である。円筒部の下半など各所が失われ石膏にて補填される。「東京都下玉川出土」の伝が付帯し、武蔵地域南部の豪族の奥津城とされる荏原台古墳群から出土したものである可能性が高い。		

21　名称	埴輪　盾持人（はにわ　たてもちびと）	品　　質	土製
作 者 等		員　　数	1軀
時　　代	古墳時代後期 6世紀	寸 法 等	高65.8　幅19.0　奥行20.0
作品概要	盾持人物形埴輪と総称される形象埴輪の一例。円筒埴輪の上部に男性の頭部をあらわし、前面に盾を表現する板状部材を付すことで、盾を持って立つ人物を表現したもの。手足は表現されず、頭部には髷を横置きする髪型があらわされていて、これらは盾持人物形埴輪に通例の表現である。円筒部の下半など各所が失われ石膏にて補填される。「東京都下玉川出土」の伝が付帯し、武蔵地域南部の豪族の奥津城とされる荏原台古墳群から出土したものである可能性が高い。		

22　名称	埴輪　家（はにわ　いえ）	品　　質	土製
作 者 等		員　　数	1個
時　　代	古墳時代 6世紀	寸 法 等	幅：48.5　奥行：29.5　高：52.17
作品概要	家形の埴輪である。屋根部は寄棟造で、頂部に棟覆を表現し、その上に堅魚木を4本載せる。屋根部は無文で、角部は強い丸みを帯びる。身舎部も無文で、平側の2面には長方形の窓を一つずつ穿つ。身舎の四隅には縦突帯が1条配され、柱を表現する。また壁の下端部には土台材をあらわす突帯を一周させる。土台の下には高さ5cmほどの低い脚が一周する。壁の一部や屋根の上に乗る堅魚木の2本などが石膏による復元である。群馬県前橋市西大室の中島古墳との出土地伝承が付帯する。		

23　名称	銅鼓（どうこ）	品　　質	青銅鋳造
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	ドンソン文化 紀元前1世紀-後1世紀	寸 法 等	径61.5　高45.5
作品概要	銅鼓は紀元前500年頃に出現した青銅製の太鼓で、中国南部から東南アジアにかけて広く分布する。足部・腰部・胸部の境界が明瞭で、裾が広がる足部とせり上がりながら膨らむ胸部をもつ本作はヘーゲルの第Ⅰ型式に相当する。とくに腰部がほぼ垂直で円筒形を呈するものは、ベトナムにおける出土点数がもっとも多い。『ベトナム銅鼓図録』所載のタインホア省ビンニン出土鼓（B-Ⅱ-35）は器形、大きさ、製作技法が本作と酷似する。ただ、文様については本例の鳥文が4個であるのに対してビンニン鼓の鳥文は6個あるなど、異なる部分もあるが、各種文様の形態、配置は両者とも似通っている。本作は紀元前後にベトナム北部で栄えたドンソン文化のビンニン出土鼓と同一工房でほぼ同時期に製作された蓋然性が高い。		

24　名称	モザイク貼付玉（もざいくはりつけだま）	品　　質	ガラス製
作 者 等		員　　数	1個
時　　代	ビザンチン時代 4-5世紀	寸 法 等	幅1.9　厚2.0　穴径0.6
作品概要	球に近い形状のガラス玉で、中央に縦孔が通り紐を通す作りになっている。深い青のガラスをベースに、表面にドット状の水色・黄色のガラスを象嵌するが、その周囲にも劣化により白色化したガラス層が見え、重層的に貼りつけたことが考えられる。紀元前に東地中海沿岸や中国で制作された「重層貼眼玉」を模して造られたと思われるガラス玉で、ビザンチン時代に類似品が認められる。本来いくつかのビーズを連ねてネックレス状で使用する。		

25　名称	重層貼眼文玉（じゅうそうちょうがんもんだま）	品　　質	ガラス製
作 者 等		員　　数	1個
時　　代	イスラーム時代 7-10世紀	寸 法 等	幅2.1　厚1.6　穴径0.7
作品概要	楕円体のガラス玉で、緑色のガラスをベースに、黄色と緑色の同心円状モザイクを象嵌している。形はややいびつで回転楕円体ではなく、中央に縦孔が通り紐を通す作りになっているが中央からずれた位置にあけられている。表面は風化が認められる。紀元前に東地中海沿岸で制作されたアイビーズの系統をひくガラス玉で、サーサーン朝にも類似品が認められるが、制作時期は若干下ると思われる。透明感のあるガラスが多い中くすんだ緑色のガラス玉が時折見られ、黄色ガラスが象嵌されることが多い。本来他のガラス玉と組み合わせてネックレスなどに使用する。		

＜民族資料＞（50件）

26　名称	仏頭（ぶっとう）	品　　質	乾漆造、金彩
作 者 等		員　　数	1個
時　　代	12-13世紀あるいは18-20世紀	寸 法 等	幅20.6　奥行19.5　高23.6
作品概要	乾漆造の如来像頭部。塑土で原型を造り、木屎漆で目鼻口や耳、頭部を成形し、表面を黒漆で整えたのち、朱漆を塗り、金彩を施す。原型の塑土は掻き出し、漆の層が頭部内側の表面に確認できる。頭頂部にはラッサミーを挿し込むための小孔がある。先が尖った螺髪を漆の練物で造り、地髪部および肉髻の表面に貼り付ける。白毫、三道はあらわさない。伏し目で口角を上げて微笑をたたえる温和な表情はパガン朝後期・12～13世紀の作例に通じるが、同時代の乾漆像の類例に関する情報が乏しく断定は難しい。18～20世紀におけるパガン仏の模古作の可能性も考えられ、制作年代についてはなお検討を要する。しかしながら、古式を示すミャンマーの仏像としての価値は認められる。		

27　名称	供物器（くもつき）	品　　質	籃胎漆塗、堆起、象嵌
作 者 等		員　　数	1合
時　　代	19世紀	寸 法 等	径52.0　総高107.0、先端部：径3.0　高19.5、鳥：幅22.0　奥行19.5　高21.5
作品概要	ヒンタと思しき聖鳥をかたどった頂部と合わせ蓋、円盤状の作り出しを複数設けた台付の身からなる大型の供物器。内面に朱漆を塗布する。外面には、籾殻や牛骨粉、牛糞などの灰に漆を混ぜて粘土状の塊にしたものを紐状に延展あるいは型抜きして漆器の表面に貼り付けるタヨー技法と、色ガラスを表面に貼り付けてタヨー技法によって留め、金箔を貼り付けたハマンジ・シュエイチャ技法を併用して全面に立体的な装飾を施す。緑や白のガラス製小円板や小列点で区画された各部位は唐草文様を地文とし、その上に花文や動物文などを堆起する。特に動物文には胴体に色とりどりのガラス製小円板を貼り詰める。		

28　名称	供物器（くもつき）	品　　質	籃胎漆塗、堆起
作 者 等		員　　数	1合
時　　代	20世紀	寸 法 等	径26.5　総高74.5
作品概要	仏塔型の頂部を戴いた鍔縁を伴う蓋付きの供物器。ミャンマー漆芸を代表する技法のひとつであるタヨー技法を駆使して、蓋・身・脚台のいずれにもS字の蔓草とその上に配した花文を一単位とする装飾を全面に施す。花文は、鍔縁上と脚台では六弁花、胴の上下は八弁花となり花弁の数を変えている。		

29　名称	供物器（くもつき）	品　　質	木胎漆塗、堆起、掻き落とし
作 者 等		員　　数	1合
時　　代	ビルマ連邦時代 20世紀	寸 法 等	胴径35.5　総高71.2
作品概要	仏塔型の頂部を戴いた鍔縁を伴う蓋付きの食籠。蓋の鍔縁上面と身で加飾を使い分ける。鍔縁上は、粘土状の塊にしたものを紐状に延展あるいは型抜きして表面に貼り付けてレリーフ状にしたタヨー技法を用いて唐草文様と鳥文をあらわす。一方、胴部は掻き落とし技法により、合口を挟んで上半を唐草人物文、下半を草花文に描き分ける。		

30　名称	供物器（くもつき）	品　　質	木胎漆塗
作 者 等		員　　数	1合
時　　代	ビルマ連邦時代 20世紀	寸 法 等	最大径31.0　総高68.0、蓋：径31.0　高43.0、身：径31.0　高26.0
作品概要	仏塔型の頂部を戴いた鍔縁を伴う蓋付きの食籠。蓋の鍔縁上には、粘土状の塊にしたものを紐状に延展あるいは型抜きして表面に貼り付けてレリーフ状にしたタヨー技法を用いて、唐草文様を地文に花文と鹿文を交互にあらわす。		

31　名称	供物器（くもつき）	品　　質	木胎漆塗、籐編み
作 者 等		員　　数	1合
時　　代	20世紀	寸 法 等	最大径37.0　総高60.0
作品概要	仏塔型の頂部を戴いた鍔縁を伴う蓋付きの食籠。蓋は鍔縁から頂部へ向けて同心円状に隆帯を複数めぐらす。胴部は籐素材を用いた編み上げにより菱目格子とする。		

32　名称	供物器（くもつき）	品　　質	籃胎漆塗
作 者 等		員　　数	1合
時　　代	ビルマ連邦時代 20世紀	寸 法 等	最大幅120.0　高103.5
作品概要	大型の脚付食籠。外面を黒漆、内面を朱漆に塗り分ける。蓋の頂部は仏塔形をなし、下縁に向かって宝珠形をなす。脚付台は鍔縁から3方向に花先形の造り出しを設け、その下に脚先を玉抱き三爪にした獣脚を付ける。		

33　名称	供物器（くもつき）	品　　質	籃胎漆塗
作 者 等		員　　数	1合
時　　代	ビルマ連邦時代 20世紀	寸 法 等	最大径47.0　総高40.5
作品概要	多段式の脚付食籠。外面を黒漆、内面を朱漆に塗り分ける。頂部に伏せた椀の上面には中央にごく浅い沈線で花文をあらわし、その周囲にコンパスを用いて同心円を5条巡らす。各段を構成する皿はいずれも鍔縁をなし、身は鎬を41条立てる。身底には円錐台状の短脚を6つ設ける。		

34　名称	供物器（くもつき）	品　　質	籃胎漆塗
作 者 等		員　　数	1合
時　　代	ビルマ連邦時代 20世紀	寸 法 等	幅57.5　高51.0
作品概要	蓋・中央・身の3部に分かれる脚付供物器。外面を黒漆、内面を朱漆に塗分ける。仏塔型をなす蓋は鍔縁をなし同心円状の刳り込みを三重に巡らして中央の十六弁花形座から頂部に向けて相輪状をなす。48条の鎬を立てた中央は反転させると容器ともなる。脚付台は鍔縁から三方向に造り出しを設けて脚を3か所に設け、脚先を玉抱き三爪となす。		

35 名称	供物器（くもつき）	品　質	籃胎漆塗
作 者 等		員　数	1合
時　代	20世紀	寸 法 等	胴径24.5　総高31.0
作品概要	手提付きの多段式脚付き食籠。蓋身合わせて計5部位からなる。外面を黒漆、内面を朱漆に塗り分ける。頂部に半球形の蓋を被せてその下に鍔縁を伴う中蓋を二段重ね、胴の張った身には掛子を付ける。張りのある胴の下部には脚先が三爪の鳥獣脚を6つ設ける。		

36 名称	供物器（くもつき）	品　質	籃胎漆塗
作 者 等		員　数	1合
時　代	イギリス領インド帝国-ビルマ連邦時代 19-20世紀	寸 法 等	径39.0　総高22.0
作品概要	蓋を伴う脚付の籠。内外面に朱漆を塗布する。蓋はむくりをもうけた丸蓋で、把手は伴わない。身はやや扁平で、口縁は内傾する。底部には円柱状の短脚が6つ付き、脚から口縁に向かって鎬をもうける。		

37 名称	飯台（はんだい）	品　質	籃胎漆塗
作 者 等		員　数	一対
時　代	ビルマ連邦時代 20世紀	寸 法 等	各径27.3　高87.0
作品概要	一対からなる蓋付の米飯運搬具。内外面ともに朱漆を塗布する。蓋は円錐台形で、縁回りに4段の段差を設け、頂部の握りは仏塔の相輪状となる。身は口縁部分を円形で作り、下方を台形に仕上げる。縁の4か所に設けた鉄鐶と台形の各面に開けた孔には懸垂用の麻紐を通す。		

38 名称	丸櫃（まるびつ）	品　質	籃胎漆塗、蒟醤
作 者 等		員　数	1合
時　代	ビルマ連邦時代 20世紀	寸 法 等	径22.8　高21.5
作品概要	懸子2つを伴う被せ蓋付の円筒形容器。赤漆塗を施した器物表面を刃物で浅く線彫りし、黒色の漆を充填した後に研ぎ出した蒟醤の技法で全面加飾する。蓋の上面には連珠文で円郭を設け、その周囲に連続半円を連ねた幾何学文を同心円状に配置し、中央の郭内には右手に杖を手にして疾駆する人物を描く。また、蓋の肩には2か所に銘郭を設け、銘文を書く。胴部には蓋上面と同様の幾何学文をめぐらす。		

39 名称	丸櫃（まるびつ）	品　質	籃胎漆塗、蒟醤
作 者 等		員　数	1合
時　代	イギリス領インド帝国-ビルマ連邦時代 19-20世紀	寸 法 等	径27.3　高24.0
作品概要	懸子2つを伴う被せ蓋付の円筒形容器。懸子の外底には隆帯を一条めぐらす。器物表面を刃物で浅く線彫りし、黒・赤・黄色の三色の漆を充填した後に研ぎ出した蒟醤の技法で蓋の全面を加飾する。隅入方形の区画を連続させ、その内部に黄道十二宮と考えられる星座を表現した図像を主文様とし、間地に細かな草花文様を充填する。		

40 名称	丸櫃（まるびつ）	品　質	籃胎漆塗、蒟醤
作 者 等		員　数	1合
時　代	イギリス領インド帝国-ビルマ連邦時代 19-20世紀	寸 法 等	径18.1　高18.0
作品概要	懸子2つを伴う被せ蓋付の円筒形容器。懸子の外底には高台状の隆帯をもうける。深型の懸子のほうは経年による歪みが著しい。器物表面を刃物で浅く線彫りし、黒・赤・黄色の三色の漆を充填した後に研ぎ出した蒟醤の技法で蓋の全面を加飾する。蓋上面にあらわされた中央の鳥文とその周囲に配した9種の動物文や胴部にめぐらせた計14種の動物文は、朱漆地に線彫りを施した後に緑色の漆を充填して表現し、間地には黄色で点文を散らす。		

41 名称	秤入（はかりいれ）	品　質	木製漆塗
作 者 等		員　数	1個
時　代	コンバウン時代 18-19世紀	寸 法 等	縦26.5　横52.7　高11.8
作品概要	鉄製蝶番を伴う半月形の蓋付箱物。蓋表には、「チンテ」（chinthe）と呼ばれる獅子を向かい合わせに配して主文とし、間地には大ぶりな蓮華唐草文を高肉彫であらわす。縁は隆帯で二重に区画し、それぞれ蓮弁を連ねる。側面および底面には意匠を伴わない。また、箱内は秤と錘を収めるためのスペースを刳り出し、全面に黒漆を塗布する。なお、秤と分銅は伴わない。		

42 名称	長櫃（ながびつ）	品　質	木造、漆線、金泥
作 者 等		員　数	1合
時　代	清時代 19世紀	寸 法 等	幅94.5　奥行43.0　高53.3
作品概要	杉あるいは松と思われる針葉樹材による蓋付きの収納箱。赤漆を塗布した後に細い堆起漆と金彩で様々な意匠をあらわす。彩色・意匠は蓋と身ともに前面にのみ行う。蓋前面には、中央に大きく花をあしらい、左右に唐草を展開する。一方、身前面には中央に花先形の窓を配し、口を大きく開けて左前肢に宝珠を掴んだ四爪の様式化した龍を中にあらわす。窓の周囲は、「寿」字を中心に据えた蜀江文風の意匠で充填する。四隅には幅広の葉唐草を配する。なお、蓋・身ともに漆線で区画された内側に金彩を施す。また、隅金具は鉄製で、中央に鎬を立てた剣先形出八双長足金物をL字に打つ。また、前面に閉封のための掛金、後面に蓋と身を繋ぐ開閉用の遊鐶を2箇所取り付ける。		

43 名称	足付盆（あしつきぼん）	品　質	木胎漆塗
作 者 等		員　数	1基
時　代	ビルマ連邦時代 20世紀	寸 法 等	径52.3　高27.5
作品概要	シャン州で制作された台座付きの盆。盆の見込みには同心円を複数まわして内外区に区画し、内区は右旋回、外区は左旋回に連続波濤文を朱漆であらわす。台座は計16本からなる円柱状の脚を垂直に降ろし、下端を輪縁とつなぐ。		

44 名称	合子（ごうす）	品　質	真鍮・轆轤挽き、彫金
作者等		員　数	1合
時　代	阮時代 19世紀	寸法等	径9.0　高8.4
作品概要	檳榔入れ用の円筒形合子。身には懸子を伴う。蓋表は中央に間弁付四弁花文、内区に輻線文、外区に左に顔を向けた蝙蝠を4匹巡らす。蓋の側面には入隅八双形を設け、笛や瓶子、筆などをあらわし、八双の合間を紗綾形で埋める。身の側面には入隅方形区画を4か所設け、松に見返り鹿、蓮に鴛鴦、柳に見返り馬、梅に鶯と水鳥をそれぞれあらわす。		

45 名称	合子（ごうす）	品　質	真鍮・轆轤挽き、彫金
作者等		員　数	1合
時　代	阮時代 19世紀	寸法等	径10.5　高9.1
作品概要	檳榔入れ用の円筒形合子。身には懸子を伴う。蓋表は中央に間弁付四弁花文、内区に輻線文、外区に左に顔を向けた蝙蝠を4匹巡らす。蓋の側面には入隅八双形を設け、笛や瓶子、筆などをあらわし、八双の合間を紗綾形で埋める。身の側面には入隅方形区画を4か所設け、松に見返り鹿、蓮に鴛鴦、柳に見返り馬、梅に鶯と水鳥をそれぞれあらわす。		

46 名称	丸筒（まるづつ）	品　質	木胎漆塗、箔押
作者等		員　数	1合
時　代	ビルマ連邦時代 20世紀	寸法等	最大幅5.8　総高34.5
作品概要	筒型の蓋付容器。蓋は被せ蓋で、鍔縁を伴い両端に付く。上蓋には花文、下蓋には五画星をそれぞれ箔押する。筒は全面に箔押で4連ないし5連の唐草文様を密にあらわし、筒の中央に出八双形の銘郭を設ける。		

47 名称	丸筒（まるづつ）	品　質	木胎漆塗、箔押
作者等		員　数	1合
時　代	ビルマ連邦時代 20世紀	寸法等	最大幅6.2　総高35.5
作品概要	筒型の蓋付容器。蓋は被せ蓋で鍔縁を伴い両端に付く。上蓋には花文、下蓋には五画星をそれぞれ箔押する。筒は全面に箔押で蔓の太い唐草文様をあらわし、筒の中央を区画して左手に吹き流しを手にした人物を配する。		

48 名称	背負い籠（せおいかご）	品　質	竹・籐
作者等		員　数	1口
時　代	20世紀	寸法等	上部：長辺33.2　短辺28.1、高50.7、脚幅：長辺23.5　短辺22.0
作品概要	ベトナムの少数民族カトゥー族が、農作物を入れて運ぶための籠。一定の幅と厚みに挽いたラタンの表皮を編んで製作した運搬用の背負い籠で「グイ」と呼ばれる。底と四隅に立てた支持体の内側に皮籐を螺旋状に密に巻き上げ、上下を細引きした籐ひごで編み締め中程を窄ませる。胴の上辺と下辺は編み方を変えて目積編みとし、底部は四ツ目編みで仕上げる。肩紐は皮籐を網代に編んで平紐状とし、籠を左右から包み込む。		

49 名称	背負い籠（せおいかご）	品　質	竹・籐
作者等		員　数	1口
時　代	20世紀	寸法等	上部開口部幅15.5　底の幅19.0　高27.0
作品概要	インドネシアのバリ島で用いられた小物類を持ち運ぶための背負い籠。シダ科の植物もしくは籐などの植物素材を細く裂き、目を詰めて細かく編み込んだ背負い籠。丸底寸胴の編み袋に背負い口まわりを折り伏せ編みとし、紐通しをして巾着袋状に開閉する。2色のひごを組み合わせて編み込み、文様を構成する。胴には八角形を３つ配して内部を先端蕨手状となる幾何学文とし、口周りには鋸歯文状の文様をあらわす。		

50 名称	帽子（ぼうし）	品　質	布、銀鍛造、ガラス
作者等		員　数	1個
時　代	19世紀	寸法等	径17.0　高20.5
作品概要	銀板を多数取り付けた頭飾り。布地の頂部に錐立つ伏鉢を縫い付け、その頂部に円筒管を立てて八花形の飾り板と小ぶりの伏鉢を取り付ける。側頭部まわりには、計8段にわたって銀製装飾板を縫い付ける。装飾板は2種に大別され、ひとつは方形板で四つ葉形を打ち出すタイプで、側頭部の上2段と下4段に巡らせる。もうひとつは円形板で旭日銀貨を思わせる放射状の打ち出しとその周囲に点文を伴うタイプで、上から3段目のみに巡らせる。どちらの装飾板も左右端に小孔を開け、そこに糸を渡して隣り合わせにとじ付けている。また、伏鉢の下端からは8方向に向かって斜方形の飾り板を提げ、各板には紅玉髄を模した赤色ガラスを象嵌する。さらに、飾り板の先端には鈴を下垂する。		

51 名称	頭飾（あたまかざり）	品　質	銀・銅鋳造、鍛造
作者等		員　数	1個
時　代	19-20世紀	寸法等	最大幅42.3　最大高25.1、鎖（長）51.0　（短）16.2
作品概要	イエメンで制作された、額に当てる幅広のバンドと垂飾からなる銀合金製の頭飾り。計7段の駒からなるバンドは左右端をやや横長の五角形の飾り板とし、頂部に鐶を設けて後頭部にまわす鎖を取り付ける。駒には、菱形の小板とマティスワートと呼ばれる9つの顆粒からなる粒金細工の菱形意匠を交互にはんだ付けする。また、飾り板は表面に小円環を連ねて充填し、その上にマティスワートを重ねる。バンドから下垂する垂飾は、鉗子で銀線を捩じって作ったメタマーナと呼ばれる8の字形のリングを連ね、下端に空玉を付ける。こめかみ飾りにあたる左右端に設けた垂飾は丈長く、地板に小円環を連ねた三角形の飾り板から計12琉の鎖飾りを下げる。		

52　名称	背飾（せかざり）	品　　質	銀鍛造、彫金
作 者 等		員　　数	1連
時　　代	20世紀	寸 法 等	全長50.5　鎖長34.5　魚形幅8.7
作品概要	ベトナムのヌン族が用いた銀製の背飾。背鰭が長く鯉を思わせる髭とやや尖ったが特徴的な魚をあらわした打ち出し飾り板に、鎖で様々な小物を吊るした銀製の背飾り。首飾りに取り付けて背面に垂らす。魚形の背鰭に開けた孔には首に懸けるための鎖を通す。鎖は目の詰まった強度の高いいわゆるターラントチェーンの一種で、魚形の顎下・腹鰭・尾鰭などに開けた孔から通す6条の鎖もそれぞれ同様のものを用いる。それぞれの鎖の先には小物がつき、顎下と尾鰭には四角錐状の垂飾を10本吊るし、3か所の腹鰭には形式化した柳葉刀や錐子、捩棒、槍が鎖の先に繋がれる。柳葉刀と錐子には、爪形文やジグザグ文、円文などが刻まれる。		

53　名称	首飾（くびかざり）	品　　質	銀・骨、鍛造、彫金
作 者 等		員　　数	1連
時　　代	20世紀	寸 法 等	首掛部最大径17.0　鎖長61.0　骨製装飾長16.0-16.5
作品概要	ベトナムのザオ族が用いた銀製の首飾。半環状にたわめた断面円形の銀製棒を3つ束ね、捻り返した端部に鎖を取り付けた首飾り。鎖の先端には、骨製とみられる四角錐状の笄が5本つく。笄の各面には同心円文を連ねる。また、笄とともに鎖先に取り付けられた5枚の貨幣（発行年：1911年1枚・1930年2枚・1937年2枚）はフランスの植民地銀行であるインドシナ銀行が1885-1937年に発行し仏領インドシナで流通した20サンチーム銀貨で、表面に自由の女神と発行年、裏面に額面と品位を打刻する。		

54　名称	首飾（くびかざり）	品　　質	銀鍛造、彫金
作 者 等		員　　数	1連
時　　代	20世紀	寸 法 等	首掛部最大径17.7　装飾部最大長11.5
作品概要	ベトナムのモン族が用いた銀製の首飾。断面円形の銀製棒をたわめて両端部を外側へ折り返した環に2種類の飾板を鎖で付けた総銀製首飾り。両端部は叩き延ばして鈍角三角形状にし、表面に草花文、裏面に列点唐草文を刻む。垂飾の1つは貨幣で、フランスの植民地銀行であるインドシナ銀行が1885-1937年に発行し仏領インドシナで流通した10サンチーム銀貨で、表面に自由の女神と発行年、裏面に額面と品位を打刻する。もう1つの垂飾は魚形である。いずれの垂飾も鎖の先端に下げ、その下に小ぶりの剣先形房飾を垂らす。		

55　名称	胸飾（むねかざり）	品　　質	銀鍛造、彫金
作 者 等		員　　数	1個
時　　代	20世紀	寸 法 等	最大長12.5　吊下装飾6.3-6.9
作品概要	ベトナムのモン族が用いた銀製の胸飾。衣服に差し留めるためのフックの根元に様式化した蝙蝠を飾り板として配し、飾り板の下端に小孔を8つ開けて鐶を通した上で、小物を吊るす。小物の種類は多岐に渡り、石灰を入れるための蝶番蓋付心葉形容器のほか、鉗子、耳かき状の小匙、魚佩、柳葉刃、錐子、剣、円筒管からなる。それぞれの小物には小円文が打たれ、特に円筒管ではまばらな魚々子地を構成する。なお、心葉形小容器のみ色味と作行が他の小物とやや異なる。		

56　名称	耳飾（みみかざり）	品　　質	アルミニウム鍛造、彫金
作 者 等		員　　数	1対
時　　代	20世紀	寸 法 等	各最大長7.3-7.4　本体最大幅4.4-4.5
作品概要	ベトナムのモン族が用いる三日月形の板に房飾りを多数付けた一対の耳飾。三日月板の端部は片側を引き延ばして先を同心円状に仕上げ、反対側には同心円を4つ連ねる。彫金は片面にのみ行い、爪形文や鋸歯文を連ねる。外弧に連ねる房飾りは計27条に及び、銀線を捩じった先には剣先形の小板を取り付ける。		

57　名称	オイルランプ	品　　質	真鍮
作 者 等		員　　数	1個
時　　代	20世紀	寸 法 等	縦11.5　横10.0　高11.5
作品概要	インドのヒンドゥー教の儀式や礼拝で使用される真鍮製のオイルランプで、オイルを入れるタンク部分とその一部に芯を出して灯火する突出部、心葉形の立て板で構成される。背面の立て板が特徴で、高価なものは神々の姿や彼らの象徴が描かれれるが、本作では植物文と日月文が表され、周囲に葉状の装飾が付加される。ランプの芯を出す灯芯部が１つの一灯式で、各家庭で日常的な礼拝に使用されるものである。		

58　名称	ワヤン・クリ　ウィルカタクシニ	品　　質	水牛の革・角・骨、金彩、彩色
作 者 等		員　　数	1体
時　　代	1980年	寸 法 等	全長93.1　像高63.0
作品概要	インドネシアの伝統的な影絵人形芝居に用いる人形である。 水牛の革から、本体（頭・胴・後方の腕・両足）、前方の上腕、前方の前腕・手、都合3個の部品を切り出し、鏨で文様を入れる。像の頭を天、顔を左に向けたとき、手前から奥の方向に鏨を打ち、衣服や髭では鏨を組み合わせて文様を構成する。金彩の後、彩色する。可動部2か所（前方の肩，前方の肘）に設けた孔で部品を重ね、水牛の骨を削り出した軸材をはめる。支持棒1本、操作棒1本（前方の手）がある。 『ラーマーヤナ』に登場するラクササ（怪物）の一人、ウィルカタクシニを表す。『ラーマーヤナ』の演目「アノマン使者に立つ」で登場し、アノマンを妨害しようとしたが、敗れる。		

59　名称	ワヤン・クリ　アンギスロノ	品　　質	水牛の革・角・骨、金彩、彩色
作 者 等		員　　数	1体
時　　代	1980年	寸 法 等	全長81.1　像高57.0
作品概要	インドネシアの伝統的な影絵人形芝居に用いる人形である。 水牛の革から、本体（頭・胴・後方の腕・両足）、前方の上腕、前方の前腕・手、都合3個の部品を切り出し、鏨で文様を入れる。像の頭を天、顔を左に向けたとき、手前から奥の方向に鏨を打ち、衣服の文様や頭髪や顎髭では鏨を組み合わせて文様を構成する。金彩の後、彩色する。可動部2か所（前方の肩，前方の肘）に設けた孔で部品を重ね、水牛の骨を削り出した軸材をはめる。支持棒1本、操作棒1本（前方の手）がある。 『ラーマーヤナ』に登場するラクササ（怪物）の一人、忍者アンギスロノを表す。悪役ラウォノにつかえ、さまざまに姿を変えて、主人公ロモの軍勢を翻弄する役どころである。		

60　名称	ワヤン・クリ　トゥムングン・ジョボ	品　　質	水牛の革・角・骨、金彩、彩色
作 者 等		員　　数	1体
時　　代	1980年	寸 法 等	全長76.0　像高51.4
作品概要	水牛の革から、本体（頭・胴・両足）、両方の上腕、両方の前腕・手、都合5個の部品を切り出し、鏨で文様を入れる。像の頭を天、顔を左に向けたとき、手前から奥の方向に鏨を打ち、衣服の裾や顎髭では鏨を組み合わせて文様を構成する。金彩の後、彩色する。可動部4か所（両肩，両肘）に設けた孔で部品を重ね、水牛の骨を削り出した軸材をはめる。支持棒1本、操作棒2本（両手）がある。 『ラーマーヤナ』に登場する外国の高官で、敵役のトゥムングン・ジョボを表す。		

61　名称	ワヤン・クリ　ブラガルボ	品　　質	水牛の革・角・骨、金彩、彩色
作 者 等		員　　数	1体
時　　代	1980年	寸 法 等	全長80.7　像高56.9
作品概要	水牛の革から、本体（頭・胴・後方の腕・両足）、前方の上腕、前方の前腕・手、都合3個の部品を切り出し、鏨で文様を入れる。像の頭を天、顔を左に向けたとき、手前から奥の方向に鏨を打ち、衣服の裾や装身具、顎髭では鏨を組み合わせて文様を構成する。金彩の後、彩色する。可動部2か所（前方の肩，前方の肘）に設けた孔で部品を重ね、水牛の骨を削り出した軸材をはめる。支持棒1本、操作棒1本（前方の手）がある。 『ラーマーヤナ』に登場するラクササ（怪物）の一人、ブラガルボを表す。ブラガルボは、人が死ぬときに放棄すべき4つの欲望のうち、権力や成功を象徴する。		

62　名称	ワヤン・クリ　スマル	品　　質	水牛の革・角・骨、金彩、彩色
作 者 等		員　　数	1体
時　　代	1980年	寸 法 等	全長62.7　像高39.6
作品概要	水牛の革から、本体（頭・胴・両足）、両方の上腕、両方の前腕・手、都合5個の部品を切り出し、鏨で文様を入れる。像の頭を天、顔を左に向けたとき、手前から奥の方向に鏨を打ち、衣服の文様では鏨を組み合わせて文様を構成する。金彩の後、彩色する。可動部3か所（両肩共通，両肘）に設けた孔で部品を重ね、水牛の骨を削り出した軸材をはめる。支持棒1本、操作棒2本（両手）がある。 ワヤン・クリのさまざまな演目に登場するプノカワン（道化）の一人、スマルを表す。最高神ブトロ・グル（シヴァ神）の兄に位置付けられ、息子3人（ガレン，ペトル，バゴン）とともに活躍する。		

63　名称	ワヤン・クリ　ビルン	品　　質	水牛の革・角・骨、金彩、彩色
作 者 等		員　　数	1体
時　　代	1980年	寸 法 等	全長53.7　像高33.6
作品概要	水牛の革から、本体（頭・胴・両足）、両方の上腕、両方の前腕・手、都合5個の部品を切り出し、鏨で文様を入れる。像の頭を天、顔を左に向けたとき、手前から奥の方向に鏨を打ち、衣服や顎髭では鏨を組み合わせて文様を構成する。金彩の後、彩色する。可動部3か所（両肩共通，両肘）に設けた孔で部品を重ね、水牛の骨を削り出した軸材をはめる。支持棒1本、操作棒2本（両手）がある。 ワヤン・クリのさまざまな演目に登場するプノカワン（道化）の一人、ビルンを表す。悪しき王に仕える手下である。		

64　名称	ワヤン・クリ　エムバン	品　　質	水牛の革・角・骨、金彩、彩色
作 者 等		員　　数	2体
時　　代	1980年	寸 法 等	(1)全長52.4　像高35.3、(2)全長52.8　像高35.4
作品概要	水牛の革から、本体（頭・胴・両足）、両方の上腕、両方の前腕・手、都合5個の部品を切り出し、鏨で文様を入れる。像の頭を天、顔を左に向けたとき、手前から奥の方向に鏨を打ち、衣服の裾や装身具では鏨を組み合わせて文様を構成する。金彩の後、彩色する。可動部4か所（両肩，両肘）に設けた孔で部品を重ね、水牛の骨を削り出した軸材をはめる。支持棒1本、操作棒2本（両手）がある。 ワヤン・クリのさまざまな演目に登場する2人1組の宮廷の女官エムバンを表す。王宮の場面で王の側に侍る。		

65　名称	ワヤン・クリ　チャンギ	品　　質	水牛の革・角・骨、金彩、彩色
作 者 等		員　　数	1体
時　　代	1980年	寸 法 等	全長52.6　像高35.8
作品概要	水牛の革から、本体（頭・胴・両足）、両方の上腕、両方の前腕・手、都合5個の部品を切り出し、鏨で文様を入れる。像の頭を天、顔を左に向けたとき、手前から奥の方向に鏨を打ち、衣服の裾では鏨を組み合わせて文様を構成する。金彩の後、彩色する。可動部3か所（両肩共通，両肘）に設けた孔で部品を重ね、水牛の骨を削り出した軸材をはめる。支持棒1本、操作棒2本（両手）がある。 ワヤン・クリのさまざまな演目に登場する宮廷の女官チャンギを表す。櫛を手に持ち、娘のリムブとともに、高貴な女性に侍る。		

66　名称	ワヤン・クリ　リムブ	品　　質	水牛の革・角・骨、金彩、彩色
作 者 等		員　　数	1体
時　　代	1980年	寸 法 等	全長60.9　像高41.2
作品概要	水牛の革から、本体（頭・胴・両足）、両方の上腕、両方の前腕・手、都合5個の部品を切り出し、鏨で文様を入れる。像の頭を天、顔を左に向けたとき、手前から奥の方向に鏨を打ち、衣服やまとめた髪の毛では鏨を組み合わせて文様を構成する。金彩の後、彩色する。可動部3か所（両肩共通，両肘）に設けた孔で部品を重ね、水牛の骨を削り出した軸材をはめる。支持棒1本、操作棒2本（両手）がある。 ワヤン・クリのさまざまな演目に登場する宮廷の女官リムブを表す。母のチャンギとともに、高貴な女性に侍る。		

67　名称	ワヤン・クリ　チャントリク	品　　質	水牛の革・角・骨、金彩、彩色
作 者 等		員　　数	1体
時　　代	1980年	寸 法 等	全長58.3　像高42.2
作品概要	水牛の革から、本体（頭・胴・両足）、両方の上腕、両方の前腕・手、都合5個の部品を切り出し、鏨で文様を入れる。像の頭を天、顔を左に向けたとき、手前から奥の方向に鏨を打ち、衣服の裾では鏨を組み合わせて文様を構成する。金彩の後、彩色する。可動部3か所（両肩共通，両肘）に設けた孔で部品を重ね、水牛の骨を削り出した軸材をはめる。支持棒1本、操作棒2本（両手）がある。 ワヤン・クリのさまざまな演目に登場する従者チャントリクを表す。		

68　名称	碁盤（ごばん）	品　　質	木製漆塗、革貼
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	20世紀	寸 法 等	縦47.0　横48.0
作品概要	朱漆を塗った木胎の縁に革貼りした碁盤。黒漆で引いた目は19路で、9つの星をあらわす。盤面には、龍、鳳凰、雲文を金泥であしらう。盤中央で折りたたみ、付属の箱に収められる。石は付属しない。盤上遊戯は世界中の人々によってたしなまれ、その歴史を辿ると文化の伝わった道がみえる。囲碁は全世界において同じルールで行われており、古来、遣唐使をはじめとする日本の外交使節も囲碁を通じて異国の人々と交流をはかった。素地を活かして木目を呈する碁盤が通例であるが、本作は漆塗りに金泥で龍鳳文を加飾するなど、豪奢な技法を用いた碁盤としても貴重である。		

69　名称	象棋盤（しょうぎばん）	品　　質	木製漆塗、螺鈿象嵌
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	20世紀	寸 法 等	縦19.5　横39.0　厚5.0
作品概要	漆を塗った木胎の上面と縁に螺鈿を象嵌した象棋（将棋）盤。盤面中央には河界をあらわし、舟を漕ぎその上でくつろぐ人物像、波や柳を螺鈿で表現する。螺鈿であしらった目は9路で、「将」「帥」の駒を置く区画を「米」字状にあらわす。盤の端には霊芝文を、外側の縁には四菱文を螺鈿でめぐらせて装飾する。駒は付属しない。盤上遊戯は世界中の人々によってたしなまれ、その歴史を辿ると文化の伝わった道がみえる。象棋（将棋）は中国を中心に東アジア地域に広まったが、囲碁とは異なって盤の形状やルールは各地で発展を遂げ、変化していった。本作は、いわゆる中国象棋の盤で、日本で発展した将棋とは盤の目などが異なる。本作は螺鈿装飾を全面に施すなど、豪奢な技法を用いた象棋盤として貴重である。		

70　名称	文字絵刺繍「壽」（もじえししゅう　じゅ）	品　　質	絹もしくは合成繊維(刺繍)
作 者 等		員　　数	1幅
時　　代	20世紀	寸 法 等	本紙：縦135.5　横79.0、表装：縦235.0　横96.1、軸長：109.3
作品概要	朱地に牡丹文や鶴で「壽」の文字を施した刺繍。右上には「先翁　總辨大人六旬四榮慶」、左下には「愚晩／葉仰高　韓治　詹文藻　李榕　趙鳴琴／鞠躬故祝」の文字を刺繍であらわす。この銘から、總辨大人の還暦と昇進を祝い、葉仰高をはじめとする5名が文字絵刺繍を制作して贈ったことが判明する。文字を絵であらわす文字絵は、長寿などの祈願をこめて贈るもので、中国の明清時代に本格的に流行し、やがて朝鮮王朝などでも受容され、民画として大衆にも広まった。本作は20世紀の作であるが、現代中国の社会や儀礼の様子を伝える貴重な作例である。		

71　名称	ヤマヤナ物語屏風（やまやなものがたりびょうぶ）	品　　質	木製漆塗(蒟醤)
作 者 等	Ma Aye Aye Mar	員　　数	5曲1隻
時　　代	1990年	寸 法 等	幅225.0　最大高181.5　厚2.4
作品概要	蒟醤の技法を用いた5曲1隻の屏風。表側にはインドの古代叙事詩『ラーマーヤナ』（本作制作地のミャンマーでは『ヤマヤナ』と呼称される）の場面を描く。画面中央に大樹の切り株に腰かけるラーマと妻シーター、ラーマの異母弟ラクシュマナを大きく表し、その周囲には物語の主要な場面を表す。裏側は各扇に2話ずつ、計10話のジャータカ（釈迦の前世の物語）を表している。 本作は表裏とも一画面中に複数の場面を表すが、植物等の文様で区画することにより装飾性の高い全体の雰囲気を損ねず、かつ、それぞれのエピソードが混ざることなく表される。丁寧な彫りで細い輪郭線から衣服に充填された文様まで見事に表現しており、蒟醤の技術の高さが窺われる。		

72　名称	橙錦地燈籠雑宝文様蔵袍（だいだいにしきじとうろうざっぽうもんようぞうほう）	品　　質	絹(金糸入錦、緞子)、木綿
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	17世紀後半-18世紀前半	寸 法 等	縦154.5　最大幅211.0
作品概要	チベット民族の貴族もしくは僧侶が用いた蔵袍(チュバ)。表地の金糸入りの錦は、燈籠文様を主題に、間に雑宝を散らす。この錦は、清代初期に宮廷用として官製工房で織られたものが、チュバに仕立てられたものである。本作の表地は「天下楽錦」という元宵節に着用する常服用の燈籠文様の錦。燈籠文様は、時候の文様である他、燈籠の「燈」が、豊穣を意味する「豊登」の「登」と「dēng」で音通することから、「五穀豊登」を暗喩する吉祥文様としての意味を持つ。宮廷儀礼用の服地が周辺地域へ伝えられた貴重な作例。		

73　名称	紺吉服地蔵袍（こんきっぷくじぞうほう）	品　　質	絹(金糸入錦、繻珍、平絹)、交織(縞織物)、木綿(無文平)
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	18世紀	寸 法 等	丈132.5　最大幅190.0
作品概要	チベット民族の貴族もしくは僧侶が用いた蔵袍(チュバ)。表地は、清代に宮廷用として官製工房で織られた金糸入りの錦が使用されている。この錦は、清朝の官服のうち、吉服袍と呼ばれる種の衣服に用いられた種のものである。吉服袍およびその裂地は、冊封によって清と君臣関係を築いた周辺民族にも下賜された。チベット民族も、清朝と朝貢関係を築いており、清朝と深い関係にあったチベットの政治・宗教的指導者や、その臣下の人々の手に渡った吉服袍であると考えられる。宮廷儀礼用の服地が周辺地域へ伝えられた貴重な作例。		

74　名称	竹製汗衫（たけせいかんさん）	品　　質	竹、木綿
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	清時代 19世紀後半	寸 法 等	丈76.0　最大幅169.0
作品概要	ビーズ状の竹を紐に通し、編み連ねた長袖衣服。夏季の下着で、衣服の下に身につけることで、衣服が汗で肌にまとわりつくのを防ぐ役割を持つ。類例が安徽省博物院に残る。また安徽省博物院には袖なしの竹製汗衫も所蔵される。袖なしの竹製汗衫は、南京太平天国歴史博物館にも所蔵される。南京太平天国歴史博物館所蔵作品は、安徽省在住者より、清朝末期に起こった太平天国の乱に参加した太平軍兵士が夏に用いたものが寄贈されたものである。本作も19世紀後半に中国で用いられたものだと考えられる。		

75　名称	バラ水入れ（ばらすいいれ）	品　　質	真鍮
作 者 等		員　　数	1個
時　　代	20世紀	寸 法 等	高24.2　最大幅6.6　蓋径3.2　底径5.8
作品概要	真鍮製の容器で、球形の胴部に細長い頸部が付き、口の部分には傘型の蓋が付く。頸部を取り外して胴部内に液体を注入できる形態になっており、振ると傘部の小さな穴から中の液体が飛沫になって周囲に飛び散る。バラ水などの香りのよい液体を散布するための容器で「スプリンクラー」とも呼ばれ、金属やガラスで作られていることが多い。儀式や礼拝の場を浄化したり、来客に歓迎のしるしとしてバラ水をふりかけるために使用され、イスラーム信仰のある広い地域で使用される。中世イスラーム時代のガラス製品に近似する形状の器が多くみられ、蓋はないものの同様の使い方がされていた。		

＜歴史資料＞（3件）

76　名称	カラッチの肖像画法書（からっちのしょうぞうがほうしょ）	品　　質	紙本活版印刷
作 者 等	アンニバーレ・カラッチ（1560-1609）原画、ヤン・ファン・ハールベック（活動期間1600-30）彫版、 フランソワ・ドゥ・ポワイ（1622/23-93）刊フランス	員　　数	1冊
時　　代	17世紀（1669-93年頃）	寸 法 等	縦28.0　横37.5　厚2.1
作品概要	イタリアにおけるバロック美術の礎をなした画家アンニバーレ・カラッチ（1560-1609）によるドローイングをもとにした肖像画教本。表紙に画家自身の肖像があり、本編には顔、目、口、耳、足、手、さまざまな表情をした老若男女の頭部のスケッチを表わす。各スケッチは、輪郭線だけのものと、ハッチングで陰影（立体）表現をほどこしたものが対になり構成される。本書はオランダ東インド会社によって江戸時代の日本にも輸入されていたことが、石川大浪（1765～1817）『素描集』（天理大学附属天理図書館所蔵）所収の写しによって判明する。洋書の輸入と、当時の画家たちの洋風画学習を知る上で欠かせない資料である。		

77　名称	中国図（ちゅうごくず）	品　　質	紙本墨刷
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	朝鮮時代 18-19世紀	寸 法 等	本紙：縦34.9　横41.3　総寸(裏打ち紙)：縦42.0　横45.6
作品概要	本来は「天下図」・「東国八道大総」(朝鮮図)・「日本国図」・「琉球国図」および朝鮮八道の各道図とともに、全13枚のセットで構成された地図帳の一部である。このような地図帳は17世紀後半から19世紀前半の朝鮮で、刊本や写本によって盛んに製作された。同種の中国図は内容がほぼ共通し、明時代の2京13省や都市、古代中国の地理書『禹貢』の九州、戦国時代の11国、山岳、名所旧跡を散りばめ、各省には北京までの距離を明記する。万里の長城の外側には様々な地名や民族名を配している。デフォルメはあるものの、概ね実際の地理情報を反映した内容だが、図の西端に崑崙山を配置して黄河の源とする点は、同じ地図帳に収まる「天下図」と矛盾が無いよう意識されている。		

78　名称	天下図（てんかず）	品　　質	紙本墨刷
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	朝鮮時代 18-19世紀	寸 法 等	本紙：縦35.0　横42.0　総寸(裏打ち紙)：縦42.2　横44.7
作品概要	中国の道教や神仙思想の影響による東洋の伝統的な世界観に基づいた世界図。本来は「中国図」・「東国八道大総」(朝鮮図)・「日本国図」・「琉球国図」および朝鮮八道の各道図とともに、全13枚のセットで構成された地図帳の一部である。このような地図帳は17世紀後半から19世紀前半の朝鮮で、刊本や写本によって盛んに製作された。　同種の天下図は共通して世界を円形に表わし、中国や崑崙山を中心とする大陸を中央に据え、周囲の海域(内海)を隔てて、それを囲繞する環状の大陸と、さらに外側の海域(外海)から構成されている。実際の地理情報が盛り込まれた部分も見られるが、大半は『山海経』などに登場する道教・神仙世界の伝説的な地名や諸国が散りばめられた世界となっている。		

1-(1)-①-5　有形文化財に関する取組状況（文化財購入費）

令和6年3月31日

	令和5年度 合計金額（千円）	総件数	内訳					
			運営費交付金（千円）	件数	寄附金（千円）	件数	目的積立金（千円）	件数
国立文化財機構	916,760	52	660,860	35	255,900	17	0	0
東京国立博物館	262,300	26	175,000	20	87,300	6	0	0
京都国立博物館	346,900	16	189,300	6	157,600	10	0	0
奈良国立博物館	11,000	1	0	0	11,000	1	0	0
九州国立博物館	296,560	9	296,560	9	0	0	0	0

1-(1)-①-6 寄託品一覧表

（単位：件）　令和6年3月31日現在

	国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館			皇居三の丸尚蔵館		
	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文
合計	12,428	197	1,201	2,675	52	260	6,541	90	617	1,937	54	311	1,275	1	13	0	0	0
絵画	3,714	58	416	395	12	62	2,327	30	245	556	16	106	436	0	3	0	0	0
書跡	1,685	69	277	388	10	36	867	42	200	363	16	37	67	1	4	0	0	0
彫刻	858	9	191	145	2	40	263	1	63	426	6	87	24	0	1	0	0	0
建築	5	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
金工	967	15	88	126	5	17	547	3	39	200	7	30	94	0	2	0	0	0
刀剣	276	7	57	241	7	48				16	0	9	19	0	0	0	0	0
陶磁	1,479	1	7	120	0	2	1,012	1	4	8	0	0	339	0	1	0	0	0
漆工	752	15	57	75	6	14	537	4	16	116	5	26	24	0	1	0	0	0
染織	658	7	37	69	2	4	529	3	30	48	2	3	12	0	0	0	0	0
考古	928	12	35	167	4	13	419	6	10	202	2	11	140	0	1	0	0	0
民族資料	114	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	109	0	0	0	0	0
歴史資料	51	0	12	3	0	0	37	0	10	2	0	2	9	0	0	0	0	0
和書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
写真資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋 絵画	157	1	14	157	1	14												
東洋 書跡	48	2	8	48	2	8												
東洋 彫刻	14	0	0	14	0	0												
東洋 金工	2	0	1	2	0	1												
東洋 陶磁	181	1	0	181	1	0												
東洋 漆工	28	0	1	28	0	1												
東洋 染織	8	0	0	8	0	0												
東洋 考古	487	0	0	487	0	0												
東洋 民族	3	0	0	3	0	0												
黒田記念館収蔵品	13	0	0	13	0	0												

＊東京国立博物館は、列品管理規程による「東洋関係」あり。京都国立博物館・奈良国立博物館・九州国立博物館は、東洋の寄託品も「日本」に含む。
＊列品管理規程改正により、新たに「写真資料」が追加され、東京国立博物館の列品「その他」は「写真資料」に変更した。
＊東京国立博物館では、国宝・重要文化財の数は文化庁の指定件数に合わせている。

1-(1)-①-7 寄託品増減表

（単位：件）　令和6年3月31日現在

	国立博物館				東京国立博物館				京都国立博物館				奈良国立博物館				九州国立博物館				皇居三の丸尚蔵館			
	4年度	5年度			4年度	5年度			4年度	5年度			4年度	5年度			4年度	5年度			4年度	5年度		
	計	新規	返却	計	計	新規	返却	計	計	新規	返却	計	計	新規	返却	計	計	新規	返却	計	計	新規	返却	計
合計	12,506	93	171	12,428	2,668	41	34	2,675	6,587	44	90	6,541	1,937	6	6	1,937	1,314	2	41	1,275	0	0	0	0
絵画	3,716	33	35	3,714	393	6	4	395	2,332	22	27	2,327	554	5	3	556	437	0	1	436	0	0	0	0
書跡	1,686	4	5	1,685	387	1	0	388	869	2	4	867	364	0	1	363	66	1	0	67	0	0	0	0
彫刻	862	2	6	858	148	0	3	145	262	2	1	263	427	0	1	426	25	0	1	24	0	0	0	0
建築	5	0	0	5	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0
金工	997	2	32	967	126	0	0	126	577	2	32	547	200	0	0	200	94	0	0	94	0	0	0	0
刀剣	274	3	1	276	240	2	1	241					16	0	0	16	18	1	0	19	0	0	0	0
陶磁	1,484	33	38	1,479	100	24	4	120	1,017	9	14	1,012	8	0	0	8	359	0	20	339	0	0	0	0
漆工	760	1	9	752	75	0	0	75	545	1	9	537	116	0	0	116	24	0	0	24	0	0	0	0
染織	653	7	2	658	68	1	0	69	525	6	2	529	48	0	0	48	12	0	0	12	0	0	0	0
考古	951	1	24	928	170	0	3	167	420	0	1	419	202	1	1	202	159	0	19	140	0	0	0	0
民族資料	114	0	0	114	5	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	109	0	0	109	0	0	0	0
歴史資料	51	0	0	51	3	0	0	3	37	0	0	37	2	0	0	2	9	0	0	9	0	0	0	0
和書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
写真資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋 絵画	156	2	1	157	156	2	1	157																
東洋 書跡	48	0	0	48	48	0	0	48																
東洋 彫刻	17	2	5	14	17	2	5	14																
東洋 金工	2	0	0	2	2	0	0	2																
東洋 陶磁	191	3	13	181	191	3	13	181																
東洋 漆工	28	0	0	28	28	0	0	28																
東洋 染織	8	0	0	8	8	0	0	8																
東洋 考古	487	0	0	487	487	0	0	487																
東洋 民族	3	0	0	3	3	0	0	3																
黒田記念館収蔵品	13	0	0	13	13	0	0	13																

＊九州国立博物館寄託品件数について、開館直後から生じていた件数の誤計算があったため、5年度において修正し、4年度の欄に修正後の数値を記載している。

1-(1)-①-8 登録美術品一覧表

（単位：件）　令和6年3月31日現在

	国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館			皇居三の丸尚蔵館		
	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文
合計	9	0	2	7	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
絵画	4	0	2	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
書跡	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
彫刻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
陶磁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
染織	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金工	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋 絵画	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋 陶磁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歴史資料	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
複合資料	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

1-(1)-②　有形文化財の管理・保存・修理等

1-(1)-②-1 各収蔵庫、展示場の温湿度

【東京国立博物館】

会場等		空調実施時間	温度(年間)	湿度（年間）
本館	展覧会場	09：00～17：00	15～30℃	12～87%
	収蔵庫	09：30～17：00	18～28℃	39～76%
平成館	展覧会場	09：00～17：00	18～34℃	31～66%
	収蔵庫	09：30～17：00	21～24℃	48～60%
東洋館	展覧会場	09：30～17：00	16～30℃	33～64%
	収蔵庫	09：30～17：00	14～28℃	43～64%
法隆寺宝物館	展覧会場	24時間運転	21～26℃	43～61%
	収蔵庫	24時間運転	21～23℃	50～61%
黒田記念館	展覧会場	24時間運転	16～25℃	42～73%
	収蔵庫	24時間運転	20～23℃	52～64%
管理棟	収蔵庫	24時間運転	21～23℃	45～57%

【京都国立博物館】

会場等		空調実施時間	温度(年間)	湿度（年間）
明治古都館	展覧会場（閉室中）	休止中		
	収蔵庫	2年12月より休止中		
平成知新館	展覧会場	8：40～17：20	19～25℃	50～60%
	収蔵庫	8：40～17：20	19～25℃	55～60%（金工収蔵庫のみ45～55%
北収蔵庫		9：00～17：30	19～25℃	50～60%
東収蔵庫		9：00～17：30	19～25℃	50～60%
文化財保存修理所		8：30～17：30	20～25℃	50～65%

【奈良国立博物館】

会場等		空調実施時間	温度（年間）			湿度（年間）
			冬	夏	中	
なら仏像館	展覧会場	24時間運転	20±2℃	24±2℃	22±2℃	60±5%
青銅器館	展覧会場	24時間運転	20±2℃	24±2℃	22±2℃	60±5%
西新館	展覧会場	24時間運転	20±2℃	24±2℃	22±2℃	60±5%
東新館	展覧会場	24時間運転	20±2℃	24±2℃	22±2℃	60±5%
	収蔵庫	24時間運転	20±1℃	22±1℃	21±1℃	60±4%
地下回廊	収蔵庫	24時間運転	20±1℃	22±1℃	21±1℃	60±4%

【九州国立博物館】

会場等	空調実施時間	温度（年間）	湿度（年間）
3階展覧会場	8:00～19:00	22～26℃	55±5%
4階展覧会場	7:00～21:00	22～26℃	55±5%
収蔵庫	8:40～21:30	22～24℃	材質別に50±2%、55±2%、60±2%

【皇居三の丸尚蔵館】

会場等	空調実施時間	温度（年間）	湿度（年間）
展覧会場	24時間運転	20～23℃	55±5%
収蔵庫	24時間運転	20～22℃	55±5%

1-(1)-②-2 収蔵品に関する資料等のデジタル化件数（収蔵品写真（フィルム）等のデジタル化件数）

令和6年3月31日現在

東京国立博物館		京都国立博物館		奈良国立博物館	
画像	179件	画像	4,819件	画像	3,189件
和古書・漢籍	15,414件			文字	16,851件
洋古書	4,337件				
九州国立博物館		皇居三の丸尚蔵館			
（完了）		画像	520件		

1-(1)-②-3 保存カルテ作成件数

【東京国立博物館】　　令和6年3月31日現在

合計			
計		本格修理調査時	応急修理時
		6	1087
絵画		2	92
書跡		0	8
彫刻		0	1
建築		0	0
金工		0	0
刀剣		0	305
陶磁		0	1
漆工		0	5
染織		0	426
考古		4	6
歴史資料		0	27
民族資料		0	1
和書		0	23
写真資料		0	88
東洋	絵画	0	20
	書跡	0	2
	彫刻	0	1
	金工	0	1
	陶磁	0	0
	漆工	0	0
	染織	0	39
	考古	0	1
	民族	0	0
法隆寺献納宝物		0	0
その他（黒田含）		0	40

【京都国立博物館・奈良国立博物館・九州国立博物館・皇居三の丸尚蔵館】

計	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	皇居三の丸尚蔵館
	163	184	90	179
絵画	67	66	5	36
書跡	34	31	1	7
彫刻	12	23	0	4
建築	0	0	0	0
金工	10	20	0	13
刀剣		2	0	6
陶磁	9	0	0	87
漆工	8	9	5	21
染織	6	7	1	5
考古	17	20	11	0
民族資料	0	0	2	0
歴史資料	0	0	5	0
和書	0	0	0	0
写真資料	0	6	0	0
その他	0	0	60	0

1-(1)-②-4 本格修理件数

令和6年3月31日現在

		計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	皇居三の丸尚蔵館
合　計		108	69	11	7	21	(5)
絵　画		25	9	7	4	5	(1)
書　跡		2	0	1	0	1	(0)
彫　刻		2	0	0	2	0	(0)
建　築		0	0	0	0	0	(0)
金　工		1	0	1	0	0	(0)
刀　剣		1	1		0	0	(4)
陶　磁		0	0	0	0	0	(0)
漆　工		0	0	0	0	0	(0)
染　織		2	1	0	0	1	(0)
考　古		21	9	2	1	9	(0)
民族資料		0	0	0	0	0	(0)
歴史資料		5	0	0	0	5	(0)
和　書		41	41	0	0	0	(0)
写真資料		0	0	0	0	0	(0)
東洋	絵　画	1	1				
	書　跡	1	1				
	彫　刻	0	0				
	金　工	0	0				
	陶　磁	0	0				
	漆　工	0	0				
	染　織	0	0				
	考　古	6	6				
	民　族	0	0				
法隆寺献納宝物		0	0				
黒田記念館収蔵品		0	0				
館史資料(収蔵品外)		0	0				

※皇居三の丸尚蔵館の修理件数は、文化庁からの長期貸与品の件数。

1-(1)-②-5 修理概況

【東京国立博物館】（計 69件）

＜絵画＞（9件）

1 列品番号	A-11131	品　質	紙本淡彩
名　称	六遠山水図　濶遠	員　数	1幅
時　代	江戸時代	寸 法 等	縦135.7 横57.8
年代世紀	明和3年(1766)	施工会社	㈱光影堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去する。 ④欠損部に補紙を施す。 ⑤新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑥新規裏打ちを重ね、補彩をする。 ⑦表装裂、軸首は再使用し、掛幅装に仕立てる。 ⑧桐製太巻、桐製印籠箱（6幅共用箱、旧蓋板等収納）、包裂、中性紙布貼帙を新調する。 （令和5年度は③から⑤まで実施）		

2 列品番号	A-11132	品　質	紙本淡彩
名　称	六遠山水図　幽遠	員　数	1幅
時　代	江戸時代	寸 法 等	縦135.7 横57.8
年代世紀	明和3年(1766)	施工会社	㈱光影堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去する。 ④欠損部に補紙を施す。 ⑤新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑥新規裏打ちを重ね、補彩をする。 ⑦表装裂、軸首は再使用し、掛幅装に仕立てる。 ⑧桐製太巻、桐製印籠箱（6幅共用箱、旧蓋板等収納）、包裂、中性紙布貼帙を新調する。 （令和5年度は③から⑤まで実施）		

3 列品番号	A-11133	品　質	紙本淡彩
名　称	六遠山水図　迷遠	員　数	1幅
時　代	江戸時代	寸 法 等	縦135.7 横57.8
年代世紀	明和3年(1766)	施工会社	㈱光影堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去する。 ④欠損部に補紙を施す。 ⑤新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑥新規裏打ちを重ね、補彩をする。 ⑦表装裂、軸首は再使用し、掛幅装に仕立てる。 ⑧桐製太巻、桐製印籠箱（6幅共用箱、旧蓋板等収納）、包裂、中性紙布貼帙を新調する。 （令和5年度は③から⑤まで実施）		

4 列品番号	A-11134	品　質	紙本淡彩
名　称	六遠山水図　平遠	員　数	1幅
時　代	江戸時代	寸 法 等	縦135.7 横57.8
年代世紀	明和3年(1766)	施工会社	㈱光影堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去する。 ④欠損部に補紙を施す。 ⑤新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑥新規裏打ちを重ね、補彩をする。 ⑦表装裂、軸首は再使用し、掛幅装に仕立てる。 ⑧桐製太巻、桐製印籠箱（6幅共用箱、旧蓋板等収納）、包裂、中性紙布貼帙を新調する。 （令和5年度は③から⑤まで実施）		

5 列品番号	A-11135	品　質	紙本淡彩
名　称	六遠山水図　深淵	員　数	1幅
時　代	江戸時代	寸 法 等	縦135.7 横57.8
年代世紀	明和3年(1766)	施工会社	㈱光影堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去する。 ④欠損部に補紙を施す。 ⑤新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑥新規裏打ちを重ね、補彩をする。 ⑦表装裂、軸首は再使用し、掛幅装に仕立てる。 ⑧桐製太巻、桐製印籠箱（6幅共用箱、旧蓋板等収納）、包裂、中性紙布貼帙を新調する。 （令和5年度は③から⑤まで実施）		

6 列品番号	A-11136	品　質	紙本淡彩
名　称	六遠山水図　高遠	員　数	1幅
時　代	江戸時代	寸 法 等	縦135.7 横57.8
年代世紀	明和3年(1766)	施工会社	㈱光影堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去する。 ④欠損部に補紙を施す。 ⑤新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑥新規裏打ちを重ね、補彩をする。 ⑦表装裂、軸首は再使用し、掛幅装に仕立てる。 ⑧桐製太巻、桐製印籠箱（6幅共用箱、旧蓋板等収納）、包裂、中性紙布貼帙を新調する。 （令和5年度は③から⑤まで実施）		

7 列品番号	A-12486	品　質	紙本着色
名　称	泰西騎士像	員　数	1幅
時　代	江戸時代	寸 法 等	縦85.1 横38.5
年代世紀	17世紀	施工会社	㈱半田九清堂
補足事項	①仮張りから本紙を外す。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去する。 ④新規裏打ちを行ない、折れ伏せを入れる。 ⑤本紙、表装裂を切り継ぐ。 ⑥新規裏打ちを行なう。 ⑦表装裂、発装、軸首、金具、紐を新調し、掛幅装に仕立てる。 ⑧桐製太巻、包裂、桐製二重箱、中性紙布貼帙を新調する。		

8 列品番号	A-60	品　質	絹本着色
名　称	見返り美人図	員　数	1幅
時　代	江戸時代	寸 法 等	縦63.0 横31.2
年代世紀	17世紀	施工会社	㈱半田九清堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去し、本紙の欠損部に補絹を施す。 ④新規裏打ちを行ない、折れ伏せを入れる。 ⑤新規補絹部分に補彩を施す。 ⑥表装裂、軸首は再使用し、軸木、八双、金具、紐を新調して掛幅装に仕立てる。 ⑦桐製太巻、包裂、桐製保存箱、中性紙製布貼帙を新調する。 （令和5年度は①から③まで実施）		

9 列品番号	A-11923	品　質	紙本淡彩
名　称	伝源頼朝像（模本）	員　数	1幅
時　代	江戸時代	寸 法 等	（本紙）120.6×111.4cm（表装込）210.0×124.4cm（軸⇔軸）131.7cm
年代世紀	19世紀	施工会社	東京国立博物館
補足事項	①表装を解体する。②剥落止めを施し、汚れを除去する。③旧裏打ち紙を除去し、本紙の欠損部に補紙を施す。④新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑤新規補紙部分には補彩を施す。⑥表装裂、軸首、金具は新調し、掛幅装に仕立てる。⑦桐製太巻、桐製印籠箱を新調する。		

＜刀剣＞（1件）

1　列品番号	F-4-2	品　　質	木製漆塗など
名　　称	沃懸地鳳凰蒔絵小脇指	員　　数	1口
時　　代	江戸時代	寸 法 等	総長47.9 柄長12.2 鞘長35.5
年代世紀	19世紀	施工会社	
補足事項	①鐺を取り外す。鞘と強固に接着されている場合は、鐺の形に沿って鞘を切断する。 ②指裏の鐺から0.7センチ程続く亀裂に対して充填強化する。 ③鞘内部の木質を掘削して金属物を除去する。 ④金属物の除去によって鞘の木質が可動し、刃方に広がる23センチ程の亀裂が塞がる場合は、亀裂を圧着する。 金属物を除去しても鞘の木質が既に硬化して可動しない場合は、亀裂は現状のままとし、充填強化する。 ⑤工程①において鐺を取り外した場合は、鞘の先端に新たに凸型を作って鐺を装着する。 工程①において鐺に沿って鞘を切断した場合は、切断分を含めて鞘の一部を新補して鐺を装着する。 （令和5年度は④から⑤の途中までを実施）		

＜染織＞（1件）

1　列品番号	I-3947	品　　質	
名　　称	小袖白地片身替格子縞段縅	員　　数	1領
時　　代	安土桃山時代	寸 法 等	丈126 裄57 袖巾22 袖丈48
年代世紀	16世紀	施工会社	㈱松鶴堂
補足事項	①処置範囲になじみ、損傷部に負荷の少ない絹製補修糸を用意する。 ②表地と裏地の解体は行なわず、必要に応じて繊糸と中綿を整え、皺伸ばしを行なう。 ③脆弱な箇所には、生地の裂け部分から中綿や補修裂を挿入する。 ④必要に応じ、生地端を補修糸で縫いかける。 ⑤作品をたたまず平置きできる収納台と保存箱を作製する。この収納台については展示にも対応可能な仕様とする。		

＜考古＞（9件）

1　列品番号	J-6195	品　　質	土師器
名　　称	広口壺	員　　数	1個
時　　代	古墳時代	寸 法 等	高33.3　口径22.5
年代世紀	3～4世紀	施工会社	㈲武蔵野文化財修復研究所
補足事項	①解体し、旧復元石膏部を除去する。 ②クリーニングする。 ③強化し、接合する。 ④欠失部を補填し、復元する。 ⑤補填部に補彩を施す。		

2　列品番号	J-11982	品　　質	土師器
名　　称	甑	員　　数	1個
時　　代	古墳時代	寸 法 等	高27.0　復原口径26.0
年代世紀	6世紀	施工会社	㈲武蔵野文化財修復研究所
補足事項	①解体し、旧復元石膏部を除去する。 ②クリーニングする。 ③強化し、接合する。 ④欠失部を補填し、復元する。 ⑤補填部に補彩を施す。		

3　列品番号	J-22408	品　　質	土製
名　　称	甕形土器	員　　数	1個
時　　代	オホーツク文化期	寸 法 等	口径28.0 最大径28.4 底径13.5
年代世紀	5～6世紀	施工会社	㈱東都文化財保存研究所
補足事項	①クリーニングする。 ②強化し、接合する。 ③欠失部分を補填、復元する。 ④補填部に補彩する。		

4　列品番号	J-21428	品　　質	土製
名　　称	埴輪　踊る人々	員　　数	1個
時　　代	古墳時代	寸 法 等	高57cm 幅14cm 重量3.4kg
年代世紀	6世紀	施工会社	㈱東都文化財保存研究所
補足事項	①解体し、旧修理による石膏部分を除去する。 ②クリーニングする。 ③破断面を中心に強化し、接合する。 ④欠失部を補填し、復元する。 ⑤補填箇所に補彩を施す。 ⑥専用展示台を作成する。		

5　列品番号	J-21429	品　　質	土製
名　　称	埴輪　踊る人々	員　　数	1個
時　　代	古墳時代	寸 法 等	高64cm 幅17cm 重量3.5kg
年代世紀	6世紀	施工会社	㈱東都文化財保存研究所
補足事項	①解体し、旧修理による石膏部分を除去する。 ②クリーニングする。 ③破断面を中心に強化し、接合する。 ④欠失部を補填し、復元する。 ⑤補填箇所に補彩を施す。 ⑥専用展示台を作成する。		

6　列品番号	J-22409	品　　質	土製
名　　称	壺形土器	員　　数	1個
時　　代	オホーツク文化期	寸 法 等	口径5.6 胴径7.6 底径5.4 高10.4
年代世紀	6～7世紀	施工会社	
補足事項	①クリーニングする。②強化する。③欠失部分を補填、復元する。④補填箇所に補彩する。 （令和5年度は①まで実施）		

7　列品番号	J-22410	品　　質	土製
名　　称	壺形土器	員　　数	1個
時　　代	オホーツク文化期	寸 法 等	口径6.1 胴径6.7 底径3.8 高7.1
年代世紀	6～7世紀	施工会社	
補足事項	①クリーニングする。②強化する。③欠失部分を補填、復元する。④補填箇所に補彩する。（令和5年度は①まで実施）		

8　列品番号	J-38320-1	品　　質	土製
名　　称	イモガイ形土製品	員　　数	1個
時　　代	縄文時代(晩期)	寸 法 等	径4.7 高1.4
年代世紀	前1000～前400年	施工会社	
補足事項	①クリーニングする。②強化する。③欠失部分を補填、復元する。④補填箇所に補彩する。		

9　列品番号	J-38320-2	品　　質	土製
名　　称	キノコ形土製品	員　　数	1個
時　　代	縄文時代(後期)	寸 法 等	径3.6 現存高1.3
年代世紀	前2000～前1000年	施工会社	
補足事項	①クリーニングする。②強化する。③欠失部分を補填、復元する。④補填箇所に補彩する。		

＜和書＞（41件）

1　列品番号	QA-3623-2	品　　質	紙本墨書
名　　称	《岩手県宝物目録；社寺及人民》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	28.3×20.3
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

2　列品番号	QA-3624-1	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《岩手県宝物精細簿；単》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

3　列品番号	QA-3624-2	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《東京府宝物精細簿；甲；公爵徳川家達・侯爵徳川義礼》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

4　列品番号	QA-3624-3	品　　質	紙本墨書
名　　称	《東京府宝物精細簿；乙》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

5　列品番号	QA-3624-4	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《東京府宝物精細簿；甲；公爵徳川家達・侯爵徳川義礼》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

6　列品番号	QA-3624-5	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《東京府宝物精細簿；乙》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

7　列品番号	QA-3624-6	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《徳川公爵宝物精細簿》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

8　列品番号	QA-3624-7	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《前田公爵宝物精細簿》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

9　列品番号	QA-3624-8	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《東京府宝物参攷簿；単》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

10　列品番号	QA-3624-9	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《東京府仮定精細簿》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

11　列品番号	QA-3624-10	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《神奈川県宝物精細簿；単》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

12　列品番号	QA-3624-11	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《神奈川県宝物参攷簿；単》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

13　列品番号	QA-3624-12	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《愛知県宝物精細簿；各社寺人民》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

14　列品番号	QA-3624-13	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《愛知県宝物精細簿；単；社寺士民》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

15　列品番号	QA-3624-14	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《徳川侯爵宝物精細簿；2；附成瀬子爵刀剣之部》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

16　列品番号	QA-3624-15	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《滋賀県宝物精細簿；天；滋賀郡延暦寺・園城寺・安楽律院》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

17　列品番号	QA-3624-16	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《滋賀県宝物精細簿；地；滋賀郡・栗太郡・野洲郡・甲賀郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

18　列品番号	QA-3624-17	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《滋賀県宝物精細簿；人；神崎郡・蒲生郡・愛知郡・犬上郡・坂田郡・東浅井郡・西浅井郡・伊香郡・高島郡・附士民》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

19　列品番号	QA-3624-18	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《滋賀県宝物精細簿；甲；滋賀郡・栗太郡・野洲郡・甲賀郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

20　列品番号	QA-3624-19	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《滋賀県宝物精細簿；乙；蒲生郡・神崎郡・愛知郡・犬上郡・坂田郡・東浅井郡・伊香郡・高島郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

21　列品番号	QA-3624-20	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《滋賀県宝物参攷簿；天；滋賀郡・栗太郡・野洲郡・甲賀郡・蒲生郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

22　列品番号	QA-3624-21	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《滋賀県宝物参攷簿；地；神崎郡・愛知郡・犬上郡・坂田郡・東浅井郡・西浅井郡・伊香郡・高島郡・附士民之部》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

23　列品番号	QA-3624-22	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《滋賀県宝物参攷簿；天》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

24　列品番号	QA-3624-23	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《滋賀県宝物参攷簿；地》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

25　列品番号	QA-3624-24	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《滋賀県史料参攷簿；単；社寺及士民》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

26　列品番号	QA-3624-25	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都市宝物精細簿；1；上京区》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

27　列品番号	QA-3624-26	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都市宝物精細簿；2；下京区；甲》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

28　列品番号	QA-3624-27	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都市下京区精細簿；3；下京区；乙》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

29　列品番号	QA-3624-28	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都府宝物精細簿；4；愛宕郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

30　列品番号	QA-3624-29	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都府宝物精細簿；5；葛野郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

31　列品番号	QA-3624-30	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都府宝物精細簿；6；乙訓郡・紀伊郡・宇治郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

32　列品番号	QA-3624-31	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都府宝物精細簿；7；久世郡・相楽郡・綴喜郡・南桑田郡・北桑田郡・船井郡・天田郡・何鹿郡・加佐郡・与謝郡・中郡・竹野郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

33　列品番号	QA-3624-32	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都市宝物精細簿；8；上京区士民》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

34　列品番号	QA-3624-33	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都府宝物精細簿；9；下京区士民・附各郡士民》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

35　列品番号	QA-3624-34	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都市下京区宝物精細簿；1》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

36　列品番号	QA-3624-35	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都府宝物精細簿；2；愛宕郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

37　列品番号	QA-3624-36	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都府宝物精細簿；3；葛野郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

38　列品番号	QA-3624-37	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都府宝物精細簿；4；乙訓郡・紀伊郡・宇治郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

39　列品番号	QA-3624-38	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都府宝物精細簿；5；久世郡・相楽郡・綴喜郡・南桑田郡・北桑田郡・船井郡・天田郡・何鹿郡・加佐郡・与謝郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

40　列品番号	QA-3624-39	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都市宝物精細簿；6；上京区・下京区・士民・附各郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

41　列品番号	QA-3624-40	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都府史要参攷簿》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈳国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

＜東洋絵画＞（1件）

1　列品番号	TA-339	品　　質	絹本墨画
名　　称	山水図軸	員　　数	1幅
時　　代	南宋時代	寸 法 等	22.5×25.4
年代世紀	13世紀	施工会社	㈱文化財保存
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打ち紙を除去し、本紙の欠損部に補絹を施す。 ④新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑤新規補絹部分には補彩を施す。 ⑥表装裂、軸首は再使用し、掛幅装に仕立てる。掛風帯金具は新調する。 ⑦桐製太巻、桐製印籠箱、桐製外箱（新旧箱を同梱）を新調する。		

＜東洋書跡＞（1件）

1　列品番号	TB-1438	品　　質	紙本墨書
名　　称	傑山偈	員　　数	1幅
時　　代	元時代	寸 法 等	縦34.3 横64.2
年代世紀	泰定3年(1326)	施工会社	㈱松鶴堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去し、本紙の欠損部に補紙を施す。 ④新規裏打ちを行ない、折れ伏せを入れる。 ⑤新規補紙部分に補彩を施す。 ⑥表装裂、軸首は再使用して、掛幅装に仕立てる。 ⑦桐製太巻、包裂、桐製印籠箱、漆塗り差込外箱、中性紙布貼帙を新調する。		

＜東洋考古＞（6件）

1　列品番号	TJ-2977	品　　質	土製
名　　称	灰陶壺	員　　数	1個
時　　代	後漢時代	寸 法 等	高19.0　口径10.5
年代世紀	2世紀	施工会社	繭山隆司
補足事項	①クリーニングする。 ②強化し、接合する。 ③欠失部を補填し、復元する。 ④補填部に補彩を施す。		

2　列品番号	TJ-2983	品　　質	土製
名　　称	灰陶倉	員　　数	1個
時　　代	後漢時代	寸 法 等	高20.1　口径14.8
年代世紀	2世紀	施工会社	繭山隆司
補足事項	①解体し、旧復元石膏部を除去する。 ②クリーニングする。 ③強化し、接合する。 ④欠失部を補填し、復元する。 ⑤補填部に補彩を施す。 ※TJ-3004 灰陶倉（屋根）と一具のため併せて実施する。		

3　列品番号	TJ-2984	品　　質	土製
名　　称	灰陶倉	員　　数	1個
時　　代	後漢時代	寸 法 等	高22.0　口径15.2
年代世紀	2世紀	施工会社	繭山隆司
補足事項	①解体し、旧復元石膏部を除去する。 ②クリーニングする。 ③強化し、接合する。 ④欠失部を補填し、復元する。 ⑤補填部に補彩を施す。 ※TJ-3005 灰陶倉（屋根）と一具のため併せて実施する。		

4　列品番号	TJ-2985	品　　質	土製
名　　称	灰陶井戸	員　　数	1個
時　　代	後漢時代	寸 法 等	高18.0　口径16.0
年代世紀	2世紀	施工会社	繭山隆司
補足事項	①解体する。 ②クリーニングする。 ③強化し、接合する。 ④欠失部を補填し、復元する。 ⑤補填部に補彩を施す。		

5　列品番号	TJ-3004	品　　質	土製
名　　称	灰陶倉（屋根）	員　　数	1個
時　　代	後漢時代	寸 法 等	高5.2　口径17.3
年代世紀	2世紀	施工会社	繭山隆司
補足事項	①解体し、別材を除去する。 ②クリーニングする。 ③強化し、接合する。 ④欠失部を補填し、復元する。 ⑤補填部に補彩を施す。 ※TJ-2983 灰陶倉と一具のため併せて実施する。		

6　列品番号	TJ-3005	品　　質	土製
名　　称	灰陶倉（屋根）	員　　数	1個
時　　代	後漢時代	寸 法 等	高6.5　口径20.1
年代世紀	2世紀	施工会社	繭山隆司
補足事項	①解体する。 ②クリーニングする。 ③強化し、接合する。 ④欠失部を補填し、復元する。 ⑤補填部に補彩を施す。 ※TJ-2984 灰陶倉と一具のため併せて実施する。		

【京都国立博物館】（計11件）

＜絵画＞（7件）

1 名　称	琴棋書画図 山水図（きんきしょがず さんすいず）	員　数	22面
時　代	室町時代（15～16世紀）、伝宗継	寸 法 等	(1)琴棋書画図 襖貼付 各縦169.3cm 横115.7cm（4面） 各縦169.3cm 横91.2cm（4面） (2)山水図 襖貼付 各縦169.3cm 横115.7cm（4面） (3)山水図 襖貼付 各縦169.3cm 横112.6cm（4面） (4)山水図 襖貼付 各縦169.3cm 横92.2cm（2面） (5)山水図 襖貼付 各縦169.3cm 横87.9cm（2面） (6)山水図 小襖貼付 各縦56.3cm 横88.1cm（2面）
品　質	紙本墨画淡彩	施工会社	国宝修理装潢師連盟
補足事項	① 本紙の状態を記録・調査し、損傷状況を精査する。 ② 襖貼付装を解体し、本紙肌裏紙以外の旧裏打紙をおおよそ除去する。 ③ 仮裏打を行ったのち、剥落止めを施す。 ④ 本紙の汚れを適切に除去する。 ⑤ 本紙の旧肌裏紙および旧補紙を適切に除去する。 ⑥ 本紙欠失箇所に補紙を施す。 ⑦ 本紙の色合いにあわせ、薄美濃紙を用いて新たに肌裏打ちを行う。 ⑧ 美栖紙などを用い、さらに2層の裏打を施した上、折伏せ入れなども行う。 ⑨ 木製の組子下地を新調し、両面に6種8層の下張りを施して下地を作成する。 ⑩ 絵画4、5と合わせて作成した下地に本紙を貼り込む。表裏は修理前と同じ組み合わせとし、小襖2面のみは無地の鳥の子紙による白貼りとする。 ⑪ 新たに補った補紙に本紙の地色に合わせて補彩を施す。 ⑫ 新調した漆塗縁木を打ち、元の引手を使用して襖貼付装に仕立てる。 ⑬ 修理後の状態を記録し、修理報告書を作成して修理を完了する。		
指　定	重要文化財		

2 名　称	芦雁図（ろがんず）	員　数	6面
時　代	室町時代（15世紀）、伝宗湛・宗継	寸 法 等	各縦169.3cm 横115.7cm（4面）、各縦169.3cm 横91.2cm（2面）
品　質	紙本墨画	施工会社	国宝修理装潢師連盟
補足事項	① 本紙の状態を記録・調査し、損傷状況を精査する。 ② 襖貼付装を解体し、本紙肌裏紙以外の旧裏打紙をおおよそ除去する。 ③ 仮裏打を行ったのち、剥落止めを施す。 ④ 本紙の汚れを適切に除去する。 ⑤ 本紙の旧肌裏紙および旧補紙を適切に除去する。 ⑥ 本紙欠失箇所に補紙を施す。 ⑦ 本紙の色合いにあわせ、薄美濃紙を用いて新たに肌裏打ちを行う。 ⑧ 美栖紙などを用い、増裏・中裏を施す。 ⑨ 木製の組子下地を新調し、両面に6種8層の下張りを施して下地を作成する。 ⑩ 絵画3、5と合わせて作成した下地に本紙を貼り込む。表裏は修理前と同じ組み合わせとする。 ⑪ 新たに補った補紙に本紙の地色に合わせて補彩を施す。 ⑫ 新調した縁木を打ち、元の引手を使用して襖貼付装に仕立てる。 ⑬ 修理後の状態を記録し、修理報告書を作成して修理を完了する。		
指　定	重要文化財		

3 名　称	四季花鳥図（しきかちょうず）	員　数	1式
時　代	江戸時代	寸 法 等	10面（大8面） 各縦169.5cm 横116.0cm
品　質	紙本金地著色	施工会社	国宝修理装潢師連盟
補足事項	① 本紙の状態を記録・調査し、損傷状況を精査する。 ② 襖貼付装を解体し、本紙肌裏紙以外の旧裏打紙をおおよそ除去する。 ③ 仮裏打を行ったのち、剥落止めを施す。 ④ 本紙の汚れを適切に除去する。 ⑤ 本紙の旧肌裏紙および旧補紙を適切に除去する。 ⑥ 本紙欠失箇所に補紙を施す。 ⑦ 本紙の色合いにあわせ、薄美濃紙を用いて新たに肌裏打ちを行う。 ⑧ 美栖紙などを用い、増裏・中裏を施す。 ⑨ 木製の組子下地を新調し、両面に6種8層の下張りを施して下地を作成する。 ⑩ 絵画3、4と合わせて作成した下地に本紙を貼り込む。表裏は修理前と同じ組み合わせとする。 ⑪ 新たに補った補紙に本紙の地色に合わせて補彩を施す。 ⑫ 新調した縁木を打ち、元の引手を使用して襖貼付装に仕立てる。 ⑬ 修理後の状態を記録し、修理報告書を作成して修理を完了する。		
指　定			

4 名　称	梅樹小禽図（ばいじゅしょうきんず）	員　数	1幅
時　代		寸 法 等	縦86.6cm、横38.8cm
品　質	紙本著色	施工会社	㈱岡墨光堂
補足事項	①調査および記録を行う。 ②掛軸装を解体し、表装裂地および一部の裏打紙を取り外す。 ③あらかじめ危険個所の剥落止めを行った上、本紙の汚れを除去する。 ④改めて剥落止めを行う。 ⑤本紙の肌裏紙を除去する。 ⑥本紙の欠損部に補修紙を入れる。 ⑦各種の裏打を新たに施し、折れ伏せを入れて補強する。 ⑧補修紙に補彩を施す。 ⑨掛軸装に仕立てる。 ⑩桐太巻添軸および箱を新調し、収納する。 ⑪修理後の記録をとり、報告書を作成する。		
指　定			

5 名　　称	布袋図（善阿印） 附. 探幽筆 紙本墨画 布袋図 （ほていず（ぜんあいん）つけたり. たんゆうひつしほんぼくが　ほていず）	員　　数	1幅
時　　代		寸 法 等	縦77.1cm×横30.9cm、附 縦98.0cm×横34.7cm
品　　質	紙本墨画	施工会社	㈱光影堂
補足事項	①調査・写真撮影等を行い、修理前の状況を記録する。 ②掛軸装を解体し、表装裂地を取り外す。 ③剥落止めを行い、墨層を強化する。 ④濾過水を用いて、本紙のクリーニングを行う。 ⑤本紙の肌裏紙を除去する。 ⑥本紙の欠失箇所に補紙を施す。 ⑦各種裏打を施し、折れ伏せを施す。 ⑧掛幅装に仕立てる。【紙本墨画 布袋図（眠り布袋）伝牧谿筆】の表装裂地等は全て元のものを修理し再使用する。 ⑨桐太巻添軸、桐屋郎箱を新調し、納入する。 ⑩修理後の記録をとり、修理報告書を作成する。		
指　　定			

6 名　　称	岡本豊彦像　塩川文麟筆 （おかもととよひこぞう　しおかわぶんりんひつ）	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代　19世紀	寸 法 等	縦103.0cm　横42.5cm
品　　質	絹本著色	施工会社	㈱岡墨光堂
補足事項	①調査および記録を行う。 ②表装裂地を取り外す。 ③剥落止めを行い、絵具層を強化する。 ④浄化水を用いて本紙の汚れを除去する。 ⑤本紙の肌裏紙を除去する。 ⑥本紙欠損箇所に裏面より補紙を行う。 ⑦各種裏打を施し、折れ伏せを入れる。 ⑧総裏打ののち仮張りし、充分に乾燥させる。 ⑨新たな補紙の箇所に補彩を行う。 ⑩掛幅装に仕立てる。表装裂、軸首等は全て新調する。 ⑪桐太巻添軸、桐屋郎箱を新調し、納入する。 ⑫修理後の記録をとり、報告書を作成する。		
指　　定			

7 名　　称	真山水図　狩野元信筆 （しんさんすいず　かのうもとのぶひつ）	員　　数	1幅
時　　代	室町時代　16世紀	寸 法 等	縦46.6cm　横95.8cm
品　　質	紙本墨画淡彩	施工会社	㈱光影堂
補足事項	①調査および記録を行う。 ②解体し、表装裂地や裏打紙を取り外す。 ③本紙処置に備えて適宜、剥落止めを行う。 ④浄化水を用いて本紙の汚れを除去する。 ⑤本紙の肌裏紙を除去する。 ⑥本紙欠損箇所に補修紙を入れる。 ⑦各種の新たな裏打ちを施し、折れ伏せを入れる。 ⑧新たな補修紙の箇所に適宜、補彩を行う。 ⑨掛幅装に仕立てる。表装裂、軸首等は元使いとする。 ⑩桐太巻添軸、桐屋郎箱を新調して軸を納める。旧箱や添状類、旧表装はまとめて別置保管する。 ⑪修理後の記録をとり、報告書を作成する。		
指　　定			

＜書跡＞（1件）

8 名　　称	古文書手鑑（八十八通） （こもんじょてかがみ　（はちじゅうはっつう））	員　　数	1帖
時　　代	鎌倉～江戸時代　13～17世紀	寸 法 等	縦39.4cm　横57.6cm　厚9.2cm
品　　質	両面折帖装	施工会社	㈱修美
補足事項	修理期間は４ヶ年を予定し、以下の工程を行う。 ①本紙の状態を調査し、写真撮影等により修理前の記録をとる。 ②手鑑の各本紙を台紙より取り外す。 ③剥落の危険性がある墨層に対し、剥落止めを行う。 ④浄化水を用いて本紙の汚れを除去する。 ⑤旧裏打紙を除去する。 ⑥各料紙と同質の補修紙を作製し、裏面より欠失箇所に補紙を施す。 ⑦各本紙に適した裏打ちを施したのち、仮張りより十分に乾燥させる。 ⑧必要に応じて、本紙の補修を施した箇所に、補彩を行う。 ⑨台紙、表紙裂および見返しを新調する。 ⑩修理の完了した本紙、付箋を元の位置に貼り戻す。 ⑪包裂および保存箱を新調し、納入する。 ⑫写真撮影等により修理後の記録をとり、報告書を作成する。		
指　　定			

＜金工＞（1件）

9　名　　称	刀 銘肥前国近江大掾藤原忠廣（かたな　めいひぜんのくにおうみだいじょうふじわらのただひろ）	員　　数	1口
時　　代	江戸時代　17世紀	寸 法 等	刃長71.4ｃｍ
品　　質	鉄製　鍛造	施工会社	玉置美術刀剣研磨処
補足事項	1）金剛砥・備水砥・改正砥を用いて成形し、下地研磨を行う。 2）中名倉砥・細名倉砥を用いて地鉄を整える。 3）内曇砥を用いて刃と地を研磨する。 4）刃艶と地艶を用い、古式研磨法である差込研を行う。 5）鋒部分の鉦子を磨き、ナルメを行う。 6）鎺を清掃し、調整を行う。 7）白鞘を新調する。 8）報告書を作成する。		
指　　定			

＜考古＞（2件）

10　名　　称	土師器　杯（はじき　はい）	員　　数	2個
時　　代	室町時代　15世紀	寸 法 等	Ａ：直径7.5cm、高1.5cm　Ｂ：全長12.5cm、高3.0cm、
品　　質	土製	施工会社	元興寺文化財研究所
補足事項	１）接着剤で接合してある部分は一度解体する ２）表面をクリーニングする。 ３）素地の強化処置を施す。 ４）再接合し、欠けてある部分は補填の上、復元する。 ５）補彩して仕上げる。 ６）修理後の記録をとり、報告書を作成する。		
指　　定			

11　名　　称	土師器　坩（はじき　かん）	員　　数	1個
時　　代	古墳時代　5・6世紀	寸 法 等	口径11.8cm、総高14.8cm
品　　質	土製	施工会社	元興寺文化財研究所
補足事項	１）接着剤で接合してある部分は一度解体する ２）表面をクリーニングする。 ３）素地の強化処置を施す。 ４）再接合し、欠けてある部分は補填の上、復元する。 ５）補彩して仕上げる。 ６）修理後の記録をとり、報告書を作成する。		
指　　定			

【奈良国立博物館】（計7件）

＜絵画＞（4件）

1　名　　称	仏涅槃図	員　　数	1幅
時　　代	鎌倉時代	寸 法 等	縦128.6cm 横57.3cm（表装：縦200.7cm 横78.6cm）
品　　質	絹本著色	施工会社	株式会社文化財保存
補足事項	修理前調査、剝落止め、解体、クリーニング、剥落止め、損傷地図作り、表補絹、表打ち、旧補絹除去、補絹。2か年修理2年目。 以上、上記内容を実施し修理完了した。		

2　名　　称	絹本著色十二天像	員　　数	12幅
時　　代	鎌倉～南北朝時代	寸 法 等	各紙、本紙：縦122.7cm 横41.8cm、表装：縦199.7cm　横57.4cm
品　　質	絹本著色	施工会社	株式会社文化財保存
補足事項	修理前調査、剝落止め、解体、クリーニング、裏打ち除去、補絹、裏打ち、補彩、表装、箱新調。4か年修理4年目。 以上、上記内容を実施し修理完了した。		

3　名　　称	五大明王像	員　　数	1幅
時　　代	鎌倉時代	寸 法 等	縦125.5cm　横86.7cm
品　　質	絹本著色	施工会社	株式会社文化財保存
補足事項	修理前調査、剝落止め、解体、クリーニング、剥落止め、損傷地図作り、表補絹、表打ち、旧補絹除去、補絹。2か年修理2年目。 以上、上記内容を実施し修理完了した。		

4　名　　称	聖徳太子及道慈律師像	員　　数	2幅
時　　代	室町時代 14～15世紀	寸 法 等	［聖徳太子像］縦119.5cm　横49.2cm（表装：縦198.8cm　横64.6cm） ［道慈律師像］縦119.2cm　横49.2cm（表装：縦197.9cm　横64.5cm）
品　　質	絹本著色　掛幅装	施工会社	株式会社光影堂
補足事項	本紙料絹の強い横折れ、裏打紙の劣化などの構造的な不具合を改善するために、表装を解体し裏打紙を取り替える本格修理を行う。まず光学機器を用いた調査に基づいて詳細な損傷図面を作成し、欠失や旧補絹などの状態を明らかにした上で、修理方針を決定。濾過水を噴霧して吸取紙に汚れを吸収させるクリーニングを施す。旧肌裏紙の除去に際しては乾式肌上げ法を採用する。膠着力の低下した絵具層に、膠などの接着剤を用いて剝落止めの処置を行う。尊像部分の旧補絹は全て再使用を基本とし、図様に関わらない部分を中心に旧補絹を除去する。料絹が剝落して露出した裏打紙に絵具が残存している箇所には、電子線劣化絹を用いて表面から補絹を施し、欠失箇所については裏面から補絹を施す。新調した美濃紙による肌裏打ち、美栖紙による中裏打ち、折れを軽減するために折れ伏せを施した上で、宇陀紙による総裏打ちを施す。本紙寸法は両幅を同寸に仕上げる。新たに補絹を施した箇所に地色補彩を行う。表装裂・上下軸木・啄木・軸首を新調し、軸装に仕立てる。桐太巻添軸・包裂・桐印籠箱・裂貼四方帙を新調し納入。修理記録を整理し、報告書を作成する。3か年修理1年目。 令和5年度は、調査、修理方針、解体、汚れの除去、剥離止め、表補絹を行った。		

＜彫刻＞（1件）

5　名　　称	木造天部立像	員　　数	1軀
時　　代	平安時代 11世紀	寸 法 等	像高103.4cm
品　　質	木彫	施工会社	公益財団法人美術院
補足事項	全体の塵埃は、筆・刷毛等を用いて除去する。各所にみられる虫蝕箇所は、樹脂等で材質強化をおこなったのち、虫蝕処置をおこなう。砥の粉色を呈している後世の修理箇所は、必要に応じて不要な錆漆を除去し、古色修整をおこなう。邪鬼地付面の枘孔をヒノキ材で埋め、方座上面の枘の位置に合わせて孔を小さく開け直し、邪鬼地付面と方座とを２本の枘で繋いで像の安定を図る。以上の修理箇所はすべて古色仕上げとする。 以上、上記内容を実施し修理完了した。		

6　名　　称	木造不動明王および二童子立像	員　　数	3軀
時　　代	不動明王：平安時代（12世紀） 矜羯羅童子・制吒迦童子：江戸時代	寸 法 等	不動明王 像高96.3cm 矜羯羅童子 像高52.0cm 制吒迦童子 像高51.3cm
品　　質	木彫	施工会社	公益財団法人美術院
補足事項	［各像共通（台座を含む）］ 塵埃は筆等で払い、清掃する。彩色の浮き上がりは、膠・樹脂等で剝落止めをおこなう。 ［不動明王］ 左肩の矧目の緩みは、必要に応じて一旦解体して矧面の清掃をし、膠で接着して組付け、矧目の補修をおこなう。左肩上面の虫蝕孔は樹脂等の充填をおこなう。羂索は一旦取り外して繊維に樹脂を含侵し、材質の強化をおこなう。 ［矜羯羅童子］ 矧目が緩んで動揺する左肩と右肘は、必要に応じて一旦解体して矧面の清掃をし、膠で接着して組付け、矧目の補修をおこなう。 ［制吒迦童子］ 右足先の矧目に施された紙貼りは、表層の彩色とともに膠や樹脂を用いて剝落止めをおこなう。 以上、上記内容を実施し修理完了した。		

＜考古＞（1件）

7　名　　称	縄文時代遺跡ほか（小野コレクション）のうち 赤彩広口壺形土器 人面付壺形土器	員　　数	2点
時　　代	縄文時代晩期 紀元前10～前4世紀頃	寸 法 等	赤彩広口壺形土器　高10.0　口径12.8 人面付壺形土器　高17.7　口径7.6
品　　質	赤彩広口壺形土器:土製、漆塗 人面壺形土器:土製	施工会社	公益財団法人元興寺文化財研究所
補足事項	①保存修理前の調査・記録 ②解体：接合部にアセトン等の有機溶剤を注入し、接着剤を膨潤させて解体を行う。有機溶剤で容易に膨潤しない接着剤であった場合は、ヒートガン等で加熱して軟化させて解体することを検討する。補填材は小型のグラインダー等で切削するなどして、物理的に除去する。また、目視で把握できない亀裂や破片の接合関係を確認することを目的として、工程中に必要に応じてＸ線写真撮影を実施する。 ③クリーニング：断面に残った接着剤は、有機溶剤等を用いて除去する。 ④強化処置：アクリル樹脂（パラロイドB72）溶液を用いて強化を図る。 ⑤接合：アクリル樹脂（同上）40%アセトン溶液を接着剤として破片の接合を行う。 ⑥復元：欠損部分に、エポキシ樹脂を補填し、復元を行う。 ⑦補彩 ⑧保存修理後の調査・記録・報告 以上、上記内容を実施し修理完了した。		

【九州国立博物館】（計21件）

＜絵画＞（5件）

1　名　　称	渡唐天神像	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代・18 世紀	寸 法 等	本紙：縦69.3　横17.2　表装：縦147.0　横29.2　軸長34.7(cm)
品　　質	紙本墨画	施工会社	修理工房宰匠株式会社
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.墨及び絵具層の剥落止めを行う。 3.表装を解体し、汚れを除去する。 4.再度、剥落止めを行う。 5.表打を行い、旧肌裏紙と旧補修紙を除去する。 6.欠失箇所の補修を行う。 7.肌裏打を行って養生紙を除去する。 8.増裏打、折れ伏せ、総裏打を施す。 9.補修箇所に補彩を施す。 10.掛幅装に仕立てる。 11.桐製太巻添軸、桐製印籠箱を新調する。 12.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

2　名　　称	花鳥図	員　　数	1幅
時　　代	琉球 第二尚氏時代・康熙 45 年(1706)	寸 法 等	本紙：縦105.8　横51.2　表装：縦192.6　横63.4　軸長：68.7(cm)
品　　質	絹本著色	施工会社	修理工房宰匠株式会社
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.墨及び絵具層の剥落止めを行う。 3.表装を解体し、汚れを除去する。 4.再度、墨及び絵具層の剥落止めを行う。 5.表打を行い、旧肌裏紙と旧補修紙を除去する。 6.欠失箇所の補修を行う。 7.肌裏打を行って養生紙を除去する。 8.増裏打、折れ伏せ、総裏打を施す。 9.補修箇所に補彩を施す。 10.掛幅装に仕立てる。 11.桐製太巻添軸、桐製印籠箱を新調する。 12.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

3 名　称	水辺村童図	員　数	1幅
時　代	江戸時代・天保 11 年(1840)	寸 法 等	本紙：縦95.4　横34.8　表装：縦 162.5　横39.9　軸長44.9(cm)
品　質	絹本着色	施工会社	修理工房宰匠株式会社
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.絵具層の剥落止めを行う。 3.解体し、汚れを除去する。 4.再度、絵具層の剥落止めを行う。 5.旧肌裏紙を除去し、裏面より本紙四方周囲に補修を行う。 6.肌裏打を行い、欠失箇所に補修を行う。 7.増裏打、折れ伏せ、中裏打、総裏打を施す。 8.本紙と表装裂地を元の表装形態に付け廻す。 9.補修箇所に補彩を施す。 10.掛幅装に仕立てる。 11.桐製太巻添軸、桐製印籠箱を新調する。 12.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。 （5～6年度　2か年継続事業、5年度は工程4まで実施）		

4 名　称	列祖図冊	員　数	1帖
時　代	江戸時代・17世紀	寸 法 等	本紙：縦54.2　横40.1　表装：縦62.0　横45.7(cm)
品　質	紙本著色	施工会社	修理工房宰匠株式会社
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.解体し、剥落止めを行って汚れを除去する。 3.表打を行って肌裏紙を除去する。 4.本紙裏面より補修を行う。 5.肌裏打及び2回目の裏打を行う。 6.補修箇所に補彩を施す。 7.台紙を作製し、表紙裂と見返しを取り付けて画帖に仕立てる。 8.下足板付桐被箱を新調する。 9.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。 （4～6年度　3か年継続事業、5年度は工程4～6、工程7の50%を実施）		

5 名　称	椿白鷹図	員　数	1幅
時　代	琉球　第二尚氏時代・康熙55年(1716)	寸 法 等	本紙：縦91.7　横37.3　表装：縦172.5　横48.0　軸長54.0(cm)
品　質	絹本著色	施工会社	修理工房宰匠株式会社
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.剥落止めを行い、解体して汚れを除去する。 3.再度、剥落止めを行って肌裏紙を除去する。 4.肌裏打を行う。 5.欠失箇所の補修を行う。 6.増裏打、折れ伏せ、中裏打、総裏打を施す。 7.補修箇所に補彩を施す。 8.掛幅装に仕立てる。 9.桐太巻添軸、桐印籠箱を新調する。 10.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。 （4～5年度　2か年継続事業、5年度は工程7以降を実施）		

＜書跡＞（1件）

6 名　称	法華経	員　数	8巻
時　代	南北朝時代・14世紀	寸 法 等	各縦24.4(cm)
品　質	紙本墨刷	施工会社	修理工房宰匠株式会社
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.解体し、剥落止めを行う。 3.汚れを除去し、裏打紙と旧補修紙を除去する。 4.欠失箇所の補修を行う。 5.折れ伏せ、肌裏打を行う。 6.巻子装に仕立てる。 7.桐太巻添軸を新調し、桐製唐箱に納入する。 8.大西漆芸修復スタジオへ委託し、経箱の汚れの除去、金具の接着、構造安定処置等を行う。 9.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。 （4～5年度　2か年継続事業、5年度は工程6以降を施工）		

＜染織＞（1件）

7 名　称	浅地葵松梅桜文紅型衣裳	員　数	1領
時　代	琉球 第二尚氏時代・19 世紀	寸 法 等	身丈128.0　裄63.0　袖丈64.5　衿長97.0　袖幅18.0(cm)
品　質	苧麻両面紅型単衣(琉装)仕立	施工会社	株式会社松鶴堂
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.経緯の織り目を整え、皺を緩める。 3.枕、手がかり紐付き中性紙台紙、アーカイバルボード製保存箱を作製する。 4.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

＜考古＞（9件）

8 名　称	水牛付き腕輪	員　数	1個
時　代	タイ　バーンチエン文化　前 3-後 2 世紀	寸 法 等	幅8.3　奥行1.7　高8.1(cm)
品　質	青銅鋳造	施工会社	株式会社芸匠
補足事項	1.修理前写真の撮影とX線透過写真の撮影、記録を行う。 2.旧修理による接合を解体し、汚れを除去する。 3.破断面にアクリル樹脂を塗布する。 4.破片を接着し、目地や欠失部の充填、復元を行う。 5.充填、復元部分に補彩を施す。 6.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

9 名　称	青白磁輪花皿（白磁経筒の付属品）	員　数	1枚
時　代	中国　宋時代・12 世紀	寸 法 等	口径11.0(cm)
品　質	陶磁	施工会社	株式会社芸匠
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.旧修理による接合を解体し、汚れを除去する。 3.破断面にアクリル樹脂を塗布する。 4.破片を接着し、目地や欠失部の充填、復元を行う。 5.充填、復元部分に補彩を施す。 6.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

10 名　称	鞍橋金具	員　数	1背
時　代	古墳時代・6 世紀	寸 法 等	前輪：長29.5　高16.5　厚2.8　中央高3.5 後輪：長45.9　高17.2　厚8.2　中央高1.4(cm)
品　質	鉄地金銅張	施工会社	株式会社芸匠
補足事項	1.修理前写真の撮影と、X線透過写真の撮影、記録を行う。 2.汚れを除去する。 3.アクリル樹脂を塗布して養生した後、脱塩を行う。 4.防錆処理を行い、錆等を除去する。 5.アクリル樹脂を含浸させて強化し、破片を接合する。 6.欠失部分の充填を行う。 7.充填部分に補彩を施す。 8.台座を作成する。 9.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。 （5～6年度　2か年継続事業、5年度は工程8まで実施）		

11 名　称	長方形鏡板付轡	員　数	1点
時　代	古墳-飛鳥時代・6 世紀-7 世紀	寸 法 等	長15.5　幅10.3　厚1.4　引手片長8.9　幅3.8　鏡板幅8.4　幅3.9　厚0.4(cm)
品　質	鉄製、金銅製	施工会社	株式会社芸匠
補足事項	1.修理前写真の撮影と、X線透過写真の撮影、記録を行う。 2.汚れを除去する。 3.アクリル樹脂を塗布して養生した後、脱塩を行い、錆等を除去する。 4.アクリル樹脂を含浸させて強化し、破片を接合する。 5.欠失部分の充填を行い、充填部分に補彩を施す。 6.台座を作成する。 7.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

12 名　称	楕円形鏡板付轡	員　数	1点
時　代	古墳時代・6 世紀	寸 法 等	左：長21.4　鏡板高9.8　鏡板幅10.1　引手長16.9 右：長21.9　鏡板高10.3　鏡板幅10.4　引手長17.4(cm)
品　質	鉄製、鉄地金銅張	施工会社	株式会社芸匠
補足事項	1.修理前写真の撮影と、X線透過写真の撮影、記録を行う。 2.錆と資料表面の汚れを除去する。 3.表面にアクリル樹脂を塗布する。 4.台座を作成する。 5.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

13 名　称	注口土器	員　数	1口
時　代	縄文時代・前 1,000 年-前 300 年	寸 法 等	最大径25.8　高13.8(cm)
品　質	土製	施工会社	株式会社芸匠
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.汚れを除去する。 3.粉状化部分や亀裂、破断面にアクリル樹脂を塗布する。 4.欠失部分の充填、復元を行う。 5.復元部分に補彩を施す。 6.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

14 名　称	壺形土器	員　数	1口
時　代	縄文時代・前 1,000 年-前 300 年	寸 法 等	最大径14.2　高12.5(cm)
品　質	土製、赤漆塗	施工会社	株式会社芸匠
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.汚れを除去する。 3.粉状化部分や亀裂、破断面にアクリル樹脂を塗布する。 4.欠失部分の充填、復元を行う。 5.復元部分に補彩を施す。 6.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

15 名　　称	台付鉢形土器	員　　数	1口
時　　代	縄文時代・前 1,000 年-前 300 年	寸 法 等	最大径13.6　高10.4(cm)
品　　質	土製	施工会社	株式会社芸匠
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.汚れを除去する。 3.亀裂、破断面にアクリル樹脂を塗布する。 4.欠失部分の充填、復元を行う。 5.復元部分に補彩を施す。 6.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

16 名　　称	鉄刀剣	員　　数	2振残欠共10点
時　　代	古墳時代・6-7世紀	寸 法 等	鉄刀残欠：(1)縦76.0 横2.9 厚0.6 (2)縦22.2　横3.1 厚0.8 金銅三輪玉：(1)縦2.5 横2.1 高0.8 (2)縦2.1 横2.1 高0.8　(3)縦1.9 横2.1 高0.7 (4)縦1.9　横2.1 高1.1 (5)縦1.5 横1.9 高1.0 金銅楕円形飾金具：(1)縦1.5 横1.4 高0.6 (2)縦2.2 横1.5 高0.5 (3)縦2.1 横1.5 高0.5 (4)縦2.2 横1.5 高0.5 (5)縦2.2 横1.5 高0.6(cm)
品　　質	鉄、金銅	施工会社	株式会社芸匠
補足事項	1.修理前写真の撮影と透過X線撮影調査、記録を行う。 2.汚れを除去する。 3.亀裂部分や脆弱な部分にアクリル樹脂を塗布する。 4.脱塩を行い、アクリル樹脂を含浸させて強化する。 5.破片を接合する。 6.欠失部分の充填を行い、充填部分に補彩を施す。 7.台座を作製する。 8.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。 （4～5年度　2か年継続事業、5年度は工程5以降を実施）		

＜歴史資料＞（5件）

17 名　　称	対馬宗家関係資料 箱 22　巻1～11	員　　数	11巻
時　　代	江戸時代・18 世紀	寸 法 等	巻1：(第1紙)縦23.5 横64.1　巻2：(第1紙)縦23.4 横64.0 巻3：(第1紙)縦20.3 横54.3　巻4：(第1紙)縦20.2 横51.9 巻5：(第1紙)縦20.2 横52.6　巻6：(第1紙)縦20.4 横55.2 巻7：(第1紙)縦20.0 横53.8　巻8：(第1紙)縦34.3 横47.3 巻9：(第1紙)縦20.0 横27.5　巻10：(第1紙)縦20.2 横53.8 巻11：(第1紙)縦17.4 横52.0(cm)
品　　質	紙本墨書	施工会社	修理工房宰匠株式会社
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.解体する。 3.剥落止めを行い、汚れを除去する。 4.再度、剥落止めを行い、旧肌裏紙及び旧補修紙を除去する。 5.欠失箇所に補修を行う。 6.肌裏打、折れ伏せ、総裏打を行う。 7.表紙を本紙に継ぎ合わせ、巻子装に仕立てる。 8.桐製太巻添軸と包裂を新調する。 9.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。 （5～8年度　4か年継続事業、5年度は巻1～3を施工）		

18 名　　称	宗義章十三歳書「朋友有信」	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代・天保元年（1830）	寸 法 等	本紙：縦113.9　横27.0　表具：縦187.1　横38.6(cm)
品　　質	紙本墨書	施工会社	修理工房宰匠株式会社
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.解体して汚れを除去する。 3.墨及び朱印の剥落止めを行い、旧肌裏紙を除去する。 4.肌裏打、増裏打、折れ伏せ、総裏打を施す。 5.掛幅装に仕立てる。 6.桐製太巻添軸、桐製印籠箱を新調する。 7.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

19 名　　称	宗義章十三歳書「君臣有義」	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代・天保元年（1830）	寸 法 等	本紙：縦111.3　横27.3　表具：縦165.0　横35.7(cm)
品　　質	紙本墨書	施工会社	修理工房宰匠株式会社
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.解体して汚れを除去する。 3.墨及び朱印の剥落止めを行い、旧肌裏紙を除去する。 4.肌裏打、増裏打、折れ伏せ、総裏打を施す。 5.掛幅装に仕立てる。 6.桐製太巻添軸、桐製印籠箱を新調する。 7.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

20 名　　称	宗義質筆竹図	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代・文化 10 年(1813)	寸 法 等	本紙：縦104.0　横37.2　表具：縦160.1　横43.6(cm)
品　　質	絹本墨画	施工会社	修理工房宰匠株式会社
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.解体して汚れを除去する。 3.墨及び朱印の剥落止めを行い、旧肌裏紙を除去する。 4.肌裏打、増裏打、折れ伏せ、総裏打を施す。 5.掛幅装に仕立てる。 6.桐製太巻添軸、桐製印籠箱を新調する。 7.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

21 名　　称	豊臣秀吉定書 対馬国宛及び禁制 南海嶋宛	員　　数	1巻
時　　代	(1) 安土桃山時代・文禄 2 年(1593) (2) 安土桃山時代・慶長 3 年(1598)	寸 法 等	表紙：縦45.3　横28.9　軸長：49.5 本紙：（第1紙）縦45.3　横60.2　（第2紙）縦45.3　横59.0(cm)
品　　質	紙本墨書	施工会社	修理工房宰匠株式会社
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.汚れを除去して、解体する。 3.墨及び朱印の剥落止めを行う。 4.再度、汚れを除去し、旧裏打紙と旧補修紙を除去する。 5.欠失箇所の補修を行う。 6.肌裏打、折れ伏せ、総裏打を施す。 7.巻子装に仕立てる。 8.桐製太巻添軸、桐製印籠箱を新調する。 9.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

【皇居三の丸尚蔵館】（計 5件）

※皇居三の丸尚蔵館の修理件数は、文化庁からの長期貸与品について文化庁事業として実施された件数

＜絵画＞（1件）

1 列品番号	SZK000011	品　　質	紙本着色
名　　称	をくり（小栗判官絵巻）巻15	員　　数	1巻
時　　代	江戸時代	寸 法 等	縦34.0 横2499.4
年代世紀	17世紀	施工会社	㈱岡墨光堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去する。 ④欠損部に補紙を施す。 ⑤新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑥新規裏打ちを重ね、補彩をする。 ⑦２巻に分けて巻子装に仕立てる。 ⑧桐製太巻、桐製印籠箱（計26巻共用箱、旧蓋板等収納）、包裂、中性紙布貼帙を新調する。 （令和5年度の宮内庁事業として開始し、文化財機構移管後に引き継いで実施）		

＜刀剣＞（4件）

1 列品番号	SZK006171	品　　質	刀剣
名　　称	脇差　銘　横山上野大掾藤原祐定／備州長船住人	員　　数	1点
時　　代	江戸時代	寸 法 等	刃長45.4 反2.3
年代世紀	18世紀	施工会社	小野敬博(研師)
補足事項	研磨　①差し込み研ぎで仕上げる。（令和5年度の宮内庁事業として開始し、文化財機構移管後に引き継いで実施）		

2 列品番号	SZK006162	品　　質	刀剣
名　　称	短刀　銘　帝室技芸員菅原包則　八十六才作	員　　数	1点
時　　代	大正時代・大正4年	寸 法 等	刃長26.0 反0.0
年代世紀	1915年	施工会社	小野敬博(研師)
補足事項	研磨　①化粧研ぎで仕上げる。（令和5年度の宮内庁事業として開始し、文化財機構移管後に引き継いで実施）		

3 列品番号	SZK006167	品　　質	刀剣
名　　称	刀　銘　藤原氏房	員　　数	1点
時　　代	安土桃山～江戸時代	寸 法 等	刃長67.2 反1.8
年代世紀	16～17世紀	施工会社	小野敬博(研師)
補足事項	研磨　①化粧研ぎで仕上げる。（令和5年度の宮内庁事業として開始し、文化財機構移管後に引き継いで実施）		

4 列品番号	SZK006165	品　　質	刀剣
名　　称	刀　銘　兼定	員　　数	1点
時　　代	室町時代	寸 法 等	刃長68.1 反2.84
年代世紀	15～16世紀	施工会社	小野敬博(研師)
補足事項	研磨　①化粧研ぎで仕上げる。（令和5年度の宮内庁事業として開始し、文化財機構移管後に引き継いで実施）		

1-(1)-②-6 文化財修理データのデータベース化件数

令和6年3月31日現在

		計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館
合　計		329	31	109 (5,686)	58 (1,256)	131 (908)
絵　画		128	1	52 (2,366)	19 (445)	56 (384)
書　跡		36	0	15 (1,269)	9 (238)	12 (86)
彫　刻		51	0	23 (1,455)	18 (362)	10 (76)
建　築		0	0	0 (15)	0 (1)	0 (7)
金　工		0	0	0 (2)	0 (5)	0 (6)
刀　剣		0	0	0 (0)	0 (0)	0 (6)
陶　磁		1	0	0 (1)	0 (0)	1 (8)
漆　工		16	0	0 (40)	10 (141)	6 (62)
染　織		43	26	2 (200)	2 (29)	13 (40)
考　古		9	2	0 (18)	0 (0)	7 (64)
民族資料		3	0	2 (8)	0 (2)	1 (11)
歴史資料		34	0	9 (251)	0 (31)	25 (150)
和　書		1	1	0 (0)	0 (0)	0 (7)
写真資料		0	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他		6	0	6 (61)	0 (2)	0 (1)
東洋	絵　画	1	1			
	書　跡	0	0			
	彫　刻	0	0			
	金　工	0	0			
	陶　磁	0	0			
	漆　工	0	0			
	染　織	0	0			
	考　古	0	0			
	民　族	0	0			
法隆寺献納宝物		0	0			
黒田記念館収蔵品		0	0			
館史資料(収蔵品外)		0	0			

※ 東京国立博物館は、列品管理規程による「旧東洋課所掌分」あり。

※ 記載の件数は当年度新規入力件数、（　）内は当年度までの新規入力件数の累計。

1-(2) 展覧事業
1-(2)-① 平常展
1-(2)-② 特別展等

1-(2)-①・②-1 来館者数推移（入館料別）(過去５か年)　（後述の資料に記載）◎共通資料a-①

1-(2)-①・②-2 来館者数推移（展覧会別）(過去５か年)　（後述の資料に記載）◎共通資料a-②

1-(2)-①・②-3 平常展・特別展・海外展　（後述の資料に記載）◎共通資料a-③

1-(2)-①-4 平常展の展示替件数　（後述の資料に記載）◎共通資料a-③

1-(2)-①-5 平常展の展示総件数　（後述の資料に記載）◎共通資料a-③

1-(2)-①-6 平常展来館者アンケート　（後述の資料に記載）◎共通資料e

1-(2)-②-7 特別展来館者アンケート　（後述の資料に記載）◎共通資料e

1-(2)-③ 観覧環境の向上等

1-(2)-③-1 観覧環境に関する来館者アンケート　（後述の資料に記載）◎共通資料e
1-(2)-③-2 多言語表記に関する外国人アンケート　（後述の資料に記載）◎共通資料e

1-(2)-③-3バリアフリー施設・設備の設置状況

令和6年3月31日現在

	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	皇居三の丸尚蔵館
トイレ(多目的トイレ、車いす対応)	18か所 （本館6、平成館3、東洋館2、法隆寺宝物館1、資料館1、黒田記念館2、正門プラザ2、庭園1）	9か所 （平成知新館5、明治古都館1、南門施設1（乳児ベッド併設）、屋外トイレ1、文化財保存修理所1）	3か所 （東新館1、地下回廊2）	10か所 （本体建物7、屋外3）	2か所
エレベータ(手すり、押しボタン、車いす対応)	10基 （本館1、平成館1、東洋館4、法隆寺宝物館1、黒田記念館2、表慶館1）	5基 （平成知新館4,東収蔵庫1） 昇降装置1基 （旧管理棟1）	4基 （なら仏像館1、なら仏像館附属棟1、東新館1、西新館1）	7基 （本体建物）	なし
スロープ	5か所 （本館、東洋館、法隆寺宝物館、表慶館、黒田記念館）	4か所 （平成知新館1、明治古都館1、南門施設1、文化財保存修理所1）	4か所 （なら仏像館1、なら仏像館附属棟1、西新館1、庭園1）	1か所 （通用口）	2か所 （入口・通用口）
ハンディキャップ優先駐車	2台	3台	4台	23台	なし
車椅子	27台 （正門・正門プラザ5、本館5、東洋館3、平成館11、法隆寺宝物館2、黒田記念館1）	12台 (検札2、平成知新館7、倉庫保管3)	14台	30台	3台 （介助式2、自走式1）
乳幼児用設備	○ベビーカー　3台 ○ベビーシート　16か所 ○ベビーチェア　13か所 ○授乳室　1か所	○ベビーカー　8台 ○ベビーシート　12か所 ○ベビーチェア　11か所 ○授乳室　2か所	○ベビーシート　2か所 ○ベビーチェア　1か所 ○おむつ交換台　1か所	○ベビーカー　9台 ○ベビーシート　15か所 ○ベビーチェア　6か所 ○幼児用補助便座　6か所 ○授乳室　1か所	○ベビーカー　1台 ○ベビーシート　2か所 ○ベビーチェア　3か所
自動扉	61台(多目的トイレ含む)	33台(多目的トイレ含む)	16台	19台(多目的トイレ含む)	3台
5年度整備事項	平成館1階トイレブース内に手すりを設置した。		館内看板は4言語（日・英・中・韓）で作成し、イラストやピクトグラムを活用することで、外国人来館者や障がい者にもわかりやすい内容となるよう工夫した。また、仏像館と新館の開館状況をわかりやすくするため、開館情報を記載した看板を新たに設置した。	来客用トイレブースの低い位置に荷物掛けを増設した。	

1-(2)-③-4 音声ガイド実施状況

令和6年3月31日現在

東京国立博物館	
5年度計（台）：	162,970台
・特別展「東福寺」（日）	14,849台
・特別展「古代メキシコーマヤ、アステカ、テオティワカン」（日）	52,017台
・浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念　特別展「京都・南山城の仏像」（日）	12,795台
・特別展「やまと絵―受け継がれる王朝の美」（日）	29,014台
・特別展「本阿弥光悦の大宇宙」（日）	22,180台
・建立900年　特別展「中尊寺金色堂」（日）	32,115台
（参考） 5年度ダウンロード件数	21,381件
・「トーハクなび」（リニューアル版）*1月1日～12月31日	
Android版	7,172件
iOS版	14,209件
アプリ端末貸出（日英）	貸出終了
音声ガイド貸出（中韓）	貸出終了
「法隆寺宝物館30分ナビ」iOSアプリ	公開終了

※1 特別展「東福寺」は全期間21,692台のうち令和5年度分のみを記載
※2「横尾忠則　寒山百得」展は音声ガイドなし

京都国立博物館	
5年度計（台）：	39,313台
・親鸞聖人生誕850年特別展「親鸞―生涯と名宝」	17,479台
うち日本語版	16,545台
うち英語版	934台
・特別展「東福寺」	7,322台
うち日本語版	6,684台
うち英語版	638台
名品ギャラリー（平常展）	14,512台
うち日本語版・一般向け	5,389台
うち日本語版・ジュニア版	152台
うち英語版・一般向け	1,851台
うち英語版・ジュニア版	57台
うち中国語版・一般向け	6,180台
うち中国語版・ジュニア版	380台
うち韓国語版・一般向け	490台
うち韓国語版・ジュニア版	13台

奈良国立博物館	
5年度計（台）：	34,685台
・特別展「聖地南山城―奈良と京都を結ぶ祈りの至宝―」	6,369台
うち日本語版	6,369台
うち英語版	―
うち中国語版	―
うち韓国語版	―
・「第75回正倉院展」	25,859台
うち日本語版・一般向け	24,870台
うち日本語版・ビギナーズ向け	675台
うち英語版	314台
うち中国語版	―
うち韓国語版	―
・なら仏像館名品展	2,457台
うち日本語版	1,238台
うち英語版	401台
うち中国語版	775台
うち韓国語版	43台

九州国立博物館	
5年度計（台）：	23,664台
・特別展「アール・ヌーヴォーのガラスーガレとドームの自然賛歌ー」	4,058台
うち日本語版	4,058台
うち英語版	―
うち中国語版	―
うち韓国語版	―
・特別展「古代メキシコーマヤ、アステカ、テオティワカン」	11,030台
うち日本語版	11,030台
うち英語版	―
うち中国語版	―
うち韓国語版	―
・特別展「生誕270年　長沢芦雪　若冲。応挙につづく天才画家」	8,576台
うち日本語版	8,576台
うち英語版	―
うち中国語版	―
うち韓国語版	―
（参考） ・文化交流展 端末貸出数※2	4,176台

※1　特別展「憧れの東洋陶磁ー大阪市東洋陶磁美術館の至宝」は音声ガイドの実施なし。
※2　4年度より、文化交流展の音声ガイドはスマートフォンアプリ（ナビレンス）に切り替えたため、利用者数の集計はできない。上記は、スマートフォンを持っていない来館者への代替機器貸出数。合計値には含まない。

1-(3) 教育・普及活動等

1-(3)-① 教育普及活動の充実等

1-(3)-①-1 学習機会の提供（過去5か年）

令和6年3月31日現在

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
○講演会等の回数					
東京国立博物館					
講演会等　実施回数	97回	19回	39回	32回	59回
講演会等　参加者数	11,691人	52,032人	34,403人	42,910人	55,322人
①講演会	20回	10回	14回	15回	24回
	6,051人	29,875人	10,199人	3,291人	6,257人
アンケート結果（満足度）	84.89%	ー	84.85%	84.87%	86.16%
（内訳）					
・月例講演会等	10回	8回	12回	12回	12回
	2,630人	24,923人	8,777人	2,570人	3,369人
アンケート結果（満足度）	84.75%	ー	86.74%	83.39%	84.33%
・記念講演会	7回	0回	1回	3回	8回
	2,591人	0	135人	721人	2,318人
アンケート結果（満足度）	84.19%	ー	67.80%	82.99%	90.53%
・シンポジウム	2回	2回	1回	0回	0回
	575人	4,952人	1,287人	人	人
アンケート結果（満足度）	ー	ー	ー	ー	ー
・テーマ別講演会	1回	0回	0回	0回	0回
	255人	0人	0人	0人	0人
アンケート結果（満足度）	93.46%	ー	ー	ー	ー
・その他講演会	0回	0回	0回	0回	4回
	0人	0人	0人	0人	570人
アンケート結果（満足度）	ー	ー	ー	ー	86.18%
②列品解説（ギャラリートーク等）	71回	9回	23回	15回	32回
	4,791人	22,157人	23,701人	38,415人	48,348人
③連続講座	1回（2日）	0回	1回	1回	1回
	645人	0人	276人	317人	470人
アンケート結果（満足度）	92.93%	ー	94.50%	91.20%	ー
④公開講座	5回	0回	1回	1回	2回
	204人	0人	227人	887人	247人
アンケート結果（満足度）	100.00%	ー	ー	ー	ー
京都国立博物館					
講演会等　実施回数	28回	23回	31回	34回	38回
講演会等　参加者数	3,285人	1,435人	3,164人	3,488人	3,570人
①土曜講座	13回	7回	12回	13回	22回
	1211人	572人	583人	835人	1,810人
アンケート結果（満足度）	85%	84%	82%	83%	84%
②記念講演会	9回	12回	14回	17回	12回
	1,465人	1,227人	1,106人	2,207人	1,537人
アンケート結果（満足度）	81%	83%	81%	83%	82%
③夏期講座	1回（2日）	1回（2日）	1回（2日）	1回（2日）	1回（2日）
	201人	60人	73人	84人	77人
アンケート結果（満足度）	78%	94%	96%	88%	85%
④社会科教員のための向上講座	1回	0回	1回	1回	1回
	50人	0人	34人	34人	77人
⑤ギャラリートーク・シンポジウム等	3回	3回	3回	2回	2回
	358人	248人	1,368人	328人	69人
奈良国立博物館					
講演会等　実施回数	25回	12回	27回	26回	21回
講演会等　参加者数	3,261人	847人	1,865人	1856人	2504人
①特別展等講座	13回	5回	15回	10回	8回
	1,838人	353人	1,060人	716人	1,095人
アンケート結果（満足度）	91.7%	91.0%	93.0%	89.3%	94.7%
②夏季講座	1回（3日）	0回	0回	4回	1回（5講2日）
	386人	ー	ー	270人	154人
アンケート結果（満足度）	94%	ー	ー	87.6%	97.8%
③サンデートーク	11回	7回	12回	12回	12回
	1,037人	494人	805人	870人	1,255人
アンケート結果（満足度）	91.7%	90%	90%	87.5%	94.6%
九州国立博物館					
講演会等　実施回数	69回	13回	50回	53回	44回
講演会等　参加者数	4,862人	308人	2,229人	3,237人	2,889人
①特別展記念講演会	6回	0回	3回	4回	2回
	1,336人	0人	385人	662人	410人
アンケート結果（満足度）	ー	ー	92.9%	94.4%	97.2%
②講演及びシンポジウム	16回	0回	20回	24回	14回
	2,033人	0人	1,395人	1,881人	1,681人
アンケート結果（満足度）	ー	ー	91.7%	95.0%	94.9%
③ミュージアムトーク	47回	13回	27回	25回	28回
	1,493人	308人	449人	694人	798人
皇居三の丸尚蔵館					
講演会等　実施回数	ー	ー	ー	ー	5回
講演会等　参加者数	ー	ー	ー	ー	442人
①特別講演会	ー	ー	ー	ー	1回
	ー	ー	ー	ー	140人
②ギャラリートーク	ー	ー	ー	ー	4回
	ー	ー	ー	ー	302人
○キャンパスメンバーズ					
東京国立博物館	60校	61校	59校	61校	67校
京都国立博物館	32校	33校	32校	34校	33校
奈良国立博物館	27校	28校	26校	27校	27校
九州国立博物館	23校	21校	22校	22校	20校

1-(3)-①-2 講座・講演会等の開催実績

	東京国立博物館		京都国立博物館		奈良国立博物館		九州国立博物館		皇居三の丸尚蔵館	
回数・人数※1	**回数計**	**59回**	**回数計**	**38回**	**回数計**	**21回**	**回数計**	**44回**	**回数計**	**5回**
	参加者計	**55,322人**	**参加者計**	**3,570人**	**参加者計**	**2,504人**	**参加者計**	**2,889人**	**参加者計**	**442人**
	講演会	24回 6,257人	土曜講座	22回 1,810人	特別展等講座	8回 1,095人	特別展 記念講演会	2回 410人	特別講演会	1回 140人
	列品解説（ギャラリートーク等）	32回 48,348人	記念講演会	12回 1,537人	夏期講座（2日間）	1回 154人	講演及びシンポジウム	14回 1,681人	ギャラリートーク	4回 302人
	連続講座（2日間）	1回 470人	夏期講座（2日間）	1回 77人	サンデートーク	12回 1,255人	ミュージアムトーク	28回 798人		
	公開講座	2回 247人	社会科教員のための向上講座	1回 77人						
			ギャラリーツアー・シンポジウム等	2回 69人						
	その他展示に関連するイベント	12回 4,117人	その他展示に関連するイベント	— —	その他展示に関連するイベント	7回 1,304人	その他展示に関連するイベント	21回 3,347人	その他展示に関連するイベント	4回 81人

※1実施事業のうち、参加者数をカウントしていない、又は当該事業を実施した建物の入館者数のみ把握しているものについては、合計値に参加者数を計上していない。（実施回数は計上している。）

【東京国立博物館】

1） 講演会　　24回　　6,257人

①月例講演会

12回　　3,369人

	開催日	テーマ	講師等	参加者数	“良い”の割合
1	4月22日	ウィーン万博150年 ーウィーン世界博物館と東京国立博物館の関連所蔵品ー	ウィーン世界博物館東アジア部門学芸員　ベッティーナ・ツォルン 企画課出版企画室主任研究員　遠藤楽子	276人	67.39%
2	5月20日	中国・宗時代の水墨画と日本	特任研究員　救仁郷秀明	260人	84.58%
3	6月17日	デジタル法隆寺への招待	文化財活用センター企画担当課長　藤田千織 列品管理課登録室主任研究員　西木政統	303人	86.44%
4	7月15日	藤原定家の書と明月記	奈良国立博物館研究員　樋笠逸人	290人	86.75%
5	8月5日	初期伊万里の粋	博物館教育課教育講座室主任研究員　横山梓	302人	88.12%
6	9月2日	関東大震災と東京国立博物館	企画課特別展室長　佐藤寛介 文化財防災センター研究員　黄川田翔	285人	86.54%
7	10月14日	尾形光琳筆「冬木小袖」とその周辺	調査研究課工芸室長　小山弓弦葉	280人	86.60%
8	11月18日	東京国立博物館のアイヌ資料	文化財活用センター企画担当研究員　飯田茂雄	226人	81.29%
9	12月17日	能面の魅力	副館長　浅見龍介	268人	90.45%
10	6年1月14日	和物茶陶の発見と創造	特任研究員　今井敦	289人	83.25%
11	6年2月10日	厨子の世界を開く	調査研究課工芸室主任研究員　清水健	290人	86.44%
12	6年3月16日	占領期の国立博物館について	企画課デザイン室主任研究員　神辺知加	300人	84.12%

②記念講演会

8回　　2,318人

	開催日	テーマ	講師等	参加者数	“良い”の割合
1	7月5日	特別展「古代メキシコ　ーマヤ、アステカ、テオティワカンー」 プレミアムナイト	岡山大学特任教授、アリゾナ州立大学研究教授　杉山三郎 アリゾナ大学教授　猪俣健 メキシコ国立人類学歴史研究所 アステカ大神殿プロジェクト団長　レオナルド・ロペス・ルハン	272人	–
2	7月14日	特別展「古代メキシコ　ーマヤ、アステカ、テオティワカンー」 ナイトレクチャー	学芸研究部長　河野一隆	265人	–
3	7月27日	特別展「古代メキシコ　ーマヤ、アステカ、テオティワカンー」 ナイトレクチャー	調査研究課考古室長　井出浩正 保存修復課保存修復室研究員　山本亮	268人	–
4	9月28日	南山城の仏像の世界	調査研究課絵画・彫刻室研究員 増田政史	302人	90.00%
5	10月20日	特別展「やまと絵ー受け継がれる王朝の美ー」記念講演会 講演（１）「やまと絵の成立と展開」	調査研究課絵画・彫刻室室長 土屋貴裕	327人	93.95%
6	11月10日	特別展「やまと絵ー受け継がれる王朝の美ー」記念講演会 講演（２）「蒔絵とやまと絵」「仏画とやまと絵」	保存修復課保存修復室長 猪熊兼樹 博物館教育課教育普及室研究員 古川攝ー	298人	86.02%
7	6年1月23日	創建900年特別展「中尊寺金色堂」 開幕記念 関連トークイベント	中尊寺貫首　奥山元照 中尊寺釈尊院住職・岩手大学客員教授　菅野成寛	281人	89.10%
8	6年1月30日	特別展「本阿弥光悦の大宇宙」 記念講演会「国宝　舟橋蒔絵硯箱を解剖する」	特別展室研究員 福島修	305人	93.60%

③シンポジウム

0回　　0人

④テーマ別講演会

0回　　0人

⑤その他講演会

4回　　570人

	開催日	テーマ	講師等	参加者数	"良い"の割合
1	5月18日	国際博物館の日「トーハクへようこそ」	博物館教育課教育講座室　山本桃子	116人	−
2	5月18日	国際博物館の日「トーハクへようこそ」	博物館教育課教育講座室　山本桃子	161人	−
3	8月10日	ユネスコ「世界の記憶」登録記念講演会「智証大師・円珍が伝えた文書典籍」	百五十年史編纂室室長書跡・歴史室室長 惠美千鶴子	192人	86.18%
4	6年2月8日	本館4室リニューアル関連講演会「英語で楽しむ　和菓子の魅力」	虎屋文庫主席研究員 中山圭子 虎屋文庫研究主任 島田萌 博物館教育課教育講座室主任研究員　横山梓 通訳　ダニエル・モラン	101人	−

2)　列品解説（ギャラリートーク等）　　32回　　48,348人

①ギャラリートーク

17回　　47,802人

	開催日	テーマ	講師等	参加者数
1	10月3日	博物館でアジアの旅関連イベント アジたびスペシャルトーク 「中国石仏はパーティーの賜物!?」	調査研究課東洋室主任研究員　児島大輔	31人
2	10月3日	博物館でアジアの旅関連イベント アジたびスペシャルトーク 「中国石仏はパーティーの賜物!?」	調査研究課東洋室主任研究員　児島大輔	36人
3	10月8日	留学生の日関連イベント 「韓国語によるギャラリートーク」	企画課国際交流室アソシエイトフェロー　鄭相妍	6人
4	10月8日	留学生の日関連イベント 「英語によるギャラリートーク」	企画課国際交流室専門職員　ミウォシュ・ヴォズニ	30人
5	10月17日	博物館でアジアの旅関連イベント アジたびスペシャルトーク 「パーティーへ行こう！～新羅人のおめかし～」	調査研究課東洋室アソシエイトフェロー　玉城真紀子	37人
6	10月17日	博物館でアジアの旅関連イベント アジたびスペシャルトーク 「パーティーへ行こう！～新羅人のおめかし～」	調査研究課東洋室アソシエイトフェロー　玉城真紀子	41人
※5～16はオンラインギャラリートークとして実施した（事前収録・YouTube配信）。開催日は配信日、参加者数は再生回数からの算定数値である。				
7	5月22日	国宝　普賢菩薩像　修理で際立つ夢幻の美	列品管理課長 沖松健次郎	7,876人
8	6月22日	センサリーマップを使って、トーハクを歩こう	博物館教育課長 鈴木みどり 教育普及室アソシエイトフェロー 増田万里奈	3,722人
9	7月26日	水墨画を見るポイント―山水画に描かれた人物	特任研究員 救仁郷秀明	7,209人
10	8月30日	日本における磁器の誕生と色絵の始まり	特任研究員 今井敦	4,986人
11	9月25日	河口慧海のチベット探検	調査研究課列品管理課貸与特別観覧室研究員 西木政統	4,811人
12	10月20日	博物館でアジアの旅　アジアのパーティー	調査研究課東洋室主任研究員 児島大輔	2,747人
13	11月27日	旧十輪院宝蔵（校倉）―屋外展示を楽しむ	列品管理課課長 沖松健次郎	3,052人
14	12月21日	死者の枕	学芸研究部長 河野一隆	4,937人
15	6年2月20日	高麗時代の陶器	調査研究課東洋室アソシエイトフェロー　玉城真紀子	5,023人
16	6年3月18日	博物館に初もうで　謹賀辰年　年の初めの龍づくし	調査研究課東洋室主任研究員　児島大輔	1,376人
17	6年3月18日	浮世絵―季節と暮らしを描く―	調査研究課絵画・彫刻室研究員　村瀬可奈	1,882人

②特別展関連ギャラリートーク

0回　　0人

③東京藝術大学大学院インターンシップによるギャラリートーク

15回　　546人

	実施日	回数	テーマ	氏名	参加者
1	6年1月14日・24日・2月7日	3回	青木木米作「染付龍濤文堤重」の魅力	納多由紀乃	129人
2	6年1月14日・21日・2月4日・18日	4回	《環城楽図額》と刀装具の技術	吉田倫	125人
3	6年2月4日・14日・21日・25日	4回	岸竹堂《虎》を読解する	髙栁祿	153人
4	6年2月14日・18日・21日・25日	4回	鈴木春信「見立鉢の木」に見る見立ての手法	押野みのり	139人

3)　連続講座　　2日間（計1回）　　1回　　470人

	開催日	テーマ・講師等	参加者数	“良い”の割合
1	6年2月2日～2月3日	2月2日（金） 第1講　「だれそれ！？呉昌碩」 講師：富田淳（九州国立博物館　館長） 鍋島稲子（台東区立書道博物館　主任研究員） 第2講　「清朝碑学派と呉昌碩」 講師：六人部克典（東京国立博物館　東洋室研究員） 第3講　「上海画壇と呉昌碩」 講師：植松瑞希（東京国立博物館　絵画・彫刻室主任研究員） 2月3日（土） 第4講　「朝倉文夫《呉昌碩像》について」 講師：戸張泰子（台東区立朝倉彫塑館　主任研究員） 第5講　「なぜなに！？呉昌碩」 講師：富田淳（九州国立博物館　館長） 鍋島稲子（台東区立書道博物館　主任研究員）	470人	－

4)　公開講座　　2回　　247人

	開催日	テーマ・講師等	参加者数	会場
1	9月4日～9月8日	教育連携事業「博物館学講座」	17人	平成館小講堂他
2	9月6日	教育連携事業「博物館セミナー」 第1講　博物館の運営 講師：総務課室長　富田雅行 第2講　総合文化展の仕組み 講師：平常展調整室研究員　高木結美 第3講　特別展の仕組み 講師：企画課特別展室研究員　熊谷美和 第4校　博物館の情報アーカイブと活用 講師：博物館情報課課長　村田良二 第5講　博物館の教育普及活動 講師：博物館教育課課長　鈴木みどり 第6講　博物館の国際交流 講師：国際交流室研究員　ミウォシュ・ヴォズニ 第7講　博物館の文化財活用 講師：文化財活用センター企画担当課長　藤田千織	230人	平成館大講堂

5) その他展示に関連する事業　　12回　　4,117人

	実施日	内容	会場	参加者数	備考
1	3月15日～4月10日	博物館でお花見を2023　東博句会「花見でー句」	館内、オンライン	646人	小学生以下77句、一般569句
2	5月14日	都立公園開園150周年記念企画/国際博物館の日記念 「上野の山で動物めぐり―動物の『尾・しっぽ』―」	恩賜上野動物園、国立科学博物館、東京国立博物館	74人	恩賜上野動物園会議室よりオンライン実施
3	9月26日～10月22日	「博物館でアジアの旅 アジたびマップ2023」	東洋館	―	3,100部配布
4～12	4月22日、5月20日、6月17日、7月15日、9月2日、11月18日、12月17日、2月10日、3月16日	オンラインギャラリートーク上映会	平成館大講堂	3,369人	月例講演会の開演前に上映
13	6年3月26日	博物館でお花見を2024「お花見ヨガin法隆寺宝物館」	法隆寺宝物館	28人	同日2回実施

【京都国立博物館】

1)　土曜講座　　22回　　1,810人

特別展覧会関連などの講座

	開催日	テーマ	講師	参加者数
1	6月17日	京都国立博物館の近代絵画	主任研究員　福士雄也	60人
2	6月24日	京都国立博物館の講座100年を振り返る―大正13年から令和5年まで―	主任研究員　水谷亜希	50人
3	7月1日	茶の湯の道具 茶碗―形・寸法・景色からみるその特徴―	調査・国際連携室長　降矢哲男	117人
4	7月15日	染織品の国際交易―袈裟と名物裂にみる―	上席研究員／企画室長 兼 工芸室長　山川曉	70人
5	7月22日	廣海家の漆器が語る商家の茶の湯	列品管理室長　永島明子	61人
6	7月29日	古墳時代の甲冑―弥生～古墳時代の武装とその性格―	研究員　古谷毅	46人
7	8月5日	修理・復元模写に役立つ情報―絵画の科学調査から―	保存科学室長　降幡順子	55人
8	8月19日	縄目文様から読み解く縄文土器	考古室長　石田由紀子	80人
9	8月26日	最近の文化財の修理事情―京都當道会所蔵日吉山王曼荼羅図の修理を中心に―	教育室長　大原嘉豊	50人
10	9月2日	博物館の舞台裏シリーズ①特別展ができるまで―東福寺展の会場造りを中心に―	アソシエイトフェロー　青木麻佑花 研究員　森道彦	83人
11	9月9日	考古学からみた紫式部の時代	特任研究員　宮川禎一	94人
12	9月16日	中国の写経と日本の写経	研究員　上杉智英	78人
13	6年1月13日	泉穴師神社の神像	主任研究員　竹下繭子	88人
14	6年1月20日	京都と弥生青銅器―研究の歴史と京博コレクションの形成―	研究員　古谷毅	65人
15	6年1月27日	銅鐸の変遷と画期	客員研究員　難波洋三	126人
16	6年2月3日	ポータブルX線分析装置による泉穴師神社所蔵神像の彩色材料調査	保存科学室長　降幡順子	71人
17	6年2月10日	京都国立博物館敷地の発掘調査	京都市埋蔵文化財研究所 調査研究技師　古閑正浩 京都市埋蔵文化財研究所 調査課長　南孝雄 学芸部長　尾野善裕	81人
18	6年2月17日	備前・備中・備後の名刀	主任研究員　末兼俊彦	177人
19	6年2月24日	仏画の見方 “芸術は理屈だ！	教育室長　大原嘉豊	139人

20	6年3月2日	古今雛は現代雛の原形か？	日本人形文化研究所 所長　林直輝	86人
21	6年3月16日	中国の羅漢図	研究員　森橋なつみ	51人
22	6年3月23日	江戸時代の縁起絵巻―展示作品を中心に―	主任研究員　井並林太郎	82人

2)　記念講演会　　12回　　1,537人

	実施日	テーマ	講師	参加者数(人)
1	4月1日	親鸞聖人伝絵の世界―覚如の絵巻制作	主任研究員　井並林太郎	200人
2	4月15日	『坂東本・教行信証』と親鸞聖人	大谷大学 教授　三木彰円	200人
3	4月22日	親鸞聖人のご法物から立教開宗を聞思する	本願寺史料研究所長、龍谷大学 名誉教授　赤松徹眞	200人
4	5月6日	親鸞　生涯と名宝	研究員　上杉智英	200人
5	5月13日	親鸞の手紙	保存修理指導室長兼美術室長　羽田聡	200人
6	10月14日	中国禅の本流としての東福寺―その歴史と文化財―	東福寺資料研究所長、京都産業大学 教授　石川登志雄	87人
7	10月21日	五山東福寺と室町将軍の額字	東福寺資料研究所 主任学芸員　日種真子	56人
8	10月28日	東福寺画壇と明兆	研究員　森道彦	111人
9	11月4日	京都・東福寺と杭州径山の交流	国際日本文化研究センター 教授　榎本涉	61人
10	11月11日	東福寺と禅宗の仏像	追手門学院大学 教授　淺湫毅	78人
11	11月18日	墨跡にみる円爾と聖一派	東京国立博物館 研究員　六人部克典	50人
12	11月25日	東福寺と伝法衣―袈裟をめぐる物語―	京都国立博物館 上席研究員／企画室長 兼 工芸室長　山川曉	94人

3)　夏期講座　　1回　　77人

	開講日	テーマ	講師	参加者数(人)
1	7月7日	第1講 遺跡出土の土器・陶磁器から見た 15世紀日本社会の変革	学芸部長 尾野善裕	77人
		第2講 騎馬から徒歩へ	主任研究員 末兼俊彦	
		第3講 初期ネーデルラント絵画の「写実」	大阪大谷大学文学部歴史文学科 教授 今井澄子	
	7月8日	第1講 中世水墨画と周文	研究員 森道彦	
		第2講 中国絵画の15世紀 ―蘇州の復興と花開く文人の芸術	実践女子大学 名誉教授 宮崎法子	
		第3講 皇帝の磁器 ―明朝の建国と景徳鎮官窯の成立	東洋文庫研究部 研究員 金沢陽	

4)　社会科教員のための向上講座　　1回　　77人

	開講日	テーマ	講師	参加者数(人)
1	9月2日	講演「特集展示〈茶の湯の道具 茶碗〉 茶碗を楽しむ」	学芸部調査・連携協力室長　降矢哲男	77人
		京都国立博物館　教育室の取り組み	主任研究員　水谷亜希	
		社会科の学習内容とのかかわり	京都市総合教育センター指導室　首席指導主事　鈴木宏紀	

5)　ギャラリーツアー・シンポジウム等　　2回　　69人

	開講日	テーマ・講師		参加者数(人)
1	4月23日	浄土真宗を中心とした祖師信仰とその造形	青山学院大学教授　津田徹英 西勝寺住職　山田雅教 学芸部　企画室主任研究員　井並林太郎 学芸部　保存修理指導室長　羽田聡	53人
2	2月25日	留学生の日（多言語スタッフによるギャラリーツアー）	学芸部　調査・国際連携室　主任専門職員　リンネマリサ 学芸部　企画室　多言語アソシエイトフェロー 王　珏人、権　保慶、Pearce Chloe	16人

※キャンパスメンバーズ限定講演会については1-(3)-①-4 大学生・大学院生を対象とした教育事業　に記載。

【奈良国立博物館】

1)　特別展等講座　　8回　　1,095人

	開催日	事業名称等	講師	参加者数
1	7月29日	「華開く仏教文化～南山城の古代寺院から」	京都府立大学文学部教授　菱田 哲郎	150人
2	8月19日	「南山城と律宗の美術」	学芸部企画室長　谷口 耕生	132人
3	8月26日	「聖地 南山城の神と仏」	学芸部主任研究員　山口 隆介	130人
4	10月28日	「宝物に込められた祈り―転輪聖王としての聖武天皇―」	学芸部主任研究員　三田 覚之	155人
5	11月4日	「正倉院文書の復原―いわゆる「常陸国戸籍」について―」	宮内庁正倉院事務所保存課調査室員　　三野 拓也	136人
6	11月11日	「正倉院の箱を観る」	当館学芸部アソシエイトフェロー　伊藤 旭人	147人
7	12月24日	「神楽で祈りを伝える」	春日大社国宝殿学芸員　松村 和歌子	94人

8	6年2月10日	「二月堂が国宝に指定された経緯を探る」	東大寺長老・東大寺総合文化センター総長　狭川普文　師	151人

2)　夏季講座　　1回　　154人

	実施日	テーマ	解説者	参加者数(人)
1	8月22日	第一講「眠った蔵から見えてきたこと ―現光寺・大智寺資料調査の過程と成果について―」	木津川市教育委員会文化財保護課主任　小林和華子	154人
		第二講「和歌山県の仏像と神像ー仏像から見る地域史ー」	奈良大学准教授　大河内 智之	
	8月23日	第三講「我が国で三番目に仏像の多いまち、大津」	大津市歴史博物館学芸員　寺島　典人	
		第四講「本州西端の地　周防・長門の仏像」	学芸部美術室長　岩井 共二	
		第五講「博多太宰府周辺の仏像―古代を中心に―」	九州歴史資料館学芸研究班長　井形 進	

3)　サンデートーク　　12回　　1,255人

	実施日	テーマ	解説者	参加者数(人)
1	4月16日	「奈良の山々と美術」	学芸部アソシエイトフェロー　松井 美樹	81人
2	5月21日	「百済観音の世界」	学芸部主任研究員　三田 覚之	148人
3	6月18日	「香の美術」	学芸部アソシエイトフェロー　伊藤 旭人	114人
4	7月16日	「家の中のいろいろな虫たちの話」	学芸部アソシエイトフェロー　小峰 幸夫	62人
5	8月20日	「文化財の魅力を広めるための挑戦」	学芸部研究員　翁 みほり	82人
6	9月17日	「東アジアの仏教絵画を見渡す」	学芸部情報サービス室長　北澤 菜月	114人
7	10月15日	「獅子・狛犬の魅力」	学芸部研究員　内藤航	137人
8	11月19日	「文化財を科学する㎜」	学芸部保存修理指導室長　鳥越 俊行	69人
9	12月17日	「藤原道長と紫式部の時代」	学芸部列品室長　斎木 涼子	142人
10	6年1月21日	「東日本大震災文化財レスキューの今」	学芸部上席研究員　荒木 臣紀	54人
11	6年2月18日	「イギリス王子たちがみた日本―明治14年の旅行記と古写真から―」	学芸部資料室長　宮崎 幹子	104人
12	6年3月10日	「松帆銅鐸の軌跡」	南あわじ市埋蔵文化財調査事務所主任　定松 佳重 氏	148人

4)　その他展示に関連するイベント　　7回　　1,304人

	実施日	内容	会場	参加者
1	8月6日	浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念　特別展「聖地　南山城―奈良と京都を結ぶ祈りの至宝―」関連イベント「奈良仏像けんきゅー部　南山城展編」	講堂	44人
2	10月30日	「第74回正倉院展」研究員レクチャー付き鑑賞会（10:00～、15:00～）	講堂	344人
3	11月8日	「第74回正倉院展」研究員レクチャー付き鑑賞会（10:00～、15:00～）	講堂	348人
4	11月13日	「第74回正倉院展」研究員レクチャー付き鑑賞会（10:00～、15:00～）	講堂	336人
5	11月18日	近代化遺産全国一斉公開	仏教美術資料研究センター	187人
6	6年2月11日	お水取り「講話」と「現地解説」の会	講堂	38人
7	6年2月19日	留学生の日関連イベント「やさしいにほんごでわかる『おみずとり』」	新館・なら仏像館	7人

【九州国立博物館】

1)特別展記念講演会　　2回　　410人

	開催日	事業名称等	講師	参加者数
1	5月13日	特別展「アール・ヌーヴォーのガラス―ガレとドームの自然賛歌」記念講演会 「北澤美術館のガラスコレクション」	北澤美術館主席学芸員　池田まゆみ	166人
2	6年2月11日	特別展「生誕270年　長沢芦雪　若冲、応挙につづく天才画家」記念講演会 「芦雪・若冲・応挙と大雅　驚愕魅惑のベストテン」	東京大学名誉教授　河野元昭	244人

2)講演及びシンポジウム等　　14回　　1,681人

	開催日	事業名称等	講師	参加者数
1	4月29日	きゅーはく☆とっておき講座 秋田蘭画　超入門	秋田市立千秋美術館学芸員　松尾ゆか	110人
2	5月20日	特別展「アール・ヌーヴォーのガラス―ガレとドームの自然賛歌」リレー講座	学芸部企画課主任研究員　望月規史 筑前高等学校指導教諭　室井真人 学芸部企画課長　伊藤信二	68人
3	6月7日	韓国国立扶餘博物館・国立公州博物館　研究者招聘記念講演『古代国家百済くだらの文物』	国立扶餘博物館 学芸研究士　申敏澈（シン　ミンチョル）、 国立公州博物館 学芸研究士　尹芝蓮（ユン　ジヨン）	110人
4	7月15日	特別展「憧れの東洋陶磁―大阪市立東洋陶磁美術館の至宝」 リレー講座「これであなたもやきものツウ！」（第1回）	大阪市立東洋陶磁美術館館長　守屋雅史氏 学芸部企画課主任研究員　酒井田千明	91人
5	7月29日	特別展「憧れの東洋陶磁―大阪市立東洋陶磁美術館の至宝」トークセッション 「三右衛門が熱く語る「憧れの東洋陶磁」」	重要無形文化財保持者　十四代今泉今右衛門氏 十五代酒井田柿右衛門氏 重要無形文化財保持者　福島善三氏 学芸部企画課主任研究員　酒井田千明	232人
6	8月5日	全国高等学校歴史学フォーラム2023 福岡県立朝倉高等学校 長崎県立壱岐高等学校 福岡県立糸島高等学校 福岡県立香住丘高等学校 九州産業大学付属九州産業高等学校 埼玉県立熊谷西高等学校 福島県立相馬高等学校 群馬県立高崎北高等学校 福岡県立宗像高等学校 栃木県立矢板東高等学校	天岩戸伝説が問いかける「秋月の乱」 「神宿る島」壱岐の信仰について～歴史的変遷と特異性～ 僕らのキュートな象嵌鍔 「決号作戦」下において篠栗町に設置された司令部と戦時中の篠栗町の調査 東洋ー！？大刀洗飛行場の謎にせまる！！ 密着！！女工・工女さんのカッポウ着とおやつ 双龍文環頭太刀柄頭の謎 養蚕信仰が現在の地域社会に与えている影響について 山田椿ノ尾遺跡における須恵器窯採集資料の検討 栃木県における猫神信仰	300人
7	8月12日	特別展「憧れの東洋陶磁―大阪市立東洋陶磁美術館の至宝」 リレー講座「これであなたもやきものツウ！」（第2回）	大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長代理　小林仁氏 大阪市立東洋陶磁美術館主任学芸員　鄭銀珍氏	88人
8	9月16日	きゅーはく☆とっておき講座 深堀り！高麗・朝鮮時代の仏教美術	学芸部文化財課資料登録室長　森實久美子	76人
9	10月28日	特別展「古代メキシコ―マヤ、アステカ、テオティワカン」 リレー講座 「もっと楽しもう!特別展『古代メキシコ ーマヤ、アステカ、テオティワカン』」	東京国立博物館学芸研究部長　河野ー隆 学芸部展示課主任研究員　小澤佳憲	146人
10	6年1月8日	きゅーはく☆とっておき講座 徳川美術館所蔵　国宝　初音の調度について	学芸部企画課特別展室長　川畑憲子	70人
11	6年2月3日	九州国立博物館「大宰府学研究」事業シンポジウム　大宰府と坂道を考える。 - つづら祈りの官道と古代の坂越え -	富山大学　鈴木景二 鳥取県教育文化財団　坂本嘉和 筑紫野市歴史博物館　小鹿野亮 展示課主任研究員　大高広和	140人
12	6年2月17日	特別展「生誕270年　長沢芦雪　若冲、応挙につづく天才画家」ギャラリートーク　「ろせつ入門！」	学芸部博物館科学課主任研究員　鷲頭桂	120人
13	6年3月9日	特別展「生誕271年　長沢芦雪　若冲、応挙につづく天才画家」ギャラリートーク　「ろせつ入門！」	学芸部博物館科学課主任研究員　鷲頭桂	80人
14	6年3月29日	特別展「生誕271年　長沢芦雪　若冲、応挙につづく天才画家」ギャラリートーク　「ろせつ入門！」	学芸部博物館科学課主任研究員　鷲頭桂	50人

3)　ミュージアムトーク　　28回　　参加者総数　798人

・担当研究員数　　延べ　　20人　　※うち夜間開催0人

・事業内容　文化交流展示室にて担当の研究員が作品に関する解説を行った。

（原則として第1、3、5火曜日の15時より15～30分間、夜のミュージアムトークは原則として第2、4土曜日の18時より15～30分間）

	開催日	テーマ	解説者	参加者数（人）
1	4月11日	はじめてのぶつぞう	学芸部企画課特別展室研究員　大澤信	36人
2	4月25日	沖ノ島から来た宝物たち	展示課主任研究員　大高広和	22人
3	5月2日	鏡の国をめぐる旅	学芸部長　白井克也	22人
4	5月16日	秋田蘭画ことはじめ（１）	学芸部文化財課主任研究員　畑靖紀	33人
5	5月30日	秋田蘭画ことはじめ（２）	学芸部博物館科学課主任研究員　文化財防災センター　鷲頭桂	35人
6	6月13日	古代のガラスのあれこれ	展示課長　齋部麻矢	22人
7	6月27日	古代東アジアの香炉　ー「新収品展」よりー	学芸部企画課文化交流展室長　川村佳男	29人
8	7月11日	影絵人形ワヤン・クリでみる猿の軍団と神の国	学芸部長　白井克也	25人
9	7月25日	文房四友	学芸部博物館科学課アソシエイトフェロー 瓜生翠	30人
10	8月1日	蝦夷地の北の世界	展示課主任研究員　ー瀬智	26人
11	8月15日	いろいろな閻魔さま	学芸部文化財課アソシエイトフェロー 折山桂子	30人
12	8月26日	獣の棲む鏡ー海獣葡萄鏡ー	展示課長　齋部麻矢	59人
13	8月29日	キリシタン資料の見方	学芸部文化財課研究員　松浦晃佑	36人
14	9月12日	大きな観音さま	学芸部文化財課資料登録室長　森實久美子	40人
15	9月26日	見くらべてみよう！古代の戸籍	展示課主任研究員　大高広和	25人
16	10月3日	高麗のぶつぞうのヒミツ	学芸部企画課特別展室研究員　大澤信	34人
17	10月17日	遼の染織品	学芸部企画課特別展室研究員　桑原有寿子	28人
18	10月31日	柿右衛門窯の染付磁器ー御用注文品の実態に迫る	学芸部企画課文化交流展室主任研究員　酒井田千明	31人
19	11月14日	窯と風炉	学芸部企画課特別展室主任研究員　望月規史	24人
20	11月28日	博物館の照明の明るさと期間はどうやって決まるの？	学芸部博物館科学課長　環境保全室長 木川りか	28人
21	12月12日	三彩物語	学芸部企画課文化交流展室長　川村佳男	19人
22	6年1月16日	国宝　初音の調度について	学芸部企画課特別展室長　川畑憲子	26人
23	6年1月30日	文化財に潜む虫を探すー文化財害虫の検出と対処法ー	学芸部博物館科学課環境保全室研究員　渡辺祐基	20人
24	6年2月10日	灰被天目（はいかつぎてんもく）と九州の茶陶について	学芸部企画課文化交流展室主任研究員　酒井田千明	24人
25	6年2月14日	曲水の宴ー伝説の飲み会	展示課主任研究員　大高広和	23人
26	6年2月27日	腹の虫がおさまらない！～室町・戦国時代の医学書～	学芸部博物館科学課アソシエイトフェロー 瓜生 翠	26人
27	6年3月12日	文化財を守るー文化財にとって快適な環境づくりー	学芸部博物館科学課アソシエイトフェロー 和泉田絢子	20人
28	6年3月26日	密教法具について	学芸部企画課長　伊藤信二	25人

4)　その他展示に関連するイベント

21回　　3,347人

	実施日	内容	会場	参加者数	備考
1	4月25日～5月28日	特集展示「秋田蘭画ことはじめ」秋田県パネル展示	エントランス	―	
2	5月5日	特集展示「秋田蘭画ことはじめ」秋田犬ふれあい処	屋外	―	
3	5月5日～7日	特集展示「秋田蘭画ことはじめ」東北3県物産展	エントランス	―	
4	6月3日	特別展「アール・ヌーヴォーのガラス ガレとドームの自然賛歌」関連　ミュージアムコンサート	ミュージアムホール	675人	
5	7月29日､30日	特別展「憧れの東洋陶磁 ― 大阪市立東洋陶磁美術館の至宝」有田陶芸協会、佐賀県陶芸協会販売会	エントランス	―	
6	8月11日	甕棺墓埋葬体験ワークショップ「やさしい日本語 de きゅーはく2023　王さまが死んだ！ 甕棺に入れよう」	ミュージアムホール	20人	
7	8月19日､20日	特別展「憧れの東洋陶磁 ― 大阪市立東洋陶磁美術館の至宝」高取焼販売会	エントランス	―	
8	8月20日	特別展「憧れの東洋陶磁」関連「ねんドル岡田ひとみ」さんのトークライブ&ねんど教室	ミュージアムホール/研修室	290人	
9	8月22日～9月3日	特別展「憧れの東洋陶磁 ― 大阪市立東洋陶磁美術館の至宝」波佐見焼販売会	エントランス	―	
10	10月3日～11月19日	特別展「古代メキシコ ーマヤ、アステカ、テオティワカン」メキシコ祭壇「オフレンダ」展示	エントランスカフェ前	―	
11	10月22日	特別展「古代メキシコ ーマヤ、アステカ、テオティワカン」関連 死者の日フェスタViva! Mexico!「ビバ！メヒコ！」コンサート	ミュージアムホール	430人	1回目230 2回目200
12	11月3日	特別展「古代メキシコ ーマヤ、アステカ、テオティワカン」関連 死者の日フェスタ　あんみつ姫ステージ	ミュージアムホール	530人	1回目280 2回目250

13	11月4日	特別展「古代メキシコ ーマヤ、アステカ、テオティワカン」関連 死者の日フェスタ　マーチングバンド演奏会	屋外	200人	
14	11月4日､5日	特別展「古代メキシコ ーマヤ、アステカ、テオティワカン」関連 死者の日フェスタ　お面・ピニャータワークショップ	エントランス	554人	ピニャータ154 お面400
15	11月11日	文化交流展関連イベント　衣装体験イベント　「古代人に変身！」	ミュージアムホール	70人	
16	11月15日	特別展「古代メキシコ ーマヤ、アステカ、テオティワカン」関連 トレン・ウイカニ＆今村夏海コンサート	ミュージアムホール	290人	1回目200 2回目90
17	11月19日	みんなdeきゅーはくを楽しもう‼　「模型de博物館たんけん隊」	文化交流展示室	22人	
18	11月23日	みんなdeきゅーはくを楽しもう‼　「視覚障がい者向けガムランワークショップ」	ミュージアムホール	12人	（同伴者を含む）
19	12月2日	ワークショップ　かりかりスクレイプ「～掻落しに挑戦！～」	研修室	40人	
20	6年1月20日	ワークショップ　かりかりスクレイプ「～掻落しに挑戦！～」	研修室	41人	
21	6年2月11日	特別展「生誕270年　長沢芦雪 - 若冲、応挙につづく天才画家 - 」三遊亭わん丈寄席	ミュージアムホール	173人	

【皇居三の丸尚蔵館】

1)特別講演会　　1回　　140人

	開催日	事業名称等	講師	参加者数	備考
1	11月23日	特別講演会「三の丸尚蔵館の過去・現在・未来」 石川県立美術館ホール	副館長　朝賀浩	140人	石川県立美術館・国立工芸館における地方展開展（10月14日～ 11月26日）の関連イベントとして実施。

2)　ギャラリートーク　　4回　　参加者総数　302人

・担当研究員数　　延べ　　20人　　※うち夜間開催0人

・事業内容　展示室にて担当の研究員が作品に関する解説を行った。

	開催日	テーマ	解説者	参加者数（人）
1	11月7日	開館記念展「皇室のみやびー受け継ぐ美ー」及び「天皇皇后両陛下が歩まれた３０年」Ｇ７向けプログラム	学芸部展示・普及課長　戸田浩之、学芸部管理・情報課長　五味聖	23人
2	6年2月6日	三の丸尚蔵館の貸切鑑賞（Tokyo Art Experience Tour）	学芸部調査・保存課長　高梨真行、学芸部展示・普及課主任研究員　岡本隆志	7人
3	6年3月20日	開館記念展「皇室のみやびー受け継ぐ美ー」第３期「近世の御所を飾った品々」ギャラリートーク（午前）	学芸部調査・保存課長　高梨真行	132人
4	6年3月20日	開館記念展「皇室のみやびー受け継ぐ美ー」第３期「近世の御所を飾った品々」ギャラリートーク（午後）	学芸部調査・保存課長　高梨真行	140人

3)　その他展示に関連するイベント

4回　　81人

	実施日	内容	会場	参加者数	備考
1	11月18日、19日	ワークショップ「みんなでつくろう！扇面散屏風」	石川県立美術館	11人	石川県立美術館・国立工芸館における地方展開展（10月14日～ 11月26日）の関連イベントとして実施。
2	12月11日	幼稚園児向けスクールプログラム	皇居三の丸尚蔵館展示室１・２	70人	同日２回開催

1-(3)-①-3 児童生徒を対象とした教育普及事業

	東京国立博物館		京都国立博物館		奈良国立博物館		九州国立博物館		皇居三の丸尚蔵館	
回数・人数 ※1 ※2	**回数計**	**1,308回**	**回数計**	**17回**	**回数計**	**1,616回**	**回数計**	**429回**	**回数計**	**4回**
	参加者計	**91,181人**	**参加者計**	**35,933人**	**参加者計**	**31,751人**	**参加者計**	**8,336人**	**参加者計**	**81人**
	体験型プログラム等	1,088回 79,093人	体験型プログラム等	2回 34,983人	体験型プログラム等	1,553回 28,407人	体験型プログラム等	327回 1,826人	体験型プログラム等	2回 11人
	学校との連携事業	220回 12,088人	学校との連携事業	15回 950人	学校との連携事業	63回 3,344人	学校との連携事業	102回 6,510人	学校との連携事業	2回 70人
	児童生徒を対象とした刊行物	6件 204,178部	児童生徒を対象とした刊行物	3件 93,140部	児童生徒を対象とした刊行物	6件 262,746部	児童生徒を対象とした刊行物	1件 3,000部	児童生徒を対象とした刊行物	1件 2,000部
	児童生徒を対象とした音声ガイド	— —	児童生徒を対象とした音声ガイド	1件 495台	児童生徒を対象とした音声ガイド	1件 —	児童生徒を対象とした音声ガイド	— —	児童生徒を対象とした音声ガイド	— —

※1ー定期間通して実施した事業については、期間の日数＝回数としてカウントする

※2実施事業のうち、参加者数をカウントしていない、又は当該事業を実施した建物の入館者数のみ把握しているものについては、合計値に参加者数を計上していない。（実施回数は計上している。）

【東京国立博物館】

1)体験型プログラム等　　1,088回　　79,093人

①ハンズオン展示等

927回　　1,345人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	通年	東洋館オアシス6室「アジアの占い体験」	東洋館6室	308回	—	通年で開催。数値は4月1日～12月末の開室日。参加者のカウントなし。
2	通年	本館19室みどりのライオン体験コーナー	本館19室	308回	—	通年で開催。参加者のカウントなし。工程見本展示は「紅型のできるまで」（～9/10）、「押出仏ができるまで」（9/12～）
3	通年	日本文化のひろば	本館特別4室	308回	—	通年開催。参加者のカウントなし。
4	7月30日、9月23日、2月23日	キッズスペース	本館地下教育普及スペース	3回	1,345人	トーハクキッズデー関連イベントとして実施。（7月314人、9月353人）

②ワークショップ

78回　　6,003人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	4月29日、4月30日	ファミリーワークショップ「おどし体験！」	本館地下みどりのライオン	4回	32人	1日2回実施。4月29日：8人、9人、4月30日：9人、6人
2	5月13日、5月14日	ファミリーワークショップ「からだが動くエビをつくってみよう！」	本館地下みどりのライオン	2回	30人	5月13日15人、5月14日15人
3	5月28日、7月30日（2回）、8月27日、9月24日、10月22日、1月28日、2月25日	アートスタジオ「子どもの勾玉づくり」	本館地下みどりのライオン	8回	257人	ボランティアのグループ「アートスタジオ」による定例ワークショップ（5月16人、7月49人、9月19人、10月22人1月10人、2月11人）
4	7月23日、8月6日	ファミリーワークショップ「伝統もようのお皿づくり」	本館地下みどりのライオン、本館展示室	4回	55人	1日2回実施。7月23日：15人、13人、8月6日：13人、14人
5	9月23日、2月23日	考古展示室でさがしてみよう　みてみよう　さわってみよう	平成館考古展示室	2回	356人	トーハクキッズデー関連ボランティアイベント（9月160人、2月196人）
6	7月30日、9月23日、2月23日	手遊び＆散策「ユリノキからたんけん！」	構内	3回	137人	トーハクキッズデー関連ボランティアイベント（7月26人、9月58人、2月53人）
7	7月30日、9月23日、2月23日	東洋館でさがしてみよう！	東洋館	3回	485人	トーハクキッズデー関連ボランティアイベント（7月145人、9月128人、2月212人）
8	7月30日、9月23日、2月23日	法隆寺の「たからもの」をさがしに行こう！	法隆寺宝物館	3回	297人	トーハクキッズデー関連ボランティアイベント（7月19人、9月83人、2月195人）
9	7月30日、9月24日、2月23日	こどもたてものさんぽツアー　～たんけんマップをもって～	構内	6回	378人	トーハクキッズデー関連ボランティアイベント（1日2回実施、7月84人、9月165人、2月129人）
10	7月30日	研究員のギャラリートーク「いろいろなハニワをみてみよう」	平成館考古展示室	2回	125人	トーハクキッズデー関連。1日2回実施。1回目54人、2回目71人
11	7月30日	研究員のギャラリートーク「青いやきものと色のついたやきもの」	本館14室	2回	70人	トーハクキッズデー関連。1日2回実施。1回目41人、2回目29人
12	7月30日	研究員のギャラリートーク「じっくりみてみよう」	本館18室	2回	96人	トーハクキッズデー関連。1日2回実施。1回目55人、2回目41人

13	7月30日	研究員のギャラリートーク「石で作った大きなぶつぞう」	東洋館1室	1回	84人	トーハクキッズデー関連
14	7月30日	研究員のギャラリートーク「ほとけさまの絵のおはなし」	法隆寺宝物館第6室	1回	47人	トーハクキッズデー関連
15	7月30日・9月23日	感覚ゲームで遊んでみよう	東洋館ラウンジ	2回	299人	トーハクキッズデー関連。1日2回開催。7月1回目56人、2回目36人。9月1回目69日、2回目138人
16	7月30日・9月23日	センサリーツアー	東洋館・平成館	2回	73人	7月28日、9月45人
17	8月27日	アートスタジオ「親子で楽しむ勾玉づくり」	本館地下みどりのライオン	1回	16人	ボランティアのグループ「アートスタジオ」による定例ワークショップ
18	9月23日	研究員のギャラリートーク「じっくりみてみよう（毘沙門天）」	本館1室	2回	136人	トーハクキッズデー関連。1日2回開催。1回目50人、2回目86人
19	9月23日	アジアの旅ぬりえ	本館19室	1回	251人	トーハクキッズデー関連
20	9月23日	紙芝居「ぶんぶく茶がま」	本館14室	4回	217人	トーハクキッズデー関連。一日4回開催。1回目61人、2回目43人、3回目68人、4回目45人
21	9月23日、2月23日	キッズ18室へ、これなーんだ？　～ヒントをもとに作品を見つけよう！～	本館18室	2回	400人	トーハクキッズデー関連ボランティアイベント(9月200人、2月200人)
22	9月23日、2月23日	アートスタジオ「こどもの根付づくり」	本館地下みどりのライオン	2回	76人	トーハクキッズデー関連ボランティアイベント(9月23人、2月53人)
23	12月17日、3月24日	アートスタジオ「親子で楽しむ根付づくり」	本館地下みどりのライオン	2回	38人	ボランティアのグループ「アートスタジオ」による定例ワークショップ(12月22人、3月16人)
24	2月21日～23日	ぬりえ　仏さまをかざるものたち	本館19室	3回	928人	キッズデー関連を含む。21日138人、22日142人、23日648人。親と子のギャラリー「中尊寺のかざり」関連ワークショップ
25	2月23日	研究員のギャラリートーク「じっくり見てみよう（仏さまのかざり）」	本館特別2室	4回	200人	キッズデー関連を含む、親と子のギャラリー「中尊寺のかざり」関連ギャラリートーク。1日4回開催。A金色のかざりBにじいろのかざり
26	2月23日	アイヌ文化を伝える紙芝居「ヤイコシラムスイパ　ハニ（じっくり考えてみよう）」	本館16室	4回	264人	トーハクキッズデー関連。詠み手：公益財団法人アイヌ民族文化財団 秋山里架氏、1日4回開催。
27	2月23日	センサリーマップを作ってみよう	本館地下みどりのライオンほか	1回	16人	トーハクキッズデー関連。
28	2月23日	親子でお茶室たいけん	九条館	2回	33人	トーハクキッズデー関連。1日2回開催。
29	3月22日～24日	春らんまん　桜ぬりえ	本館19室	3回	607人	「博物館でお花見を」関連

③その他の体験型プログラム

9回　　1,545人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	7月30日、9月23日、2月23日	うるし体験ペーパークラフトサービス	本館特別4室	3回	965人	トーハクキッズデー関連イベント(7月330人、9月309人、2月326人)
2	7月30日	プラノサウルス「スタンプラリー組立体験会」	平成館ガイダンスルーム	1回	580人	BANDAI SPIRITS主催。
3	2月23日	中尊寺展関連ワークショップ(缶バッジ制作、金の比重体験他)	本館地下みどりのライオン	1回	—	中尊寺・平泉市関連事業
4	2月23日	平泉市キャラクター「きよひらくん」グリーティング	本館地下みどりのライオン	4回	—	中尊寺・平泉市関連事業

④児童生徒を対象とした展示

70回　　69,189人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	4月25日～6月4日	「親と子のギャラリー　尾・しっぽ」	平成館企画展示室	35回	—	東京都恩賜上野公園、国立科学博物館、東京国立博物館連携企画「上野の山で動物めぐり」。回数は開催日数。参加者の計測はなし。
2	1月23日～3月3日	「親と子のギャラリー　中尊寺のかざり」	本館特別2室	35回	69,189人	特別展「中尊寺金色堂」関連展示。令和5年度日本博2.0事業（委託型）。回数は開催日。

⑤児童生徒を対象とした鑑賞会

4回　　1,011人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	7月30日、2月23日	大笑い！落語の世界～寄せ文化を知って楽しもう～（落語体験ワークショップ）	平成館大講堂	4回	1,011人	トーハクキッズデー関連イベント、1日2回公演①落語体験ワークショップ、②落語会（7月①183人、②238人、2月①233人、②357人）

2)学校との連携事業　　220回　　12,088人

①スクールプログラム、来館学校団体等への対応

204回　　11,890人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	通年	スクールプログラム	本館地下みどりのライオン・平成館大講堂ほか	200回	11,876人	
2	通年	盲学校のためのスクールプログラム	本館地下みどりのライオン、本館展示室	4回	14人	

②出前授業等　　― 回　　― 人

③職場体験

10回　　34人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	通年	職場体験の受け入れ	本館及び東洋館展示室など	10回	34人	10校、のべ31日

④教員を対象とした研修　　3回　　99人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	8月4日	教員研修「日本のやきもの」	本館地下みどりのライオン	1回	35人	第一部：・陶磁担当研究員による解説「初期伊万里の粋−染付から初期色絵まで」 ・お皿づくりのワークショップの報告等 第二部：お皿づくりのワークショップ体験
2	8月10日	教員研修「伝統模様のお皿づくり」	本館地下みどりのライオン	1回	30人	過去のお皿づくりのワークショップの報告およびワークショップの体験 お皿づくりのワークショップ体験
3	2月2日	教員研修「中尊寺金色堂とそのかざり」	本館地下みどりのライオン、本館特別2室、特別5室	1回	34人	特別展「中尊寺金色堂」、親と子のギャラリー「中尊寺のかざり」関連事業

⑤その他の学校、社会教育関係団体、国内外の博物館等との連携協力に基づいた事業

3回　　65人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	6月15日	人間文化機構	本館地下みどりのライオン	1回	7人	盲学校のためのスクールプログラム体験による研修
2	10月5日	関東甲信越地区盲学校PTA連合会	本館地下みどりのライオン、本館展示室	1回	50人	盲学校のためのスクールプログラム体験による研修
3	11月9日	国立障害者リハビリテーションセンター	本館地下みどりのライオン、本館展示室	1回	8人	盲学校のためのスクールプログラム実施

3)児童生徒を対象とした刊行物、音声ガイドの制作

①刊行物　　6件　　204,178部 ＊トーハク記念アルバムとコレクションカードの合計含む

	名　称	発行部数	備　考
1	トーハクキッズデー「ギャラリートークデビューカード」	200部	プレゼント引き換え69部
2	「親と子のギャラリー　尾・しっぽ」パンフレット	3,000部	平成館企画展示室にて配布
3	「親と子のギャラリー　中尊寺のかざり」リーフレット（日・英・中・韓国語）	44,000部	本館特別2室にて配布、PDF公開。日本語30000部、英語10000部、中国語2000部、韓国語2000部
4	ジュニアガイド「特別展　東福寺」	49,736部	
5	ジュニアガイド「遠く別転　古代メキシコーマヤ、アステカ、テオティワカン」	47,323部	
6	ジュニアガイド「特別展 やまと絵ー受け継がれる王朝の美ー」	59,919部	

②音声ガイド　　― 件　　― 台

③その他メディア　　― 件　　― 台

【京都国立博物館】

1)体験型プログラム等　　2回　　34,983人

①ハンズオン展示等

1回　　－

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	6年1月10日～3月24日	さわって発見！ミュージアム・カート！	京都国立博物館　平成知新館	1回	－	参加者のカウントなし

②ワークショップ

― 回　　― 人

③その他の体験型プログラム

― 回　　― 人

④児童生徒を対象とした展示

1回　　34,983人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	6年1月2日～2月12日	新春特集展示「辰づくし―干支を愛でる―」	京都国立博物館　平成知新館	1回	34,983人	参加者は当該期間の入館者数

⑤児童生徒を対象とした鑑賞会

― 回　　― 人

2)学校との連携事業　　15回　　950人

①スクールプログラム、来館学校団体等への対応

3回　　123人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	5月9日	京都市立美術工芸高校　1年生	京都国立博物館	1回	94人	「博物館の社会的役割」についての解説・特別展「親鸞―生涯と名宝」見学にかかる基礎的な解説 解説：水谷亜希（主任研究員）
2	5月11日	大阪府立咲くやこの花中学校　3年生	京都国立博物館	1回	20人	「博物館の社会的役割」についての解説・特別展「親鸞―生涯と名宝」見学にかかる基礎的な解説 解説：水谷亜希（主任研究員）
3	11月30日	京都市立近衛中学校　1年生	京都国立博物館	1回	9人	博物館の仕事についての解説 解説：水谷亜希（主任研究員）

②出前授業等

7回　　542人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	6月21日	文化財に親しむ授業 京都市立北醍醐小学校　5年生	京都市立北醍醐小学校	1回	23人	教材：俵屋宗達筆「風神雷神図屏風」（複製）、講師：文化財ソムリエ
2	7月19日	文化財に親しむ授業 京都市立祥栄小学校　5年生	京都市立祥栄小学校	1回	40人	教材：尾形光琳筆「八橋図屏風」（複製）、講師：文化財ソムリエ
3	9月12日	文化財に親しむ授業 京都市立修学院中学校　3年生	京都市立修学院中学校	1回	217人	教材：尾形光琳筆「八橋図屏風」（複製）、講師：文化財ソムリエ
4	10月3日	文化財に親しむ授業 京都市立松尾小学校　6年生	京都市立松尾小学校	1回	102人	教材：雪舟筆「天橋立図」（複製）、講師：文化財ソムリエ
5	10月24日	文化財に親しむ授業 京都市立西京極小学校　6年生	京都市立西京極小学校	1回	96人	教材：俵屋宗達筆「風神雷神図屏風」（複製）、講師：文化財ソムリエ
6	11月15日	文化財に親しむ授業 京都市立向島藤の木小学校　5,6年生	京都市立向島藤の木小学校	1回	47人	教材：俵屋宗達筆「風神雷神図屏風」（複製）、講師：文化財ソムリエ
7	12月13日	文化財に親しむ授業 京都市立養正小学校　6年生	京都市立養正小学校	1回	17人	教材：俵屋宗達筆「風神雷神図屏風」（複製）、講師：文化財ソムリエ

③職場体験

1回　　2人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	6年1月17日、18日、19日	京都市立東山泉中学校 生き方探求・チャレンジ体験	京都国立博物館	1回	2人	

④教員を対象とした研修

1回　　77人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	8月22日	社会科教員のための向上講座（（小・総）社会科授業実践力向上講座、（中・高・総）社会科教員指導力向上講座）	京都国立博物館	1回	77人	講義「特集展示<茶の湯の道具 茶碗> 茶碗を楽しむ」降矢哲男（学芸部調査・連携協力室長）ほか 主催：京都市教育委員会、京都国立博物館、京都市小学校社会科教育研究会、京都市立中学校教育研究会社会科部会、京都市立高等学校社会科研究会

⑤その他の学校、社会教育関係団体、国内外の博物館等との連携協力に基づいた事業

3回　　206人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	10月16日	京都市立八瀬小学校　6年生 鑑賞の授業	京都市立八瀬小学校	1回	4人	複製（俵屋宗達筆「風神雷神図屏風」）を活用した授業への助言・当日の補助を行った
2	10月25日	京都市立大塚小学校　6年生 鑑賞の授業	京都市立大塚小学校	1回	87人	複製（雪舟筆「四季花鳥図屏風」）を活用した授業への助言・当日の補助を行った
3	6年1月15日	京都市立四条中学校　1年生 鑑賞の授業	京都市立四条中学校	1回	115人	複製（俵屋宗達筆「風神雷神図屏風」）を活用した授業への助言・当日の補助を行った

3)児童生徒を対象とした刊行物、音声ガイドの制作

①刊行物

3件　　93,140部

	名　　称	発行部数	備　　考
1	特別展「東福寺」関連鑑賞ガイド 「特別展　東福寺　はじめてガイド」	（日）　37,000部 （英）　6,700部 （中）　4,590部 （韓）　1,450部	9月発行。観覧者（子ども～大人）対象。4言語で作成し、ウェブサイトにも掲載。
2	博物館Dictionary No.229,230,231,232,233,234	No.229 2,700部 No.230 9,500部 No.231 2,000部 No.232 5,000部 No.233 4,200部 No.234 6,000部	6月、7月、6年1月、2月発行。観覧者（子ども～大人）対象。ウェブサイトにも掲載。
3	新春特集展示「辰づくし―干支を愛でる―」関連ワークシート「さがしてみよう！こんなりゅう」	（日・英） 11,000部 （中・韓） 3,000部	6年1月発行。観覧者（6歳以上～）対象。

②音声ガイド　　1件　　495台

	名　　称	台数	備　　考
1	名品ギャラリー ジュニア版音声ガイド（日本語・英語・中国語・韓国語）	495台	各言語につき、作品解説など26本作成。利用台数495台。

③その他メディア　　5件

	名　　称	発行部数	備　　考
1	虎ブログ	―	公式キャラクター「トラりん」のブログを活用し、展覧会やイベント等について親しみやすく紹介。
2	トラりんX（旧Twitter）	―	公式キャラクター「トラりん」のX（旧Twitter）を活用し、展覧会やイベント等について親しみやすく紹介。
3	トラりんFacebook	―	公式キャラクター「トラりん」のFacebookを活用し、展覧会やイベント等について親しみやすく紹介。
4	トラりんYouTube	―	公式キャラクター「トラりん」のYouTubeを活用し、展覧会やイベント等について親しみやすく紹介。
5	京博Instagram	―	京都国立博物館のInstagramを活用し、公式キャラクター「トラりん」も投稿に登場し、展覧会やイベント等について親しみやすく紹介。

【奈良国立博物館】

1)体験型プログラム等　　1,553回　　28,407人

①ハンズオン展示等　　344回　　2,747人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	通年	さわって！発見！仏像の木	ならはく教育普及スペース「ちえひろば」	267回	-人	※5/16以降開始、とくべつワークショップ開催日以外の開館日毎日実施 ※参加者数カウントなし
2	5月4日、5月14日、6月11日、7月9日、8月13日、9月10日、10月8日、11月2日、11月9日、11月12日、12月10日、1月14日、学校プログラムの開催日	「阿弥陀如来立像（裸形）」のレプリカのハンズオン展示	ならはく教育普及スペース「ちえひろば」	62回	1,344人	※回数：展示日数 ※参加者数：着つけ体験の参加者数
3	5月5日、5月28日、6月25日、7月23日、8月11日、8月27日、9月24日、10月22日、10月30日、11月4日、11月26日、12月24日、1月28日、2月25日、3月24日	国宝「辟邪絵」ならびに国宝「地獄草紙」の絵巻レプリカのハンズオン展示	ならはく教育普及スペース「ちえひろば」	15回	1,403人	※回数：展示日数 ※参加者数：絵巻レプリカに触れる体験の参加者数

②ワークショップ

611回　　25,541人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	見学・参加者数	備　考
1	通年	仏像＆ならはくミニクイズ！	ならはく教育普及スペース「ちえひろば」	267回	15,421人	※5/16以降開始、とくべつワークショップ開催日以外の開館日毎日実施
2	通年	ならはく５・７・５をつくろう！	ならはく教育普及スペース「ちえひろば」	267回	860人	※5/16以降開始、とくべつワークショップ開催日以外の開館日毎日実施

3	5月4日、5月14日、6月11日、7月9日、8月13日、9月10日、10月8日、11月2日、11月9日、11月12日、12月10日、1月14日、2月11日、3月10日	とくべつワークショップ「ほとけさまに服を着せよう！」	ならはく教育普及普及スペース「ちえひろば」	14回	見学者数：1,480人 着つけ体験参加者数：726人	※基本毎月第二日曜に開催 ※回数：実施日数
4	通年	学校プログラム向け とくべつワークショップ「ほとけさまに服を着せよう！」	ならはく教育普及普及スペース「ちえひろば」	46回	見学者数：2,987人 着つけ体験参加者数：618人	※学校プログラム参加者対象に実施 ※回数：学校プログラム受け入れ校数
5	5月5日、5月28日、6月25日、7月23日、8月11日、8月27日、9月24日、10月22日、10月30日、11月4日、11月26日、12月24日、1月28日、2月25日、3月24日	とくべつワークショップ「絵巻物をみて！きいて！さわろう！」	ならはく教育普及普及スペース「ちえひろば」	15回	絵巻芝居の見学者数：2,008人 絵巻レプリカに触れる体験への参加者数：1,403人	※基本毎月第四日曜に開催 ※回数：実施日数
6	8月12日	特別展「聖地　南山城」親子向けワークショップ「飛び出すほとけさま！サプライズボックスをつくろう～あけてひろがる！薬師の世界～」	地下回廊	2回	38人	※奈良教育大学大学院との連携事業 ※特別展「聖地 南山城」関連事業

③その他の体験型プログラム　　― 回　　― 人

④児童生徒を対象とした展示　　595回　　人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	通年	地下回廊の仏像模型コーナーの子ども向け題箋の設置	地下回廊	273回	-人	地下回廊にある仏像模型コーナーに、子ども向け題箋6点を設置 ※回数：展示日数
2	通年	なら仏像館の子ども向け題箋の設置	なら仏像館	273回	-人	なら仏像館に子ども向け題箋17点を設置 ※回数：展示日数
3	7月8日～9月3日	特別展「聖地　南山城」の子ども向け題箋・パネルの設置	新館	49回	-人	特別展会場内に子ども向け題箋17点、子ども向け解説パネルを7点設置 ※回数：会期中の開館日数

⑤児童生徒を対象とした鑑賞会　　3回　　119人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	7月27日・7月28日	夏休み親子講座「親子で学ぼう 奈良の仏像」	講堂・ならはく教育普及スペース「ちえひろば」・なら仏像館	2回	110人	奈良市教育委員会共催事業
2	8月1日	夏休みファミリー新聞教室 in 奈良	講堂・ならはく教育普及スペース「ちえひろば」・なら仏像館	1回	9人	読売新聞主催、当館協力事業

2)学校との連携事業　　63回　　3,344人

①スクールプログラム、来館学校団体等への対応

54回　　2,956人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
学校プログラム「ならはく『世界遺産学習』」の実施校						
1	5月9日	堺市立はるみ小学校6年生	地下回廊・なら仏像館	1回	55人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
2	5月19日	奈良県立高円芸術高等学校1年生	地下回廊・なら仏像館	1回	70人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
3	5月19日	枚方市立東香里小学校6年生	地下回廊・なら仏像館	1回	48人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
4	5月24日	YMCA学院高等学校1～3年生	地下回廊・なら仏像館	1回	8人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
5	5月25日	島本町立第四小学校6年生	地下回廊・なら仏像館	1回	111人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
6	6月6日	堺市立竹城台小学校5・6年生	地下回廊・なら仏像館	1回	71人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
7	6月7日	箕面市立萱野東小学校6年生	地下回廊・なら仏像館	1回	116人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
8	6月13日	奈良市立富雄南小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	85人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
9	6月16日	奈良市立東市小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	34人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
10	6月20日	奈良市立朱雀小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	45人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
11	6月21日	奈良女子大学附属中等教育学校高校2年生	地下回廊・なら仏像館	1回	8人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
12	6月23日	奈良市立平城西小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	57人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
13	6月29日	奈良市立佐保小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	71人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館

14	6月30日	奈良市立大安寺小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	59人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
15	7月7日	奈良市立佐保川小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	67人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
16	9月14日	奈良市立大宮小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	82人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
17	9月15日	奈良市立済美小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	74人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
18	9月27日	奈良県立郡山高等学校1年生9組	地下回廊・なら仏像館	1回	41人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
19	9月27日	奈良県立郡山高等学校1年生4組	地下回廊・なら仏像館	1回	40人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
20	9月28日	奈良市立帯解小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	16人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
21	9月28日	ヴェリタス城星学園中学校3年生	地下回廊・なら仏像館	1回	16人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
22	9月29日	奈良市立伏見小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	130人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
23	10月17日	奈良教育大学附属中学校1・2年生	地下回廊・なら仏像館	1回	40人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
24	10月18日	明治学園高等学校1年1・2組	地下回廊・なら仏像館	1回	76人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
25	10月18日	明治学園高等学校1年3・4組	地下回廊・なら仏像館	1回	76人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
26	10月27日	島根県邑南町立石見中学校2年生	地下回廊・なら仏像館	1回	37人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
27	11月16日	奈良市立大安寺西小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	81人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
28	11月17日	奈良市立鶴舞小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	57人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
29	11月21日	奈良市立月ヶ瀬小中学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	12人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
30	11月22日	奈良市立田原小中学校5年生・京都市立大原小中学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	18人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
31	11月22日	奈良市立青和小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	90人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
32	11月24日	奈良市立三碓小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	100人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
33	11月24日	奈良市立興東・柳生小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	8人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
34	11月24日	奈良市立明治小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	60人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
35	11月28日	奈良市立鼓阪北小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	10人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
36	11月29日	奈良市立椿井小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	42人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
37	11月30日	奈良市立二名小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	62人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
38	12月1日	奈良市立登美ヶ丘小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	94人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
39	12月8日	奈良市立富雄第三小中学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	54人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
40	12月8日	奈良市立鳥見小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	66人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
41	12月15日	宝塚市立売布小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	93人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
42	6年1月11日	奈良市立富雄北小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	91人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
43	6年1月18日	奈良市立ならやま小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	64人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
44	6年1月18日	奈良市立あやめ池小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	78人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
45	6年1月19日	奈良市立左京小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	59人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
46	6年1月25日	奈良市立平城小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	74人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館

学校団体等の児童・生徒を対象にしたオンライン中継プログラムの実施						
47	12月4日	遠隔操作ロボットを活用した展示案内プログラム（対象：中津市立本耶馬渓中学校1～3年生）	中津市立本耶馬渓中学校・なら仏像館	2回	46人	大分県商工観光労働部先端技術挑戦室課との連携事業
48	12月11日	遠隔操作ロボットを活用した展示案内プログラム（対象：佐伯市立本匠中学校1～3年生および地域住民）	佐伯市立本匠中学校・なら仏像館	1回	10人	大分県商工観光労働部先端技術挑戦室課との連携事業
49	6年1月15日	オンラインシステムGoogle Meetを活用した展示案内プログラム（対象：奈良市立伏見南小学校5年生）	奈良市立伏見南小学校5年生・なら仏像館	2回	72人	奈良市教育委員会との連携事業
50	6年1月29日	オンラインシステムGoogle Meetを活用した展示案内プログラム（対象：奈良市立都跡小学校5年生）	奈良市立都跡小学校5年生・なら仏像館	3回	82人	奈良市教育委員会との連携事業

②出前授業等　　2回　　128人

1	6月26日	特別展「聖地 南山城」スペシャル出前授業	木津川市立加茂小学校	1回	88人	木津川市立加茂小学校・南加茂小学校・恭仁小学校の3校を対象に実施
2	9月21日	奈良教育大学附属中学校のフィールドワーク授業「ならめぐり」の事前授業	奈良教育大学附属中学校	1回	40人	

③職場体験　　2回　　11人

1	11月16日・11月17日	奈良県立青翔中学校2年生	講堂・ならはく教育普及スペース「ちえひろば」・なら仏像館	1回	6人	
2	12月6日・12月7日・12月8日	奈良市立若草中学校2年生	講堂・ならはく教育普及スペース「ちえひろば」・なら仏像館	1回	5人	

④教員を対象とした研修　　2回　　80人

1	8月8日	奈良市立小中学校教員向け研修	講堂・ならはく教育普及スペース「ちえひろば」・なら仏像館	1回	20人	※奈良市教育委員会との連携事業
2	8月17日	木津川市立小中学校教員向け研修	講堂・新館	1回	60人	※木津川市立教育委員会との連携事業 ※特別展「聖地 南山城」関連事業

⑤その他の学校、社会教育関係団体、国内外の博物館等との連携協力に基づいた事業

3回　　169人

1	7月31日	オンライン子ども大学「こどハピ」	参加者の各自宅・なら仏像館	1回	110人	株式会社シンシアージュとの連携事業で、全国の参加希望児童・生徒を対象にオンライン中継プログラムを実施
2	8月18日	奈良教育大学附属中学校美術部1～3年生による教育普及プログラムの調査実施	ならはく教育普及スペース「ちえひろば」・なら仏像館・新館	1回	10人	奈良教育大学附属中学校美術部との連携事業
3	6年2月19日	オンライン子ども大学「こどハピ」	参加者の各自宅・なら仏像館	1回	49人	株式会社シンシアージュとの連携事業で、全国の参加希望児童・生徒を対象にオンライン中継プログラムを実施

3)児童生徒を対象とした刊行物、音声ガイドの制作

①刊行物　　6件　　262,746部

	名　称	発行部数	備　考
1	特別展「聖地　南山城」ワークシート『奈良国立博物館　特別展［聖地 南山城］鑑賞ワークシート～南山城の宝物に親しもう！～』	50,000部	7月発行。観覧者（子ども～大人）対象。特別展会場にて配布。また、PDFデータを当館ウェブサイト内にある教育普及ウェブサイト「ならはく教育普及室」にて公開した。
2	仏像をもっと楽しむ鑑賞ガイド「かたちで見分ける！仏像4つのグループ」日本語版	80,000部	11月発行。観覧者（子ども～大人）対象。なら仏像館にて配布。また、PDFデータを当館ウェブサイト内にある教育普及ウェブサイト「ならはく教育普及室」にて公開した。
3	仏像をもっと楽しむ鑑賞ガイド「かたちで見分ける！仏像4つのグループ」英語版	50,000部	12月発行。観覧者（子ども～大人）対象。なら仏像館にて配布。また、PDFデータを当館ウェブサイト内にある教育普及ウェブサイト「ならはく教育普及室」にて公開した。
4	仏像をもっと楽しむ鑑賞ガイド「かたちで見分ける！仏像4つのグループ」中国語版	50,000部	12月発行。観覧者（子ども～大人）対象。なら仏像館にて配布。また、PDFデータを当館ウェブサイト内にある教育普及ウェブサイト「ならはく教育普及室」にて公開した。
5	仏像をもっと楽しむ鑑賞ガイド「かたちで見分ける！仏像4つのグループ」韓国語版	30,000部	12月発行。観覧者（子ども～大人）対象。なら仏像館にて配布。また、PDFデータを当館ウェブサイト内にある教育普及ウェブサイト「ならはく教育普及室」にて公開した。
6	なら仏像館クイズ＆ミッションシート、解答解説シート	2,746部	学校プログラム ならはく「世界遺産学習」の現地学習の際に配布する教材。

②音声ガイド　　1件　　―

	名　称	制作件数	備　考
1	なら仏像館こども音声ガイド（日本語・英語）	―	なら仏像館こども音声ガイドについて、日本語版・英語版それぞれ15件のコンテンツ、計25台新規に作成した。運用の開始予定は6年度以降を予定。

③その他メディア　　2件

	名　称	件数	備　考
1	動画「ならはく世界遺産学習」	1件	学校プログラム ならはく世界遺産学習の事前学習教材として、当館の案内動画をYouTube上で公開した。
2	学校プログラムの事前学習シート「仏像ちょこっとクイズ」	1件	PDFにし、学校プログラムで来館する各学校に提供した。

【九州国立博物館】

1)体験型プログラム等　　327回　　1,826人

①ハンズオン展示（あじっぱ・あじ庵・あじぎゃら）等

311回

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	4月1日～3月31日	おうちdeあじっぱ	あじっぱ	311回	―	展示日数

②ワークショップ　　5回　　171人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	8月11日	甕棺墓埋葬体験ワークショップ「やさしい日本語 de きゅーはく2023　王さまが死んだ！ 甕棺に入れよう」	ミュージアムホール	2回	20人	
2	11月11日	文化交流展関連イベント「衣装体験イベント　「古代人に変身！」	ミュージアムホール	1回	70人	
3	12月2日	ワークショップ かりかりスクレイプ「～掻落しに挑戦！～」	研修室	1回	40人	
4	1月20日	ワークショップ かりかりスクレイプ「～掻落しに挑戦！～」	研修室	1回	41人	

③その他の体験型プログラム　　11回　　1,655人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	6月18日	きゅーはくきゃらばん（民族楽器体験）	アクロス福岡	1回	90人	移動博物館車「きゅーはく号」運行
2	7月29日	きゅーはくきゃらばん（糸つむぎ体験）	大野城心のふるさと館	1回	35人	
3	9月10日	きゅーはくきゃらばん（古代衣装体験）	イオンモール筑紫野	1回	100人	
4	9月30日	暮らしをかえる「め」の機器展（レプリカ、楽器及び古代衣装体験プログラム）	福岡市市民福祉プラザ	1回	200人	
5	11月4日	きゅーはくきゃらばん（古代衣装体験）	いせきんぐ宗像	1回	40人	ムナカタ古代フェス
6	11月11日	文化交流展関連イベント「衣装体験イベント　「古代人に変身！」	ミュージアムホール	1回	70人	
7	11月19日	きゅーはくきゃらばん（民族楽器・玩具体験、レプリカ触察体験）	クローバープラザ	1回	300人	移動博物館車「きゅーはく号」運行
8	11月23日	きゅーはくきゃらばん（民族楽器・玩具体験、レプリカ触察体験）	九州歴史資料館	1回	200人	移動博物館車「きゅーはく号」運行
9	11月27日	きゅーはくきゃらばん（レプリカ触察体験、古代衣装体験）	宮若トレッジ	1回	70人	
10	6年1月21日	きゅーはくきゃらばん（民族楽器・玩具体験、レプリカ触察体験）	ソラリアプラザ	1回	500人	移動博物館車「きゅーはく号」運行
11	6年3月24日	きゅーはくきゃらばん（レプリカ触察体験、古代衣装体験）	屋形古墳群広場	1回	50人	移動博物館車「きゅーはく号」運行

④児童生徒を対象とした展示　　0回　　0人

⑤児童生徒を対象とした鑑賞会　　0回　　0人

2)学校との連携事業　　102回　　6,510人

①スクールプログラム、来館学校団体等への対応

38回　　2,239人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	5月18日	那珂川市立岩戸北小学校	ミュージアムホール/文化交流展示室	1回	116人	
2	5月26日	川崎町立川崎小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	43人	
3	6月6日	小郡市立小郡中学校	ミュージアムホール/文化交流展示室	1回	144人	
4	6月7日	上毛町立上毛中学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	72人	
5	6月15日	直方市立上頓野小学校	ミュージアムホール/文化交流展示室	1回	89人	
6	6月21日	上毛町立西吉富小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	20人	
7	6月22日	築上町立西角田小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	9人	
8	6月23日	大川市立川口小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	38人	
9	6月27日	筑紫野市立二日市小学校	ミュージアムホール/文化交流展示室	1回	137人	
10	6月28日	久留米市立津福小学校	ミュージアムホール/文化交流展示室	1回	123人	
11	6月29日	みやこ町立犀川中学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	43人	
12	6月30日	飯塚市立鯰田小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	41人	

13	9月6日	柳川市立柳南中学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	70人	
14	9月12日	大川市立宮前小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	26人	
15	9月13日	赤村立赤小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	24人	
16	9月15日	大川市立大川小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	47人	
17	9月20日	春日市立日の出小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	52人	
18	9月21日	古賀市立千鳥小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	72人	
19	9月27日	豊前市立角田小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	11人	
20	10月6日	うきは市立大石小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	14人	
21	10月11日	鞍手町立古月小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	10人	
22	10月13日	飯塚市立鎭田中学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	52人	
23	10月18日	赤村立赤中学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	32人	
24	10月27日	小郡市立小郡小学校	ミュージアムホール/文化交流展示室	1回	124人	
25	11月1日	宗像市立大島学園	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	10人	
26	11月2日	飯塚市立飯塚第二中学校	ミュージアムホール/文化交流展示室	1回	90人	
27	11月7日	小郡市立立石小学校	研修室/バックヤード/文化交流展示室	1回	24人	
28	11月9日	うきは市立吉井小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	49人	
29	11月10日	行橋市立行橋中学校	ミュージアムホール/文化交流展示室	1回	216人	
30	11月16日	みやこ町立諫山小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	11人	
31	11月21日	久留米市立柴刈小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	15人	
32	11月22日	八女市立黒木中学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	60人	
33	12月1日	大任町立大任中学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	45人	
34	12月5日	飯塚市立穂波東中学校	ミュージアムホール/文化交流展示室	1回	100人	
35	12月13日	筑紫野市立天拝中学校	ミュージアムホール/文化交流展示室	1回	128人	
36	6年1月30日	筑紫野市立山家小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	22人	
37	6年2月20日	大刀洗町立大刀洗小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	39人	
38	6年3月6日	小郡市立味坂小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	21人	

②出前授業等

10回　　446人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	5月29日	文化交流展示室よりリモート授業	秋田公立美術大学附属高等学院	1回	29人	特集展示「秋田蘭画ことはじめ- それは『解体新書』から始まった -」関連
2	11月28日	出前講座「九州国立博物館の魅力とは」	ゆめさが大学鳥栖校	1回	33人	
3	11月29日	出前講座「九州国立博物館の魅力とは」	ゆめさが大学唐津校	1回	21人	
4	12月15日	出前講座「博物館の舞台裏ー文化財を守る・伝えるー」	熊本県立東稜高等学校	1回	77人	
5	12月21日	出前講座「九州国立博物館の魅力とは」	ゆめさが大学佐賀校	1回	56人	
6	12月21日	出前講座「九州国立博物館の魅力とは」	ゆめさが大学佐賀校	1回	52人	
7	6年1月15日	文化交流展示室よりリモート授業	中津市立下郷小学校 佐伯市立直川小学校	1回	18人	バックヤード、文化交流展示室よりリモート授業
8	6年1月25日	総合的な学習の時間「キャリア教育について」	太宰府市立太宰府東中学校	1回	40人	
9	6年2月15日	出前講座「九州国立博物館の魅力とは」	ゆめさが大学鹿島校	1回	49人	
10	6年3月7日	出前授業「馬頭琴」	太宰府市立太宰府南小学校	1回	71人	

③職場体験

9回　　41人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	6月14日	太宰府市立学業院中学校	バックヤード、展示室、あじっぱ	1回	3人	
2	6月28日	太宰府市立太宰府東中学校	バックヤード、展示室、あじっぱ	1回	6人	
3	7月7日	太宰府市立太宰府西中学校	バックヤード、展示室、あじっぱ	1回	5人	
4	8月2日	福岡県立輝翔館中等教育教育学校	バックヤード、展示室、あじっぱ	1回	4人	
5	9月8日	宇美町立宇美東中学校	バックヤード、展示室、あじっぱ	1回	3人	
6	6年1月23日	大野城市立大野中学校	バックヤード、展示室、あじっぱ	1回	4人	
7	6年2月7日	筑紫野市立筑紫野南中学校	バックヤード、展示室、あじっぱ	1回	4人	
8	6年2月20日	那珂川市立那珂川北中学校	バックヤード、展示室、あじっぱ	1回	6人	
9	6年2月27日	筑紫野市立筑紫野中学校	バックヤード、展示室、あじっぱ	1回	6人	

④教員を対象とした研修

2回　　180人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	8月1日	熊本県私学教員研修会	バックヤード，展示室	1回	80人	
2	8月4日	福岡市教職員互助会	バックヤード，展示室	1回	100人	

⑤その他の学校、社会教育関係団体、国内外の博物館等との連携協力に基づいた事業

43回　　3,604人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	4月1日～3月31日	学校貸出キット「きゅうぱっく」の貸し出し	―	41回	3,540人	計47パック
2	7月27日	社会教育主事講習	研修室	1回	36人	
3	8月5日	全国高等学校歴史学フォーラム2023	研修室 ミュージアムホール	1回	28人	

3)児童生徒を対象とした刊行物、音声ガイドの制作

①刊行物　　1件　　3,000部

	名　　称	冊数	備　　考
1	まるわかりきゅーはく	3,000部	スクールプログラムでの来館学校団体及び出前授業の実施校

②音声ガイド　　―件　　―台

③その他メディア　　―件　　―回

【皇居三の丸尚蔵館】

1)体験型プログラム等　　2回　　11人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	11月18日～11月19日	みんなでつくろう！扇面散屏風	石川県立美術館	2回	11人	石川展での地方展開展に関連して実施。

2)学校との連携事業　　2回　　70人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	12月11日	学校法人松峯学園　井草幼稚園	井草幼稚園、当館展示室1・2	2回	70人	幼稚園での出前授業と鑑賞受け入れを行った。参加者数は２回の合計人数。

3)児童生徒を対象とした刊行物、音声ガイドの制作

①刊行物　　1件　　2,000部

	名　　称	冊数	備　　考
1	しょうぞうかんでこれみっけ！	2,000部	未就学～小学生低学年の来館者に配布。

②音声ガイド　　― 件　　― 台

③その他メディア　　― 件　　― 台

1-(3)-①-4　大学生・大学院生を対象とした教育事業

令和6年3月31日現在

	東京国立博物館		京都国立博物館		奈良国立博物館		九州国立博物館	
	インターンシップ	20 人	インターンシップ	2 人	インターンシップ	0 人	インターンシップ	0 人
	大学との連携講座	2 件 247 人	大学との連携講座	1 件 16 人	大学との連携講座	2 件 4 人	大学との連携講座	1 件 19 人
	見学対応	12 回 432 人	見学対応	1 回 160 人	見学対応	0 回 0 人	見学対応	0 回 0 人
	その他	0 回 0 人	その他	22 回 131 人	その他	1 回 103 人	その他	6 回 207 人

【東京国立博物館】

1)　インターンシップ　　20 人

受入期間	7月19日～3月31日		
受入部署	情報資料室、情報管理室、出版企画室、教育講座室、総務課		
参加者数	20 人	学校数	18 大学／　0 専門学校
担当研究員数	8 人		
事業内容	博物館学芸員を目指す学生の学習意欲の喚起、高い職業意識の育成を目的とした就業体験プログラム。学生は受入部署において、10～30日間の活動を行った。		

2)　大学等との連携講座　　2 件　　247 人

期　　間	9月4日～9月5日、9月7日～9月8日		
回　　数	1回		
開催場所	平成館小講堂、本館2階会議室、本館地下修理施設、本館地下写場、管理棟修復室		
参加者数	17 人	学校数	16 大学／　1 専門学校
担当研究員数	23 人		
事業内容	キャンパスメンバーズ校を対象とした教育連携事業「博物館学講座」を実施した。		

期　　間	9月6日		
回　　数	1 回		
開催場所	平成館大講堂		
参加者数	230 人	学校数	25 大学／　1 専門学校
担当研究員数	8 人		
事業内容	キャンパスメンバーズ校を対象とした教育連携事業「博物館セミナー」を実施した。		

3)　見学対応　　12 回　　432 人

期　　間	年間		
開催場所	全館対象		
参加者数	432 人	学校数	8 大学／　4 専門学校
担当研究員数	8人		
事業内容	専門学校が4校154名、大学8校278名。留学生を含む対象へのガイダンス、キャリア学習、ガイダンス動画の配信などを行った。		

4)　その他　　0 回　　0 人

【京都国立博物館】

1)　インターンシップ　　2 人

受入期間	8月21日～10月31日		
受入部署			
参加者数	2 人	学校数	1 大学／　0 専門学校
担当研究員数	2 人		
事業内容	文化財の修復に関わる学科を有する5大学で構成する文化財修復大学院生インターンシップ協議会より推薦を受けた学生について、国宝修理装潢師連盟の協力を得て、大学院生2名のインターンを文化財保存修理所にて受け入れた。12月1日にオンラインにて2名による報告会を行った。（出席者34名）		

2) 大学等との連携講座　　1 件　　16 人

内　　容	京都大学大学院人間・環境学研究科の歴史文化社会論講座
実施日	通年
開催場所	京都国立博物館
受入人数	16 人
担当研究員数	4 人

3) 見学対応　　1 回　　160 人

期　　間	年間		
開催場所	京都国立博物館		
参加者数	160 人	学校数	1 大学／　　0 専門学校
担当研究員数	1 人		
事業内容	・6年1月12日 京都美術工芸大学　建築専攻の学生(160人) 「展示の方法と建築」についての解説 大原嘉豊（教育室長）□		

4) その他　　22 回　　131 人

期　　間	5月17日、5月24日、5月31日、6月7日、6月28日、7月5日、7月12日、7月26日、8月30日、9月6日、9月20日、9月27日、10月11日、10月18日、11月1日、11月8日、11月29日、12月6日、6年1月10日、1月24日
回　　数	20 回
開催場所	京都国立博物館
参加者数	20 人　　学校数　　10 大学／　　0 専門学校
担当研究員数	4 人
事業内容	「文化財ソムリエに向けたスクーリング」 京都市内の小中学校で文化財の高精細複製品を用いた訪問授業を行う「文化財ソムリエ」養成のためのスクーリングを実施した。 参加者は、京都市内及びその周辺の大学で日本文化等を専門に学ぶ大学生、大学院生。スクーリングでは、教材となる文化財の取り扱い方法や作品の専門的な知識について当館の研究員が解説をした。また、授業案の作成では文化財ソムリエ同士の主体的な議論を促し、必要に応じて助言をした。

期　　間	4月14日、11月16日
回　　数	2 回
開催場所	京都国立博物館
参加者数	111 人　　学校数　　33 大学／　　0 専門学校
担当研究員数	2 人
事業内容	京都国立博物館キャンパスメンバーズ会員校の学生・教職員を対象とした、親鸞聖人生誕850年特別展「親鸞―生涯と名宝」、特別展「東福寺」にかかる講演会を実施した。

【奈良国立博物館】

1) インターンシップ　　0 人

2) 大学等との連携講座　　2 件　　4 人

内　　容	奈良女子大学大学院人間文化研究科との連携講座
実施日	前期、後期
開催場所	奈良女子大学、奈良国立博物館
受入人数	2 人　（前期2人、後期0人）
担当研究員数	1 人

内　　容	神戸大学大学院人文学研究科との連携講座
実施日	通年
開催場所	奈良国立博物館
受入人数	2 人
担当研究員数	2 人

3) 見学対応　　0 回　　0 人

4) その他　　1 回　　103 人

期　　間	8月3日		
回　　数	1 回		
開催場所	奈良国立博物館		
参加者数	103 人	学校数	13 大学／　　専門学校
担当研究員数	1 人		
事業内容	奈良国立博物館キャンパスメンバーズ加盟校の学生・教職員を対象とした講演会を、特別展「聖地　南山城―奈良と京都を結ぶ祈りの至宝―」において実施した。		

【九州国立博物館】

1) インターンシップ　　0 人

2) 大学等との連携講座　　1 件　　19 人

内　　容	放送大学の面接授業
実施日	11月9日、10日
開催場所	九州国立博物館研修室
受入人数	19人
担当研究員数	8人

3) 見学対応　　0 回　　0 人

4) その他　　6 回　　207 人

期　　間	8月16日、17日、18日、19日、22日、23日（6日間）		
回　　数	1回		
開催場所	全館		
参加者数	19 人	学校数	17 大学／　　0 専門学校
担当研究員数	13 人		
事業内容	博物館実習		

期　　間	7月14日、12月15日		
回　　数	2回		
開催場所	九州国立博物館1階エントランス（オープンカフェ）		
参加者数	157 人	学校数	1 大学／　　0 専門学校
担当研究員数	- 人		
事業内容	カフェコンサート（福岡女子短期大学音楽科）		

期　　間	10月14日		
回　　数	1回		
開催場所	九州国立博物館1階研修室		
参加者数	11 人	学校数	1 大学／　　0 専門学校
担当研究員数	1 人		
事業内容	崇城大学芸術学部「博物館実習」学外見学実習		

期　　間	6年1月5日		
回　　数	1回		
開催場所	九州国立博物館1階研修室		
参加者数	20 人	学校数	1 大学／　　0 専門学校
担当研究員数	- 人		
事業内容	九州産業大学「九博で『博物館浴』しよう！」		

期　　間	6年2月14日～18日		
回　　数	1回		
開催場所	九州国立博物館1階エントランス		
参加者数	- 人	学校数	1 大学／　　0 専門学校
担当研究員数	- 人		
事業内容	九州女子大学　第56回卒業書作展		

1-(3)-①-5 キャンパスメンバーズ

令和6年3月31日現在

東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館
67校	33校（※）	27校（※）	20校

※うち京都国立博物館・奈良国立博物館共通加入23校

【東京国立博物館】

① 加入校数（67校）

	学校名	学生数	入会日	備考
1	桜美林大学	11,266人	20年4月1日	
2	武蔵野美術大学	8,397人	20年4月1日	
3	文化学園（文化学園大学、文化ファッション大学院大学、文化服装学院、文化外国語専門学校）	8,366人	20年4月1日	
4	東京学芸大学	5,982人	20年4月1日	
5	東京藝術大学	4,869人	20年4月1日	
6	東京大学	35,126人	20年4月1日	
7	お茶の水女子大学	3,332人	20年4月1日	
8	大正大学	5,410人	20年4月1日	
9	東海大学	31,301人	20年4月1日	
10	青山学院大学	22,064人	20年4月1日	
11	メイ・ウシヤマ学園（ハリウッド大学院大学、ハリウッド美容専門学校）	488人	20年4月1日	
12	多摩美術大学	5,400人	20年4月1日	
13	立教大学	22,954人	20年4月1日	
14	東京都立大学	9,683人	20年4月1日	
15	女子美術大学・女子美術大学短期大学部	4,078人	20年4月1日	
16	東京造形大学	1,996人	20年4月1日	
17	法政大学	39,314人	20年4月1日	
18	筑波大学	20,171人	20年4月1日	
19	昭和女子大学	6,457人	20年4月1日	
20	実践女子大学・実践女子大学短期大学部	4,715人	20年5月1日	
21	東洋大学	33,046人	20年6月1日	
22	東洋美術学校	1,213人	20年6月1日	
23	日本大学（芸術学部・芸術学研究科）	4,727人	20年6月1日	
24	文教大学	8,464人	20年7月1日	
25	上智学院（上智大学、上智大学短期大学部）	15,730人	20年10月1日	
26	国際基督教大学	3,432人	21年4月1日	
27	学習院女子大学	1,744人	21年11月1日	
28	獨協大学	8,405人	22年4月1日	
29	学習院大学	10,435人	22年4月1日	
30	東京工業大学	12,469人	22年7月1日	
31	日本女子大学	8,431人	23年4月1日	
32	二松学舎大学	3,380人	23年5月1日	
33	東京家政大学・東京家政大学短期大学部	7,597人	23年6月1日	
34	神奈川大学	19,681人	24年6月1日	
35	東京女子大学	4,301人	24年8月1日	
36	中央大学（文学部・文学研究科）	4,541人	25年6月1日	
37	麗澤大学	2,655人	25年6月1日	
38	慶應義塾大学	45,052人	25年8月1日	
39	共立女子大学・共立女子短期大学	6,573人	26年4月1日	
40	成城大学（文芸学部・文学研究科）	1,770人	26年4月1日	
41	日本文化大學	1,070人	27年4月1日	
42	鶴見大学（文学部・文学研究科）	1,405人	27年5月1日	
43	十文字学園女子大学	4,136人	27年6月1日	
44	早稲田大学	51,530人	27年6月1日	
45	横浜国立大学	10,077人	28年4月1日	
46	國學院大學・國學院大學北海道短期大学部	11,840人	28年4月1日	
47	聖心女子大学	2,783人	28年5月1日	
48	津田塾大学	3,828人	29年8月1日	
49	清泉女子大学	2,020人	29年10月1日	
50	立正大学（文学部・文学研究科）	2,149人	30年4月1日	
51	東京国際大学・東京国際大学付属日本語学校	6,871人	30年4月1日	
52	明治大学	37,112人	30年5月1日	
53	大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部	8,133人	31年4月1日	
54	宝塚大学	1,159人	元年5月29日	
55	東京理科大学	20,973人	2年4月1日	
56	駒澤大学	15,396人	2年8月1日	
57	中央学院大学	3,406人	3年4月1日	
58	東京家政学院大学	1,730人	4年7月25日	
59	日本体育大学	7,947人	4年8月1日	
60	東京女子医科大学・東京女子医科大学看護専門学校	3,461人	4年11月1日	
61	東京音楽大学	2,204人	5年4月1日	
62	淑徳大学（人文学部・経営学部・留学生別科）	927人	5年4月1日	
63	文京学院大学	5,415人	5年7月19日	
64	流通経済大学	5,417人	5年8月8日	
65	米山ファッション・ビジネス専門学校	94人	5年10月18日	
66	東京外国語大学	4,724人	5年12月26日	
67	東北福祉大学・東北福祉看護学校	8,338人	6年3月1日	

※キャンパスメンバーズ対象人数が学生＋教員数のため、学生数には教員の人数も含む。
※職員（事務・技術）は含まず。

【京都国立博物館】

① 加入校数（33校）

	学校名	学生数	入会日	入会内容	備考
1	学校法人　瓜生山学園	20,063人	18年6月1日	京博のみ	
2	帝塚山大学	3,448人	18年6月1日	奈良博との共通加入	
3	奈良女子大学	2,660人	18年6月1日	奈良博との共通加入	
4	学校法人　大覚寺学園	1,157人	18年7月1日	奈良博との共通加入	
5	学校法人　京都女子学園	7,079人	18年7月1日	奈良博との共通加入	
6	京都精華大学	4,147人	18年7月1日	奈良博との共通加入	
7	京都橘大学	7,376人	18年7月1日	奈良博との共通加入	
8	龍谷大学、龍谷大学短期大学部	21,107人	18年7月1日	奈良博との共通加入	
9	成安造形大学	927人	18年8月1日	京博のみ	
10	国立大学法人　京都大学	23,044人	18年9月1日	奈良博との共通加入	
11	近畿大学文芸学部、近畿大学大学院総合文化研究科	2,223人	18年9月1日	奈良博との共通加入	
12	花園大学	1,589人	18年11月1日	京博のみ	
13	大谷大学	3,338人	18年12月1日	京博のみ	
14	佛教大学	14,190人	19年4月1日	奈良博との共通加入	
15	京都工芸繊維大学	3,974人	19年6月1日	奈良博との共通加入	
16	学校法人　同志社　（同志社大学、同志社女子大学、同志社高等学校、同志社香里高等学校、同志社女子高等学校、同志社国際高等学校）	37,975人	19年6月1日	奈良博との共通加入	
17	奈良大学	4,024人	19年6月1日	奈良博との共通加入	
18	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	1,198人	19年12月1日	奈良博との共通加入	
19	就実大学　人文科学部	970人	20年4月1日	奈良博との共通加入	
20	京都市立芸術大学	1,097人	20年8月1日	京博のみ	
21	国立大学法人　大阪大学、大阪大学歯学部附属歯科技工士学校	24,164人	20年12月1日	奈良博との共通加入	
22	学校法人　京都外国語大学、京都外国語短期大学	5,931人	21年8月1日	奈良博との共通加入	
23	学校法人　関西大学（関西大学、関西大学第一高等学校、関西大学北陽高等学校、関西大学高等部）	32,723人	23年6月1日	奈良博との共通加入	
24	京都府立大学	2,296人	23年7月1日	京博のみ	
25	学校法人　京都産業大学	16,960人	24年8月1日	京博のみ	
26	学校法人　立命館	37,439人	26年4月1日	奈良博との共通加入	
27	学校法人　二本松学院	3,373人	29年4月1日	京博のみ	
28	四天王寺大学　人文社会学部・教育学部	2,820人	29年5月1日	奈良博との共通加入	
29	学校法人　関西学院	27,443人	30年4月1日	奈良博との共通加入	
30	学校法人　大手前学園	3,863人	30年6月1日	京博のみ	
31	大阪大谷大学	2,719人	30年11月1日	奈良博との共通加入	
32	追手門学院大学　文学部・国際教養学部・国際学部	1,409人	4年6月1日	奈良博との共通加入	
33	京都先端科学大学　人文学部・人間文化研究科	645人	4年6月1日	京博のみ	

【奈良国立博物館】

① 加入校数（27校）

	学校名	学生数	入会日	入会内容	備考
1	奈良教育大学	1,273人	18年4月4日	奈良博のみ	
2	帝塚山大学	3,448人	18年5月8日	京博との共通加入	
3	奈良女子大学	2,660人	18年5月15日	京博との共通加入	
4	学校法人　大覚寺学園	1,157人	18年6月9日	京博との共通加入	
5	京都精華大学	4,147人	18年6月28日	京博との共通加入	
6	京都橘大学	7,376人	18年6月30日	京博との共通加入	
7	龍谷大学、龍谷大学短期大学部	21,107人	18年6月30日	京博との共通加入	
8	国立大学法人　京都大学	23,044人	18年8月22日	京博との共通加入	
9	近畿大学文芸学部、近畿大学大学院総合文化研究科	2,223人	18年8月24日	京博との共通加入	
10	佛教大学	14,190人	19年4月1日	京博との共通加入	
11	奈良大学	4,024人	19年5月2日	京博との共通加入	
12	京都工芸繊維大学	3,974人	19年6月1日	京博との共通加入	
13	学校法人　同志社　（同志社大学、同志社女子大学、同志社高等学校、同志社香里高等学校、同志社女子高等学校、同志社国際高等学校）	37,975人	19年6月1日	京博との共通加入	
14	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	1,198人	19年11月7日	京博との共通加入	
15	就実大学　人文科学部	970人	20年4月1日	京博との共通加入	
16	天理大学	2,836人	20年7月1日	奈良博のみ	
17	国立大学法人　大阪大学、大阪大学歯学部附属歯科技工士学校	24,164人	20年12月1日	京博との共通加入	
18	学校法人　京都外国語大学、京都外国語短期大学	5,931人	21年8月1日	京博との共通加入	
19	学校法人　関西大学（関西大学、関西大学第一高等学校、関西大学北陽高等学校、関西大学高等部）	32,723人	23年6月1日	京博との共通加入	
20	奈良工業高等専門学校	1,108人	23年7月1日	奈良博のみ	
21	学校法人　立命館	37,439人	26年4月1日	京博との共通加入	
22	学校法人　京都女子学園	7,079人	29年4月1日	京博との共通加入	
23	四天王寺大学　人文社会学部・教育学部	2,820人	29年5月1日	京博との共通加入	
24	学校法人　関西学院	27,443人	30年4月1日	京博との共通加入	
25	大阪大谷大学	2,719人	30年11月1日	京博との共通加入	
26	奈良県立大学	636人	2年6月1日	奈良博のみ	
27	追手門学院大学　文学部・国際教養学部・国際学部	1,409人	4年6月1日	京博との共通加入	

【九州国立博物館】

① 加入校数（20校）

	学校名	学生数	入会日	備考
1	九州産業大学	10,220人	19年4月1日	
2	久留米大学	6,909人	19年4月1日	
3	筑紫女学園大学	2,850人	19年4月1日	
4	福岡大学	19,600人	19年4月1日	
5	九州産業大学造形短期大学部	311人	19年4月1日	
6	福岡女子短期大学	283人	19年4月1日	
7	久留米大学医学部附属臨床検査専門学校	136人	19年4月1日	
8	久留米大学附設高等学校	606人	19年4月1日	
9	筑紫女学園高等学校	1,254人	19年4月1日	
10	筑紫台高等学校	1,407人	19年4月1日	
11	福岡大学附属大濠高等学校	1,799人	19年4月1日	
12	福岡大学附属若葉高等学校	1,539人	19年4月1日	
13	放送大学福岡学習センター	2,703人	19年5月1日	
14	九州大学	18,905人	20年5月1日	
15	九州情報大学	509人	21年4月1日	
16	日本経済大学（福岡キャンパス）	3,018人	21年5月1日	
17	第一薬科大学	1,076人	27年4月1日	
18	福岡工業大学	4,424人	2年10月1日	
19	福岡工業大学短期大学部	381人	2年10月1日	
20	福岡工業大学附属城東高等学校	1,942人	2年10月1日	

1-(3)-①-6 「留学生の日」

館名・日程	内容	アンケート結果概要
東京国立博物館 10月7日（土） 9：30～17：00	○来館者数（総合文化展のみ）4,095人《2,223人》 対象者来館数　567人《71人》 内訳　留学生　537人《59人》 同伴者　30人《12人》 ＡＬＴ　0人《 0人》 ・総合文化展の無料観覧 ・国際交流室員によるギャラリートーク（英語・韓国語）を実施 ・ボランティアによる各種ガイド（英語・平易な日本語）を実施 ・ボランティアによるアートスタジオ「留学生のための根付づくり」を実施 ・寄席イベント「トーハク笑楽座　TOHAKU　Show-RAKUZA」を実施	・留学生アンケート回答者数15人 （回収率2.8%）
京都国立博物館 6年2月25日(日) 9：30～17：00	○来館者数　1,358人《1,134人》 留学生　38人《78人》 ・名品ギャラリー（平常展示）観覧料無料 ・ギャラリーツアー 11：00～　やさしい日本語 13：00～　英語 14：00～　中国語 15：00～　韓国語 ※各言語10名	・留学生アンケート回答者数20人 （回収率53%） ・来館頻度：来たことがある21% ・「留学生の日」参加：初めて95% ・認知経路：ポスター・チラシを見て16%、HPを見て10%、チラシをもらって11%、友人・教師47%　他16% ・展示内容:とても良かった68%、良かった32%、普通以下0% ・出身国：中国 45%、韓国20%、台湾 15%
奈良国立博物館 6年2月19日(土) 10：00～13:00	○イベント参加者数　7人 留学生　2人 ・留学生の日イベント「やさしいにほんごでわかる『おみずとり』」を実施	・関連イベント留学生アンケート回答者数 7 人（回収率100%） ・来館頻度：来たことがある6人 ・認知経路：公式ウェブサイト2人、公式X（旧Twitter）2人、友人・知人1人、大学からの紹介2人 ・出身国：バングラディシュ、ポーランド各1 ・満足度：とても良かった7人
九州国立博物館 11月3日(金・祝) 9：30～17：00	○来館者数 文化交流展(平常展)　2,063人《3,190人》 令和5年度留学生イベント 「メキシコ旅行 in 九博」 参加者　11人 ※同伴者のカウントはなし ※特別展「古代メキシコ」観覧者は含まない ・文化交流展（平常展）のみ無料観覧	・留学生アンケート回答者数11人 ・出身国：アメリカ2人、中国6人、イギリス1人、カナダ1人、トリニダード1人 ・来館回数：1回5人、2回3人、3回1人、3回以上1人 ・認知経路（複数回答）：ポスター・チラシ3人、学校（教師）から5人、友人から3人、ホームページ2人

＊来館者数、参加者数等：《　》内は令和4年度

1-(3)-①-7　ボランティア受入実績　　（後述の資料に記載）◎共通資料b

1-(3)-①-8 友の会・メンバーズパス等

1) 会員数

友の会　　令和6年3月31日現在

区分 / 館名	友の会会員数	(参考) 年会費
東京国立博物館	10,315 人	7,000 円
九州国立博物館	25 人	7,500 円

メンバーズプレミアムパス　　令和6年3月31日現在

区分（年会費） / 館名	会員数	一般 (5,000 円)	一般 (4,500 円)	一般 (3,800 円)	学生 (2,500 円)
奈良国立博物館 (奈良博メンバーシップカード)	1,473 人	681 人	792 人	–	–
九州国立博物館	2,223 人	–	–	729 人	1,494 人

国立博物館メンバーズパス（4館共通）　　令和6年3月31日現在

区分（年会費） / 館名	会員数	一般 (2,500 円)	学生 (1,200 円)
東京国立博物館	4,847 人	4,564 人	283 人
京都国立博物館	388 人	369 人	19 人
奈良国立博物館	90 人	85 人	5 人
九州国立博物館	62 人	55 人	7 人

※九州国立博物館では令和6年4月からの3階特別展示室閉室に伴い、令和5年6月12日から友の会とメンバーズプレミアムパスの販売を中断。

2)各種会員を対象とした事業

友の会会員を対象とした事業

【東京国立博物館】

特別展無料観覧券3枚贈呈、ミュージアムシアター無料観覧券1枚贈呈、当館ミュージアムショップ・レストラン・カフェでの割引。

【九州国立博物館】

当館特別展観覧券6枚贈呈、季刊情報誌「アジアージュ」、特別展示ちらし、特別展連続講座等イベント案内送付、当館ミュージアムショップ・レストラン･カフェでの割引、入会時の記念品プレゼント。

メンバーズプレミアムパスを対象とした事業

【奈良国立博物館】（奈良博メンバーシップカード）

①当館特別展の無料観覧（計4回まで、うち同一展は2回まで）
②当館名品展（平常展）の無料観覧
③機構内他館特別展の団体料金観覧
④機構内他館平常展の無料観覧
⑤（5,000円版のみ）『奈良国立博物館だより』（年4回）の送付
⑥（5,000円版のみ）『奈良国立博物館展示案内』（年1回）の送付
⑦当館ミュージアムショップでの展覧会図録の割引
⑧当館レストランでの飲食料金の割引
⑨近隣他館の入館料金割引または無料
⑩当館研究員による解説付きの別鑑賞会を実施

・7月27日（木）　特別展「聖地　南山城―奈良と京都を結ぶ祈りの至宝―」
　特別鑑賞会　参加人数　162人
・11月7日（火）　特別展「第75回正倉院展」
　特別鑑賞会　参加人数　163人

【九州国立博物館】

①当館特別展の無料観覧（計4回まで、うち同一展は2回まで）
②当館平常展の無料観覧

1-(3)-①-9 賛助会

1） 会員数

令和6年3月31日現在

館名	東京国立博物館	京都国立博物館		奈良国立博物館	九州国立博物館
		（一般社団法人清風会）	（ﾐｭｰｼﾞｱﾑ・ﾊﾟｰﾄﾅｰ）		
件数	662件	519件	7件	143件	53件
内訳	ﾌﾟﾗﾁﾅ会員（個人）:13人 ｺﾞｰﾙﾄﾞ会員（個人）:77人 ｼﾙﾊﾞｰ会員（個人）:495人 ﾌﾟﾚﾐｱﾑ会員（団体）:3団体 特別会員（団体）:21団体 維持会員（団体）:53団体	賛助会員（団体）:27団体 特別会員（団体）:26団体 特別会員（個人）:41人 普通会員（団体）:20団体 普通会員（個人）:404人 名誉会員（個人）：1人	団体会員:6 件 個人会員:1 件	特別支援会員:2団体 特別会員:6団体 一般会員（団体）:14団体 一般会員（個人）:121人	特別会員（個人）:6人 維持会員（個人）:25人 ﾌﾟﾚﾐｱﾑ会員（団体）:1団体 特別会員（団体）:2団体 維持会員（団体）:19団体

2） 賛助会員を対象とした事業

【東京国立博物館】

①当館総合文化展、特別展（シルバー会員以外）の無料観覧
②各特別展開会式・内覧会へのご招待
③賛助会感謝デーへのご招待
④『東京国立博物館ニュース』（年4回）の配布
⑤当館ミュージアムショップの商品の一部割引
⑥当館レストラン、カフェでの飲食料金の割引
⑦賛助会員（個人プラチナ会員）向けの特別見学（ガイドツアー）の開催
　5年度は5回開催。
⑧賛助会個人会員限定のツアー（研究員が案内）の実施

【京都国立博物館】

①『京都国立博物館だより』（年4回）の配布
②当館平常展（平成知新館名品ギャラリー）、特別展の無料観覧
③清風会が行う鑑賞会、見学会、会報に協力
④当館ミュージアムショップの商品の一部割引
⑤国際シンポジウム（年1回）案内の発送

【奈良国立博物館】

①当館名品展（平常展）、特別展の無料観覧
②各特別展開会式（内覧会）へのご招待
③展覧会図録の1冊贈呈
④『奈良国立博物館だより』（年4回）の送付
⑤当館ミュージアムショップでの展覧会図録の割引
⑥当館レストランでの飲食料金の割引
⑦当館研究員による解説付きの賛助会員特別鑑賞会を実施
・7月11日（火）　特別展「聖地　南山城―奈良と京都を結ぶ祈りの至宝―」
　特別鑑賞会　参加人数　64人
・11月6日（月）　特別展「第75回正倉院展」
　特別鑑賞会　参加人数 104人

【九州国立博物館】

①当館文化交流展、特別展の無料観覧
②各特別展開会式へのご招待
③各特別展につき1回の特別鑑賞会へのご招待（特別鑑賞会中止。代わりに日時指定のない招待券を送付）
④特別展図録の贈呈
⑤季刊情報誌『アジアージュ』（年4回）の配布
⑥当館駐車場無料利用
⑦当館施設利用料割引
⑧当館レストラン、カフェでの飲食料金の割引

1-(3)-①-10 渉外活動

令和 6 年 3 月 31 日現在

【東京国立博物館】

1) 会場提供　2 件

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者数（人）	備考
1	9 月 26 日～10 月 1 日	展示会	台東区主催によるイベント(第 18 回　台東区の伝統工芸職人展)	平成館ラウンジ	6,335	
2	10 月 27 日～11 月 4 日	イベント	Daiwa Sakura Aid 写真パネル展	平成館ラウンジ	―	主催：東京国立博物館、大和ハウス工業株式会社

2) 館主催・協力イベント　27 件

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者数（人）	備考
1	4 月 3 日	音楽会	東京・春・音楽祭 2023「東博でバッハ vol.62」川口成彦	平成館ラウンジ	249	主催：東京・春・音楽祭実行委員会 共催：東京国立博物館
2	4 月 4 日	音楽会	東京・春・音楽祭 2023「東博でバッハ vol ．63」上村文乃	法隆寺宝物館エントランスホール	110	主催：東京・春・音楽祭実行委員会 共催：東京国立博物館
3	4 月 12 日	音楽会	東京・春・音楽祭 2023「東博でバッハ vol ．64」神田寛明＆小倉貴久子	平成館ラウンジ	137	主催：東京・春・音楽祭実行委員会 共催：東京国立博物館
4	6 月 10 日	音楽会	初夏のコンサート	平成館ラウンジ	110	主催：東京国立博物館、サロン・ド・ソネット
5	7 月 30 日	イベント	キッズデー「大笑い！落語の世界　～寄席文化を知って楽しもう～」	平成館大講堂	421	主催：落語芸術協会 協力：東京国立博物館
6	7 月 30 日	イベント	プラノサウルス　クイズラリー＆組立体験会	表慶館、本館エントランス、東洋館エントランス	580	主催：株式会社 BANDAI SPIRITS 協力：東京国立博物館
7	9 月 9 日	音楽会	Music Program TOKYO まちなかコンサート ～芸術の秋、音楽さんぽ～	本館大階段	803	主催：東京都、東京文化会館
8	9 月 9 日	音楽会	秋のコンサート	平成館ラウンジ	186	主催：東京国立博物館、サロン・ド・ソネット
9	9 月 23 日	イベント	仲秋東博寄席 2023	平成館大講堂	238	主催：東京国立博物館
10	10 月 7 日	イベント	留学生の日「トーハク笑楽座　TOHAKU Show-RAKUZA」	平成館大講堂	227	主催：日本芸術文化振興会、文化庁、落語芸術協会 協力：東京国立博物館
11	10 月 19 日、21 日、26 日、28 日、29 日、11 月 2 日、9 日、11 日、12 日、16 日、18 日、23 日、25 日、26 日	イベント	令和 5 年度 柳瀬荘アート教育プロジェクト	柳瀬荘	364	主催：日本大学芸術学部美術学科彫刻コース、東京国立博物館
12	10 月 27 日～28 日	イベント	博物館で夜の音楽会	敷地内全域（特別展会場及び黒田記念館は除く）	1651	主催：東京国立博物館 企画制作：株式会社キッスコーポレーション
13	11 月 1 日～5 日	イベント	「創エネ・あかりパーク 2023」に伴う特別ライトアップ	本館前	―	主催：「創エネ・あかりパーク 2023」実行委員会
14	11 月 3 日～4 日	音楽会	Daiwa Sakura Aid コンサート	法隆寺宝物館前特設ステージ	1,755	主催：東京国立博物館、大和ハウス工業
15	11 月 10 日～11 日	イベント	東京国立博物館アンバサダー企画 「TOHAKU 茶館の朗読会」	応挙館	51	主催：東京国立博物館
16	11 月 17 日	音楽会	TOHAKU 茶館特別企画「マリンバコンサート」	応挙館	18	
17	11 月 25 日～26 日	イベント	TOHAKU 茶館 伝統芸能体験「お座敷で学ぶ日本の心」	応挙館	46	
18	12 月 16 日	音楽会	Christmas Concert	平成館ラウンジ	165	主催：東京国立博物館、サロン・ド・ソネット
19	1 月 2・3 日	イベント	和太鼓（湯島天神白梅太鼓）	本館前特設ステージ	4,820	主催：東京国立博物館
20	1 月 2・3 日	イベント	獅子舞（葛西囃子中村社中）	本館前特設ステージ	3,868	主催：東京国立博物館

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者数（人）	備考
21	1月3日	イベント	クラリネット・コンサート（ジュリアンズ）	平成館ラウンジ	893	主催：東京国立博物館
22	2月23日	イベント	プチキッズデー「大笑い！落語の世界～寄席文化を知って楽しもう～」	平成館大講堂	590	主催：落語芸術協会 協力：東京国立博物館
23	3月19日	音楽会	東京・春・音楽祭2024 「桜の街の音楽会」 ヴィーヴ！サクソフォン・クヮルテット	本館前庭（中央池前）	100	主催：東京・春・音楽祭実行委員会 共催：東京国立博物館
24	3月19日	音楽会	東京・春・音楽祭2024 「桜の街の音楽会」 小野寺緑＆木主里絵＆渡辺繁弥	平成館ラウンジ	130	主催：東京・春・音楽祭実行委員会 共催：東京国立博物館
25	3月21日	音楽会	東京・春・音楽祭 2024「東博でバッハvol.65」成田達輝	法隆寺宝物館エントランスホール	99	主催：東京・春・音楽祭実行委員会 共催：東京国立博物館
26	3月26日	音楽会	東京・春・音楽祭 2024「東博でバッハvol.66」鈴木大介	平成館ラウンジ	172	主催：東京・春・音楽祭実行委員会 共催：東京国立博物館
27	3月30日～31日	音楽会	Daiwa Sakura Aidコンサート	法隆寺宝物館前特設ステージ	763	主催：東京国立博物館、大和ハウス工業

【京都国立博物館】

1）会場提供　　74件

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者（人）	備考
1	4月14日	研修会	国宝修理装潢師連盟　修理技術者制度認証式	平成知新館　研修室	8	
2	4月14日	研修会	修理技術者資格制度　新任者研修	平成知新館　会議室1	18	
3	4月15日	茶席	茶道教室	茶室	5	
4	4月16日	イベント	コンサート	平成知新館　講堂、接客室１	9	
5	4月17日	研修会	鑑賞会	平成知新館　講堂	200	
6	4月23日	講演会	仏教美術の学術研究と普及	講堂	100	
7	4月23日	講演会	「研究発表と座談会」の講師、関係者控室として	平成知新館　接客室1、接客室２	10	
8	5月8日	鑑賞会	休館日の浄土真宗ご門徒向け観覧ならびに主催者会員向け内覧のため	平成知新館　展示室、接客室２	700	
9	5月12日	研修会	修理技術者資格制度　登録審査	平成知新館　会議室1、会議室２	15	
10	5月13日	茶席	茶会	茶室	5	
11	5月13日	茶席	茶会	茶室	5	
12	5月16日	研修会	上野記念財団　令和5年度「第1回理事会」開催	平成知新館　大会議室	9	
13	5月20日	研修会	茶会	茶室	4	
14	5月22日	所蔵品の撮影	所蔵品の撮影	平成知新館　会議室1	4	
15	5月27日	結婚式	結婚式	明治古都館　中央ホール、展示室１	80	
16	6月10日	茶席	茶会	茶室	85	
17	6月12日	講演会	第61回定時総会並びに講演会	平成知新館　講堂	200	
18	6月15日	茶席	茶会	茶室	35	
19	6月17日	茶席	茶道教室	茶室	4	
20	6月19日	理事会	財団　令和5年度「第2回理事会」及び「定時評議員会」開催	平成知新館　大会議室	14	

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者（人）	備考
21	6 月 29 日	控室	バイクウェア等の商用撮影	技術資料参考館	7	
22	7 月 21 日	研修会	国宝修理装潢師連盟　修理技術者資格制度　上級・中級講習会	平成知新館　会議室 1	20	
23	7 月 22 日	茶席	茶道研究会	茶室	5	
24	7 月 23 日	茶席	お茶会の開催	茶室	20	
25	7 月 25 日	研修会	国宝修理装潢師連盟　修理技術者資格制度　第 1 回試験準備委員会	平成知新館　会議室 1	10	
26	8 月 7 日	研修会	ユニバーサル・サービス研修実施	平成知新館　講堂、エントランス	45	
27	8 月 18 日	研修会	第 12 回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー実施のため	平成知新館　会議室 1	30	
28	9 月 15 日	研修会	立命館大学ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」国際研修	平成知新館　会議室 1	28	
29	9 月 16 日	茶席	茶道研究会	茶室	4	
30	9 月 25 日	研修会	「東福寺展」研修実施のため	平成知新館　会議室 1、研修室	40	
31	9 月 30 日	イベント	コンサート	明治古都館　玄関ホール	45	
32	10 月 2 日	研修会	「東福寺展」研修実施のため	平成知新館　研修室	10	
33	10 月 7 日	控室	撮影控室	技術資料参考館	15	
34	10 月 10 日	研修会	鑑賞会「東福寺」	平成知新館　講堂	200	
35	10 月 14 日	茶席	茶道研究会	茶室	5	
36	10 月 15 日	茶席	茶道練習会	茶室	10	
37	10 月 16 日	鑑賞会	特別展「東福寺」休館日鑑賞会	平成知新館展示室、接客室 1	1000	
38	10 月 17 日	茶席	茶会	茶室	30	
39	10 月 18 日	茶席	茶会	茶室	30	
40	10 月 20 日	研修会	国宝修理装潢師連盟　修理技術者資格制度　主任技師／技師長　第 1 次試験	平成知新館　会議室 1、会議室 2、研修室	18	
41	10 月 20 日	茶席	お茶会を開催するため	茶室	60	
42	10 月 29 日	茶席	茶室見学会	茶室	25	
43	10 月 30 日	鑑賞会	特別展「東福寺」休館日特別講座・鑑賞会	平成知新館展示室、講堂、接客室 1	200	
44	11 月 9 日	茶席	茶会の開催	茶室	80	
45	11 月 10 日	鑑賞会	貸切鑑賞会	平成知新館展示室	30	
46	11 月 11 日	茶席	茶道研究会	茶室	5	
47	11 月 15 日	研修会	国宝修理装潢師連盟　修理技術者資格制度　主任技師／技師長　第 2 次試験	平成知新館　会議室 1、会議室 2、研修室	19	
48	11 月 17 日	研修会	東福寺展における担当研究員の解説を受けるため	接客室 2	10	
49	11 月 18 日	控室	撮影利用に伴う衣装の着替え	技術資料参考館　1F	40	
50	11 月 24 日	研修会	国宝修理装潢師連盟　修理技術者資格制度　初級講習会	平成知新館　会議室 1、会議室 2	14	
51	11 月 30 日	茶席	茶会	茶室	35	

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者（人）	備考
52	12 月 3 日	控室	撮影控室	技術資料参考館　1F	12	
53	12 月 4 日	控室	大学袴カタログ撮影のため	技術資料参考館　1F	18	
54	12 月 5 日	茶席	訪日旅行者のプライベートお茶席体験	茶室	5	
55	12 月 9 日	結婚式	結婚式	明治古都館　中央ホール、展示室１	90	
56	12 月 10 日	結婚式	結婚式	明治古都館　中央ホール、展示室１	90	
57	12 月 16 日	結婚式	結婚式	明治古都館　中央ホール、展示室１	50	
58	12 月 16 日	茶席	茶道研究会	茶室	6	
59	12 月 17 日	茶席	回忌茶会	茶室	25	
60	1 月 9 日	研修会	鑑賞会「泉穴師神社の神像」「平安時代の彫刻」	平成知新館　講堂	200	
61	1 月 12 日	授業	京都国立博物館の建物等に関する説明	平成知新館　講堂	163	
62	1 月 13 日	茶席	茶会	茶室	13	
63	1 月 20 日	茶席	茶道研究会	茶室	4	
64	1 月 30 日	茶室	茶の湯体験	茶室	12	
65	2 月 11 日	結婚式	結婚式	明治古都館　中央ホール、展示室１	80	
66	2 月 17 日	結婚式	茶道研究会	茶室	5	
67	2 月 23 日～3 月 7 日	商談会	地方公共団体主催によるアート商談会（明治古都館）	明治古都館　中央ホール、展示室１、敷地表門（西門）前広場	620	
68	2 月 28 日	茶室	茶会及び撮影	茶室	4	
69	3 月 7 日	会議	上野記念財団「研究委員会・研究奨励金給付者選考委員会」開催	平成知新館　研修室	11	
70	3 月 10 日	結婚式	結婚式	明治古都館　中央ホール、展示室１	30	
71	3 月 16 日	茶室	訪日旅行者のお茶席体験	茶室	7	
72	3 月 16 日	結婚式	結婚式	明治古都館　中央ホール、展示室１	70	
73	3 月 17 日	コンサート	コンサート	平成知新館　講堂、接客室１、２	25	
74	3 月 19 日	理事会	上野記念財団「令和 5 年度第 3 回理事会・第 2 回評議員会」開催	平成知新館　会議室１）	15	

2)　館主催・協力イベント　　8 件

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者（人）	備考
1	4 月 14 日	講演会	親鸞聖人生誕 850 年特別展　親鸞―生涯と名宝キャンパスメンバーズ講演会	講堂	52	主催：京都国立博物館
2	4 月 16 日	コンサート	コンサート	講堂・接客室１	83	主催：Hijiya Music Club（京都国立博物館ミュージアムパートナー）　後援：当館
3	8 月 13 日	イベント	夏の伊勢大神楽総舞	講堂	308	主催：京都国立博物館
4	10 月 15 日	コンサート	コンサート	講堂・接客室１	79	主催：Hijiya Music Club（京都国立博物館ミュージアムパートナー）　後援：当館

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者（人）	備考
5	11 月 4 日、5 日	イベント	秋の華道体験	茶室	37	主催：京都国立博物館
6	11 月 16 日	講演会	特別展「東福寺」キャンパスメンバーズ講演会	講堂	59	主催：京都国立博物館
7	1 月 8 日	イベント	芸舞妓　春の舞	講堂	305	主催：京都国立博物館
8	2 月 25 日	イベント	留学生の日	平成知新館展示室	16	主催：京都国立博物館

【奈良国立博物館】

1）会場提供　　86 件

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者（人）	備考
1	3 月 25 日～4 月 21 日	イベント	特設カフェ開設	ピロティ	－	（株）葉風泰夢
2	4 月 2 日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	－	個人
3	4 月 2 日	撮影	ウェディングフォト	仏教美術資料研究センター	－	個人
4	4 月 2 日	撮影	ウェディングフォト	茶室・庭園	－	個人
5	4 月 7 日	撮影	ウェディングフォト	仏教美術資料研究センター	－	個人
6	4 月 8 日	茶席	お茶会	茶室・庭園	20	個人
7	4 月 9 日	茶席	お茶会	茶室・庭園	16	個人
8	4 月 26 日	茶席	お茶会	茶室・庭園	16	個人
9	4 月 26 日	イベント	ロールス・ロイス・モーター・カーズ Osaka Luxury Drive	なら仏像館西側	18	（株）ツーアンドフォー
10	5 月 7 日	撮影	ウェディングフォト	茶室・庭園	－	（株）スタジオゼロ
11	5 月 9 日	研修会	総会	会議室	20	結の会
12	5 月 9 日	研修会	懇親会	茶室・園地	20	結の会
13	5 月 19 日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	－	Bridal-Sora
14	5 月 26 日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	－	（株）スタジオゼロ
15	6 月 5 日	撮影	ウェディングフォト	仏教美術研究センター	－	個人
16	6 月 18 日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	－	（株）スタジオゼロ
17	6 月 18 日	茶席	お茶会	茶室・園地	7	個人
18	7 月 14 日	研修会	仏塔古寺十八尊霊場会議	応接室	11	海住山寺
19	7 月 20 日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	－	アトリエステディ
20	7 月 20 日	講演会	檀信徒向けの文化財講演会	講堂・応接室	90	海住山寺
21	7 月 24 日	撮影	奈良新聞デジタルニュース	なら仏像館西側	－	奈良新聞社
22	7 月 29 日	撮影	ライトアッププロムナードなら風景の撮影	なら仏像館西側	－	奈良県観光局観光プロモーション課
23	7 月 30 日	撮影	南山城古寺巡礼ツアーの取材	敷地内	－	株式会社 KCN 京都
24	8 月 2 日～15 日	イベント	第 25 回なら燈花会	敷地内	－	特定非営利活動　なら燈花会の会
25	8 月 5 日	イベント	はにわをつくろうワークショップ	地下回廊	90	木津川市観光商工課
26	8 月 6 日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	－	（株）スタジオゼロ
27	8 月 17 日	講演会	特別展聖地南山城の講座	講堂・応接室	60	木津川市教育委員会

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者（人）	備考
28	8月25日	講演会	宗派内、住職などの研究会	講堂・応接室	40	海住山寺
29	8月30日	講演会	木津川市加茂文化財愛護会員向け講演会	講堂・応接室	130	木津川市加茂文化財愛護会
30	9月2日	撮影	謎解き企画について、告知用ウエブサイトなど広報宣伝物	なら仏像館西側	－	読売新聞大阪本社事業本部
31	9月7日	調査	八窓庵調査	茶室・園地	－	奈良町にぎわいの家管理共同体
32	9月15日～18日	イベント	第8回春日野音楽祭	なら仏像館西側	－	春日野音楽祭実行委員会
33	9月16日	講演会	奈良市の文化的景観をめぐる現状と課題	講堂	100	公益社団法人　奈良まちづくりセンター
34	9月19日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	－	スタジオTVB
35	9月24日	イベント	クラシックカーとエキサイティングカーによるラリーイベントＮＣＣＲ2023	なら仏像館西側	120	株式会社ツーアンドフォー
36	9月29日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	－	スタジオTVB
37	9月30日	イベント	奈良県事業「未来の演奏家育成事業」木管5重奏コンサート	講堂	約40	奈良県文化振興課
38	10月1日	イベント	氷室神社例祭にかかる渡御	敷地内	50	氷室神社
39	10月5日	撮影	ウェディングフォト	茶室・園地	－	（株）スタジオゼロ
40	10月6日	撮影	世界遺産を活用した文化資源魅力発信業務	なら仏像館西側	－	読売新聞大阪本社ビジネス局
41	10月12日	イベント	写生会	なら仏像館西側	－	奈良育英グローバル小学校
42	10月12日	撮影	ウェディングフォト	仏教美術資料研究センター	－	（株）スタジオゼロ
43	10月16日	撮影	自社アパレル撮影	仏教美術資料研究センター	－	株式会社Loop&Loop entwa
44	10月16日	撮影	撮影	応接室	－	西日本地区中国留学生学友会会長
45	10月19日	茶席	お茶会と社内研修	茶室・園地	15	TERA Energy株式会社
46	10月20日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	－	ファーストステージ
47	10月23日	撮影	商品撮影	茶室・園地	－	株式会社トライアウト
48	10月28日	イベント	正倉院展講座（9時30分～）	講堂	100	読売新聞大阪本社
49	10月28日	イベント	正倉院展講座（16時30分～）	講堂	100	読売新聞大阪本社
50	11月4日	イベント	SGC向け正倉院展講座	講堂	50	読売新聞大阪本社
51	11月5日	イベント	SGC向け正倉院展講座	講堂	50	読売新聞大阪本社
52	11月5日	イベント	第75回正倉院展親子ワークショップ	講堂	40	読売新聞大阪本社「新聞のちから」委員会
53	11月5日	イベント	第75回正倉院展読売新聞元担当記者による講演会	講堂	107	読売新聞大阪本社「新聞のちから」委員会
54	11月7日	イベント	第75回正倉院展「特別講演会と鑑賞」	講堂	86	大阪読売サービス株式会社よみうりカルチャーOSAKA
55	11月10日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	－	ファーストステージ
56	11月11日	イベント	西川元正倉院事務所による講演	会議室	20	法華寺
57	11月11日～12日	イベント	行基生誕1355年記念シンポジウム	仏教美術資料研究センター	100	近畿地方整備局
58	11月14日	撮影	奈良大茶会第10回珠光茶会小冊子特集ページ	茶室・園地	－	一般社団法人なら文化交流機構
59	11月15日	撮影	ふるさとCM大賞NARA2024動画撮影	なら仏像館西側	－	奈良市秘書広報課
60	11月18日	イベント	英語落語の講演	講堂	13	株式会社JTB奈良支店
61	11月18日	イベント	英語落語の控室	打合室	－	株式会社JTB奈良支店
62	11月18日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	－	Bridal-Sora

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者（人）	備考
63	11 月 19 日	撮影	ウェディングフォト	仏教美術資料研究センター	–	株式会社　スタジオゼロ
64	11 月 21 日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	–	個人
65	11 月 22 日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	–	ファーストステージ
66	11 月 29 日	撮影	ウェディングフォト	茶室・園地	–	株式会社　スタジオゼロ
67	12 月 9 日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	–	Bridal-Sora
68	12 月 10 日	イベント	奈良マラソン 2023　コーン集積	敷地内	–	奈良マラソン実行委員会
69	12 月 11 日	茶席	お茶会	茶室・園地	10	個人
70	12 月 13 日	イベント	アジアポリオレフィン国際会議 2023 の参加者による見学会	なら仏像館	150	東京都立大学
71	12 月 14 日	撮影	七五三撮影	なら仏像館西側	–	個人
72	12 月 17 日	イベント	春日若宮おん祭お渡り式行列並びに馬等の待機場所	敷地内	–	一般財団法人春日若宮おん祭
73	12 月 21 日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	–	個人
74	1 月 14 日	イベント	日本茶文化研究のための見学	茶室・園地		個人（韓国）
75	1 月 27 日	撮影	ウェディングフォト	茶室・園地	–	個人
76	1 月 27 日	撮影	ウェディングフォト	仏教美術資料センター		個人
77	1 月 27 日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側		個人
78	2 月 5 日～6 日	イベント	第 10 回珠光茶会	茶室・園地		珠光茶会実行委員会
79	2 月 9 日	撮影	ウェディングフォト	仏教美術資料センター		株式会社　スタジオゼロ
80	2 月 22 日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側		株式会社ハピネス
81	2 月 23 日	イベント	茶室見学会	茶室・園地	–	奈良町にぎわいの家管理共同体
82	2 月 26 日	撮影	広告撮影	仏教美術資料センター		アトリエステディ株式会社
83	2 月 29 日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側		スタジオ TVB
84	3 月 19 日	撮影	ウェディングフォト	仏教美術資料研究センター		株式会社　スタジオゼロ
85	3 月 25 日	撮影	ウェディングフォト	仏教美術資料研究センター		株式会社　スタジオゼロ
86	3 月 27 日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	–	スタジオ TVB

2）館主催・協力イベント　　22 件

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者（人）	備考
1	4 月 7 日	法要	春季仏像供養	なら仏像館　展示室	–	
2	7 月 11 日	講演会	特別展「聖地南山城」賛助会員向け特別鑑賞会	講堂	64	
3	7 月 19 日	法要	夏季仏像供養	なら仏像館　展示室	–	
4	7 月 27 日	講演会	特別展「聖地南山城」メンバーシップカード会員向け特別鑑賞会	講堂	162	
5	8 月 1 日	イベント	夏休みファミリー新聞教室「家族で新聞を作ろう！」	講堂	40	読売新聞　奈良支局　（協力）
6	8 月 3 日	講演会	特別展「聖地南山城」キャンパスメンバーズ向け特別鑑賞会	講堂	103	
7	8 月 6 日	イベント	奈良仏像けんきゅー部南山城展	講堂	44	奈良国立博物館主催

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者（人）	備考
8	8月8日・9日	イベント	Daiwa Sakura Aid Concert in Nara National Museum 2023 音燈華	ピロティ	各日約400	奈良国立博物館・大和ハウス工業株式会社主催
9	8月12日	イベント	南山城展関連イベント「飛び出すほとけさま！サプライズボックスをつくろう～あけてひろがる！薬師の世界～」	地下回廊	39	奈良国立博物館・奈良教育大学大学院修士課程「伝統文化の継承と発信」主催
10	10月20日～23日	イベント	ムジークフェストなら2023における音楽と食を楽しむイベント「プロ―スト！ムジーク」	なら仏像館西側	13,084人（2日間）	ムジークフェストなら実行委員会 （協力）
11	10月30日	講演会	第75回正倉院展 研究員によるレクチャー	講堂	171/173	レクチャー付鑑賞券販売
12	11月2日	イベント	VR「正倉院 時を超える思い」	講堂	179/177/173/172	奈良国立博物館、TOPPAN主催 読売新聞社協力
13	11月3日	イベント	VR「正倉院 時を超える思い」	講堂	172/167/168/169	奈良国立博物館、TOPPAN主催 読売新聞社協力
14	11月6日	講演会	第75回正倉院展 賛助会員向け特別鑑賞会	講堂	104	
15	11月7日	講演会	第75回正倉院展 メンバーシップカード会員向け特別鑑賞会	講堂	163	
16	11月8日	講演会	第75回正倉院展 研究員によるレクチャー	講堂	173/171	レクチャー付鑑賞券販売
17	11月13日	講演会	第75回正倉院展 研究員によるレクチャー	講堂	172/164	レクチャー付鑑賞券販売
18	11月19日	イベント	近代化遺産全国一斉公開	仏教美術資料研究センター	187	
19	11月29日	法要	秋季仏像供養	なら仏像館 展示室	－	
20	1月11日	イベント	文化財保存修理所公開	講堂・文化財保存修理所	120	
21	1月30日	法要	冬季仏像供養	なら仏像館 展示室	－	
22	3月3日	イベント	音燈華 National museum Concert in Nara	仏教美術資料研究センター	130	主催 寧屋舎中合同会社 共催 奈良国立博物館

【九州国立博物館】

1) 会場提供 4件（イベント、講演会等）

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者（人）	備考
1	9月2日	講演・シンポジウム	養老孟司講演会	ミュージアムホール	100	主催：未来創造クラブ
2	11月28日～12月3日	展示	書道展	ミュージアムホール	―	主催：NPO法人国際ブリアー
3	1月21日	イベント	つくしのくにダンスフェスティバル	ミュージアムホール	400	主催：つくしのくにダンスフェスティバル実行委員会
4	1月24日	講座・セミナー	福岡県中部11市議会議員研修会	ミュージアムホール	220	主催：太宰府市議会

2) 館主催・協力イベント107件

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者（人）	備考
1	4月16日	イベント	太宰府門前真舞祭	屋外	980	主催：太宰府門前真舞祭実行委員会、太宰府天満宮、九州国立博物館
2	4月25日～5月28日	展示	特集展示「秋田蘭画ことはじめ」秋田県パネル展示	エントランス	―	主催：秋田県福岡事務所、九州国立博物館
3	4月29日	講演・シンポジウム	きゅーはく☆とっておき講座「秋田蘭画超入門」	ミュージアムホール	110	主催：九州国立博物館
4	5月5日	イベント	きゅーはくこどもの日まつり	ミュージアムホール/研修室/だざいふ園前広場	400	主催：九州国立博物館
5	5月5日	イベント	特集展示「秋田蘭画ことはじめ」秋田犬ふれあい処	屋外	―	主催：秋田県福岡事務所、九州国立博物館
6	5月5日～7日	イベント	特集展示「秋田蘭画ことはじめ」東北3県物産展	エントランス	―	主催：秋田県福岡事務所、九州国立博物館

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者（人）	備考
7	5月9日	イベント	太宰府高等学校衣装体験	研修室	17	主催：九州国立博物館
8	5月13日	講演・シンポジウム	特別展「アール・ヌーヴォーのガラス ガレとドームの自然賛歌」記念講演会	ミュージアムホール	166	主催：福岡県、西日本新聞社、RKB毎日放送、西日本新聞イベントサービス、九州国立博物館
9	5月14日	イベント	特別展「アール・ヌーヴォーのガラス ガレとドームの自然賛歌」関連　フランス映画上映会	ミュージアムホール	35	主催：福岡県、西日本新聞社、RKB毎日放送、西日本新聞イベントサービス、九州国立博物館
10	5月20日	講演・シンポジウム	特別展「アール・ヌーヴォーのガラス ガレとドームの自然賛歌」リレー講座	ミュージアムホール	68	主催：福岡県、西日本新聞社、RKB毎日放送、西日本新聞イベントサービス、九州国立博物館
11	5月28日	イベント	第九十八回親子で茶道体験	茶室	24	主催：九州国立博物館
12	6月3日	イベント	特別展「アール・ヌーヴォーのガラス ガレとドームの自然賛歌」関連　アクロス・ミュージアムコンサート	ミュージアムホール	675	主催：福岡県、アクロス福岡、西日本新聞社、RKB毎日放送、西日本新聞イベントサービス、九州国立博物館
13	6月7日	講演・シンポジウム	韓国国立扶餘博物館・国立公州博物館　研究者招聘記念講演	研修室	110	主催：九州国立博物館振興財団、九州国立博物館
14	6月24日	イベント	第九十二回はじめての茶道体験	茶室	14	主催：九州国立博物館
15	7月14日	イベント	きゅーはくカフェコンサート	エントランス	65	主催：福岡女子短期大学、九州国立博物館
16	7月15日	講演・シンポジウム	特別展「憧れの東洋陶磁 ― 大阪市立東洋陶磁美術館の至宝」第1回リレー講座	ミュージアムホール	91	主催：福岡県、大阪市立東洋陶磁美術館、読売新聞社、九州国立博物館
17	7月16日	ワークショップ	特別展「憧れの東洋陶磁 ― 大阪市立東洋陶磁美術館の至宝」　やきものワークショップ「家族でロクロ成形に挑戦！」	研修室	60	主催：福岡県、大阪市立東洋陶磁美術館、読売新聞社、九州国立博物館
18	7月22日､23日	イベント	きゅーはく子ども向け夏休みイベント「いこうよ！あじっぱ夏祭り」	ミュージアムホール/研修室/和室	600	主催：九州国立博物館
19	7月28日	講座・セミナー	学芸員研修会	研修室	50	主催：九州産業大学、九州国立博物館
20	7月29日、30日	イベント	特別展「憧れの東洋陶磁 ― 大阪市立東洋陶磁美術館の至宝」有田陶芸協会、佐賀県陶芸協会販売会	エントランス	―	主催：福岡県、大阪市立東洋陶磁美術館、読売新聞社、九州国立博物館
21	7月29日	講演・シンポジウム	特別展「憧れの東洋陶磁 ― 大阪市立東洋陶磁美術館の至宝」トークセッション	ミュージアムホール	232	主催：福岡県、大阪市立東洋陶磁美術館、読売新聞社、九州国立博物館
22	7月30日	イベント	篠笛ミュージアムコンサート・ワークショップ	ミュージアムホール/研修室	220	主催：九州国立博物館
23	8月1日	イベント	日中青少年書画交流大会	ミュージアムホール/エントランス	300	主催：九州日中文化協会、九州国立博物館
24	8月5日	イベント	全国高等学校歴史学フォーラム2023	ミュージアムホール	300	主催：九州国立博物館
25	8月5日	イベント	第九十九回親子で茶道体験	茶室	43	主催：九州国立博物館
26	8月6日	イベント	飾り山笠棒締め	エントランス	15	主催：博多祇園山笠振興会天神一丁目、九州国立博物館
27	8月10日～3月末	展示	飾り山笠展示	エントランス	―	主催：博多祇園山笠振興会天神一丁目、九州国立博物館
28	8月11日	ワークショップ	甕棺墓埋葬体験ワークショップ「やさしい日本語 de きゅーはく2023　王さまが死んだ！ 甕棺に入れよう」	ミュージアムホール	20	主催：九州国立博物館
29	8月12日	講演・シンポジウム	特別展「憧れの東洋陶磁 ― 大阪市立東洋陶磁美術館の至宝」第2回リレー講座	ミュージアムホール	88	主催：福岡県、大阪市立東洋陶磁美術館、読売新聞社、九州国立博物館
30	8月19日	イベント	夜の博物館たんけん隊	文化交流展示室	16	主催：九州国立博物館
31	8月19日､20日	イベント	特別展「憧れの東洋陶磁 ― 大阪市立東洋陶磁美術館の至宝」高取焼販売会	エントランス	―	主催：福岡県、大阪市立東洋陶磁美術館、読売新聞社、九州国立博物館
32	8月20日	イベント	特別展「憧れの東洋陶磁」関連「ねんドル岡田ひとみ」さんのトークライブ＆ねんど教室	ミュージアムホール/研修室	290	主催：九州国立博物館
33	8月22日～9月3日	イベント	特別展「憧れの東洋陶磁― 大阪市立東洋陶磁美術館の至宝」波佐見焼販売会	エントランス	―	主催：福岡県、大阪市立東洋陶磁美術館、読売新聞社、九州国立博物館

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者（人）	備考
34	8月22日～27日	イベント	伝統楽器琵琶の展示	エントランス	―	主催：九州国立博物館
35	8月24日	イベント	飾り山笠　御神入れ	エントランス	25	主催：博多祇園山笠振興会天神一丁目、九州国立博物館
36	8月27日	イベント	琵琶弾き語り演奏	ミュージアムホール	380	主催：九州国立博物館
37	9月2日	ワークショップ	視覚障がい者と楽しむ対話型鑑賞会	文化交流展示室	15	主催：九州国立博物館
38	9月12日～24日	展示	秋月藩・東蓮寺藩誕生400年記念事業パネル展	エントランス	―	主催：朝倉市、直方市、九州国立博物館
39	9月12日～24日	展示	太宰府天満宮七夕揮毫大会展示	エントランス	―	主催：太宰府天満宮、九州国立博物館
40	9月16日	講演・シンポジウム	きゅーはく☆とっておき講座「うるわしき祈りの美 － 高麗・朝鮮時代の仏教美術 －」	ミュージアムホール	76	主催：九州国立博物館
41	9月23日	講演・シンポジウム	特集展示「うるわしき祈りの美 － 高麗・朝鮮時代の仏教美術 －」記念講演会	ミュージアムホール	150	主催：九州国立博物館
42	9月30日	イベント	わくわくワークショップ「和とじで2024年ダイアリーを作ろう！」「クラフトバンドでコースターを作ろう！」	研修室	39	主催：九州国立博物館ボランティア
43	9月30日	イベント	第九十三回はじめての茶道体験	茶室	14	主催：九州国立博物館
44	10月2日	イベント	特別展「古代メキシコ －マヤ、アステカ、テオティワカン」開会式	ミュージアムホール/研修室	270	主催：福岡県、NHK福岡放送局・NHKエンタープライズ九州、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス、朝日新聞社、九州国立博物館
45	10月3日～11月19日	イベント	特別展「古代メキシコ －マヤ、アステカ、テオティワカン」メキシコ祭壇「オフレンダ」展示	エントランス	―	主催：福岡県、NHK福岡放送局・NHKエンタープライズ九州、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス、朝日新聞社、九州国立博物館
46	10月8日	ワークショップ	ガムランワークショップ～ジャワのガムラン演奏体験～	ミュージアムホール	28	主催：九州国立博物館
47	10月14日	講座・セミナー	崇城大学芸術学部「博物館実習」学外見学実習	研修室	11	主催：崇城大学、九州国立博物館
48	10月14日	イベント	特別展「古代メキシコ －マヤ、アステカ、テオティワカン」 子ども記者取材	研修室	10	主催：西日本新聞社、九州国立博物館
49	10月15日	ワークショップ	ワークショップアーティスト松下先生の版画教室「九博の杜で版画をつくろう！」	東屋	49	主催：九州国立博物館ボランティア
50	10月22日	イベント	特別展「古代メキシコ －マヤ、アステカ、テオティワカン」関連 死者の日フェスタ Viva! Mexico!「ビバ！メヒコ！」コンサート	ミュージアムホール	430	主催：九州国立博物館
51	10月28日	講演・シンポジウム	特別展「古代メキシコ －マヤ、アステカ、テオティワカン」リレー講座	ミュージアムホール	146	主催：福岡県、NHK福岡放送局・NHKエンタープライズ九州、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス、朝日新聞社、九州国立博物館
52	10月29日	ワークショップ	プロカメラマンが教えるスマホ教室「九博の杜をスマートフォンで撮ってみよう！」	東屋・研修室	43	主催：九州国立博物館ボランティア
53	11月3日	イベント	特別展「古代メキシコ －マヤ、アステカ、テオティワカン」関連 死者の日フェスタ あんみつ姫ステージ	ミュージアムホール	530	主催：福岡県、NHK福岡放送局・NHKエンタープライズ九州、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス、朝日新聞社、九州国立博物館
54	11月3日	イベント	令和5年度留学生イベント「メキシコ旅行 in 九博」	研修室	11	主催：九州国立博物館
55	11月3日	イベント	特別展「古代メキシコ －マヤ、アステカ、テオティワカン」関連 死者の日フェスタ マーチングバンド演奏会	屋外	200	主催：福岡県、NHK福岡放送局・NHKエンタープライズ九州、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス、朝日新聞社、九州国立博物館
56	11月4日､5日	ワークショップ	特別展「古代メキシコ －マヤ、アステカ、テオティワカン」関連 死者の日フェスタ お面・ピニャータワークショップ	研修室/エントランス	554	主催：福岡県、NHK福岡放送局・NHKエンタープライズ九州、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス、朝日新聞社、九州国立博物館
57	11月11日	ワークショップ	衣装体験イベント「古代人に変身！」	ミュージアムホール/研修室	70	主催：九州国立博物館
58	11月12日	講座・セミナー	特別展「古代メキシコ －マヤ、アステカ、テオティワカン」九州国立博物館を愛する会　講座	研修室	60	主催：九州国立博物館を愛する会、九州国立博物館

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者（人）	備考
59	11月12日	イベント	九州国立博物館杯　第19回さいふごま大会	ミュージアムホール	55	主催：九州国立博物館
60	11月15日	イベント	特別展「古代メキシコ　ーマヤ、アステカ、テオティワカン」関連　トレン・ウイカニ＆今村夏海コンサート	ミュージアムホール	290	主催：メキシコ大使館、九州国立博物館
61	11月15日	イベント	MOA美術展　審査会	研修室	40	主催：MOA美術館、九州国立博物館
62	11月21日～12月3日	展示	宮地嶽第56回光の道全国競書大会	エントランス	—	主催：宮地嶽神社、九州国立博物館
63	11月18日	講演・シンポジウム	第67回埋蔵文化財研究集会	ミュージアムホール	30	主催：九州国立博物館
64	11月19日	ワークショップ	みんなdeきゅーはくを楽しもう‼模型de博物館たんけん隊	文化交流展示室	22	主催：九州国立博物館
65	11月23日	ワークショップ	みんなdeきゅーはくを楽しもう‼視覚障がい者向けガムランワークショップ	ミュージアムホール	10	主催：九州国立博物館
66	11月25日	ワークショップ	ボランティア　おりぞめノートをつくろう！ワークショップ	研修室	50	九州国立博物館ボランティア
67	11月25日	イベント	夜の博物館たんけん隊	文化交流展示室	32	主催：九州国立博物館
68	11月25日､26日	イベント	鬼凧絵付けワークショップ	ミュージアムホール	100	主催：九州国立博物館
69	11月26日	イベント	もみじ茶会	茶室	41	主催：九州国立博物館
70	11月29日	講座・セミナー	防災事業研究会	研修室	50	主催：九州国立博物館
71	12月2日	ワークショップ	ワークショップ　かりかりスクレイプ「～掻落しに挑戦！～」	研修室	40	主催：九州国立博物館
72	12月9日､10日	イベント	ミニ万博in福岡	ミュージアムホール/研修室	900	主催：筑陽学園高等学校、九州国立博物館
73	12月9日､10日	イベント	鬼凧絵付けワークショップ	エントランス	100	主催：九州国立博物館
74	12月12日～17日	展示	第39回筑紫地区中学校美術展	エントランス	—	主催：筑紫地区中学校美術教育研究会、九州国立博物館
75	12月15日	イベント	きゅーはくカフェコンサート	エントランス	92	主催：福岡女子短期大学・九州国立博物館
76	12月16日	イベント	絵本読み聞かせ「朗読とギターで奏でる物語」	ミュージアムホール	240	主催：九州国立博物館
77	12月16日	ワークショップ	クリスマスキャンドルワークショップ	研修室	75	主催：九州国立博物館
78	12月17日	講演・シンポジウム	アリ先生の特別講演「アリ語で寝言を言った！」	ミュージアムホール	100	主催：九州国立博物館ボランティア
79	12月17日	ワークショップ	ワークショップ「折形の木の花包みで正月飾りを作りましょう！」「干支のご祝儀袋を作ろう！」	研修室	39	主催：九州国立博物館ボランティア
80	12月23日	ワークショップ	視覚障がい者と楽しむ対話型ワークショップ	研修室	13	主催：九州国立博物館
81	1月1日～28日	展示	正月イベント　鬼凧展示	エントランス	—	主催：九州国立博物館
82	1月2日､3日	イベント	正月イベント　書初め	エントランスカフェ前	780	主催：九州国立博物館
83	1月3日	イベント	正月イベント　新春四重奏コンサート	ミュージアムホール	270	主催：九州国立博物館
84	1月5日	講座・セミナー	九州産業大学「新春は九博で博物館浴しよう！」	研修室	20	主催：九州産業大学、九州国立博物館
85	1月8日	講演・シンポジウム	きゅーはく☆とっておき講座「初音の調度」	ミュージアムホール	70	主催：九州国立博物館
86	1月10日～14日	展示	MOA美術館児童作品展	エントランス	—	主催：MOA美術館、九州国立博物館
87	1月13日	イベント	新春特別企画　韓国のすごろく「ユンノリ」で遊ぼう！	ミュージアムホール/研修室/和室	—	主催：九州国立博物館
88	1月14日	イベント	MOA美術館児童作品展 表彰式	ミュージアムホール	300	主催：MOA美術館、九州国立博物館
89	1月20日	ワークショップ	ワークショップ　かりかりスクレイプ「～掻落しに挑戦！～」	研修室	41	主催：九州国立博物館
90	1月23日～28日	イベント	アイヌ文化発信パフォーマンス	ミュージアムホール/研修室/エントランス	558	主催：北海道庁アイヌ政策推進局、九州国立博物館
91	1月27日	イベント	第九十四回はじめての茶道体験	茶室	18	主催：九州国立博物館

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者（人）	備考
92	2月3日	講演・シンポジウム	九州国立博物館「大宰府学研究」事業シンポジウム　大宰府と坂道を考える。- つづら折りの官道と古代の坂越え -	ミュージアムホール	140	主催：九州国立博物館
93	2月5日	イベント	特別展「生誕270年　長沢芦雪 - 若冲、応挙につづく天才画家 - 」開会式	ミュージアムホール	200	主催：福岡県、長沢芦雪福岡展実行委員会、九州国立博物館
94	2月6日～3月31日	イベント	芦雪展　関連展示（映像放映）	エントランス	—	主催：福岡県、長沢芦雪福岡展実行委員会、九州国立博物館
95	2月10日	講演・シンポジウム	令和の万葉大茶会 講演会	ミュージアムホール	288	主催：令和の万葉大茶会実行委員会、九州国立博物館
96	2月10日	イベント	第百回親子で茶道体験	茶室	10	主催：九州国立博物館
97	2月11日	講演・シンポジウム	特別展「生誕270年　長沢芦雪 - 若冲、応挙につづく天才画家 - 」記念講演会	ミュージアムホール	244	主催：福岡県、長沢芦雪福岡展実行委員会、九州国立博物館
98	2月11日	ワークショップ	日比野克彦ワークショップ	研修室	40	主催：NPO法人太宰府アートのたね、九州国立博物館
99	2月12日	イベント	特別展「生誕270年　長沢芦雪 - 若冲、応挙につづく天才画家 - 」三遊亭わん丈　寄席	ミュージアムホール	173	主催：福岡県、長沢芦雪福岡展実行委員会、九州国立博物館
100	2月14日～18日	展示	九州女子大学第56回卒業書作展	エントランス	—	主催：九州女子大学、九州国立博物館
101	2月17日	イベント	夜の博物館たんけん隊	文化交流展示室	34	主催：九州国立博物館
102	2月17日､18日	ワークショップ	日本の伝統芸能＆キッズ体験	ミュージアムホール	213	主催：九州国立博物館
103	2月23日～25日	展示	UBE ビエンナーレPR展	エントランス	—	主催：宇部市、UBEビエンナーレ、九州国立博物館
104	2月23日	ワークショップ	ワークショップ「九博の杜のブローチづくり体験」「和とじの冊子をつくろう」	研修室	100	主催：九州国立博物館ボランティア
105	2月27日～3月10日	展示	筑紫地区文化財写真展	エントランス	—	主催：筑紫地区社会教育振興協議会、九州国立博物館
106	3月2日	イベント	手話通訳付きバックヤードツアー	研修室	31	主催：九州国立博物館
107	3月23日､24日	イベント	きゅーはく さくらまつり	エントランス/茶室	520	主催：九州国立博物館

1-(3)-② 有形文化財に関する情報の発信と広報の充実

1-(3)-②-1 収蔵品に関する資料等のデジタル化件数（収蔵品写真（フィルム）等のデジタル化件数）

（前述の資料に記載）1-(1)-③-2 収蔵品等に関する資料等のデジタル化件数（収蔵品写真（フィルム）等のデジタル化件数）

1-(3)-②-2 収集した情報資料数（総数）

令和6年3月31日現在

		東京国立博物館		京都国立博物館		奈良国立博物館		九州国立博物館		皇居三の丸尚蔵館	
		5年度新規	総数	5年度新規	総数	5年度新規	総数	5年度新規	総数	5年度新規	総数
写真原板（フィルム）		179件	324,167件	0件	257,681件	0件	361,503件	0件	23,622件	520件	7,520件
デジタル撮影		15,184件	170,889件	7,484件	73,717件	2,357件	66,953件	2,093件	40,386件	2,561件	43,114件
資料	模造	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	模写	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	その他	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	1件
	計	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
図書	和書	4,155冊	231,655冊	1,584冊	157,864冊	1,337冊	98,144冊	3,216冊	209,646冊	341冊	19,714冊
	漢書	363冊	42,428冊	119冊	22,660冊	21冊	5,406冊	0冊	0冊	0冊	0冊
	洋書	261冊	15,742冊	41冊	4,842冊	22冊	2,135冊	42冊	3,129冊	3冊	274冊
	計	4,779冊	289,825冊	1,744冊	185,366冊	1,380冊	105,685冊	3,258冊	212,775冊	344冊	19,988冊
映画フィルム		0巻	0巻	0巻	0巻	0巻	30巻	0巻	0巻	0巻	0巻
スライド		0本	0本	0本	26本	0本	21本	0本	0本	0本	0本
		0コマ	0コマ	0コマ	2,779コマ	0コマ	2,192コマ	0コマ	12コマ	0コマ	0コマ
マイクロフィルム		0巻	3,601巻	0巻	643巻	0巻	68巻	0巻	515巻	0巻	146巻

東京国立博物館資料館の利用者数（過去5年間）

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
開館日数	204日	177日	122日	173日	227日
利用者数	4,080人	1,219人	1,103人	2,172人	3,373人
閉架図書（閲覧）	4,649件	4,151件	3,112件	3,680件	4,491件
マイクロフィルム（閲覧）	398件	507件	189件	372件	541件
レファレンスサービス	5,152件	1,954件	1,934件	2,413件	2,429件
レファレンス協同データベース被参照数	1,764件	3,474件	94,505件	81,255件	66,127件
コピーサービス	27,286枚	23,331枚	19,540枚	23,754枚	27,751枚

※新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言発出に伴い元年度は2月7日～3月31日、2年度は4月1日～6月1日、3年度は4月25日～5月31日に臨時休館した。開館時間も前後1時間短縮し、10:30～16:00開館とした。

また、同じく感染拡大防止のため、2年度6月2日から予約制・人数制限の下で再開、2月15日からは開館日を週3日に減らして開館し、3年度も週3日開館を継続した。4年度は10月18日から週5日開館とし、1月4日から予約制を撤廃、開館時間も9:30～17:00に戻した。

1-(3)-②-3 特別観覧件数

申請件数

令和6年3月31日現在

区分	国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館			皇居三の丸尚蔵館		
	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料
合計	453	6	447	133	1	132	123	3	120	71	2	69	118	0	118	8	0	8
写真撮影	132	3	129	1	1	0	44	2	42	30	0	30	57	0	57	0	0	0
映画撮影	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
テレビ撮影							0	0	0		1	0	0	0	0	0	0	0
ビデオ撮影							0	0	0				0	0	0	0	0	0
模写	6	0	6	2	0	2	0	0	0	3	0	3	1	0	1	0	0	0
模造							0	0	0				0	0	0	0	0	0
熟覧	314	2	312	130	0	130	79	1	78	37	1	36	60	0	60	8	0	8

点数

令和6年3月31日現在

区分	国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館			皇居三の丸尚蔵館		
	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料
合計	2,333	11	2,322	774	1	773	289	4	285	443	6	437	822	0	822	5	0	5
写真撮影	692	4	688	1	1	0	111	3	108	188	0	188	392	0	392	0	0	0
映画撮影	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
テレビ撮影							0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0
ビデオ撮影							0	0	0				0	0	0	0	0	0
模写	7	0	7	3	0	3	0	0	0	3	0	3	1	0	1	0	0	0
模造							0	0	0				0	0	0	0	0	0
熟覧	1,631	4	1,627	770	0	770	178	1	177	249	3	246	429	0	429	5	0	5

1-(3)-②-4 画像利用件数（フィルムを含む）

申請件数

令和6年3月31日現在

区分			国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館			皇居三の丸尚蔵館		
			合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料
画像利用	フィルムでの提供	モノクロ	0	0	0	（画像提供業務を外部へ委託）									0	0	0	0	0	0
		カラー	0	0	0										0	0	0	0	0	0
	デジタルデータ提供	モノクロ	1,071	694	377		664	500	164	295	135	160	0	0	0	0	0	0	0	0
		カラー											82	38	44	30	21	9
	プリントでの提供	モノクロ	36	33	3		36	33	3	0	0	0				0	0	0	0	0
		カラー	2	0	2		0	0	0	2	0	2				0	0	0	0	0
画像再利用			142	92	50					108	75	33	10	8	2	24	9	15		

点数

令和6年3月31日現在

区分			国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館			皇居三の丸尚蔵館		
			合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料
画像利用	フィルムでの提供	モノクロ	0	0	0	（画像提供業務を外部へ委託）									0	0	0	0	0	0
		カラー	0	0	0										0	0	0	0	0	0
	デジタルデータ提供	モノクロ	5,459	1,782	3,677		3,364	1,319	2,045	1,585	285	1,300	0	0	0	0	0	0	0	0
		カラー											293	70	223	217	108	109		
	プリントでの提供	モノクロ	72	62	10		72	62	10	0	0	0				0	0	0	0	0
		カラー	10	0	10		0	0	0	10	0	10				0	0	0	0	0
画像再利用			542	233	309					317	138	179	11	9	2	214	86	128		

1-(3)-②-5 広報実績一覧
【本部文化財活用センター】

・東京国立博物館創立150年記念 踊る埴輪＆見返り美人 修理プロジェクト

会期	—
ターゲット	一般の美術愛好者、若年層
重点項目	ライトユーザー
特記事項	—
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	—
交通広告	—
新聞・雑誌広告	—
テレビ広告	—
「東京国立博物館ニュース」掲載	2回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブサイト特設ページでの紹介、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計4回、東博ブログでの紹介計2回、東博Twitterの情報発信計1回
その他	アットPressによるプレスリリース配信
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	—
テレビ、ラジオ	—
雑誌	—
インターネットメディア	livedoor、Dtimes、ニコニコニュース、NewsPicks、@nifty ニュース、ほか57媒体
その他	—

・文化財活用センター5周年

会期	4月1日（金）～6年3月31日(日)
ターゲット	一般の美術愛好者、関係者
重点項目	—
特記事項	—
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	—
交通広告	—
新聞・雑誌広告	—
テレビ広告	—
「東京国立博物館ニュース」掲載	—
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計9回、ぶんかつブログでの紹介計1回
その他	アットPressによるプレスリリース配信、記者懇談会の実施
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	—
テレビ、ラジオ	—
雑誌	—
インターネットメディア	LINE NEWS、livedoor、@nifty ニュース、ニコニコニュース、NewsPicks、ノアドット　ほか計51媒体
その他	—

・〈冬木小袖〉修理プロジェクト

会期	—
ターゲット	一般の美術愛好者、若年層
重点項目	ライトユーザー
特記事項	—
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	—
交通広告	—
新聞・雑誌広告	—

テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブサイト特設ページでの紹介、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計8回、ぶんかつブログでの紹介計2回、ぶんかつYoutubeでの動画公開1件
その他	アットPressによるプレスリリース配信
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	日本経済新聞1回
テレビ、ラジオ	―
雑誌	美しいキモノ（2023秋）
インターネットメディア	livedoor、いこーよ、レッツエンジョイ東京、ニコニコニュース、Mogura VR　ほか54媒体
その他	―

・ひかり拓本プロジェクト

会期	―
ターゲット	美術・歴史・考古系愛好者・文化財防災関係者
重点項目	コアユーザー―
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブサイト特設ページでの紹介、奈文研ウェブサイトイベントページでの紹介、奈文研SNSの情報発信（Facebook）計1回、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計2回
その他	NEWSCASTによるプレスリリース配信
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	読売新聞、日本経済新聞 計3回
テレビ、ラジオ	J-WAVE「JAM THE PLANET」、NHK津放送局
雑誌	―
インターネットメディア	奈良新聞デジタル、読売新聞オンライン、日本経済新聞電子版
その他	クラウドファンディングサービス「READYFOR」の情報発信計7回

・ColBase活用に関する広報動画「あつ森でわかる！やきものの世界」公開

会期	12月21日（木）～
ターゲット	ゲーム愛好者、子ども、一般の美術愛好者
重点項目	ゲーム愛好者、ライトユーザー
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブページでの紹介、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram/YouTube)計3回、ぶんかつブログでの紹介計1回
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―
インターネットメディア	―
その他	―

・デジタル法隆寺宝物館

会期	4月1日（土）～6年3月31日（日）※通期展示
ターゲット	一般の美術愛好者、外国人、国内外観光旅行者
重点項目	外国人日本美術愛好者、国内外観光客
特記事項	—
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	チラシ・リーフレット館内配布、ポスター・サイネージ掲示
交通広告	—
新聞・雑誌広告	—
テレビ広告	—
「東京国立博物館ニュース」掲載	—
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブ展示イベントページでの紹介、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計7回、ぶんかつブログでの紹介計1回
その他	文化財活用センター5周年記者懇談会と併せた内覧会の実施、SNS（X（旧Twitter）／Instagram）広告出稿
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	南日本新聞
テレビ、ラジオ	Design×Stories（NHK World Japan）
雑誌	月刊部落解放8月号
インターネットメディア	アートアジェンダ　展覧会情報
その他	—

・G20ニューデリー・サミット（インド）での冬木小袖（複製）およびデジタル画像、「〈冬木小袖〉ミク」のフィギュアの展示

会期	9月9日（土） ～ 9月27日（水）
ターゲット	海外要人、国際会議参加者、海外プレス関係者、外国人日本美術愛好者
重点項目	海外要人、国際会議参加者、海外プレス関係者
特記事項	—
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	—
交通広告	—
新聞・雑誌広告	—
テレビ広告	—
「東京国立博物館ニュース」掲載	—
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	—
その他	アットPressによるプレスリリース配信（同内容のプレスリリースを、「〈冬木小袖〉ミク」のフィギュアに関係するクリプトン・フューチャー・メディア（株）、（株）グッド・スマイル・カンパニーからも配信）、インド文化庁によるプレスリリース配信
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	The Indian Express
テレビ、ラジオ	DD INDIA
雑誌	—
インターネットメディア	NEWS18、News Track、India TV、Hindustan Times、Greek city time
その他	—

・G7広島サミット「国際メディアセンター（IMC）」高精細複製屏風にプロジェクションマッピング等展示

会期	5月18日（木）～5月27日（土）
ターゲット	海外要人、国際会議参加者、海外プレス関係者、外国人日本美術愛好者
重点項目	海外要人、海外プレス関係者
特記事項	—
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等

ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブサイトでの紹介、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計10回、ぶんかつYouTubeチャンネルでの配信1回
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	TBS「Nスタ」
雑誌	―
インターネットメディア	広島テレビ／日テレYoutubeライブ、The Japan Times
その他	G7公式X（旧Twitter）、文化庁X（旧Twitter）（ぶんかる）、文化庁Facebook、文科省インスタグラム、Japan Expo X（旧Twitter）

・びじゅチューン！×横浜トリエンナーレ　なりきり美術館

会期	6年3月15日（金）～4月7日（日）
ターゲット	ファミリー、ビギナー、一般の美術愛好者
重点項目	ファミリー
特記事項	横浜トリエンナーレ　関連イベントとして実施
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	横浜市内（中区・西区・神奈川区）小学校へチラシの送付
交通広告	みなとみらい線　駅構内広告　3/18～3/31、横浜市営地下鉄ブルーライン車内広告　3/1～3/31
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブ展示イベントページでの紹介、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)、ぶんかつブログでの紹介
その他	アットPressによるプレスリリース配信
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	「首都圏ネットワーク」（3/14）、「はま☆キラ！」(3/29)
雑誌	―
インターネットメディア	NHK横浜放送局ウェブサイト、NHK横浜「かながわ情報羅針盤」（WEB掲載記事）、横浜トリエンナーレ公式ウェブサイト、その他NHK首都圏ナビ、livedoor、@nifty ニュース、レッツエンジョイ東京、ニコニコニュースなど62媒体
その他	井上涼　INOUE Ryo氏 twitter アカウント@kitsutsukijanai

・８Ｋで楽しむ国宝屏風「洛中洛外　京めぐり」

会期	6年3月19日（火）～4月7日（日）
ターゲット	一般の美術愛好者、外国人、国内外観光旅行者
重点項目	聴覚障がい者、外国人
特記事項	2022年に公開されたコンテンツにインクルーシブサービスを追加した改修版の公開実証実験
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	東博ウェブサイト（イベントページ）での紹介、ぶんかつウェブ展示イベントページでの紹介、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)、ぶんかつブログでの紹介
その他	アットPressによるプレスリリース配信

②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	—
テレビ、ラジオ	—
雑誌	—
インターネットメディア	livedoor、ノアドット、徳島新聞Web、毎日新聞、レッツエンジョイ東京、NewsPicks、ニコニコニュース、Dtimes　ほか53媒体
その他	—

・5年度国立博物館収蔵品貸与促進事業実施について

会期	7月8日（土）～6年4月7日（日）（全国7施設にて開催）
ターゲット	各開催会場来場者、古美術愛好者、歴史愛好者、ファミリー層、小学生などの子どもとその親、観光客
重点項目	一般媒体、開催地域の地元向け媒体、インターネット媒体
特記事項	貸与促進事業全体の活動周知を目的とする広報
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	開催会場に貸与促進事業の説明及び年間の事業実施会場について掲載したパネルを掲出
交通広告	—
新聞・雑誌広告	—
テレビ広告	—
「東京国立博物館ニュース」掲載	—
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブサイトでの紹介、ぶんかつSNS(X（旧Twitter）/Instagram)での情報発信、ぶんかつブログでの紹介
その他	—
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	—
テレビ、ラジオ	—
雑誌	美術の窓
インターネットメディア	—
その他	—

・5年度貸与促進事業　市立岡谷美術考古館　「天王垣外遺跡の勾玉・管玉　～東京国立博物館から115年ぶりの里帰り～」

会期	7月15日（土） ～ 9月18日（月）
ターゲット	古美術愛好者、近代美術愛好者、歴史愛好者、ファミリー層、小学生などの子どもとその親、観光客
重点項目	開催地域の地元向け媒体、インターネット媒体、一般の美術愛好者向け雑誌媒体
特記事項	（※）は、文化財活用センターから支出された広報費による掲出
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	ポスター・チラシ
交通広告	—
新聞・雑誌広告	信濃毎日新聞（※）
テレビ広告	テレビＣＭ（※）
「東京国立博物館ニュース」掲載	—
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブサイトでの紹介、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計5回、ぶんかつブログでの紹介計1回
その他	—
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	—
テレビ、ラジオ	NHK信州
雑誌	—
インターネットメディア	—
その他	—

・5年度貸与促進事業　山口県立山口博物館　「やまぐち大考古博―みよう、ふれよう、やまぐちの3000年―」

会期	7月21日（金） ～ 9月3日（日）
ターゲット	古美術愛好者、近代美術愛好者、歴史愛好者、ファミリー層、小学生などの子どもとその親、観光客
重点項目	開催地域の地元向け媒体、インターネット媒体、一般の美術愛好者向け雑誌媒体
特記事項	（※）は、文化財活用センターから支出された広報費による掲出
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	ポスター・チラシ
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	テレビＣＭ
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブサイトでの紹介、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計7回、ぶんかつブログでの紹介計1回
その他	松村邦洋氏（山口ふるさと大使）他によるスペシャルトークショー（※）
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	山口新聞、宇部日報
テレビ、ラジオ	山口朝日放送
雑誌	―
インターネットメディア	松村邦洋氏（山口ふるさと大使）によるYouTube動画配信（※）
その他	サンデー山口（フリーペーパー）

・5年度貸与促進事業　広島県立歴史民俗資料館　「三次鵜飼と日本の鵜飼」

会期	10月6日（金） ～ 11月26日（日）
ターゲット	古美術愛好者、近代美術愛好者、歴史愛好者、ファミリー層、小学生などの子どもとその親、観光客
重点項目	開催地域の地元向け媒体、インターネット媒体、一般の美術愛好者向け雑誌媒体
特記事項	（※）は、文化財活用センターから支出された広報費による掲出
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	ポスター・チラシ
交通広告	―
新聞・雑誌広告	中国新聞（※）
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブサイトでの紹介、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計5回、ぶんかつブログでの紹介計1回
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―
インターネットメディア	―
その他	―

・5年度貸与促進事業　兵庫県立美術館　「生誕180年記念　呉昌碩の世界ー海上派と西泠名家ー」

会期	6年1月13日（土） ～ 4月7日（日）
ターゲット	古美術愛好者、近代美術愛好者、歴史愛好者、ファミリー層、小学生などの子どもとその親、観光客
重点項目	開催地域の地元向け媒体、インターネット媒体、一般の美術愛好者向け雑誌媒体
特記事項	（※）は、文化財活用センターから支出された広報費による掲出
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―

テレビ広告	—
「東京国立博物館ニュース」掲載	—
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブサイトでの紹介、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計5回、ぶんかつブログでの紹介計1回、Facebook・Instagram広告（※）
その他	兵庫県立美術館広報紙「HART」122号
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	—
テレビ、ラジオ	—
雑誌	—
インターネットメディア	—
その他	—

・5年度貸与促進事業　下関市立美術館　「開館40周年記念特別展　狩野芳崖、継がれる想い―悲母観音からはじまる物語」

会期	2024年2月6日（火） ～ 3月17日（日）
ターゲット	古美術愛好者、近代美術愛好者、歴史愛好者、ファミリー層、小学生などの子どもとその親、観光客
重点項目	開催地域の地元向け媒体、インターネット媒体、一般の美術愛好者向け雑誌媒体
特記事項	（※）は、文化財活用センターから支出された広報費による掲出
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	ポスター・チラシ
交通広告	デジタルサイネージ（※）
新聞・雑誌広告	毎日新聞
テレビ広告	—
「東京国立博物館ニュース」掲載	—
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブサイトでの紹介、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計5回、ぶんかつブログでの紹介計1回
その他	下関市立美術館広報紙「潮流」139号
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	—
テレビ、ラジオ	—
雑誌	—
インターネットメディア	—
その他	—

【東京国立博物館】
(1) 総合文化展（平常展）

・「博物館でお花見を」

会期	3月14日（火）～4月9日（日）（24日間）
ターゲット	比較的外出する傾向にあり、SNSを多用している若年層。一般の美術愛好家
重点項目	一般のマスコミ及びインターネット・SNSによる情報提供
特記事項	
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	館内掲示用ポスター作成
交通広告	デジタルサイネージ：JR上野駅（公園口）
新聞・雑誌広告	—
テレビ広告	—
「東京国立博物館ニュース」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジン・SNSでの情報配信など。
その他	SNS広告（TikTok、Twitter、Instagram、Facebook。静止画を配信）、アットプレスによるリリース発信

②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	財経新聞、毎日新聞
テレビ、ラジオ	J:COM11チャンネル台東区広報番組「ニュースたいとう」
雑誌	—
インターネットメディア	Newsweek、読売新聞オンライン、徳島新聞Web、LINEニュース、NewsPicks、FASHION PRESS、livedoor など
その他	—

▪「博物館でアジアの旅」

会期	9月26日（火）～10月22日（日）　（24日間）
ターゲット	一般の東洋美術愛好家、小学生などの子どもとその親、若年層（学生など）
重点項目	一般のマスコミ及びインターネット・SNSによる情報提供
特記事項	
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	館内掲示用にポスターのみ作成
交通広告	デジタルサイネージ：JR上野駅（公園口）
新聞・雑誌広告	—
テレビ広告	—
「東京国立博物館ニュース」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事3回、メールマガジン・SNSでの情報配信など。
その他	SNS広告（Instagram、Facebook、TikTok。動画、静止画を配信）、アットプレスによるリリース発信
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	—
テレビ、ラジオ	—
雑誌	—
インターネットメディア	読売新聞オンライン、毎日新聞でジタル、Tokyo Art Beat、ファッションプレス、インターネットミュージアム、NPO法人青山デザインフォーラム、Padograph ほか
その他	—

▪「博物館に初もうで」

会期	6年1月2日（火）～1月28日（日）（24日間）
ターゲット	一般の美術愛好家、小学生などの子どもとその親、若年層（学生など）、在日外国人
重点項目	一般のマスコミ及びインターネット・SNSによる情報提供
特記事項	
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	館内掲示用にポスターのみ作成
交通広告	デジタルサイネージ：JR上野駅（公園口）
新聞・雑誌広告	—
テレビ広告	—
「東京国立博物館ニュース」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジン・SNSでの情報配信など
その他	SNS広告（Instagram、Facebook、TikTok）、アットプレスによるリリース発信
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	朝日新聞、読売新聞、東京新聞、日本経済新聞、しんぶん赤旗、新美術新聞
テレビ、ラジオ	台東区ケーブルテレビ、J-WAVE
雑誌	—
インターネットメディア	JR西日本おでかけガイド、じゃらんnet、ぶんかる、TimeOut、美術展ナビ、ARTnewsJAPAN、Walker＋、サンケイリビングweb、ファッションプレス、インターネットミュージアム、うえのWEB版、Padograph、Sfumart　ほか
その他	—

・特集「生誕180年記念　呉昌碩の世界―金石の交わり―」

会期	6年1月2日（火）～3月17日（日）（66日間）
ターゲット	書道家、書道ファン
重点項目	篆刻について一般の興味を喚起し、書作品への一般の理解を深める
特記事項	6年1月9日、報道内覧会実施
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	チラシ約5,000件(美術館・博物館等)に送付、館内配布
交通広告	駅貼り(JR上野・鶯谷)
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、ブログ関連記事3回予定、メールマガジン・SNSでの情報配信
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	毎日新聞（2/29夕刊）、読売新聞（3/6）
テレビ、ラジオ	ニュースたいとう「台東かわらばん」
雑誌	匠出版「書21」
インターネットメディア	サンケイリビング社「リビング東京Web」
その他	―

(2) 特別展、共催展等

・特別展「東福寺」

会期	3月7日（火）～5月7日（日）（56日間）
ターゲット	仏教美術ファン、日本文化・美術愛好家全般
重点項目	マスコミ及び交通広告、新聞広告等による広く一般への情報提供
特記事項	
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約8,000件(美術館・博物館、古美術骨董、各種教室等)に送付、館内配布
交通広告	JR山手線ボード22駅22面、東京メトロB1ポスター駅貼り12駅16面、東京メトロ出口広告(上野・新宿・銀座駅)、京王電鉄ポスター駅貼り計100枚、アトレ上野柱巻・フラッグ
新聞・雑誌広告	読売新聞（全国版）社告6回（1/5、2/5、2/22、3/4、3/7、4/3）、朝日新聞（東京版）社告1回（3/15）
テレビ広告	BS日テレ、NHK展覧会紹介
「東京国立博物館ニュース」掲載	告知3回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、当館メールマガジンでの情報配信、公式サイト・共催者(読売新聞社、NHK、NHKプロモーション)ウェブサイトでの紹介 SNS:公式ツイッター、「紡ぐ」公式ツイッター、当館ツイッター・フェイスブックでの情報発信　ほか
その他	SNS広告実施4回（計48日間）
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	読売新聞、朝日新聞、産経新聞、毎日新聞、日本経済新聞宗教新聞　ほか
テレビ、ラジオ	NHK「日曜美術館」、BS日テレ「ぶらぶら美術・博物館」、テレビ東京系「新美の巨人たち」、テレビ東京系「出没！アド街ック天国」
雑誌	新潮社「芸術新潮2022年12月号」「芸術新潮2023年4月号」(全巻特集)、生活の友社「美術の窓2022年12月号」「美術の窓2022年3月号」(巻頭特集)、小学館「サライ2023年2月号」(特集)「和楽2023年3月号」、日経BPマーケティング「日経おとなのOFF別冊 2022年絶対見逃せない美術展」、JR東日本「大人の休日倶楽部」、時空旅人「大人が観たい美術展2022」、メディカルクオール「月刊メディカルクオール4月号」ほか
インターネットメディア	読売新聞「紡ぐプロジェクトWeb」「美術展ナビ」、小学館「和楽WEB」、共同通信社「東京ウオッチ」、美術出版社「美術手帖」、リクルート「じゃらん」ほか
その他	―
③報道発表会	
実施日	2022年11月2日（平成館大講堂）
人数等	52名出席
④報道内覧会	
実施日	①2023年3月6日（月）　②2023年4月10日（月）
人数等	①163名出席　②15名名出席

・特別展「古代メキシコ ―マヤ、アステカ、テオティワカン」

会期	6月16日（金）～9月3日(日)（70日間）
ターゲット	一般の美術愛好家
重点項目	マスコミ及び交通広告、新聞広告等による広く一般への情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約3,500件（美術館・博物館・マスコミ等)に送付、館内配布
交通広告	JR山手線ボード、15秒交通広告、車内中吊り掲出　ほか
新聞・雑誌広告	朝日新聞朝刊にて特集（6月15日、7月1日・12日）、朝日新聞朝刊テレビ欄広告（6月16日）ほか
テレビ広告	NHK展覧会紹介　ほか
「東京国立博物館ニュース」掲載	告知2回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事4回、メールマガジンでの情報配信、公式サイト・共催者(朝日新聞社、NHKG)ウェブサイトでの紹介 SNS:公式Twitter、当館Twitter・Facebook・Instagramでの情報発信
その他	・SNS広告
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	朝日新聞、日本経済新聞　ほか
テレビ、ラジオ	テレビ朝日「グッド！モーニング」（6/16）、NHK BS8K「生と死、古代メキシコの世界へ！」（7/16）、BS日テレ「ぶらぶら美術・博物館」（7/26）、NHK日曜美術館アートシーン（7/30）、NHK「上白石萌音のはるかなる古代文明 マヤ」（8/10）、TOKYO FM「山田五郎と中川翔子のリミックスZ」（8/6、13、20）、ラジオ日本「真夜中のハーリー＆レイス」（8/13）ほか
雑誌	時空旅人（プラネットライツ、5月号））、宝島社MOOK 最新版！古代メキシコ文明（宝島社、5/9発売）、美術の窓（生活の友社、6月号）、ムー（ワン・パブリッシング、7月号）、ニュータイプ（KADOKAWA、9月号）ほか
インターネットメディア	産経新聞社「産経ニュース」（5/18）、イープラス「SPICE）、共同通信社「エンタメOVO」、ソシオコーポレーション「ロケットニュース24」、小学館「Kufura」　ほか
その他	―
③報道発表会	
実施日	2月1日（平成館大講堂）
人数等	29媒体　37名出席
④報道内覧会	
実施日	6月15日
人数等	232名出席

・「横尾忠則　寒山百得」展

会期	9月12日（火）～12月3日（日）（72日間）
ターゲット	現代美術愛好家全般、横尾忠則ファン
重点項目	マスコミ及び交通広告、新聞広告等による広く一般への情報提供。現代美術愛好家へのアプローチ
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約3,500件（美術館・博物館・マスコミ等)に送付、館内配布
交通広告	B1ポスター駅貼り：JR（東京、有楽町ほか31駅）、東京メトロ（上野、表参道、恵比寿、六本木、明治神宮前、京橋、三越前、東京、乃木坂）、京王線（渋谷、新宿、明大前、計50枚）、電飾看板：日比谷線上野駅、千代田線大手町駅、銀座線上野駅（2か所 ）メトロコルトン広告：銀座線上野駅（2か所）、日比谷線上野駅、千代田線大手町駅、サイネージ広告（新宿、池袋、恵比寿、銀座線上野、明治神宮前）　ほか
新聞・雑誌広告	読売紙面（「就活ON！」SPECIAL8・9月号、全5段広告、番組面最終面小枠）、国立劇場の歌舞伎公演プログラムへの掲載、SNS、インフルエンサー広告　ほか
テレビ広告	日テレ・BS日テレCMスポット（会期中複数回）、SNS動画広告、J-WAVEスポット ほか
「東京国立博物館ニュース」掲載	告知2回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事2回、メールマガジンでの情報配信、公式サイトでの紹介 SNS:公式Twitter、当館Twitter・Facebook・Instagramでの情報発信
その他	・11月17日(金)閉館後、美術手帖とのコラボによる対話型鑑賞ワークショップ開催。ゲスト講師のAviさん（フォロワー45万人）と松嶋部長による解説つき ・Instagramハッシュタグキャンペーン実施 ・有楽町Bic Vision（有楽町ビックカメラ外壁）スポット放映 ・J-WAVE「横尾忠則　寒山百得」展 CM　　ほか
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、教育家庭新聞、東洋経済日報、繊研新聞　ほか主要地方紙

テレビ、ラジオ	NHK総合「ニュースLIVE！ ゆう5時」（4/20）、NHK総合「おはよう日本」5時台/6時台（2回放送）（4/21）、調布エフエム放送「ゆうがた5」（8/8）J-WAVE「J-WAVE SELECTION」（8/13）、TBSラジオ「アフター６ジャンクション」（9/6）、日本テレビ「newsevery」（9/11）、NHKラジオ第一「ラジオ深夜便」（9/13、14）、J-WAVE「good neighbors」（9/20）、J-WAVE「GRAND MARQUEE」（9/21）、ニッポン放送「黒木瞳のあさナビ」（9/21）、JFN□FUTURESー池坊専宗の「3.0」」（10/11、18）、NHK BS8K「横尾忠則　聖者を描く「寒山拾得」の世界』（10/22ほか7回）、J-WAVE「TOKYO MORNING RADIO」（10/31）、NHK「日曜美術館アートシーン」（11/5、12）NHK BS4K/BSP/NHKワールドプレミアム「横尾忠則　聖者を描く「寒山拾得」の世界」（11/6、11）、NHK ラジオ第一「呂布カルマ、目の見えない白鳥さんと横尾忠則展を見に行ってみた」（11/6）、テレビ朝日「じゅん散歩」（11/13）ほか
雑誌	「月刊美術」「美術の窓」「アートコレクターズ」（9月号）、「GOETHE」「Pen」「Numero TOKYO」「ブレーン」「MOE」「Discover Japan」「InRed」「Casa BRUTUS」「Harper's BAZAAR」「AERA」（10月号）、「FIGARO japon」「MORE」「GQ JAPAN」「eclat」「文藝春秋」「クロワッサン」「BRUTUS」「婦人公論」「芸術新潮」「リンネル」（11月号）、「男の隠れ家」「家庭画報」「美術の窓」（12月号）ほか
インターネットメディア	美術手帖、Yahoo!ニュース、FASHION PRESS、TimeOut、sfumart、FASHIONSNAP.com、NEWS PICKS、NHK、美術展ナビ、TOKYO ART BEAT、美術散歩、ウォーカープラス、時事ドットコム、東洋経済オンライン、ANA Pocket、Premium Japan、ほぼ日　ほか
その他	エイベックス「MEET YOUR ART」（森山未來氏ナビゲートのYouTube番組）、日本芸術院会員記録映像、ドキュメンタリー映画「日本前衛派の開拓者」（アメリー・ラヴァレック監督作品）
③報道発表会	
実施日	4月20日（木）（平成館大講堂）
人数等	会場出席者：86名
④報道内覧会	
実施日	9月11日（月）
人数等	204名出席

・浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念　特別展「京都・南山城の仏像」

会期	9月16日（土）～11月12日（日）（50日間）
ターゲット	日本文化・美術愛好家全般、仏像ファン
重点項目	マスコミ及び交通広告、新聞広告等による広く一般への情報提供
特記事項	総合文化展の夜間開館再開に合せて、11月3日（金・祝）、4日（土）、10日（金）、11日（土）は午後7時まで開館
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約3,400件（美術館・博物館・マスコミ等)に送付、館内配布
交通広告	JR東日本主要駅ホーム上ベンチ30駅30面（SWボード）、東京メトロ主要17駅20面（大型セットボード）ほか
新聞・雑誌広告	日本経済新聞朝刊「日経style」にて5段広告（9月3日）、日本経済新聞朝刊「NIKKEI STYLE」にて5段広告（9月24日）、日本経済新聞朝刊にて15段広告（10月9日）、日本経済新聞朝刊にて国立西洋美術館「キュビズム展」との合同で5段広告（10月27日、11月4日）ほか
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	告知2回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事4回、メールマガジンでの情報配信、公式サイトでの紹介 SNS:公式Twitter、当館Twitter・Facebook・Instagramでの情報発信
その他	割引しおり12万枚作製（小学館協力のもと書店で配布） 奈良国立博物館で開催の特別展「聖地 南山城ー奈良と京都を結ぶ祈りの至宝ー」から引き続き、京都府木津川市出身の横山由衣さんを音声ガイドのナビゲーターに起用。またみうらじゅんさん、いとうせいこうさんを仏像大使に任命、音声ガイドの出演、展覧会グッズの監修を依頼、講演会を実施した
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	日本経済新聞、東京新聞、朝日新聞、陸奥新報、長野市民新聞ほか
テレビ、ラジオ	BSテレビ東京「日経ニュース プラス9」（9月15日）、テレビ東京「よるパ！」（9月27日、28日）、NHK Eテレ「日曜美術館 アートシーン」（10月1日）、テレビ東京「みうらじゅん＆いとうせいこうの仏像のおもしろい世界」（10月8日）、BSテレビ東京「みうらじゅん＆いとうせいこう＆横山由衣　今すぐ会いに行ける国宝の仏像in京都・南山城」（10月15日）
雑誌	「芸術新潮」（2年12月号）、「月刊 京都」（3年8月号）、「モノマガジン」（3年8月2日号）、「美術の窓」（3年9月号）「週刊現代」（3年9月9日号）、「週刊新潮」（3年10月5日号）、「和楽」（3年10・11月号）、「家庭画報」（3年11月号）、「Discover Japan」（3年11月号）、「日経おとなのOFF」（2023年版）ほか
インターネットメディア	「ananweb」、「美術手帖オンライン」、「タウン ネット」、「インターネットミュージアム」、「LIVING東京」、「JBpress」 ほか
その他	―
③報道発表会	
実施日	―
人数等	―

④報道内覧会	
実施日	9月15日（金）
人数等	86名出席

・特別展「やまと絵ー受け継がれる王朝の美ー」

会期	10月11日（水）～12月3日（日）（48日間）※11月27日臨時開館、金曜・土曜は午後8時でまで開館
ターゲット	日本文化・美術愛好家全般
重点項目	マスコミ及び交通広告、新聞広告等による広く一般への情報提供
特記事項	土・日・祝日のみ事前予約制（日時指定）。平日は事前予約不要
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約4,000件（美術館・博物館・マスコミ等)に送付、館内配布
交通広告	東京メトロ沿線駅ポスター駅貼り（上野・表参道・六本木・銀座他）、東京メトロコンパクト8セット（銀座・表参道・新宿・上野他）、東急プレミアム10セット（渋谷・日吉・横浜他）、京王線沿線駅貼りポスター（新宿・渋谷・明大前他）、JR駅NTボード24駅23面（上野・東京・品川・新宿・池袋・新横浜・大宮等）、JRADビジョン・メトロコンコースサイネージ（東京・恵比寿・六本木・銀座）、上野駅公園改札横シート、上野さくらテラス柱巻シート、上野商店街フラッグ、有楽町ビックビジョン　ほか
新聞・雑誌広告	読売新聞 朝刊東京本社版テレビ面（9月15日、9月27日、10月18日）、同社 朝刊東京セット版展覧会企画（10月14日）、朝日新聞 朝刊東京セット版展覧会企画（9月15日）、同社テレビ面（11月8日）、日経新聞 朝刊折込（10月29日）　ほか
テレビ広告	NHKスポット放映 ほか
「東京国立博物館ニュース」掲載	告知2回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事5回、メールマガジンでの情報配信、公式サイトでの紹介 SNS:公式X・Instagram、当館X・Facebook・Instagramでの情報発信
その他	・SNS広告配信（Twitter（X)、Facebook） ・Yahoo!・Google・LINE・SmartNews広告出稿 ・雑誌「本郷」広告 ・WEB広告用PRマンガ、書店・店舗にしおり・ステッカー配布　　ほか
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	読売新聞、読売KODOMO新聞、読売ジュニアプレス、読売中高生新聞、朝日新聞、産経新聞、中日新聞、公明新聞　ほか
テレビ、ラジオ	テレビ朝日「クイズプレゼンバラエティーQさま!!」（9/25)、NHKラジオ深夜便「私のアート交遊録」（9/26）、NHK Eテレ「日曜美術館」（11/12）
雑誌	「芸術新潮」（4年12月号）、「美術の窓」（4年12月号）、「日経おとなのOFF美術展」（4年12月号、5年6月号）、「美術展ぴあ2023」（4年12月号）、「ハルメク」（5年10月号）、「男の隠れ家」（10月号）、「HIRAGANA TIMES. 」（10月号）、「アートコレクターズ」（10月号）、「サライ」（11月号）、「婦人公論」（11月号）、「目の眼」（11月号）ほか
インターネットメディア	美術展ナビ、美術手帖オンライン、Yahoo!ニュース、マイナビニュース、sfumart、FASHION PRESS、ART AgendA、芸術新潮、インターネットミュージアム、美術散歩、寺社Nowオンライン ほか
その他	―
③報道発表会	
実施日	3月23日（木）（平成館大講堂）
人数等	会場出席者：54名
④報道内覧会	
実施日	10月10日（火）
人数等	183名出席

・特別展「本阿弥光悦の大宇宙」

会期	6年1月16日（火）～3月10日（日）（56日間）
ターゲット	日本文化・美術愛好家全般、刀剣ファン
重点項目	マスコミ及び交通広告、新聞広告等による広く一般への情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約7,750件（美術館・博物館・マスコミ等)に送付、館内配布
交通広告	JR約30駅SWボード4Bセット（中尊寺展と折半）30面（1/15頃～2/14頃）、JR上野駅公園口改札横シート広告（中尊寺展と折半）（1/15～3/10）、京王線B１ポスター貼り　1月～会期中適宜　ほか
新聞・雑誌広告	東京新聞朝刊にて社告（11/28前売り開始、1/11開幕）、その他会期中に同紙及び中日新聞、北陸中日新聞にて適宜掲載
テレビ広告	NHKスポット枠にて放映　ほか

「東京国立博物館ニュース」掲載	告知2回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事、メールマガジンでの情報配信、公式サイトでの紹介 SNS:公式Twitter・Facebook・Instagram、当館Twitter・Facebook・Instagramでの情報発信
その他	Web広告 ・第1期（12/2～8）　Instagram/Facebook, X （Xのみ12/7～13に後倒し） ・第2期（1/6～12）　Instagram/Facebook, X, Yahoo ・第3期（1/13～26）　Instagram/Facebook, X, Yahoo ・第4期（2/6～26）　Instagram/Facebook, X, Yahoo
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	東京新聞、中日新聞、朝日新聞、日経新聞、毎日新聞、報知新聞、日刊スポーツほか
テレビ、ラジオ	NHK びじゅチューン！「鶴下ウェイ」（Eテレ）1/16（火）17:30～17:35、1/19（金）23:50～23:55 謎解き！ヒミツの至宝さん（BS8K）1/28（日）　（総合）2/18(日)15:05-15：50　ほか どーもNHK（総合）　2/4（日）11:20～11:54 日曜美術館（Eテレ）2/18（日）9:00～9:45、（再）2月25日（日）20:00～20:45 歴史探偵「謎の芸術家・本阿弥光悦」(総合)　2月7日（水）22:00～22:45 テレビ朝日「グッドモーニング」内「あら、いーな！」2/9（水）7：44頃～9分程度 TBSラジオ「アト6」 2/13（火）22:15～23：30 J-WAVE　中田英寿氏出演「TDK VOICES FROM NIHONMONO」2/25日（日）12：00～12：54　ほか
雑誌	新潮社「芸術新潮」（5年12月号、6年1月号）、生活の友社「美術の窓」（5年12月号）、日経BP社「おとなのOFF美術展」(5年12月号)、小学館「サライ」（6年1月号）、「和樂」（5年12月号、6年1月号）、ABCアーク「歴史人」（5年12月号）ほか
インターネットメディア	美術展ナビ、美術手帖オンライン、家庭画報Web、インターネットミュージアム ほか
その他	報道内覧会においてインフルエンサーによる取材受入を実施。美術館等の紹介で実績のあるVtuber「儒烏風亭らでん」(ホロライブプロダクション所属)による展覧会紹介配信・アーカイブ映像配信などが行われた。
③報道取材会	
実施日	11月22日（水）（平成館大講堂）　※本展音声ガイドナビゲーター・中谷美紀氏と担当研究員による対談
人数等	出席者：65名
④報道内覧会	
実施日	1月15日（月）
人数等	201名出席

・建立900年 特別展「中尊寺金色堂」

会期	6年1月23日（火）～4月14日（日）（55日間）
ターゲット	日本文化・美術愛好家全般、仏像ファン
重点項目	マスコミ及び交通広告、新聞広告等による広く一般への情報提供
特記事項	—
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約5,000件（美術館・博物館・マスコミ等)に送付、館内配布
交通広告	JR SWボード（光悦展との折半使用、壁面 31駅31面）、JR 上野駅公園口改札横シート広告（光悦展との折半使用）、駅貼り（B1ポスター）　ほか
新聞・雑誌広告	朝日新聞（朝刊中面）
テレビ広告	—
「東京国立博物館ニュース」掲載	告知3回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事5回、メールマガジンでの情報配信、公式サイトでの紹介 SNS:公式Twitter・Facebook・Instagram、当館Twitter・Facebook・Instagramでの情報発信
その他	・割引クーポン付しおり・ステッカー設置配布 ・SNS広告配信（X、Instagram、Facebook、Tiktok） ・六本木TSUTAYA柱巻き広告 ・インバウンド向けチラシの作成・配布　ほか
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	朝日新聞、岩手日日新聞社、東京新聞　ほか
テレビ、ラジオ	台東区CATV、調布FM
雑誌	日経BP社「日経おとなのOFF 見逃せない美術展」（12月号）、ぴあ「美術展ぴあ」（12月号）、小学館「和楽」（6年2・3月号）、小学館「サライ」（6年2月号）、三栄「時空旅人」（6年2月号）、小原流「小原流挿花」（6年3月号）、ハルメク「ハルメク」（6年2月号）ほか

インターネットメディア	美術展ナビ、美術手帖オンライン、ファッションプレス、インターネットミュージアム ほか
その他	―
③報道発表会	
実施日	7月4日（火）（平成館大講堂）
人数等	会場出席者：63名
④報道内覧会	
実施日	6年1月22日（月）
人数等	187名出席

【京都国立博物館】

(1)名品ギャラリー（平常展）

・特集展示「新収品展」

会期	6月13日（火） ～7月17日（月・祝）（31日間）
ターゲット	日本美術ファン、歴史ファン
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	京都駅地下東口サイネージ、京都駅地下街サイネージ、京都市地下鉄京都駅ホームドアシート、京阪祇園四条駅サイネージ、駅貼り広告(京阪電車：京橋駅、天満橋駅、淀屋橋駅)
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「京都国立博物館だより」掲載	特集2回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、トラりんブログ関連記事1回、メールマガジンでの情報配信 SNS:当館X（旧Twitter）、トラりんX（旧Twitter）・Facebookでの情報発信
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	ー
テレビ、ラジオ	ー
雑誌	きょうの歳時記（エイブル）、近鉄ニュース（近鉄電車）
インターネットメディア	わいず倶楽部（読売新聞）、沿線おでかけ情報（阪急電鉄）、京都新聞ウェブ、ほか計7件
その他	―

・特集展示「茶の湯の道具 茶碗」

会期	6月20日（火） ～9月10日（日）（72日間）
ターゲット	日本美術ファン、茶道ファン、やきものファン
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	駅貼り広告(京阪電車：京橋駅、天満橋駅、淀屋橋駅)
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「京都国立博物館だより」掲載	特集2回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、トラりんブログ関連記事1回、メールマガジンでの情報配信 SNS:当館X（旧Twitter）、トラりんX（旧Twitter）・Facebookでの情報発信
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	ー
テレビ、ラジオ	ー
雑誌	茶道雑誌（河原書店）、淡交（淡交社）、歴史の旅人（歴史街道推進協議会）、おふたいむ（京都市交通局）、きょうの歳時記（エイブル）
インターネットメディア	agata Japan Kyoto、わいず倶楽部（読売新聞）、きょうとで遊ぼうART（エグザム）、ウェブ版美術手帖 ほか計8件
その他	―

・特集展示「日中　書の名品」

会期	8月8日（火）～9月18日（月・祝）（37日間）
ターゲット	日本美術ファン、書道ファン、歴史ファン
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	駅貼り広告(京阪電車：京橋駅、天満橋駅、淀屋橋駅)
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「京都国立博物館だより」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、トラりんブログ関連記事1回、メールマガジンでの情報配信 SNS:当館X（旧Twitter）、トラりんX（旧Twitter）・Facebookでの情報発信
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	ー
テレビ、ラジオ	ー
雑誌	美術の窓（生活の友社）、きょうの歳時記（エイブル）、近鉄ニュース（近鉄電車）
インターネットメディア	京都新聞ウェブ、京都観光Navi（京都市）、デジスタイル京都（太平印刷）
その他	ー

・特集展示「弥生時代 青銅の祀り」

会期	6年1月2日（火） ～2月4日（日）（30日間）
ターゲット	考古ファン、歴史ファン
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	ー
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,570件（※博物館・美術館・学校（小・中・高・大）、図書館、ギャラリー等）
交通広告	京都駅地下東口サイネージ、京都駅地下街サイネージ、京都地下鉄四条駅ホームドアシート、駅貼り広告(京阪電車：京橋駅、天満橋駅、淀屋橋駅)
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「京都国立博物館だより」掲載	予告1回、特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、トラりんブログ関連記事1回、メールマガジンでの情報配信 SNS:当館X（旧Twitter）、Instagram、トラりんX（旧Twitter）・Facebookでの情報発信
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	朝日新聞
テレビ、ラジオ	―
雑誌	きょうの歳時記（エイブル）、関西ウォーカー（KADOKAWA）
インターネットメディア	京都観光Navi（京都市）、アートアジェンダ、わいず倶楽部（読売新聞）、沿線おでかけ情報（阪急電鉄）　ほか計7件
その他	―

・新春特集展示「辰づくしー干支を愛でるー」

会期	6年1月2日（火）～2月12日（月・休）（37日間）
ターゲット	日本美術ファン、年末年始の観光客
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,570件（※博物館・美術館・学校（小・中・高・大）、図書館、ギャラリー等）
交通広告	京都駅地下東口サイネージ、京都駅地下街サイネージ、京都地下鉄四条駅ホームドアシート、駅貼り広告(京阪電車：京橋駅、天満橋駅、淀屋橋駅)
新聞・雑誌広告	ー

テレビ広告	ー
「京都国立博物館だより」掲載	予告1回、特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、トラりんブログ関連記事1回、メールマガジンでの情報配信 SNS:当館X（旧Twitter）、Instagram、トラりんX（旧Twitter）・Facebookでの情報発信
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	リビング京都、京都民報、しんぶん赤旗、朝日新聞、京都新聞
テレビ、ラジオ	NHK（関西向け）「ぐるっと関西おひるまえ」（1/4）、NHK（京都府向け）「ニュース６３０京いちにち」（1/4）、KBS京都ラジオ「さらピン！キョウト」（1/9）
雑誌	サライ（小学館）、きょうの歳時記（エイブル）、近鉄ニュース（近鉄電車）、美術の窓（生活の友社）ほか計9件
インターネットメディア	京都観光Navi（京都市）、アートアジェンダ、わいず倶楽部（読売新聞）、婦人画報デジタル　ほか計7件
その他	―

・修理完成記念 特集展示「泉穴師神社の神像」

会期	6年1月2日（火） ～2月25日（日）（48日間）
ターゲット	日本美術ファン、彫刻ファン、歴史ファン
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	ー
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,570件（※博物館・美術館・学校（小・中・高・大）、図書館、ギャラリー等）
交通広告	京都駅地下東口サイネージ、京都駅地下街サイネージ、京都地下鉄四条駅ホームドアシート、駅貼り広告（京阪電車：京橋駅、天満橋駅、淀屋橋駅）
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「京都国立博物館だより」掲載	予告1回、特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、トラりんブログ関連記事1回、メールマガジンでの情報配信 SNS:当館X（旧Twitter）、Instagram、トラりんX（旧Twitter）・Facebookでの情報発信
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	中外日報
テレビ、ラジオ	―
雑誌	きょうの歳時記（エイブル）
インターネットメディア	アートアジェンダ、わいず倶楽部（読売新聞）、沿線おでかけ情報（阪急電鉄）、関西ぶんか考
その他	―

・特集展示「雛まつりと人形」

会期	6年2月10日（土）～3月24日（日）（38日間）
ターゲット	日本美術ファン、人形ファン
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約350件（※博物館・美術館、宿泊施設、旅行業者等）
交通広告	京都駅地下東口サイネージ、京都駅地下街サイネージ、京阪大阪・京都エリアサイネージ（天満橋、淀屋橋、京橋、北浜、祇園四条、出町柳駅）、駅貼り広告(京阪電車：京橋駅、天満橋駅、淀屋橋駅)
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「京都国立博物館だより」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、トラりんブログ関連記事1回、メールマガジンでの情報配信 SNS:当館X（旧Twitter）、Instagram、トラりんX（旧Twitter）・Facebookでの情報発信
その他	Instagram、Yahoo！広告出稿
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	産経新聞、リビング京都
テレビ、ラジオ	―

雑誌	きょうの歳時記（エイブル）、ASAHゆめほっとだより（ASAPORT）、美しいキモノ（ハースト婦人画報社）、にんぎょう日本（日本人形協会）、機関紙編集者クラブ
インターネットメディア	京都新聞ウェブ、京都観光Navi（京都市）、デジスタイル京都（太平印刷）、アートアジェンダ、関西ぶんか考、京都で遊ぼうART（エグザム）、わいず倶楽部（読売新聞）
その他	ー

(2)特別展覧会、共催展等

・親鸞聖人生誕850年特別展「親鸞ー生涯と名宝」

会期	3月25日（土）～5月21日（日）（50日間）
ターゲット	歴史ファン、仏教美術ファン、浄土真宗門徒
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	1,990件（※博物館・美術館・学校（小・中・高・大）、図書館、ギャラリー等）
交通広告	車内吊り広告(京阪、阪急、市バス)、JR京都駅地下街・大阪駅・阪急梅田駅構内サイネージ、京都市営地下鉄京都駅ホームドアシート・四条駅ラージシート
新聞・雑誌広告	朝日新聞
テレビ広告	NHKスポット
「京都国立博物館だより」掲載	予告1回、特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、トラりんブログ関連記事3回、メールマガジン、展覧会公式ウェブサイトでの情報配信 SNS:当館X（旧Twitter）、トラりんFacebook・X（旧Twitter）、展覧会公式X（旧Twitter）での情報発信
その他	SNS広告（Facebook、Instagram、Yahoo！）
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	朝日新聞、読売新聞、毎日新聞　ほか計66件
テレビ、ラジオ	NHK（全国）「京コトはじめ」（4/7）、NHK（関西向け）「ぐるっと関西おひるまえ」（4/11）、NHK Eテレ「日曜美術館 アートシーン」（5/7）、NHK関西ラジオワイド（4/7）　ほか計10件
雑誌	美術展ぴあ（ぴあ）、てんとう虫（UCカード）、日経おとなのOFF（日経BP社）、別冊太陽別冊「親鸞」（平凡社）、時空旅人（三栄）、美術の窓（生活の友社）、芸術新潮（新潮社）　ほか計129件
インターネットメディア	そうだ京都、行こう（JR東海）、じゃらんnet、ウェブ版美術手帖、美術展ナビ、FASHION PRESS　ほか計201件
その他	つばさ交通
③報道発表会	
実施日	4年9月7日（水）
人数等	16媒体、28人出席
④報道内覧会	
実施日	3月24日（金）
人数等	39媒体、58人出席

・特別展「東福寺」

会期	10月7日（土）～12月3日（日）（50日間）
ターゲット	仏教美術ファン、仏像ファン、禅宗文化に興味がある人
重点項目	広く一般のマスコミ及びSNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約2,020件（※博物館・美術館・学校（小・中・高・大）、図書館、ギャラリー等）
交通広告	車内吊り広告(JR京都線、京阪本線)、大阪・京都主要駅サイネージ（JR、京阪、阪急）、JR京都駅地下東口フラッグ
新聞・雑誌広告	読売新聞
テレビ広告	NHKスポット
「京都国立博物館だより」掲載	予告1回、特集2回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、トラりんブログ関連記事4回、メールマガジン、展覧会公式ウェブサイトでの情報配信 SNS:当館X（旧Twitter）、Instagram、トラりんFacebook・X（旧Twitter）、展覧会公式X（旧Twitter）での情報発信
その他	SNS広告（X（旧Twitter）、Facebook、Instagram、Yahoo！）
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、京都新聞　ほか計130件

テレビ、ラジオ	NHK（全国）「京コトはじめ」（10/20）、NHK関西ラジオワイド（11/10）、NHK（関西向け）「ぐるっと関西おひるまえ」（11/17）　ほか計12件
雑誌	サライ（小学館）、秋の京都2023（朝日新聞出版）、美術の窓（生活の友社）　ほか計53件
インターネットメディア	インターネットミュージアム、京都で遊ぼうART（エグザム）、美術展ナビ　ほか計58件
その他	WESTER（JR西日本）、ANA Pocket（全日空）、アプリマガジン「週刊じゃらん」（リクルート）
③報道発表会	
実施日	4年11月2日（水）
人数等	45媒体、52人出席
④報道内覧会	
実施日	6月12日（月）
人数等	24媒体、28人出席
⑤報道発表会	
実施日	10月6日（金）
人数等	48媒体、67人出席

【奈良国立博物館】
(1)名品展(平常展)

・名品展　「珠玉の仏たち」

会期	常時開催
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術（仏像）ファン、外国人観光客、小・中・高・大学生
重点項目	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術（仏像）ファン、外国人観光客、小・中・高・大学生向けに、マスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	外国人向け音声ガイド（英・中・韓）、日本語音声ガイドは29年10月28日から導入
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	日本美術・この一点への旅、るるぶドライブ関西ベストコース25、おとな旅プレミアム、月刊奈良10月号、るるぶ奈良25　ほか
インターネットメディア	日本旅行ウェブサイト、JR東海ツアーズ、ARTことはじめ、るるぶ&more. 、NAVITIME　ほか
その他	日本博X（旧Twitter）

・名品展　「中国古代青銅器」

会期	常時開催
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、青銅器ファン、外国人観光客、小・中・高・大学生
重点項目	一般の歴史及び美術ファン、青銅器ファン、外国人観光客、小・中・高・大学生向けに、マスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	外国人向け音声ガイド（英・中・韓）、日本語音声ガイドは29年10月28日から導入
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）

その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	日本美術・この一点への旅、るるぶドライブ関西ベストコース25、おとな旅プレミアム、月刊奈良10月号、るるぶ奈良25　ほか
インターネットメディア	日本旅行ウェブサイト、JR東海ツアーズ、ARTことはじめ、るるぶ&more. 、NAVITIME　ほか
その他	―

・名品展　「珠玉の仏教美術」

会期	4月22日（土）～6月4日（日）、12月9日（土）～6年1月14日（日）、6年2月10日　（土）～3月17日　（日）
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術（仏像）ファン、外国人観光客、小・中・高・大学生
重点項目	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術（仏像）ファン、外国人観光客、小・中・高・大学生向けに、マスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	紹介3回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―
インターネットメディア	―
その他	―

・名品展　特別公開「金峯山寺仁王門　金剛力士立像」

会期	3年2月23日（火・祝）～10年度予定
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン、小・中・高・大学生
重点項目	―
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	日本美術・この一点への旅、るるぶドライブ関西ベストコース25、おとな旅プレミアム、月刊奈良10月号、るるぶ奈良25　ほか
インターネットメディア	日本旅行ウェブサイト、JR東海ツアーズ、ARTことはじめ、るるぶ&more. 、NAVITIME　ほか
その他	―

・名品展　特別公開「奈良・不退寺本尊聖観音菩薩立像」

会期	5年3月21日（火）～5月14日（日）
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン、小・中・高・大学生
重点項目	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン、小・中・高・大学生向けに一般のマスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―
インターネットメディア	―
その他	『歴史の旅人』、『784 ならどっと FMpress 春夏号』

・名品展　特別公開「奈良・普門院本尊 不動明王坐像」

会期	10月24日（火）～6年3月24日（日）
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン、小・中・高・大学生
重点項目	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン、小・中・高・大学生向けに一般のマスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	関係者へ送付
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	朝日新聞（11/21）
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―
インターネットメディア	―
その他	―

・特別陳列「おん祭と春日信仰の美術―特集　春日の御巫―」

会期	5年12月9日（土）～6年1月14日（日）
ターゲット	おん祭（12/17）前後および年末年始の春日大社参拝客、一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン
重点項目	おん祭（12/17）前後および年末年始の春日大社参拝客、一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン向けに一般のマスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,720件　博物館、美術館、学校（幼・小・中・高・大）、ギャラリー、社寺、図書館、近隣商店街、文化施設、ホテル・旅館、報道・出版、旅行会社
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―

テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	紹介1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	京都新聞、朝日新聞（12/12）、産経新聞（12/9）、読売新聞奈良地域版（12/15）
テレビ、ラジオ	―
雑誌	サライ12月号、美術の窓、和樂12・1月号　ほか
インターネットメディア	アートアジェンダ、ARTことはじめ、奈良ぶら、美術手帖　ほか
その他	近鉄ニュース12月号、電車＆ウォーク12月号

・特集展示「新たに修理された文化財」

会期	5年12月19日（火）～6年1月14日（日）
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン、歴史ファン、写真ファン
重点項目	広く一般のマスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	紹介1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	朝日新聞（12/19）
テレビ、ラジオ	―
雑誌	美術の窓、和樂12・1月号　ほか
インターネットメディア	アートアジェンダ
その他	―

・名品展　特別公開「松帆銅鐸」

会期	6年2月10日（土）～3月17日（日）
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン、銅鐸ファン
重点項目	広く一般のマスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	紹介1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―
インターネットメディア	神戸観光コンシェルジュ、ぱーぷる
その他	―

・特別陳列「お水取り」

会期	6年2月10日（土）～3月17日（日）
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン一般の歴史及び美術ファン、「お水取り」（お松明）を見に来る観光客。
重点項目	広く一般のマスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,720件　博物館、美術館、学校（幼・小・中・高・大）、ギャラリー、社寺、図書館、近隣商店街、文化施設、ホテル・旅館、報道・出版、旅行会社
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	紹介1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	京都新聞、朝日新聞（2/6）
テレビ、ラジオ	―
雑誌	月刊大和路ならら、サライ　ほか
インターネットメディア	アートアジェンダ、ぱーぷる、奈良ぶら、神戸観光コンシェルジュ、サライjp　ほか
その他	電車＆ウォーク2月号、近鉄ニュース2月号、ザ・淀川、アートの旅2023冬号　ほか

(2)特別展、共催展等

浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念　特別展「聖地　南山城―奈良と京都を結ぶ祈りの至宝―」

会期	7月8日(土)～9月3日(日)（49日間）※8/15臨時休館
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術（仏像）ファン、歴史ファン、仏像ファン
重点項目	広く一般のマスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,720件　博物館、美術館、学校（幼・小・中・高・大）、ギャラリー、社寺、図書館、近隣商店街、文化施設、ホテル・旅館、報道・出版、旅行会社、展覧会関連社寺
交通広告	近鉄、Osaka Metro、奈良交通、阪急、JR
新聞・雑誌広告	日経新聞広告
テレビ広告	テレビ大阪
「奈良国立博物館だより」掲載	紹介1回、特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	展覧会公式サイト、展覧会公式X（旧Twitter）、奈良県サイネージ、奈良市サイネージ、MBSラジオ「ありがとう浜村淳です」
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	京都新聞（6/29）、奈良新聞（6/29）、浄土宗新聞（7/1）、仏教タイムス（7/13）、毎日新聞（7/14）、中外日報（7/19）、文化時報（8/1）　ほか
テレビ、ラジオ	FM COCOLO「BRAND-NEW SHINe」（6/25）、テレビ大阪「やさしいニュース」（7/7）、KBS京都「KBS京都ニュース」（7/9）、FM COCOLO「COCOLO Earth Colors -ENGLISH- 」（8/2）　ほか
雑誌	美術展ナビBOOK、建築と社会、月刊京都7月号、サライ7月号、日本の老舗、月刊「ひととき」、月刊美術、美術の窓、和楽8・9月号、大人のおしゃれ手帖8月号、一個人　ほか
インターネットメディア	アートアジェンダ、Fashion Press、京国際仏教塾ホームページ、インターネットミュージアム 、美術展ナビ、観光案内サイト「NARABURA(奈良ぶら)」、読売新聞わいず倶楽部ホームページ、ウェブ版「美術手帖」　ほか
その他	InstagramやFacebookなどのSNS、旅行会社など
③報道発表会	
実施日	リリース資料配信のみ（4月26日）
人数等	―
④報道内覧会	
実施日	―
人数等	―

特別展「第75回正倉院展」

会期	10月28日（土）～11月13日（月）（17日間）
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、正倉院展のリピーター客
重点項目	一般の歴史及び美術ファン、正倉院展のリピーター客向けにテレビや新聞など広く一般のマスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,720件　博物館、美術館、学校（幼・小・中・高・大）、ギャラリー、社寺、図書館、近隣商店街、文化施設、ホテル・旅館、報道・出版、旅行会社、展覧会関連社寺
交通広告	近鉄、JR、Osaka Metro、奈良交通、東京メトロ
新聞・雑誌広告	読売新聞広告、山陽新聞広告、中国新聞広告、中日新聞広告、産経新聞広告
テレビ広告	讀賣テレビ
「奈良国立博物館だより」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	正倉院展公式サイト、正倉院展公式X（旧Twitter）、奈良県サイネージ、奈良市サイネージ、MBSラジオ「ありがとう浜村淳です」
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	神戸新聞、読売新聞（7/27）、産経新聞（7/27）、毎日新聞、共同通信（7/26）、奈良新聞（7/27）　ほか
テレビ、ラジオ	NHK 奈良ナビ（7/26）、奈良テレビ「ゆうドキッ！」（7/26）、奈良シティエフエム「Fmpress」 、日曜美術館（10/5）、NHK大阪「ほっと関西サタデー」（10/21）　ほか
雑誌	月刊大和路ならら、CANS芸術新聞、邦楽ジャーナル、月刊誌『書藝文人畫』、関西ウォーカー2024冬、月刊ノジュール、SAVVY　ほか
インターネットメディア	アートアジェンダ、美術散歩、美術展ナビ、神戸観光コンシェルジュ、Fashion Press、奈良市観光協会ウェブサイト、観光案内サイト「NARABURA(奈良ぶら)」　ほか
その他	奈良市観光協会「ならりvol.35」、電車＆ウォーク10月号、京阪電車おでかけ情報誌「KPRESS」11月号　ほか
③報道発表会	
実施日	7月26日
人数等	21媒体、36人出席
④報道内覧会	
山口朝日放送	―
人数等	―

【九州国立博物館】

(1)文化交流展（平常展）

・誕生250年記念　秋田蘭画ことはじめ- それは『解体新書』から始まった -

会期	4月29日（土・祝）～6月11日（日）（39日間）
ターゲット	一般の歴史・絵画ファン、文化財に関心のある一般市民等
重点項目	一般のマスメディア、SNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	西鉄太宰府駅、JR二日市駅
交通広告	西鉄バス（車内サイネージ・バス停）
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
季刊情報誌「アジアージュ」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報発信、X(旧Twitter)での情報発信、当館刊行物のLINE配信での情報発信、当館ブログでの紹介、Instagramでの情報発信、YouTubeでの情報発信
その他	展示・イベントチラシ掲載、参道フラッグ掲出、エントランスバナー設置、WEBプレスリリース実施
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	西日本新聞、読売新聞
テレビ、ラジオ	―
雑誌	九州王国、月刊はかた、美術の窓
インターネットメディア	Walkerplus、西日本新聞me、イベントバンク、FASHION PRESS、福岡おでかけナビ、ARTNE、ファンファン福岡
その他	秋田県福岡事務所と連携した広報（アンテナショップでの広告掲示、県人会への周知）

・新収品展

会期	5月23日（火）～7月17日（月・祝）（48日間）
ターゲット	一般の歴史・考古学ファン、文化財に関心のある一般市民等
重点項目	一般のマスメディア、SNSを通じた情報提供
特記事項	—
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	—
交通広告	西鉄バス（車内サイネージ）
新聞・雑誌広告	—
テレビ広告	—
季刊情報誌「アジアージュ」掲載	—
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、X(旧Twitter)での情報発信、当館刊行物のLINE配信での情報発信、Instagramでの情報発信、当館ブログでの紹介
その他	展示・イベントチラシ掲載
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	西日本新聞
テレビ、ラジオ	—
雑誌	—
インターネットメディア	クロスロードふくおか、ファンファン福岡
その他	—

～Touch the History～　さわって体験 本物のひみつ

会期	8月8日（火）10月1日（日）（46日間）※8月10日は臨時休館
ターゲット	一般の歴史ファン、文化財に関心のある一般市民、視覚や聴覚のある方等
重点項目	一般のマスメディア、SNSを通じた情報提供
特記事項	—
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	—
交通広告	西鉄バス（車内サイネージ）
新聞・雑誌広告	—
テレビ広告	—
季刊情報誌「アジアージュ」掲載	—
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、X(旧Twitter)での情報発信、Instagramでの情報発信、当館刊行物のLINE配信での情報発信
その他	展示・イベントチラシ掲載、
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	西日本新聞
テレビ、ラジオ	—
雑誌	—
インターネットメディア	ファンファン福岡
その他	—

・うるわしき祈りの美 - 高麗・朝鮮時代の仏教美術 -

会期	9月5日（火）～10月15日（日）（39日間）
ターゲット	一般の歴史ファン、絵画ファン、仏像ファン、文化財に関心のある一般市民、視
重点項目	一般のマスメディア、SNSを通じた情報提供
特記事項	—
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	西鉄太宰府駅、JR二日市駅
交通広告	西鉄バス（車内サイネージ、バス停）
新聞・雑誌広告	—
テレビ広告	—

季刊情報誌「アジアージュ」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報発信、X(旧Twitter)での情報発信、当館刊行物のLINE配信での情報発信、Instagramでの情報発信、YouTubeでの情報発信
その他	展示・イベントチラシ掲載、エントランスバナー設置、参道フラッグ掲出
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	朝日新聞
テレビ、ラジオ	―
雑誌	九州王国、月刊はかた、ぐらんざ
インターネットメディア	Culture NIPPON、イベントバンク、福岡おでかけナビ、ファンファン福岡
その他	―

・徳川美術館所蔵　国宝　初音の調度

会期	6年1月1日～1月28日
ターゲット	一般の歴史ファン、漆工芸品ファン、太宰府天満宮参拝客等
重点項目	一般のマスメディア、SNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	西鉄太宰府駅、JR二日市駅
交通広告	西鉄太宰府駅、西鉄福岡天神駅、JR二日市駅、西鉄バス（車内・バス停）
新聞・雑誌広告	朝日新聞
テレビ広告	―
季刊情報誌「アジアージュ」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報発信、Twitterでの情報発信、当館刊行物のLINE配信での情報発信、Instagramでの情報発信
その他	展示・イベントチラシ掲載、参道フラッグ掲出、エントランスバナー設置、WEBプレスリリース実施
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	朝日新聞
テレビ、ラジオ	FM福岡
雑誌	九州王国、エスプレッソ、ぐらんざ、パコラ
インターネットメディア	婦人画報、ARTNE、イベントバンク、福岡おでかけナビ、ココシル福岡、西日本新聞me、Walkerplus
その他	サンデン旅行（ツアーパンフレット）

・日本刀の美 ー北﨑徹郎の愛刀ー

会期	6年1月30日～4月14日
ターゲット	一般の歴史ファン、刀剣ファン、太宰府天満宮参拝客、文化財に関心のある一般市民、視
重点項目	一般のマスメディア、SNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	西鉄太宰府駅、JR二日市駅
交通広告	西鉄太宰府駅、西鉄福岡天神駅、JR二日市駅、西鉄バス（車内・バス停）
新聞・雑誌広告	ー
テレビ広告	ー
季刊情報誌「アジアージュ」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報発信、Twitterでの情報発信、当館刊行物のLINE配信での情報発信、Instagramでの情報発信
その他	ー
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	朝日新聞、毎日新聞、西日本新聞、読売新聞
テレビ、ラジオ	ケーブルステーション福岡
雑誌	芸術新潮、旅行読売出版、九州王国、小学生新聞
インターネットメディア	西日本新聞me、イベントバンク、福岡おでかけナビ、ささっとー、Walkerplus
その他	ー

(2)特別展、共催展等

・アール・ヌーヴォーのガラス ーガレとドームの自然賛歌ー

会期	4月18日（火）～6月11日（日）（49日間）
ターゲット	一般の歴史ファン、美術品ファン、西洋美術ファン
重点項目	一般のマスメディア、SNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,141件（博物館・美術館・キャンパスメンバーズ・図書館・文化施設・太宰府市内公民館等） 西鉄太宰府駅、JR二日市駅
交通広告	西鉄バス（車内サイネージ）
新聞・雑誌広告	西日本新聞
テレビ広告	―
季刊情報誌「アジアージュ」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報発信、X(旧Twitter)での情報発信、当館刊行物のLINE配信での情報発信、YouTubeでの情報発信、Instagramでの情報発信
その他	展示・イベントチラシ掲載、エントランスバナー設置、参道フラッグ掲出
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	西日本新聞、朝日新聞、毎日新聞、中外日報
テレビ、ラジオ	TVQ九州放送、TNCテレビ西日本、NHK、ケーブルステーション福岡、RKBラジオ
雑誌	turu、広報ちくしの、プラスアルファ、off time、muto、遊人、ミニコミまいんず、広報あさくら、ぴあら、九州王国、クルメスタイル、BM、ぐらんざ、広報だざいふ、ライフさせぼ、地元新聞社、ながさきプレス、美術の窓、小さな蕾、月刊はかた、東経リビング、offtime
インターネットメディア	FASHION PRESS、Walkerplus、インフォメーションテクノロジー関西、アートアジェンダ、JAF、ナビ、ふくおかサポートねっと、九州サイト、福岡おでかけナビ、イベントバンク、サライ、ARTNE、美術展ナビ、太宰府市ウェブサイト、花人日和、ぽたり、ファンファン福岡
その他	TKUヒューマン、ナカノ商会
③報道発表会	
実施日	2月7日（火）
人数等	7媒体12名（場所：研修室）
④報道内覧会	
実施日	4月17日（月）
人数等	10媒体31名（場所：特別展示室）

・憧れの東洋陶磁 - 大阪市立東洋陶磁美術館の至宝

会期	7月11日（火）～9月3日（日）（48日間） ※8月10日は台風の影響により臨時休館
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、陶磁ファン、文化財に関心のある一般市民等
重点項目	一般のマスメディア、SNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,148件（博物館・美術館・キャンパスメンバーズ・図書館・文化施設・太宰府市内公民館等） 西鉄太宰府駅、JR二日市駅
交通広告	西鉄バス（車内サイネージ）
新聞・雑誌広告	読売新聞
テレビ広告	ー
季刊情報誌「アジアージュ」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報発信、X(旧Twitter)での情報発信、当館刊行物のLINE配信での情報発信、YouTubeでの情報発信、Instagramでの情報発信
その他	展示・イベントチラシ掲載、エントランスバナー設置、参道フラッグ掲出
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	読売新聞、西日本新聞、朝日新聞、佐賀新聞
テレビ、ラジオ	FBS福岡放送、NHK、ケーブルステーション福岡、NHKラジオ第一
雑誌	美術館ナビ、ぐらんざ、ライフさせぼ、ミニコミまいんず、月刊はかた、EREE、ながさきプレス、東経リビング、クロスロード福岡、遊人、muto、月刊九州王国、陶説、美術の窓、地元新聞社、広報だざいふ
インターネットメディア	読売新聞、FSHION PRESS、アートアジェンダ、JAFナビ、福岡おでかけナビ、イベントバンク、九州観光機構、西日本新聞me、美術展ナビ、インフォメーションテクノロジー関西、Culture NIPPON、KATYCOM、福岡ふかぼりメディアささっと―、ファンファン福岡
その他	ナカノ商会
③報道発表会	
実施日	5月16日（火）

人数等	6媒体12名（場所：研修室）
④報道内覧会	
実施日	台風により中止
人数等	―

・古代メキシコ -マヤ、アステカ、テオティワカン

会期	10月3日（火）～12月10日（日）（60日間）
ターゲット	歴史及び美術ファン、考古学ファン、古代メキシコファン、文化財に関心のある一般市民等
重点項目	一般のマスメディア、SNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,135件（博物館・美術館・キャンパスメンバーズ・図書館・文化施設・太宰府市内公民館等） 西鉄太宰府駅、JR二日市駅
交通広告	西鉄バス（車内サイネージ）
新聞・雑誌広告	朝日新聞、西日本新聞
テレビ広告	NHK
季刊情報誌「アジアージュ」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報発信、X(旧Twitter)での情報発信、当館刊行物のLINE配信での情報発信、YouTubeでの情報発信、Instagramでの情報発信
その他	展示・イベントチラシ掲載、エントランスバナー設置、参道フラッグ掲出
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	西日本新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、日本経済新聞
テレビ、ラジオ	NHK、ケーブルステーション福岡、TVQ九州放送「太宰府・九博　散歩道」、NHKラジオ第一
雑誌	すごい美術展2023、九州じゃらん、まいにちスペイン語、プラスアルファ、offtime、ソラシドエア機内誌、遊人、FREE、ぐらんざ、地元新聞社、ながさきプレス、AERA with kid、muto、ミニコミまいんず、月刊MOE、ライフさせぼ、小学生新聞、広報太宰府、月刊はかた、広報ちくしの、月刊九州王国、クルメスタイル、POPFUN
インターネットメディア	Culture NIPPON、アートアジェンダ、インフォメーションテクノロジー関西、Walkerplus、九州サイト、ふくおかサポートねっと、ARTNE、イベントバンク、レディースアートネーチャー、福岡おでかけナビ、リロクラブ、ふくおかみんなで家族月刊、ムー
その他	ナカノ商会、日田市民文化振興
③報道発表会	
実施日	7月25日（火）
人数等	11媒体19名（場所：研修室）
④報道内覧会	
実施日	10月2日（月）
人数等	14媒体27名（場所：特別展示室）

・生誕270年 長沢芦雪 ー若冲、応挙につづく天才画家ー

会期	6年2月6日（火）～3月31日（日）（48日間）
ターゲット	一般の歴史ファン、絵画ファン、日本美術ファン、文化財に関心のある一般市民等
重点項目	一般のマスメディア、SNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,140件（博物館・美術館・キャンパスメンバーズ・図書館・文化施設・太宰府市内公民館等） 西鉄太宰府駅、JR二日市駅
交通広告	西鉄バス（車内サイネージ）、JR博多駅中央改札口マルチビジョン
新聞・雑誌広告	西日本新聞
テレビ広告	RKB毎日放送
季刊情報誌「アジアージュ」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、X(旧Twitter)での情報発信
その他	エントランスバナー設置
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	西日本新聞、朝日新聞、佐賀新聞、 読売新聞
テレビ、ラジオ	ケーブルステーション福岡、RKB毎日放送　NHK　KBC九州朝日放送　FBS福岡放送

雑誌	muto、鶴屋トラベルサロン、広報筑紫野、エスプレッソ、FREE、offtime、茶道雑誌、コミュニティ八女、ミニコミまいんず、ぐらんざ、日本建築協会、MOE、ライフさせぼ、美術の窓、九州王国、地元新聞、月刊はかた、アートコレクターズ、墨
インターネットメディア	アートアジェンダ、FASHION PRESS、ぴあ、CultureNIPPON、美術手帖、Walkerplus、イベントバンク、福岡おでかけナビ、美術展ナビ
その他	ナカノ商会
③報道発表会	
実施日	11月14日（火）
人数等	10媒体15名（場所：研修室）
④報道内覧会	
実施日	6年2月5日
人数等	15媒体　36人（場所：特別展室）

【皇居三の丸尚蔵館】
(1)企画展（平常展）

・皇居三の丸尚蔵館　開館記念展「皇室のみやびー受け継ぐ美ー」

会期	11月3日（金・祝）～令和6年6月23日（日）（114日間）
ターゲット	皇室ファン、日本美術・歴史ファン、外国人観光客
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	613件＋ハガキ件数（美術館、博物館、図書館、ホテル、地方展開開催館、宮内庁、皇居外苑等）
交通広告	デジタルサイネージ広告（大手町駅・東京駅）、駅貼りポスター（乃木坂・竹橋駅・三越前駅・大手町駅・表参道駅・恵比寿駅・霞ヶ関駅・二重橋前駅・京橋駅）、チラシポケット（京成スカイライナー）
新聞・雑誌広告	読売新聞
テレビ広告	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB：館ウェブサイト、読売新聞社（紡ぐプロジェクト公式サイト）、文化庁ウェブサイト、文化庁広報誌ぶんかる（ウェブサイト）、館公式SNS（Instagram）、JNTO（公式ウェブサイト・Facebook・ニュースレター・ブログ）、エクスポート・ジャパン（Japan guide Travel News）、JTB（Japan Web Magazine・JAPAN INFOCUS）、TOPPAN（Tokyo Weekender）
その他	皇居大手門・平川門・北桔橋門の掲示版へ掲示
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	読売新聞・毎日新聞・朝日新聞・産経新聞・日本経済新聞・中日新聞・富山新聞・北國新聞・千葉日報・奈良新聞・北陸中日新聞・岩手日日新聞・釧路新聞・島根日日新聞・伊勢新聞・北日本新聞・熊本日日新聞・下野新聞・福井新聞・山形新聞・南海日日新聞・岐阜新聞・十勝毎日新聞・苫小牧民報・陸奥新聞・八重山毎日新聞・デーリー東北・長野日報・茨城新聞・東奥日報・河北新報・山梨日日新聞・高知新聞・埼玉新聞・新潟日報・徳島新聞・茨城新聞・西日本新聞・毎日小学生新聞・文教ニュース など
テレビ、ラジオ	NHK（ニュース、日曜美術館アートシーン）、テレビ朝日（グッド！モーニング、スーパーJチャンネル）、テレビ東京（皇室の窓）、日本テレビ（newsevery、newszero、情報ライブミヤネ屋、ズームイン!!サタデー）、TBS（ゴゴスマ、Nスタ、皇室アルバム）、フジテレビ（FNN LiveNewsdays、FNN LiveNewsα、Live Newsイット！、めざましどようび、日曜報道THE PRIME、皇室ご一家）など
雑誌	女性セブン・週刊ダイヤモンド・週刊新潮・美術の窓・新美術新聞・目の眼・月刊美術・芸術新潮・ムー・婦人画報・エクラ・小さな蕾・美しいキモノ・美じょん新報・墨・茶道雑誌・ひらがなタイムズ・典蔵古美術・AERA dot.・東京人・ACT4 など
インターネットメディア	インターネットミュージアム・アートアジェンダ・スフマート・TSUMUGU・ぴあオンライン・Tokyo Live＆Exhibits・イロハニアート・W LIFE・美術展ナビ・美術手帖オンライン・Imoress Watch・リビング東京WEB・JB PRESS・丸の内LOVE Walker・あるくあるけるMAP＆NEWS・TCVB・イーヒルズ、ミュージアムマン、ウェッジ、アイエム など
その他	―
③報道発表会	
実施日	令和5年9月29日
人数等	54名
④報道内覧会	
実施日	令和5年11月2日、令和6年1月9日、令和6年3月11日
人数等	86名（11/2）、32名（1/9）、65名（3/11）

(2)特別展示

・御即位5年・御成婚30年記念 特別展示「令和の御代を迎えて－天皇皇后両陛下が歩まれた30年」

会期	11月3日（金・祝）～12月24日（日）（開館45日間）
ターゲット	皇室ファン、日本美術・歴史ファン、外国人観光客
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	開館記念展「皇室のみやび－受け継ぐ美」第１期「三の丸尚蔵館の国宝」と同時開催
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DMM送付	613件＋ハガキ件数（美術館、博物館、図書館、ホテル、地方展開開催館、宮内庁等）
交通広告	大手町駅デジタルサイネージ広告、駅貼りポスター（乃木坂・竹橋駅・三越前駅）
新聞・雑誌広告	読売新聞
テレビ広告	―
季刊情報誌「アジアージュ」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB：館ウェブサイト、読売新聞社（紡ぐプロジェクト公式サイト）
その他	皇居大手門・平川門・北桔橋門の掲示版へ掲示
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	産経新聞、朝日新聞、読売新聞、日本経済新聞、奈良新聞、東京新聞、岩手日日、世界新報、北國新聞、釧路新聞、島根日日新聞、南海日日新聞、中日新聞、神戸新聞、北日本新聞、下野新聞、日刊県民福井、富山新聞、福井新聞、伊勢新聞、新美術新聞、十勝毎日新聞、苫小牧民報、陸奥新報、八重山毎日新聞、デーリー東北、茨城新聞、静岡新聞、東奥日報、山形新聞、信濃毎日新聞、日本海新聞、徳島新聞、四国新聞、長崎新聞、熊本日日新聞、宮崎日日新聞、盛岡タイムス ほか
テレビ、ラジオ	NHK（ニュース）、テレビ朝日（大下容子ワイド!スクランブル、スーパーJチャンネル）、日本テレビ（newsevery、newszero、情報ライブミヤネ屋、ズームイン!!サタデー）、TBS（ゴゴスマ、Ｎスタ、皇室アルバム）、フジテレビ（FNN LiveNewsdays、FNN LiveNews α、Live Newsイット！、めざましどようび、日曜報道THE PRIME、皇室ご一家）など
雑誌	女性自身、女性セブン、美術の窓、週刊女性 ほか
インターネットメディア	美術展ナビ、IM、桑原亘之介（note）、ぴあニュース、Yahoo!ニュース、Woman excite.、msnニュース、グノシー、@niftyニュース、W LIFE、日テレNEWS、gooニュース、産経新聞、dmenuニュース、livedoor NEWS、東京新聞、中日新聞、TBS NEWS DIG、E STARTニュース、infoseek News、au webポータル、BIGLOBEニュース、時事ドットコム、エンタメウィーク、mixiニュース ほか
その他	―
③報道発表会	
実施日	令和5年9月29日
人数等	54名
④報道内覧会	
実施日	令和5年11月2日
人数等	86名（11/2）

【平城宮跡資料館】

(1)平常展

会期	4月1日（土）～6年3月31日（日）（305日間）
ターゲット	平城宮跡訪問者、考古学愛好家
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
広報刊行物掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、SNSでの情報配信
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―

インターネットメディア	―
その他	―

(2)特別展等

・平城宮跡資料館 令和5年度 春期ミニ展示「よみがえる西大寺金堂院」

会期	5月27日（土）～ 7月17日（月・祝）（45日間）
ターゲット	平城宮跡訪問者、考古学愛好家
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
広報刊行物掲載	奈文研ニュース告知1回ほか
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、SNSでの情報配信
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	毎日新聞、産経新聞、奈良新聞
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―
インターネットメディア	―
その他	―
③報道発表会	
実施日	―
人数等	―
④報道内覧会	
実施日	―
人数等	―

・平城宮跡資料館 令和5年度 夏期企画展 「イカロスの翼ー薬師寺の発掘成果から見る近世と近代」

会期	7月22日（土）～10月1日（日）（61日間）
ターゲット	平城宮跡訪問者、考古学愛好家
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	576件(博物館・研究機関・教育委員会・神社、寺・大学・旅行会社・観光、報道関係等)
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
広報刊行物掲載	奈文研ニュース告知1回ほか
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、SNSでの情報配信
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	毎日新聞、奈良新聞、朝日新聞、読売新聞
テレビ、ラジオ	奈良テレビ
雑誌	―
インターネットメディア	―
その他	―
③報道発表会	

実施日	7月21日
人数等	7媒体（場所：平城宮跡資料館展示室）
④報道内覧会	
実施日	—
人数等	—

・令和5年度平城宮跡資料館秋期特別展・都城発掘調査部創設60周年記念「女帝のいのり－発掘された西大寺と西隆寺－」

会期	10月28日(土) ～ 2月12日(月・祝)（85日間）
ターゲット	平城宮跡訪問者、考古学愛好家
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	—
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	723件(博物館・研究機関・教育委員会・神社、寺・大学・旅行会社・観光、報道関係等)
交通広告	—
新聞・雑誌広告	—
テレビ広告	—
広報刊行物掲載	奈文研ニュース告知1回ほか
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、SNSでの情報配信
その他	—
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	朝日新聞、産経新聞
テレビ、ラジオ	奈良テレビ
雑誌	—
インターネットメディア	—
その他	—
③報道発表会	
実施日	10月30日
人数等	6媒体（場所：平城宮跡資料館展示室）
④報道内覧会	
実施日	—
人数等	—

【藤原宮跡資料室】

(1)平常展

会期	4月1日（土）～6年3月31日（日）（353日間）
ターゲット	特別史跡藤原宮跡等見学者、香具山等周辺遺跡への訪問者
重点項目	飛鳥・藤原地域での発掘・調査研究の成果と遺跡理解の促進
特記事項	新聞・インターネットメディア等で展示紹介記事掲載
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	—
交通広告	—
新聞・雑誌広告	—
テレビ広告	—
広報刊行物掲載	旅行ガイドブック、奈良県ポータルサイト等に掲載
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	—
その他	橿原市観光案内所等にリーフレット配置
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	—
テレビ、ラジオ	—
雑誌	—
インターネットメディア	—
その他	—

【飛鳥資料館】

(1)平常展

会期	4月1日（土）～6年3月31日（日）（307日間）
ターゲット	飛鳥を訪れる観光客、歴史・考古学の愛好家など
重点項目	広く一般のマスコミ、SNS、ウェブを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
広報刊行物掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、SNSでの情報配信
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	るるぶ奈良、奈良散策情報、DOkka!おでかけ探検隊、まっぷる情報、おしごとはくぶつかん情報館、東海歴史散歩、ミュージアムカフェ　ほか
インターネットメディア	あをによしなら旅ネット、日本政府観光局グローバルサイト、るるぶウェブサイト、奈良のミュージアム
その他	―

(2)特別展等

・ミニ展示「長法寺十三重石塔内に納められた押出三尊仏像と御正体」

会期	4月21日（金）～5月21日（土）（28日間）
ターゲット	歴史・考古学愛好家など
重点項目	広く一般のマスコミ、SNS、ウェブを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
広報刊行物掲載	奈文研ニュース告知1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、ブログ、SNSでの情報配信
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	奈良新聞
テレビ、ラジオ	―
雑誌	広報あすか
インターネットメディア	―
その他	橿原ナビプラザ
③報道発表会	
実施日	―
人数等	―
④報道内覧会	
実施日	―
人数等	―

・夏期企画展「第14回 写真コンテスト作品展「飛鳥のくらし」」

会期	7月14日（金）～9月18日（月）（59日間）
ターゲット	歴史・考古学愛好家、写真愛好家、飛鳥を散策したい観光客、
重点項目	写真投稿サイト、写真雑誌、地域の写真サークル、高校・大学の写真部などへの情報提供
特記事項	—
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,026件(47都道府県博物館・美術館・教育委員会・調査機関・寺社・図書館・大学、高校・中学･小学校（県内）・道の駅・ホテル・旅館、近隣観光施設等)
交通広告	近鉄沿線主要駅駅にチラシ配置
新聞・雑誌広告	—
テレビ広告	—
広報刊行物掲載	奈文研ニュース告知1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、ブログ、SNSでの情報配信
その他	—
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	朝日新聞、奈良新聞、毎日新聞、読売新聞
テレビ、ラジオ	—
雑誌	広報あすか
インターネットメディア	インターネットミュージアム、イベントバンク、チラシミュージアム
その他	橿原ナビプラザ
③報道発表会	
実施日	—
人数等	—
④報道内覧会	
実施日	—
人数等	—

・秋期特別展「川原寺と祈りのかけら」

会期	10月6日（金）～12月10日（日）（57日間）
ターゲット	歴史・考古学愛好家など
重点項目	広く一般のマスコミ、SNS、ウェブを通じた情報提供
特記事項	—
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,367件(47都道府県博物館・美術館・教育委員会・調査機関・寺社・図書館・大学、高校・中学･小学校（県内）・道の駅・ホテル・旅館、近隣観光施設等)
交通広告	近鉄沿線主要駅にチラシ配置
新聞・雑誌広告	—
テレビ広告	—
広報刊行物掲載	奈文研ニュース告知1回、文化庁広報誌ぶんかる「文化財のトビラ」
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、ブログ、SNSでの情報配信
その他	—
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、奈良新聞、産経新聞
テレビ、ラジオ	—
雑誌	広報あすか　ほか
インターネットメディア	イベントバンク、チラシミュージアム、なら旅ネット
その他	橿原ナビプラザ
③報道発表会	
実施日	10月5日
人数等	6媒体（場所：飛鳥資料館特別展示室）
④報道内覧会	
実施日	—
人数等	—

1-(3)-②-6 広報刊行物一覧

【本部】

刊行物名	発行部数	配布先
文化財活用センターパンフレット	500部	・視察者、関係施設等に配布
文化財活用センター事業報告書2022年度	300部	・視察者、関係施設等に配布 ・関係省庁等に配布
2022年度ぶんかつアウトリーチプログラム報告書	300部	・文化庁、首都圏小中学校、都道府県教育委員会、都道府県教育センター、国内の美術館・博物館等に送付及び配布
2025年度　国立文化財機構所蔵品貸与促進事業実施対象館募集　チラシ	2,500部	・地方公共団体、国内の美術館・博物館等に送付及び配布
デジタル法隆寺宝物館リーフレット（日英中韓）	(増刷)英語1,800部 中国語2,000部／韓国語1,000部	・館内で来館者に無償配布
デジタル法隆寺宝物館改訂版リーフレット（日英中韓）	日本語25,000部／英語4,800部＋増刷4500部 中国語3,500部／韓国語2,500部	・館内で来館者に無償配布
2024年度ぶんかつアウトリーチプログラム募集　パンフレット	3,000部	・首都圏小中学校、都道府県教育委員会、都道府県の教育センター、国内の美術館・博物館等に送付及び配布
2024年度なぶんけん×ぶんかつアウトリーチプログラム募集　チラシ	2500部	・近畿小中学校、都道府県教育委員会、国内の美術館・博物館・埋文センター等に送付及び配布
〈冬木小袖〉修理プロジェクト報告書	300部	・〈冬木小袖〉修理プロジェクト寄附者等及び関係者に配布
文化財防災センターパンフレット2022年版（4月改訂）	2,200部	・国内の関係機関等に配布 ・奈良文化財研究所「全国遺跡報告総覧」を通じて、WEB上にて公開
文化財防災センターパンフレット英語版	500部	・文化財防災センターWEBサイトにて公開
文化財防災救援基金リーフレット	1,000部	・マスコミ媒体に配布
文化財防災センターパンフレット2020年版（８月改訂）	1,000部	・国内の関係機関等に配布 ・奈良文化財研究所「全国遺跡報告総覧」を通じて、WEB上にて公開
文化財防災センターパンフレット2022年版（増刷）	500部	・国内の関係機関等に配布 ・奈良文化財研究所「全国遺跡報告総覧」を通じて、WEB上にて公開
文化財防災センターパンフレット英語版（増刷）	500部	・国際会議、国際学会にて配布 ・文化財防災センターWEBサイトにて公開
文化財防災救援基金リーフレット（増刷）	1,300部	・マスコミ媒体に配布

【東京国立博物館】

刊行物名	発行部数		配布先
東京国立博物館ニュース	6・7・8月号	60,000部	来館者、マスコミ媒体（新聞・雑誌・放送局各社）、定期郵送希望者、友の会・賛助会等会員、キャンパスメンバーズ会員校、国内外の美術館・博物館・大学・研究所等に送付
	9・10・11月号	60,000部	
	12月・6年1・2月号	60,000部	
	6年3・4・5月号	60,000部	
東京国立博物館総合案内パンフレット 5年3月改訂	日本語	83,000部	館内で来館者に無償配布、ウェブサイトにPDFを掲出
	英語	110,000部	
	中国語（簡体字）	45,000部	
	中国語（繁体字）	17,000部	
	韓国語	33,000部	
	フランス語	15,000部	
	スペイン語	15,000部	
	ドイツ語	15,000部	

【京都国立博物館】

刊行物名	発行部数		配布先
京都国立博物館だより	218号（4・5・6月）	13,000部	館内で来館者に無償配布 新聞・雑誌・放送局各社、学校・図書館・美術館・博物館ほか郵送希望者にも発送
	219号（7・8・9月）	10,000部	
	220号（10・11・12月）	13,000部	
	221号（6年1・2・3月）	10,000部	
Kyoto National Museum Newsletter	Vol.157（4・5・6月）	3,000部	館内で来館者に無償配布
	Vol.158（7・8・9月）	3,000部	
	Vol.159（10・11・12月）	3,000部	
	Vol.160（6年1・2・3月）	3,000部	

刊　行　物　名	発　行　部　数	配　　布　　先
2024年度年間スケジュール	10,000部	館内で来館者に無償配布 新聞・雑誌・放送局各社、学校・図書館・美術館・博物館ほか 郵送希望者にも発送
京都国立博物館パンフレット2022	4年度の残部を使用し新規印刷は無し	来訪者に無償配布

【奈良国立博物館】

刊　行　物　名	発 行 部 数	配　　布　　先
奈良国立博物館だより （年4回）	春(125)号　20,000部 夏(126)号　20,000部 秋(127)号　20,000部 冬(128)号　20,000部	美術館・博物館・学校・研究所・寄託者・寄贈者・郵送希望者等　約1,450件に発送
奈良国立博物館展示案内	25,000部	館内で来館者に配布 奈良国立博物館だより127号送付時に同封
奈良国立博物館リーフレット	和文は昨年度の残部を使用し新規印刷は無し 英語5,000部 中国語2,000部 韓国語2,000部	館内で来館者に配布

【九州国立博物館】

刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
九州国立博物館案内リーフレット	日本語版　26,000部 中国語版（簡体字）　2,000部 中国語版（繁体字）　1,000部 韓国語版　2,000部 英語版　4,000部 ドイツ語版　1,000部 フランス語版　1,000部 スペイン語版　1,000部 合計　38,000部	・館内で来館者に配布 ・学校関係、視察者等へ配布
文化交流展示室案内マップ	日本語版　5,117部 合計　5,117部	・館内で来館者に配布 ・学校関係、視察者等へ配布
九州国立博物館概要	日本語版　1,800部 中国語版　200部 韓国語版　200部 英語版　300部 合計　2,500部	・視察者等に配布 ・学校関係へ郵送
季刊情報誌「アジアージュ」	春(68)号　45,000部 夏(69)号　45,000部 秋(70)号　45,000部 冬(71)号　45,000部 合計　180,000部	・館内で来館者に配布 ・美術館・博物館、近隣文化施設、県内市町村 近隣大学、太宰府市、友の会会員等へ郵送
九州国立博物館の展示並びにイベントのご案内	隔月発行　各号16,000部	・館内で来館者に配布 ・郵便局、学校、図書館、ホテル、公共施設、道の駅等に配布
九州国立博物館　2023年間スケジュール	10,000部	・館内で来館者に配布 ・近隣駅、観光案内所等で配布
学校利用ガイド	1,500部	・館内で来館した学校に配布 ・アウトリーチ活動（きゅーはくきゃらばん）で出向いた学校・イベント先で配布

【皇居三の丸尚蔵館】

刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
皇居三の丸尚蔵館案内リーフレット	日本語版　90,000部 英語版　30,000部 中国語（簡体字）版　10,000部 韓国語版　10,000部 フランス語版　10,000部 中国語（繁体字）版　10,000部	・館内で来館者に無償配布 ・美術館・博物館、近隣施設、ホテルへ郵送
多言語解説リーフレット 「国宝　春日権現験記絵」	英語版　20,000部 日本語版　20,000部	・館内で来館者に無償配布 ・関係施設へ郵送

1-(3)-②-7 ウェブサイトアクセス件数　　（後述の資料に記載）◎共通資料d

1-(5) 国内外の博物館活動への寄与

1-(5)-① 国内外の博物館等への有形文化財の貸与

1-(5)-①-1国内外の博物館等への所蔵品・寄託品貸与件数

令和6年3月31日現在

		国立博物館計			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館			皇居三の丸尚蔵館		
		計	国内	海外	計	国内	海外	計	国内	海外	計	国内	海外	計	国内	海外	計	国内	海外
貸与先件数		241	229	12	119	112	7	70	68	2	27	26	1	25	23	2	0	0	0
合　　計		1,584	1,362	222	999	808	191	328	310	18	125	119	6	132	125	7	0	0	0
絵画		395	386	9	183	183	0	150	149	1	41	36	5	21	18	3	0	0	0
書跡		90	90	0	17	17	0	53	53	0	12	12	0	8	8	0	0	0	0
彫刻		158	153	5	102	97	5	15	15	0	35	35	0	6	6	0	0	0	0
建築		3	3	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
金工		129	128	1	54	53	1	17	17	0	9	9	0	49	49	0	0	0	0
刀剣		10	10	0	10	10	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0
陶磁		87	65	22	50	45	5	37	20	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漆工		85	85	0	55	55	0	22	22	0	3	3	0	5	5	0	0	0	0
染織		47	43	4	26	23	3	10	10	0	9	8	1	2	2	0	0	0	0
考古		388	216	172	320	152	168	24	24	0	16	16	0	28	24	4	0	0	0
民族資料		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
歴史資料		20	20	0	10	10	0	0	0	0	0	0	0	10	10	0	0	0	0
和書		23	23	0	22	22	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
写真資料		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋	絵画	26	25	1	26	25	1												
	書跡	14	14	0	14	14	0												
	彫刻	2	0	2	2	0	2												
	金工	0	0	0	0	0	0												
	陶磁	22	17	5	22	17	5												
	漆工	6	6	0	6	6	0												
	染織	1	0	1	1	0	1												
	考古	48	48	0	48	48	0												
	民族	0	0	0	0	0	0												
法隆寺献納宝物		0	0	0	0	0	0												
黒田記念館収蔵品		14	14	0	14	14	0												
その他		15	15	0	15	15	0												

＊巡回展等で複数館に貸与する場合は、それぞれ館数と文化財件数をカウント。

付表・貸与件数の推移

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸与先件数		246	204	236	236	241
合　　計		1,488	1,235	1,688	1,579	1,584
絵画		416	278	405	417	395
書跡		46	67	74	122	90
彫刻		205	124	163	127	158
建築		13	16	9	7	3
金工		90	89	96	69	129
刀剣		35	26	30	13	10
陶磁		91	58	63	91	87
漆工		66	135	143	131	85
染織		66	105	142	42	47
考古		243	164	231	341	388
民族資料		0	0	60	45	1
歴史資料		39	33	24	17	20
和書		21	8	9	37	23
写真資料		28	0	0	11	0
東洋	絵画	20	30	23	9	26
	書跡	5	8	13	9	14
	彫刻	1	19	6	2	2
	金工	4	0	0	0	0
	陶磁	29	5	45	30	22
	漆工	2	2	4	2	6
	染織	0	0	0	0	1
	考古	28	22	55	38	48
	民族	0	0	0	0	0
法隆寺献納宝物		0	43	47	0	0
黒田記念館収蔵品		40	3	18	11	14
その他		0	0	0	8	15

＊東京国立博物館は、列品管理規程による「旧東洋課所掌分」あり。

1-(5)-①-2 国内外の博物館等への所蔵品・寄託品貸与先別件数

○所蔵品　　令和6年3月31日現在

	国立博物館計	
	貸与先件数	文化財件数
合計（国内+海外）	200	1,236
国内	189	1,027
国・国立	35	210
地方・公立	107	590
私立団体	47	227
海外	11	209

	東京国立博物館		京都国立博物館		奈良国立博物館		九州国立博物館		皇居三の丸尚蔵館	
	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数
合計（国内+海外）	114	939	44	180	20	50	22	67	0	0
国内	107	758	43	163	19	44	20	62	0	0
国・国立	19	131	10	63	4	8	2	8	0	0
地方・公立	56	454	23	59	12	26	16	51	0	0
私立団体	32	173	10	41	3	10	2	3	0	0
海外	7	181	1	17	1	6	2	5	0	0

○寄託品　　令和6年3月31日現在

	国立博物館計	
	貸与先件数	文化財件数
合計（国内+海外）	87	348
国内	83	335
国・国立	25	93
地方・公立	41	183
私立団体	17	59
海外	4	13

	東京国立博物館		京都国立博物館		奈良国立博物館		九州国立博物館		皇居三の丸尚蔵館	
	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数
合計（国内+海外）	19	60	41	148	20	75	7	65	0	0
国内	17	50	40	147	20	75	6	63	0	0
国・国立	5	18	10	53	7	19	3	3	0	0
地方・公立	9	24	19	52	10	47	3	60	0	0
私立団体	3	8	11	42	3	9	0	0	0	0
海外	2	10	1	1	0	0	1	2	0	0

[参考]

○長期借用品

令和6年3月31日現在

	皇居三の丸尚蔵館	
	貸与先件数	文化財件数
合計（国内+海外）	11	177
国内	11	177
国・国立	2	52
地方・公立	8	123
私立団体	1	2
海外	0	0

1-(5)-①-3 海外への列品貸与

令和6年3月31日現在

【東京国立博物館】　海外貸与先　7件　　海外貸与文化財191件[うち寄託品10件]

	展覧会名称	申請者 【 会場 】	貸与期間	種別・員数
1	常設展示（長期貸与）	フランス国立ギメ美術館【フランス国立ギメ美術館（フランス共和国パリ市）】	平成14年1月1日～5年12月31日	2件 東洋彫刻2件
2	常設展示「日本 仏教彫刻の世界」（長期貸与）	国立中央博物館（大韓民国ソウル市）	4年3月13日～6年10月29日	5件 彫刻5
3	「朝鮮白磁大展」	リウム美術館（大韓民国ソウル市）	2月8日～6月16日	2件 東洋陶磁2件
4	特別展「日本の美の原点」	イラクリオン考古学博物館（ギリシャ共和国イラクリオン）	5月22日～10月6日	168件 考古168件（うち寄託品9件）
5	「茶・世界」	故宮博物院（中華人民共和国北京市）	8月14日～12月21日	9件 金工1件 陶磁5件 東洋陶磁3件
6	特別展「中国南方の楽園　江南の至宝」	クリーブランド美術館（米国オハイオ州）	8月21日～6年1月26日	1件 東洋絵画1件
7	企画展「東アジア仏教美術と女性」	三星文化財団 湖巌美術館（大韓民国）	6年3月5日～7月5日	4件 染織3件（うち寄託品1件） 東洋染織1件

【京都国立博物館】　海外貸与先 2件　　海外貸与文化財 18件[うち寄託品 1件]

	展覧会名称	申請者 【 会場 】	貸与期間	種別・員数
1	「Japanese Tastes in Chinese Ceramics（陶磁器にみる日本人の中国趣味）」	サンフランシスコ･アジア美術館（アメリカ合衆国カリフォルニア州）	5年10月31日～6年5月11日	17件 陶磁17件
2	「The Heart of Zen（禅の心）」	サンフランシスコ･アジア美術館（アメリカ合衆国カリフォルニア州）	5年11月1日～6年1月12日	1件 絵画1件（寄託品）

【奈良国立博物館】　海外貸与先 1件　　海外貸与文化財 6件[うち寄託品 0件]

	展覧会名称	申請者 【 会場 】	貸与期間	種別・員数
1	「東アジア仏教美術と女性」	ホアム美術館（大韓民国京畿道龍仁市）	5年3月26日～6月16日	6件 絵画5 染織1

【九州国立博物館】　海外貸与先 2件　　海外貸与文化財 7件[うち寄託品 2件]

	展覧会名称	申請者 【 会場 】	貸与期間	種別・員数
1	「海を渡った加耶人」	国立金海博物館（大韓民国慶尚南道金海市）	5年4月15日～7月7日	4件 考古4
2	「東アジア仏教美術と女性」	三星文化財団【湖巌美術館】（大韓民国京畿道龍仁市）	6年2月26日～5月24日	3件（うち寄託品2件） 絵画3

1-(5)-①-4 考古の相互貸借実績

無し

1-(5)-② 国内外の博物館等への援助・助言等

1-(5)-②-1 国内外の博物館への援助・助言等に関する取組状況
（専門的・技術的な援助・助言の件数、行政、公私立博物館等の各種委員会等の各種委員等への就任件数、依頼事項への対応件数等）

【東京国立博物館】168件

	機　関	内　容	期　間	担　当　者
1	文化庁	令和5年度美術品補償制度部会・専門調査会委員	4月1日～3月31日	広報室長　鬼頭智美
2	京都市京セラ美術館	2024年国際展覧会オーガナイザー会議について	6月	広報室長　鬼頭智美
3	国立アートリサーチセンター	国際シンポジウム・ワークショップに係る企画競争入札の審査	9月12日～9月21日	広報室長　鬼頭智美
4	国立民族学博物館 JICA委託研修「博物館とコミュニティ開発コース」	東京国立博物館概要説明（運営ほか）	10月26日	広報室長　鬼頭智美
5	美術解剖学会	美術解剖学会 第29回美術解剖学会大会　大会実行委員長	7月15日	上席研究員　木下史青
6	一般社団法人 照明学会	日本照明賞審査委員会	10月1日～6年9月30日	上席研究員　木下史青
7	国立台南芸術大学博物館古物保存維護研究所（耿 鳳英教授）	博物館におけるファッション業界などへの領域を超えた展開の研究	6年1月11日	上席研究員　木下史青
8	東京美術倶楽部（壽泉堂美術）	茶会イベントに於ける現代美術(照明)の展示に関わる指導・監修	6年3月5日	上席研究員　木下史青
9	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	特別展「北陸新幹線 福井・敦賀 開業記念特別展 戦国大名朝倉氏　武威の煌めき 期 源氏物語と戦国武将開催」 に関わる展示及び照明についての指導・監修	6年3月7日	上席研究員　木下史青
10	福岡市美術館	福岡市美術館収集審査会	6年2月16日	企画課長　原田あゆみ
11	岡山県教育委員会	岡山県文化財保護審議会委員	4月1日～6年3月31日	企画課特別展室長　佐藤寛介
12	林原美術館	文化財（刀剣）調査	4月14日	企画課特別展室長　佐藤寛介
13	岡山県教育委員会	令和6年度岡山県教育委員会職員採用候補者選考試験　専門試験問題作成委員	5月25日～8月3日	企画課特別展室長　佐藤寛介
14	文化庁	第１２回指定文化財（美術工芸品）企画展示セミナー講師	7月7日	企画課特別展室長　佐藤寛介
15	島根県教育委員会	文化財調査（刀剣、甲冑）	9月14日～15日	企画課特別展室長　佐藤寛介
16	鳥取県教育委員会	文化財調査（甲冑）	11月16日～17日	企画課特別展室長　佐藤寛介
17	文化庁	国宝春日大社所蔵古神宝類復元模造事業審査委員会委員	11月25日～6年3月31日	企画課特別展室長　佐藤寛介
18	豊橋市教育委員会　鶴田知大様	吉田神社所蔵文化財調査協力	4月1日	企画課特別展室研究員　福島修
19	筆の里工房　黒松愛華様	所蔵文化財調査協力	7月7日～8日	企画課特別展室研究員　福島修
20	茨城県立歴史館	茨城県立歴史館協議会委員	4月1日～6年3月31日	企画課特別展室研究員　高橋真作
21	神奈川県立歴史博物館	祥啓と鎌倉画壇 ―「観音図(三十二幅)」と「喜江禅師像」を中心に	5月28日	企画課特別展室研究員　高橋真作
22	文化庁	買取評価員	11月30日	企画課特別展室研究員　高橋真作
23	皇居三の丸尚蔵館	展示及び環境デザインに関する助言。ロゴマーク選定	4月13日、4月25日、5月31日	企画課デザイン室長　矢野賀一
24	江戸東京博物館	展示デザインに関する助言	6月7日	企画課デザイン室長　矢野賀一
25	Hong Kong Heritage Museum	常設展の展示デザイン・グラフィック・サインについて	11月2日	企画課デザイン室研究員　荻堂正博
26	国立新美術館	キャプションの多言語化について	6年1月24日	企画課デザイン室研究員　荻堂正博
27	鶴見大学	文化財学会秋季シンポジウム「朱印船貿易時代の日本の陶磁文化」	11月4日	企画課出版企画室主任研究員　三笠景子
28	慶応義塾大学ミュージアム・コモンズ	臥遊展関連シンポジウム 「コレクションがつなぐ、 モノと人のネットワーク」	11月14日	企画課出版企画室主任研究員　三笠景子
29	ウィーン世界博物館	展示室内映像（1873年ウィーン万博日本展示）に対する協力	4月	企画課出版企画室主任研究員　遠藤楽子
30	東京大学史料編纂所	古写真研究プロジェクト／高精細デジタル画像解析を基軸とした幕末明治初期写真史料の研究資源化推進プロジェクト　共同研究員	4月1日～3月31日	企画課出版企画室主任研究員　遠藤楽子
31	アーティゾン美術館	当館製作の美術映画について情報提供	5月19日～9月20日	企画課出版企画室主任研究員　遠藤楽子
32	日墺協会	会報89号への寄稿（「万博展示品の悲劇、ニール号沈没事故」）	6月	企画課出版企画室主任研究員　遠藤楽子
33	大英博物館	所蔵品（JP-310～321）の画題・和歌の特定と先方データベース用の情報提供	10月27日	企画課出版企画室主任研究員　遠藤楽子
34	根津美術館、東京大学	特別展「北宋書画精華」国際学術シンポジウムの通訳	11月4日	企画課国際交流室アソシエイトフェロー　武瀟瀟
35	東京都立上野高校	学校連絡協議会委員	4月1日～6年3月31日	博物館教育課長　鈴木みどり
36	東京学芸大学	盲学校のためのスクールプログラム、触知図、ボランティア運営について助言	4月14日	博物館教育課長　鈴木みどり
37	ソウルデザイン財団	東京国立博物館のユニバーサルデザインについて助言	4月26日	博物館教育課長　鈴木みどり、企画課デザイン室研究員　荻堂正博、広報室専門職　織田有紀、総務課来館者支援担当係員　築島愛美

	機　関	内　容	期　間	担　当　者
38	国立国際美術館	盲学校のためのスクールプログラム・触察ツールについて助言	5月31日	博物館教育課長　鈴木みどり、博物館教育課教育普及室研究員　中村麻友美
39	人間文化機構	人文知コミュニケーター研修（盲学校のためのスクールプログラム実施・教育普及事業助言 ）	6月13日	博物館教育課長　鈴木みどり、博物館教育課教育普及室研究員　中村麻友美
40	東京学芸大学	「作品鑑賞から博物館体験へ～盲学校のためのスクールプログラムを中心に～」講演	6月27日	博物館教育課長　鈴木みどり
41	関東甲信越地区盲学校PTA連合会	盲学校のためのスクールプログラム実施および研修協力	10月5日	博物館教育課長　鈴木みどり
42	江戸東京博物館	盲学校のためのスクールプログラム・触察ツール・ボランティア研修・ボランティア運営について助言	10月19日	博物館教育課長　鈴木みどり、博物館教育課ボランティア室長川岸瀬里、博物館教育課ボランティア室主任研究員　小野塚拓造
43	明治大学	「東京国立博物館の教育普及～センサリーマップと盲学校のためのスクールプログラムを中心に～」講演	10月20日	博物館教育課長　鈴木みどり
44	MIHO　MUSEUM	盲学校のためのスクールプログラム・触察ツールについて、体験型スペースについて助言	11月5日	博物館教育課長　鈴木みどり
45	明治大学・東京理科大学	センサリーマップ研究のための調査協力	11月15日・11月16日・12月5日・12月6日・12月8日・12月10日・12月17日・12月20日・12月23日・6年1月10日・6年1月17日	博物館教育課長　鈴木みどり・博物館教育課教育普及室アソシエイトフェロー　増田万里奈
46	東京国立近代美術館	ボランティア運営について助言	12月3日	博物館教育課長　鈴木みどり、博物館教育課ボランティア室長　川岸瀬里
47	大韓民国歴史博物館	障がい者に向けた教育普及について助言	12月14日	博物館教育課長　鈴木みどり、企画課国際交流室アソシエイトフェロー　朴 祥炫
48	ナショナル・トラスト(英国)	自然と博物館を関連付けた取り組み「博物館でお花見を」事業に関して助言	6年3月28日	博物館教育課長　鈴木みどり・総務課長　竹之内勝典・経営企画室主任　柳澤想　ほか
49	国立アイヌ民族博物館	国立アイヌ博物館運営会議内構成員として助言・協力	3月1日から7年3月31日	博物館教育課教育普及室長　品川欣也
50	文化庁	国宝奈良県藤ノ木古墳出土品保存修理事業協力者会議にて助言・協力	5月16日から6年3月31日	博物館教育課教育普及室長　品川欣也
51	国立アイヌ民族博物館	国立アイヌ博物館運営会議内ワーキング会議構成員として助言・協力	6月5日から6年3月31日	博物館教育課教育普及室長　品川欣也
52	東京都歴史文化財団・アーツカウンシル東京	音声ガイドなどに関する制作・運営に関する助言・協力	12月8日	博物館教育課教育普及室長　品川欣也、博物館教育課教育普及室アソシエイトフェロー　増田万里奈
53	石山寺	文化財調査	7月29日、12月24日、12月25日	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一
54	東京理科大学、明治大学	「発達障害の感覚特性に配慮した社会生活環境の整備に向けた研究」に関する照明環境調査への助言・協力	6月16日	博物館教育課長　鈴木みどり、博物館教育課教育普及室アソシエイトフェロー　増田万里奈
55	明治大学、東京理科大学	「東京国立博物館における室内環境の印象評価に関する調査」への助言・協力	11月15日・11月16日・12月5日・12月6日・12月8日・12月10日・12月17日・12月20日・12月23日・1月10日・1月17日	博物館教育課長　鈴木みどり、博物館教育課教育普及室アソシエイトフェロー　増田万里奈
56	東京都歴史文化財団・アーツカウンシル東京	音声ガイドなどに関する制作・運営に関する助言・協力	12月8日	博物館教育課教育普及室長　品川欣也、博物館教育課教育普及室アソシエイトフェロー　増田万里奈
57	国立中正記念堂管理所	教育事業およびバリアフリー対応について	5月24日	博物館教育課ボランティア室長　川岸瀬里、企画課国際交流室長　楊鋭
58	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館／公益財団法人ミモカ美術振興財団	ミュージアムで実現する多様性に関する助言	6年2月5日	博物館教育課教育講座室アソシエイトフェロー　山本桃子
59	泉大津市立図書館	図書館協議会委員	4年3月1日～6年2月29日	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之
60	岸和田市立図書館	岸和田市新図書館（本館）整備庁内検討委員会運営支援等アドバイザー	7月1日～6年3月31日	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之
61	文化庁	「ボーンデジタル作品をはじめとした無体物資料の考え方」検討ワーキング委員	10月10日～5年12月31日	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之
62	千葉県庁	千葉県立中央博物館リニューアル基本計画検討懇談会委員	11月17日～7年3月31日	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之
63	船橋市飛ノ台史跡公園博物館	講演会「縄文大学」講師	11月29日	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之
64	内閣府知的財産戦略推進事務局	「デジタルアーカイブ推進に関する検討会」構成員	6年3月1日～9年3月31日	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之
65	宗像大社	国宝福岡県宗像大社沖津宮祭祀遺跡出土品ならびに国宝伝福岡県宗像大社沖津宮祭祀遺跡出土品保存活用計画策定委員会委員	4月1日～6年3月31日のうち3回	学芸研究部長　河野一隆

	機　関	内　容	期　間	担　当　者
66	福岡県教育委員会	福岡県装飾古墳総合調査指導委員会委員	4月1日～6年3月31日	学芸研究部長　河野一隆
67	茨城県県北生涯学習センター	講演:九州の古墳文化	6月17日	学芸研究部長　河野一隆
68	文化庁	文化審議会専門委員(文化財分科会)	4月1日～6年3月31日	特任研究員　救仁郷秀明
69	文化庁	文化審議会専門委員(文化財分科会)にかかる文化財調査	9月26日	特任研究員　救仁郷秀明
70	文化庁	買取協議員	11月30日	特任研究員　救仁郷秀明
71	文化庁	文化審議会文化財分科会第一専門調査会	6年2月29日～6年3月2日	特任研究員　救仁郷秀明
72	文化庁	文化審議会専門委員(文化財分科会)	4月1日～6年3月31日	特任研究員　田沢裕賀
73	東京都江戸東京博物館	資料収蔵委員会委員	4月1日～7年8月31日	特任研究員　田沢裕賀
74	新宿区	新宿区文化財保護審議会委員	4月1日～7年11月30日	特任研究員　田沢裕賀
75	千葉市	千葉市美術品等収集審査会委員	4月1日～7年1月6日	特任研究員　田沢裕賀
76	宮内庁三の丸尚蔵館	作品修理指導	6月23日、9月1日、6年2月1日	特任研究員　田沢裕賀
77	町田市立博物館	運営委員	～7年6月30日	特任研究員　今井敦
78	九谷赤絵:宮本屋窯と飯田屋八郎右衛門の世界(仮)全国巡回展開催実行委員会	実行委員	7月19日～8年6月28日	特任研究員　今井敦
79	九谷赤絵:宮本屋窯と飯田屋八郎右衛門の世界(仮)東京展開催実行委員会	実行委員	7月20日～6年6月3日	特任研究員　今井敦
80	公益財団法人国際茶道文化協会	《茶の湯文化学》講座講師	9月19日	特任研究員　今井敦
81	日本伝統工芸士会	第25回日本伝統工芸士会作品展審査委員	11月3日	特任研究員　今井敦
82	小平市役所	小平市文化財保護審議会委員	4月1日～6年3月31日	上席研究員　勝木言一郎
83	一般社団法人こだいら観光まちづくり協会	「未来に残したい小平景観ベスト10」選考委員会選考委員	7月5日～6年3月31日	上席研究員　勝木言一郎
84	一般社団法人国宝修理装潢師連盟	修理技術者の資格認定試験の事前準備及び審査	4月1日～7年3月31日	列品管理課長　沖松健次郎
85	台東区立下町風俗資料館	収蔵品管理、データベースに関する助言	8月1日	列品管理課長　沖松健次郎
86	茨城県教育庁	県指定品に係る作品調査及び助言	8月29日	列品管理課長　沖松健次郎
87	鎌倉市教育委員会	鎌倉市文化財専門委員会	2年6月1日～7年5月31日	列品管理課登録室長・貸与特別観覧室長　瀬谷愛
88	日本学術会議	連携会員	2年10月1日～7年9月30日	列品管理課登録室長・貸与特別観覧室長　瀬谷愛
89	法隆寺	法隆寺金堂壁画保存活用委員会・壁画ワーキンググループ・美術史班	4月1日～6年 3月31日	列品管理課登録室長・貸与特別観覧室長　瀬谷愛
90	毘沙門堂楼門天井画修復記念事業実行委員会(南魚沼市)	「板谷桂舟と毘沙門堂楼門天井画」講演	4月29日	列品管理課登録室長・貸与特別観覧室長　瀬谷愛
91	鎌倉国宝館	鎌倉国宝館協議会委員	11月15日～7年11月14日	列品管理課登録室長・貸与特別観覧室長　瀬谷愛
92	大仙市	大仙市文化財保護普及に関する監修	8月1日～12月28日	列品管理課登録室長・貸与特別観覧室長　瀬谷愛
93	日本博物館協会	「博物館総合調査」委員会	9月1日～7年3月31日	列品管理課登録室長・貸与特別観覧室長　瀬谷愛
94	東京都教育庁	東京都西多摩郡彫刻調査委員会委員	12月9日～継続中	列品管理課登録室主任研究員　西木政統
95	台東区立下町風俗資料館	収蔵品管理システム、データベース構築に関する助言	7月28日	列品管理課登録室主任専門職　田邊留美子
96	台北国立中正記念堂	展示リニューアルに関する助言	5月24日	企画課国際交流室長　楊鋭、博物館教育課ボランティア室長　川岸瀬里、列品管理課平常展調整室長　市元塁
97	メトロポリタン美術館	倣古銅器の展示に関する助言	6月5日、11月1日	保存修復課保存修復室長　猪熊兼樹、列品管理課平常展調整室長　市元塁
98	京都大学総合博物館	北方青銅器の展示に関する助言	11月13日	列品管理課平常展調整室長　市元塁
99	大倉集古館	新春展に関する助言	12月18日	列品管理課平常展調整室長　市元塁
100	静岡県掛川市	掛川市三熊野神社大祭の祢里行事無形民俗文化財記録作成事業(天幕)	2年9月1日～7年3月31日	列品管理課平常展調整室主任専門職　髙木結美
101	静岡県掛川市	掛川市西新町山車(祢里)・天幕の修復・復元仕様指導書	8月4日	列品管理課平常展調整室主任専門職　髙木結美
102	学校法人根津育英会武蔵学園	武蔵学園所蔵「朝田家染色関係資料」調査事業	4年9月1日～6年3月31日	列品管理課平常展調整室主任専門職・髙木結美
103	文化庁	文化審議会専門委員	4月1日～3月31日	調査研究課長　小山弓弦葉
104	文化庁	近代工芸の保存に関する懇談会	6月12日	調査研究課長　小山弓弦葉
105	米沢市博物館	米沢市上杉博物館資料収集にかかる資料評価	6月18日	調査研究課長　小山弓弦葉
106	文化庁	第四専門調査会委員	6月27日	調査研究課長　小山弓弦葉
107	渋谷区立松濤美術館	展示指導	6月28日	調査研究課長　小山弓弦葉

	機　関	内　容	期　間	担　当　者
108	日本工芸会	第70回日本伝統工芸展第一次審査	7月26日、7月27日	調査研究課長　小山弓弦葉
109	文化庁	令和5年度「選定保存美術広報事業」企画審査	7月～8月	調査研究課長　小山弓弦葉
110	古河市教育委員会	鶴峯八幡宮が所蔵する無形民俗文化財「中田永代太々神楽」染織文化財調査および調査報告書の作成	8月4日	調査研究課長　小山弓弦葉
111	渋谷区立松濤美術館	撤収指導	8月29日	調査研究課長　小山弓弦葉
112	シルク博物館	第27回全国染織作品展審査	9月1日	調査研究課長　小山弓弦葉
113	静岡市美術館	展示指導	10月30日	調査研究課長　小山弓弦葉
114	静岡市美術館	撤収指導	11月16日	調査研究課長　小山弓弦葉
115	文化庁	無形文化財工芸技術資料買取協議員	11月21日	調査研究課長・小山弓弦葉
116	文化庁	国宝春日大社所蔵古神宝類復元模造事業 審査委員会委員	11月28日～6年3月31日	調査研究課長　小山弓弦葉
117	下関市美術館	展示指導	6年2月2日	調査研究課長　小山弓弦葉
118	文化庁	林原美術館所蔵 重要文化財 能装束 繍箔葭水禽文復元模造事業」審査委員	6年2月21日～6年3月31日	調査研究課長　小山弓弦葉
119	文化庁	文化審議会文化財分科会 第一専門調査会	6年2月29日～6年3月2日	調査研究課長　小山弓弦葉
120	湖巌美術館	展示指導	6年3月18日	調査研究課長　小山弓弦葉
121	森町教育委員会	森町屋台天幕の調査・保存指導	6年3月26日	調査研究課長　小山弓弦葉
122	文化庁	買取評価会買取評価員	12月1日	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕
123	文化庁	保存修理事業審査委員会委員	6年2月1日～3月31日	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕
124	国立国会図書館	企画展示に係る有識者ヒアリング	6年2月14日	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕
125	文化庁	非常勤調査員	4月1日～6年3月31日	調査研究課絵画・彫刻室主任研究員　植松瑞希
126	町田市立国際版画美術館	楊洲周延―江戸と明治の架け橋	10月22日	調査研究課絵画・彫刻室研究員　村瀬可奈
127	石川県立歴史博物館	いしかわ百万石文化祭2023リーディング事業 令和5年度秋季特別展　御殿の美	10月14日～11月26日	調査研究課書跡・歴史室研究員　長倉絵梨子
128	静岡県富士山世界遺産センター	特別展「シリーズ江戸文化のなかの富士山6 富士山 藝術の源泉」	6年1月1日～6年2月12日	調査研究課書跡・歴史室研究員　長倉絵梨子
129	文化庁	買取評価委	11月27日	調査研究課東洋室主任研究員　児島大輔
130	羽村市教育委員会	NHK展覧会関連文化講演会講師	6年2月12日	調査研究課東洋室主任研究員　児島大輔
131	板橋区教育委員会	NHK展覧会関連文化講演会講師	6年2月20日	調査研究課東洋室主任研究員　児島大輔
132	天台宗埼玉教区	研修講師	6年3月6日	調査研究課東洋室主任研究員　児島大輔
133	大東文化大学書道研究所	書道研究所所蔵資料調査	9月30日～10月31日	調査研究課東洋室研究員　六人部克典
134	文化庁	保存修理事業者候補の選定、現物調査含む事業の実施運営に関する助言等	10月26日～6年3月21日	調査研究課東洋室研究員　六人部克典
135	台東区立朝倉彫塑館	特集「生誕180年記念　呉昌碩の世界ーその魅力と受容ー」ギャラリートーク特別編	6年2月21日	調査研究課東洋室研究員　六人部克典
136	五條市	五條市史編集委員会専門部会員（美術工芸部会）	4月1日～7年3月31日	調査研究課工芸室主任研究員　清水健
137	公益財団法人日本博物館協会	美術品梱包輸送技能士認定試験審査員	6年2月17日	調査研究課工芸室主任研究員　清水健
138	静岡県	文化財保護審議会委員	6年3月15日～8年3月14日	調査研究課工芸室主任研究員　清水健
139	公益財団法人大倉文化財団 大倉集古館	インド染織の美技	9月23日	調査研究課工芸室　沼沢ゆかり
140	下関市立美術館	作品撤収立ち合い	6年3月19日	調査研究課工芸室　沼沢ゆかり
141	文化庁	文化財取り扱い研修の講師	7月5日	調査研究課考古室長　井出浩正
142	九州国立博物館	特別展「古代メキシコ」の展示と運営に関する援助・助言	9月24日～9月29日	調査研究課考古室長　井出浩正
143	九州国立博物館	特別展「古代メキシコ」展示補助	9月24日～9月29日	調査研究課考古室長　井出浩正、調査研究課考古室研究員　山本亮
144	茨木市文化財資料館	一般向け講演「近畿地方における銅戈の生産 -茨木市東奈良遺跡出土の土製銅戈鋳型をめぐって- 」	11月26日	調査研究課考古室研究員　菊池望
145	東久留米市文化財保護審議会	文化財保護審議委員として文化財の保護・指定に関する助言をおこなった	8月1日～7年7月31日	調査研究課考古室　飯田茂雄
146	ウィーン世界博物館	ウィーン万博出品作品に関する助言（アイヌ文化資料）	4月26日	調査研究課考古室　飯田茂雄
147	明治大学博物館	収蔵庫内の作品管理およびメンテナンスについて	7月21日	調査研究課考古室　飯田茂雄
148	文化庁	第12回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー（東京会場）講師「文化財梱包・輸送の科学」	7月3日	保存修復課長　和田浩
149	文化庁	第12回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー（京都会場）講師「文化財梱包・輸送の科学」	8月25日	保存修復課長　和田浩
150	小金井市公民館東分館	令和5年度小金井市公民館東分館成人学校講師「文化財を守る保存と修理」	10月28日	保存修復課長　和田浩
151	小金井市公民館東分館	令和5年度小金井市公民館東分館成人学校講師「トーハクの展示に学ぶ、保存と公開の両立」	11月11日	保存修復課長　和田浩

	機　関	内　容	期　間	担　当　者
152	日本包装学会	学会誌の査読	9月11日～11月6日	保存修復課長　和田浩
153	法隆寺	法隆寺金堂壁画保存活用委員会保存環境ワーキンググループ専門委員	4月1日～6年3月31日	保存修復課長　和田浩
154	文化庁	文化審議会専門委員	6月1日～6年3月31日	保存修復課長　和田浩
155	埼玉県立さきたま史跡の博物館	低酸素型展示ケース改修に関する協力	11月16日	保存修復課長　和田浩
156	目白漆芸文化財研究所	漆作品のCT画像解析について	10月4日	保存修復課調査分析室専門職　宮田将寛
157	日本工芸会	第70回日本伝統工芸展第１次鑑査委員	8月4日	保存修復課保存修復室長　猪熊兼樹
158	中日文化センター	講演「蒔絵　漆器に描かれた絵画」	11月18日	保存修復課保存修復室長　猪熊兼樹
159	文化庁	非常勤調査員（近世絵画に関する調査、修理案件の助言）	4月1日～6年3月31日	保存修復課保存修復室主任研究員　大橋美織
160	岩手町教育委員会	旧発掘資料(塑像部材）に関する相談	5月6日	保存修復課保存修復室主任研究員　野中昭美
161	文化庁	文化審議会専門委員（文化財分科会）	4月1日～6年3月31日	客員研究員　鍋島稲子
162	文化庁	第六専門調査会専門委員	4月1日～6年3月31日	客員研究員　鍋島稲子
163	文部科学省	文化審議会委員	9月2日～6年9月1日	客員研究員　鍋島稲子
164	徳島県立文学書道館	書の鑑賞	10月21日	客員研究員　鍋島稲子
165	愛知県教育委員会	愛知県文化財保護審議会委員	4月1日～6年3月31日	客員研究員　惠美千鶴子
166	文化庁	国有品修理事業業者採択審査委員	11月1日～11月13日	客員研究員　惠美千鶴子
167	文化庁	文化審議会専門委員（文化財分科会第六専門調査会）	4月1日～6年3月31日	客員研究員　惠美千鶴子
168	文部科学省	教科用図書検定調査審議会臨時委員	4月1日～9月30日	客員研究員　惠美千鶴子

【京都国立博物館】141件

	機　関	内　容	期　間	担　当　者
1	京都国立近代美術館	評議員	4月～6年3月	館長　松本伸之
2	公益社団法人日本工芸会	運営委員	4月～6年3月	館長　松本伸之
3	奈良国立博物館	評議員	4月～6年3月	館長　松本伸之
4	日本イタリア会館	顧問	4月～6年3月	館長　松本伸之
5	公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー　古典の日推進委員会	特別委員	4月～6年3月	館長　松本伸之
6	国立大学法人奈良国立大学機構	経営協議会委員	4月～6年3月	館長　松本伸之
7	奈良県	文化財保護体系推進会議委員	4月～6年3月	館長　松本伸之
8	公益財団法人京都古文化保存協会	評議員	6月～9年6月	館長　松本伸之
9	一般社団法人清風会	理事	6月12日～7年6月	館長　松本伸之
10	公益財団法人高梨学術奨励基金	理事	6月13日～7年6月	館長　松本伸之
11	文化庁	文化財修理センター(仮称)の在り方に関する検討会委員	9月～6年3月	副館長　北風幸一
12	京都大学大学院人間・環境学研究科	客員教授・客員准教授	4月～6年3月	学芸部長　尾野善裕 学芸部上席研究員　山川曉 学芸部教育室長　大原嘉豊 学芸部列品管理室長　永島明子
13	野崎家塩業歴史館	評議員	4月～6年3月	学芸部長　尾野善裕
14	公益財団法人大和文華館	公益財団法人大和文華館評議員	4月～6年3月	学芸部長　尾野善裕
15	大阪市教育委員会	大阪市文化財保護審議会委員	4月～6年3月	学芸部長　尾野善裕
16	奈良国立博物館	奈良国立博物館文化財保存修理所運営委員会委員	4月～6年3月	学芸部長　尾野善裕
17	九州国立博物館	九州国立博物館文化財保存修復施設運営委員会委員	4月～6年3月	学芸部長　尾野善裕
18	岐阜市	史跡岐阜城跡整備委員会委員	4月～6年3月	学芸部長　尾野善裕
19	西尾市教育委員会	西尾市史特別執筆員	4月～6年3月	学芸部長　尾野善裕
20	公益財団法人樂美術館	公益財団法人樂美術館作品購入委員会委員	4月～6年3月	学芸部長　尾野善裕
21	岐阜市	史跡岐阜城跡山麓居館庭園整備基本設計業務委託事業者審査委員会委員	5月～6月	学芸部長　尾野善裕
22	山県市教育委員会	大桑城跡出土遺物に関する指導	6月6日	学芸部長　尾野善裕
23	京都府教育委員会	京都府文化財保護審議会委員	4月～6年3月	学芸部上席研究員兼企画室長兼工芸室長　山川曉

	機　関	内　容	期　間	担　当　者
24	滋賀県	滋賀県文化財保護審議会委員	4月～5月	学芸部上席研究員兼企画室長兼工芸室長　山川曉
25	文化庁	文化審議会専門委員（文化財分科会）委員	4月～6年3月	学芸部上席研究員兼企画室長兼工芸室長　山川曉
26	公益財団法人仏教美術上野記念財団	研究委員会委員及び研究給付金選考委員会委員	4月～6年3月	学芸部上席研究員兼企画室長兼工芸室長　山川曉 学芸部調査・国際連携室研究員　上杉智英
27	公益財団法人祇園祭山鉾連合会	「祇園祭山鉾装飾品等専門委員」	4月～6年3月	学芸部上席研究員兼企画室長兼工芸室長　山川曉
28	花園大学国際禅学研究所	禅宗法式シンポジウム講師依頼ならびに講演題目提出	6年2月15日	学芸部上席研究員兼企画室長兼工芸室長　山川曉
29	一般社団法人日本染織作家協会	第47回日本染織作家展審査委員	6年3月6日	学芸部上席研究員兼企画室長兼工芸室長　山川曉
30	文化庁	国宝・重要文化財の指定等の現地調査	11月20日	学芸部上席研究員兼企画室長兼工芸室長　山川曉
31	三重県教育委員会	三重県文化財保護審議会委員	4月～6年3月	学芸部列品管理室長　永島明子
32	学校法人裏千家学園	講義講師	4月～6年3月	学芸部列品管理室長　永島明子
33	音羽山清水寺	仏教文化講座講師	5月23日	学芸部列品管理室長　永島明子
34	越前市教育委員会	越前市文化財保護委員会委員	4月～6年3月	学芸部教育室長　大原嘉豊
35	宗教法人四天王寺	国宝扇面法華経冊子保存修理委員会専門委員	4月～6年3月	学芸部教育室長　大原嘉豊
36	法隆寺	「法隆寺金堂壁画　保存活用委員会」壁画ワーキンググループ（美術史班）専門委員	4月～6年3月	学芸部教育室長　大原嘉豊
37	同志社大学	嘱託講師	9月～6年3月	学芸部教育室長　大原嘉豊
38	文化庁	美術工芸品買取鑑査会議委員	9月～6年3月	学芸部教育室長　大原嘉豊
39	一般社団法人京都當道会	京都府指定日吉山王本地仏曼荼羅図及び日吉山王垂迹神曼荼羅図修理完成記念行事における講和	4月19日	学芸部教育室長　大原嘉豊
40	西念寺	令和5年度京都非公開文化財特別公開中における講和	4月23日	学芸部教育室長　大原嘉豊
41	智山専修学院	特別講義（テーマ：仏画入門）	7月22日	学芸部教育室長　大原嘉豊
42	越前市教育委員会	三田村家・大瀧神社歴史資料調査会出席	9月26日	学芸部教育室長　大原嘉豊
43	宗教法人天野山金剛寺	ヴェーダ講座講師	11月3日	学芸部教育室長　大原嘉豊
44	文化庁	延暦寺所有重要文化財絹本著色山王本地仏像一幅復元模写模造事業審査委員会委員	6年2月～3月	学芸部教育室長　大原嘉豊
45	公益財団法人秋水美術館	評価選定委員	4月～6年3月	学芸部調査・国際連携室長　降矢哲男
46	学校法人瓜生山学園　京都芸術大学	非常勤講師	9月～6年3月	学芸部調査・国際連携室長　降矢哲男
47	華鴿大塚美術館	華鴿大塚美術館春季企画展「茶の湯事始2ー古田織部の時代展」講演講師	5月20日	学芸部調査・国際連携室長　降矢哲男
48	一般社団法人清風会	見学会派遣	6月12日	総務課課長補佐　藤井義範 学芸部調査・国際連携室長　降矢哲男 学芸部教育室　事務補佐員　河合優香
49	公益財団法人中條文化振興財団	夏季講習の講師派遣	8月26日	学芸部調査・国際連携室長　降矢哲男
50	野村美術館	シンポジウム登壇	9月3日	学芸部調査・国際連携室長　降矢哲男
51	宗教法人天野山金剛寺	ヴェーダ講座講師	10月1日	学芸部調査・国際連携室長　降矢哲男
52	公益財団法人小堀遠州顕彰会	第18回秋季講演会講師	10月9日	学芸部調査・国際連携室長　降矢哲男
53	公益財団法人国際茶道文化協会	国際茶道文化協会主催講座講師	12月19日	学芸部調査・国際連携室長　降矢哲男
54	多治見市教育委員会	多治見市文化財保護センター文化財講座講師	6年2月17日	学芸部調査・国際連携室長　降矢哲男
55	大分県立美術館	畠山記念館名品展での記念講演講師	6年3月16日	学芸部調査・国際連携室長　降矢哲男
56	近畿大学	非常勤講師	4月～6年3月	学芸部保存修理指導室長兼美術室長　羽田聡
57	園城寺	国宝智証大師関係文書典籍保存活用専門委員会委員	4月～6年3月	学芸部保存修理指導室長兼美術室長　羽田聡
58	一般社団法人国宝修理装潢師連盟	国宝修理装潢師連盟「修理技術者資格制度委員会」委員	4月～6年3月	学芸部保存修理指導室長兼美術室長　羽田聡
59	臨済宗妙心寺派総務本所 興祖微妙大師六百五十年遠諱事務局	興祖微妙大師六百五十年遠諱大法会代表委員会委員	5月～6年3月	学芸部保存修理指導室長兼美術室長　羽田聡
60	文化庁	文化財の買取評価員	12月5日	学芸部保存修理指導室長兼美術室長　羽田聡
61	文化庁	福井崇蘭館本医学書43新編証類図註本草22冊及び121経史証類備急本草6冊保存修理事業審査委員会委員	6年2月～3月	学芸部保存修理指導室長兼美術室長　羽田聡
62	文化庁	古墳壁画保存活用検討会（修復班、材料調査班）	4月～6年3月	学芸部保存科学室長　降幡順子
63	鳥取県地域づくり推進部	とっとり弥生の王国調査整備活用委員会委員	4月～6年3月	学芸部保存科学室長　降幡順子
64	浄土宗総本山知恩院	浄土宗総本山「知恩院文化財保存委員」	4月～6年3月	学芸部保存科学室長　降幡順子
65	丸亀市教育委員会	丸亀市史跡快天山古墳保存整備委員会委員	4月～7月	学芸部保存科学室長　降幡順子

	機　関	内　容	期　間	担　当　者
66	日本文化財科学会	日本文化財科学会評議員	4月～6年3月	学芸部保存科学室長　降幡順子
67	日本文化財科学会	日本文化財科学会会計監査	4月～6年3月	学芸部保存科学室長　降幡順子
68	法隆寺	「法隆寺金堂壁画保存活用委員会」壁画ワーキンググループ（材料調査班）専門委員	4月～6年3月	学芸部保存科学室長　降幡順子
69	同志社女子大学	嘱託講師	4月～6年3月	学芸部保存科学室長　降幡順子
70	丸亀市教育委員会	丸亀市史跡快天山古墳保存整備委員会委員	8月～6年3月	学芸部保存科学室長　降幡順子
71	神戸大学	非常勤講師	8月	学芸部保存科学室長　降幡順子
72	株式会社染技連	文化財（美術工芸品）調査	5月13日	学芸部保存科学室長　降幡順子
73	名古屋市教育委員会文化財保護室	馬道具の装飾金属部分の蛍光Ｘ線分析	5月22日	学芸部保存科学室長　降幡順子
74	平等院ミュージアム鳳翔館	平等院鳳凰堂金具の再現制製作に伴う視察（鍍金工程）	5月25日	学芸部保存科学室長　降幡順子
75	文化庁	絹本著色山王本地仏像の赤外撮影、蛍光Ｘ線分析、分光分析	6月15日、16日、20日	学芸部保存科学室長　降幡順子 学芸部列品管理室専門職員　岡田愛
76	四万十市教育委員会	四万十市一宮神社蔵七星剣にかかるX線CTを用いた内部構造調査	8月9日、10日	学芸部保存科学室長　降幡順子
77	立命館大学歴史都市防災研究所	立命館大学ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」国際研修講師	9月15日	学芸部保存科学室長　降幡順子
78	犬山市教育委員会	犬山祭車山保存修理のための組成分析調査	9月19日	学芸部保存科学室長　降幡順子
79	宗教法人四天王寺	四天王寺六時堂 四天王像にかかる科学調査	10月10日	学芸部保存科学室長　降幡順子
80	立命館大学アート・リサーチセンター	押隈の彩色材料にかかる調査指導	10月11日	学芸部保存科学室長　降幡順子
81	公益財団法人長浜曳山文化協会	長浜曳山祭翁山懸装品（毛槍）の調査	3月8日	学芸部保存科学室長　降幡順子
82	十津川村	十津川村史編さん委員会編さん委員	6年1月～3月	学芸部考古室長　石田由紀子
83	音羽山清水寺	仏教文化講座講師	12月24日	学芸部考古室長　石田由紀子
84	立命館大学	授業担当講師	4月～9月	学芸部企画室主任研究員　井並林太郎
85	大阪読売サービス株式会社	講演講師	6月3日	学芸部企画室主任研究員　井並林太郎
86	音羽山清水寺	仏教文化講座講師	11月26日	学芸部企画室主任研究員　井並林太郎
87	文化庁	文化財の買取評価員	12月1日	学芸部企画室主任研究員　井並林太郎
88	文化庁	重要文化財紙本著色歓喜天霊験記（伝天神縁起）保存修理事業審査委員会委員	6年2月～3月	学芸部企画室主任研究員　井並林太郎
89	四万十市教育委員会	四万十市指定文化財七星剣調査委員会委員	4月～6年3月	学芸部列品管理室主任研究員　末兼俊彦
90	読売・日本テレビ文化センター	講義講演	4月～12月	学芸部列品管理室主任研究員　末兼俊彦
91	大阪よみうり文化センター	講演講師	4月～6年3月	学芸部列品管理室主任研究員　末兼俊彦
92	公益財団法人永青文庫	作品取扱および展示指導	4月～5月	学芸部列品管理室主任研究員　末兼俊彦
93	一般社団法人林原美術館	林原美術館文化財学術調査委員出席	4月14日	学芸部列品管理室主任研究員　末兼俊彦
94	名古屋市教育委員会文化財保護室	大森共存会所蔵する馬道具装飾金属部分の蛍光X線分析	5月22日	学芸部列品管理室主任研究員　末兼俊彦
95	音羽山清水寺	仏教文化講座講師	7月23日	学芸部列品管理室主任研究員　末兼俊彦
96	文化庁	第12回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー講師派遣	8月21日	学芸部列品管理室主任研究員　末兼俊彦
97	公益社団法人精密工学会	2023年度精密工学会秋季大会　特別講演	9月14日	学芸部列品管理室主任研究員　末兼俊彦
98	朝日カルチャーセンター	講義講演「大阪新刀を見る」講師	11月4日	学芸部列品管理室主任研究員　末兼俊彦
99	大阪成蹊大学	非常勤教員	4月～9月	学芸部教育室主任研究員　水谷亜希
100	兵庫県立人と自然の博物館	兵庫県立人と自然の博物館協議会委員	4月～10月	学芸部教育室主任研究員　水谷亜希
101	京都工芸繊維大学	非常勤講師	9月～6年3月	学芸部教育室主任研究員　水谷亜希
102	兵庫県立人と自然の博物館	兵庫県立人と自然の博物館協議会委員	10月～6年3月	学芸部教育室主任研究員　水谷亜希
103	公益財団法人仏教美術上野記念財団	研究委員会委員及び研究給付金選考委員会委員	6月～6年3月	学芸部教育室主任研究員　竹下繭子
104	公益財団法人祇園祭山鉾連合会	祇園祭山鉾装飾品等専門委員	6年2月～3月	学芸部教育室主任研究員　竹下繭子
105	智山専修学院	特別講義（テーマ：仏像入門）	7月15日	学芸部教育室主任研究員　竹下繭子
106	忍阪区長	忍阪街道まつりでの講演	10月7日	学芸部教育室主任研究員　竹下繭子
107	京田辺市史編さん委員会	京田辺市史編さん専門部会会員	4月～6年3月	学芸部美術室主任研究員　福士雄也
108	彦根市	旧井伊神社修復検討委員会委員	4月～6年3月	学芸部美術室主任研究員　福士雄也
109	京都橘大学	非常勤講師	9月～6年3月	学芸部美術室主任研究員　福士雄也

	機　関	内　容	期　間	担　当　者
110	文化庁	登録美術品評価会議	6年3月21日	学芸部美術室主任研究員 福士雄也
111	京都美術工芸大学	非常勤講師	4月～9月	学芸部列品管理室研究員 森道彦
112	龍谷大学	非常勤講師	4月～6年3月	学芸部列品管理室研究員 森道彦
113	鳥取県	鳥取県文化財保護審議会委員	6年3月	学芸部列品管理室研究員 森道彦
114	音羽山清水寺	仏教文化講座講師	4月23日	学芸部列品管理室研究員 森道彦
115	文化庁	文化財の買取評価員	11月30日	学芸部列品管理室研究員 森道彦
116	佛教大学	非常勤講師	9月～6年3月	学芸部調査・国際連携室研究員　上杉智英
117	文化庁	仁和寺聖教調査	7月24日、25日	学芸部調査・国際連携室研究員　上杉智英
118	一般社団法人清風会	見学会派遣	7月26日	学芸部調査・国際連携室研究員　上杉智英 学芸部教育室　事務補佐員 河合優香
119	音羽山清水寺	仏教文化講座講師	8月27日	学芸部調査・国際連携室研究員　上杉智英
120	文化庁	文化財の買取評価員	12月5日	学芸部調査・国際連携室研究員　上杉智英
121	野田市	野田市史編さん委員会専門委員	4月～6年3月	学芸部研究員　古谷毅
122	國學院大學	客員教授	4月～6年3月	学芸部研究員　古谷毅
123	國學院大學	非常勤講師	4月～6年3月	学芸部研究員　古谷毅
124	聖心女子大学	非常勤講師	9月～6年3月	学芸部研究員　古谷毅
125	文化庁	第12回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー講師派遣	8月23日	学芸部研究員　古谷毅
126	京都大学国際高等教育院	日本文化研修「京都国立博物館見学」講師	6年1月31日	学芸部特任研究員　宮川禎一、学芸部研究員　古谷毅
127	法隆寺	「法隆寺金堂壁画保存活用委員会」アーカイブワーキンググループ専門委員	4月～6年3月	学芸部列品管理室主任　岡田愛
128	文化庁	第12回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー講師派遣	8月23日	学芸部列品管理室専門職員 岡田愛
129	京都アメリカ大学コンソーシアム	非常勤講師	4月	学芸部調査・国際連携室主任専門職　リンネ マリサ
130	京都市立芸術大学	非常勤講師	10月～6年3月	学芸部調査・国際連携室主任専門職　リンネ マリサ
131	国立歴史民俗博物館	「人をつなぐジャポニズム―野村正治郎着物コレクションの軌跡（仮称）」展示プロジェクト委員	4月～6年3月	学芸部調査・国際連携室主任専門職　リンネ マリサ
132	ICOM日本委員会	ICOM日本委員会理事	5月～6年3月	学芸部調査・国際連携室主任専門職　リンネ マリサ
133	観光庁観光資源課	観光庁　地域観光資源の多言語解説整備支援事業「令和５年度分かりやすい多言語解説整備推進委員会」の本会及び部会委員	10月～6年3月	学芸部調査・国際連携室主任専門職　リンネ マリサ
134	京都アメリカ大学コンソーシアム	非常勤講師	6年1月～4月	学芸部調査・国際連携室主任専門職　リンネ マリサ
135	音羽山清水寺	仏教文化講座講師	6月25日	学芸部調査・国際連携室主任専門職　リンネ マリサ
136	京都女子大学	講義	10月12日	学芸部調査・国際連携室主任専門職　リンネ マリサ
137	東アジア文化遺産保存学会	国際シンポジウム実行委員	8月	学芸部企画アソシエイトフェロー　青木麻佑花
138	奈良大学	科学研究費研究補助業務	12月～6年3月	学芸部企画室アソシエイトフェロー　青木麻佑花
139	音羽山清水寺	仏教文化講座講師	9月24日	学芸部企画アソシエイトフェロー　青木麻佑花
140	奈良大学	博物館実習講演会講師	6月3日	学芸部保存科学室アソシエイトフェロー　中屋菜緒
141	富山県教育委員会	富山県文化財保護指導委員研修会講師	7月7日	学芸部保存科学室アソシエイトフェロー　中屋菜緒

【奈良国立博物館】65件

	機　関	内　容	期　間	担　当　者
1	奈良県文化・教育・くらし創造部	なら歴史芸術文化村コミッション委員	8月1日～7年7月31日	館長　井上洋一
2	文部科学省日本ユネスコ国内委員会	ユネスコ国内委員会委員	8月21日～6年3月29日	館長　井上洋一
3	ICOM日本委員会	ICOM日本委員会理事	4月1日～6年6月30日	館長　井上洋一
4	一般財団法人仏教美術協会	評議員	4月1日～6年3月31日	館長　井上洋一
5	奈良市	奈良市文化振興戦略懇話会　委員	6月～6年3月31日	館長　井上洋一
6	公益財団法人松伯美術館	理事	6月30日～7年6月29日	館長　井上洋一
7	公益財団法人大和文華館	理事	6月30日～7年6月29日	館長　井上洋一
8	公益財団法人仏教美術研究上野記念財団	評議員	6月～7年6月	館長　井上洋一
9	公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館	理事	6月8日～7年6月	館長　井上洋一
10	公益財団法人日本博物館協会	参与	4月1日～7年3月31日	館長　井上洋一

	機　関	内　容	期　間	担　当　者
11	京都国立博物館	評議員会評議員	4月1日～7年3月31日	館長　井上洋一
12	宮内庁	正倉院懇談会会員	4月1日～6年3月31日	館長　井上洋一
13	島根県教育委員会	島根県文化財保護審議会委員	4月1日～6年1月19日	館長　井上洋一
14	奈良県文化・教育・くらし創造部	なら歴史芸術文化村修復工房使用者等選定委員会委員	4月1日～6年3月31日	館長　井上洋一
15	奈良県立橿原考古学研究所	共同研究員	4月1日～8年3月31日	館長　井上洋一
16	一般財団法人東京国立博物館協力会	非常勤評議員	4月1日～6年3月31日	館長　井上洋一
17	公益社団法人日本工芸会	日本伝統工芸展運営委員	4月1日～6年3月31日	館長　井上洋一
18	文部科学省	「世界の記憶」国内案件に関する審査委員会審査委員	4月1日～6年3月31日	館長　井上洋一
19	文部科学省	「世界の記憶」国内推進体制の構築事業審査委員会委員	8月21日～6年3月29日	館長　井上洋一
20	法隆寺	法隆寺金堂壁画保存活用委員会委員	4月1日～6年3月31日	館長　井上洋一
21	公益社団法人日本工芸会	顧問	4月1日～6年3月31日	館長　井上洋一
22	國學院大學	非常勤講師	4月1日～6年3月31日	館長　井上洋一
23	兵庫県立考古博物館	運営委員会委員	12月1日～7年11月30日	館長　井上洋一
24	奈良県文化・教育・くらし創造部	なら歴史芸術文化村修復工房使用者等選定委員会委員	6月1日～7年5月31日	学芸部長　吉澤悟
25	公益財団法人大和文華館	評議員	4月1日～6年3月31日	学芸部長　吉澤悟
26	京都国立博物館	文化財保存修理所運営委員会委員	4月1日～6年3月31日	学芸部長　吉澤悟
27	九州国立博物館	文化財保存修復施設運営委員会委員	4月1日～6年3月31日	学芸部長　吉澤悟
28	国立歴史民俗博物館	共同研究	5月12日～5月14日	学芸部長　吉澤悟
29	特定非営利活動法人　文化財保存支援機構	会員	5月29日～6年3月31日	上席研究員　荒木臣紀
30	國學院大學	非常勤講師	4月1日～9月23日	上席研究員　荒木臣紀
31	天理市教育委員会	天理市文化財保護審議会委員	4月1日～6年3月31日	企画室長　谷口耕生
32	法隆寺	法隆寺金堂壁画保存活用委員会　壁画ワーキング・グループ（美術史班）専門委員	4月1日～6年3月31日	企画室長　谷口耕生
33	神戸大学	国立大学法人神戸大学大学院人文学研究科　教授	4月1日～6年3月31日	企画室長　谷口耕生
34	愛知県立芸術大学	非常勤講師	4月1日～6年3月31日	企画室長　谷口耕生
35	三重県	文化財保護審議会委員	9月24日～6年3月31日	企画室長　谷口耕生
36	京田辺市	市史編さん専門部会委員	6月27日～8年6月26日	企画室長　谷口耕生
37	文化庁	買取協議員	11月30日	企画室長　谷口耕生
38	大阪市立美術館	令和5年・6年度美術工芸品保存修理業務委託業者選定委員	9月26日	企画室長　谷口耕生
39	東北歴史博物館	東日本大震災復興祈念　特別展「悠久の絆　奈良・東北のみほとけ展」開催にかかる指導助言	4月1日～6年3月31日	学芸部長　吉澤悟、企画室長　谷口耕生、美術室長　岩井共二、情報サービス室長　北澤菜月、主任研究員　三田覚之、主任研究員　三本周作
40	石川県立美術館	特別展「まるごと奈良博」開催にかかる指導助言	4月1日～6年3月31日	企画室長　谷口耕生、美術室長　岩井共二、教育室長　中川あや、列品室長　斎木涼子、主任研究員　三本周作
41	島根県教育委員会	世界遺産室客員研究員	5月1日～6年3月31日	保存修理指導室長　鳥越俊行
42	国立民族学博物館	国立民族学博物館共同研究員	4月1日～6年3月31日	保存修理指導室長　鳥越俊行
43	国立アイヌ民族博物館	列品等修理請負候補者選定委員会委員	6年2月下旬～3月26日	保存修理指導室長　鳥越俊行
44	法隆寺	法隆寺金堂壁画保存活用委員会　アーカイブ・ワーキンググループ専門委員	4月1日～6年3月31日	資料室長　宮崎幹子
45	京都府立大学	非常勤講師	10月1日～6年3月31日	資料室長　宮崎幹子
46	山口市教育委員会	山口市文化財審議会委員	6年1月1日～7年12月31日	美術室長　岩井共二
47	神戸大学	国立大学法人神戸大学大学院人文学研究科　教授	4月1日～6年3月31日	美術室長　岩井共二
48	国立大学法人奈良女子大学	非常勤講師	4月1日～6年3月31日	美術室長　岩井共二
49	鳥取県	鳥取県文化財保護審議会委員	4月1日～6年2月29日	教育室長　中川あや
50	大阪大学	非常勤講師	4月1日～9月30日	教育室長　中川あや
51	園城寺	国宝智証大師関係文書典関保存活用専門委員会委員	5月29日～6年3月31日	列品室長　斎木涼子

	機　関	内　容	期　間	担　当　者
52	文化庁	買取評価員	12月5日	列品室長　斎木涼子
53	文化庁	仁和寺聖教調査	7月24日	列品室長　斎木涼子、 研究員　樋笠逸人
54	大阪中之島美術館	特別展「醍醐寺」（仮）開催に係る指導助言	5月29日～10年3月31日	列品室長　斎木涼子
55	文化庁	買取評価員	12月1日	情報サービス室長　北澤菜月
56	韓国　三星文化財団リウム美術館	特別展「東アジアと女性と仏教」開催にかかる指導助言	6年3月4日～3月31日	情報サービス室長　北澤菜月
57	国立大学法人奈良女子大学	非常勤講師	4月1日～9月30日	主任研究員　山口隆介
58	高野山大学	非常勤講師	4月1日～6年3月31日	主任研究員　山口隆介
59	みのり大学	講師	5月25日	主任研究員　三田覚之
60	豊川市桜ヶ丘ミュージアム	特別展「神殿狛犬の魅力」関連講演会 講師	11月11日	教育室員　内藤航
61	法隆寺	法隆寺金堂壁画保存活用委員会　アーカイブ・ワーキンググループ専門委員	4月1日～6年3月31日	資料室員　西川夏永
62	奈良大学	博物館実習 講師	6月17日	教育室員　翁みほり
63	杉野服飾大学	非常勤講師	4月11日～6年3月19日	企画室員　落合広倫
64	奈良市生涯学習財団	奈良学セミナー（後期）講演会 講師	1月14日	アソシエイトフェロー 松井美樹
65	長野県松本深志高等学校	「深志教養ゼミ」講師	11月18日	アソシエイトフェロー 久米彩也加

【九州国立博物館】63件

	機　関	内　容	期　間	担　当　者
1	株式会社TVQ九州放送	TVQ放送番組審議会委員長	11月1日～6年10月31日	館長　富田淳
2	公益社団法人日本伝統工芸会	日本伝統工芸展運営委員	10月25日～6年3月31日	館長　富田淳
3	一般財団法人　公園財団	研究顧問	11月1日～7年3月31日	館長　富田淳
4	西南学院大学博物館	協議会委員	11月1日～7年3月31日	館長　富田淳
5	千葉県立美術館	資料審査委員会(書道部門)委員	10月20日～7年6月30日	館長　富田淳
6	公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団	評議員	11月9日～8年6月	館長　富田淳
7	福岡県	古代日本の「西の都」文化観光推進協議会委員	11月15日～9年3月31日	館長　富田淳
8	福岡市博物館	協議会委員	6年1月1日～7年3月31日	館長　富田淳
9	九州ベトナム友好協会	特別顧問	12月1日～6年8月31日	館長　富田淳
10	公益財団法人福岡文化財団	評議員	12月22日～6年6月予定	館長　富田淳
11	令和の都だざいふ万葉大茶会実行委員会	令和の都だざいふ万葉大茶会実行委員会顧問	6年1月12日～2月29日	館長　富田淳
12	武蔵野大学	非常勤講師	4月26日～6年3月31日	副館長 小泉惠英
13	東京大学史料編纂所	共同研究研究員	4月1日～6年3月31日	学芸部文化財課長 野尻忠
14	法隆寺	「法隆寺金堂壁画　保存活用委員会」保存環境ワーキング・グループ専門委員	4月1日～6年3月31日	学芸部博物館科学課長(兼) 環境保全室長 木川りか
15	法隆寺	「法隆寺金堂壁画　保存活用委員会」壁画ワーキング・グループ美術史班専門委員	4月1日～6年3月31日	学芸部文化財課資料登録室長 森實久美子
16	西南学院大学	非常勤講師	4月1日～9月30日	学芸部博物館科学課長(兼) 環境保全室長 木川りか
17	西南学院大学	非常勤講師	4月1日～9月30日	学芸部博物館科学課保存修復室長 志賀智史
18	西南学院大学	非常勤講師	4月1日～9月30日	学芸部博物館科学課保存修復室主任研究員 鷲頭桂
19	西南学院大学	非常勤講師	4月1日～9月30日	学芸部博物館科学課環境保全室研究員 渡辺祐基
20	西南学院大学	非常勤講師	4月1日～9月30日	学芸部博物館科学課アソシエイトフェロー　和泉田　絢子
21	西南学院大学	非常勤講師	4月1日～9月30日	学芸部企画課文化交流展室長　川村　佳男
22	西南学院大学	非常勤講師	4月1日～9月30日	学芸部文化財課資料登録室長 森實久美子
23	文化庁	文化審議会専門委員(文化財部会)	4月1日～6年3月31日	学芸部企画課長　伊藤信二
24	公益財団法人文化財虫菌害研究所	文化財IPMコーディネータ委員会委員	4月1日～6年3月31日	学芸部博物館科学課長(兼) 環境保全室長 木川りか
25	公益財団法人文化財虫菌害研究所	総合的防除対策検討委員会委員	4月1日～6年3月31日	学芸部博物館科学課長(兼) 環境保全室長 木川りか
26	アート・ドキュメンテーション学会	役員(幹事)	4月1日～7年3月31日	本部文化財活用センターデジタル資源担当(併)九州国立博物館学芸部文化財課資料管理室　専門職　竹内　俊貴
27	福岡県教育庁教育総務部文化財保護課	福岡県銃砲等剣類登録審査会補助員	4月1日～6年3月31日	学芸部企画課特別展室主任研究員　望月　規史

	機　関	内　容	期　間	担　当　者
28	福岡県人づくり・県民生活部文化振興課新美術館建設室	「新福岡県立美術館管理運営方針策定支援業務委託公募型プロポーザル審査会」委員	5月19日～7月31日	副館長 小泉惠英
29	公益財団法人大野城まどかぴあ	講師	6年2月3日	学芸部企画課特別展室長　川畑　憲子
30	九州大学	非常勤講師	6月12日～12月4日	学芸部博物館科学課長（兼）環境保全室長 木川りか
31	九州文化財保存学研究会	講師	7月1日	学芸部博物館科学課長（兼）環境保全室長 木川りか
32	福岡県立美術館	福岡県立美術館協議会委員	9月7日～7年9月6日	副館長 小泉惠英
33	文化庁	公開承認施設担当者会議における事例報告	6月23日	学芸部博物館科学課長（兼）環境保全室長 木川りか
34	第70回日本伝統工芸展運営委員会	第1次鑑査委員	7月30日～7月31日	学芸部企画課特別展室長　川畑　憲子
35	福岡県豊前神楽保存連合会	豊前神楽民俗文化財伝承・活用等事業委員	7月13日～6年3月31日	学芸部企画課文化交流展室研究員 桑原有寿子
36	日本木材学会木質文化財研究会	講師	11月11日～11月12日	学芸部博物館科学課環境保全室研究員 渡辺祐基
37	公益財団法人文化財虫菌害研究所	講習会講師	12月7日	学芸部博物館科学課長（兼）環境保全室長 木川りか
38	福岡県伝統的工芸品振興協議会	第47回福岡県伝統的工芸品展　審査委員	9月1日～11月24日	学芸部長 白井克也
39	福岡県立美術館	福岡県立美術館協議会委員	9月7日～7年9月6日	副館長 小泉惠英
40	放送大学福岡学習センター	非常勤講師（面接授業担当）	10月1日～6年3月31日	学芸部長 白井克也
41	放送大学福岡学習センター	非常勤講師（面接授業担当）	10月1日～6年3月31日	学芸部文化財課資料登録室長 森實久美子
42	放送大学福岡学習センター	非常勤講師（面接授業担当）	10月1日～6年3月31日	学芸部博物館科学課長（兼）環境保全室長 木川りか
43	放送大学福岡学習センター	非常勤講師（面接授業担当）	10月1日～6年3月31日	学芸部博物館科学課保存修復室長 志賀智史
44	放送大学福岡学習センター	非常勤講師（面接授業担当）	10月1日～6年3月31日	学芸部企画課特別展室主任研究員 西島亜木子
45	放送大学福岡学習センター	非常勤講師（面接授業担当）	10月1日～6年3月31日	学芸部企画課特別展室長　川畑　憲子
46	NPO法人福岡城市民の会	講師	7月24日	学芸部企画課文化交流展室主任研究員　酒井田千明
47	文化庁	美術工芸品買取鑑査会議委員	9月19日～6年3月31日	学芸部文化財課長 野尻忠
48	西南学院大学	非常勤講師	9月1日～6年2月29日	学芸部企画課特別展室長　川畑　憲子
49	西南学院大学	非常勤講師	9月1日～6年2月29日	学芸部文化財課資料登録室研究員　松浦　晃佑
50	武蔵野大学	客員教授	9月1日～8年8月31日	副館長 小泉惠英
51	文化庁	令和5年度「近代歴史資料の保存に関する調査研究事業」審査委員会 委員	9月25日～6年3月31日	学芸部博物館科学課保存修復室長 志賀智史
52	博多織工業組合	第121回博多織求評会二次審査委員	11月10日	副館長 小泉惠英
53	一般社団法人 長崎県建築士会	講師	10月15日	学芸部博物館科学課保存修復室主任研究員 鷲頭桂
54	福岡商工会議所	講師	11月13日	副館長 小泉惠英
55	文化庁	重要文化財紙本著色歓喜天霊験記（伝天神縁起）保存修理事業における審査委員	6年2月5日～3月31日	学芸部文化財課資料登録室長 森實久美子
56	文化庁	延暦寺所有重要文化財 絹本著色山王本地仏像一幅復元模写模造事業審査委員会委員	6年2月18日～3月31日	学芸部文化財課資料登録室長 森實久美子
57	文化庁	国宝 婚礼調度類〈（徳川光友夫人千代姫所用）／〉のうち文台一基　復元模造事業 審査委員会委員	6年2月8日～3月31日	学芸部企画課特別展室長　川畑　憲子
58	文化庁	福井崇蘭館本医学書43 新編証類図註本草22 冊及び121 経史証類備急本草6冊 保存修理事業審査委員会委員	6年2月20日～3月31日	学芸部博物館科学課保存修復室長 志賀智史
59	文化庁	「林原美術館所蔵 重要文化財 能装束 繍箔葭水禽文復元模造事業」審査委員会委員	6年2月27日～3月31日	企画課特別展室研究員　桑原有寿子
60	公益財団法人東洋文庫	研究協力者	6年3月2日～3月3日	企画課文化交流展室アソシエイトフェロー　李梅
61	福岡県人づくり・県民生活部文化振興課新県立美術館建設室	新福岡県立美術館アドバイザリーボード構成員	6年3月4日～8年3月3日	副館長 小泉惠英
62	熊本博物館	講師	6年3月17日	学芸部博物館科学課長（兼）環境保全室長 木川りか
63	文化庁	登録美術品評価会議　協力者	6年3月21日	学芸部博物館科学課保存修復室主任研究員 鷲頭桂

【皇居三の丸尚蔵館】38件

	機　関	内　容	期　間	担　当　者
1	公益財団法人陽明文庫	理事	4月1日～6年3月31日	館長　島谷弘幸
2	公益社団法人日本工芸会	運営委員	4月1日～6年3月31日	館長　島谷弘幸
3	外務省	日米文化教育交流会議（カルコン）パネル委員	4月1日～6年3月31日	館長　島谷弘幸
4	光村図書出版	高校教科用図書「書道」編集委員	4月1日～6年3月31日	館長　島谷弘幸
5	ICOM日本委員会	理事	4月1日～6年3月31日	館長　島谷弘幸
6	文化庁	文化観光拠点を中核とした地域における文化観光推進事業に係る協力者会議委員	4月1日～6年3月31日	館長　島谷弘幸

	機　関	内　容	期　間	担　当　者
7	文化庁	文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律に係る計画認定委員会委員	4月1日～6年3月31日	館長　島谷弘幸
8	文化庁	文化審議会委員	4月1日～6年3月31日	館長　島谷弘幸
9	公益社団法人日展	日展諮問委員会委員	4月1日～6年3月31日	館長　島谷弘幸
10	徳島県立文学書道館	書道資料収集委員会委員	4月1日～6年3月31日	館長　島谷弘幸
11	独立行政法人国立美術館	運営委員会委員	4月1日～6年3月31日	館長　島谷弘幸
12	公益財団法人日本博物館協会	評議員	4月1日～6年3月31日	館長　島谷弘幸
13	文部科学省	ユネスコ「世界の記憶」国内案件に関する審査委員会委員	4月1日～6年3月31日	館長　島谷弘幸
14	文部科学省	ユネスコ「世界の記憶」に関する国内推進体制の構築業務（情報発信事業）審査委員会委員	4月1日～6年3月29日	館長　島谷弘幸
15	一般財団法人言語教育振興財団	理事	4月1日～6年3月31日	館長　島谷弘幸
16	博物館セキュリティ強化・連携推進事業実行委員会	ICOM（国際博物館会議）ICMS（博物館セキュリティ国際委員会）年次大会アドバイザー	6月1日～6年2月29日	館長　島谷弘幸
17	学校法人九州学園	理事及び評議員	7月28日～6年2月29日	館長　島谷弘幸
18	福岡県	文化芸術振興審議会委員	8月1日～6年3月31日	館長　島谷弘幸
19	独立行政法人日本芸術文化振興会	評議員	10月1日～6年3月31日	館長　島谷弘幸
20	文化庁	独立行政法人国立文化財機構評価委員	11月15日～6年3月31日	館長　島谷弘幸
21	東京都教育委員会	文化財保護審議会	10月1日～11月30日	副館長　朝賀浩
22	宮内庁	修理指導・助言	2月1日	副館長　朝賀浩
23	福井市教育委員会	福井市文化財保護委員会委員	10月1日～10月31日	学芸部展示・普及課長　戸田浩之
24	曹洞宗大本山永平寺	聖宝閣運営委員会委員	10月1日～3月31日	学芸部展示・普及課長　戸田浩之
25	福井市教育委員会	福井市文化財保護委員	10月1日～3月31日	学芸部展示・普及課長　戸田浩之
26	宮内庁	修理指導・助言	2月1日	学芸部展示・普及課長　戸田浩之
27	大正大学	非常勤講師	10月1日～6年3月31日	学芸部調査･保存課長　髙梨真行
28	埼玉県立歴史と民俗の博物館	資料評価委員	10月1日～6年3月31日	学芸部調査・保存課長　髙梨真行
29	埼玉学園大学	非常勤講師	10月1日～6年3月31日	学芸部調査・保存課長　髙梨真行
30	文化庁	非常勤調査員	12月18日～3月31日	学芸部調査･保存課長　髙梨真行
31	東洋陶磁学会	常任委員	10月1日～6年3月31日	学芸部展示･普及課主任研究員　岡本隆志
32	宮内庁	修理指導・助言	10月24日、3月1日	学芸部展示・普及課主任研究員　岡本隆志
33	京都芸術大学	非常勤講師	12月3日	学芸部展示・普及課研究員　田中純一朗
34	公益財団法人菊葉文化協会	調査協力	12月21日、22日	学芸部管理・情報課研究員　上嶋悟史
35	似鳥美術館	展示指導、調査協力	10月1日～12月31日	学芸部管理・情報課研究員　上嶋悟史
36	公益財団法人菊葉文化協会	調査協力	12月21日、22日	学芸部管理・情報課研究員　野中愛理
37	宮内庁	修理指導・助言	10月24日、3月1日	学芸部調査・保存課研究員　細川晋太郎
38	東京文化財研究所	調査協力	11月14日～17日	学芸部調査・保存課研究員　加藤広樹

1-(6) 文化財の積極的な活用による文化財の継承につながる新たな取組
1-(6)-① 文化財に親しむためのコンテンツの開発とモデル事業の推進
（レプリカや，VR・AR、8K映像など企画コンテンツの開発数）

【本部文化財活用センター】

令和6年3月31日現在

コンテンツ開発及び展開数　27件（うちコンテンツ開発数　18件）

	事業名称	内　容	期　間	担　当　者
1	コンテンツ開発	国宝「唐獅子図屏風」の高精細複製品制作（キヤノン株式会社との共同研究）	5年5月11日～6年3月29日	文化財活用センター企画担当研究員 小島有紀子、皇居三の丸尚蔵館副館長　朝賀浩、展示・普及課長戸田浩之、研究員　上嶋　悟史
2	コンテンツ開発	国宝「動植綵絵」の高精細複製品制作（キヤノン株式会社との共同研究）	6年3月21日～8年3月31日	文化財活用センター企画担当研究員 小島有紀子、皇居三の丸尚蔵館副館長　朝賀浩、展示・普及課長戸田浩之、研究員　上嶋　悟史
3	コンテンツ開発	「平家物語　一の谷・屋島合戦図屏風」の高精細複製品制作（キヤノン株式会社との共同研究）	6年1月24日～7年1月31日	文化財活用センター企画担当研究員 小島有紀子
4	コンテンツ開発	重要文化財「土偶（上黒駒）」のハンズオンレプリカ制作	6月22日～10月16日	文化財活用センター企画担当研究員 飯田茂雄・小島有紀子
5	コンテンツ開発	重要文化財「みみずく土偶」（樹脂製）のハンズオンレプリカ制作	8月23日～6年1月18日	文化財活用センター企画担当研究員 飯田茂雄・小島有紀子
6	コンテンツ開発	国宝「埴輪 挂甲の武人（彩色復元）」の複製制作	4月11日～11月24日	文化財活用センター企画担当研究員 飯田茂雄・小島有紀子
7	コンテンツ開発	国宝「袈裟襷文銅鐸（外縁付鈕２式銅鐸）」の複製追加加工	11月1日～11月20日	文化財活用センター企画担当研究員 飯田茂雄
8	コンテンツ開発	国宝「袈裟襷文銅鐸（外縁付鈕２式銅鐸）」(金属製)の複製製作	11月21日～6年12月20日	文化財活用センター企画担当研究員 飯田茂雄
9	コンテンツ開発	「自在蛇置物」のハンズオンレプリカ（2個）制作	10月1日～6年3月31日	文化財活用センター企画担当専門職 松沼穂積
10	コンテンツ開発	重文「果蔬涅槃図」の複製制作（京都国立博物館との共同）	10月1日～6年3月31日	文化財活用センター企画担当研究員飯田茂雄、京都国立博物館 水谷亜希
11	コンテンツ開発	「阿弥陀如来立像（裸形）」2種（現状古色・彩色復元腕可動）のハンズオンレプリカ並びにワークショップキット制作（奈良国立博物館との共同）	10月2日～6年3月31日	文化財活用センター企画担当研究員飯田茂雄、奈良国立博物館 翁みほり
12	コンテンツ開発	国宝「地獄草紙」の複製制作（奈良国立博物館との共同）	4月5日～5月25日	文化財活用センター企画担当研究員飯田茂雄、奈良国立博物館 翁みほり
13	コンテンツ開発	国宝「辟邪絵」の複製制作（奈良国立博物館との共同）	4月5日～5月25日	文化財活用センター企画担当研究員飯田茂雄、奈良国立博物館 翁みほり
14	コンテンツ開発	「六区袈裟襷文銅鐸」の複製制作（九州国立博物館との共同）	8月10日～6年3月31日	文化財活用センター企画担当研究員飯田茂雄、九州国立博物館　小澤佳憲
15	コンテンツ開発	Nintendo Switch『あつまれ どうぶつの森』における「ぶんかつ島」関連動画の制作（1件2本）	4月1日～12月21日	文化財活用センターデジタル資源担当　有期雇用職員　川合加容子、アソシエイトフェロー　加納彩子、企画担当専門職　松沼穂積
16	コンテンツ開発	「ぶんかつアウトリーチプログラム」関連動画の制作（2件）	3月3日～6月30日	文化財活用センター研究員 小島有紀子
17	コンテンツ開発	複製屏風を使用したタイムラプス動画の制作（2件）	12月26日	文化財活用センター研究員 小島有紀子
18	コンテンツ開発	「みんなの８Ｋ文化財」プロジェクト　体験コンテンツ「洛中洛外めぐり　400年前の京都へ」の改修版「８Ｋで楽しむ国宝屏風『洛中洛外 京めぐり』」の字幕付きコンテンツ、および日・英字幕サービス、手話CGサービスのアプリケーション開発	4月1日～6年3月31日	文化財活用センター企画担当室長 髙橋美奈子、飯田茂雄
19	コンテンツ展開	茶碗型ハンズオンコントローラーと8Kモニターを活用した体験型コンテンツ「8Kで文化財　ふれる・まわせる名茶碗」展開（九州国立博物館・東京国立博物館で公開）（文化庁「令和3年度地域ゆかりの文化資産地方展開促進事業　先端技術を活用した文化資産コンテンツ制作プロジェクト」受託により制作）	7月11日～9月3日、6年1月2日～3月31日	文化財活用センター企画担当専門職 松沼穂積
20	コンテンツ展開	複製・映像を使用した常設の体験型展示スペース「日本美術のとびら」でのコンテンツ展開（日本文化紹介映像、非接触体験展示「日本美術のデジタル年表」、高精細複製品を東京国立博物館で公開）	4月1日～6年3月31日（12月11日～12月24日は閉室）	文化財活用センター企画担当研究員 小島有紀子

21	コンテンツ展開	複製・映像を使用した体験型展示「四季をめぐる高精細複製屏風」展開（花下遊楽図屏風・松林図屏風へのプロジェクションマッピングをG7広島サミットIMC並びにアフターサミットで公開）	5月18日～5月22日、5月24日～5月27日	文化財活用センター企画担当 研究員 小島有紀子
22	コンテンツ展開	複製・デジタルコンテンツを活用した常設の展示スペース「デジタル法隆寺宝物館」でのコンテンツ展開（東京国立博物館で公開）	4月1日～6年3月31日（以降も継続）	文化財活用センター企画担当 室長 髙橋美奈子、企画担当 研究員 増田政史、沼沢ゆかり、アソシエイトフェロー 加納彩子
23	コンテンツ展開	コンテンツ巡回「びじゅチューン！× 横浜トリエンナーレ なりきり美術館」（ＮＨＫ横浜放送局）	6年3月15日～4月7日	文化財活用センター企画担当 課長 藤田千織、担当室長 髙橋美奈子、企画担当専門職 松沼穂積
24	コンテンツ展開	複製品・デジタルコンテンツの貸与（10件）	4月1日～6年3月31日	文化財活用センター企画担当 研究員 増田政史、企画担当 主任研究員 小島有紀子
25	コンテンツ展開	「なぶんけん×ぶんかつアウトリーチプログラム」としてキットを活用した教育プログラムの提供（69件）	4月1日～6年3月31日	文化財活用センター企画担当 研究員 小島有紀子、奈良文化財研究所研究員 髙橋 知奈津、小田 裕樹
26	コンテンツ展開	「ぶんかつアウトリーチプログラム」として複製品を活用した教育プログラムの提供（28件）	4月1日～6年3月31日	文化財活用センター企画担当 研究員 小島有紀子、飯田茂雄、沼沢ゆかり、増田政史、企画担当専門職 松沼穂積
27	コンテンツ展開	「みんなの８Ｋ文化財」プロジェクト 体験コンテンツ「洛中洛外めぐり 400年前の京都へ」の改修版「８Ｋで楽しむ国宝屏風『洛中洛外 京めぐり』」の公開実証実験の実施（東京国立博物館平成館ガイダンスルーム）	4月1日～6年3月31日（公開期間は3月19日～4月7日）	文化財活用センター企画担当 室長 髙橋美奈子、飯田茂雄

1-(6)-② 国立博物館収蔵品貸与促進事業
【本部文化財活用センター】 7件

令和6年3月31日現在

	貸与先名	展覧会名称	期間	収蔵館・貸与件数（件）
1	島根県立石見美術館	没後150年 山本梅谷と津和野藩の絵師たち	7月8日～8月28日	東京国立博物館：7件
2	市立岡谷美術考古館	天王垣外遺跡の勾玉・管玉 ～東京国立博物館から115年ぶりの里帰り～	7月15日～9月18日	東京国立博物館：13件
3	山口県立山口博物館	やまぐち大考古博―みよう、ふれよう、やまぐちの3000年―	7月21日～9月3日	東京国立博物館：13件
4	広島県立歴史民俗資料館	三次鵜飼と日本の鵜飼	10月6日～11月26日	東京国立博物館：5件 京都国立博物館：3件
5	兵庫県立美術館	生誕180年記念 呉昌碩の世界―海上派と西泠名家―	6年1月13日～4月7日	東京国立博物館：8件 京都国立博物館：3件
6	糸島市立伊都国歴史博物館	東西日本の弥生文化 ～東京国立博物館収蔵コレクションより～	6年1月27日～3月17日	東京国立博物館：20件
7	下関市立美術館	開館40周年記念特別展 狩野芳崖、継がれる想い―悲母観音からはじまる物語	6年2月6日～3月17日	東京国立博物館：2件

1-(6)-③ 文化財情報のデジタル資源化の推進と国内外への情報発信（後述の資料に記載）◎共通資料d

1-(6)-④-1 文化財の保存等の相談・助言・支援に関わる取組状況
（専門的・技術的な援助・助言の件数、行政、公私立博物館等の各種委員会等の各種委員等への就任件数、依頼事項への対応件数等）

【本部文化財活用センター】 163件

令和6年3月31日現在

※令和3年度まで2-(5)-②-1 専門的・技術的な援助・助言の取組状況へ掲載していた実績を、令和4年度より本表に集約する。

	機 関	内 容	期 間	担 当 者
1	学校法人学習院大学 学習院女子大学	非常勤講師	4月1日～9月17日	文化財活用センター企画担当 室長 髙橋美奈子
2	箕輪町郷土博物館	体験型展示、アウトリーチプログラム、複製品貸出に関する助言	10月21日	文化財活用センター企画担当 課長藤田千織、企画担当室長 髙橋美奈子
3	バハレーン国立博物館,東京文化財研究所文化遺産国際協力センター	体験型展示、デジタルコンテンツ、複製品貸出に関する助言	10月10日	文化財活用センター企画担当 課長藤田千織、企画担当室長 髙橋美奈子
4	岐阜市歴史博物館	総合展示室リニューアルに関する助言および５年度第２回岐阜市歴史博物館協議会総合展示室リニューアル部会への出席	6月13日、11月8日、11月27日	文化財活用センターデジタル資源担当課長村田良二、企画担当課長藤田千織、企画担当室長髙橋美奈子、保存担当 研究員 間渕創
5	韓国忠南歴史文化研究院	体験型展示、デジタルコンテンツ開発、活用展開に関する助言	12月14日	文化財活用センター企画担当 課長藤田千織、企画担当室長 髙橋美奈子

6	英国ナショナル・トラストおよびINTO（International National Trusts Organisation）	【ぶんかつ】日本の自然・四季に関連したデジタルコンテンツの開発と活用展開に関する助言、【東博】花見（桜）、自然、文化遺産と関連した博物館活動、来館者サービスに関する助言	3月28日	文化財活用センター企画担当課長藤田千織、企画担当室長髙橋美奈子（東京国立博物館教育課長鈴木みどり、総務課長竹之内勝典）
7	ユネスコ・カイロ事務所	NHKの８K技術を用いたデジタルコンテンツの制作・活用に関する助言	3月29日	文化財活用センター企画担当課長藤田千織、企画担当室長髙橋美奈子
8	内閣府	デジタルアーカイブジャパン実務者検討委員会　構成員	4月1日～9月4日	文化財活用センターデジタル資源担当課長　村田良二、同室長　阿児雄之
9	学校法人大妻学院	大妻女子大学非常勤講師	4月1日～6年3月31日	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人
10	奈良県	なら歴史芸術文化村修復工房使用者等選定委員会委員	6月1日～7年5月31日	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人
11	公益財団法人文化財虫菌害研究所	総合調整委員会委員	4月1日～7年3月31日	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人
12	青山学院大学	非常勤講師	9月～6年3月31日	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
13	文化庁	第12回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー（京都）講師	8月25日	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
14	文化庁	令和5年度公開承認施設担当者会議　講師	6月23日	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
15	（独）人間文化研究機構　国文学研究資料館	2022年度アーカイブズ・カレッジ（史料管理学研修会）　講師	9月5日	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
16	三重県総合博物館	三重県総合博物館研究協力者	4月～6年3月31日	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
17	（一社）文化財保存修復学会	理事	6月～6年6月	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
18	（一社）文化財保存修復学会	公開シンポジウム実行委員会　委員	8月～6年3月31日	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
19	（一社）文化財保存修復学会	第46回大会実行委員会　委員	10月～7年3月31日	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
20	（一社）文化財保存修復学会	第46回大会プログラム作成委員会　委員	11月～7年3月31日	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
21	（公財）文化財虫菌害研究所	第43回文化財防虫防菌処理実務講習会　講師	10月5日	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
22	（公財）文化財虫菌害研究所	第12回文化財IPMコーディネータ資格取得のための講習会　講師	12月8日	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
23	東京文化財研究所	保存科学誌第63号編集委員会　委員	12月	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
24	くまもと文学・歴史館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月～12月	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
25	秋田県立近代美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
26	あいち朝日遺跡ミュージアム	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
27	静岡市美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月～5月	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
28	なら歴史芸術文化村	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月～5月	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
29	すみだ北斎美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
30	大分県立先哲史料館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月～5月	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
31	国立工芸館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月～5月	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
32	上田市美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	5月	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
33	國學院大學博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	5月	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
34	出光美術館（門司）	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	5月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人
35	市原歴史博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	5月～7月	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
36	神奈川県立近代美術館葉山	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	6月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人
37	北海道立近代美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	7月～9月	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
38	倉吉博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	7月～3月	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
39	東京富士美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	7月～10月	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
40	宮内庁三の丸尚蔵館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	7月～8月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人
41	大阪府立近つ飛鳥博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	8月～10月	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
42	大阪中之島美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	9月	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
43	金沢市立中村記念美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	9月～10月	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
44	足利市立美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	9月～1月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人
45	豊田市博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	10月～継続中	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
46	福井県立美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	10月～12月	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創
47	中津市歴史博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	10月～11月	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創

48	大分県立美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	10月～11月	文化財活用センター保存担当 研究員　間渕創
49	横須賀美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	10月～12月	文化財活用センター保存担当 研究員　間渕創
50	静嘉堂文庫美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	11月～12月	文化財活用センター保存担当 研究員　間渕創
51	海の見える杜美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	12月～2月	文化財活用センター保存担当 研究員　間渕創
52	長野県立美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	12月	文化財活用センター保存担当 研究員　間渕創
53	佐野市立吉澤記念美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	6年1月～継続中	文化財活用センター保存担当 研究員　間渕創
54	下関市立美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	6年1月～2月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人
55	公益財団法人 大倉集古館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	6年1月～2月	文化財活用センター保存担当 研究員　間渕創
56	栃木県立美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	6年1月～2月	文化財活用センター保存担当 研究員　間渕創
57	上越市立歴史博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	6年2月～継続中	文化財活用センター保存担当 研究員　間渕創
58	鹿児島市立美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	6年2月～継続中	文化財活用センター保存担当 研究員　間渕創
59	新潟県立近代美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	6年2月～継続中	文化財活用センター保存担当 研究員　間渕創
60	群馬県立近代美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	6年2月～継続中	文化財活用センター保存担当 研究員　間渕創
61	安城市歴史博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	6年3月～継続中	文化財活用センター保存担当 研究員　間渕創
62	北海道立近代美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	11月～継続中	文化財活用センター保存担当 研究員　間渕創
63	刈谷市歴史博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	6年3月～継続中	文化財活用センター保存担当 研究員　間渕創
64	松本市立博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	6年3月～継続中	文化財活用センター保存担当 研究員　間渕創
65	大阪府立近つ飛鳥博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	6年3月～継続中	文化財活用センター保存担当 研究員　間渕創
66	備前長船刀剣博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	6年3月～継続中	文化財活用センター保存担当 研究員　間渕創
67	兵庫県立歴史博物館	公開承認施設申請に係る保存環境調査協力	7月～11月	文化財活用センター保存担当 研究員　間渕創
68	糸島市立伊都国歴史博物館	5年度貸与促進事業内定施設への環境調査、改善協力	4月	文化財活用センター保存担当 研究員　間渕創
69	佐野市立吉澤記念美術館	6年度貸与促進事業内定施設への環境調査、改善協力	12月～継続中	文化財活用センター保存担当 研究員　間渕創
70	自社製品 十条ステン工業 株式会社	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
71	佐賀県立名護屋城博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
72	府中市美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
73	徳川美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
74	桶川市歴史民俗資料館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
75	五島美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
76	海外移住資料館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
77	那覇市立壺屋焼物博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
78	岐阜市歴史博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月～継続中	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
79	広島県立美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月～5月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
80	早稲田大学會津八一記念博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月～5月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
81	中部資材	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	5月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
82	松本市立博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	5月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創

83	クマヒラ	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
84	株式会社 丹青社	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月～6月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
85	松山市考古館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
86	前川建築設計事務所	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月～6月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
87	松江市立松江歴史館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
88	長崎県埋蔵文化財センター	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
89	北海道大学	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
90	千葉市立郷土博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
91	江戸東京たてもの園	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	7月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
92	愛知県美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	7月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
93	島根県立古代出雲歴史博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	7月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
94	鎌倉彫資料館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	7月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
95	和泉市久保惣記念美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	7月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
96	大川美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	5月～8月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
97	千葉市加曽利貝塚新博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	8月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
98	香川県立ミュージアム	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月～8月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
99	刀剣博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	8月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
100	田原市博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	8月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
101	渋谷区立松濤美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	8月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
102	大阪歴史博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	8月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
103	練馬区立美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	8月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
104	千葉県立美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	8月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
105	知覧特攻平和会	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	8月～継続中	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
106	広島市文化財団	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	9月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
107	広島城三の丸歴史館 広島市市民局文化スポーツ部文化振興課	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	7月～9月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
108	土浦市立博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6月～9月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
109	大阪市立美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	9月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
110	国立工芸館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	9月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
111	郡山市文化スポーツ部文化振興課	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	9月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
112	八王子市歴史・郷土ミュージアム	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	9月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創

113	太田市美術館・図書館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	9月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
114	個人	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	9月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
115	町田市立国際工芸美術館（仮称）	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	5月～9月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
116	米沢市立上杉博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	9月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
117	松本市立博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	10月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
118	宇都宮美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	10月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
119	群馬県立近代美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	10月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
120	松阪市産業文化部文化課	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	9月～10月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
121	愛知県美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	10月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
122	群馬県立歴史博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	10月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
123	進和テック株式会社	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	10月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
124	中部資材株式会社 敦賀支店	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	10月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
125	一般財団法人ボーケン品質評価機構	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	10月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
126	一関市教育委員会文化財課	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	10月～12月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
127	知立市歴史民俗資料館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	10月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
128	徳川美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	11月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
129	高知県立歴史民俗資料館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	11月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
130	豊橋市二川宿本陣資料館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	10月～11月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
131	上田市立美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	11月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
132	和歌山県教育庁生涯学習局文化遺産課	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	11月～2月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
133	松戸市立博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	12月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
134	青谷かみじち史跡公園展示ガイダンス施設 準備室	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	7月～11月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
135	豊橋市美術博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6月～11月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
136	永青文庫	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	10月～11月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
137	秋田市立千秋美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月～12月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
138	京都府立丹後郷土資料館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	12月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
139	外交史料館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	12月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
140	東京国立近代美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	12月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
141	和泉市久保惣記念美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	12月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
142	高槻市立しろあと歴史館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6年1月	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創

143	和歌山県教育庁	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	11月～6年2月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
144	知立市歴史民俗資料館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6年1月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
145	高島市中江藤樹記念館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6年2月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
146	宮城県美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6年2月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
147	佐野美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6年2月～3月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
148	東洋文庫	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6年2月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
149	安土城考古博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6年2月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
150	館林市教育委員会	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6年3月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
151	アーティゾン美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6年3月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
152	高槻市立しろあと歴史館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6年3月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
153	松山市立子規記念博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6年3月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
154	文化庁	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6年3月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
155	松戸市立博物館	新築、増改築施設の環境に係る設計協議	4月～継続中	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
156	岐阜市歴史博物館	新築、増改築施設の環境に係る設計協議	4月～継続中	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
157	高知県立歴史民俗資料館	新築、増改築施設の環境に係る設計協議	5月～継続中	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
158	埼玉県立歴史と民俗の博物館	新築、増改築施設の環境に係る設計協議	6月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
159	広島城三の丸歴史館	新築、増改築施設の環境に係る設計協議	8月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
160	八王子市歴史・郷土ミュージアム	新築、増改築施設の環境に係る設計協議	9月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
161	滋賀県立琵琶湖文化館	新築、増改築施設の環境に係る設計協議	11月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
162	岩国徴古館	新築、増改築施設の環境に係る設計協議	6年1月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創
163	東急文化村新美術館	新築、増改築施設の環境に係る設計協議	6年3月	文化財活用センター保存担当 課長　吉田直人、同研究員 間渕創

2-(3) 文化遺産保護に関する国際協働

2-(3)-① 文化遺産保護に関する国際協働の総合的な推進

2-(3)-①-1 文化遺産保護の国際協働に関する取組状況
（文化遺産保護に関する国際情報の収集等事業の実施件数、諸外国における文化遺産の保存・修復に関する研修・ワークショップ等の満足度）

【東京文化財研究所】6件

	研修・ワークショップ	実施時期	対象者	日数（日）	回数（回）	満足度（%）	備考
1	「海外調査のための３次元計測実習 初級編」	7月15日、16日、17日	海外で文化遺産保護に携わる日本の専門家	3	1	—	
2	「海外調査のための３次元計測実習 中・上級編」	7月15日、16日、17日	海外で文化遺産保護に携わる日本の専門家	1	1	—	
3	国際研修「紙の保存と修復」	8月28日～9月15日	世界各国の文化財保存修復関係者	15	1	—	
4	日本の博物館、史跡におけるAR、VR、デジタル・コンテンツの活用に関するスタディー・ツアー	10月10日～15日	バーレーン人専門家	6	1	—	
5	「文化遺産の3Dデジタル・ドキュメンテーションとその活用に関するワークショップ」	12月24日～27日	バーレーン人専門家	4	1	—	
6	タネイ寺院東門竣工記念　技術交流事業	6年2月13日～19日	カンボジア人専門家	7	1	—	

【奈良文化財研究所】2件

	研修・ワークショップ	実施時期	対象者	日数	回数	満足度（%）	備考
1	ACCUの実施する文化遺産の保護に資する個別テーマ研修	11月6日～11月20日	カザフスタン、キルギス、ウズベキスタン	15	1	ー	
2	ACCUの実施する文化遺産の保護に資する文化遺産ワークショップ	10月16日～10月21日	インドネシア	6	1	ー	

2-(3)-①-2 文化遺産保護の国際協働に関する取組状況（諸外国の研究機関等との共同研究等の実施件数）

【東京文化財研究所】4件

	名称	機関名	備考
1	アンコール遺跡群の保存に関する共同協力事業に関する覚書	アンコール・シェムリアップ地域保存整備機構（APSARA）・東京文化財研究所・奈良文化財研究所	
2	伝統民家を含むブータンの歴史的建造物の共同調査研究に関する覚書	ブータン王国内務文化省文化局・東京文化財研究所	
3	アラビア湾岸考古学と文化遺産のためのバーレーンセンターに関する覚書	バーレーン文化古物局・東京文化財研究所・金沢大学古代文明文化資源学研究所	
4	ウルビーノ・カルロボー大学基礎応用科学部との協力合意書	ウルビーノ・カルロボー大学基礎応用科学部・東京文化財研究所	

【奈良文化財研究所】　6件

	名称	機関名	備考
1	学術交流及び協力に関する覚書	奈良文化財研究所、ウクライナ科学アカデミー考古学研究所（ウクライナ）	
2	学術交流及び協力に関する合意書	奈良文化財研究所、サマルカンド考古学研究所（ウズベキスタン）	
3	学術交流及び協力に関する合意書	奈良文化財研究所、ウズベキスタン・日本青年技術革新センター、サマルカンド考古学研究所（ウズベキスタン）	
4	学術交流に関する協定書	奈良文化財研究所、国立科学アカデミー歴史文化遺産研究所（キルギス）	
5	学術交流及び協力に関する覚書	奈良文化財研究所、カリフォルニア大学バークレー校（アメリカ合衆国）	
6	学術交流協定書	奈良文化財研究所、慶北大学校人文学術院（大韓民国）	

2-(3)-② アジア太平洋地域の無形文化遺産保護に関する調査研究

2-(3)-②-1 アジア太平洋地域の無形文化遺産保護に関する取組状況（刊行物件数）

（後述の資料に記載） ◎共通資料c-⑥

2-(3)-②-2 アジア太平洋地域の無形文化遺産保護に関する取組状況（国際会議等開催件数）

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】9件　　令和6年3月31日現在

	研修・ワークショップ	実施時期	対象者	日数（日間）	回数（回）	摘要
1	新型コロナ感染症の無形文化遺産への影響に関する調査研究事業　国際会議	7月27日～29日	バングラデシュ、フィジー、インド、インドネシア、イラン、韓国、キルギス、モンゴル、パプアニューギニアの専門家、研究者	3日	1	文化財保存活用基金
2	無形文化遺産保護と災害リスクマネジメントに関する調査研究事業　最終ワークショップ	9月27日～29日	モンゴル、フィリピン、ベトナム、バングラデシュ、インドネシア、オーストラリア、ユネスコの専門家、研究者	3日	1	文化庁受託経費
3	アジア太平洋地域における無形文化遺産保護のためのオンラインセミナー（第4回） 「スペシャルセミナー・セッション1　無形文化遺産保護の進展：2003年条約を超えて」（オンライン）	10月25日	無形文化遺産の研究者及び一般	1日	1	文化庁受託経費
4	アジア太平洋地域における無形文化遺産保護のためのオンラインセミナー（第5回） 「スペシャルセミナー・セッション2　条約リスト記載の無形文化遺産の担い手との対話」（オンライン）	11月1日	無形文化遺産の研究者及び一般	1日	1	文化庁受託経費
5	第12回IRCI運営理事会　（オンライン）	11月21日	IRCI運営理事	1日	1	文化庁受託経費
6	アジア太平洋地域における無形文化遺産保護のためのオンラインセミナー（第6回） 「多文化都市としてのジョージタウンと文化遺産の相乗効果」（オンライン）	6年1月22日	無形文化遺産の研究者及び一般	1日	1	文化庁受託経費
7	「無形文化遺産保護のための持続的研究情報収集」事業における中央アジア地域ワークショップ	6年2月22日	ウズベキスタン、カザフスタン、タジキスタンの専門家、研究者	1日	1	文化庁受託経費
8	「無形文化遺産保護のための持続的研究情報収集」事業における小島嶼開発途上国(SIDS)地域ワークショップ	6年3月14日	キリバス、モルディブ、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、東ティモール、フィジーの専門家、研究者	1日	1	文化庁受託経費
9	無形文化遺産の持続的な開発への貢献に関する研究―持続可能なまちづくりと無形文化遺産　国際ワークショップ	6年3月18～19日	カンボジア、マレーシア、マーシャル諸島の専門家、研究者	2日	1	文化財保存活用基金

2-(3)-②-3　研究交流実績一覧　（後述の資料に記載） ◎共通資料c-①

2-(3)-②-4　調査研究テーマ一覧　（後述の資料に記載） ◎共通資料c-②

2-(3)-②-5　学会、研究会等発表実績一覧　（後述の資料に記載） ◎共通資料c-③

2-(3)-②-6　シンポジウム開催実績一覧　（後述の資料に記載） ◎共通資料c-④

2-(3)-②-7　論文等発表実績一覧　（後述の資料に記載） ◎共通資料c-⑤

2-(3)-②-8　調査研究刊行物一覧　（後述の資料に記載） ◎共通資料c-⑥

2-(3)-②-9　ウェブサイトアクセス件数　（後述の資料に記載） ◎共通資料d

2-(4) 文化財に関する情報資料の収集・整備及び調査研究成果の公開・活用

2-(4)-① 文化財情報基盤の整備・充実

2-(4)-①-1 図書、雑誌等の公開に関する取組状況

令和6年3月31日

		東京文化財研究所			奈良文化財研究所		
資料閲覧室・図書資料室の開室日数（日）		129日			146日		
資料閲覧室・図書資料室の利用者数（人）		628人			183人		
		令和4年度末	5年度追加	5年度末	令和4年度末	5年度追加	5年度末
文化財に関する資料・図書の受入件総数（件）	図書	127,544件	1,362件	128,906件	398,164件	5,369件	403,533件
	雑誌	173,430件	3,656件	177,086件	111,599件	2,355件	113,954件
	その他（図録・報告書等）	50,453件	1,312件	51,765件	209,080件	4,013件	213,093件 *
	計	351,427件	6,330件	357,757件	509,763件	11,737件	730,580件

＊奈良文化財研究所においては、その他（図録・報告書等）は図書に含む。

2-(4)-①-2 文化財に関するデータベースの状況

令和6年3月31日

	東京文化財研究所	奈良文化財研究所
文化財に関するデータベースの公開件数（件）	41件	35件
データベースのデータ件数（件）	1,839,957件	2,934,811件
データベース等へのアクセス件数（件）	3,960,204件	15,491,094件
（ホームページへのアクセス件数（件））	5,455,299件	1,058,656件

2-(4)-② 調査研究成果の発信

2-(4)-②-1 調査研究刊行物一覧

（後述の資料に記載）◎共通資料c-⑥

2-(4)-②-2 講演会等の開催実績

【東京文化財研究所】 5件 565人 令和6年3月31日

No.	名称	開催日	開催場所	主催	事業内容	来場者数	備考
1	こども文化遺産ワークショップ「なり切り！エジプト考古学者」	4月30日	東京文化財研究所	東京文化財研究所	小学生を対象に、考古学者という仕事を深く知ってもらうため、古代エジプト研究に関するワークショップを開催した。	90人	
2	第57回オープンレクチャー「かたちを見る、かたちを読む」	10月20日、21日	東京文化財研究所	東京文化財研究所	美術史研究の成果を一般に公表する講座を開催した。	139人	
3	第2回西アジア考古学最前線 トップランナーズ&パイオニアセミナー	11月4日	東京文化財研究所	日本西アジア考古学会、東京文化財研究所	中学生、高校生、大学生などの若い世代に考古学の魅力を伝えるためのセミナー	40人	
4	第17回東京文化財研究所無形文化遺産部公開学術講座「宮薗節の魅力を探る」	11月22日	東京文化財研究所	東京文化財研究所	重要無形文化財「宮園節」について、実演家や専門家を招いてその魅力について一般向けに紹介を行った。	95人	
5	第 18 回 無形民俗文化財研究協議会「民具を継承する:安易な廃棄を防ぐために」	12月8日	東京文化財研究所	東京文化財研究所	民具の継承に関する研究協議会を開催した。	201人	

【奈良文化財研究所】 7件 2,422人

No.	名称	開催日	開催場所	主催	事業内容	来場者数	備考
1	日高山瓦窯の発掘調査（飛鳥藤原第213次調査）現地見学会	7月1日	橿原市上飛騨町	奈良文化財研究所	日高山瓦窯の発掘調査（飛鳥藤原第213次調査）現地見学会を開催した。	381人	
2	都城発掘調査部創設60周年記念第128回公開講演会「よみがえる西大寺金堂院」	6月10日	平城宮跡資料館講堂	奈良文化財研究所	テーマ「よみがえる西大寺金堂院」について、3人による講演を行った。	218人	
3	法華寺旧境内・海龍王寺旧境内の発掘調査（平城第656次調査）現地見学会	10月5日	奈良市法華寺町	奈良文化財研究所	法華寺旧境内・海龍王寺旧境内の発掘調査（平城第656次調査）現地見学会を開催した。	14人	
4	都城発掘調査部創設60周年記念第129回公開講演会「まぼろしの尼寺西隆寺」	11月11日	平城宮跡資料館講堂	奈良文化財研究所	テーマ「まぼろしの尼寺西隆寺」について、3人による講演を行った。	185人	
5	都城発掘調査部創設60周年記念西大寺特別公開講演会「奈良時代の西大寺」	12月9日	奈良市西部会館市民ホール	奈良文化財研究所	テーマ「奈良時代の西大寺」について、4人による講演を行った。	198人	オンライン配信者52人
6	平城京左京三条一坊二坪の発掘調査（平城第658次調査）現地見学会	6年1月27日	奈良市	奈良文化財研究所	平城京左京三条一坊二坪の発掘調査（平城第658次調査）現地見学会を開催した。	679人	
7	石神遺跡の調査（飛鳥藤原第214次調査）	6年3月2日	奈良県高市郡明日香村飛鳥	奈良文化財研究所	石神遺跡の調査（飛鳥藤原第214次調査）現地見学会を開催した。	747人	

2-(4)-②-3 シンポジウム開催実績一覧　（後述の資料に記載）◎共通資料c-④

2-(4)-②-4 ウェブサイトアクセス件数　（後述の資料に記載）◎共通資料d

2-(4)-②-5 学術情報リポジトリ等によるウェブサイトにおける論文等の公開件数

令和6年3月31日

	東京文化財研究所	奈良文化財研究所
学術情報リポジトリ等によるウェブサイトにおける論文等の公開件数（件）	4,040件	7,589件

2-(4)-③ 展示公開施設の充実

2-(4)-③-1 来館者数推移（入館料別）（過去５か年）　（後述の資料に記載）◎共通資料a-①

2-(4)-③-2 来館者数推移（展覧会別）（過去５か年）　（後述の資料に記載）◎共通資料a-②

2-(4)-③-3 平常展・特別展・海外展　（後述の資料に記載）◎共通資料a-③

2-(5) 地方公共団体等を対象とする文化財に関する研修及び協力等
2-(5)-① 文化財に関する研修の実施
2-(5)-①-1 文化財に関する研修の実施実績

【東京文化財研究所】　　1件　　受講者 30人

No.	研修課程	研修期間	日数（日）	研修対象	研修内容	参加者数	満足度	研修成果の活用実績	備考
1	博物館・美術館等の保存担当学芸員研修(上級コース)	7月10日～14日	5	博物館・美術館等の文化財の保存担当者	文化財の保存科学の基礎と実践上の諸問題についての講義と実習	30人	100%	92%	

【奈良文化財研究所】　　13件　　受講者 240人

No.	研修課程	研修期間	日数（日）	研修対象※	研修内容	参加者数	満足度	研修成果の活用実績	備考
1	文化財担当者専門研修「古文書歴史資料調査基礎課程」	6月5日～9日	5	地方公共団体の文化財担当職員※	古文書・歴史資料の調査・管理等を担当する立場にあるが、当該分野に関する専門的教育を受けたことのない地方公共団体等の文化財担当者を対象に、基礎的知識の習得を目指す研修。	20人	100%	95%	
2	文化財担当者専門研修「建築遺構調査課程」	6月19日～23日	5	地方公共団体の文化財担当職員※	発掘調査で検出される建築遺構（竪穴建物・掘立柱建物・礎石建物・基壇）や出土建築部材を理解するために必要な、建物の上部構造に関する専門的知識や、上部構造を考えるために必要な情報を得るための発掘方法などについての基礎的研修。	16人	100%	93.8%	
3	文化財担当者専門研修「建造物保存活用基礎課程」	7月3日～7日	5	地方公共団体の文化財担当職員※	文化財建造物にかかる、価値、制度、保存方法、活用方法、保存活用計画の策定等についての講義をおこない、自治体担当者としての基礎的な知識の習得を目指す。	24人	100%	100%	
4	文化財担当者専門研修「木質文化財の科学的調査基礎課程」	7月11日～14日	4	地方公共団体の文化財担当職員※	木質文化財を担当する際にどのように取り扱ったら良いのかわからない。そんな声にお応えすべく、木材科学、年代学、保存科学など木質文化財に関わる科学的な基礎知識を、講義・実習を通して身につけ、担当現場に生かすことを目指します。	11人	100%	100%	
5	文化財担当者専門研修「遺跡地図・ＧＩＳ課程」	7月24日～28日	5	地方公共団体の文化財担当職員※	遺跡地図およびＧＩＳの利用に関して必要な専門知識と技術の習得を目指した研修。QGISによる演習、データ管理やデータ活用手法についても学ぶ。	37人	97.3%	95%	対面：9/オンライン：28（Zoom）
6	文化財担当者専門研修「文化財三次元計測課程」	10月2日～6日	5	地方公共団体の文化財担当職員※	文化財調査における三次元計測と三次元モデルの解析および図の作成等、データの取得から活用の実践を講義と実習を交え習得する。 三次元計測方法はフォトグラメトリ（SfM-MVS）を中心に、3Dレーザースキャナーや LiDAR、GNSS等を扱う。	28人	100%	96%	
7	文化財担当者専門研修「保存科学（金属製遺物）課程」	10月10日～10月18日	7	地方公共団体の文化財担当職員※	本研修では、金属製遺物の保存処理を実施または外注する際の方法や仕様の選定、ならびに金属製遺物の展示・保管環境の調整といった、現場での実務をおこなう上で必要な知識および技術について、実習を交えながら学ぶ。	14人	100%	100%	
8	文化財担当者専門研修「文化財写真課程」	11月20日～12月1日	9	地方公共団体の文化財担当職員※	文化財の記録保存と活用において中心的な役割を持つ写真記録について必要不可欠な写真技術の基礎知識と、デジタル写真を中心とした実習を通じて実技を習得する研修。	16人	100%	100%	

9	文化財担当者専門研修「報告書編集基礎課程」	12月4日 ～8日	5	地方公共団体の文化財担当職員※	文化財調査記録に必要不可欠な報告書出版について、記述内容の意義や記述記録の基礎知識を習得する研修。	24人	95.8%	96%	
10	文化財担当者専門研修「報告書デジタル作成課程」	12月11日 ～15日	5	地方公共団体の文化財担当職員※	報告書出版に必要な編集知識や図版制作について、デジタル技術を活用しながら出版物作成をおこなう実践的な技術を習得する研修。	16人	100%	100%	
11	文化財担当者専門研修「史跡保存活用計画策定課程」	令和6年 1月16日 ～22日	5	地方公共団体の文化財担当職員※	史跡等の保存活用計画書の策定演習を通して、計画書の事務局案作成を行う。ただし、目次建てのうち、「現状と課題」までは研修の事前課題として提出することを前提とする。	14人	100%	100%	
12	文化財担当者専門研修「地震災害痕跡調査課程」	2月19日 ～22日	4	地方公共団体の文化財担当職員※	発掘調査で発見される地震痕跡の見分け、調査・記録法について、剥ぎ取り資料などを用いて、一般的な堆積物の記載方法と比較しながら学ぶ。また地域防災・減災教育への活用事例や、データベース構築に向けた情報の整理など、具体的な活用事例についても触れる。	8人	100%	100%	
13	文化財担当者専門研修「文化財三次元計測課程（入門）」	8月30日 ～9月1日	3	地方公共団体の文化財担当職員※	文化財調査のためのフォトグラメトリ等の三次元計測方法の基礎と実技を習得する。 また開講地域が抱える三次 元計測関係の 課題について解決に向けた方法を検討する。 （開催地域には参加優先枠を設定する。）	12人	100%	100%	出張型

※地域の中核となる地方公共団体の文化財担当職員若しくはこれに準ずる者

2-(5)-② 文化財に関する協力・助言等

2-(5)-②-1 専門的・技術的な援助・助言の取組状況
（行政、公私立博物館等の各種委員等への就任件数、依頼事項への対応件数等）

令和6年3月31日現在

計	東京文化財研究所	奈良文化財研究所
521件	229件	292件

【東京文化財研究所】　229件

	プロジェクト名称	件数
1	文化財の収集、保管に関する指導助言	42件
2	無形文化遺産に関する助言	36件
3	文化財の虫菌害に関する調査・助言	37件
4	文化財の修復及び整備に関する調査・助言	63件
5	文化財の材質・構造に関する調査・助言	18件
6	美術館・博物館等の環境調査と援助・助言	33件

【奈良文化財研究所】　292件

	プロジェクト名称	件数
1	地方公共団体等が行う史跡の整備、復原事業等に関する技術的助言	256件
2	地方公共団体が行う飛鳥・藤原地区の発掘調査への援助・助言	5件
3	地方公共団体等が行う平城地区の発掘調査等への援助・助言	27件
4	地震・水害等により被災した文化財の復旧に関する調査研究	4件

※文化財活用センターの実績は、
令和4年度より1-(6)-④-1 文化財の保存等の相談・助言・支援に関わる取組状況へ集約する。

2-(5)-③　平城宮跡、飛鳥・藤原宮跡等の公開・活用事業への協力

2-(5)-③-1　ボランティア受入実績　（後述の資料に記載）◎共通資料b

2-(6) 文化財防災に関する取組

2-(6)-① 地域防災体制の構築

（後述の資料に記載）◎共通資料c-⑥

2-(6)-①-1 防災・救援のための連携・協力体制構築への取組状況（都道府県内各種会議等参加数）

【本部文化財防災センター】　95件

令和6年3月31日現在

	機関	内容	期間	担当者	備考
1	国立民族学博物館	共同研究員	4月1日～6年3月31日	文化財防災センター長 高妻洋成	
2	斑鳩町教育委員会	斑鳩町文化財活用センター運営委員会委員	4月1日～6年3月31日	文化財防災センター長 高妻洋成	
3	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館	人間文化研究機構基幹研究プロジェクト連携研究員（プロジェクト名：「横断的・融合的地域文化研究の領域展開：新たな社会の創発を目指して 国立民族学博物館ユニット」）	4月1日～6年3月31日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	
4	東松島市教育委員会	東松島市文化財保護審議会委員	4月1日～6年3月31日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	
5	八戸市教育委員会	八戸地方えんぶり調査委員会委員	4月1日～6年3月31日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	
6	大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館	人間文化研究機構基幹研究プロジェクト連携研究員、国立歴史民俗博物館共同研究員（研究課題：ネットワーク型基幹研究プロジェクト「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」（代表者：三上喜孝））	4月1日～6年3月31日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
7	福岡市	「福岡市文化財防災マニュアル」策定にかかる助言	4月1日～9月30日	文化財防災センター主任研究員　鷲頭桂	
8	島根県人事委員会事務局	島根県職員採用試験試験区分「埋蔵文化財保護」専門試験問題作成及び採点	4月25日～6月23日	文化財防災センター長 高妻洋成	
9	石川県珠洲市・能登町	能登地方を震源とする地震緊急被害状況調査	5月10日～11日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介、研究員　金田明大、研究員　犬塚將英、アソシエトフェロー　中屋菜緒	
10	茨城県	ヒアリング調査	5月11日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
11	山梨県	ヒアリング調査	5月12日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
12	山形県	文化財日常管理・防災ハンドブック（美術工芸品編）作成プロジェクトチーム編集会議	5月12日、6月19日、9月14日、10月13日、12月5日、12月25日	文化財防災センター研究員 後藤知美	
13	千葉県	ヒアリング調査	5月18日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
14	埼玉県	ヒアリング調査	5月19日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
15	文化庁	「国宝奈良県藤ノ木古墳出土品保存修理事業協力者会議」協力者	5月23日～6年3月31日	文化財防災センター長 高妻洋成	
16	兵庫県	令和5年度 兵庫県文化財主管課連絡会議での講演	5月23日	文化財防災センター研究員 中島志保	
17	滋賀県	市町村民俗担当者研修会	6月1日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	
18	群馬県	ヒアリング調査	6月2日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
19	奈良大学	博物館実習講師「博物館における災害への備えー京都国立博物館の取り組みー」	6月3日	文化財防災センター研究員 中屋　菜緒	
20	静岡県下田市	下田市事前復興まちづくりシンポジウム	6月11日、9月5日、6年1月24日	文化財防災センター研究員 後藤知美	
21	公益財団法人文化財虫菌害研究所	「第45回文化財の虫菌害・保存対策研修会」講師	6月12日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	
22	福島県伊達市梁川町	被災文化財現地調査・助言（4年3月16日発生福島県沖を震源とする地震）	6月14日、6月26日～6月27日	文化財防災センターセンター長　高妻洋成、副センター長　建石徹、研究員　後藤知美、研究員（PT）　脇谷草一郎、研究員（PT）　芳賀文絵	
23	岩手県	地域防災体制ヒアリング	6月16日	文化財防災センター研究員 中島志保、後藤知美	

24	栃木県	地域防災体制ヒアリング	6月16日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
25	神奈川県	地域防災体制ヒアリング	6月21日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
26	文化庁	「美術工芸品防犯・防災研修会」講師	6月22日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	
27	高知県	地域防災体制ヒアリング	6月22日	文化財防災センター研究員 中島志保、上椙英之	
28	愛知県	地域防災体制ヒアリング	6月22日	文化財防災センター研究員 小峰幸夫、研究員（PT）　荒木臣紀	
29	和歌山県教育委員会	和歌山県文化財保護審議会委員	7月15日～6年3月31日	文化財防災センター長 髙妻洋成	
30	朝日新聞文化財団	朝日新聞文化財団文化財保護助成選考委員	7月15日～9月9日	文化財防災センター長 髙妻洋成	
31	岐阜県	地域防災体制ヒアリング	7月21日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介 アソシエイトフェロー　小峰幸夫　研究員（PT）　荒木臣紀、研究員（PT）　内藤航（併任）	
32	三重県	地域防災体制ヒアリング	7月24日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介 アソシエイトフェロー　小峰幸夫　研究員（PT）　荒木臣紀	
33	高知県	高知県文化財保護指導員講習会講師	7月26日	文化財防災センター研究員 上椙英之	
34	奈良県	令和五年度文化財防犯・防火・防災関係者連絡会議	7月27日	文化財防災センター　文化財防災統括リーダー　小谷竜介、研究員　中島志保、アソシエイトフェロー　小峰幸夫	
35	石川県珠洲市	被災建造物1次調査	7月1日～2日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介ほか	
36	熊本県	令和5年7月豪雨により被災した文化財の応急処置に関する情報収集と助言	7月4日～5日	文化財防災センター主任研究員　鷲頭桂	
37	新潟県	地域防災体制ヒアリング	7月7日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
38	富山県	「令和5年度富山県文化財保護指導委員研修会」講師	7月7日	文化財防災センターアソシエイトフェロー　中屋　菜緒	
39	福岡県	令和5年7月豪雨により被災した文化財の応急処置に関する情報収集と助言	7月15日～9月6日	九州国立博物館　副館長　小泉惠英、研究員　桑原有寿子	
40	西南学院大学	大規模災害と文化財保存（博物館資料保存論　非常勤講師）	7月21日	文化財防災センター主任研究員　鷲頭桂	
41	東京都	地域防災体制ヒアリング	7月21日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
42	高知県	高知県文化財保護指導員講習会講師	7月26日	文化財防災センター研究員 上椙英之	
43	長野県	地域防災体制ヒアリング	7月27日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
44	和泉町教育委員会	和泉町史跡等保存整備審議会委員	8月1日～6年3月31日	文化財防災センター長 髙妻洋成	
45	宮城県石巻市大徳寺	宮城県指定有形文化財青銅五重塔計測	8月2日、3日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介、研究員（PT）　金田明大、奈良文化財研究所　研究員　山口欧志	
46	山形県建築士会	「山形県ヘリテージマネージャースキルアップ講座」講師	8月5日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	
47	愛知県建築士会	歴史的建造物の保存技術（あいちヘリテージマネージャー養成講座）	8月5日	文化財防災センター　アソシエイトフェロー　小峰幸夫	
48	佐賀県立図書館	佐賀県令和5年度歴史資料保存研修会	8月24日	文化財防災センター主任研究員　鷲頭桂、研究員（PT）　木川りか	
49	奈良県	地域防災体制ヒアリング	9月5日	文化財防災センター　アソシエイトフェロー　小峰幸夫、研究員PT)荒木臣紀	

50	山口県	地域防災体制ヒアリング	9月6日	文化財防災センター研究員 中島志保、上椙英之	
51	沖縄県	沖縄県内における文化財防災体制に関する聞き取り調査	9月14日	文化財防災センター研究員 中島志保、主任研究員　鷲頭桂	
52	九州・山口ミュージアム連携事業実行委員会	九州山口ミュージアム連携事業第27回ワーキング会議	9月14日	文化財防災センター研究員 中島志保、主任研究員　鷲頭桂	
53	群馬県	群馬県文化財防災ネットワーク連携協議会設立に係る打合せ会議	9月15日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
54	奈良大学	「災害と学問」講師	9月17日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	
55	福島県いわき市白水阿弥陀堂	文化庁現地協議同席	9月25日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	
56	愛媛県	えひめ文化財防災研修会参加	9月27日	文化財防災センター研究員 中島志保、上椙英之	
57	長野県	地域防災体制ヒアリング	9月29日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
58	長野県上田市	ヒアリング調査	9月29日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
59	長野県松本市	ヒアリング調査	9月29日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
60	長野県塩尻市	ヒアリング調査	9月29日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
61	長野県千曲市	ヒアリング調査	9月29日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
62	静岡県	文化財防災センターの役割（令和五年度文化財等救援ネットワーク会議）	9月29日	文化財防災センター　アソシエイトフェロー　小峰幸夫	
63	兵庫県	兵庫県民俗文化財HM養成講座	10月1日、6年1月27日	文化財防災センター研究員 後藤知美	
64	千葉県南房総市	被災文化財現地調査・助言（5年台風第13号）	10月14日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
65	長崎県建築士会	美術工芸品をはじめとする動産文化財の調査とレスキュー（令和5年度長崎県建築士会ヘリテージマネージャー養成講座）	10月15日	文化財防災センター主任研究員　鷲頭桂	
66	文化庁	「令和5年度文化財建造物保存修理関係者等連絡協議会」報告	10月16日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介 アソシエイトフェロー　山野善紀	
67	福島県西白河郡矢吹町	被災文化財現地調査・助言（4年3月16日発生福島県沖を震源とする地震）	10月17日	文化財防災センター副センター長　建石徹、研究員　後藤知美	
68	熊本県益城町教委、津森神宮	熊本地震における無形文化財への被害調査	11月1日	文化財防災センター研究員 後藤知美、主任研究員　鷲頭桂	
69	奈良県建築士会	「奈良県ヘリテージマネージャースキルアップ講座」講師	11月4日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	
70	石川県珠洲市	被災建造物2次調査	11月18日、19日、25日、26日、12月2日、3日、9日、10日、26日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介ほか	
71	北海道、北海道博物館	地域防災体制ヒアリング	11月20日、21日	文化財防災センター研究員 中島志保、後藤知美	
72	福岡市博物館、福岡市早良消防署	「博物館に来て！見て！体験！消防たい（隊）」への文化財防災に関する出展	10月22日	文化財防災センター主任研究員　鷲頭桂	
73	滋賀県	「滋賀県防災カフェ」講師	10月27日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	
74	地方独立行政法人大阪市博物館機構	大阪市内で活動する博物館群の所蔵品データ公開に向けての基礎共通フォルダ 考案・構築業務委託の公募型プロポーザル審査委員会	11月17日	文化財防災センター研究員 三谷直哉	
75	九州・山口ミュージアム連携事業実行委員会	九州山口ミュージアム連携事業第28回ワーキング会議	11月21日	文化財防災センター　研究員（PT）　木川りか、主任研究員 鷲頭桂	
76	文化庁	国立文化財機構文化財防災センターについて（令和5年度文化財行政講座）	11月28日	文化財防災センター主任研究員　鷲頭桂	

77	山梨県	地域防災体制ヒアリング	12月20日	文化財防災センター研究員 黄川田翔、研究員（PT）髙橋美奈子	
78	山梨県山梨市	ヒアリング調査	12月20日	文化財防災センター研究員 黄川田翔、研究員（PT）髙橋美奈子	
79	山梨県甲斐市	ヒアリング調査	12月20日	文化財防災センター研究員 黄川田翔、研究員（PT）髙橋美奈子	
80	宮城県東松島市	重要無形民俗文化財月浜のえんずのわり現地協議	12月21日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	
81	近畿建築士会協議会	「防災と歴史的建造物」講師	6年1月20日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	
82	宮城県東松島市	重要無形民俗文化財月浜のえんずのわり現地協議	6年1月21日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	
83	群馬県	群馬県文化財防災連絡会講師	6年1月24日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	
84	群馬県	群馬県文化財防災ネットワーク連携協議会 第1回会議	6年1月24日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
85	千葉県	地域防災体制ヒアリング	6年2月7日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
86	千葉県香取市	ヒアリング調査	6年2月7日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
87	福岡県建築士会	美術工芸品をはじめとする動産文化財の調査とレスキュー（令和5年度福岡県建築士会ヘリテージマネージャー・サポーター研修講師）	6年2月10日	九州国立博物館　副館長 小泉惠英	
88	栃木県	地域防災体制ヒアリング	6年2月16日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
89	栃木県那須塩原市	ヒアリング調査	6年2月16日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
90	那須資料ネット	ヒアリング調査	6年2月16日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
91	千葉県	地域防災体制ヒアリング	6年2月20日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
92	千葉県鎌ケ谷市	ヒアリング調査	6年2月20日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
93	東京都	地域防災体制ヒアリング	6年2月27日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
94	東京都八王子市	ヒアリング調査	6年2月27日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
95	埼玉県教育局文化資源課	非常災害に備えた県ならびに県内文化財防災体制の強化に向けた助言	6年3月1日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	

2-(6)-③ レスキュー及び収蔵・展示における技術開発

2-(6)-③-1 文化財防災に関する技術開発への取組状況（論文等数、報告書等の刊行数）

（後述の資料に記載）◎共通資料c-⑤,⑥

2-(6)-④ 文化財防災を促進するための普及啓発

2-(6)-④-1 文化財防災に関するシンポジウムの開催件数

（後述の資料に記載）◎共通資料c-④

2-(6)-④-2 文化財防災に関する講演会・研修会等の開催件数

【文化財防災センター】　3件

令和6年3月31日現在

	開催日	事業名称	開催場所	参加者数	備考
1	6月30日	研修「視聴覚資料の応急処置ワークショップ」	川崎市市民ミュージアム	12人	
2	12月8日	研修「一時保管環境の生物被害対策ワークショップ」	奈良国立博物館 講堂・会議室	16人	共催：奈良国立博物館
3	6年2月28日～3月12日	令和5年度　被災文化財対応基礎研修	オンライン	60人	

Ⅱ　業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 業務改善の取組

1-(5)一般管理費の削減

1-(5)-① 施設の有効利用件数

令和6年3月31日現在

○件数

（単位：件）

		国立文化財機構計	博物館					文化財研究所		
			計	東京国立博物館※1	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	計	東京文化財研究所	奈良文化財研究所
合 計	総件数	1,108	713	389	182	87	55	395	284	111
	うち有償	640	615	389	161	33	32	25	5	20
	うち無償	468	98	0	21	54	23	370	279	91
茶室	総件数	75	75	36	28	10	1			
	うち有償	71	71	36	28	6	1			
	うち無償	4	4	0	0	4	0			
講堂等（講堂、会議室、研修室）	総件数	496	114	36	28	19	31	382	281	101
	うち有償	99	82	36	11	4	31	17	2	15
	うち無償	397	32	0	17	15	0	365	279	86
その他（左記以外の建物、敷地）	総件数	58	45	12	20	13	0	13	3	10
	うち有償	42	34	12	16	6	0	8	3	5
	うち無償	16	11	0	4	7	0	5	0	5
撮影利用	総件数	479	479	305	106	45	23	0	0	0
	うち有償	428	428	305	106	17	0	0	0	0
	うち無償	51	51	0	0	28	23	0	0	0

※1 東博の貸出し件数については3年度以前は施設ごと、利用日ごとにカウントしていたが、4年度より申込件数にカウント方法を変更した。

○有償利用の利用金額

（単位：千円）

	国立文化財機構計	博物館					文化財研究所		
		計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	計	東京文化財研究所	奈良文化財研究所
合 計	81,817	78,060	65,431	10,751	1,336	542	3,757	3,152	605
茶室	4,290	4,290	3,640	525	120	5			
講堂等（講堂、会議室、研修室）	7,805	7,354	6,514	216	87	537	451	61	390
その他（左記以外の建物、敷地）	42,084	38,778	30,351	7,522	905	0	3,306	3,091	215
撮影利用	27,638	27,638	24,926	2,488	224	0	0	0	0

※アジア太平洋無形文化遺産研究センターは、堺市博物館の施設の一部を使用しているため、外部利用は行っていない。

◎共通資料
a 展示

a-① 来館者数推移（入館料別）（過去5か年）

令和6年3月31日現在

年度				元	2	3	4	5
国立文化財機構	総来館者数			4,358,044	858,177	1,483,715	2,367,419	3,364,286
	平常展	計		1,753,198	344,392	432,362	1,084,003	1,728,018
		有料	一般	713,037	132,915	148,848	421,461	860,027
			大学生	66,176	14,005	19,183	50,978	85,030
			小・中・高生	0	0	0	0	0
			友の会	189,313	53,579	59,980	105,391	117,145
		無料	一般(黒田含む)	78,584	33,306	36,650	61,944	58,520
			小・中・高・大生	193,984	24,623	43,070	153,707	197,946
		招待者等		512,104	85,964	124,631	290,522	409,350
	特別展	計		2,604,846	513,785	1,051,353	1,283,416	1,636,268
		有料	一般	1,721,359	362,251	744,781	883,370	1,165,019
			高・大生	91,077	25,289	69,675	78,434	99,066
			小・中生	26,793	2,715	7,641	15,348	14,019
			友の会	20,405	4,834	13,341	17,731	12,629
		無料	小・中生・一般	94,201	32,499	37,937	47,965	62,668
		招待者等		651,011	86,197	177,978	240,568	282,867
東京国立博物館	総来館者数			2,588,632	375,575	836,720	1,247,750	1,980,388
	平常展	計		1,030,652	166,639	211,052	625,235	961,328
		有料	一般	435,389	65,236	79,707	284,486	529,098
			大学生	37,542	7,137	10,788	35,338	52,263
			小・中・高生	—	—	—	—	—
			友の会	170,236	46,389	50,122	91,518	103,428
		無料	高校生	21,911	3,183	5,627	27,055	33,072
			小・中生	62,703	8,519	10,336	44,843	62,825
		招待者等		258,794	22,290	35,990	107,072	144,758
		黒田記念館(無料)		44,077	13,885	18,482	34,923	35,884
	特別展	計		1,557,980	208,936	625,668	622,515	1,019,060
		有料	一般	1,038,356	158,484	471,946	454,781	748,984
			高・大生	51,783	11,591	45,712	41,527	66,425
			小・中生	—	—	—	—	—
			友の会	1,642	760	949	1,073	1,453
		無料	小・中生	37,024	5,244	18,264	18,822	34,141
		招待者等		429,175	32,857	88,797	106,312	168,057
京都国立博物館	総来館者数			376,061	170,494	132,793	245,489	319,950
	平常展	計		158,664	18,941	35,440	56,369	140,562
		有料	一般	95,014	8,525	17,911	32,398	86,884
			大学生	12,370	779	1,965	3,463	10,061
			友の会	6,552	1,562	2,268	2,187	3,339
		無料	小・中・高生	14,943	862	2,548	3,630	12,721
		招待者等		29,785	7,213	10,748	14,691	27,557
	庭園開放	計		13,908	9,932	5,851	12,081	11,551
		有料	一般	7,688	5,383	2,468	5,952	6,198
			大学生	—	572	357	934	570
			友の会	256	505	73	126	98
		無料	大学生	689	—	—	—	—
			小・中・高生	1,815	588	624	1,663	1,281
		招待者等		3,460	2,884	2,329	3,406	3,404
	特別展	計		203,489	141,621	91,502	177,039	167,837
		有料	一般	130,145	105,811	59,367	119,115	120,805
			高・大生	10,227	7,327	7,530	12,107	9,501
			友の会	3,291	1,175	372	1,796	1,146
		無料	小・中生	6,240	1,547	2,517	5,469	4,104
		招待者等		53,586	25,761	21,716	38,552	32,281
奈良国立博物館	総来館者数			612,755	122,452	253,196	279,613	355,246
	平常展	計		160,869	43,262	52,178	116,116	181,494
		有料	一般	75,109	17,695	18,185	46,685	85,644
			大学生	7,981	1,251	1,213	3,824	8,383
			小・中・高生	0	0	0	0	0
			友の会	3,414	3,062	4,258	6,262	5,865
		無料	小・中・高生	34,407	5,876	11,722	29,321	35,965
		招待者等		39,958	15,378	16,800	30,024	45,637
	特別展	計		451,886	79,190	201,018	163,497	173,752
		有料	一般	342,015	57,939	143,001	115,389	128,685
			高・大生	14,385	4,199	11,537	9,261	10,095
			小・中生	11,045	1,497	4,718	4,404	5,639
			友の会	2,970	1,278	6,245	5,454	3,372
		無料	小・中生	0	595	762	0	677
		招待者等		81,471	13,682	34,755	28,989	25,284
九州国立博物館	総来館者数			674,277	131,662	213,153	523,200	529,471
	平常展	計		348,563	81,230	104,898	239,282	287,160
		有料	一般	97,786	33,727	28,407	48,537	80,608
			大学生	8,068	4,181	4,761	7,092	10,826
			小・中・高生	—	—	—	—	—
			友の会	8,855	2,061	3,259	5,298	4,415
		無料	高校生	24,056	1,441	5,416	20,998	19,917
			小・中生	32,905	3,537	6,187	24,912	28,267
		招待者等		176,893	36,283	56,868	132,445	143,127
	特別展	計		325,714	50,432	108,255	283,918	242,311
		有料	一般	205,067	35,721	66,458	187,329	161,729
			高・大生	14,180	1,883	4,596	15,040	12,622
			小・中生	15,748	1,218	2,923	10,944	8,380
			友の会	12,502	1,621	5,775	9,408	6,658
		招待者等		78,217	9,989	28,503	61,197	52,922
皇居三の丸尚蔵館		総来館者数		—	—	—	—	114,334
		有料	一般	—	—	—	—	67,743
			大学生	—	—	—	—	2,570
		無料	小・中・高生	—	—	—	—	2,575
		招待者等		—	—	—	—	41,446
平城宮跡資料館	総来館者数			71,408	37,913	25,264	39,515	35,295
	平常展	無料	一般	26,562	15,004	12,942	19,888	15,130
	特別展	無料	一般	44,846	22,909	12,322	19,627	20,165
藤原宮跡資料館	総来館者数			7,945	4,417	5,226	7,133	7,506
	平常展	無料	一般	7,945	4,417	5,226	7,133	7,506
飛鳥資料館	総来館者数			26,966	15,664	17,363	24,719	22,096
	平常展	計		6,035	4,967	4,775	7,899	8,953
		有料	一般	2,051	2,349	2,170	3,403	3,852
			大学生	215	85	99	327	357
		無料	小・中・高生	555	617	610	1,285	1,323
		招待者等		3,214	1,916	1,896	2,884	3,421
	特別展	計		20,931	10,697	12,588	16,820	13,143
		有料	一般	5,776	4,296	4,009	6,756	4,816
			大学生	502	289	300	499	423
		無料	小・中・高生	6,091	2,204	4,072	4,047	3,581
		招待者等		8,562	3,908	4,207	5,518	4,323

※京都国立博物館における平常展、庭園開放については高校生以下の区別せず。
※京都国立博物館における庭園開放は、平常展に含む。

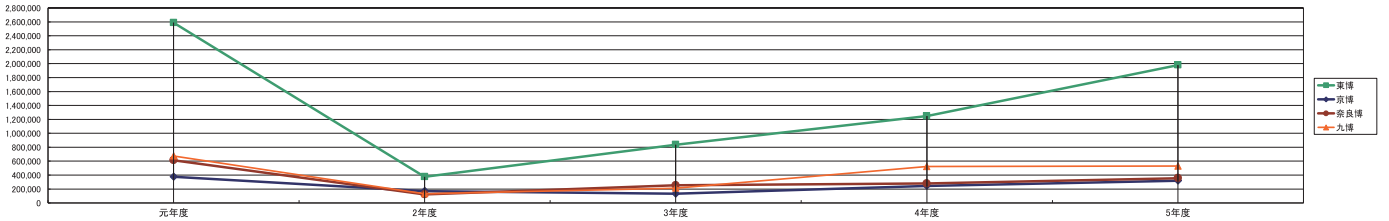
来館者数推移（展覧会別）（過去5か年）

a−②

国立文化財機構　合計

	30年度		元年度		2年度		3年度		5年度	
合計	総　　計	4,958,044	総　　計	888,177	総　　計	1,485,718	総　　計	2,387,419	総　　計	3,364,286
	平常展のみの来館者	1,753,198	平常展のみの来館者	944,592	平常展のみの来館者	432,592	平常展のみの来館者	1,084,003	平常展のみの来館者	1,728,018
	特別（共催）展計	2,804,846	特別（共催）展計	513,785	特別（共催）展計	1,051,353	特別（共催）展計	1,285,416	特別（共催）展計	1,636,268

1）国立博物館



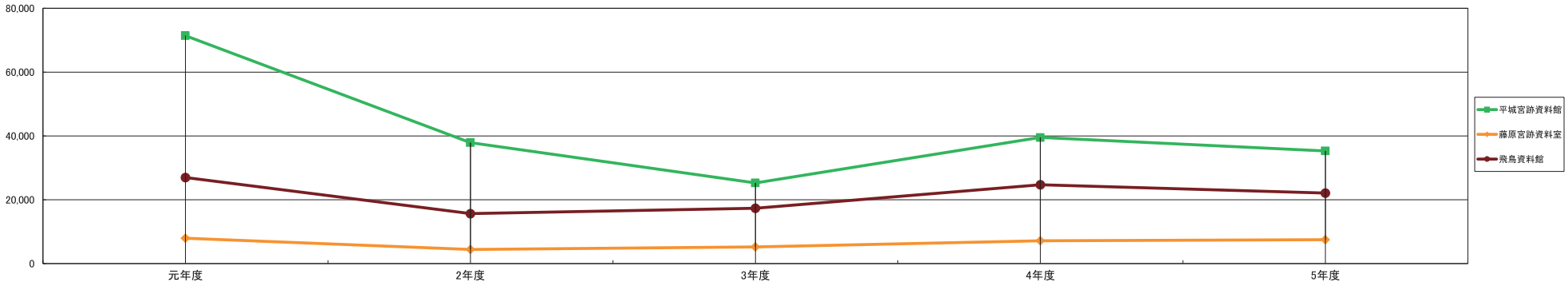
	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
計	総　　計	4,251,725	総　　計	600,183	総　　計	1,435,662	総　　計	2,296,052	総　　計	3,390,389
	平常展のみの来館者	1,712,656	平常展のみの来館者	320,004	平常展のみの来館者	409,410	平常展のみの来館者	1,049,083	平常展のみの来館者	1,695,429
	特別（共催）展計	2,539,069	特別（共催）展計	480,179	特別（共催）展計	1,026,443	特別（共催）展計	1,246,969	特別（共催）展計	1,602,960
東博	総計（黒田記念館含む）	2,588,632	総計（黒田記念館含む）	375,575	総計（黒田記念館含む）	836,720	総計（黒田記念館含む）	1,247,750	総計（黒田記念館含む）	1,980,388
	平常展のみの来館者（黒田記念館含む）	1,030,652	平常展のみの来館者（黒田記念館含む）	166,639	平常展のみの来館者（黒田記念館含む）	211,052	平常展のみの来館者（黒田記念館含む）	625,235	平常展のみの来館者（黒田記念館含む）	961,328
	特別（共催）展計	1,557,980	特別（共催）展計	208,936	特別（共催）展計	625,668	特別（共催）展計	622,515	特別（共催）展計	1,019,060
	特別展 御即位30年記念「両陛下と文化交流ー日本美を伝えるー」	74,424	ユネスコ無形文化遺産「体感！日本の伝統芸能ー歌舞伎・文楽・能楽・雅楽・組踊の世界ー」	中止	特別展「国宝　鳥獣戯画のすべて」	129,349	特別展「ボンペイ」	13,581	特別展「東福寺」	78,435
	特別展「国宝　東寺ー空海と仏像曼荼羅」	430,511	特別展「法隆寺金堂壁画と百済観音」	中止	特別展「聖林寺十一面観音ー三輪山信仰のみほとけ」	59,125	特別展「空也上人と六波羅蜜寺」	100,493	特別展「古代メキシコ　ーマヤ、アステカ、テオティワカンー」	330,013
	特別展「美を紡ぐ　日本美術の名品ー雪舟、永徳から光琳、北斎までー」	106,593	特別展「きもの　KIMONO」	91,830	東京2020オリンピック・パラリンピック開催記念特別展「スポーツNippon」	※1（22,735）	沖縄復帰50年記念特別展「琉球」	90,395	浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念　特別展「京都・南山城の仏像」	79,567
	特別企画「奈良大和四寺のみほとけ」	※1（330,598）	特別展「聖林寺十一面観音ー三輪山信仰のみほとけ」	延期	日中韓国立博物館共同企画特別展「東アジアのうるし世界」	中止	日中国交正常化50周年記念　特別デジタル展「故宮の世界」	27,839	特別展「やまと絵ー受け継がれる王朝の美ー」	162,104
	日中文化交流協定締結40周年記念　特別展「三国志」	337,639	東京2020オリンピック・パラリンピック開催記念特別展「スポーツNippon」	延期	マレーシア・イスラーム美術館精選「イスラーム王朝とムスリムの世界」	※1（125,463）	東京国立博物館創立150年記念　特別展「国宝　東京国立博物館のすべて」	351,153	「横尾忠則　寒山百得」展	47,719
	住友財団修復助成30周年記念「文化財よ、永遠に」	※1（138,502）	日中韓国立博物館共同企画特別展「東アジアのうるし世界」	延期	聖徳太子１４００年遠忌記念 特別展「聖徳太子と法隆寺」	69,640	東京国立博物館創立150年記念　特別企画「未来の博物館」	※1（150,296）	特別展「本阿弥光悦の大宇宙」	122,205
	御即位記念特別展「正倉院の世界ー皇室がまもり伝えた美ー」	362,076	特別展「国宝　鳥獣戯画のすべて」	延期	「春夏秋冬／フォーシーズンズ　乃木坂46」	58,461	特別企画「大安寺の仏像」	※1（177,515）	建立900年　特別展「中尊寺金色堂」	199,017
	特別展「人、神、自然ーアール・ヤーニ コレクションの名品が語る古代世界ー」	※1（139,737）	特別展「工芸2020ー日本の工藝と自然ー」	13,851	伝教大師１２００年大遠忌記念 特別展「最澄と天台宗のすべて」	63,977	「150年後の国宝展ーウタシの宝物、ミライの宝物」	※1（178,525）		
	特別公開「高御座と御帳台」	110,484 ※2（204,801）	特別展「桃山ー天下人の100年」	82,808	特別展「ボンペイ」	184,119	特別展「東福寺」	39,054		
	日本書紀成立1300年　特別展「出雲と大和」	136,054	特別展「日本のたてものー自然素材を伝統技術に活かす知恵」	20,447	ユネスコ無形文化遺産「体感！日本の伝統芸能ー歌舞伎・文楽・能楽・雅楽・組踊の世界ー」	15,405				
	特別展「法隆寺金堂壁画と百済観音」	199 （報道内覧会のみ）	特別展「ジパング　世界と出会った日本の美」	中止	特別企画「手わざー琉球王国の文化」	※1（27,440）				
	ユネスコ無形文化遺産　特別展「体感！ 日本の伝統芸能ー歌舞伎・文楽・能楽・雅楽・組踊の世界ー」	中止	日本美術の魅力（在外古美術品保存修復協力事業による修復作品里帰り展）	延期	特別展「空也上人と六波羅蜜寺」	45,592				
京博	総　　計	376,061	総　　計	170,494	総　　計	132,793	総　　計	245,489	総　　計	319,950
	平常展のみの来館者	158,664	平常展のみの来館者	18,941	平常展のみの来館者	35,440	平常展のみの来館者	56,369	平常展のみの来館者	140,562
	庭園のみ（全館閉館期、庭園のみ開放）	13,908	庭園のみ（全館閉館期、庭園のみ開放）	9,932	庭園のみ（全館閉館期、庭園のみ開放）	5,851	庭園のみ（全館閉館期、庭園のみ開放）	12,081	庭園のみ（全館閉館期、庭園のみ開放）	11,551
	平常展のみ+庭園のみ	172,572	平常展のみ+庭園のみ	28,873	平常展のみ+庭園のみ	41,291	平常展のみ+庭園のみ	68,450	平常展のみ+庭園のみ	152,113
	特別（共催）展計	203,489	特別（共催）展計	141,621	特別（共催）展計	91,502	特別（共催）展計	177,039	特別（共催）展計	167,837
	特別展　特京二祖上人七百年御遠忌記念「国宝ー重聖絵と時宗の名宝」	66,678	西国三十三所　草創1300年記念 特別展「聖地をたずねて―西国三十三所の信仰と至宝ー」（※今夏に延期）	52,164	凝然国師没後七百年特別展「鑑真和上と戒律のあゆみ」	14,655	伝教大師1200年大遠忌記念特別展「最澄と天台宗のすべて」	43,235	親鸞聖人生誕850年 特別展「親鸞ー生涯と名宝」	98,543
	特別展「流転100年　佐竹本三十六歌仙絵と王朝の美」	136,811	御即位記念　特別展「皇室の名宝」	85,316	特別展「京（みやこ）の国宝ー守り伝える日本のたからー」	37,065	特別展「河内長野の霊地　観心寺と金剛寺ー真言密教と南朝の遺産ー」	28,211	特別展「東福寺」	69,294
			凝然国師没後七百年特別展「鑑真和上と戒律のあゆみ」	4,142	特別展「畠山記念館の名品ー能楽から茶の湯、そして琳派ー」	39,782	特別展「京（みやこ）に生きる文化　茶の湯」	91,675		
							親鸞聖人生誕850年 特別展「親鸞　生涯と名宝」	13,918		
奈良博	総　　計	612,755	総　　計	122,452	総　　計	253,196	総　　計	279,613	総　　計	355,246
	平常展のみの来館者	160,869	平常展のみの来館者	43,262	平常展のみの来館者	52,178	平常展のみの来館者	116,116	平常展のみの来館者	181,494
	特別（共催）展計	451,886	特別（共催）展計	79,190	特別（共催）展計	201,018	特別（共催）展計	163,497	特別（共催）展計	173,752
	国宝の殿堂　藤田美術館展	158,078	御大典記念特別展「よみがえる正倉院宝物ー再現模造にみる天平の技ー」（※今夏に延期）	42,846	聖徳太子1400年遠忌記念 特別展「聖徳太子と法隆寺」	44,233	特別展「大安寺のすべてー天平のみほとけと祈りー」	32,971	浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念　特別展「聖地南山城ー奈良と京都を結ぶ祈りの至宝ー」	58,559
	特別展　御即位記念　第71回正倉院展	277,133	仏教美術名品展	延期	特別展「奈良博三昧ー至高の仏教美術コレクションー」	34,659	貞享本雲版曼荼羅修理完成記念　特別展「中将姫と當麻曼荼羅ー祈りが紡ぐ物語ー」	19,966	第75回正倉院展	115,193
	特別展　崑沙門天ー北方毘踰のカミー	16,675	特別展　第72回正倉院展	36,344	特別展　第73回正倉院展	73,968	第74回正倉院展	87,672		
			特別展「国宝　聖林寺十一面観音ー三輪山信仰のみほとけ」	延期	特別展「名画の殿堂　藤田美術館展」	13,773	式年遷替記念特別展「春日大社　若宮国宝展ー祈りの王朝文化ー」	22,888		
					特別展「国宝　聖林寺十一面観音ー三輪山信仰のみほとけ」	34,385				
九博	総　　計	674,277	総　　計	131,669	総　　計	213,153	総　　計	523,200	総　　計	529,471
	平常展のみの来館者	348,563	平常展のみの来館者	81,230	平常展のみの来館者	104,898	平常展のみの来館者	239,282	平常展のみの来館者	287,160
	特別（共催）展計	325,714	特別（共催）展計	50,432	特別（共催）展計	108,255	特別（共催）展計	283,918	特別（共催）展計	242,311
	特別展「京都　大報恩寺　快慶・定慶のみほとけ」	53,524	特別展「ライデン国立古代博物館所蔵　古代エジプト展」	中止	御大典記念特別展「よみがえる正倉院宝物ー再現模造にみる天平の技ー」	18,157	特別展「北斎」	135,955	特別展「アール・ヌーヴォーのガラスーガレとドームの自然賛歌ー」	49,485
	特別展「室町将軍ー戦乱と美の足利十五代」	86,390	開館15周年記念特別展「海幸山幸ー祈りと恵みの風景ー」	延期	特別展「皇室の名宝ー皇室と九州をむすぶ美ー」	43,197	特別展「琉球」	41,054	特別展「憧れの東洋陶磁ー大阪市立東洋陶磁美術館の至宝」	20,851
	特別展「三国志」	140,155	開館15周年記念特別展「加耶」	中止	開館15周年記念特別展「海幸山幸ー祈りと恵みの風景ー」	17,383	特別展「ボンペイ」	79,919	特別展「古代メキシコ ーマヤ、アステカ、テオティワカンー」	88,895
	特別展「ルネ・ユイのまなざし　フランス絵画の精華　大様式の形成と変容」	45,636	特別展「奈良・中宮寺の国宝」	50,432	伝教大師1200年大遠忌記念 特別展「最澄と天台宗のすべて」	29,518	特別展「加耶」	26,990	特別展「生誕270年　長沢芦雪ー若冲、応挙につづく天才画家ー」	83,080
三の丸	総　　計	0	総　　計	0	総　　計	0	総　　計	0	総　　計	114,334
									平常展のみの来館者	114,334
									特別（共催）展計	0
									特別展示「御即位5年・御成婚 30 年記念 令和の御代を迎えて―天皇皇后両陛下が歩まれた 30 年」	※3（65,673）
									皇居三の丸尚蔵館　開館記念展「皇室のみやび―受け継ぐ美―」第１期：三の丸尚蔵館の国宝	
									皇居三の丸尚蔵館　開館記念展「皇室のみやび―受け継ぐ美―」第２期：近代皇室を彩る技と美	※3（31,764）
									皇居三の丸尚蔵館　開館記念展「皇室のみやび―受け継ぐ美―」第３期：近世の御所を飾った品々	※3（16,897）

※1　この特別展は、平常展料金のため、平常展のみの来館者に計上
※2　（）内の数値は、総合文化展や同時期開催の特別展チケットによる来場者を含んだ数値。
※3　平常展のみの来館者に計上

来館者数推移（展覧会別）（過去5か年）

a-②

2）研究成果公開施設



	元年度		2年度		3年度		4年度		5年度	
計	**総　合　計**	**106,319**	**総　合　計**	**57,994**	**総　合　計**	**47,853**	**総　合　計**	**71,367**	**総　合　計**	**64,897**
	平常展のみの来館者	**40,542**	**平常展のみの来館者**	**24,388**	**平常展のみの来館者**	**22,943**	**平常展のみの来館者**	**34,920**	**平常展のみの来館者**	**31,589**
	特別（共催）展計	**65,777**	**特別（共催）展計**	**33,606**	**特別（共催）展計**	**24,910**	**特別（共催）展計**	**36,447**	**特別（共催）展計**	**33,308**
平城宮跡資料館	総　計	71,408	総　計	37,913	総　計	25,264	総　計	39,515	総　計	35,295
	平常展のみの来館者	26,562	平常展のみの来館者	15,004	平常展のみの来館者	12,942	平常展のみの来館者	19,888	平常展のみの来館者	15,130
	特別（共催）展計	44,846	特別（共催）展計	22,909	特別（共催）展計	12,322	特別（共催）展計	19,627	特別（共催）展計	20,165
	ロビー展示「震災復興調査とその支援」（26.3.12より継続展示）	※1 －	ロビー展示「震災復興調査とその支援」（26.3.12より継続展示）	※1 －	ロビー展示「震災復興調査とその支援」（26.3.12より継続展示）	※1 －	春期特別企画展　平城宮跡史跡指定100周年記念・奈良文化財研究所70周年記念「未来につなぐ平城宮跡ー保存運動のあけぼのー」	7,893	春期ミニ展示「よみがえる西大寺金堂院」	4,356
	平城宮跡資料館2019年度特別展「高御座」	14,456	ミニ展示「古代のいのり―疫病退散！」	2,846	春期特別企画展「平城宮跡保存運動のさきがけ -大極殿標木建設式ー二〇周年-」/「大地鳴動　ー大地の知らせる危機と私たちの生活ー」	688	夏期企画展「大地鳴動ー大地の知らせる危機と私たちの生活ー」展	4,106	夏期企画展「イカロスの翼　ー薬師寺の発掘成果から見る近世と近代ー」	5,468
	夏のこども展示「ならのみやこのしょくぶつえん」	9,162	夏期企画展「奈良の都の考古学―発掘された平城2019」「古代のいのり―疫病退散！」	3,968	夏期企画展「奈良を測る　―森蘊の庭園研究と作庭―」	1,157	秋期特別展①奈良文化財研究所70周年　平城宮跡史跡指定100周年記念　平城宮跡資料館　令和4年度　秋期特別展「地下の正倉院展ー平城木簡年代記〔クロニクル〕ー」	7,628	秋期特別展「女帝のいのりー発掘された西大寺と西隆寺ー」	10,341
	秋期特別展「地下の正倉院展-年号と木簡-」	13,257	秋季特別展「地下の正倉院展」	14,670	秋季特別展「地下の正倉院展」	6,310	秋期特別展②奈良文化財研究所70周年　平城宮跡史跡指定100周年記念　特別展「のこった奇跡　のこした軌跡ー未来につなぐ平城宮跡ー」	※2 (36,339)		
	平城宮跡資料館新春ミニ展示「平城京の子」	4,456	平城宮跡資料館新春ミニ展示「平城宮の丑」	1,425	企画展「発掘された平城2020・2021」	4,167				
	平城宮跡資料館「発掘された平常2019」	3,515	平城宮跡歴史公園第一次大極殿院南門復元整備工事記念特別展「鬼神乱舞-護る・祓う・鬼瓦の世界-」	※2 31,530						
藤原宮跡資料室	総　計	7,945	総　計	4,417	総　計	5,226	総　計	7,133	総　計	7,506
	平常展のみの来館者	7,945	平常展のみの来館者	4,417	平常展のみの来館者	5,226	平常展のみの来館者	7,133	平常展のみの来館者	7,506
	特別（共催）展計	0	特別（共催）展計	0	特別（共催）展計	0	特別（共催）展計	0	特別（共催）展計	0
飛鳥資料館	総　計	26,966	総　計	15,664	総　計	17,363	総　計	24,719	総　計	22,096
	平常展のみの来館者	6,035	平常展のみの来館者	4,967	平常展のみの来館者	4,775	平常展のみの来館者	7,899	平常展のみの来館者	8,953
	特別（共催）展計	20,931	特別（共催）展計	10,697	特別（共催）展計	12,588	特別（共催）展計	16,820	特別（共催）展計	13,143
	春期特別展「骨ものがたり―環境考古学研究室のお仕事」	10,024	奈良国立博物館・奈良文化財研究所　合同企画　夏期特別展「日本人と古代仏教―仏教徒文字文化の考古学」	中止	ミニ展示「新収蔵品紹介ー呉と書かれた瓦ー」	535	ミニ展示「飛鳥資料館に寄贈された瓦ー瓦の花咲く飛鳥資料館ー」	3,268	ミニ展示「長法寺十三重石塔に納められた押出三尊仏像と御正体」	3,288
	夏期企画展飛鳥資料館第10回写真コンテスト作品展「飛鳥の古墳」	3,070	特別展「飛鳥の石造文化と石工」	3,212	夏期企画展　飛鳥資料館第12回写真コンテスト「飛鳥の木」	2,112	夏期企画展　飛鳥資料館第13回写真コンテスト「高松塚古墳」	2,912	夏期企画展　飛鳥資料館第14回写真コンテスト「飛鳥のくらし」	2,936
	秋期特別展「飛鳥ー自然と人とー」	6,506	秋期企画展　飛鳥資料館第11回写真コンテスト作品展「飛鳥の祭」	5,114	秋期特別展「「屋根を彩る草花　ー飛鳥の軒瓦とその文様」	7,353	秋期特別展「飛鳥美人　高松塚古墳の魅力　」	7,280	秋期特別展「川原寺と祈りのかけら」	6,919
	冬期企画展「飛鳥の考古学2019」	1,331	冬期企画展「飛鳥の考古学2020」	2,371	冬期企画展「飛鳥の考古学2021」	2,588	冬期企画展「飛鳥の考古学２０２２」	3,360		

※1　平常展の一部として実施
※2　平城宮跡資料館ではなく、平城宮跡内のいざない館にて開催のため、合計の数値には含まない。（参考値として記載。）

a-③ 平常展・特別展・海外展

【東京国立博物館】

(1) 総合文化展（平常展）

①開館日数　314 日間
②会　　場
(1)本　館　1階、2階
(2)東洋館　1階、2階、3階、4階、5階
(3)法隆寺宝物館　1階、2階
(4)平成館　1階
(5)黒田記念館
③展示総件数　10,028件（うち国宝407件、重要文化財812件）
(1)本館・平成館企画展示室　4,064件（うち国宝257件、重要文化財317件）
(2)東洋館　3,271件（うち国宝 7件、重要文化財81件）
(3)法隆寺宝物館　415件（うち国宝 8件、重要文化財199件）
(4)平成館考古展示室　2,145件（うち国宝135件、重要文化財190件）
(5)黒田記念館　133件（うち国宝 0件、重要文化財25件）
④展示替件数　5,927 件　・　展示替回数　延べ 377 回
⑤入場料金
黒田記念館以外　一般1,000円、大学生410円
黒田記念館　無料
⑥特集　全24件（●国宝、◎重要文化財、〇重要美術品）

場所	名称	会期	件数(うち指定品件数)
平成館 企画展示室	親と子のギャラリー　尾・しっぽ	4 月 25 日 ～ 6 月 4 日	32 件
＜主な作品＞ 緑釉犬、猫、唐織 紅地籠目牡丹桜尾長鳥模様、龍存星輪花盆			
東京都恩賜上野動物園と国立科学博物館との三館園連携企画を受けて企画された特集陳列であり、今回が 16 回目となる。動物の体の後方にそなわる「尾・しっぽ」について、その形や機能、役割に注目し、美術工芸品にあらわされるさまざまな形態の尾の表現をとりあげた。また、合同企画の特色を生かし、生態学的なアプローチも加えながら、理解を深める内容とした。			
本館 14 室	初期伊万里の粋―染付から初期色絵まで	5 月 16 日 ～ 8 月 20 日	30 件
＜主な作品＞ 染付竹虎図大鉢、錆地染付桃文皿、瑠璃地染付蓮図水指、色絵花鳥図九角皿			
伊万里焼のなかでも草創期からの染付を中心とし、1670 年代に有田の窯場が輸出陶磁生産に移行して統合されていく前までの初期の色絵を含んだ一群である「初期伊万里」について、近年のご寄贈等により新たに列品となった作品をはじめ、これまで展示する機会の少なかった作品もあわせて、その多彩な表現のありかたを示した。			
本館 特別 1・2 室	令和 4 年度新収品	5 月 30 日 ～ 6 月 25 日	34 件（重文 1 件、重美 1 件）
＜主な作品＞ ◎小袖 染分綸子地小手毬松楓模様、中細形銅戈、中国真景図巻			
令和４年度に新たに収蔵品に加わった文化財のうち、寄贈分、購入分より主だった作品を公開する。新収品を通じ、当館のもっとも重要な事業のひとつに位置づけられる「文化財の収集」について、その成果と意義を示した。			
本館 15 室	虫譜づくりの舞台裏―栗本丹洲著『千虫譜』とその展開	6 月 20 日 ～ 8 月 20 日	30 件
＜主な作品＞ 千虫譜　第二巻、千虫譜　第三巻、虫譜図説　巻一、丹洲虫譜　上			
幕府奥医師・栗本丹洲(1756～1834 年)の著した『千虫譜』に焦点をあて、その写本の歴史的な展開を辿るとともに、書き込まれた文章から、丹洲が虫をいつ・誰から・何を契機に入手したか、またどのように観察し同定したかなど、虫譜づくりの舞台裏を明らかにした。			
本館 特別 1・3-1・3-2 室	儒教の美術―湯島聖堂由来の絵画・工芸を中心にして	6 月 27 日 ～ 8 月 6 日	38 件（重文 1 件）
＜主な作品＞ ◎孔子像、欹器図、海藻蒔絵俎、歴聖大儒像、歴聖大儒像			
湯島聖堂伝来で狩野山雪の代表作の一つでもある歴聖大儒像は、15幅が当館に、6幅が筑波大学と明治初期に分かれて以来分蔵されている。本特集では、修理完成を記念して、分かれて以来初めて全21幅揃った姿で展示を行う。加えて湯島聖堂伝来の釈奠器と、近世の儒教関係の美術のまとまった展示を行い、総合的に儒教美術を捉える試みとした。			
本館 3-1・3-2 室	藤原定家―『明月記』とその書―	6月27日 ～ 8月6日	21件（重文5件、重美1件）
＜主な作品＞ ◎明月記 天福元年六月、明月記 嘉禄元年秋・同三年夏、◎申文、記録切（賭射）、二条家三卿之芳翰（日野切・後撰集切・拾遺集切）、通具俊成卿女歌合断簡（歌合切）、〇熊野懐紙、◎譲状			

場所	名称	会期	件数(うち指定品件数)
「『明月記』と公家社会」、「定家と御子左家の家業」の２つの小テーマをもとに、『明月記』とその断簡、および自筆文書と古記録・儀式書の写本を集め、さらに定家の父・俊成と、子・為家の書を展示し、定家とその書風を育てた歌学の家、御子左家のなりわいを示した。			
本館 特別２室	関東大震災と東京国立博物館	7 月 11 日 ～ 9 月 3 日	26 件（重文 1 件）
＜主な作品＞ 上野公園バラック配置図、馬形埴輪、多宝塔、青磁貼花牡丹唐草文花瓶、銀銅蛭巻太刀（模造）			
発生から 100 年を迎える関東大震災(1923 年)から 100 年の節目として、被災記録の分析や被災資料の展示などを通して、当時の東京帝室博物館(上野公園を含む)における被害の実態とその後の復興を紹介した。あわせて、現在、東京国立博物館が進めている文化財防災の取り組みを紹介し、国民全体の防災意識の向上をはかった。			
平成館 企画展示室	姫君婚礼につき―蒔絵師総出の晴れ舞台	7 月 25 日 ～ 9 月 18 日	16 件
＜主な作品＞ 竹葵牡丹紋散蒔絵女乗物、竹菱葵紋散蒔絵化粧道具、竹菱葵紋散蒔絵歯黒道具、竹菱葵紋散蒔絵手水道具			
紀州徳川家十代・治宝の娘、豊姫(1800～45)所用と伝わる婚礼調度一式は、化粧道具から手水道具、双六盤など遊戯具まで多彩な器形が揃い、竹菱葵紋で統一した蒔絵は細部や内面まで丁寧に装飾するすぐれた仕事を見せている。本特集では、この豊姫の婚礼調度を可能な限り一挙に公開したほか、婚礼において象徴的な意味を持った貝桶などを加え、江戸時代の婚礼調度の威容を実感する空間を現出させた。			
本館 14室	日本初のチベット探検―僧河口慧海の見た世界―	8月22日 ～ 10月9日	25件
＜主な作品＞ 菩薩立像、檀木釈迦如来立像、釈迦如来坐像、無量寿仏像、加彩女子、河口慧海請来風俗資料			
当館には日本人として初めてチベット・ネパールを訪れた僧河口慧海(1866～1945)の収集に係るまとまったコレクションがあるが、これはチベット旅行の収集品のみならず、遺愛の品も含まれることが特徴である。本特集は寄贈から50年の節目にあたる本年に、あらためてその全容を示した。			
東洋館 8室	創立80周年記念　常盤山文庫の名宝	8月29日 ～ 10月22日	84件(国宝2件、重文21件、重美12件)
＜主な作品＞ 青磁鳳凰耳花入、彫漆雲文水注、◎禅院牌字　巡堂、◎済侍者宛謝策、●遺偈（棺割の墨跡）、◎茉莉花図、◎送海東上人帰国図、◎帰郷省親図、●易元吉画巻跋			
常盤山文庫は、初代理事長の菅原通濟から三代にわたって古美術を蒐集し、質の高いコレクションを築いてきた。平成30年からは順次当館に寄託されてきた。本特集は常盤山文庫創立80年を記念して開催するもので、当館で活用する意義とともに蒐集の歴史をたどった。			
本館 7・8-2・特別 2 室	近世のやまと絵―王朝美の伝統と継承―	9 月 5 日 ～ 12 月 3 日	86 件（重文 4 件、重美 5 件）
＜主な作品＞ ◎関屋図屏風、◎蔦の細道図屏風、桜山吹図屏風、吉野山図屏風、〇柳橋水車図屏風、武蔵野図屏風、粟穂鶉図屏風、秋草鶉図、源氏物語図　初音・胡蝶、〇伊勢物語　鳥の子図、徒然草画帖、新三十六人歌合画帖、大原御幸図屏風、〇扇面散図屏風、伊勢物語八橋図、◎秋草図屏風、◎車争図屏風、鷸鷂草葺不合尊降誕図、舞楽図、詠草、〇山部赤人像賛、〇武者小路実陰像、柿本人麿自画賛、芥子下絵和歌巻、色紙帖、大嘗会屏風のうち主基屏風　天明七年度十一月・十二月帖、大嘗会屏風のうち悠紀屏風　嘉永元年度九月・十月帖			
特別展「やまと絵―受け継がれる王朝の美―」の開催にあわせ、古代、中世やまと絵の伝統を継承しながらも、新たな美意識に支えられ、洗練された表現を達成した近世やまと絵、および関連する書跡作品を紹介した。展示では、土佐派、住吉派、板谷派といったやまと絵の画派に加え、近世初期の岩佐派、長谷川派、さらには琳派、狩野派、復古やまと絵の諸派など、画派ごとの表現の違いにも着目した。			
本館 特別 1 室	東京国立博物館の寒山拾得図―伝説の風狂僧への憧れ―	9 月 12 日 ～ 11 月 5 日	19 件(国宝 1 件、重文 3 件、重美 1 件)
＜主な作品＞ ●寒山拾得図(禅機図断簡)、〇寒山拾得図、◎寒山拾得図、◎四睡図、◎寒山拾得図、中納言朝忠、百人一首帖			
表慶館で開催される「横尾忠則 寒山百得」（9 月 12 日～12 月 3 日）の連携企画として、東京国立博物館に所蔵される中国、日本で描かれた寒山拾得図をまとめて展示して、各時代におけるさまざまな表現を通して、人々が寒山拾得を見つめた様相を示した。			
本館 3-1・3-2室	仏画のなかのやまと絵山水	9月20日 ～ 12月3日	27件（国宝2件）
＜主な作品＞ ●十六羅漢像（第七尊者）、諸尊集会図、●十六羅漢像（第十五尊者）、阿弥陀聖衆来迎図、平等院鳳凰堂壁画（模本）上品下生図、平等院鳳凰堂壁画（模本）中品上生図、平等院鳳凰堂壁画（模本）中品上生図、平等院鳳凰堂壁画（模本）日想観図（左部分）、平等院鳳凰堂壁画（模本）日想観図（右部分）			
平成館で開催される特別展「やまと絵―受け継がれる王朝の美―」［10月11日（水）～12月3日（日）］に合わせ、仏画に見られるやまと絵の山水表現に注目した企画。鎌倉時代に制作された「諸尊集会図・阿弥陀来迎図」（A-11974）や、これまで紹介する機会がなかった江戸時代後半に活躍した田中訥言による「平等院鳳凰堂壁画」模写（A-1521）を軸に、仏画とやまと絵の融合、その具体相を示した。			
平成館 企画展示室	羽黒鏡―霊山に奉納された和鏡の美	9 月 26 日 ～ 11 月 19 日	58 件
＜主な作品＞ 松鶴鏡、梅花蝶鳥鏡、洲浜双鳥鏡、山吹双鳥鏡、網代垣双鳥鏡			
羽黒鏡は、山形県羽黒山に位置する出羽三山神社の社前にある御手洗池に奉納された平安時代から江戸時代に至る和鏡で、現在およそ 600 面が知られている。なかでも平安時代後期に制作されたとみられる一群は、当時のやまと絵を反映した絵画的な文様が優美に表されている。本特集では館蔵の羽黒鏡を一堂に会し、信仰にまつわる美麗な世界を提示した。			

場所	名称	会期	件数(うち指定品件数)
本館 14 室	日本の伝統模様「秋草」	10 月 11 日 ～ 11 月 19 日	24 件
＜主な作品＞ 垣に梅秋草文真形釜、秋草蝶鳥鏡、瓶形秋草文水滴、秋草蒔絵見台、鼠志野秋草図額皿、色絵藤袴図皿、長絹 深緑地秋草尾長鳥模様、唐織 紅白段菊薄蝶模様、帯 萌黄繻子地秋草模様			
日本の工芸に表わされる文様をテーマに、毎年シリーズで企画する特集の第１弾として「秋草」を取り上げた。本特集では平安時代から江戸時代にかけての漆工・陶磁・金工・染織などの工芸品に表現される秋草模様を通して、工芸の模様に見る日本の美の形を示した。			
東洋館 8 室	中国書画精華―日本におけるコレクションの歴史	10 月 31 日 ～ 12 月 24 日	69 件(国宝 5 件、重文 15 件、重美 3 件)
＜主な作品＞ ◎梅花双雀図軸、◎天帝図軸、●夏景山水図軸、◎六祖截竹図、◎千手観音像軸、◎羅漢図軸、山水図冊、塞囲四景図巻、人物山水図巻、山水人物画冊、●的蔵主あて進道語、●無隠元晦あて法語、草書五言律詩軸、●古文尚書巻第六、●王勃集巻第二十九・三十、楷書玄妙観重脩三門記巻、楷書前後出師表巻、端渓天禄硯			
毎年秋に東洋館８室で開催される名品展。今年は日本伝来の歴史に注目し、鑑賞体系が確立された室町時代までの「古渡」、その価値観を引き継ぎつつ、新しい趣味にも好奇のまなざしを向けた江戸時代頃の「中渡」、中国大陸で正統とされた文人書画が新規に数多く流入した近代の「新渡」に大別し、伝来時期による性格の違いを可視化させた。			
本館 14 室	大聖寺藩（石川県）前田家伝来の能面	11 月 21 日～6 年 1 月 14 日	23 件
＜主な作品＞ 能面 大癋見、能面　小獅子、能面 老女、能面 怪士(霊怪士)			
大聖寺藩は、加賀藩第３代藩主前田利常が三男利治を藩主として寛永16年(1639)に分藩し成立した。前田家は藩祖利家以来能楽を愛好し、大聖寺藩には能面124面、狂言面42面がまとまって伝えられている。本特集では、このうち能面23面を展示し、室町時代に遡る古面、宝生家の名物面の写し、金春家、観世家の面の写しなどを通じて江戸時代の大名家の能面収集の様相を示した。			
平成館 企画展示室	キリシタンの祈りと聖母マリア	11 月 28 日 ～ 12 月 24 日	59 件（重文 44 件）
＜主な作品＞ ◎三聖人像、◎聖母像（親指のマリア）、◎踏絵　◎聖母子像（ロザリオの聖母）、◎板踏絵　◎キリスト像（ピエタ）、◎マリア観音像、◎ロザリオ			
館蔵のキリシタン関係遺品のなかには、ロザリオ、十字架、メダイといったキリスト教の信仰の様子を示す品々があり、またシドッチが傾向したと伝える「親指のマリア」やマリア観音など聖母マリアに関連した作品もある。本特集では、これらの作品を通じて、日本におけるキリスト教の受容や潜伏キリシタンの信仰の様相を示した。			
本館 特別 1 室	博物館に初もうで　謹賀辰年―年の初めの龍づくし―	6 年 1 月 2 日～1 月 28 日	35 件（重文 7 件）
＜主な作品＞ 龍虎図屏風、芝園臥龍梅記並詩歌、◎五龍図巻、五彩龍涛文長方合子、◎龍涛螺鈿稜花盆、◎十二神将立像（辰神）			
恒例の「博物館に初もうで」特集、今回は令和６年(2024)の干支である「辰」にちなみ、辰(龍)のもつ凄みと造形の繊細さを存分に楽しんでいただける作品を選りすぐった。時には堂々とした姿を、時にはユーモラスな姿を見せる龍をモチーフとした作品で、一年の始まりを寿ぐ機会を提供した。			
本館 4 室	茶碗　茶の湯を語るうつわ	6 年 1 月 2 日～3 月 10 日	23 件（重文 2 件、重美 1 件）
＜主な作品＞ ◎登承天万仏閣偈、青井戸茶碗 土岐井戸、青磁蓮弁文碗、志野茶碗 銘 橋姫、黒楽茶碗 銘 尼寺、黒楽梯子文筒茶碗			
天文年間(1532～55)より盛んに記録されるようになる茶会記には、唐物、高麗物の茶碗がさまざま登場し、取り合わせや演出の柔軟な側面がみてとれる。その後、天正期以降には、光悦の作陶に影響を与える楽茶碗の誕生を契機として、和物茶碗が各地で作られ、茶の湯の碗に向けられた眼はより豊かで重層的となる。特別展「本阿弥光悦の大宇宙」にちなむ本特集ではこうした茶の湯隆盛期を彩った茶碗からその多様性を示した。			
東洋館 8 室	生誕 180 年記念　呉昌碩の世界―金石の交わり―	6 年 1 月 2 日～ 3 月 17 日	118 件
＜主な作品＞ 行書「槐安」軸、隷書張衡霊憲四屏、篆書張茂先励志詩四屏、花卉図四屏、篆書集石鼓字聯、水仙怪石図軸、斉雲館印譜、削觚廬印存、山水図扇面、篆書般若心経十二屏、芙蓉図軸			
呉昌碩(1844～1927)は、金石研究に心を傾け、書画篆刻の芸術に偉大な業績を遺した。本特集は呉昌碩生誕 180 年を記念する事業として開催するもので、呉昌碩ゆかりの作品を一堂に集めるとともに、同様の展示をおこなう台東区立朝倉彫塑館、台東区立書道博物館、兵庫県立美術館との連携協力を推進した。			
本館 14 室	塔と厨子	6 年 1 月 16 日 ～ 2 月 25 日	24 件（国宝 1 件、重文 1 件）
＜主な作品＞ ●金銅能作生塔、◎塔鋺、銭弘俶八万四千塔、金銅装水晶五輪塔形舎利容器、黒漆彩絵厨子			
塔は釈迦が入滅して荼毘に付された後、遺骨（舎利）を祀った施設を端緒とし、釈迦・舎利信仰に基づく礼拝・供養のための小塔が多数作られた。また『法華経』などに説く造塔の功徳から、小塔を多数造立することも盛行した。厨子は仏像や舎利などを安置・供養するための容器で、仏堂や仏・菩薩の住する浄土を模して様々な形式のものが作られた。本特集ではこれら塔と厨子を概観し、その多彩な形式と魅力を提示した。			
本館 特別 2 室	親と子のギャラリー　中尊寺のかざり	6 年 1 月 23 日～ 3 月 3 日	10 件（重文 1 件）

場所	名称	会期	件数(うち指定品件数)
＜主な作品＞ ◎獅子螺鈿鞍			
建立 900 年特別展「中尊寺金色堂」(本館特別第５室、2024 年１月 23 日～４月 14 日)と連携し、中尊寺金色堂の堂内荘厳や仏具のあり方を紹介するとともに、漆工(螺鈿)と金工分野を対象にして、その制作技法に注目した。展示では模造や工程見本、映像やハンズオン、触察ツールなどを通じて分かりやすい展示を心がけ、かつて光堂ともたたえられた中尊寺金色堂の飾られ方への興味・関心を促した。			
本館 14 室	おひなさまと日本の人形	6 年 2 月 27 日 ～ 3 月 31 日	37 件
＜主な作品＞ 嵯峨人形 首振り嵯峨、嵯峨人形 猿廻し、立雛（次郎左衛門頭）、有職雛飾り、御所人形 笛吹き童子			
雛飾りの源流といわれる天児・這子から、立雛や古式次郎左衛門雛、松江藩松平家伝来の雛道具など、雛人形の成立から発展までを見通す展示にくわえ、京都の老舗人形店が有職装束を精巧に写した有職雛、仏師が内職として始めたといわれる嵯峨人形、宮廷のお土産人形として知られる御所人形などを通して、かわいらしいものを尊び、繊細で美しく、高い技術を駆使して作品を作り上げてきた日本の美意識を紹介した。			

(2) 特別展、共催展等

展覧会名	特別展「東福寺」
会　　期	3月7日(火)～5月7日(日)
会　　場	東京国立博物館　平成館特別展会場
主　　催	東京国立博物館、大本山東福寺、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション、文化庁
特別協賛	キヤノン、大和証券グループ、三井不動産、三菱地所、明治ホールディングス
協　　賛	JR東日本、清水建設、竹中工務店、三井住友銀行、三菱商事
協　　力	ライブアートブックス
作品件数	157件（うち、国宝7件、重文87件）、特別出品1件
来館者数	117,489人(目標80,000人、達成率147%)
入場料金	一般 2,100円、大学生 1,300円、高校生 900円、中学生以下無料
アンケート結果　満足度	89.2%
担当研究員数	3人
展覧会の内容	京都を代表する禅寺の一つである東福寺の寺宝をまとめて公開する初の機会となった展覧会。５章構成により、草創以来の東福寺の歴史を跡付けるとともに、室町時代に活躍した絵仏師・明兆による「五百羅漢図」をはじめ、巨大伽藍にふさわしい特大サイズの仏像や書画類を一堂に展観し、大陸との交流を通して花開いた禅宗文化の諸相を幅広く紹介した。
講演会等	

展覧会名	特別展「古代メキシコ　ーマヤ、アステカ、テオティワカン」
会　　期	6月16日(金)～9月3日(日)
会　　場	東京国立博物館　平成館特別展会場
主　　催	東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社
協　　賛	NISSA
協　　力	アエロメヒコ航空
後　　援	メキシコ大使館
企画協力	メキシコ文化省、メキシコ国立人類学歴史研究所
作品件数	141件
来館者数	330,013人(目標60,000人、達成率550%)
入場料金	一般 2,200円、大学生 1,400円、高校生 1,000円、中学生以下無料
アンケート結果　満足度	90.4%
担当研究員数	3人
展覧会の内容	メキシコ国内から古代メキシコ文明のうち、「マヤ」「アステカ」「テオティワカン」各文明の考古遺物を中心に集めた大型展。第１章で各文明を象徴する作品を、第２章ではテオティワカン文明、第３章ではマヤ文明、第４章ではアステカ文明を紹介した。普遍的な神と自然への祈り、そして多様な環境から生み出された独自の世界観と造形美を通して、古代メキシコ文明の奥深さと魅力に迫った。
講演会等	プレミアムナイト、ナイトレクチャーなどを開催した。

展覧会名	浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念　特別展「京都・南山城の仏像」
会　　期	9月16日(土)～11月12日(日)
会　　場	東京国立博物館　本館特別5室
主　　催	東京国立博物館、日本経済新聞社、テレビ東京、BSテレビ東京
協　　賛	JR 東海、竹中工務店、NISSHA
特別協力	京都南山城古寺の会
作品件数	18件（うち、国宝3件、重文12件）
来館者数	79,567人(目標40,000人、達成率199%)
入場料金	一般 1,500円、大学生 800円、高校生 500円、中学生以下無料
アンケート結果　満足度	89.7%
担当研究員数	3人
展覧会の内容	「南山城」と呼ばれる京都府の最南部、木津川流域は独自の仏教文化が展開し、多くの貴重な仏像が伝わる。とくに浄瑠璃寺の九体阿弥陀は現存する唯一の群像として知られ、また海住山寺の檀像、禅定寺の十一面観音菩薩立像など、大寺院や中央貴族と深く関わる同地域ならではの魅力にあふれている。本展では浄瑠璃寺九体阿弥陀の修理完成を記念し、南

	山城に伝わる国宝3件、重要文化財12件をふくむ18件の仏像を展示した。
講演会等	記念講演会を1回実施した。

展覧会名	特別展「やまと絵―受け継がれる王朝の美―」
会　　期	10月11日(水)～12月3日(日)
会　　場	東京国立博物館　平成館特別展会場
主　　催	東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、読売新聞社
協　　賛	TOPPAN、三井住友海上
作品件数	245件（うち、国宝53件、重文127件）
来館者数	162,104人（目標80,000人、達成率203%）
入場料金	一般 2,100円、大学生 1,300円、高校生 900円、中学生以下無料
アンケート結果　満足度	92.2%
担当研究員数	4人
展覧会の内容	本展は、日本絵画の中心的な存在である「やまと絵」をテーマとするもので、序章「伝統と革新―やまと絵の変遷―」、第１章「やまと絵の成立―平安時代―」、第２章「やまと絵の新様―鎌倉時代―」、第３章「やまと絵の成熟―南北朝・室町時代―」、第４章「宮廷絵所の系譜」、終章「やまと絵と四季―受け継がれる王朝の美」の展示構成により、平安時代から室町時代の優品を精選して紹介した。
講演会等	記念講演会を2回実施した。

展覧会名	「横尾忠則　寒山百得」展
会　　期	9月12日(火)～12月3日(日)
会　　場	東京国立博物館　表慶館
主　　催	東京国立博物館、読売新聞社、文化庁
作品件数	102点
来館者数	47,719人（目標40,000人、達成率119%）
入場料金	一般 1,600円、大学生 1,400円、高校生 1,000円、中学生以下無料
アンケート結果　満足度	89.3%
担当研究員数	3人
展覧会の内容	本展は、現代美術家・横尾忠則が、東洋の伝統的画題である「寒山拾得」を独自の解釈で再構築した完全新作102点を一挙初公開したものである。古美術における古典的テーマを題材としたものであり、当館収蔵品とも関連が深い。本展においてそれらを一堂に公開できた意義は大きいといえる。当館で初めて現代美術家を取り上げた展覧会であり、新たな来館者層を開拓した点も評価される。
講演会等	

展覧会名	特別展「本阿弥光悦の大宇宙」
会　　期	6年1月16日(火)～3月10日(日)
会　　場	東京国立博物館　平成館特別展会場
主　　催	東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、東京新聞
協　　賛	光村印刷
協　　力	日本文化芸術の礎
作品件数	110件（うち、国宝6件、重要文化財20件）
来館者数	122,205人（目標値8万人、達成率153%）
入場料金	一般 2,100円、大学生 1,300円、高校生 900円
アンケート結果　満足度	90.0%
担当研究員数	5人
展覧会の内容	本展は、江戸時代初期に活躍した芸術家、本阿弥光悦をテーマとするもので、第1章「本阿弥光悦の家職と法華信仰―光悦芸術の源泉」、第2章「謡本と光悦蒔絵―炸裂する言葉とかたち」、第3章「光悦の筆線と字姿―二次元空間の妙技」、第4章「光悦茶碗―土の刀剣」の展示構成により、様々な文化芸術活動に関わって光悦が生み出した優品の数々を総合的に紹介した。
講演会等	記念講演会を1回実施した。

(3)海外展

展覧会名	海外展「日本の美の原点」
会　　期	6月2日(金)～9月24日(日)
会　　場	ギリシャ共和国　イラクリオン考古博物館
主　　催	東京国立博物館、ギリシャ文化スポーツ省
特別協力	文化庁、朝日新聞社、NHK、NHKプロモーション、東映
協　　力	エミレーツ航空
作品件数	61件（うち、重文2件）
来館者数	260,694人
入場料金	10ユーロ
担当研究員数	３人

展覧会の内容	ヨーロッパ文明揺籃の地・ギリシャにて、はじめて日本の考古遺物を本格的に紹介した展覧会。縄文時代から古墳時代の文化を彩った優品を一堂に会し、世界的に見てもきわめて個性豊かな日本の原始美術の魅力を、広くヨーロッパの人々に伝えることで、日本の歴史や文化への関心と理解を深めた。
講演会等	ギャラリートーク（障がい者向けを含む）7回、講演会1回、ワークショップ1回

【京都国立博物館】

(1)平常展(名品ギャラリー)

①開館日数　212日(名品ギャラリー開館日数：156日、庭園のみ開館日数：56日)
②展示総件数　855件
③展示替件数　855件
④入場料金　一般700円、大学生350円　※庭園のみ開館時は一般300円
⑤特集展示等　全7件

場所	名称	会期	件数(うち指定品件数)
平成知新館 2F-2～5	新収品展	6月13日～7月17日	39件(重要美術品2件)
＜主な作品＞ 北野本地絵巻断簡、住吉真景図巻　岡田半江筆、褐釉四方茶入　野々村仁清作、団扇形散らし文様摺箔、太刀　銘（菊紋）和泉守来金道、吉野・龍田図屏風　英一蝶筆			
2021・2022年に購入やご寄贈によって、新たに当館の収蔵品となった絵画、書跡、工芸、彫刻と各分野のバラエティーに富んだ貴重な文化財のなかから39点を展示した。			
平成知新館 3F-1	茶の湯の道具　茶碗	6月20日～9月10日	47件(重要文化財4件、重要美術品2件)
＜主な作品＞ 玳玻天目、青磁碗、御本「日本」文字茶碗、黒楽茶碗　銘 ムキ栗　長次郎作、染付雲堂手茶碗　紀三井寺、錆絵水仙文茶碗　野々村仁清作、大井戸茶碗　毛利井戸			
茶席に招かれた客が単に茶を飲む器という用途だけでなく、直接手にして鑑賞できるものであり、茶席において亭主と客をつなぐ重要な道具となっている茶の湯に用いられる茶碗を、大きく唐物茶碗、高麗茶碗、和物茶碗に分けて、その種類や個性などについて概観する展示となった。			
平成知新館 1F-2・3	日中　書の名品	8月8日～ 9月18日	27件(国宝11件、重要文化財8件)
＜主な作品＞ 先手千眼陀羅尼経（玄昉願経）、書巻（本能寺切）　藤原行成筆、金剛般若経開題残巻　空海筆、菩薩処胎経巻第二、漢書楊雄伝第五十七			
中国の南北朝時代から南宋時代まで、日本の飛鳥時代から平安時代まで、有名無名をとわず、一流の書き手によってそれぞれの国で生まれ、伝えられた書の名品、とくに漢字で記された遺墨を中心に紹介した。			
平成知新館 1F-2	弥生時代青銅の祀り	6年1月2日～2月4日	37件(重要文化財3件、重要美術品5件)
＜主な作品＞ 流水文銅鐸　京都府与謝野町明石出土、銅剣　大分市浜出土、銅戈　福岡県春日市小倉出土			
当館の所蔵する弥生時代青銅器をすべて展示し、大陸に起源をもちながら独自の変化を遂げ、祀りの重要な道具として発達したと考えられる弥生時代青銅器の祀りに焦点をあて、日本列島独自の青銅器文化の展開と多様性を紹介した。			
平成知新館 2F-2～4	新春特集展示　辰づくし―干支を愛でる―	6年1月2日～2月12日	28件(重要文化財6件、重要美術品2件)
＜主な作品＞ 龍虎図屏風　狩野山楽筆、龍袍　金黄地綴織、昇龍墨意　須磨帖のうち　高奇峰筆、双龍文半瓦当、双龍花鳥蒔絵螺鈿裁縫道具入			
新春恒例の干支がテーマの特集展示として、2024年の干支、辰（龍）にちなんで開催。実在しないからこそ、想像力を働かせて描かれた、個性豊かな龍たちを紹介した。			
平成知新館 1F-1	修理完成記念特集展示　泉穴師神社の神像	6年1月2日～2月25日	1件(重要文化財1件)
＜主な作品＞ 神像			
大阪府泉大津市にある泉穴師神社に伝わる83躯の神像のうち平安時代から鎌倉時代に造られた80躯が重要文化財に指定されています。神像の修理完成記念として、重要文化財に指定されている26躯の神像を展示した。			
平成知新館 1F-2	雛まつりと人形―古今雛の東西―	6年2月10日～3月24日	53件
＜主な作品＞ 古今雛飾り　二代原舟月作、御所人形　水引手、京風古今雛			
江戸生まれの雛人形である「古今雛」の本来の姿を探るため、近年新たに発見された二代原舟月作とみなしうる古今雛飾りを紹介し、当館が所蔵する京風古今雛と並べてみることにより、江戸と上方それぞれの好みを感じる展示となった。			

(2) 特別展、共催展等

展覧会名	親鸞聖人生誕850年特別展「親鸞―生涯と名宝」
会　期	5年3月25日（土）～5月21日（日）（50日間）
会　場	平成知新館
主　催	京都国立博物館、朝日新聞社、NHK京都放送局、NHKエンタープライズ近畿

特別協力	真宗教団連合
協　　賛	DNP大日本印刷、京都女子大学
作品件数	181件（国宝11件、重要文化財75件）
来館者数	112,461人（目標来館者数50,000人、達成率：224.9%）
入場料金	一般1,800円、大学生1,200円、高校生700円
アンケート結果　満足度	90.3%
講演会等	・記念講演会（6回） 3月25日（土）「親鸞聖人の生涯」講師：草野 顕之 氏（大谷大学 名誉教授） 4月1日（土）「親鸞聖人伝絵の世界―覚如の絵巻制作」講師：井並 林太郎（学芸部主任研究員） 4月15日（土）「『坂東本・教行信証』と親鸞聖人」講師：三木 彰円 氏（大谷大学 教授） 4月22日（土）「親鸞聖人のご法物から立教開宗を聞思する」講師：赤松 徹眞 氏（本願寺史料研究所長、龍谷大学 名誉教授） 5月6日（土）「親鸞　生涯と名宝」講師：上杉 智英（学芸部研究員） 5月13日（土）「親鸞の手紙」講師：羽田 聡（学芸部 保存修理指導室長 兼 美術室長）

展覧会名	**特別展「東福寺」**
会　　期	10月7日（土）～12月3日（日）（50日間）
会　　場	平成知新館
主　　催	京都国立博物館、大本山東福寺、読売新聞社、NHK京都放送局、NHKエンタープライズ近畿
特別協力	―
協　　賛	岩谷産業、きんでん、大和ハウス工業、非破壊検査
作品件数	189件（国宝7件、重要文化財102件）
来館者数	69,294人（目標来館者数50,000人、達成率：138.6%）
入場料金	一般1,800円、大学生1,200円、高校生700円
アンケート結果　満足度	88.5%
講演会等	・関連土曜講座（プレ講座）（1回） 9月2日（土）「博物館の舞台裏シリーズ① 特別展ができるまで―東福寺展の会場造りを中心に―」講師：森 道彦（学芸部研究員）、青木 麻佑花（学芸部アソシエイトフェロー） ・記念講演会（7回） 10月14日（土）　「中国禅の本流としての東福寺―その歴史と文化財―」講師：石川 登志雄 氏（東福寺資料研究所長、京都産業大学 教授） 10月21日（土）「「五山」東福寺と室町将軍の額字」講師：日種 真子 氏（東福寺資料研究所 主任学芸員） 10月28日（土）「東福寺画壇と明兆」講師：森 道彦（京都国立博物館 研究員） 11月4日（土）「京都・東福寺と杭州径山の交流」講師：榎本 涉 氏（国際日本文化研究センター 教授） 11月11日（土）「東福寺と禅宗の仏像」講師：淺湫 毅 氏（追手門学院大学 教授） 11月18日（土）「墨跡にみる円爾と聖一派」講師：六人部 克典 氏（東京国立博物館 研究員） 11月25日（土）「東福寺と伝法衣―袈裟をめぐる物語―」講師：山川 暁（学芸部上席研究員 兼 企画室長 兼 工芸室長） ・関連イベント 11月4日（土）・5日（日）（各日4回・各回約90分）秋の華道体験

【奈良国立博物館】

(1)名品展（平常展）

①開館日数：317日(名品展のみの開館日数：234日)
②展示総件数：440件
③展示替回数：10件
④展示替件数：119件
⑤入場料金：一般　700円　大学生　350円
⑥特別陳列等：全109件
名品展
　珠玉の仏たち（なら仏像館）146件
　珠玉の仏教美術（西新館）164件
　特集展示「新たに修理された文化財」（西新館）6件
　中国古代青銅器（青銅器館）124件

場所	名称	会期	件数(うち指定品件数)
西新館 第1室	新たに修理された文化財	12月19日 ～6年 1月14日	6件（うち重文3件）
＜主な作品＞ 重要文化財 阿弥陀如来坐像、蔵王権現立像、南都寺社古文書・古記録等			
過去に人の手による修理を受けながら大切に保存されてきた文化財をさらに未来へと継承していくため、当館で毎年度計画的に修理を実施している彫刻・絵画・書跡・工芸・考古の各分野の収蔵品（館蔵品・寄託品）を公開した。また、修理内容についてパネルで紹介した。			
西新館 第1室、第3室	おん祭と春日信仰の美術―特集　春日の御巫―	12月9日～6年1月14日	45件（うち重文3件）
＜主な作品＞ 鹿島立神影図　二条英印筆、重要文化財 春日鹿曼荼羅、巫女装束（二人舞）・簪			
平安時代に若宮社が建てられた翌年にはじまったとされ今年で888年目を迎える春日若宮おん祭を取り上げ、絵画や文献史料、芸能資料等を通じて、おん祭の歴史と祭礼の様子を紹介した。			

場所	名称	会期	件数(うち指定品件数)
西新館 第1室、第3室	お水取り	6年2月10日～3月17日	64件（うち重文21件）
＜主な作品＞ 東大寺曼荼羅、重要文化財 十一面観音像、二月堂縁起、柄香炉、具、三胡嬈、軒丸瓦			
毎年、東大寺でお水取りがおこなわれるこの時季にあわせ、お水取り（修二会）への理解が深まる一助となることを企図し開催する恒例の企画で、これまで実際に法会で用いられた法具や、歴史と伝統を伝える絵画、古文書、出土品などを展示した。			

(2)特別展、共催展等

展覧会名	浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念特別展「聖地 南山城―奈良と京都を結ぶ祈りの至宝―」
会　　期	7月8日(土)～9月3日(日)（49日間）
会　　場	奈良国立博物館　東新館・西新館
主　　催	奈良国立博物館、日本経済新聞社、テレビ大阪
後　　援	京都府、京都府教育委員会、木津川市、京田辺市、城陽市、井手町、宇治田原町、笠置町、精華町、南山城村、和束町
特別協力	京都南山城古寺の会
協　　賛	JR東海、竹中工務店、NISSHA、福寿園
協　　力	京都山城地域振興社、日本香堂、仏教美術協会
作品件数	143件（うち国宝2件、重文47件）
来館者数	58,559人(目標来館者数60,000人・達成率 97.6%)
入場料金	一般1,800円、高校・大学生1,300円、小・中学生600円
アンケート結果　満足度	97.4%
担当研究員数	3名
展覧会の内容	五か年に及ぶ保存修理が完成した浄瑠璃寺九体阿弥陀像のうち二軀を修理後初公開するとともに、日本への仏教伝来以降各時代を通して日本仏教の聖地であり続けた南山城とその周辺地域の寺社に伝わる文化財を展観し、当地に花開いた仏教文化の全貌を紹介した。
講演会等	○公開講座 3回　参加者数合計 412人 7月29日（土）「華開く仏教文化～南山城の古代寺院から」菱田 哲郎（京都府立大学文学部教授）/ 参加者数 150人 8月19日（土）「南山城と律宗の美術」谷口 耕生（当館学芸部企画室長）/ 参加者数　132人 8月26日（土）「聖地 南山城の神と仏」山口 隆介（当館学芸部主任研究員）/ 参加者数　130人

展覧会名	第75回正倉院展
会　　期	10月28日（土）～11月13日（月）（17日間）
会　　場	奈良国立博物館　東新館・西新館
主　　催	奈良国立博物館
特別協賛	―
協　　賛	岩谷産業、印傳屋上原勇七、SGC、NTT西日本、関西電気保安協会、京都美術工芸大学、近畿日本鉄道、JR東海、JR西日本、シオノギヘルスケア、ダイキン工業、ダイセル、大和ハウス工業、中西金属工業、丸一鋼管、大和農園
特別協力	読売新聞社
協　　力	NHK奈良放送局、奈良交通、奈良テレビ放送、日本香堂、仏教美術協会、読売テレビ
作品件数	59件
来館者数	115,193人(目標来館者数80,000人・達成率 144%)
入場料金	一般2,000円、高校・大学生1,500円、小・中学生500円
アンケート結果　満足度	96.5%
担当研究員数	3名
展覧会の内容	8世紀の東アジア文化の至宝である正倉院宝物59件を公開した。
講演会等	○公開講座 3回　参加者数合計 438人 10月28日(土)「宝物に込められた祈り―転輪聖王としての聖武天皇―」 三田　覚之（当館学芸部主任研究員）/参加者数 155人 11月 4日(土)「正倉院文書の復原―いわゆる「常陸国戸籍」について―」 三野　拓也　氏（宮内庁正倉院事務所保存課調査室員）/ 参加者数 136人 11月11日（土）「正倉院の箱を観る」 伊藤　旭人（当館学芸部研究員）/ 参加者数 147人

【九州国立博物館】

(1)文化交流展（平常展）

①開館日数 309 日(うち平常展のみ開館日数 104 日)＊台風の影響により臨時休館(8 月 10 日)
②展示総件数：2,087 件(うち国宝 61 件、重要文化財 250 件)
③展示替件数：1,833件
④入場料金：一般 700 円、大学生 350 円
⑤特集展示・特別公開等：全 5 件

場所	名称	会期	件数(うち指定品件数)
文化交流展示室第11室	特集展示「秋田蘭画ことはじめ―それは『解体新書』から始まった―」	4月29日～6月11日	39件（うち重文2件）
＜主な作品＞ 『解体新書』巻之首、獅子図、鷹図、児童愛犬図、蝦蟇仙人図、不忍池図、唐太宗花鳥図			
秋田蘭画の誕生250年を記念し、このジャンルの優れたコレクションで知られる秋田市立千秋美術館の名品を公開した。			
文化交流展示室第7室	～Touch the History～さわって体験 本物のひみつ	8月8日～10月1日	18件（うち重文1件）
＜主な作品＞ 鬼瓦、鬼瓦レプリカ、海獣葡萄鏡、海獣葡萄鏡レプリカ、阿弥陀如来坐像、仏像玉眼模型			
ユニバーサル・ミュージアムへの取り組みの一環として、実物展示に加えてレプリカや再現文化財を展示し、見るだけでは分からない文化財の特徴について公開した。			
文化交流展示室第9・11室	特集展示「うるわしき祈りの美―高麗・朝鮮時代の仏教美術―」	9月5日～10月15日	48件（うち国宝1件、重文4件）
＜主な作品＞ 楊柳観音像、地蔵菩薩像、菩薩坐像、万五千仏図、釈迦誕生図、妙法蓮華経巻第一、青磁陰刻柳蘆水禽文浄瓶			
高麗・朝鮮時代のうち、11世紀から16世紀におよぶ時期の仏教美術作品の展示を通じて、それぞれが持つ歴史的な背景や物語を公開した。			
文化交流展示室第9室	新春特別公開「徳川美術館所蔵　国宝　初音の調度」	6年1月1日～1月28日	27件（うち国宝3件、重文1件）
＜主な作品＞ 初音蒔絵櫛箱、初音蒔絵小角赤手箱、胡蝶蒔絵手箱、旧円満院宸殿障壁画金地著色唐美人図			
徳川美術館に所蔵される国宝「初音の調度」のうち、櫛箱、小角赤手箱、『源氏物語』「胡蝶」の場面を描いた手箱の3件と、大揃いの南部家婚礼調度も併せて公開した。			
文化交流展示室第11室	特集展示「日本刀の美―北﨑徹郎の愛刀―」	6年1月30日～4月14日	31件
＜主な作品＞ 太刀　銘貞綱、太刀　銘豊後国定秀作、太刀　銘国行、短刀　銘国光、太刀　銘小烏丸摸/天保十四年氷心子秀世			
故・北﨑徹郎氏が収集した刀剣類が、4年度に九州国立博物館に寄贈されたことを記念して、全寄贈刀剣31件を公開した。			

(2) 特別展、共催展等

展覧会名	特別展「アール・ヌーヴォーのガラス―ガレとドームの自然賛歌―」
会　　期	4月18日(火)～6月11日(日)（49日間）
会　　場	九州国立博物館　特別展示室
主　　催	九州国立博物館・福岡県、西日本新聞社、RKB毎日放送、西日本新聞イベントサービス
作品件数	133件
来館者数	49,485人(目標来館者数30,000人・達成率165.0%)
入場料金	一般1,700円、高大生1,000円、小中生600円
アンケート結果　満足度	94.2%
講演会等	・記念講演会「北澤美術館のガラスコレクション」池田まゆみ（北澤美術館主席学芸員）/参加者166人 ・リレー講座　望月規史（学芸部企画課主任研究員）、室井真人（筑前高等学校指導教諭）、伊藤信二（学芸部企画課長）/参加者68人

展覧会名	特別展「憧れの東洋陶磁―大阪市立東洋陶磁美術館の至宝」
会　　期	7月11日(火)～9月3日(日)（48日間）※8月10日は台風の影響により臨時休館
会　　場	九州国立博物館　特別展示室
主　　催	九州国立博物館・福岡県、大阪市立東洋陶磁美術館、読売新聞社
作品件数	112件（うち国宝3件、重要文化財19件）
来館者数	20,851人(目標来館者数30,000人・達成70.0%)
入場料金	一般1,700円、高大生1,300円、小中生900円
アンケート結果　満足度	91.9%
講演会等	・トークセッション「三右衛門が熱く語る「憧れの東洋陶磁」」十四代今泉今右衛門（重要無形文化財保持者）、十五代酒井田柿右衛門、福島善三（重要無形文化財保持者）、酒井田千明（学芸部企画課主任研究員）/参加者232人 ・リレー講座「これであなたもやきものツウ！」 第1回：守屋雅史（大阪市立東洋陶磁美術館長）、酒井田千明（学芸部企画課主任研究員）/参加者91人 第2回：小林仁（大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長代理）、鄭銀珍（大阪市立東洋陶磁美術館主任学芸員）/参加者88人

展覧会名	特別展「古代メキシコ―マヤ、アステカ、テオティワカン」
会　　期	10月3日(水)～12月10日(日)（60日間）
会　　場	九州国立博物館　特別展示室
主　　催	九州国立博物館・福岡県、NHK福岡放送局、NHKエンタープライズ九州、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス、

	朝日新聞社
作品件数	141 件
来館者数	88,895 人(目標来館者数 40,000 人・達成率 222.2%)
入場料金	一般 2,000 円、高大生 1,300 円、小中生 900 円
アンケート結果　満足度	93.1%
講演会等	・リレー講座「もっと楽しもう!特別展『古代メキシコ ーマヤ、アステカ、テオティワカン』」河野一隆（東京国立博物館学芸研究部長）、小澤佳憲（展示課主任研究員）/参加者146人

展覧会名	**特別展「生誕270年　長沢芦雪　若冲、応挙につづく天才画家」**
会　　期	6 年 2 月 6 日(火)～3 月 31 日(日)（48 日間）
会　　場	九州国立博物館　特別展示室
主　　催	九州国立博物館・福岡県、長沢芦雪福岡展実行委員会
作品件数	64 件（うち重要文化財 11 件、重要美術品 2 件、県指定 4 件、市指定 7 件）
来館者数	83,080 人(目標来館者数 30,000 人・達成率 276.9%)
入場料金	一般 2,000 円、高大生 1,000 円、小中生 600 円
アンケート結果　満足度	93.6%
講演会等	・記念講演会「芦雪・若冲・応挙と大雅　驚愕魅惑のベストテン」河野元昭（東京大学名誉教授/参加者244人 ・ギャラリートーク「ろせつ入門！」鷲頭桂（学芸部博物館科学課主任研究員）/第1回：参加者120人、第2回：参加者80人、第3回：参加者50人

【皇居三の丸尚蔵館】

(1)企画展

①開館日数 114 日　※令和 5 年度のみ
②展示総件数：84 件(うち国宝 5 件、重要文化財 1 件)※令和 5 年度のみ
③入場料金：一般 1,000 円、大学生 500 円

展示名称	開館記念展「皇室のみやびー受け継ぐ美ー」
開催期間	11 月 3 日（金・祝）～令和 6 年 6 月 23 日（日）
内容	今年 11 月に開館 30 年を迎える三の丸尚蔵館が、令和という新たな時代に、装いを新たに「皇居三の丸尚蔵館」として開館することを記念して開催する。

(2) 特別展示

展示名称	御即位 5 年・御成婚 30 年記念 特別展示「令和の御代を迎えてー天皇皇后両陛下が歩まれた 30 年」
開催期間	11 月 3 日（金・祝）～12 月 24 日（日）（開館 45 日間）
会　　場	皇居三の丸尚蔵館　展示室 1
主　　催	皇居三の丸尚蔵館　特別協力：宮内庁
作品件数	50 件
来館者数	65,673 人　※開館記念展に含む
入場料金	※開館記念展の料金に含む
内　　容	両陛下がともに歩まれてきた 30 年の軌跡を、両陛下ゆかりのお品とともにご紹介する。本展を通して今日までの両陛下の様々なご活動に触れていただくとともに、両陛下ゆかりの品々が、日本の伝統文化の継承に深く関わるものであることを紹介する。

(3)地方展開

展覧会名	**企画展「皇室と近代の陶磁　三の丸尚蔵館名品展」**
会　　期	9 月 16 日(土)～12 月 10 日(日)（開館 74 日間）
会　　場	茨城県陶芸美術館
主　　催	茨城県陶芸美術館、宮内庁、独立行政法人国立文化財機構
作品件数	皇居三の丸尚蔵館の収蔵品　75 件（うち国宝 0 件、重要文化財 0 件）
来館者数	15,387 人
入場料金	一般 840 円（680 円：20 名以上の団体料金） 70 歳以上 420 円（340 円：20 名以上の団体料金） 高大生 630 円（520 円：20 名以上の団体料金） 小中生 320 円（260 円：20 名以上の団体料金）
内容	明治時代から昭和時代にかけて、皇室の御慶事に献上された作品や各時代の博覧会や展覧会で買い上げられた作品を中心に、わが国の近代陶磁の多様な造形を紹介する。

展覧会名	**第38回国民文化祭　第23回全国障害者芸術・文化祭　いしかわ百万石文化祭2023 皇居三の丸尚蔵館収蔵品展　皇室と石川 － 麗しき美の煌めき －**
会　　期	10 月 14 日(土)～11 月 26 日(日)（開館 43 日間）
会　　場	石川県立美術館・国立工芸館
主　　催	石川県立美術館、国立工芸館、いしかわ百万石文化祭 2023 実行委員会、宮内庁、文化庁、独立行政法人国立文化財機構
作品件数	皇居三の丸尚蔵館の収蔵品　90 件（うち国宝 4 件、重要文化財 0 件）
来館者数	石川県立美術館 50,040 人、国立工芸館 46,234 人
入場料金	一般 1,500 円（1,200 円：20 名以上の団体料金・割引料金） 大学生 1,000 円（800 円：20 名以上の団体料金・割引料金）
内容	三の丸尚蔵館収蔵品に、石川県立美術館、国立工芸館、公益財団法人前田育徳会等所蔵の関連作品を加えた約120点を、石川県立美術館と国立工芸館の二会場にて展示、皇室と石川をつなぐ美の世界を紹介する。

【奈良文化財研究所】
【平城宮跡資料館】
(1) 平常展
①開館日数：305日（平常展のみの開館日数：114日）
②展示総件数：561件（うち国宝0件、重要文化財0件）
③展示替回数：0回
④入場料金：無料
⑤平常展のみの来館者数：15,130人

(2) 特別展、企画展等

展覧会名	平城宮跡資料館 令和5年度 春期ミニ展示「よみがえる西大寺金堂院」
会　　期	5月27日（土）～ 7月17日（月・祝）（45日間）
会　　場	平城宮跡資料館　企画展示室
主　　催	奈良文化財研究所
特別協賛	―
協　　賛	―
協　　力	―
作品件数	55件（0件）
来館者数	4,356人
入場料金	無料
アンケート結果　満足度	―
担当研究員数	1人
展覧会の内容	西大寺金堂院地区におけるこれまでの発掘調査成果をパネルで展示。
講演会等	なし

展覧会名	平城宮跡資料館 令和5年度 夏期企画展 「イカロスの翼ー薬師寺の発掘成果から見る近世と近代」
会　　期	7月22日（土）～10月1日（日）（61日間）
会　　場	平城宮跡資料館　企画展示室
主　　催	奈良文化財研究所
特別協賛	―
協　　賛	―
協　　力	法相宗大本山薬師寺（特別協力）
作品件数	37件（うち国宝0件、重要文化財0件）
来館者数	5,468人
入場料金	無料
アンケート結果　満足度	89%
担当研究員数	1人
展覧会の内容	薬師寺の発掘調査成果のうち、中近世や近代の出土資料を中心に展示。
講演会等	ギャラリートーク5回、関連イベント1回、夏休みこども質問会2回開催

展覧会名	令和5年度平城宮跡資料館秋期特別展・都城発掘調査部創設60周年記念「女帝のいのりー発掘された西大寺と西隆寺ー」
会　　期	10月28日（土）～ 2月12日（月・祝）（85日間）
会　　場	平城宮跡資料館　企画展示室
主　　催	奈良文化財研究所
特別協賛	―
協　　賛	―
協　　力	真言律宗総本山 西大寺（特別協力）
作品件数	65件（うち国宝0件、重要文化財0件）
来館者数	10,341人
入場料金	無料
アンケート結果　満足度	87%
担当研究員数	1人
展覧会の内容	西大寺と西隆寺の発掘調査成果を出土資料とパネルで展示。
講演会等	なし

【藤原宮跡資料室】
(1) 平常展
①開館日数：353日
②展示総件数：534件
③展示替回数：0回
④入場料金：無料
⑤特集陳列等　：1件
⑥平常展来館者数　：7,506人

藤原宮跡資料室 展示ロビー	日高山瓦窯の瓦	7月1日～3月31日	28点
＜主な作品＞ 藤原宮および日高山瓦窯出土軒瓦、日乾し煉瓦			
2023年5月から実施した日高山瓦窯の発掘調査（飛鳥藤原第213次）において出土した軒瓦と日乾し煉瓦について、速報展示を行うとともに、その日高山瓦窯北方の調査（第17次）から出土した日高山瓦窯産の軒瓦と、藤原宮内各所から出土した日高山瓦窯産の軒瓦を併せて展示することで、供給地での状況と消費地での使用状況等が比較できる内容とした。			

【飛鳥資料館】

(1)平常展

①開館日数：307日（（平常展のみの開館日数：163日）
②展示総件数：146件
③展示替回数：0回
④入場料金：一般350円　大学生200円　高校生及び18歳未満、70歳以上は無料
⑤平常展のみの来館者数：8,953人

(2) 特別展、共催展等

展覧会名	ミニ展示「長法寺十三重石塔内に納められた押出三尊仏像と御正体」
会　　期	4月21日（金）～5月21日（土）(28日間)
会　　場	飛鳥資料館　閲覧室
主　　催	奈良文化財研究所
特別協賛	―
協　　賛	―
協　　力	―
作品件数	3点（0件）
来館者数	3,288人
入場料金	一般350円　大学生200円　高校生及び18歳未満、70歳以上は無料
担当研究員数	1人
展覧会の内容	橿原市一町所在の長法寺（現・浄国寺）十三重石塔から発見された飛鳥時代の銅板押出三尊仏像と鎌倉時代の御正体を展示し、併せて、江戸時代に発見され再埋納された際の関連資料を展示した。
講演会等	―

展覧会名	夏期企画展「第14回 写真コンテスト作品展『飛鳥のくらし』」
会　　期	7月14日（金）～9月18日（月）(59日間)
会　　場	飛鳥資料館　特別展示室
主　　催	奈良文化財研究所
協　　賛	岡村印刷工業株式会社、株式会社堀内カラー、コクヨマーケティング株式会、NPO法人明日香の未来を創る会、両槻会
後　　援	文化庁、国営飛鳥歴史公園事務所、明日香村、朝日新聞奈良総局、読売新聞社、毎日新聞奈良支局、奈良新聞社、NHK奈良放送局、近畿日本鉄道株式会社
作品件数	95点（0件）
来館者数	2,936人
入場料金	一般350円　大学生200円　高校生及び18歳未満、70歳以上は無料
アンケート結果　満足度	88%
担当研究員数	1人
展覧会の内容	2011年から開催し、今回で14回目となる本展では、「飛鳥のくらし」をテーマに作品を募集し、展示した。生活や生業とそれによって育まれる飛鳥の風景を写した95点の作品が寄せられた。研究員による審査や来館者投票を経て入賞した12点については、9月10（日）に表彰式を執り行った。
講演会等	○イベント「日光写真をつくろう」4回　参加者数合計 30人 8月29日　午前、午後　　8月30日　午前、午後

展覧会名	秋期特別展「川原寺と祈りのかけら」
会　　期	10月6日（金）～12月10日（日）(57日間)
会　　場	飛鳥資料館　特別展示室
主　　催	奈良文化財研究所
特別協力	明日香村・関西大学文学部考古学研究室
後　　援	文化庁・近畿日本鉄道株式会社
作品件数	142点（0件）
来館者数	6,919人
入場料金	無料
アンケート結果　満足度	85%
担当研究員数	1人
展覧会の内容	飛鳥時代を代表する寺院の一つである川原寺に焦点を当て、近隣の遺跡から出土した多量の塑像断片や磚仏など、川原寺の荘厳に関係の深い出土品を展示した。川原寺の歴史や川原寺裏山遺跡の発掘調査の紹介に加え、焼損した塑像の彩色復元図を併せて展示し、断片に残る当時の造像技術や造形の面白さなど美術的な視点を交えて出土品を紹介した。
講演会等	なし

b ボランティア受入実績

1　受入人数

令和6年3月31日現在

国立文化財機構計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	奈良文化財研究所
879人	160人	246人	140人	221人	112人

2　活動内容

【東京国立博物館】　計160人

種別　（登録人数）	概　　要
生涯学習ボランティア （156人）	**1)各種教育普及事業の補助活動の充実を図る** 【教育普及事業の補助】 ・ワークショップの補助（8回）（キッズデーを除く） ・講演会のサポート（18回） ・本館特別4室「日本文化のひろば」対応（通年） ・東洋館6室オアシス「アジアの占い体験」実施（通年） ・本館19室みどりのライオン体験コーナー対応（通年） 【館内案内】 ・本館1階エントランス・2階1室前・17室での来館者対応（通年） 【資料印刷・作成】 ・点字パンフレットの印刷（30冊） ・たんけんマップの作成（3回） 【職場体験実施活動補助】 ・受入数：10校（中学校7校、高校3校）、生徒数34人（中学24人、高校10人） 【障がい者対応】 ・バリアフリー対応班（52人） ・盲学校のためのスクールプログラムの実施（6回） ・キッズデーイベントサポート（3回） ・新規メンバー勧誘会（1回） ・バリアフリー班研修および受け入れ前打合せ（10回） ・障がいの方向け内覧会サポート（1回） 【各種連携事業】 ・「留学生の日」（10/7）内プログラム 英語ガイド/刀剣・武士の装いツアー（2回：44人）、 陶磁ガイド（スライドトーク26人）、 浮世絵ガイド（23人）、アートスタジオ（「留学生のための根付づくり」48人） ・「博物館でアジアの旅」（9/26-10/22）内プログラム 樹木ツアー（2回：58人）、東洋館ツアー（2回：60人）、 彫刻ガイド（東洋館でのガイドツアー：41人） ・「博物館でお花見を」 たてもの散歩ツアー（1回、20人）（2023年4月実施） 樹木ツアー（2回、62人）（2023年4月、2024年3月実施） 英語ガイド（1回、15人）（2023年4月実施） 庭園茶室ツアー「草庵茶室に入ってみよう」(1回、11人)（2024年3月実施） 九条館桜茶会（2回、21人）（2024年3月実施分） 本館ハイライト(スライドトーク)(1回、68人) 浮世絵ガイド（スライドトーク）（1回、60人） 刀剣・武士の装い（スライドトーク）(1回、54人) アートスタジオ 「親子で楽しむ根付づくり」（さくら）（1回、16人） ・「キッズデー」（7/30）、「プチキッズデー」（9/23､2/23） イベントサポート、キッズスペース運営サポート ボランティア企画子ども向けガイドツアー・イベント 「アートスタジオ」（「子どもの勾玉づくり」49人、「子どもの根付づくり」76人） 「こどもたてものさんぽツアー～たんけんマップをもって～」（6回、378人） 「手遊び＆散策「ユリノキからたんけん！」（3回、137人） 「東洋館でさがしてみよう！」（3回、485人） 「キッズ18室へ、これなーんだ？　～ヒントをもとに作品を見つけよう！～」 （2回、400人） 「法隆寺のたからものをさがしに行こう！」（3回、279人） 「考古展示室でさがしてみよう　みてみよう　さわってみよう」（2回、356人） 【ボランティアデー開催】（12/2・3実施） ・ボランティア募集説明会（4回、233人） ・ボランティアによる活動紹介ツアー（4回、171人） ・たてもの散歩ツアー（2回、115人） ・樹木ツアー（2回、58人）

種別 （登録人数）	概　　要
	・九条館茶会（2回、24人） ・庭園茶室ツアー（2回、36人） ・英語ガイド（2回、59人） ・法隆寺宝物館ガイド（1回、51人） ・考古展示室ガイド（1回、68人） ・東洋館ツアー（1回、78人） ・アートスタジオ（「大人の勾玉づくり」18人） ・自主企画グループのうち本館屋内ガイドツアーよるスライドトーク（各1回） 彫刻ガイド（89人） 陶磁ガイド（49人） 浮世絵ガイド（64人） 本館ハイライトツアー（65人） 近代の美術ガイド（87人） 刀剣・武士の装いツアー（50人） **2)来館者向けガイドツアー** 昨年度から再開した屋外ガイドツアーとワークショップに加え、今年度は法隆寺宝物館のガイドツアーを再構築し定例化したほか、東洋館および平成館考古展示室での屋内ガイドツアーを再開した。本館での屋内ガイドツアーは、本館地下みどりのライオン教育普及スペースを使ってのスライドトークを継続的に実施した。また、各自主企画グループの勉強会を実施した。 ＊「留学生の日」「博物館でアジアの旅」「キッズデー」「プチキッズデー」「博物館でお花見を」の一部、「ボランティアデー」として実施したガイドツアーは上述のとおり。 【ボランティア向けガイドツアー】11回、のべ72人 ・庭園茶室ツアー（2回、11人） ・法隆寺宝物館ガイド（2回、15人） ・東洋館ツアー（5回、28人） ・お茶会（2回、18人） 【スライドトーク】21回、のべ857人 ・彫刻ガイド（3回、121人） ・陶磁ガイド（2回、44人） ・浮世絵ガイド（6回、242人） ・本館ハイライトツアー（3回、132人） ・近代の美術ガイド（3回、169人） ・刀剣・武士の装いツアー（4回、149人） 【来館者向けツアー】89回、1838人 ・たてもの散歩ツアー（20回、519人） ・樹木ツアー（12回、227人） ・お茶会（「応挙館茶会デモンストレーション」（2回、23人）「九条館茶会（9回、118人） ・庭園茶室ツアー（8回、111人） ・英語ガイド（10回、180人） ・法隆寺宝物館ガイド（13回、333人） ・東洋館ツアー（3回、79人） ・考古展示室ガイド（4回、119人） ・アートスタジオ（「子どもの勾玉づくり」（5回、78人）、「大人の勾玉づくり」（1回、13人、親子で楽しむ勾玉づくり(1回、16人)、親子で楽しむ根付づくり」（1回、22人） 自主企画グループ勉強会（142回）
東京藝術大学大学院インターンシップ（4人）	本館地下教育普及スペースでのスライドトークとして実施（2024年1月～3月、4人計15回） ・「鈴木春信『見立鉢の木』にみる見立の手法」（4回） ・「青木木米作「染付龍濤文提重」の魅力」(3回） ・「岸竹堂《虎》を読解する」(4回） ・「《還城楽図額》と刀装具の技術」(4回） ※「東京藝術大学大学院インターンシップ」は、従前との比較のため、ボランティア数の内数として計上している。従前の「東京芸術大学学生ボランティア」を25年4月より名称変更し、現在は「1(3)① 3」大学との連携事業等の実施」の事業である。詳細は処理番号1313Aを参照。

【生涯学習ボランティアに対する研修の実施】　計58回
- 新規ボランティア研修　1回
- 基本活動関連研修　19回
- イベント班研修　2回
- バリアフリー班研修　10回
- ワークショップ班研修　3回
- 自主企画グループ研修　23回

【京都国立博物館】　　計246人

種　別　(登録人数)	概　　要
京博ナビゲーター（209人）	京博ナビゲーターが、基礎講座（4回）を受講したのち、下記の活動を行った。 ・ミュージアム・カートやレファレンス・コーナーにおける活動（年始を除く名品ギャラリー開室日毎日、65日）
調査・研究支援ボランティア(17人)	各研究員の指導のもと、調査・研究支援ボランティアが収蔵品調査及び社寺調査の補助を行った。
文化財ソムリエ(20人)	「文化財ソムリエ」として登録している大学生・大学院生が、当館研究員によるスクーリング（20回）を受けたのち、下記の活動で講師を務めた。 ・文化財に親しむ授業　7回・20人

【奈良国立博物館】　計140人

種　別　(登録人数)	概　　要
ならはくボランティア（140人）	【なら仏像館のガイド活動】活動日数　273日 ・ツアー実施回数　2,193回 ・ツアー案内人数　5,013人 【学校プログラム「ならはく『世界遺産学習』」の活動】 ・奈良市世界遺産学習で来館する奈良市立小学校5年生の受け入れ　30件、1,840人 ・奈良市立小学校5年生以外の小・中学校・高校の受け入れ　16件、906人 【学校プログラム参加者対象 とくべつワークショップ「ほとけさまに服を着せよう！」の実施】46回 【学校オンライン中継授業の実施】 ・大分県連携事業 アバター（遠隔操作ロボット）を活用した中学校オンライン中継授業の実施　3回、56人 ・オンラインシステムGoogle Meetを活用した展示案内プログラムの実施　5回、154人 【オンライン子ども大学「こどハピ」の実施】 ・子どもを対象としたオンライン中継授業の実施　2回、159人 【奈良市教育委員会共催事業　夏休み親子講座の活動】 ・夏休み親子講座「親子で学ぼう　奈良の仏像」　2回、110人 【まいにちワークショップの活動】活動日数　267日 ・ハンズオン展示「さわって！発見！仏像の木」の実施　　267日 ・『仏像＆ならはくミニクイズ』の配布、クイズの答え合わせの対応　15,421枚 ・創作ワークショップ「ならはく5・7・5をつくろう！」の対応　860件 【とくべつワークショップの活動】 ・とくべつワークショップ「ほとけさまに服を着せよう！」の実施　14回、見学者数：1,480人、着つけ体験参加者数：726人 ・とくべつワークショップ「絵巻物をみて！きいて！さわろう！」の実施　15回、絵巻芝居の見学者数：2,008人、絵巻レプリカに触れる体験の参加者数：1,403人 【庭園・茶室の定点ガイド活動】 ・4月　1回、庭園入場者数：407人 ・5月　2回、庭園入場者数：670人 ・9月　2回、庭園入場者数：435人 ・10月 2回、庭園入場者数：1,007人 ・11月 2回、庭園入場者数：1,073人 ・ 3月 2回、庭園入場者数：2,282人 【講座のサポート活動】 ・サンデートーク　12回 ・特別展等の講座　8回 ・夏季講座　1回（5講座） 【その他サポート活動】 ・特別展「聖地 南山城」教育室アンケートの配布・回収の実施　7回 【各種練習の実施】 ・学校オンライン中継授業等の実施準備のための練習　5回 ・奈良市教育委員会共催事業　夏休み親子講座「親子で学ぼう　奈良の仏像」の練習　2回 ・とくべつワークショップ「絵巻物をみて！きいて！さわろう！」の練習　15回

【ボランティアに対する研修の実施】活動・展示等に関する研修（動画配信形式にて実施）計21回

【九州国立博物館】　計221人

種　別　(登録人数)	概　　要
展示解説ボランティア(47人)	文化交流展示室内及び展示室入口において来館者の質問や案内依頼等に対応。 予約団体(一般・学校)、当日受付(個人・グループ)に対応。
教育普及ボランティア(26人)	体験型展示室「あじっぱ」で来館者への対応。参加体験型のものづくり教室などを企画・実施。 来館者と展示物を介して交流し、体験を通してアジアの文化を伝える。
館内案内日本語ボランティア(29人)	館内の施設案内(ガイド)およびバックヤードツアーの案内。 予約団体(一般・学校)、及び当日来館者に対応。 バックヤードツアーは毎週火・金曜は予約団体のみ、日曜は当日受付で実施。
館内案内外国語ボランティア(40人)	英語・韓国語・中国語での施設案内(ガイド)及びバックヤードツアーの案内。
環境ボランティア(26人)	IPM(総合的有害生物管理)活動に関する支援。
資料整理ボランティア(8人)	郷土人形(土人形)の調書の作成・データ化。 体験型展示室「あじっぱ」内での郷土人形の展示。
イベント・サポートボランティア (7人)	ボランティア主催イベントや他館ボランティアとの交流の企画・立案・実施。 ボランティア広報紙の作成（年4回）。
学生ボランティア(5人)	高校生・大学生による子供向けイベントの企画・実施。 他館学生ボランティアとの連携。
フィールドボランティア（14人）	博物館周辺の自然環境（山林及び水辺、遊歩道）の保全。
手話ボランティアグループ（19人）	地域のボランティアグループにより構成。聴覚障がいのある来館者の対応。

【ボランティアに対する研修の実施】　計29回
- 環境研修　　2回
- 展示案内研修　15回
- 館内案内研修　4回
- 館外研修　　8回

・この他博物館周辺の環境整備グループとして35人が活動（NPO法人「九州国立博物館を愛する会」所属のためボランティアには含まない）。

【奈良文化財研究所】　計112人

種　別　(登録人数)	概　　要
解説ボランティア（112人）	平城宮跡資料館、遺構展示館、復原建物等の案内・解説

・各種ボランティアに対する学習会等
平城宮跡資料館企画展・特別展の展示研修　3回
奈良文化財研究所との交流会　1回
発掘現場研修　１回

c 調査研究

c-① 研究交流実績一覧

1) 海外研究者招聘・受入実績（延べ人数）

令和6年3月31日現在

国立文化財機構合計	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	皇居三の丸尚蔵館
	61 人	41 人	0 人	4 人	6 人	10 人
177 人	文化財研究所計	東京文化財研究所		奈良文化財研究所		
	98 人	24 人		74 人		
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター	本部文化財活用センター		本部文化財防災センター		
	18 人	0 人		0 人		

【本部文化財活用センター】　0人

【本部文化財防災センター】　0人

【東京国立博物館】　41人

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
1	方　世忠	中国	上海市文化と観光局　局長	上海博物館との学術交流協定書締結のため	4月30日～5月2日
2	楊　瑞嫻	中国	上海市文化と観光局弁公室　主任	同上	同上
3	鳳　智	中国	上海市文化と観光局　国際交流処長	同上	同上
4	李　峰	中国	上海博物館　副館長	同上	同上
5	盛　潔	中国	故宮博物院　館員	「利栄森記念交流計画」による研究交流のため	7月30日～11月30日
6	董　丹	中国	故宮博物院国際交流処　副処長	故宮博物院での特別展「茶の世界」に係る貸与作品点検及び輸送作業のため	8月13日～8月28日
7	唐　雪梅	中国	故宮博物院器物部　副研究員	同上	同上
8	趙　曽健	中国	故宮博物院文物管理処　館員	同上	同上
9	権　泳佑	韓国	韓国国立中央博物館学芸研究室 世界文化部 学芸研究士	韓国国立中央博物館との学術交流のため	9月4日～9月17日
10	冷　含章	中国	故宮博物院デジタルおよび情報部　館員	「利栄森記念交流計画」による研究交流のため	9月22日～6年4月3日
11	金　英希	韓国	韓国国立中央博物館学芸研究室 美術部学芸研究士	韓国国立中央博物館との学術交流のため	10月14日～10月26日
12	張　涵	中国	故宮博物院器物部　副研究員	故宮博物院での特別展「茶の世界」に係る貸与作品返却及び点検作業のため	12月4日～12月12日
13	王　絲瀅	中国	故宮博物院国際交流処　館員	同上	同上
14	宋　雅彤	中国	故宮博物院文物管理処　館員	同上	同上
15	Laura Vigo	カナダ	モントリオール美術館　学芸員（アジア美術）	令和5年度海外ミュージアム日本美術専門家連携・交流事業	6年1月30日～2月1日
16	Akiko Takesue	カナダ	ロイヤルオンタリオ博物館　学芸員（日本美術・文化）	同上	同上
17	Rosina Buckland	イギリス	大英博物館　学芸員（日本美術）	同上	同上
18	Markus Sesko	アメリカ	メトロポリタン美術館　武器武具担当学芸員（アジア）	同上	同上
19	Jeannie Kenmotsu	アメリカ	ポートランド美術館　日本美術学芸員	同上	同上
20	Yuki Morishima	アメリカ	サンフランシスコ・アジア美術館　アシスタント・キュレーター(日本美術)	同上	同上
21	Mary Redfern	イギリス	ヴィクトリア&アルバート博物館　キュレーター（日本美術）	同上	同上
22	Kate Newnham	イギリス	ブリストル市立美術館　シニアキュレーター（視覚芸術）	同上	同上
23	Rika Hiro	アメリカ	ロサンゼルス・カウンティ美術館　学芸員（日本美術）	同上	同上
24	Zachary Harper	アメリカ	サンフランシスコ・アジア美術館　コレクション管理担当	同上	同上
25	Yamaguchi Mai	アメリカ	ミネアポリス美術館　日本美術アシスタント・キュレーター	同上	同上
26	Alejandra Rojas	アメリカ	ホノルル美術館　フェロー（紙作品・写真・ニューメディア）	同上	同上

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
27	Sol Jung	アメリカ	国立アジア美術館　学芸員（日本美術）	同上	同上
28	Khanh Trinh	スイス	リートベルグ美術館　学芸員（日本・韓国美術）	同上	同上
29	Sarah Thompson	アメリカ	ボストン美術館　キュレーター（日本美術）	同上	同上
30	Bettina Zorn	オーストリア	ウェルトミュージアム・ウィーン　東アジアコレクション担当	同上	同上
31	Natalie Seiz	オーストラリア	ニューサウスウェールズ美術館　アジア美術学芸員	同上	同上
32	Menno Fitski	オランダ	アムステルダム国立美術館　アジア部部長	同上	同上
33	Yupin Chung	イギリス	グラスゴー美術館　キュレーター（東洋美術）	同上	同上
34	黃雯瑜	台湾	國立台北故宮博物院　総合企画処　助理研究員（日本近代美術史）	同上	同上
35	Wibke Schrape	ドイツ	ハンブルク美術工芸博物館　東アジア課長	同上	同上
36	Holly Chen	アメリカ	フィラデルフィア美術館　コレクション管理担当	同上	同上
37	Gillian Ramsay	イギリス	ダラム大学東洋博物館　学芸員	同上	同上
38	Linsly Boyer	アメリカ	ボストン美術館　保存修復担当	同上	同上
39	孟　繁涛	中国	瀋陽故宮博物院　党委書記	表敬訪問	6年3月27日～3月31日
40	尚　文挙	中国	瀋陽故宮博物院　古代建築部主任	同上	同上
41	劉　揚	中国	瀋陽故宮博物院　保管部副主任	同上	同上

【京都国立博物館】　0人

【奈良国立博物館】　4人

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
1	咸 舜燮	韓国	国立慶州博物館　館長	第75回正倉院展視察並びに当館職員との意見交換のため	10月26日～10月28日
2	金 倫以	韓国	国立慶州博物館　学芸研究士	同上	同上
3	リピット ユキオ	アメリカ	ハーバード大学　教授	正倉院学術シンポジウム特別講演のため	10月28日～10月30日
4	姜 三慧	韓国	国立慶州博物館　学芸研究官	学術交流に基づく招へいのため	11月20日～12月15日

【九州国立博物館】　6人

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
1	尹芝蓮	韓国	国立公州博物館　学芸研究士	学術文化交流協定に基づく人的交流事業(視察・調査)	6月5日～6月16日
2	申敏澈	韓国	国立扶餘博物館　学芸研究士	同上	6月5日～6月18日
3	クンティダ・チンマ	タイ	タイ王国文化省芸術局　研究員	学術文化交流協定に基づく共同研修（文化財保存修復）	7月17日～7月22日
4	チャニダパ・シリロマヤノント	タイ	タイ王国文化省芸術局　研究員	同上	同上
5	モンカルス・ピティシンチューチャイ	タイ	タイ王国文化省芸術局　研究員	同上	同上
6	エリック・ヘイガン	カナダ	Canadian Conservation Institute Senior Conservation Scientist	「日本絵画に用いられる色材の光褪色挙動の詳細分析と褪色計算オンラインソフトでの利用」に係る研究打合せ･ミーティング	6年1月21日～1月27日

【皇居三の丸尚蔵館】　10人

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
1	マシュー・マッケルウェイ	アメリカ合衆国	コロンビア大学	収蔵品の調査のため	11月8日
2	ヴィルバー・シネード	アメリカ合衆国	クリーブランド美術館	共同研究に関する収蔵品の調査のため	11月8日
3	林　曼麗	台湾	国立台北教育大学名誉教授	収蔵品に関連する調査のため	11月13日
4	キム・ドヒョン	韓国	韓国国立中央博物館	研究交流に関する意見交換のため	12月14日
5	ミン・ヒョクイル	韓国	韓国国立中央博物館	研究交流に関する意見交換のため	12月14日

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
6	柳　尚燁	韓国	韓国国立中央博物館	研究交流に関する意見交換のため	12月14日
7	シン・ソヨン	韓国	韓国国立中央博物館	研究交流に関する意見交換のため	12月14日
8	林　曼麗	台湾	国立台北教育大学名誉教授	収蔵品に関連する調査のため	6年2月22日
9	趙　宜恬	台湾	台湾国立台北教育大学北師美術館	収蔵品に関連する調査のため	6年2月22日
10	林　珮鈺	台湾	台湾国立台北教育大学北師美術館	収蔵品に関連する調査のため	6年2月22日

【東京文化財研究所】24人

※部分について…各国の個人情報保護に関する法律等により氏名は非公開とする。

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
1	※	アルゼンチン	国立歴史博物館	ICCROM国際研修「紙の保存と修復」2023の受講	8月25日～9月17日
2	※	オーストラリア	クイーンズランド州立図書館	ICCROM国際研修「紙の保存と修復」2023の受講	8月26日～9月17日
3	※	バルバドス	バルバドス博物館・歴史協会	ICCROM国際研修「紙の保存と修復」2023の受講	8月25日～9月17日
4	※	デンマーク	デンマーク王立図書館	ICCROM国際研修「紙の保存と修復」2023の受講	8月26日～9月16日
5	※	ドイツ	ベルリン博物館群アジア美術館	ICCROM国際研修「紙の保存と修復」2023の受講	8月26日～9月17日
6	※	アイスランド	アウルトニ・マグヌッソンアイスランド学術機構	ICCROM国際研修「紙の保存と修復」2023の受講	8月26日～9月17日
7	※	インドネシア	ガジャマダ大学	ICCROM国際研修「紙の保存と修復」2023の受講	8月27日～9月16日
8	※	イタリア	バーリ県立アーカイブ	ICCROM国際研修「紙の保存と修復」2023の受講	8月26日～9月16日
11	※	南アフリカ共和国	西ケープ公文書記録局	ICCROM国際研修「紙の保存と修復」2023の受講	8月26日～9月16日
12	※	英国	ノーザンブリア大学	ICCROM国際研修「紙の保存と修復」2023の受講	8月26日～9月16日
13	サルマン・アル・マハリ	バーレーン	バハレーン国立博物館・館長	バーレーン拠点交流事業	10月8日～10月17日
14	メラニー・ムエンズネール	バーレーン	考古遺産保存修復アドバイザー	バーレーン拠点交流事業	10月9日～10月16日
15	※	イタリア	フィレンツェ・バスティオーニ協会・理事長	鏝絵蔵の保存修復	10月23日～11月17日
16	※	イタリア	フィレンツェ・バスティオーニ協会・文化財保存修復士	鏝絵蔵の保存修復	10月23日～11月17日
17	ホセイン・アジジ・ハラナギ	イラン	イラン考古学研究センター・発掘部長	シンポジウム「イラン考古学の最前線」講演者	11月11日～11月20日
18	レザ・ナセリ	イラン	ザーボル大学・准教授	シンポジウム「イラン考古学の最前線」講演者	11月11日～11月20日
19	張　辰城	韓国	ソウル大学・教授	研究に対する諮問	11月16日～11月20日
20	睦　秀炫	韓国	韓国近現代美術史学会附設近現代美術研究所・所長	研究に対する指導助言	6年1月24日～1月31日
21	金　素延	韓国	梨花女子大学校大学院・准教授	研究発表会の為の招聘	6年1月15日～1月21日
22	キム・ソティン	カンボジア	アプサラ機構・副総裁	アンコール・タネイ寺院遺跡東門竣工記念　技術交流招聘事業	6年2月13日～2月19日
23	セア・ソピアルン	カンボジア	サンボープレイクック機構・技術職員	アンコール・タネイ寺院遺跡東門竣工記念　技術交流招聘事業	6年2月13日～2月19日
24	ソム・ソパラット	カンボジア	アプサラ機構・遺跡保全考古局局長	アンコール・タネイ寺院遺跡東門竣工記念　技術交流招聘事業	6年2月13日～2月19日

【奈良文化財研究所】74人

※部分について…各国の個人情報保護に関する法律等により氏名は非公開とする。

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
1	※	英国	York大学　2名	ENCOUNTERプロジェクトのため	3月26日～4月4日
2	※	英国	York大学	ENCOUNTERプロジェクトのため	3月26日～4月11日
3	※	オーストラリア	La Troe大学	訪日団	4月12日～4月13日
4	※	韓国	国立文化財研究院　3名	日韓共同研究	5月8日～5月12日
5	※	トルコ	トルコ文化観光省	視察・意見交換	5月16日
6	※	ドイツ	Vilnius大学 2名	科研費調査	5月16日～5月23日
7	※	中国	河北師範大学歴史文化学院　5名	共同研究協約書の締結のため	6月14日～6月21日
8	※	中国	安徽大学　歴史学院　5名	科学研究費「ユーラシア東部における細石刃石器群の出現と拡散：中国北部クロスロード仮説の検証」研究のため	6月30日～7月9日
9	※	ウズベキスタン	科学アカデミー考古学研究所　5名	拠点交流ウズベキスタン招聘研修	7月18日～7月30日
10	※	中国	故宮博物院　8名	研究交流	8月10日～8月16日
11	※	韓国	国立慶州文化財研究所	発掘調査交流合意書に基づく派遣研究員	6月19日～7月18日

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
12	※	韓国	国立文化財研究院　3名	日韓共同研究	9月11日～9月15日
13	※	韓国	国立文化財研究院　3名	日韓共同研究	9月18日～9月22日
14	※	バーレーン王国	バーレーン国立博物館	視察・意見交換	10月12日
15	※	イギリス	ブリストル大学	視察・意見交換	10月20日
16	※	キルギス	研修員　4名	チュイ州世界遺産を活用した地域開発・観光促進プロジェクトJICA第2期第1回カウンターパート研修	10月31日
17	※	韓国	韓国国立中央博物館	視察・意見交換	11月7日～11月8日
18	※	韓国	全州市	視察団訪問	11月10日
19	※	米国・中国	オクラホマ大学3名・東博受け入れの中国人1名	視察・意見交換	12月6日
20	※	中国	中国社会科学院考古研究所　2名	中国社会科学院考古研究所との共同研究事業に基づく招へい	11月24日～12月25日
21	※	カザフスタン共和国	マルグラン記念カザフスタン共和国考古学研究所　2名	「カザフスタンにおける考古学調査研究協力協定」に基づく招へい	12月2日～12月8日
22	※	中国	復旦大学　3名	復旦大学、大足石刻研究院との連携研究協定書に基づく招へい	12月11日～12月15日
23	※	韓国	国立文化財研究院　3名	日韓共同研究	12月4日～12月8日
24	※	中国	大足石刻研究院保護工程中心　2名	復旦大学、大足石刻研究院との連携研究協定書に基づく招へい	12月11日～12月15日
25	※	ウクライナ	ウクライナ国立科学アカデミー考古学研究所　3名	「ウクライナ国立科学アカデミーとの学術交流及び協力に関する覚書」に基づく招へい	6年1月12日～1月22日
26	※	韓国	忠清南道歴史文化院	訪問	12月5日
27	※	韓国	国立文化財研究院　3名	日韓共同研究	6年2月19日～2月23日
28	※	カザフスタン共和国	国立科学アカデミー考古学研究所	「カザフスタンにおける考古学調査研究協力協定」に基づきカザフスタンと日本で実施してきた考古学研究の成果共有と共同研究	6年3月2日～3月8日
29	※	アメリカ	ワシントン大学	視察・意見交換	6年3月2日～3月9日
30	※	イギリス	ロンドン大学	視察・意見交換	6年3月2日～3月9日

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】　18人

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
1	Saymon Zakaria	バングラデシュ	Deputy Director, Department of Culture Bangla Academy, Bangladesh	「新型コロナ感染症の無形文化遺産への影響に関する調査研究」事業国際会議「Asia-Pacific Regional Conference 'ICH Resilience and the COVID-19 Pandemic'」への出席	7月25日～31日
2	Sadhika Srijoni Tania	バングラデシュ	Practitioner of Ancient Bangla Buddhist Mystic Song Charyapada, Bangalesh	「新型コロナ感染症の無形文化遺産への影響に関する調査研究」事業国際会議「Asia-Pacific Regional Conference 'ICH Resilience and the COVID-19 Pandemic'」への出席	7月25日～31日
3	Elizabeth Edwards	フィジー	Secretary General, Blue Shield Pasifika & ICOMOS Pasifika, Fiji	「新型コロナ感染症の無形文化遺産への影響に関する調査研究」事業国際会議「Asia-Pacific Regional Conference 'ICH Resilience and the COVID-19 Pandemic'」への出席	7月25日～8月2日
4	Ritu Sethi	インド	Chairperson, Craft Revival Trust, India	「新型コロナ感染症の無形文化遺産への影響に関する調査研究」事業国際会議「Asia-Pacific Regional Conference 'ICH Resilience and the COVID-19 Pandemic'」への出席	7月25日～30日
5	Mahirta	インドネシア	Head, Undergraduate Studies Program in Archaeology, Gadjah Mada University, Indonesia	「新型コロナ感染症の無形文化遺産への影響に関する調査研究」事業国際会議「Asia-Pacific Regional Conference 'ICH Resilience and the COVID-19 Pandemic'」への出席	7月25日～30日
6	Janet Blake	イラン	Director, Persian Garden Institute for Living Heritage, Iran	「新型コロナ感染症の無形文化遺産への影響に関する調査研究」事業国際会議「Asia-Pacific Regional Conference 'ICH Resilience and the COVID-19 Pandemic'」への出席	7月26日～30日
7	Hanhee Hahm	韓国	Director, Center for Intangible Culture Studies, Republic of Korea	「新型コロナ感染症の無形文化遺産への影響に関する調査研究」事業国際会議「Asia-Pacific Regional Conference 'ICH Resilience and the COVID-19 Pandemic'」への出席	7月25日～30日
8	Kuluipa Akmatova	キルギス	Director, Rural Development Fund, Kyrgyzstan	「新型コロナ感染症の無形文化遺産への影響に関する調査研究」事業国際会議「Asia-Pacific Regional Conference 'ICH Resilience and the COVID-19 Pandemic'」への出席	7月26日～31日
9	Saruul Arslan	モンゴル	Specialist, National Center for Cultural Heritage, Mongolia	「新型コロナ感染症の無形文化遺産への影響に関する調査研究」事業国際会議「Asia-Pacific Regional Conference 'ICH Resilience and the COVID-19 Pandemic'」への出席	7月24日～31日
10	Naomi Faik-Simet	パプアニューギニア	Assistant Director - Dance, Institute of Papua New Guinea Studies, Papua New Guinea	「新型コロナ感染症の無形文化遺産への影響に関する調査研究」事業国際会議「Asia-Pacific Regional Conference 'ICH Resilience and the COVID-19 Pandemic'」への出席	7月26日～30日
11	Saruul ARSLAN	モンゴル	Specialist, National Center for Cultural Heritage, Mongolia	「無形文化遺産保護と災害リスクマネジメントに関する調査研究」事業　最終ワークショップへの参加	9月26日～30日

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
12	Fatima Gay MOLINA	フィリピン	Founder, Mobilizing Futures Interdisciplinary Research and Development, Philippines	「無形文化遺産保護と災害リスクマネジメントに関する調査研究」事業　最終ワークショップへの参加	9月26日～30日
13	PHAN Phuong Anh	ベトナム	Lecturer, Department of Anthropology, Vietnam National University, Viet Nam	「無形文化遺産保護と災害リスクマネジメントに関する調査研究」事業　最終ワークショップへの参加	9月26日～10月1日
14	Saifur RASHID	バングラデシュ	Professor, Department of Anthropology, University of Dhaka, Bangladesh	「無形文化遺産保護と災害リスクマネジメントに関する調査研究」事業　最終ワークショップへの参加	9月25日～10月1日
15	Benny USDIANTO	インドネシア	Director, RedR, Indonesia	「無形文化遺産保護と災害リスクマネジメントに関する調査研究」事業　最終ワークショップへの参加	9月25日～10月1日
16	Chris BALLARD	オーストラリア	Associate Professor, Australian National University, Australia	「無形文化遺産保護と災害リスクマネジメントに関する調査研究」事業　最終ワークショップへの参加	9月24日～10月1日
17	DUONG Bich Hanh	中国	Culture Program Specialist, UNESCO Beijing Office	「無形文化遺産保護と災害リスクマネジメントに関する調査研究」事業　最終ワークショップへの参加	9月24日～30日
18	VU Canh Toan	ベトナム	Technical Lead, Institute for Social and Environmental Transition, Vietnam	「無形文化遺産保護と災害リスクマネジメントに関する調査研究」事業　最終ワークショップへの参加	9月26日～10月1日

2）他機関の共同研究への参画実績

科学研究費助成事業の研究分担者等として参画（延べ人数）

令和6年3月31日現在

<table>
<tr><td rowspan="2">国立文化財機構合計</td><td>博物館計</td><td>東京国立博物館</td><td>京都国立博物館</td><td>奈良国立博物館</td><td>九州国立博物館</td><td>皇居三の丸尚蔵館</td></tr>
<tr><td>99 人</td><td>38人</td><td>19人</td><td>19人</td><td>23人</td><td>0人</td></tr>
<tr><td rowspan="4">200 人</td><td>文化財研究所計</td><td colspan="2">東京文化財研究所</td><td colspan="3">奈良文化財研究所</td></tr>
<tr><td>100 人</td><td colspan="2">45人</td><td colspan="3">55人</td></tr>
<tr><td colspan="2">アジア太平洋無形文化遺産研究センター</td><td colspan="4" rowspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">1 人</td></tr>
</table>

【東京国立博物館】延べ　38人

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
1	一般社団法人照明学会（照明デザイン分科会）	照明デザインに関する研究調査	(株)トミタ・ライティングデザイン・オフィス 代表 富田泰行	学芸企画部上席研究員　木下史青
2	大阪大学	光学的科学調査を軸とした初期洋風画とアジア太平洋海域美術交通に関する基盤的研究	教授　岡田 裕成	企画課特別展室研究員　福島修
3	九州国立博物館	東南アジアにおける聖地誕生の諸相：古代から近世にいたる仏教文化交流網の研究	副館長　小泉惠英	企画課長　原田あゆみ
4	九州国立博物館	博物館等の展示収蔵環境の有機酸等VOCs低減に向けた現場システムの構築	博物館科学課課長　木川りか	学芸研究部長　河野一隆
5	九州国立博物館	中国書画における題跋等の付属資料に関する総合的研究	館長　富田淳	調査研究課絵画・彫刻室主任研究員　植松瑞希
6	九州国立博物館	中国書画における題跋等の付属資料に関する総合的研究	館長　富田淳	調査研究課東洋室研究員 六人部克典
7	九州国立博物館	中国書画における題跋等の付属資料に関する総合的研究	館長　富田淳	客員研究員　鍋島稲子
8	京都国立博物館	高雄曼荼羅の復元と空海の造形観の研究	館長　松本伸之	列品管理課長　沖松健次郎
9	京都国立博物館	高雄曼荼羅の復元と空海の造形観の研究	館長　松本伸之	列品管理課登録室主任研究員 西木政統
10	慶應義塾大学	美術品輸送梱包試験への超軽量無線センサ適用の可能性検討	教授　三次仁	保存修復課長　和田浩
11	公益財団法人古代学協会	弥生時代高地性集落の列島的再検証	客員研究員　森岡秀人	調査研究課考古室研究員　山本亮
12	国立歴史民俗博物館	機関拠点型基幹研究プロジェクト　日本歴史文化知の構築と歴史文化オープンサイエンス研究	准教授　後藤真	博物館情報課情報管理室長 阿児雄之
13	国立歴史民俗博物館	展示プロジェクト「人をつなぐジャポニスム―野村正治郎着物コレクションの軌跡（仮称）」	准教授　澤田和人	調査研究課長　小山弓弦葉
14	国立歴史民俗博物館	歴博共同研究「秦漢時期の文字使用をめぐる学際的研究」	東京学芸大学准教授　下田誠	客員研究員　谷豊信
15	成城大学	東アジア及び東南アジアにおける木彫像の樹種と用材観に関する調査研究	教授　岩佐光晴	列品管理課登録室主任研究員 西木政統
16	多摩美術大学	文化メディアとしての書籍研究―トレス・コレクションの目録化と解題作成、理解の促進	教授　木下 京子	企画課国際交流室アソシエイトフェロー　足立奈緒子
17	中央大学	高精度年代体系による東アジア新石器文化過程ー地域文化の成立と相互関係ー	教授　小林謙	保存修復課調査分析室専門職 宮田将寛
18	千葉大学	土器製作技術と植物性混和材	教授　阿部昭典	保存修復課調査分析室専門職 宮田将寛
19	筑波大学	「儒教美術史」構築のための発展的研究―東アジア文化圏の構造解釈と研究資源化	芸術系助教　水野裕史	列品管理課長　沖松健次郎
20	筑波大学	「儒教美術史」構築のための発展的研究―東アジア文化圏の構造解釈と研究資源化	芸術系助教　水野裕史	学芸研究部上席研究員　勝木言一郎
21	筑波大学	恒久的保存に向けた災害被災資料の特性解明と保存環境の構築	教授　松井敏也	保存修復課長　和田浩
22	天理大学	後期青銅器時代における地中海東岸地域の都市国家と地域社会の考古学的研究	教授　桑原久男	博物館教育課ボランティア室主任研究員　小野塚拓造
23	東京大学	幕末明治期古写真の調査とその解析・復元・保全を総合的に捉える写真史料学の構築	技術専門員　谷昭佳	企画課出版企画室主任研究員 遠藤楽子

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
24	東京大学	基盤研究（A） コンテキストに応じた人文科学データパッケージ化に関する研究	教授　山家浩樹	博物館情報課情報管理室長 阿児雄之
25	東京大学	基盤研究（A） 「古文書科学」の応用実践	特任助教　渋谷綾子	博物館情報課情報管理室長 阿児雄之
26	東京藝術大学	美術史からみるドイツ・北欧と日本の皇室外交	教授　佐藤直樹	博物館教育課教育講座室 主任研究員　横山梓
27	東京文化財研究所	アジア螺鈿文化交流史の構築―物質文化史の視点から	研究員　小林公治	保存修復課保存修復室長 猪熊兼樹
28	南山大学	芸術との対話を経た公共圏の形成過程に関する実証研究	講師　佐々木陽子	博物館教育課教育講座室ＡＦ 山本　桃子
29	奈良国立博物館	明治時代の文化財保護法制と帝国博物館の成立に関する総合的研究	資料室長　宮崎幹子	調査研究課書跡・歴史室研究員 樋笠逸人
30	奈良国立博物館	科学研究費　基盤研究（Ｃ）「博物館が所蔵する古丁銀類の科学分析を通じた石州銀の解明」	保存修理指導室長　鳥越俊行	調査研究課工芸室主任研究員 清水健
31	奈良国立博物館	科学研究費　基盤研究（Ｃ）「博物館が所蔵する古丁銀類の科学分析を通じた石州銀の解明」	保存修理指導室長　鳥越俊行	調査研究課考古室長　井出浩正
32	奈良文化財研究所	埴輪の生産・流通体制の総合的検証にもとづく王権中枢部巨大古墳群造営過程の解明	都城発掘調査部考古第一研究室長　廣瀬覚	調査研究課考古室研究員　山本亮
33	新潟国際情報大学	型式学とAIを融合したデータ駆動型研究基盤への挑戦	教授　藤田晴啓	学芸研究部長　河野一隆
34	新潟国際情報大学	型式学とAIを融合したデータ駆動型研究基盤への挑戦	教授　藤田晴啓	調査研究課考古室研究員　山本亮
35	新潟国際情報大学	須恵器3D-RGBデータの深層学習クラスター解析による型式・年代分類基準の検証	教授　藤田晴啓	調査研究課考古室研究員　山本亮
36	武蔵野大学	東南アジア古代宗教世界における「コトバとモノの関係史」への地域横断的アプローチ	准教授　佐藤桂	企画課長　原田あゆみ
37	横浜美術大学	日本所在の中国木彫仏像の調査研究	准教授　濱田瑞美	調査研究課東洋室主任研究員 児島大輔
38	早稲田大学教育総合研究所	私立大学における高大接続に関する研究：内部進学など多様な入試形態に着目して	教授　吉田文	博物館教育課教育講座室アソシエイトフェロー　山本桃子

【京都国立博物館】延べ　19人

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
1	東京国立博物館	失われた古代・中世絵巻の復元的研究-作品伝来情報の検討から-	学芸研究部調査研究課絵画・彫刻室　室長　土屋　貴裕	学芸部企画室　主任研究員 井並　林太郎
2	奈良文化財研究所	古代都城から出土する製塩土器の生産地推定	都城発掘調査部 室長　神野恵	学芸部　学芸部長　尾野　善裕
3	奈良文化財研究所	蛍光Ｘ線分析と鉱物組成分析による大和の古代寺院・宮都出土瓦の生産・供給体制の研究	都城発掘調査部　部長　清野孝之	学芸部保存科学室　室長 降幡　順子
4	東京文化財研究所	アジア螺鈿文化交流史の構築―物質文化史の視点から	文化財情報資料部　特任研究員　小林　公治	学芸部列品管理室　主任研究員 末兼　俊彦
5	東京文化財研究所	白鳳時代の壁画の構造と材料に関する研究	保存科学研究センター　室長 犬塚　将英	学芸部保存科学室　室長 降幡　順子
6	国際仏教学大学院大学・仏教学研究科・教授	「奈良朝勅定一切経」の総合的研究―漢文仏教テクストの資料的基盤の再構築に向けて	仏教学研究科　教授 落合　俊典	学芸部調査・国際連携室　研究員 上杉　智英
7	国際仏教学大学院大学	日本現存宋版大蔵経の基礎的研究とその受容・展開に関する総合的な研究	日本古写経研究所　研究員 牧野　和夫	学芸部調査・国際連携室　研究員 上杉　智英
8	東北学院大学	平泉仏教文化の諸相とその社会的基盤に関する資料学的研究	文学部　教授　七海　雅人	学芸部調査・国際連携室　研究員 上杉　智英
9	国文学研究資料館	金剛寺摩尼院聖教の調査を基盤とした日本中世の宗教的知の流通と蔵書形成に関する研究	研究部　教授　海野 圭介	学芸部調査・国際連携室　研究員 上杉　智英
10	三重大学	日本古代の都市造営をめぐる土木技術史的研究	人文学部　教授　小澤　毅	学芸部企画室　考古室長 石田　由紀子
11	京都大学	五台山仏教文化圏における文物の生成・継承・波及	人文科学研究所　教授 稲本　泰生	学芸部教育室　室長　大原　嘉豊
12	京都大学	五台山仏教文化圏における文物の生成・継承・波及	人文科学研究所　教授 稲本　泰生	学芸部企画室　主任研究員 井並　林太郎
13	奈良県立橿原考古学研究所	三次元デジタル・アーカイブを活用した鋳造実験からみた青銅器製作技術の総合的研究	企画部資料課　課長 水野　敏典	学芸部考古室　研究員　古谷　毅
14	東京大学	中世絵師組織の社会的活動基盤と様式系統の相関―十四世紀の縁起・絵伝を結節点として	大学院人文社会系研究科 教授　高岸　輝	学芸部企画室　主任研究員 井並　林太郎
15	東京国立博物館	日本染織文化資源の再発見とその活用に資する基盤研究	学芸研究部調査研究課　課長 小山　弓弦葉	学芸部調査・国際連携室 主任専門職　リンネ　マリサ

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
16	東京国立博物館	仏教儀礼的観点に基づく明兆作品の総合的研究	学芸企画部企画課特別展室 研究員　高橋　真作	学芸部列品管理室　研究員 森　道彦
17	山形大学	壬辰戦争期、豊臣秀吉＝日本国王冊封のために贈られた明朝箚付・冠服類の総合的研究	人文社会科学部　教授 新宮　学	学芸部企画室　上席研究員（兼） 室長　山川　暁
18	富山大学	承久の乱を中心とした史料原本の基礎研究による中世前期公武関係論の基盤構築	学術研究部人文科学系　講師 長村　祥知	学芸部列品管理室　主任研究員 末兼　俊彦
19	奈良文化財研究所	令制施行時の土器・陶器調納制と都城・宮都出土土器の基礎的研究	都城発掘調査部　室長 森川　実	学芸部保存科学室　室長 降幡　順子

【奈良国立博物館】延べ　19人

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
1	九州大学	唐絵の中の朝鮮絵画ー半島由来絵画の越境移動と受容史にかんする包括的研究ー	教授　井手誠之輔	企画室長　谷口耕生
2	同上	同上	同上	情報サービス室長　北澤菜月
3	島根大学	器物の「伝世・長期保有」・「復古再生」の実証的研究と倭における王権の形成・維持	准教授　岩本崇	学芸部長　吉澤　悟
4	北九州市立自然史・歴史博物館	藕糸織の基礎的研究ー非破壊調査による藕糸織の再検討を中心にー	学芸員　富岡優子	情報サービス室長　北澤菜月
6	京都大学	五台山仏教文化圏における文物の生成・継承・波及	教授　稲本泰生	企画室長　谷口　耕生
7	多摩美術大学	在米の仏像と仏具およびアーカイブ調査―寺宝流出と古美術商、収集家の関係とその実態	教授　木下京子	企画室主任研究員　山口隆介
8	同上	同上	同上	工芸考古室主任研究員　三本周作
9	京都国立博物館	高雄曼荼羅の復元と空海の造形観の研究	館長　松本伸之	列品室長　斎木涼子
10	東京国立博物館	大谷探検隊将来品を中心とした西域美術の再評価に関する研究	学芸研究部上席研究員 勝木言一郎	上席研究員　荒木臣紀
11	東京国立博物館	ユーラシア草原地帯と東アジアの青銅器鋳造技術の比較研究	客員研究員　高浜秀	上席研究員　荒木臣紀
12	東京国立博物館	仏教儀礼的観点に基づく明兆作品の総合的研究	学芸企画部企画課特別展室 研究員　高橋真作	上席研究員　荒木臣紀
13	東京国立博物館	能狂言面の制作年代および作者に関する総合的研究	副館長　浅見龍介	工芸考古室主任研究員　三田覚之
14	京都府立大学	古墳・副葬品の多角的検討にもとづく日本列島初期仏教受容史の再構築	准教授　諫早直人	工芸考古室主任研究員 三田覚之
15	東京文化財研究所	シミ科未記載種の国内分布の実態調査と生態学的特徴に基づく防除方法の検討	保存科学研究センター　アソシエイトフェロー　島田潤	保存修理指導室　アソシエイトフェロー　小峰幸夫
16	東京文化財研究所	アジア螺鈿文化交流史の構築―物質文化史の視点から	特任研究員　小林公治	保存修理指導室長　鳥越俊行
17	東京国立博物館	ユーラシア草原地帯と東アジアの青銅器鋳造技術の比較研究	客員研究員　高浜秀	保存修理指導室長　鳥越俊行
18	千葉大学	土器製作技術と植物性混和材	教授　阿部昭典	保存修理指導室長　鳥越俊行
19	中央大学	高精度年代体系による東アジア新石器文化過程ー地域文化の成立と相互関係ー	教授　小林謙一	保存修理指導室長　鳥越俊行

【九州国立博物館】延べ　23人

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
1	京都国立博物館	高雄曼荼羅の復元と空海の造形観の研究	館長　松本伸之	副館長　小泉惠英
2	同上	同上	同上	学芸部企画課長　伊藤信二
3	九州大学	唐絵の中の朝鮮絵画―半島由来絵画の越境移動と受容史にかんする包括的研究―	人文科学研究院教授 井手誠之輔	学芸部文化財課資料登録室長 森實久美子
4	同上	同上	同上	学芸部文化財課資料管理室主任研究員　畑靖紀
5	大阪大学	地方基幹寺院に於ける文献資料調査と経蔵ネットワークの研究	文学研究科招へい研究員 中山一麿	学芸部文化財課資料登録室長 森實久美子
6	東京国立博物館	失われた古代・中世絵巻の復原的研究ー作品伝来情報の検討からー	学芸研究部調査研究課 絵画・彫刻室長　土屋貴裕	学芸部博物館科学課保存修復室 主任研究員　鷲頭桂
7	筑波大学	「儒教美術史」構築のための発展的研究―東アジア文化圏の構造解釈と研究資源化	芸術系准教授　水野裕史	学芸部博物館科学課保存修復室 主任研究員　鷲頭桂
8	大阪大学	光学的科学調査を軸とした初期洋風画とアジア太平洋海域美術交通に関する基礎的研究	人文学研究科教授　岡田裕成	学芸部博物館科学課保存修復室 主任研究員　鷲頭桂
9	同上	同上	同上	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史
10	同上	同上	同上	学芸部企画課文化交流展室アソシエイトフェロー　和泉田絢子

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
11	東京国立博物館	中国と日本の書画における表装文化の総合的研究	客員研究員　鍋島稲子	館長　富田淳
12	奈良大学	黄銅（鍮石・真鍮）の歴史とその伝来の道「Brass Road」の研究	名誉教授　西山要一	学芸部文化財課長　野尻忠
13	同上	同上	同上	学芸部企画課特別展室主任研究員　望月規史
14	奈良県立橿原考古学研究所	日本における初期王陵の実態解明ー「国産化という産業革命」の視点からー	副所長　岡林孝作	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史
15	東京文化財研究所	シミ科未記載種の国内分布の実態調査と生態学的特徴に基づく防除方法の検討	保存科学研究センター　アソシエイトフェロー　島田潤	学芸部博物館科学課長（兼）環境保全室長　木川りか
16	同上	同上	同上	学芸部博物館科学課環境保全室研究員　渡辺祐基
17	大阪大学	ディープラーニングによる仏像の制作年代・地域推定システムの構築とその実装	人文学研究科教授　藤岡穣	学芸部企画課特別展室研究員　大澤信
18	東京国立博物館	在外日本美術の保存修復技法の比較調査と国際的な保存活用に向けて	皇居三の丸尚蔵館長　島谷弘幸	副館長　小泉惠英
19	同上	同上	同上	学芸部博物館科学課長（兼）環境保全室長　木川りか
20	同上	同上	同上	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史
21	同上	同上	同上	学芸部博物館科学課保存修復室主任研究員　鷲頭桂
22	同上	同上	同上	学芸部博物館科学課環境保全室研究員　渡辺祐基
23	同上	同上	同上	学芸部企画課特別展室研究員　桑原有寿子

【皇居三の丸尚蔵館】　0人

【東京文化財研究所】延べ　45人

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
1	奈良大学	黄銅（鍮石・真鍮）の歴史とその伝来の道「Brass Road」の研究	名誉教授　西山　要一	特任研究員　早川　泰弘
2	東京外国語大学	「コロナ状況」下で育まれる芸能―危機への応答・身体性をめぐる交渉・社会との関係	アジア・アフリカ言語文化研究所　准教授　吉田　ゆか子	無形文化遺産部　室長　前原　恵美
3	東京藝術大学	文化財修復に用いるナノセルロースの有用性の検討	美術研究科　准教授　貴田　啓子	保存科学研究センター　客員研究員　稲葉　政満
4	東京藝術大学	文化財修復に用いるナノセルロースの有用性の検討	美術研究科　准教授　貴田　啓子	保存科学研究センター　アソシエイトフェロー　西田　典由
5	和光大学	デジタルアーカイブ時代における１９６０ー７０年代の芸術表現の拡張に関する研究	表現学部　教授　松枝　到	文化財情報資料部　室長　橘川　英規
6	和光大学	デジタルアーカイブ時代における１９６０ー７０年代の芸術表現の拡張に関する研究	表現学部　教授　松枝　到	文化財情報資料部　客員研究員　三上　豊
7	京都国立博物館	備前児島の野崎家に伝わる文化財の総合調査：塩田王の美術コレクション	学芸部列品管理室　室長　永島　明子	文化財情報資料部　広領域研究室長　安永　拓世
8	東京学芸大学	デジタル・アーカイブの拡充と発展的活用に向けた最盛期義太夫節浄瑠璃作品の研究	教育学部　名誉教授　黒石　陽子	無形文化遺産部　特任研究員　飯島　満
9	実践女子大学	古典籍の料紙、用紙の研究　ー紙資源のリサイクルが支える文学と出版システムー	研究推進機構　研究員　澤山　茂	保存科学研究センター　アソシエイトフェロー　大和　あすか
10	実践女子大学	『源氏物語』写本の非破壊分析による書写年代推定法の開発と河内本の再評価	研究推進機構　研究員　横井　孝	保存科学研究センター　アソシエイトフェロー　大和　あすか
11	実践女子大学	江戸後期の文化・芸能におけるパトロネージュ構造の解明：吉原を中心に	研究推進機構　研究員　日比谷　猛俊	保存科学研究センター　アソシエイトフェロー　大和　あすか
12	岡山大学	心・身体・社会をつなぐアート/技術	文明動態学研究所　教授　松本 直子	無形文化遺産部　部長　石村　智
13	東北芸術工科大学	三内丸山遺跡の土遺構の保存に関する総合的研究	文化財保存修復研究センター　客員研究員　石崎　武志	保存科学研究センター　室長　佐藤　嘉則
14	龍谷大学	文化財建造物の伝統的塗装彩色材料・技術の系譜解明と修理施工・資料活用に関する研究	文学部　教授　北野　信彦	保存科学研究センター　保存環境研究室付　吉田　直人
15	公益財団法人元興寺文化財研究所	地球温暖化による劇的環境変動に適応した石造文化遺産の調査・保存法の総合的研究	所長　田邉　征夫	保存科学研究センター　室長　朽津　信明
16	九州国立博物館	博物館等の展示収蔵環境の有機酸等VOCs提言に向けた現場システムの構築	学芸部博物館科学課　課長　木川　りか	保存科学研究センター　客員研究員　藤井　義久
17	東京国立博物館	在外日本美術の保存修復技法の比較調査と国際的な保存活用に向けて	皇居三の丸尚蔵館長　島谷　弘幸	保存科学研究センター　室長　早川　典子
18	東京国立博物館	在外日本美術の保存修復技法の比較調査と国際的な保存活用に向けて	皇居三の丸尚蔵館長　島谷　弘幸	保存科学研究センター　室長　早川　典子

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
19	東京国立博物館	在外日本美術の保存修復技法の比較調査と国際的な保存活用に向けて	皇居三の丸尚蔵館長 島谷　弘幸	文化財情報資料部　広領域研究室長 安永　拓世
20	東京国立博物館	在外日本美術の保存修復技法の比較調査と国際的な保存活用に向けて	皇居三の丸尚蔵館長 島谷　弘幸	保存科学研究センター　研究員 倉島　玲央
21	東京国立博物館	失われた古代・中世絵巻の復原的研究―作品伝来情報の検討から―	学芸研究部調査研究課　室長 土屋　貴裕	文化財情報資料部　広領域研究室長 安永　拓世
22	千葉大学	平安時代後期・鎌倉時代の金銅仏鋳造技法の実証研究ー多臂金銅仏を中心にー	教育学部　名誉教授　宮崎　甲	文化財情報資料部　主任研究員 米沢　玲
23	早稲田大学	ネクロポリス・テーベにおける岩窟墓のライフ・ヒストリー	文学学術院　名誉教授 近藤　二郎	文化遺産国際協力センター　主任研究員　前川　佳文
24	奈良県立橿原考古学研究所	文化遺産を構成する煉瓦の微生物による劣化機構に関する研究	企画学芸部資料課　主任研究員 河﨑　衣美	保存科学研究センター　客員研究員 片山　葉子
25	名古屋大学	中世の気候異常期におけるエルニーニョとリモートオセアニアへの人類拡散	環境学研究科　講師 山崎　敦子	無形文化遺産部　部長　石村　智
26	金沢大学	エジプト、サッカラ遺跡の調査による古代エジプトの埋葬文化の変容に関する総合的研究	新学術創成研究機構　教授 河合　望	文化遺産国際協力センター　主任研究員　前川　佳文
27	金沢大学	中東部族社会の起源：アラビア半島先原史遊牧文化の包括的研究	古代文明・文化資源学研究所 特任教授　藤井 純夫	文化遺産国際協力センター　保存計画研究室長　安倍　雅史
28	実践女子大学	草双紙の出版と流通に関する文理融合研究―合巻の用紙と色材を中心に―	文学部　教授　佐藤 悟	保存科学研究センター　アソシエイトフェロー　大和　あすか
29	沖縄国際大学	葬墓制資料に基づく近世琉球社会史の学際的研究	総合文化学部　准教授 宮城　弘樹	文化遺産国際協力センター 主任研究員　前川　佳文
30	国立大学法人　大阪大学	美術市場とその国際化に関する制度論的、交流史的研究。西洋から日本・アジアへの展開	大学院人文学研究科　名誉教授 圀府寺　司	文化財情報資料部　広領域研究室長 安永　拓世
31	筑波大学	恒久的保存に向けた災害被災資料の特性解明と保存環境の構築	芸術系　教授　松井　敏也	保存科学研究センター　センター長 建石　徹
32	筑波大学	恒久的保存に向けた災害被災資料の特性解明と保存環境の構築	芸術系　教授　松井　敏也	保存科学研究センター　客員研究員 片山　葉子
33	東海大学	天体景観への認知と祭祀および暦の生成に関わる考古天文学の展開	文学部　教授　北條　芳隆	無形文化遺産部　部長　石村　智
34	天理大学	後期青銅器時代における地中海東岸地域の都市国家と地域社会の考古学的研究	文学部　教授　桑原　久男	文化遺産国際協力センター 客員研究員　間舎　裕生
35	東京学芸大学	デジタル・アーカイブの拡充と発展的活用に向けた最盛期義太夫節浄瑠璃作品の研究	教育学部　名誉教授 黒石　陽子	無形文化遺産部　特任研究員 飯島　満
36	宮城学院女子大学	木質材料の循環による文化財保存環境システム構築	学芸学部　非常勤講師 及川　規	保存科学研究センター　研究員 芳賀　文絵
37	東京国立博物館	古代壁画物理モデル構築に向けての探索的研究	学芸研究部保存修復課　課長 和田　浩	保存科学研究センター　研究員 水谷　悦子
38	東京国立博物館	高精細Ｘ線ＣＴスキャナ活用を中心とする古代中国の封泥の作成方法に関する総合的研究	学芸研究部　客員研究員 谷　豊信	保存科学研究センター 副センター長　犬塚　将英
39	東京藝術大学	小規模修復家用TEMPO酸化処理楮繊維の開発	美術研究科　助手　岩田　直美	保存科学研究センター　客員研究員 稲葉　政満
40	東京藝術大学	幕末から明治期における工芸品としてのちりめん絵の皺加工技術と構成材料の解明	美術研究科　助手　一宮　八重	保存科学研究センター　アソシエイトフェロー　大和　あすか
41	東京藝術大学	中国の芸術実践系大学において有効な「保存修復」教育の整備に関する研究	美術研究科　教授　荒井　経	保存科学研究センター　アソシエイトフェロー　大和　あすか
42	愛媛大学	セルロースナノファイバーを活用した放射線防護材料の開発	紙産業イノベーションセンター 教授　薮谷 智規	保存科学研究センター　アソシエイトフェロー　西田　典由
43	総合地球環境学研究所	オマーン南部海港都市の脆弱な社会環境下にあるリビングヘリテージの復興と継承	経営推進部　准教授　近藤　康久	無形文化遺産部　部長　石村　智
44	九州国立博物館	日本絵画に用いられる色材の光褪色挙動の詳細分析と褪色計算オンラインソフトでの利用	学芸部博物館科学課　課長 木川　りか	保存科学研究センター　室長 早川　典子
45	九州国立博物館	日本絵画に用いられる色材の光褪色挙動の詳細分析と褪色計算オンラインソフトでの利用	学芸部博物館科学課　課長 木川　りか	保存科学研究センター　研究員 倉島　玲央

【奈良文化財研究所】延べ　55人

○科学研究費補助金　延べ　42人

	機関名	研究課題	代表者名	分担者名
1	帝京大学	シルクロードの国際交易都市スイヤブの成立と変遷ー農耕都市空間と遊牧民世界の共存ー	教授　山内　和也	都城発掘調査部　主任研究員 山藤　正敏
2	東京大学	デジタル技術による金石文史料の研究資源化と学融合的歴史叙述への応用研究	准教授　菊地　大樹	埋蔵文化財センター　遺跡・調査技術研究室 研究員　上椙　英之
3	国際仏教学大学院大学	「奈良朝勅定一切経」の総合的研究ー漢文仏教テクストの資料的基盤の再構築に向けて	教授　落合　俊典	都城発掘調査部　平城地区史料研究室　客員研究員 杉本　一樹

	機関名	研究課題	代表者名	分担者名
4	東京大学	コンテキストに応じた人文科学データパッケージ化に関する研究	教授　山家　浩樹	都城発掘調査部 平城地区史料研究室長　馬場　基
5	東北大学	石材構築文化財の保全のための３次元デジタルアーカイブの標準化の研究	教授　藤澤　敦	埋蔵文化財センター長 金田　明大
6	東京大学	筆跡・花押情報の高度利活用研究―収集スキームの錬成と関連歴史情報との統合による―	教授　末柄　豊	都城発掘調査部　主任研究員 桑田　訓也
7	東京医療保健大学	東ユーラシア東辺における古代食の多角的視点による解明とその栄養価からみた疾病	教授　三舟　隆之	都城発掘調査部 平城地区史料研究室長　馬場　基
8	同上	同上	同上	都城発掘調査部　主任研究員 小田　裕樹
9	同上	同上	同上	埋蔵文化財センター　環境考古学研究室長　山崎　健
10	同上	同上	同上	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区考古第二研究室長　森川　実
11	同上	同上	同上	企画調整部　国際遺跡研究室長 庄田　慎矢
12	近畿大学	東アジア古代都城と都市網の宗教空間に関する総合的・比較史的研究	教授　網　伸也	都城発掘調査部　主任研究員 小田　裕樹
13	鹿児島大学	「ボカシの文化」にメスを入れる	教授　高宮　広土	企画調整部　国際遺跡研究室長 庄田　慎矢
14	立命館大学	実世界大規模構造物の形状理解のための，３次元計測ビッグデータの超高精細可視化	教授　田中　覚	埋蔵文化財センター　遺跡・調査技術研究室　研究員 山口　欧志
15	埼玉大学	草原地帯における輸送動物出現とモニュメント築造からみた社会複雑化研究	准教授　中村　大介	都城発掘調査部　主任研究員 田村　朋美
16	東京大学	荘園絵図調査・解析方法に関する総括的研究と汎用的な歴史地理情報への応用研究	准教授　井上　聡	企画調整部 主任研究員 高田　祐一
17	立命館大学	簡牘の形態に関する新研究：三次元形態解析による古文書学・考古学・年輪年代学の融合	教授　鷹取　祐司	埋蔵文化財センター　遺跡・調査技術研究室　研究員 山口　欧志
18	同上	同上	同上	埋蔵文化財センター　年代学研究室長　星野　安治
19	同上	同上	同上	都城発掘調査部 平城地区考古第一研究室 研究員　浦　蓉子
20	元興寺文化財研究所	地球温暖化による劇的環境変動に適応した石造文化遺産の調査・保存法の総合的研究	所長　田邉　征夫	埋蔵文化財センター長 金田　明大
21	三重大学	日本古代の都市造営をめぐる土木技術史的研究	教授　小澤　毅	都城発掘調査部　副部長 今井　晃樹
22	京都橘大学	日本古代土器の複眼的編年検証に基づく通時代的特質の解明	准教授　中久保　辰夫	都城発掘調査部　主任研究員 小田　裕樹
23	東北大学	新たな長期年輪幅標準年輪曲線ネットワークの構築とそのオープンアクセス化	助教　大山　幹成	埋蔵文化財センター　年代学研究室長　星野　安治
24	東北大学	中世禅院を拠点に流通した建築の形態・空間・技法に関する学際的・対外交渉史的研究	准教授　野村　俊一	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区遺構研究室長　鈴木　智大
25	明治大学	璽印・ガラス・鉄器からみた西暦１～３世紀日本列島～東アジアの広域交流の重層性	専任教授　石川　日出志	都城発掘調査部　主任研究員 田村　朋美
26	同上	同上	同上	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区考古第一研究室 研究員 谷澤　亜里
27	奈良県立橿原考古学研究所	古墳時代における甲冑製作および生産組織の実態解明	主査　吉村　和昭	企画調整部　企画調整室 客員研究員　小林　謙一
28	名古屋大学	三関周辺における古墳時代から古代の地域動態に関する総合的研究	教授　梶原　義実	都城発掘調査部 平城地区史料研究室長　馬場　基
29	京都大学	ＡＩ（人工知能）による縄文土器型式の識別システムの構築と未知の縄文土器系統の創造	准教授　千葉　豊	埋蔵文化財センター　遺跡・調査技術研究室　客員研究員 髙野　紗奈江
30	京都府立大学	古墳・副葬品の多角的検討にもとづく日本列島初期仏教受容史の再構築	准教授　諫早　直人	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区考古第一研究室長　廣瀬　覚
31	同上	同上	同上	飛鳥資料館　学芸室長長 石橋　茂登
32	帝京大学	牛馬文化の系譜と変容 - 動物遺体分析の限界を克服する複合的アプローチ -	准教授　植月　学	企画調整部　国際遺跡研究室長 庄田　慎矢
33	金沢大学	和食の成立過程の解明:湯取り法炊飯からウルチ米蒸しへの転換過程	客員教授　小林　正史	都城発掘調査部　主任研究員 小田　裕樹
34	立命館大学	初期国家形成期における山城地域の地域開発と地方政体の成長に関する包括的研究	教授　長友　朋子 （中村朋子）	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区考古第一研究室長　廣瀬　覚
35	同上	同上	同上	都城発掘調査部　主任研究員 川畑　純
36	同上	同上	同上	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区考古第三研究室 研究員 道上　祥武
37	国立歴史民俗博物館	航路・寄港地から見た倭と古代朝鮮の交渉史に関する日韓共同研究	教授　高田　貫太	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区考古第一研究室長　廣瀬　覚

	機関名	研究課題	代表者名	分担者名
38	東北大学	古代の出土文化財が教えてくれる1000年超の腐食寿命予測モデル	教授　渡辺　豊	埋蔵文化財センター 主任研究員 柳田　明進
39	奈良県立橿原考古学研究所	東アジア盤上遊戯の変遷と盛衰の解明　ー史学的検討と知能情報学による評価からー	指導研究員　清水　康二	都城発掘調査部　主任研究員 小田　裕樹
40	奈良女子大学	日本と中国の建築工具及び加工痕跡の比較による東アジア木造建築造営技術史の基盤構築	協力研究員　李　暉	都城発掘調査部　平城地区考古第一研究室　研究員　浦　蓉子
41	金沢大学	中国文明起源解明の新・考古学イニシアティブ	教授　中村　慎一	企画調整部　国際遺跡研究室長 庄田　慎矢
42	南山大学	三次元データベースと数理解析・モデル構築による分野統合的研究の促進	准教授　中尾　央	埋蔵文化財センター長 金田　明大

○学術研究助成基金助成金　延べ　13人

	機関名	研究課題	代表者名	分担者名
1	奈良大学	3Dデータを利用した東アジアにおける文化遺産の保存と活用	教授　今津　節生	参与　高妻　洋成
2	島根大学	弥生・古墳時代併行期における日韓年代論の再構築と対外交渉の実証的研究	准教授　平郡　達哉	都城発掘調査部　主任研究員 松永　悦枝 （R5.6.30分担者削除）
3	同上	同上	同上	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区考古第一研究室 研究員 谷澤　亜里
4	京都工芸繊維大学	組立工程から検証する日中台建築技術の比較研究	教授　清水　重敦	都城発掘調査部　飛鳥・藤原地区遺構研究室長　鈴木　智大
5	京都国立博物館	御室仁清窯跡出土陶片の科学的特徴ー野々村仁清が受容した生産技術と陶工必用ー	保存科学室長　降幡　順子	文化遺産部　歴史研究室長 吉川　聡
6	身延山大学	旧石器時代の食料資源究明に関する基礎研究	講師　保坂　康夫	企画調整部　国際遺跡研究室長 庄田　慎矢
7	早稲田大学	衛星画像のGIS分析に基づく唐代都城中枢部の構造比較と設計原理の考古学的研究	教授　城倉　正祥	都城発掘調査部　主任研究員 山藤　正敏
8	武庫川女子大学	山口県域の銅生産・銅銭鋳造関係古代出土文字資料を用いた政治・社会的地域特質の解明	嘱託研究員　竹内　亮	都城発掘調査部　飛鳥・藤原地区史料研究室長　山本　崇
9	琵琶湖博物館	植物遺体群からみた古代都城における草本植物相に関する基礎的研究	特別研究員　上中　央子	埋蔵文化財センター　環境考古学研究室長　山崎　健
10	東京文化財研究所	磨崖仏で過去に行われた保存対策の効果に関する定量的研究	修復計画研究室長　朽津　信明	埋蔵文化財センター　保存修復科学研究室長　脇谷　草一郎
11	筑波大学	フォークロリスティック・ハザードマップの協働的研究	准教授　中野　泰	埋蔵文化財センター　保存修復科学研究室　研究員　小谷　竜介
12	埼玉大学	深層学習を用いた画像診断による玉類の産地同定の簡易化研究	准教授　中村　大介	都城発掘調査部　主任研究員 田村　朋美
13	東京国立博物館	古代壁画物理モデル構築に向けての探索的研究	保存修復課長　和田　浩	埋蔵文化財センター　保存修復科学研究室長　脇谷　草一郎

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】延べ　1人

	機関名	研究課題	代表者名	分担者名
1	放送大学	人工的環境の構築と時空間認知の発達	准教授　鶴見　英成	研究担当室長　野嶋　洋子

3）研究者海外派遣実績（延べ人数）

令和6年3月31日現在

国立文化財機構合計	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	皇居三の丸尚蔵館
	119 人	67人	16人	8人	25人	3人
300 人	文化財研究所計	東京文化財研究所		奈良文化財研究所		
	153 人	74人		79人		
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター	本部文化財活用センター		本部文化財防災センター		
	20 人	3 人		5 人		

【本部文化財活用センター】延べ　3人

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
1	藤田　千織	アメリカ	1月14日～1月21日	アメリカ国内のデジタルコンテンツ活用実例に関する調査研究	運営費交付金	
2	髙橋　美奈子	アメリカ	1月14日～1月21日	アメリカ国内のデジタルコンテンツ活用実例に関する調査研究	運営費交付金	
3	松沼　穂積	アメリカ	1月14日～1月21日	アメリカ国内のデジタルコンテンツ活用実例に関する調査研究	運営費交付金	

【本部文化財防災センター】延べ　5 人

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
1	髙妻　洋成	トルコ	11月30日～12月8日	文化庁緊急支援事業の一環として、トルコ地震による被災状況の確認と現地での意見交換の実施	受託事業費	
2	建石　徹	トルコ	11月28日～12月2日	文化庁緊急支援事業の一環として、トルコ地震による被災状況の確認と現地での意見交換の実施	受託事業費	
3	中島志保	トルコ	11月30日～12月7日	文化庁緊急支援事業の一環として、トルコ地震による被災状況の確認と現地での意見交換の実施	運営費交付金	
4	千葉　毅	トルコ	11月28日～12月7日	文化庁緊急支援事業の一環として、トルコ地震による被災状況の確認と現地での意見交換の実施	受託事業費	
5	高妻洋成	パキスタン	12月19日～12月31日	令和5年度国際協力調査	先方負担	

【東京国立博物館】延べ　67人（科学研究費助成事業を除く）

（参考：科学研究費助成事業を含む合計人数は90人）

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
1	鬼頭　智美	アメリカ	4月29日～5月6日	国際展覧会オーガナイザー会議出席	寄附金	
2	木下　史青	台湾	5月1日～5月5日	国立故宮博物院の展示照明の最適化のための助言業務	先方負担	
3	佐藤　寛介	メキシコ	5月20日～5月25日	特別展「古代メキシコ」の交換展に係る現地協議	寄附金	
4	矢野　賀一	メキシコ	5月20日～5月25日	特別展「古代メキシコ」の交換展に係る現地協議	寄附金	
5	猪熊　兼樹	メキシコ	5月20日～5月25日	特別展「古代メキシコ」の交換展に係る現地協議	寄附金	
6	品川　欣也	ギリシャ	5月22日～6月4日	海外展「日本の美の原点」展示作業及び調査	自己収入	
7	飯田　茂雄	ギリシャ	5月23日～6月4日	海外展「日本の美の原点」展示作業及び調査	自己収入	
8	菊池　望	ギリシャ	5月23日～6月4日	海外展「日本の美の原点」展示作業及び調査	自己収入	
9	君波　妙子	ギリシャ	5月31日～6月5日	海外展「日本の美の原点」開会式出席	寄附金	
10	楊　鋭	韓国	8月1日～8月3日	韓国国立中央博物館視察	寄附金	
11	三笠　景子	韓国	8月1日～8月3日	韓国国立中央博物館視察	寄附金	
12	鄭　相妍	韓国	8月1日～8月3日	韓国国立中央博物館視察	寄附金	
13	足立　奈緒子	イギリス オランダ	8月1日～8月11日	2020年度ハイデルベルク大学ワークショップ及びヨーロッパの日本美術コレクションの調査	助成金 寄附金	
14	原田　あゆみ	タイ	8月4日～8月9日	国際シンポジウム出席・発表	先方負担	
15	沖松　健次郎	タイ	8月23日～8月26日	館蔵品に係る調査研究および海外における日本美術の展示に係る調査研究	寄附金	
16	原田　あゆみ	タイ	8月23日～8月27日	館蔵品に係る調査研究および海外における日本美術の展示に係る調査研究	寄附金	
17	三笠　景子	タイ	8月23日～8月28日	館蔵品に係る調査研究および海外における日本美術の展示に係る調査研究	寄附金	
18	横山　梓	中国	8月28日～8月31日	故宮博物院特別展「茶の世界」への貸与作品の点検・展示作業	先方負担	

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
19	楊　鋭	中国	8月28日～9月2日	故宮博物院特別展「茶の世界」への貸与作品の点検・展示作業及び開会式出席	先方負担	
20	猪熊　兼樹	台湾	8月29日～9月4日	台湾原住民文化の調査	寄附金	
21	福島　修	台湾	8月29日～9月4日	台湾原住民文化の調査	寄附金	
22	廣谷　妃夏	台湾	8月29日～9月4日	台湾原住民文化の調査	寄附金	
23	瀬谷　愛	イギリス	8月31日～9月16日	英国ロイヤルコレクション研修参加および大英博物館作品調査	寄附金	
24	髙橋　美奈子	イギリス	8月31日～9月17日	英国ロイヤルコレクション研修参加および大英博物館作品調査	寄附金	
25	市元　塁	中国	9月6日～9月8日	中国国家博物館視察	寄附金	
26	楊　鋭	中国	9月6日～9月8日	中国国家博物館視察	寄附金	
27	小野塚　拓造	ギリシャ	9月19日～10月4日	海外展「日本の美の原点」撤収のため	自己収入	
28	品川　欣也	ギリシャ	9月22日～10月3日	海外展「日本の美の原点」撤収のため	自己収入	
29	河野　正訓	ギリシャ	9月22日～10月4日	海外展「日本の美の原点」撤収のため	自己収入	
30	崔　英花	中国	9月22日～9月26日	湖北省博物館70周年記念国際学術検討会出席	先方負担 寄附金	
31	楊　鋭	香港	10月4日～10月8日	第8回中国芸術博物館フォーラム出席	先方負担 寄附金	
32	増田　万里奈	韓国	10月11日～10月24日	韓国国立中央博物館との学術交流	先方負担 自己収入	
33	武　瀟瀟	フランス	10月19日～10月25日	博物館視察及び現代美術作家との面会	寄附金	
34	玉城　真紀子	韓国	11月2日～11月5日	第47回韓国考古学全国大会参加	寄附金	
35	三笠　景子	中国	11月7日～11月11日	景徳鎮国際シンポジウム出席	先方負担 寄附金	
36	崔　英花	中国	11月7日～11月11日	景徳鎮国際シンポジウム出席	先方負担 寄附金	
37	植松　瑞希	アメリカ	11月18日～11月22日	クリーブランド美術館特別展「中国南方の楽園　江南の至宝」への貸与作品の点検・展示作業	先方負担	
38	野中　昭美	韓国	11月20日～12月1日	韓国国立中央博物館との学術交流	先方負担 自己収入	
39	横山　梓	中国	11月30日～12月3日	故宮博物院特別展「茶の世界」への貸与作品の点検・撤収作業	先方負担	
40	周　昀	中国	11月30日～12月3日	故宮博物院特別展「茶の世界」への貸与作品の点検・撤収作業	先方負担	
41	矢野　賀一	フランス	11月26日～11月29日	特別展「古代メキシコ」の交換展に係る作品調査及びフランス国立図書館の展示調査	寄附金	
42	勝木　言一郎	マレーシア	12月10日～12月13日	イスラーム美術館25周年セレモニー出席及び視察	寄附金	
43	君波　妙子	マレーシア	12月10日～12月13日	イスラーム美術館25周年セレモニー出席及び視察	寄附金	
44	六人部　克典	アメリカ	12月16日～12月20日	クリーブランド美術館特別展「中国南方の楽園　江南の至宝」への貸与作品の点検・撤収作業	先方負担	
45	和田　浩	シンガポール	6年1月16日～1月19日	本館改修のための情報収集	自己収入	
46	沼沢　ゆかり	インドネシア	6年2月14日～2月18日	仏教美術に関する調査	寄附金	
47	矢野　賀一	インドネシア	6年2月18日～2月22日	海外展会場視察	自己収入	
48	小山　弓弦葉	インドネシア	6年2月18日～2月22日	海外展会場視察	自己収入	
49	和田　浩	インドネシア	6年2月18日～2月22日	海外展会場視察	自己収入	
50	河野　一隆	アメリカ	6年2月21日～2月24日	「はにわ展」に係る出品交渉のため	自己収入	
51	和田　浩	ドイツ	6年2月25日～2月29日	ブルカーナノラボラトリー視察	寄附金	
52	矢野　賀一	ドイツ	6年2月25日～2月29日	ブルカーナノラボラトリー視察	寄附金	
53	三笠　景子	中国	6年2月27日～3月1日	中国陶磁に関する調査のため	寄附金	
54	崔　英花	中国	6年2月27日～3月1日	中国陶磁に関する調査のため	寄附金	
55	市元　塁	中国	6年2月27日～3月1日	中国陶磁に関する調査のため	寄附金	
56	横山　梓	フランス	6年3月4日～3月10日	寄託候補作品の事前調査のため	寄附金	
57	小山　弓弦葉	フランス	6年3月4日～3月10日	寄託候補作品の事前調査のため	寄附金	

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
58	沼沢　ゆかり	フランス	6年3月4日～3月10日	寄託候補作品の事前調査のため	寄附金	
59	佐藤　寛介	メキシコ	6年3月5日～3月9日	「古代メキシコ」展の交換展に係る現地協議	自己収入	
60	矢野　賀一	メキシコ	6年3月5日～3月9日	「古代メキシコ」展の交換展に係る現地協議	自己収入	
61	和田　浩	メキシコ	6年3月5日～3月9日	「古代メキシコ」展の交換展に係る現地協議	自己収入	
62	猪熊　兼樹	メキシコ	6年3月5日～3月9日	「古代メキシコ」展の交換展に係る現地協議	自己収入	
63	和田　浩	オランダ	6年3月12日～3月16日	本館改修のための情報収集	自己収入	
64	高橋　真作	アメリカ	6年3月12日～3月19日	AAS 2024 Annual Conference への出席・口頭発表及びシアトル美術館における日本絵画調査のため	寄附金	
65	小山　弓弦葉	韓国	6年3月17日～3月19日	湖岸美術館企画展「東アジア仏教美術と女性」への貸与作品の点検・展示作業	先方負担	
66	楊　鋭	香港	6年3月24日～3月27日	香港国際文化サミットに参加する館長の随行のため	自己収入	
67	足立　奈緒子	香港	6年3月24日～3月27日	香港国際文化サミットに参加する館長の随行のため	先方負担 自己収入	

○科学研究費助成事業：延べ　23人

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
1	小野塚　拓造	イスラエル	4月1日～5月30日	オルブライト考古学研究所での共同研究	科学研究費	
2	遠藤　楽子	韓国	4月14日～4月15日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
3	廣谷　妃夏	中国	7月18日～7月23日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
4	小山　弓弦葉	中国	7月18日～7月23日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
5	沼沢　ゆかり	中国	7月18日～7月23日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
6	猪熊　兼樹	中国	7月25日～7月30日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
7	鬼頭　智美	ドイツ	7月25日～8月2日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
8	小野塚　拓造	イスラエル	8月10日～9月3日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
9	原田　あゆみ	タイ	8月27日～9月1日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
10	山本　桃子	オーストラリア	8月26日～9月1日	シンポジウム出席・発表、現地博物館視察	科学研究費	
11	小山　弓弦葉	イギリス	10月15日～10月24日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
12	廣谷　妃夏	イギリス	10月15日～10月24日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
13	植松　瑞希	台湾	10月26日～10月28日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
14	鬼頭　智美	イギリス オランダ	11月15日～11月23日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費 寄附金	
15	楊　鋭	イギリス オランダ	11月15日～11月23日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
16	原田　あゆみ	タイ	12月8日～12月14日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
17	和田　浩	オランダ	6年1月26日～1月29日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
18	猪熊　兼樹	韓国	6年1月31日～2月4日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
19	河野　一隆	スペイン	6年2月10日～2月17日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
20	山本　亮	スペイン	6年2月10日～2月17日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
21	沖松　健次郎	インドネシア	6年2月14日～2月17日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費 寄附金	
22	増田　政史	インドネシア	6年2月14日～2月18日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費 寄附金	
23	丸山　士郎	インドネシア	6年2月15日～2月18日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費 寄附金	

【京都国立博物館】延べ　16人

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
1	古谷　毅	韓国	7月7日～11日	「埴輪生産組織の構造分析と古代手工業論による古墳時代日韓交渉史再構築の基礎的研究」にかかる調査・研究会	科学研究費	
2	石田　由紀子	中国	9月13日～19日	「日本古代の都市造営をめぐる土木技術史的研究」にかかる江南の都城と寺院・集落に関する資料調査	先方負担	

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
3	古谷　毅	韓国	10月7日～10日	「埴輪生産組織の構造分析と古代手工業論による古墳時代日韓交渉史再構築の基礎的研究」による会議・共同研究会・調査のため	科学研究費	
4	リンネ マリサ	ポルトガル イギリス	10月7日～23日	「日本染織文化資源の再発見とその活用に資する基盤研究」による国際会議2023年IASSRT（国際シルクロード染織研究会議）参加、代理発表、座長、および染織の視察、調査のため	先方負担	
5	永島　明子	イギリス オランダ	10月15日～30日	作品調査	鹿島美術財団助成金	
6	北風　幸一	アメリカ	11月15日～19日	サンフランシスコ・アジア美術館における共催展の内覧会及び開幕記念イベントへの出席	館費（科研間接経費）	
7	リンネ マリサ	アメリカ	11月15日～19日	サンフランシスコ・アジア美術館における共催展の開幕に北風副館長の随行	館費（科研間接経費）	
8	森橋　なつみ	アメリカ	11月6日～19日	サンフランシスコ・アジア美術館への貸与品輸送のクーリエとして	先方負担	
9	降矢　哲男	アメリカ	12月17日～23日	サンフランシスコ・アジア美術館における共催展の展示立ち合い	先方負担	
10	リンネ マリサ	アメリカ	6年2月8日～17日	染織に関する調査	科学研究費	
11	永島　明子	中国	6年2月26日～3月1日	北京故宮博物院における漆器調査	科学研究費	
12	王　珏人	中国	6年2月26日～3月1日	北京故宮博物院における漆器調査	科学研究費	
13	尾野　善裕	中国	6年2月27日～3月1日	特別展「美のるつぼ」に関連する「李訓墓誌」の調査	寄付金	
14	石田　由紀子	中国	6年2月27日～3月1日	特別展「美のるつぼ」に関連する「李訓墓誌」の調査	寄付金	
15	竹下　繭子	中国	6年2月27日～3月1日	特別展「美のるつぼ」に関連する「李訓墓誌」の調査	寄付金	
16	古谷　毅	韓国	6年3月1日～5日	「埴輪生産組織の構造分析と古代手工業論による古墳時代日韓交渉史再構築の基礎的研究」による会議・共同研究会・調査のため	科学研究費	

【奈良国立博物館】延べ　8人

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
1	山口　隆介	フランス、イギリス	12月10日～12月17日	在外日本美術の伝来に関する調査	科研費補助金	
2	内藤　航	フランス、イギリス	12月10日～12月17日	在外日本美術の伝来に関する調査	科研費補助金	
3	宮崎　幹子	フランス、イギリス	12月10日～12月17日	在外日本美術の伝来に関する調査	科研費補助金	
4	伊藤　旭人	韓国	11月28日～12月22日	文化財の調査研究及び保存・展示等の協力関係の推進（学術交流協定に基づく派遣）	使途特定寄付金	
5	井上　洋一	韓国	12月11日～12月16日	国立慶州博物館・国立中央博物館他の展示視察	使途特定寄付金	
6	中川　あや	韓国	12月11日～12月16日	国立慶州博物館・国立中央博物館他の展示視察	使途特定寄付金	
7	北澤　菜月	韓国	3月4日～3月7日	東アジアの仏教美術と女性展作品輸送・展示	先方負担	
8	松井　美樹	アメリカ	3月11日～3月18日	鹿島美術財団美術に関する調査研究	助成金	

【九州国立博物館】延べ　25人

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
1	白井　克也	韓国	4月15日～4月23日	金海博物館　特別展「海を渡った加耶人」日本側展示品の輸送・開梱・点検・展示作業	運営費交付金 先方負担	
2	齋部　麻矢	韓国	4月18日～4月21日	金海博物館　特別展「海を渡った加耶人」に係る展示並びに点検作業	福岡県負担 先方負担	
3	島谷　弘幸	韓国	4月26日～4月27日	韓国・国立金海博物館視察及び特別展「海を渡った加耶人」開幕式参列	運営費交付金 先方負担	
4	大澤　信	韓国	4月26日～4月27日	韓国・国立金海博物館視察及び特別展「海を渡った加耶人」開幕式参列	運営費交付金 先方負担	
5	白井　克也	韓国	6月25日～7月1日	金海博物館　特別展「海を渡った加耶人」日本側展示品の撤収・点検・梱包・輸送作業	運営費交付金 先方負担	
6	島谷　弘幸	アメリカ	9月4日～9月14日	「在外日本美術の保存修復技法の比較調査と国際的な保存活用に向けて」に係る調査研究	科学研究費	
7	渡辺　祐基	アメリカ	9月9日～9月14日	・「数理モデルと非破壊評価法に基づく文化財害虫の検出精度の向上」に係る調査 ・「博物館等の展示収蔵環境の有機酸等 VOCｓ低減に向けた現場システムの構築」に係る協議	科学研究費	
8	一瀬　智	韓国	9月17日～9月20日	「中世日本往復外交文書の古文書学的研究ー明清・朝鮮古文書研究の一環として」に係る調査	科学研究費	
9	鷲頭　桂	ベトナム	9月25日～9月28日	「『儒教美術史』構築のための発展的研究ー東アジア文化圏の構造解釈と研究資源化」にかかる資料調査	科学研究費	

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
10	桑原　有寿子	ベトナム	9月25日～9月29日	鹿島美術財団研究助成「中国明代の輸出用刺繍における色替り表現の研究」にかかる作品調査	鹿島美術財団助成	
11	島谷　弘幸	アメリカ	10月4日～10月8日	第 30 回日米文化教育交流会議（カルコン）合同会議	先方負担	
12	川村　佳男	韓国	10月16日～10月22日	学術文化交流協定に基づいた学術交流	運営費交付金 先方負担	
13	志賀　智史	ベトナム	10月16日～10月27日	ベトナム国立歴史博物館との学術文化交流事業（文化財修理）	自己収入	
14	今井　涼子	韓国	10月16日～10月29日	国立扶餘博物館及び国立公州博物館との学術文化交流協定に基づく研究員派遣	先方負担（航空券のみ福岡県負担）	
15	李　梅	韓国	10月23日～10月29日	学術文化交流協定に基づいた学術交流	運営費交付金 先方負担	
16	小泉　惠英	中国	11月2日～11月8日	京博物院 90 周年記念祝賀会出席（館長代理）ほか	自己収入 先方負担	
17	西島　亜木子	トルコ	11月14日～11月24日	・子供向け文化遺産教育についての講演・ワークショップ ・教育普及プログラム及びアクセシビリティに係る調査	先方負担 自己収入	
18	大澤　信	中国	12月6日～12月15日	「ディープラーニングによる仏像の制作年代・地域推定システムの構築とその実装」に係る調査	先方負担	
19	小泉　惠英	タイ	12月8日～12月14日	「東南アジアにおける聖地誕生の諸相：古代から近世にいたる仏教文化交流網の研究」に係る調査	科学研究費	
20	富田　淳	香港	12月12日～12月15日	香港故宮文化博物館「承前啓後-中国文物保護国際シンポジウム」出席	運営費交付金 先方負担	
21	鷲頭　桂	台湾	6年1月12日～1月13日	「美術史からみるドイツ・北欧と日本の皇室外交」にかかる資料調査	科学研究費	
22	小泉　惠英	韓国	6年2月16日～2月18日	「東南アジアにおける聖地誕生の諸相：古代から近世にいたる仏教文化交流網の研究」に係る調査	科学研究費	
23	大澤　信	韓国	6年2月16日～2月18日	「東南アジアにおける聖地誕生の諸相：古代から近世にいたる仏教文化交流網の研究」に係る調査	科学研究費	
24	鷲頭　桂	フィリピン	6年2月21日～2月24日	「光学的科学調査を軸とした初期洋風画とアジア太平洋海域美術交通に関する基盤的研究」にかかる作品調査	科学研究費	
25	大澤　信	韓国	6年3月26日～3月30日	「ディープラーニングによる仏像の制作年代・地域推定システムの構築とその実装」に係る調査	科学研究費	

【皇居三の丸尚蔵館】3人

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
1	岡本　隆志	アメリカ合衆国	6年2月13日～2月18日	クリーブランド美術館での収蔵品関連作品の調査	運営費交付金	
2	野中　愛理	アメリカ合衆国	6年3月24日～3月29日	ホノルル美術館ほかでの収蔵品関連作品の調査及び海外美術館多言語対応調査	運営費交付金	
3	松井　邦子	アメリカ合衆国	6年3月24日～3月29日	ホノルル美術館ほかでの収蔵品関連作品の調査及び海外美術館多言語対応調査	運営費交付金	

【東京文化財研究所】延べ　74人

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
1	前川　佳文	イタリア	5月7日～5月31日	ポンペイ遺跡における壁画の調査研究	科研費	
2	友田　正彦	ブータン	4月25日～5月6日	ブータン協力事業	科研費	
3	金井　健	ブータン	4月25日～5月8日	ブータン協力事業	科研費	
4	淺田　なつみ	ブータン・カンボジア	4月24日～5月8日	ブータン協力事業・アンコール・タネイ遺跡の調査	科研費 運営費交付金	
5	前川　佳文	トルコ	6月15日～6月22日	トルコ共和国における壁画の保存修復に係る共同研究打ち合わせ及び関連調査	運営費交付金	
6	黒岩　千尋	ブータン・カンボジア	4月25日～5月18日	ブータン協力事業・アンコール・タネイ遺跡の調査	科研費 先方負担	
7	田代　裕一朗	韓国	5月18日～5月21日	「柳宗悦朝鮮関連資料出版」のための現地調査	先方負担	
8	前田　康記	オランダ・デンマーク・ポーランド・ドイツ	5月24日～6月3日	UNESCO助成金による調査	先方負担(助成金)	
9	安倍　雅史	サウジアラビア王国	6月1日～6月24日	サウジアラビア王国での考古学調査	先方負担	
10	大川　柚佳	スペイン	9月17日～9月24日	ICOM-CC大会への参加	科研費	
11	久保田　裕道	ブータン	8月11日～8月25日	祭礼調査	科研費	
12	江村　知子	ドイツ	10月9日～10月15日	ライプツィヒ民俗学博物館所蔵「酒呑童子絵巻」の調査	科研費	
13	城野　誠治	ドイツ	10月9日～10月15日	ライプツィヒ民俗学博物館所蔵「酒呑童子絵巻」の調査	科研費	
14	小林公治	タイ・インド	7月17日～8月2日	タイ・インドにて調査	科研費 R4繰越分	

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
15	安倍　雅史	デンマーク	8月1日～8月8日	セミナー参加と学会発表	科研費	
16	水谷　悦子	オーストラリア	8月4日～8月11日	ワークショップの参加	運営費交付金	
17	藤井　郁乃	オランダ・チェコ・ドイツ	7月16日～8月14日	UNESCO助成金調査	先方負担 (UNESCO助成金)	
18	石村　智	ニュージーランド	7月21日～7月29日	モリオリ文化の現地調査	科研費	
19	小林公治	中国	8月17日～9月1日	中国沿岸地域の墓碑彫刻および漆器調査	科研費	
20	黒岩　千尋	カンボジア王国	8月6日～8月19日	カンボジア植民地期史料および文化財の保存状況に関する調査	助成金 運営費交付金(VISA代のみ)	
21	前田　康記	オーストリア クロアチア スペイン	7月27日～8月12日	UNESCO助成金調査	先方負担 (UNESCO助成金)	
22	間舎　裕生	イスラエル	8月9日～9月4日	テル・レヘシュ遺跡出土遺物の整理・調査	科研費	
23	石村　智	イギリス	8月11日～8月20日	大英博物館・リバプール大学での調査	科研費	
24	水谷　悦子	中国	8月25日～8月31日	壁画の保存公開手法に関する情報収集	科研費	
25	早川　典子	アメリカ合衆国	9月5日～9月14日	海外における東洋絵画の修復技法、展示方法等調査	科研費 補助金	
26	大和　あすか	中国	9月10日～9月16日	実習及び設備機器の視察	先方負担	
27	石村　智	韓国	8月31日～9月4日	国際フォーラム出席	先方負担	
28	石村　智	エジプト	9月8日～9月13日	スーダン人学芸員への聞き取り調査	科研費	
29	安倍　雅史	イラン	9月2日～9月27日	カレ・クブ遺跡の発掘調査等	科研費	
30	前川　佳文	イタリア エジプト	9月3日～10月10日	壁画の保存修復に係る研究	科研費 運営費交付金 分担金	
31	前原　恵美	韓国	9月3日～9月9日	伝統的管楽器の原材料確保に関する調査	科研費	
32	倉島　玲央	韓国	9月3日～9月9日	伝統的管楽器の原材料確保に関する調査	科研費	
33	金　昭賢	韓国	9月3日～9月9日	伝統的管楽器の原材料確保に関する調査	科研費	
34	米沢　玲	イギリス	10月16日～2月29日	セインズベリー研究所での研究発表および調査研究	運営費交付金	
35	山田　綾乃	エジプト	9月15日～10月4日	エジプトにおける遺物の記録、研究資料の収集	先方負担	
36	藤井　郁乃	サウジアラビア	9月14日～9月18日	第45回ユネスコ世界遺産委員会への出席・助言	先方負担	
37	田代　裕一朗	韓国	9月21日～9月27日	資料調査	助成金	
38	松浦　一之介	フランス・イタリア	10月3日～10月14日	近現代建築等の保護・継承等に係る海外事例調査	受託(文化庁)	
39	金井　健	フランス・デンマーク	10月3日～10月13日	近現代建築等の保護・継承等に係る海外事例調査	受託(文化庁)	
40	金井　健	台湾	9月18日～9月22日	近現代建築等の保護・継承等に係る海外事例調査	受託(文化庁)	
41	松浦　一之介	台湾	9月18日～9月22日	近現代建築等の保護・継承等に係る海外事例調査	受託(文化庁)	
42	千葉　毅	オランダ	9月22日～10月4日	研修参加・視察	運営費交付金	
43	鎌田　紗弓	ポルトガル	10月10日～10月16日	国際学会Música Analítica 2023発表	科研費	
44	橘川　英規	イギリス	11月13日～11月19日	セインズベリー研究所との共同事業に関する会議他	運営費交付金	
45	黒岩　千尋	ネパール	10月10日～10月18日	キルティプル市内伝統的民家の調査他	運営費交付金	
46	淺田　なつみ	ネパール ブータン カンボジア	10月10日～11月15日	ネパール、ブータンにおける民家保存活用に関する調査他	運営費交付金 科研費	
47	友田　正彦	ブータン	10月28日～11月6日	ブータンにおける民家保存活用に関する調査	科研費	
48	金井　健	ブータン	10月28日～11月5日	ブータンにおける民家保存活用に関する調査	科研費	

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
49	黒岩　千尋	ブータン フランス カンボジア	10月28日～11月30日	ブータン中部地方の民家保存活用に関する調査、フランス植民地時代の東南アジア関連史料調査他	運営費交付金 科研費 助成金	
50	山田　綾乃	カンボジア	11月5日～11月25日	アンコール・タネイ寺院遺跡における建築調査	運営費交付金	
51	友田　正彦	カンボジア	11月19日～11月24日	アンコール・タネイ寺院遺跡における建築調査	運営費交付金	
52	藤井　郁乃	カンボジア	10月24日～10月30日	ユネスコ水中文化遺産保護条約に関するワークショップ出席	先方負担	
53	前田　康記	カンボジア	10月24日～10月29日	ユネスコ水中文化遺産保護条約に関するワークショップ出席	先方負担	
54	二神　葉子	ボツワナ 南アフリカ	12月1日～12月11日	無形文化遺産保護のための政府間委員会傍聴	運営費交付金	
55	前原　恵美	ボツワナ 南アフリカ	12月1日～12月11日	無形文化遺産保護のための政府間委員会傍聴	運営費交付金	
56	石村　智	韓国	11月16日～11月20日	国際学会参加・遺跡調査	科研費	
57	田代　裕一朗	韓国	12月17日～12月22日	資料調査、研究進捗状況報告等	助成金	
58	千葉　毅	韓国	11月9日～11月12日	韓国文化財保存科学会での発表	運営費交付金	
59	邱　君妮	フランス オランダ イギリス	11月29日～12月14日	インタビュー、美術館展示調査、打ち合わせ他	科研費	
60	前田　康記	パキスタン	12月20日～12月31日	国際協力調査	受託(文化庁)	
61	安倍　雅史	バーレーン	12月21日～12月28日	バーレーン拠点交流事業	受託(文化庁)	
62	山田　綾乃	バーレーン	12月21日～12月28日	バーレーン拠点交流事業	受託(文化庁)	
63	長尾　琢磨	バーレーン	12月22日～12月28日	バーレーン拠点交流事業	受託(文化庁)	
64	山田　綾乃	トルコ	11月28日～12月7日	トルコ被災文化遺産復興支援事業	防災受託 (東文研管理)	
65	友田　正彦	トルコ	11月28日～12月7日	トルコ被災文化遺産復興支援事業	防災受託 (東文研管理)	
66	安倍　雅史	トルコ	11月28日～12月2日	トルコ被災文化遺産復興支援事業	防災受託 (東文研管理)	
67	小林　公治	韓国	12月18日～12月21日	国立中央博物館での協議 他	科研費	
68	安倍　雅史	バーレーン	6年1月7日～2月17日	ワーディー・アッ＝サイル古墳群の発掘調査等	科研費 運営費交付金	
69	長尾　琢磨	バーレーン	6年1月26日～2月17日	ワーディー・アッ＝サイル古墳群の発掘調査等	科研費 運営費交付金	
70	前川　佳文	イタリア クロアチア	6年2月25日～3月14日	壁画及びスタッコ装飾に係る調査	運営費交付金	
71	友田　正彦	カンボジア	6年3月7日～17日	アンコール・タネイ寺院遺跡における建築調査・国際会議出席	運営費交付金	
72	黒岩　千尋	カンボジア	6年3月8日～31日	アンコール・タネイ寺院遺跡における建築調査・国際会議出席・ワークショップ運営	運営費交付金 ・先方負担	
73	安倍雅史	オーストリア	6年3月19日～23日	ウィーン大学で開催される国際ワークショップに参加	先方負担 (筑波大学)	
74	松浦　一之介	スペイン	6年3月19日～27日	文化財保護法令集作成に伴う現地調査	運営費交付金	

【奈良文化財研究所】延べ　79人

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
1	丹羽　崇史	韓国	5月3日～5月8日	資料調査・研究会発表	科学研究費	
2	柳　成煜	韓国	4月28日～4月30日	韓国文化財保存科学会学術大会参加および韓国研究者との研究協議	先方負担	
3	鈴木　智大	韓国	5月18日～5月21日	韓国建築史学会春季学術大会への出席	先方負担	
4	清野　孝之	韓国	4月28日～5月3日	韓国所在文化財等の調査	京都大学 大学運営費	
5	廣瀬　覚	韓国	6月5日～6月10日	日韓共同研究「日韓における古墳・寺院・都城の造営と儀礼執行をめぐる比較研究」にかかる調査	渡航費：運営費交付金 滞在費：先方負担	
6	松永　悦枝	韓国	6月5日～6月10日	科研研究課題に係る調査	科学研究費	

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
7	石橋　茂登	韓国	6月5日～6月10日	科研研究課題に係る調査協力	科学研究費	
8	岩永　玲	英国	7月31日～8月12日	科研費にかかる資料調査のため	科学研究費	
9	庄田　慎矢	カザフスタン	6月26日～7月7日	科研費　学術変革領域研究（A） ①タクサイ・ウルサイ遺跡の発掘調査およびサンプリング（西カザフ考古学研究所） ②マルグラン考古学研究所での打合せ	科学研究費	
10	庄田　慎矢	韓国	6月26日～7月7日	科研費　基盤研究（A)に関する資料調査・打合せ	科学研究費	
11	山藤　正敏	キルギス	8月5日～8月23日	キルギス共和国チュー渓谷東部における考古学調査	科学研究費	
12	西原　和代	カンボジア	8月20日～8月27日	カンボジア・西トップ遺跡発掘調査およびアンコール遺跡内の類例調査	科学研究費	
13	大林　潤	カンボジア	8月20日～8月27日	カンボジア・西トップ遺跡発掘調査およびアンコール遺跡内の類例調査	科学研究費	
14	杉山洋	カンボジア	8月18日～26日	カンボジア・西トップ遺跡発掘調査	先方負担	
15	小田　裕樹	韓国	9月4日～9月8日	日韓共同研究の一環として扶余・益山地域の遺跡・遺物調査	渡航費：運営費交付金 滞在費：先方負担	
16	加藤　真二	中華人民共和国	8月8日～8月18日	水洞溝・シャラオソ遺跡発掘100周年記念シンポジウム・アジア旧石器協会大会への出席	科学研究費	
17	岩戸　晶子	カナダ	7月6日～7月9日	寄贈資料の受け取り、運搬・随行	運営費交付金	
18	丹羽　崇史	ドイツ	8月19日～8月27日	学会参加・発表(The 16th International Conference on the History of Science in East Asia(16th ICHSEA))	科学研究費	
19	山藤　正敏	イスラエル	9月4日～9月21日	イスラエル国ネゲブ・ベン＝グリオン大学における資料調査	科学研究費	
20	清野　陽一	韓国	9月4日～9月8日	日韓共同研究の一環として扶余・益山地域の遺跡・遺物調査	渡航費：運営費交付金 滞在費：先方負担	
21	道上　祥武	韓国	8月28日～9月27日	国立慶州文化財研究所との発掘交流による派遣	運営費交付金	
22	庄田　慎矢	スウェーデン、デンマーク、エストニア	9月6日～9月18日	浦上助成金の成果発表および科研費　基盤研究(A)に関する調査・打合せ	科学研究費 浦上助成金	
23	庄田　慎矢	ジョージア	10月3日～10月9日	科研（学術変革A）に関する調査・打合せ	科学研究費	
24	今井　晃樹	中華人民共和国	9月13日～9月19日	中国江南の都城と寺院・集落に関する資料調査	科学研究費	
25	髙野　紗奈江	韓国	8月18日～8月20日	第14回　日韓新石器研究会　2023in釜山への参加	科学研究費	
26	廣瀬　覚	韓国	8月18日～8月21日	科学研究費「航路・寄港地から見た倭と古代朝鮮の交渉史に関する日韓共同研究」（研究代表者：国立歴史民俗博物館・高田　貫太）遂行に係る調査	科学研究費	
27	国武　貞克	韓国	8月18日～8月22日	アジア旧石器協会における研究発表	科学研究費	
28	Edward Standall	エストニア・イギリス	9月11日～9月23日	ISBA10の会議に出席、大英博物館にて会議でプレゼンの為	科学研究費	
29	西原　和代	カザフスタン	9月11日～9月18日	カザフスタン・マルグラン研究所およびアルマトイ周辺にて資料調査・学術変革若手育成セミナー運営	科学研究費	
30	柳　成煜	モンゴル	10月17日～10月27日	古代東アジアにおける彩色顔料の起源と流通経路にカンする自然科学的研究（モンゴル現地調査）	助成金 （ヒロセ財団）	
31	廣瀬　覚	中華人民共和国	10月27日～11月5日	早稲田大学と中国社会科学院考古研究所が遂行する日本学術振興会二国間交流事業「日中古代都城の調査方法に関する比較考古学的研究」遂行にともなう中国訪問	先方負担	
32	福嶋　啓人	ブータン王国	10月28日～11月5日	ブータンにおける伝統的石造民家の建造物調査	先方負担	
33	西原　和代	アメリカ合衆国	10月6日～10月13日	カリフォルニア大学バークレー校人類学部での調査及び研究打ち合わせ、研究会参加等	先方負担	
34	庄田　慎矢	ウズベキスタン	10月24日～11月4日	拠点交流事業現地研修	受託（拠点交流）	
35	村上　夏希	ウズベキスタン	10月24日～11月4日	拠点交流事業現地研修	受託（拠点交流）	
36	笠原　朋与	ウズベキスタン	10月24日～11月4日	拠点交流事業現地研修	受託（拠点交流）	
37	馬場　基	中華人民共和国	10月19日～10月24日	研究交流・学会報告・学会参加（主催団体）	渡航費：運営費交付金 滞在費：運営費交付金・先方負担	
38	桑田　訓也	中華人民共和国	10月19日～10月24日	研究交流・学会報告・学会参加	渡航費：運営費交付金 滞在費：運営費交付金・先方負担	
39	中島　義晴	韓国	10月24日～10月27日	韓国国立文化財研究院との共同研究	渡航費：運営費交付金 滞在費：先方負担	

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
40	高橋　知奈津	韓国	10月24日～10月27日	韓国国立文化財研究院との共同研究	渡航費：運営費交付金 滞在費：先方負担	
41	柳　成煜	韓国	11月9日～11月13日	韓国文化財保存科学会第58回大会参加および資料調査	科学研究費	
42	神野　恵	中華人民共和国	12月12日～12月15日	東亜陶瓷史研究国際学術研討会での発表・参加	渡航費：先方負担 国内旅費：科学研究費 滞在費：先方負担	
43	庄田　慎矢	ドイツ	6年1月21日～1月27日	国際会議Environments, Land Use, and Urbanization in Ancient Central Asiaへの参加	科学研究費	
44	丹羽　崇史	中華人民共和国	12月12日～12月15日	東亜陶瓷史研究国際学術研討会での発表・参加	渡航費：先方負担 国内旅費：科学研究費 滞在費：先方負担	
45	加藤　真二	中華人民共和国	6年1月30日～2月4日	科研費による資料調査	科学研究費	
46	岩戸　晶子	韓国	11月16日～11月18日	韓国亙学会への出席	科学研究費	
47	浦　蓉子	中華人民共和国	12月5日～12月25日	中国社会科学院考古研究所との共同研究事業	渡航費：運営費交付金 滞在費：先方負担	
48	扈　素妍	アメリカ合衆国、ハワイ	6年1月4日～1月9日	科研費による国際学会での研究報告及び資料調査	科学研究費	
49	庄田　慎矢	カンボジア	6年2月19日～2月27日	カンボジアの食文化・技術にかかわる民族誌調査	科学研究費	
50	笠原　朋与	バーレーン	6年1月26日～2月8日	ワーディ・アッ＝サイール古墳群などの発掘調査	先方負担	
51	丹羽　崇史	韓国	6年1月21日～1月24日	資料調査	助成金（出光文化福祉財団）	
52	金　旻貞	韓国	12月31日～6年1月7日	研究材料収集及び材料購入	科学研究費	
53	神野　恵	韓国	6年1月21日～1月24日	資料調査	科学研究費	
54	今井　晃樹	中国	6年2月27日～2月29日	中国社会科学院考古研究所への表敬訪問および協議	運営費交付金	
55	本中　眞	中国	6年2月27日～2月29日	中国社会科学院考古研究所への表敬訪問および協議	運営費交付金	
56	清野　孝之	韓国	6年2月19日～2月23日	韓国百済地域出土亙等の調査	科学研究費	
57	濵村　美緒	中国	6年3月7日～3月11日	唐代の壁画墓および都城遺跡の調査	文化庁受託	
58	楊　萌	中国	6年3月7日～3月11日	唐代の壁画墓および都城遺跡の調査	文化庁受託	
59	小田　裕樹	韓国	6年2月18日～2月23日	遊戯史研究の一環として韓国遊戯史関係民俗資料の調査	渡航費：科学研究費 滞在費：先方負担	
60	垣中　健志	韓国	6年1月22日～1月26日	第6回国際会議（慶北大学人文科学コリアプラス研究ユニット）に招待講演者として参加	国内旅費：運営費交付金 渡航費・滞在費：先方負担	
61	石橋　茂登	韓国	6年3月5日～3月8日	国宝高松塚・キトラ古墳壁画恒久保存対策に関する研究業務 大韓民国における関連古墳・遺跡および出土資料の視察	文化庁受託	
62	田村　朋美	韓国	6年1月27日～1月30日	韓国慶州地域出土ガラス玉に関する調査および研究会に参加	科学研究費	
63	柳　成煜	ウズベキスタン共和国	6年2月16日～2月24日	古代東アジアにおける彩色顔料の起源と流通経路に関する自然科学的研究（ウズベキスタン現地調査）	助成金 （ヒロセ財団）	
64	道上　祥武	韓国	6年2月19日～2月23日	「日本の古代都城並びに韓国古代王京の形成と発展過程に関する共同研究」における資料調査	渡航費：運営費交付金 滞在費：先方負担	
65	岩永　玲	韓国	6年2月19日～2月23日	「日本の古代都城並びに韓国古代王京の形成と発展過程に関する共同研究」における資料調査	渡航費：運営費交付金 滞在費：先方負担	
66	田中　龍一	中国	6年2月27日～2月29日	中国社会科学院考古研究所への表敬訪問および協議	運営費交付金	
67	庄田　慎矢	スペイン	6年3月21日～3月25日	バスククリナリーセンターにて博士学位審査、研究打ち合わせ、センター視察	先方負担 科学研究費	
68	川畑　純	韓国	6年2月19日～2月23日	「日本の古代都城並びに韓国古代王京の形成と発展過程に関する共同研究」における資料調査	渡航費：運営費交付金 滞在費：先方負担	
69	山藤　正敏	カンボジア	6年2月23日～3月3日	カンボジア王国西トップ遺跡における発掘調査	科学研究費	
70	廣瀬　覚	韓国	6年3月5日～3月8日	国宝高松塚・キトラ古墳壁画恒久保存対策に関する研究業務 大韓民国における関連古墳・遺跡および出土資料の視察	文化庁受託	
71	道上　祥武	韓国	6年3月5日～3月8日	国宝高松塚・キトラ古墳壁画恒久保存対策に関する研究業務 大韓民国における関連古墳・遺跡および出土資料の視察	文化庁受託	
72	谷澤　亜里	韓国	6年3月5日～3月8日	国宝高松塚・キトラ古墳壁画恒久保存対策に関する研究業務 大韓民国における関連古墳・遺跡および出土資料の視察	文化庁受託	
73	樋口　典昭	韓国	6年3月5日～3月8日	国宝高松塚・キトラ古墳壁画恒久保存対策に関する研究業務 大韓民国における関連古墳・遺跡および出土資料の視察	文化庁受託	
74	若杉　智宏	中国	6年3月7日～3月11日	唐代の壁画墓および都城遺跡の調査	文化庁受託	
75	笠原　朋与	カンボジア	6年2月20日～2月27日	カンボジア王国西トップ遺跡における発掘調査	科学研究費	
76	岩戸　晶子	韓国	6年2月19日～2月23日	「日本の古代都城並びに韓国古代王京の形成と発展過程に関する共同研究」における資料調査	渡航費：運営費交付金 滞在費：先方負担	
77	笠原　朋与	アルメニア	6年3月1日～3月11日	アルメニア・レルナゴーグ遺跡出土の資料調査	先方負担	
78	中田　愛乃	ドイツ	6年3月13日～3月20日	ベルリン国立アジア美術館に収蔵された中国西域壁画の調査	科学研究費	
79	内田　和伸	中国	6年3月13日～3月20日	世界遺産唐長安城大明宮・唐洛陽城洛陽宮の整備活用状況視察	運営費交付金	

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】延べ　20人

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
1	野嶋　洋子	スウェーデン	4月17日～23日	2003年条約条約18条の推進に関するユネスコ専門家会合出席	先方負担	
2	野嶋　洋子	マレーシア	7月6日～10日	SDGs事業におけるジョージタウン世界遺産の無形文化遺産の現状視察および打ち合わせ	文化財保存活用基金	
3	佐々木　一恵	マレーシア	7月6日～10日	SDGs事業におけるジョージタウン世界遺産の無形文化遺産の現状視察および打ち合わせ	文化財保存活用基金	
4	町田　大輔	モンゴル	8月16日～21日	モンゴル文化省が主催する「”Nomads” World Cultural Festival」 への参加	先方負担・一部文化庁受託	
5	于　楽	モンゴル	8月16日～21日	モンゴル文化省が主催する「”Nomads” World Cultural Festival」 への参加	先方負担・一部文化庁受託	
6	町田　大輔	ブルガリア	9月3日～9日	ユネスコC2センター年次会合出席	文化庁受託	
7	野嶋　洋子	ブルガリア	9月3日～9日	ユネスコC2センター年次会合出席	文化庁受託	
8	並木　香奈美	中国	10月11日～18日	アジア太平洋地域における無形文化遺産保護のための能力構築に関する研修ワークショップへの参加	先方負担・一部文化庁受託	
9	辻　貴志	フィリピン	11月6日～12日	第45回フィリピン人類学会大会および第3回フィリピン・クロコダイル会議参加と口頭発表	先方負担	
10	野嶋　洋子	バヌアツ	11月26日～12月23日	科研費(新学術分担)によるバヌアツ、ウレパラパラ島調査	科学研究費補助金	
11	山本　倫未	ボツワナ	12月1日～11日	無形文化遺産保護条約政府間委員会(18.COM)への参加	文化庁受託	
12	于　楽	ボツワナ	12月1日～11日	無形文化遺産保護条約政府間委員会(18.COM)への参加	文化庁受託	
13	野嶋　洋子	オーストラリア	6年2月17日～2月24日	バヌアツの祭祀遺跡および文化的実践に関するアーカイブ調査・情報収集	科学研究費補助金	
14	野嶋　洋子	韓国	6年2月25日～2月28日	2003年無形文化遺産保護条約の定期報告に関するアジア太平洋地域能力構築ワークショップへの参加	先方負担・一部文化庁受託	
15	並木　香奈美	韓国	6年2月25日～3月2日	2003年無形文化遺産保護条約の定期報告に関するアジア太平洋地域能力構築ワークショップへの参加	先方負担・一部文化庁受託	
16	辻　貴志	マレーシア	6年2月29日～3月6日	ジョージタウン世界遺産事務所主催シンポジウム「We are site managers」参加	先方負担・一部文化庁受託	
17	野嶋　洋子	マレーシア	6年3月1日～3月5日	ジョージタウン世界遺産事務所主催シンポジウム「We are site managers」参加	先方負担・一部文化庁受託	
18	町田　大輔	カンボジア	6年3月17日～3月21日	カンボジア・シェムリアップでのThe FY 2023 Workshop (SDGs Project)開催と運営	文化財保存活用基金	
19	野嶋　洋子	カンボジア	6年3月17日～3月21日	カンボジア・シェムリアップでのThe FY 2023 Workshop (SDGs Project)開催と運営	文化財保存活用基金	
20	辻　貴志	カンボジア	6年3月17日～3月21日	カンボジア・シェムリアップでのThe FY 2023 Workshop (SDGs Project)開催と運営	文化財保存活用基金	

c-② 調査研究テーマ一覧

令和6年3月31日現在

国立文化財機構合計	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	皇居三の丸尚蔵館
	98 件	49 件	15 件	11 件	10 件	13 件
180 件	文化財研究所計	東京文化財研究所		奈良文化財研究所		
	73 件	22 件		51 件		
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター	本部文化財活用センター		本部文化財防災センター		
	1 件	2 件		6 件		

【本部文化財活用センター】　2件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する研究　1件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	レプリカやVR等先端技術を使った、文化財の活用についての調査・研究	文化財活用センター	企画担当課長　藤田千織

○その他有形文化財に関連する調査研究　1件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	展示・収蔵環境の管理と改善に関する調査研究	文化財活用センター	保存担当課長　吉田直人

【本部文化財防災センター】　6件

○レスキュー及び収蔵・展示における技術開発　6件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	社寺等における文化財の安全対策に関する研究	文化財防災センター	文化財防災統括リーダー　小谷竜介
2	文化財建造物及び展示収蔵環境の防火対策に関する研究	文化財防災センター	文化財防災統括リーダー　小谷竜介
3	災害時の一時保管施設の確保と環境整備に関する調査研究	文化財防災センター	文化財防災統括リーダー　小谷竜介
4	灰汁を使用した水損資料の処置方法に関する研究	文化財防災センター	文化財防災統括リーダー　小谷竜介
5	文化財の災害リスクの所在とその対処手法に関する研究	文化財防災センター	文化財防災統括リーダー　小谷竜介
6	けいはんなオープンイノベーションセンターにおける一時保管体制の構築	文化財防災センター	文化財防災統括リーダー　小谷竜介

【東京国立博物館】　49件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する研究　46件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	a.特別調査「法隆寺献納宝物」（第43次）	学芸研究部	調査研究課長　小山弓弦葉 調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕
2	c.特別調査「工芸」第13回	学芸研究部	調査研究課長　小山弓弦葉
3	d.特別調査「彫刻」第11回	学芸研究部	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕
4	e.特別調査「絵画」第8回	学芸研究部	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕
5	f.特別調査「考古」第1回	学芸研究部	調査研究課考古室長　井出浩正
6	関東地域の社寺所蔵文化財に関する調査研究	学芸研究部	列品管理課長　沖松健次郎
7	収蔵品等の有形文化財に関する調査研究	学芸研究部	調査研究課絵画・彫刻室主任研究員（兼東洋室）植松瑞希
8	美術工芸品に用いられた画絹及び染織品の組成にかかる共同研究	学芸研究部	列品管理課長　沖松健次郎
9	東洋民族に関する調査研究	学芸研究部	保存修復課保存修復室長　猪熊兼樹
10	特集「親と子のギャラリー　尾・しっぽ」に関連する調査研究	学芸企画部	博物館教育課教育講座室主任研究員 横山梓
11	特集「特集初期伊万里の粋−染付から初期色絵まで」に関連する調査研究	学芸企画部	博物館教育課教育講座室主任研究員 横山梓
12	特集「令和4年度新収品」に関連する調査研究	学芸研究部	企画課特別展室研究員　高橋真作 調査研究課考古室研究員　菊池望
13	特集「虫譜づくりの舞台裏―栗本丹洲著『千虫譜』とその展開」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課書跡・歴史室研究員 長倉絵梨子
14	特集「藤原定家―『明月記』とその書―」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課書跡・歴史室研究員 樋笠逸人
15	特集「儒教の美術―湯島聖堂由来の絵画・工芸を中心にして」に関連する調査研究	学芸研究部	企画課特別展室研究員　福島修
16	特集「関東大震災と東京国立博物館」に関連する調査研究	学芸研究部	保存修復課環境保存室研究員 黄川田翔
17	特集「姫君婚礼につき―蒔絵師総出の晴れ舞台 」に関連する調査研究	学芸研究部	企画課特別展室研究員　福島修
18	特集「日本初のチベット探検―僧河口慧海の見た世界―」に関連する調査研究	学芸研究部	列品管理課登録室主任研究員 西木政統

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
19	特集「創立80周年記念　常盤山文庫の名宝」に関連する調査研究	学芸研究部	企画課出版企画室主任研究員 三笠景子
20	特集「近世のやまと絵ー王朝美の伝統と継承ー」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕
21	特集「東京国立博物館の寒山拾得図―伝説の風狂僧への憧れ―」に関連する調査研究	学芸企画部	学芸企画部長　松嶋雅人
22	特集「仏画のなかのやまと絵山水」に関連する調査研究	学芸研究部	博物館教育課教育普及室研究員 古川攝一
23	特集「羽黒鏡―霊山に奉納された和鏡の美」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課工芸室主任研究員　清水健
24	特集「日本の伝統模様「秋草」」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課長　小山弓弦葉
25	特集「中国書画精華―日本におけるコレクションの歴史」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課絵画・彫刻室主任研究員(兼東洋室)植松瑞希
26	特集「大聖寺藩（石川県）前田家伝来の能面」に関連する調査研究	学芸研究部	博物館教育課ボランティア室長 川岸瀬里
27	特集「キリシタンの祈りと聖母マリア」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課絵画・彫刻室研究員 増田政史
28	特集「茶碗　茶の湯を語るうつわ」に関連する調査研究	学芸企画部	企画課出版企画室主任研究員 三笠景子
29	特集「博物館に初もうで　謹賀辰年―年の初めの龍づくし―」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課東洋室主任研究員 児島大輔
30	特集「生誕180年記念　呉昌碩の世界−金石の交わり−」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課東洋室研究員 六人部克典
31	特集「塔と厨子」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課工芸室主任研究員　清水健
32	特集「親と子のギャラリー　中尊寺のかざり」に関連する調査研究	学芸企画部	博物館教育課教育普及室長　品川欣也
33	特集「おひなさまと日本の人形」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課長　小山弓弦葉
34	館蔵の埴輪等資料に関する調査研究	学芸研究部	調査研究課考古室長　井出浩正
35	特別展「東福寺」に関連する調査研究	学芸企画部	企画課特別展室研究員　高橋真作
36	特別展「古代メキシコ　ーマヤ、アステカ、テオティワカン」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課考古室長　井出浩正
37	浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念　特別展「京都・南山城の仏像」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課絵画・彫刻室　丸山士郎
38	「横尾忠則　寒山百得」に関連する調査研究	学芸企画部	学芸企画部長　松嶋雅人
39	特別展「やまと絵―受け継がれる王朝の美―」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕
40	特別展「本阿弥光悦の大宇宙」に関連する調査研究	学芸企画部	学芸企画部長　松嶋雅人
41	創建900年特別展「中尊寺金色堂」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課東洋室主任研究員 児島大輔
42	博物館環境デザインに関する調査研究	学芸企画部	企画課デザイン室長　矢野賀一
43	博物館教育に関する調査研究	学芸企画部	博物館教育課長　鈴木みどり
44	凸版印刷及び文化財活用センターと共同で実施するミュージアムシアターにおけるコンテンツの開発に関する調査研究	学芸企画部	博物館情報課長　村田良二
45	ICTを利用した博物館見学ガイドの開発に関する調査研究	学芸企画部	博物館教育課長　鈴木みどり
46	博物館広報・国際交流活動に関する調査研究	学芸企画部	上席研究員（兼）広報室長　鬼頭智美 国際交流室長　楊鋭

○その他有形文化財に関連する調査研究　3件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	博物館の環境保存に関する調査研究	学芸研究部	保存修復課長　和田浩
2	博物館資料・業務の情報処理に関する調査研究	学芸企画部	博物館情報課長　村田良二
3	創立150年へ向けた館史編纂のための基礎的な資料整理と調査研究	学芸企画部	百五十年史編纂室長　原田あゆみ

【京都国立博物館】　15件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する研究　11件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	近畿地区を中心とする社寺文化財の調査研究	学芸部	調査・国際連携室長　降矢哲男
2	訓点資料としての典籍に関する調査研究	学芸部	美術室研究員　上杉智英
3	旧家伝来品・収蔵品などの有形文化財に関する調査研究	学芸部	工芸室長　山川曉
4	京都周辺出土の考古遺物に関する調査研究	学芸部	考古室長　石田由紀子
5	特集展示・特別企画に関連する調査研究	学芸部	企画室長　山川曉
6	日本近代における中国書画の受容に関する調査研究	学芸部	美術室研究員　森橋なつみ
7	書跡及び絵画の伝来と散逸に関する調査研究	学芸部	美術室長　羽田聡
8	特別展「東福寺」に関する調査研究	学芸部	列品管理室研究員　森道彦
9	特別展「雪舟伝説―『画聖』の誕生―」に関する調査研究	学芸部	保存修理指導室主任研究員　福士雄也
10	特別展「法然と極楽浄土」に関する調査研究	学芸部	企画室主任研究員　井並林太郎

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
11	博物館教育及びボランティアに関する調査研究	学芸部	教育室主任研究員　水谷亜希

○その他有形文化財に関連する調査研究　4件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	修復文化財に関する資料収集及び調査研究	学芸部	保存修理指導室長　羽田聡
2	文化財の製作・技法等に関わる材質構造調査・研究	学芸部	保存科学室長　降幡順子
3	社寺等における保存環境に関する調査研究	学芸部	保存科学室長　降幡順子
4	データベースやアーカイブズ等、収蔵品等情報の整理・活用に関する調査研究	総務課 学芸部	課長　森考平 列品管理室長　永島明子

【奈良国立博物館】 11件

○有形文化財の展覧事業・教育普及活動等に関連する調査研究　8件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	復元模写制作に伴う仏教絵画の調査研究	学芸部	企画室長　谷口耕生
2	古代・中世の写経と聖教に関する基礎的研究	学芸部	列品室長　斎木涼子
3	仏教工芸・上代工芸の総合的調査	学芸部	主任研究員　三本周作
4	寺院出土品の調査研究	学芸部	教育室長　中川あや
5	南都の古代・中世の彫刻に関する調査研究	学芸部	美術室長　岩井共二
6	浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念　特別展「聖地　南山城―奈良と京都を結ぶ祈りの至宝―」に関する調査研究	学芸部	主任研究員　山口隆介
7	特別展「第75回正倉院展」に関する調査研究	学芸部	主任研究員　三本周作
8	歴史、伝統文化の教育普及に資するための調査研究	学芸部	教育室長　中川あや

○その他有形文化財に関連する調査研究　3件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	収蔵庫・展示室・ケース内部等における環境が文化財に与える影響などに関する調査研究	学芸部	保存修理指導室長　鳥越俊行
2	文化財修理の観点からの収蔵品等の調査研究	学芸部	保存修理指導室長　鳥越俊行
3	保存科学の観点からの収蔵品等の調査研究	学芸部	保存修理指導室長　鳥越俊行

【九州国立博物館】10件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する研究　6件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	X線CTスキャナ等による文化財の構造や製作技法に関する調査研究	学芸部博物館科学課	課長兼環境保全室長　木川りか
2	特集展示「誕生250年記念　秋田蘭画ことはじめ―それは『解体新書』から始まった―」に関する調査研究	学芸部文化財課	主任研究員　畑靖紀
3	特集展示「日本刀の美ー北﨑徹郎の愛刀ー」に関する調査研究	学芸部企画課	主任研究員　望月規史
4	特別展「憧れの東洋陶磁ー大阪市立東洋陶磁美術館の至宝ー」に関連する調査研究	学芸部企画課	主任研究員　酒井田千明
5	展示のテーマに則した解説パネル・冊子・ワークショップ等、 観覧者の理解促進のための教育普及プログラムに関する調査研究	学芸部企画課	主任研究員　西島亜希子
6	文化交流展示室における障がい者向け展示解説プログラムに 関する調査研究	展示課 学芸部企画課 交流課	課長　齋部麻矢 主任研究員　加藤小夜子 主任研究員　西島亜木子 主任研究員　今井涼子

○その他有形文化財に関連する調査研究　4件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	文化財の材質・構造等に関する共同研究	学芸部博物館科学課	研究員　渡辺祐基
2	博物館における国内・アジア地域の文化財保存修復に関する研究	学芸部博物館科学課	保存修復室長　志賀智史
3	博物館危機管理としての持続的IPMシステムの研究	学芸部博物館科学課	課長兼環境保全室長　木川りか
4	展示収蔵環境の空気質に関する調査研究	学芸部博物館科学課	課長兼環境保全室長　木川りか

【皇居三の丸尚蔵館】13件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する研究　12件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	開館記念展「皇室のみやびー受け継ぐ美ー」に関し、展示作品の調査	学芸部展示・普及課	展示・普及課長　戸田浩之
2	国宝「唐獅子図屏風」の高精細複製品の制作にかかる調査	学芸部	副館長　朝賀浩
3	「萬国絵図屏風」ほか館蔵品の関連作品に関する調査研究	学芸部	管理・情報課研究員　上嶋悟史
4	光格天皇の文化活動に関する調査研究	学芸部	管理・情報課研究員　上嶋悟史

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
5	令和6年北海道での地方展開展覧会事業に関する調査研究	学芸部	管理・情報課研究員　上嶋悟史
6	考古資料の三次元計測調査	学芸部	調査・保存課研究員　細川晋太郎
7	行橋市増田美術館及び福岡県立美術館における橋本雅邦、川辺御楯作品の調査研究	学芸部	展示・普及課研究員　田中純一郎
8	収蔵品に関連した三跡の総合的研究	学芸部	調査・保存課長　髙梨真行
9	クリーブランド美術館三代清風與平展での収蔵品との比較による調査研究	学芸部	展示・普及課主任研究員　岡本隆志
10	令和7年度長崎県での地方展開展覧会事業に関する調査研究	学芸部	管理・情報課研究員　芳澤直之
11	新潟県における明治天皇巡幸地の古写真と現在の比較について調査研究	学芸部	調査・保存課研究員　細川晋太郎
12	ホノルル美術館所蔵「弘法大師行状絵詞」の調査研究およびイオラニ宮殿等における多言語対応調査	学芸部	管理・情報課研究員　野中愛理

○その他有形文化財に関連する調査研究　1件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	文化財の修理・保存に関する調査研究	学芸部	調査・保存課長　髙梨真行

【東京文化財研究所】　22件

(1) 新たな知見の開拓につながる基礎的・探求的な調査研究　7件

○有形文化財、伝統的建造物群に関する調査研究　4件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	文化財に関する調査研究成果及び研究情報の共有に関する総合的研究	文化財情報資料部	文化財アーカイブズ研究室長　橘川英規
2	日本東洋美術史の資料学的研究	文化財情報資料部	日本東洋美術史研究室長　小野真由美
3	近・現代美術に関する調査研究と資料集成	文化財情報資料部	近・現代視覚芸術研究室長　江村知子
4	美術作品の様式表現・制作技術・素材に関する複合的研究と公開	文化財情報資料部	広領域研究室長　安永拓世

○無形文化財、無形民俗文化財等に関する調査及び研究　3件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	重要無形文化財の保存・活用に資する調査研究等及び無形文化遺産に関わる音声・画像・映像資料のデジタル化	無形文化遺産部	無形文化財研究室長　前原恵美
2	重要無形民俗文化財の保存・活用に資する調査研究等	無形文化遺産部	無形民俗文化財研究室長　久保田裕道
3	無形文化遺産保護に関する研究交流・情報収集等	無形文化遺産部	部長　石村智

(2) 科学技術を応用した研究開発の進展等に向けた基盤的な研究　8件

○文化財の調査手法に関する研究開発の推進　1件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	文化財情報の分析・活用と公開に関する調査研究	文化財情報資料部	文化財情報研究室長　二神葉子

○文化財の保存修復及び保存技術等に関する調査研究　7件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	文化財生物劣化の分子生物学的手法による機構解明と環境調和型対策	保存科学研究センター	生物科学研究室長　佐藤嘉則
2	文化財の保存環境にかかる調査研究	保存科学研究センター	保存環境研究室長　秋山純子
3	文化財の材質・構造・状態調査に関する研究	保存科学研究センター	分析科学研究室長　犬塚将英
4	屋外文化財の保存修復計画に関する調査研究	保存科学研究センター	修復計画研究室長　朽津信明
5	文化財修復材料と伝統技法に関する調査研究	保存科学研究センター	修復材料研究室長　早川典子
6	多様な文化財の修復技術に関する調査	保存科学研究センター	修復技術研究室長　建石徹
7	高松塚古墳・キトラ古墳の恒久的保存に関する調査研究	保存科学研究センター	保存科学研究センター長　建石徹

(3) 文化遺産保護に関する国際協働　5件

○文化遺産保護に関する国際協働の総合的な推進　5件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	文化遺産保護に関する国際情報の収集・研究・発信	文化遺産国際協力センター	国際情報研究室長　金井健
2	アジア諸国等文化遺産保存修復協力	文化遺産国際協力センター	保存計画研究室長　安倍雅史
3	文化遺産の保存修復技術に係る国際的研究	文化遺産国際協力センター	技術支援研究室長　加藤雅人
4	国際研修	文化遺産国際協力センター	技術支援研究室長　加藤雅人

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
5	在外日本古美術品保存修復協力事業	文化遺産国際協力センター	技術支援研究室長　加藤雅人

(4) 文化財に関する情報資料の収集・整備及び調査研究成果の公開・活用　2件

○文化財情報基盤の整備・充実　2件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	文化財情報基盤の整備・充実	文化財情報資料部	文化財情報研究室長　二神葉子
2	専門的アーカイブと総合的レファレンスの拡充	文化財情報資料部	文化財アーカイブズ研究室長 橘川英規

【奈良文化財研究所】　51件

(1) 新たな知見の開拓につながる基礎的・探求的な調査研究　18件

○有形文化財、伝統的建造物群に関する調査研究　2件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	歴史的建造物及び伝統的建造物群の保存・修復・活用の実践的研究	文化遺産部	建造物研究室長　大林潤
2	近畿を中心とする古寺社等所蔵の歴史資料等に関する調査研究	文化遺産部	歴史研究室長　　吉川聡

○記念物、文化的景観、埋蔵文化財に関する調査研究　16件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	我が国の記念物に関する調査研究（遺跡等整備）	文化遺産部	遺跡整備研究室長　内田和伸 景観研究室長　　中島義晴
2	我が国の記念物に関する調査研究（庭園）	文化遺産部	遺跡整備研究室長　内田和伸
3	平城宮・京跡の発掘調査	都城発掘調査部（平城）	都城発掘調査部副部長　今井晃樹
4	藤原宮大極殿院地区・藤原京跡の発掘調査	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）	都城発掘調査部長　箱崎和久
5	飛鳥地域等の発掘調査	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）	都城発掘調査部長　箱崎和久
6	平城宮・京跡出土遺物・遺構の調査・研究	都城発掘調査部（平城）	都城発掘調査部副部長　今井晃樹
7	飛鳥・藤原京跡出土遺物・遺構に関する調査研究等	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）	都城発掘調査部長　箱崎和久
8	東アジアにおける工芸技術及び飛鳥時代の建築遺物等の研究	飛鳥資料館	学芸室長　石橋茂登
9	中国との共同研究	都城発掘調査部	都城発掘調査部副部長　今井晃樹
10	韓国との共同研究	都城発掘調査部	都城発掘調査部長　箱崎和久
11	文化的景観及びその保存・活用に関する調査研究	文化遺産部	景観研究室長　中島義晴
12	全国の埋蔵文化財に関する基盤的な調査研究	埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター長　金田明大
13	古代官衙・集落遺跡に関する研究集会の開催及び報告書の刊行	都城発掘調査部	都城発掘調査部副部長　今井晃樹
14	古代瓦に関する研究集会の開催及び報告書刊行	都城発掘調査部	都城発掘調査部副部長　今井晃樹
15	出土文字資料の拠点的研究	都城発掘調査部	都城発掘調査部長　箱崎和久
16	水中文化遺産に関する調査研究	水中遺跡プロジェクトチーム	副所長　加藤真二

(2) 科学技術を応用した研究開発の進展等に向けた基盤的な研究　11件

○文化財の調査手法に関する研究開発の推進　5件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	埋蔵文化財の探査・計測方法の研究開発	埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター長　金田明大
2	年輪年代学研究	埋蔵文化財センター	年代学研究室長　星野安治
3	動植物遺存体の分析方法の研究開発	埋蔵文化財センター	環境考古学研究室長　山崎健
4	文化財の調査・研究成果を社会・教育実装するためのICTを用いた普及・啓発手法の開発	埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター長　金田明大
5	物質文化・地質情報等を基とした防災・減災・復興・復旧の歴史的研究	埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター主任研究員　村田泰輔

○文化財の保存修復及び保存技術等に関する調査研究　6件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	考古遺物の保存処理法に関する調査研究	埋蔵文化財センター	保存修復科学研究室長　脇谷草一郎
2	遺構の安定した保存のための維持管理方法に関する調査研究	埋蔵文化財センター	保存修復科学研究室長　脇谷草一郎
3	考古遺物を中心とした文化財の材質調査に関する調査研究	埋蔵文化財センター	保存修復科学研究室長　脇谷草一郎
4	高松塚古墳の壁画等の調査及び保存・活用に関する技術的な協力	埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター長　金田明大
5	キトラ古墳の壁画等の調査及び保存・活用に関する技術的な協力	埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター長　金田明大
6	遺跡現地における壁画の安定した保存と公開活用を行うための劣化状態調査、適切な石室内の熱水分環境に関する検討	埋蔵文化財センター	保存修復科学研究室長　脇谷草一郎

(3) 文化遺産保護に関する国際協働　4件

○文化遺産保護に関する国際協働の総合的な推進　4件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	文化遺産保護に関する国際情報の収集・研究・発信（ユネスコ等）	企画調整部	国際遺跡研究室長　庄田慎矢
2	文化遺産に関する研究交流（イギリス等）	企画調整部	国際遺跡研究室長　庄田慎矢
3	アジア地域等の文化遺産に関する調査研究及び保護協力事業	企画調整部	国際遺跡研究室長　庄田慎矢
4	ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）等が行う研修への協力	企画調整部	国際遺跡研究室長　庄田慎矢

(4) 文化財に関する情報資料の収集・整備及び調査研究成果の公開・活用　6件

○文化財情報基盤の整備・充実　　3件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	文化財に関するデータベースの充実	企画調整部	文化財情報研究室長　高妻洋成
2	文化財情報のデジタルアーカイブに関する実践研究	企画調整部	文化財情報研究室長　高妻洋成
3	図書の収集・整理・公開・提供	研究支援推進部	連携推進課長　山上徹

○調査研究成果の発信　1件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	定期刊行物の刊行、公開講演会・現地説明会等の開催、ウェブサイトの充実	研究支援推進部	連携推進課長　山上徹

○展示公開施設の充実　2件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	平城宮跡資料館・飛鳥資料館・藤原宮跡資料室における展示公開	企画調整部 飛鳥資料館 都城発掘調査部（飛鳥・藤原）	展示企画室長　岩戸晶子 飛鳥資料館学芸室長　石橋茂登 都城発掘調査部長　箱崎和久
2	平城宮跡解説ボランティアの研修内容の充実及び運用改善	研究支援推進部	連携推進課長　山上徹

(5) 地方公共団体等を対象とする文化財に関する研修及び協力等　12件

○文化財に関する研修の実施　1件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	文化財担当者研修	企画調整部 研究支援推進部	企画調整部長　清野孝之

○文化財に関する協力・助言等　5件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	地方公共団体等が行う平城地区の発掘調査等への援助・助言	都城発掘調査部（平城）	都城発掘調査部副部長　今井晃樹
2	地方公共団体が行う飛鳥・藤原地区の発掘調査への指導・助言	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）	都城発掘調査部長　箱崎和久
3	地方公共団体等が行う文化財及びその保存・活用に関する技術的助言	奈良文化財研究所	所長　本中眞
4	他機関等との共同研究及び受託研究	奈良文化財研究所	所長　本中眞
5	地震・水害等により被災した文化財の復旧に関する地方公共団体等が行う文化財保護事業への支援・協力	埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター長　金田明大

○平城宮跡、飛鳥・藤原宮跡等の公開・活用事業への協力　5件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	文化庁、国土交通省が行う平城宮跡、飛鳥・藤原宮跡の整備・管理等への協力	研究支援推進部	研究支援課長　西川知延
2	文化庁が行うキトラ古墳壁画保存管理施設の管理・運営と古墳壁画の公開事業への協力	飛鳥資料館	学芸室長　石橋茂登
3	国土交通省が行う平城宮跡第一次大極殿院を中心とする復原・整備・活用等への協力	都城発掘調査部（平城）	都城発掘調査部長　箱崎和久
4	国土交通省が行う平城宮いざない館での公開・活用事業への協力	企画調整部	展示企画室長　岩戸晶子
5	NPO法人平城宮跡サポートネットワーク及び周辺自治会等が行う各種ボランティア活動への協力	研究支援推進部	連携推進課長　山上徹

○連携大学院との連携教育等の推進　1件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	京都大学・奈良女子大学との間での連携大学院教育の推進及び奈良大学への教育協力	奈良文化財研究所	所長　本中眞

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】　1件

	調査研究テーマ名	担当部課
1	アジア太平洋地域の無形文化遺産保護に関する調査研究	アジア太平洋無形文化遺産研究センター

（参考）受託研究一覧

合計	本部文化財防災センター	東京文化財研究所	奈良文化財研究所	アジア太平洋無形文化遺産研究センター
46 件	5 件	8 件	32 件	1 件

【本部文化財防災センター】　5件

	調査研究テーマ名	担当部課
1	被災美術工芸資料等安定化処理及び修理業務	文化財防災センター
2	水損資料クリーニング業務	文化財防災センター
3	国立国会図書館関西館所蔵資料の修復作業	文化財防災センター
4	トルコにおける文化遺産防災体制構築を見据えた被災文化遺産復興支援事業	文化財防災センター
5	文化財防災のための詳細資料保存に係る調査業務	文化財防災センター

【東京文化財研究所】　8件

	調査研究テーマ名	担当部課
1	国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策に関する調査等業務	保存科学研究センター
2	特別史跡キトラ古墳保存対策等調査業務	保存科学研究センター
3	美術工芸品保存修理用具・原材料調査事業	保存科学研究センター
4	エアロゾル消火薬剤が文化財に与える影響	保存科学研究センター
5	文化遺産国際協力コンソーシアム事業	文化遺産国際協力センター
6	令和5年度文化遺産国際協力拠点交流事業「デジタル技術を用いたバハレーンにおける文化遺産の記録・活用に関する拠点形成事業」	文化遺産国際協力センター
7	近現代建築等の保護・継承に係る海外事例調査	文化遺産国際協力センター
8	旧機那サフラン酒製造本舗土蔵鏝絵保存修復調査業務委託	文化遺産国際協力センター

【奈良文化財研究所】　32件

	調査研究テーマ名	担当部課
1	生駒市内歴史的建造物詳細調査業務	文化遺産部
2	松江市美保関伝統的建造物群保存対策調査業務委託	文化遺産部
3	近代和風建築等総合調査事業仙北市角館武家住宅総合調査	文化遺産部
4	東大寺東塔復元案作成にかかる調査研究業務	都城発掘調査部（平城）
5	平城宮跡歴史公園朱雀大路東側地区　文化財発掘調査業務	都城発掘調査部（平城） 埋蔵文化財センター 企画調整部
6	法華寺旧境内の発掘調査（656次）	都城発掘調査部（平城） 埋蔵文化財センター 企画調整部
7	法華寺跡の発掘調査（659次）	都城発掘調査部（平城） 埋蔵文化財センター 企画調整部
8	生駒市内須恵器窯跡の調査	都城発掘調査部（平城） 埋蔵文化財センター
9	七ヶ瀬遺跡出土玉類の調査研究	都城発掘調査部（飛鳥・藤原） 埋蔵文化財センター
10	法華寺境内調査成果(発掘・庭園)解説資料作成事業	都城発掘調査部（平城） 文化遺産部
11	なら産地学官連携プラットフォーム・タスクフォース活動支援事業	都城発掘調査部（平城）
12	和束の茶業景観における報告書作成業務	文化遺産部
13	和束の茶業景観保存活用計画策定に向けた支援業務	文化遺産部
14	令和5年度水中遺跡保護体制の整備充実に関する調査研究事業	水中遺跡プロジェクトチーム
15	令和5年度史跡後瀬山城跡地中レーダー探査委託業務	埋蔵文化財センター
16	史跡出雲国府跡の発掘調査に必要とする地中レーダー探査	埋蔵文化財センター
17	若松城三の丸堀跡地中レーダー探査	埋蔵文化財センター
18	唐子人形頭部の構造解析	埋蔵文化財センター
19	地層処分環境における金属の腐食現象に関する研究委託業務	埋蔵文化財センター 都城発掘調査部（平城）
20	令和5年度　国史跡ガランドヤ古墳における運用手法の検討及び墳丘復元法検討業務	埋蔵文化財センター
21	令和5年度史跡闘鶏山古墳の調査保存に資する基礎的調査	埋蔵文化財センター

	調査研究テーマ名	担当部課
22	国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策に関する研究等業務	文化遺産部 都城発掘調査部 埋蔵文化財センター 飛鳥資料館
23	特別史跡キトラ古墳の保存・活用にかかる研究等業務	文化遺産部 都城発掘調査部~~(飛鳥・藤原)~~ 埋蔵文化財センター 飛鳥資料館
24	令和5年度文化遺産国際協力拠点交流事業(ウズベキスタンにおける考古遺産の科学的調査に関する技術移転を目的とした拠点交流事業)	企画調整部
25	令和5年度緊急的文化遺産保護国際貢献事業(専門家交流)(ウクライナ戦争被災地における文化遺産の保護に係る専門家交流)	企画調整部
26	人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業(拠点機関)	企画調整部 都城発掘調査部(平城)
27	デジタル技術を活用した前方後円墳の探索支援業務	企画調整部
28	明日香村西橘遺跡出土遺物の総合的研究	都城発掘調査部(飛鳥・藤原)
29	考古・文献史料からみた歴史災害情報の収集とデータベース構築・公開並びにその地質考古学的解析	埋蔵文化財センター
30	特別史跡平城宮跡及び藤原宮跡地内における歴史的環境維持業務	研究支援推進部
31	第一次大極殿院建造物復原整備他にかかる調査委託	都城発掘調査部(平城)
32	平城宮いざない館詳覧ゾーンにかかる学芸業務および解説案内等業務	企画調整部

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】　1件

	調査研究テーマ名	担当部課
1	令和5年度　無形文化遺産保護パートナーシッププログラム	アジア太平洋無形文化遺産研究センター

c-③ 学会、研究会等発表実績一覧

令和6年3月31日現在

国立文化財機構合計	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	皇居三の丸尚蔵館
	266件	110件	42件	62件	46件	6件
458件	文化財研究所計	東京文化財研究所		奈良文化財研究所		
	171件	72件		99件		
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター	本部文化財活用センター		本部文化財防災センター		
	2件	9件		10件		

【本部文化財活用センター】　9件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　2件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究	「ミュージアムを『他人事』から『自分事』に～文化財に親しむためのさまざまな取組み～」	文化財活用センター企画担当課長　藤田　千織	4月23日	美術史学会　美術館博物館委員会東西合同シンポジウム「美術館・博物館教育のこれまで、これから」
2	同上	「デジタル法隆寺宝物館への招待―〈ぶんかつ〉体験型展示のあゆみ」	文化財活用センター企画担当課長　藤田　千織	6月17日	東京国立博物館月例講演会

○その他有形文化財に関連する調査研究　7件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	展示・収蔵環境の管理と改善に関する調査研究	文化財の保存科学	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創	8月25日	文化庁 第12回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー(京都)
2	同上	博物館収蔵庫について（総論）	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創	6月23日	文化庁　公開承認施設会議
3	同上	展示ケース内で使用されるクロス材からのアンモニア放散と原因等に関する調査研究	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
4	同上	保存科学　環境制御（保存環境管理）	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創	9月5日	国文学研究資料館令和4年度アーカイブズ・カレッジ長期コース
5	同上	文化財保存のための温湿度管理、照明、空気環境のコントロール	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創	10月5日	文化財虫菌害研究所　第43回文化財防虫防菌処理実務講習会
6	同上	IPM からみた博物館等の施設管理	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創	12月8日	文化財虫菌害研究所　第12回文化財IPM コーディネータ資格取得のための講習会
7	同上	日本における文化財の保存と活用の潮流	文化財活用センター保存担当研究員　間渕創	6年2月10、11日	国立民族学博物館　国際シンポジウム「博物館における資料保存の過去、現在、そして未来」

【本部文化財防災センター】10件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	文化財等の防災・救援等への寄与	災害調査システムの実働	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	9月12日	日本建築学会建築歴史・意匠委員会歴史的建築データベース小委員会
2	同上	地域の連携体制で文化財をまもるBuilding regional cooperation system for disaster preparedness and response of cultural heritage	文化財防災センター研究員　中島志保、同センター長　高妻洋成	8月11日・12日	東アジア文化遺産保存学会
3	同上	Cultural Heritage Disaster Risk Management System and Resoinse in the Event of a Disaster in Japan	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	9月21日	立命館大学 International Training Course on Disaster Risk Management of Cultural Heritage 2023
4	同上	Disaster Risk Assessment and Prevention for ICH -Introducing the activities of Cultural Heritage Disaster Risk Management Center, Japan-	文化財防災センター研究員　後藤知美	9月27日	Research on ICH Safeguarding and Disaster Risk Management Project
5	同上	Development of Disaster Preparedness Manual for Saitama Prefectural Museum Collection	文化財防災センター研究員　黄川田翔	10月11日	ICOM - ICMS Annual Conference 2023 in Tokyo

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
6	同上	シミュレーションを用いた彫刻作品の転倒防止に関する研究ー框の形状に着目してー	京都国立博物館学芸部保存科学室長・降幡順子、文化財防災センターアソシエイトフェロー・中屋菜緒	10月20日	日本文化財科学会第40回大会
7	同上	資料が安定して保管できるー時保管環境づくり	文化財防災センター研究員　小峰幸夫	12月8日	研修 ー時保管環境の生物被害対策ワークショップ（奈良国立博物館）
8	同上	文化財防災の視点に立った文化財の保存の潮流	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	6年2月10日、11日	国立民族学博物館国際シンポジウム「博物館における資料保存の過去、現在、そして未来」
9	同上	首都圏１都７県の文化財防災への取り組みと災害対策の課題	文化財防災センター研究員　黄川田翔	6年2月17日	第10回全国史料ネット研究交流集会
10	同上	2023年度文化財防災センターの活動について	文化財防災センター研究員　黄川田翔、上椙英之	6年2月17日、18日	第10回全国史料ネット研究交流集会

【東京国立博物館】110件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　94件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	有形文化財の収集・保管・展覧事業・教育普及活動等に関する調査研究	「近世好古図録に描かれた寺社宝物」	調査研究課工芸室主任研究員　清水健	4月1日	第１１５回歴博フォーラム「いにしえの『玉手箱』、近世好古図録をひらく」（国立歴史民俗博物館）
2	同上	事例報告：東京国立博物館の展示・照明のリニューアルデザイン	上席研究員　木下史青	5月3日	台湾 國立故宮博物院 展示照明の最適化に関わる検討会議
3	同上	大和地域	調査研究課考古室研究員　山本亮	5月20日	古代学研究会5月例会『弥生後期社会の実像ー集落構造と地域社会ー』ミニシンポジウム「近畿弥生後期社会の体系的把握に向けてー」
4	同上	北海道常呂郡置戸町置戸山２遺跡の第５次発掘調査概要報告	調査研究課考古室　飯田茂雄　ほか	5月23日	日本考古学協会
5	同上	農具鉄製刃先の所有と社会システムの変化ー古墳時代の西日本を中心にー	企画課特別展室主任研究員　河野正訓　ほか	5月28日	日本考古学協会第89回総会
6	同上	古墳時代初頭の布留遺跡の変化と特性	調査研究課考古室研究員　山本亮　ほか	5月28日	日本考古学協会第89回例会
7	同上	祥啓と鎌倉画壇 ―「観音図(三十二幅)」と「喜江禅師像」を中心に	企画課特別展室研究員　高橋真作	5月28日	県博セミナー「画僧祥啓の生涯とその絵の魅力」（神奈川県立歴史博物館）
8	同上	日本の美の原点	博物館教育課教育普及室長　品川欣也	6月2日	海外展「日本の美の原点」、イラクリオン考古学博物館
9	同上	装飾古墳の謎	学芸研究部長　河野一隆	6月17日	東アジアの古代文化を考える会
10	同上	「デジタル法隆寺宝物館」への招待	博物館教育課　藤田千織、列品管理課登録室主任研究員　西木政統	6月17日	月例講演会
11	同上	京都・浄瑠璃寺に伝来した十二神将立像に対する CT 調査と修理	副館長　浅見龍介、列品管理課登録室主任研究員　西木政統、保存修復課調査分析室専門職　宮田将寛、ほか	6月24日	文化財保存修復学会第45回大会
12	同上	仏像文化財の CT スキャンデータを用いた当初造形の検証	保存修復課調査分析室専門職　宮田将寛　ほか	6月24日	文化財保存修復学会第45回大会
13	同上	「古物・唐物・倣製品」	企画課特別展室研究員　福島修	2023年7月14日～16日、21日～23日	裏千家今日庵東京出張所
14	同上	古墳は楽しい	企画課特別展室主任研究員　河野正訓	7月22日	歴民第24回歴史講演会
15	同上	古墳時代の武威と祭祀ー昼飯大塚古墳の鉄柄斧からー	企画課特別展室主任研究員　河野正訓	7月22日	大垣市教育委員会主催歴史講座
16	同上	X-ray CT and manufacturing technique of the sculptures	保存修復課調査分析室専門職　宮田将寛　ほか	7月31日	Research colloquium on Clay Sculptures from Central Asia

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
17	同上	Sarasa: the Essential Items in Maritime Trade through the Asian Sea Lanes	企画課長　原田あゆみ	8月5日	International Symposium "Art and Culture in Asia", Venue: Auditorium of Silpakorn University.
18	同上	円珍が伝えた文書典籍	客員研究員　惠美千鶴子	8月10日	ユネスコ「世界の記憶」登録記念講演
19	同上	「P-126 １６世紀から１９世紀にかけて日本で鋳造された古銀貨の蛍光Ｘ線分析」	調査研究課考古室長 井出浩正、 調査研究課工芸室主任研究員　清水健　ほか	8月11日・8月12日	2023東アジア文化遺産保存国際シンポジウムin札幌 ポスター発表（東アジア文化遺産保存学会）
20	同上	Development of Digital Image Restoration Techniques for Cultural Properties Using Statistical Image Processing and Deep Learning	学芸研究部長　河野一隆	8月13日	Society of Eastern Asian Archaeology
21	同上	Deep convolutional classification and clustering analyses of Sue Wares on types and dating using 3D-RGBA 128*128*128 voxel data and a Generative AI Model for documentation	調査研究課考古室研究員 山本亮　ほか	8月13日	8 th Symposium on Archaeomaterial Studies Archaeomaterial Studies in East Aisa
22	同上	海外展覧会の紹介	博物館教育課教育普及室長　品川欣也	8月17日	2023年中韓日国家博物館海外展覧会企画に関するオンラインセミナー、東京国立博物館
23	同上	帯状銅釧の製作技術に関する諸問題	調査研究課考古室研究員 菊池望	8月20日	アジア鋳造技術史学会奈良大会
24	同上	明治日本の記録と記憶：横浜写真アルバムのアルバムという形式について	企画課国際交流室アソシエイトフェロー　足立奈緒子	8月26日	写真研究会
25	同上	数種の動物紋様について	客員研究員　高濱秀	9月30日	草原考古研究会
26	同上	「北の近江」の仏像の魅力	列品管理課登録室主任研究員　西木政統　ほか	10月9日	(仮称)新・琵琶湖文化館に関する県民フォーラムⅢ
27	同上	Rediscovering Silk Road Collections: Textiles Brought to Japan by the Ōtani Expeditions	列品管理課登録室アソシエイトフェロー 廣谷妃夏	10月16日	The 7th Symposium of IASSRT(International Association for the Study of Silk Road Textiles/国際シルクロード染織学会) Reconnections along the Silk Roads:Restoring and reconstructing textiles from afar, Norwich,UK
28	同上	東京国立博物館所蔵カトリック・メダルの金属組成	保存修復課保存修復室研究員　野中昭美、列品管理課登録室主任研究員 西木政統、調査研究課絵画・彫刻室　増田政史 ほか	10月21日	日本文化財科学会第 40 回記念大会
29	同上	奈良盆地の実態からみる古墳時代の始まり	調査研究課考古室研究員 山本亮	11月15日	かながわ考古学同好会
30	同上	古代のアート：見せる埋葬の比較考古学	学芸研究部長　河野一隆	11月18日、12月2日	早稲田大学オープンカレッジ・中野校
31	同上	画像復元と機械学習	学芸研究部長　河野一隆	11月23日	新潟国際情報大学30周年記念シンポジウム
32	同上	大谷探検隊将来染織資料とトルファン・アスターナ古墓群被葬者の関係―第１号被葬者付帯の錦綾の年代考察を軸に―	列品管理課登録室アソシエイトフェロー 廣谷妃夏	11月25日	美術史学会東支部例会
33	同上	東京国立博物館の保存修復室の取り組み（口頭発表）	保存修復課保存修復室研究員　野中昭美	11月30日	日韓学術交流（国立中央博物館）
34	同上	法隆寺宝物館を楽しむために	列品管理課登録室主任研究員　西木政統	12月2日	早稲田大学エクステンションセンター
35	同上	カザフスタン調査概要	客員研究員　高濱秀	12月2日	草原考古研究会
36	同上	近代日本の博物館・埋蔵文化財保護の黎明と江田船山古墳	調査研究課考古室研究員 山本亮	12月3日	江田船山古墳発掘150年記念シンポジウム
37	同上	神奈川県立図書館（前川國男館）再整備：「魅せる図書館」の機能の具体化に向けた取組等について	上席研究員　木下史青	12月7日	神奈川県教育委員会教育局
38	同上	東京国立博物館の展示デザインと環境	上席研究員　木下史青	12月8日	福島県博物館連絡協議会
39	同上	考古学者は土器をどうみているか	博物館教育課教育普及室長　品川欣也	12月10日	文化講座、那覇市壺屋焼物博物館
40	同上	韓国の博物館・美術館の保存科学部署の視察と華角(화각)貼作品の基礎調査（口頭発表）	保存修復課保存修復室研究員　野中昭美	12月22日	日韓学術交流（東京国立博物館）
41	同上	東京国立博物館所蔵チベット仏教関係資料にみる中国・明清代の黄銅使用	西木 政統（登録室主任研究員）	6年1月14日	「黄銅（鍮石・真鍮）の歴史とその伝来の道「Brass Road」の研究」 2023年度研究会
42	同上	和物茶陶の発見と創造	特任研究員・今井敦	6年1月27日	月例講演会

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
43	同上	「智証大師円珍関係文書典籍」　世界の記憶登録に向けて	客員研究員　惠美千鶴子	6年2月8日	ユネスコ「世界の記憶」に関する研修会
44	同上	日本甲冑の特質―機能性・装飾性・象徴性	企画課特別展室長　佐藤寛介	6年2月17日	令和5年度因伯名刀フォーラム特別編
45	同上	「源氏主題の工芸意匠」	企画課特別展室研究員　福島修	6年3月10日	シンポジウム「源氏文化研究の最前線」（主催：東京富士美術館、源氏絵データベース研究会、美術史学会）
46	同上	陪冢論と農工具ーカトンボ山古墳の鉄斧を中心にー	企画課特別展室主任研究員　河野正訓	6年3月14日	科研基盤B「陪冢と大量器物埋納の再分析に基づく 巨大古墳群の構造把握と社会複雑化過程の研究」第11回研究会
47	同上	The Making of Minchō's Five Hundred Arhats: References and Modifications (Organized Panel Sessions: The Mirage of Shōrai Bijutsu: New Approaches to Cross-Cultural Interaction in East Asia)	企画課特別展室研究員　高橋真作	6年3月15日	AAS (Association for Asian Studies) 2024 Annual Conference Seattle
48	同上	国立西洋美術館所蔵絵画３作品の年輪年代調査	保存修復課調査分析室専門職　宮田将寛　ほか	6年3月15日	第74回　日本木材学会大会
49	同上	危機に瀕した人類最古の装飾墓を地域ぐるみで守り伝える実践的基盤の構築	学芸研究部長　河野一隆	6年3月17日	考古DL研究会
50	同上	原六郎コレクションの新たな展開―三井寺旧日光院客殿障壁画研究を契機として―	企画課アソシエイトフェロー　小野 美香	6年3月26日	第11回文化財情報資料部研究会 東京文化財研究所
51	同上	深層生成モデルVAEおよびVQ-VAEの潜在空間を使った須恵器のクラスタリング	調査研究課考古室研究員　山本亮　ほか	6年3月30日	日本情報考古学会第49回大会
52	収蔵品等の有形文化財に関する調査研究	描かれた染織―〈松浦屏風〉から浮世絵まで―	調査研究課長 小山弓弦葉	4月30日	大和文華館講座
53	同上	タンニン酸鉄媒染綿布に対するフノリと膠処置による保存方法の検討	保存修復課保存修復室研究員　佐藤萌 ほか	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
54	同上	琉球の染織に見る、周辺地域との交遊ーその模様・技法・素材から探るー	調査研究課長 小山弓弦葉	7月15日	沖縄県立博物館・美術館連続講座
55	同上	明末清初の書法流通―長条幅の連綿草を中心として―	学芸研究部調査研究課東洋室研究員　六人部克典	9月2日	黒川古文化研究所・西宮市・西宮市教育委員会共催第69回夏季講座「豊饒なる乱世―明末の芸苑と消費社会―」
56	同上	中世能を語る ―春日神社伝来能装束―	調査研究課長 小山弓弦葉	9月24日	関市文化会館「関市春日神社伝来能面能装束調査報告会」
57	同上	尾形光琳筆「冬木小袖」とその周辺	調査研究課長 小山弓弦葉	10月14日	東京国立博物館月例講演会
58	同上	Non-Archaeological Silk Road Textiles in Japan: Reconsidering Fragments from the Shōsō-in and Hōryū-ji	調査研究課長 小山弓弦葉	10月16日	7th Symposium of International Association for the Study of Silk Road Textiles (IASSRT), in Norwich-London, UK
59	同上	Ｘ射線計算機断層操描影像下的陳介祺旧蔵封泥研究　　以“皇帝信璽”封泥為中心	客員研究員　谷豊信	10月21日	紀念陳介祺誕辰210周年陳介祺学術思想与金石文字研究国際討論会（中国山東省濰坊市）
60	同上	「五馬図巻」の修理	調査研究課絵画・彫刻室主任研究員　植松瑞希	11月4日	特別展「北宋書画精華」国際学術シンポジウム
61	同上	事例報告　ミュージアムにおける陶片資料の活用　―東京国立博物館の陶片紹介―	博物館教育課教育講座室主任研究員　横山梓	11月12日	東洋陶磁学会創立50周年記念シンポジウム
62	同上	石製模造品の起源と古墳文化の東方伝播	学芸研究部長　河野一隆	11月25日	日本考古学会公開講演会「発掘最前線　富雄丸山古墳」
63	特集「藤原定家―『明月記』とその書―」に関連する調査研究	藤原定家の書と『明月記』	調査研究課書跡・歴史室　樋笠逸人	7月15日	東京国立博物館月例講演会
64	特集「関東大震災と東京国立博物館」に関連する調査研究	関東大震災と東京国立博物館	学芸研究部長　河野一隆	8月20日	文化財防災センター主催シンポジウム
65	同上	関東大震災と東京国立博物館	企画課特別展室長　佐藤寛介	9月2日	月例講演会
66	特集「仏画のなかのやまと絵山水」に関連する調査研究	やまと絵の魅力	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	10月21日	みずほプレミアムクラブ向け講演会
67	特集「茶碗　茶の湯を語るうつわ」に関連する調査研究	本館4室「茶の美術」リニューアル　みどころ	博物館教育課教育講座室主任研究員　横山梓	6年2月8日	特別講演会「本館4室茶の美術　リニューアル記念　英語で楽しむ和菓子の魅力」（当館平成館大講堂）
68	特集「塔と厨子」に関連する調査研究	「厨子の世界を開く」	調査研究課工芸室主任研究員　清水健	6年2月10日	東京国立博物館月例講演会
69	特別展「東福寺」に関連する調査研究	墨跡にみる円爾と聖一派	調査研究課東洋室研究員　六人部克典	11月18日	京都国立博物館「特別展　東福寺」記念講演会

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
70	特別展「古代メキシコ　ーマヤ、アステカ、テオティワカン」に関連する調査研究	特別展「古代メキシコ―マヤ、アステカ、テオティワカン」の魅力	調査研究課考古室研究員 山本亮	7月13日	NHKメディア総局展開センター自治体講演会（東京都小平市）
71	同上	特別展「古代メキシコ―マヤ、アステカ、テオティワカン」の魅力	調査研究課考古室研究員 山本亮	7月14日	NHKメディア総局展開センター自治体講演会（東京都北区）
72	浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念　特別展「京都・南山城の仏像」に関連する調査研究	仏像の楽しみ方 ～京都・南山城へのいざない	調査研究課絵画・彫刻室 増田政史	6月28日	NIKKEIプラス１フォーラム 「NIKKEIプラス１倶楽部フェス」
73	同上	南山城の仏像の世界	調査研究課絵画・彫刻室 増田政史	9月28日	東京国立博物館　記念講演会
74	特別展「やまと絵―受け継がれる王朝の美―」に関連する調査研究	やまと絵の成立と展開	調査研究課絵画・彫刻室 長　土屋貴裕	10月20日	特別展「やまと絵―受け継がれる王朝の美―」記念講演会
75	同上	古代中世やまと絵入門	調査研究課絵画・彫刻室 長　土屋貴裕	10月21日	中日文化センター
76	同上	仏画に見るやまと絵	博物館教育課教育普及室 研究員　古川 攝一	11月4日	中日文化センター講座
77	同上	仏画とやまと絵	博物館教育課教育普及室 研究員　古川 攝一	11月10日	特別展「やまと絵―受け継がれる王朝の美―」記念講演会
78	特別展「本阿弥光悦の大宇宙」に関連する調査研究	「国宝「舟橋蒔絵硯箱」を解剖する」	企画課特別展室研究員 福島修	6年1月30日	特別展「本阿弥光悦の大宇宙」記念講演会（東京国立博物館大講堂）
79	同上	「『光悦蒔絵』が語るもの」	企画課特別展室研究員 福島修	6年1月31日	特別展「本阿弥光悦の大宇宙」記念講演会（江東区古石場文化センター（NHK））
80	同上	「『光悦蒔絵』が語るもの」	企画課特別展室研究員 福島修	6年2月10日	特別展「本阿弥光悦の大宇宙」記念講演会（栄中日文化センター（中日新聞社））
81	博物館環境デザインに関する調査研究	神奈川県立図書館（前川國男館）再整備：「魅せる図書館」の機能の具体化に向けた取組等について	上席研究員　木下史青	12月7日	神奈川県教育委員会教育局
82	同上	東京国立博物館の展示デザインと環境	上席研究員　木下史青	12月8日	福島県博物館連絡協議会
83	博物館教育に関する調査研究	上野の山で動物めぐり「尾・しっぽ」	博物館教育課教育講座室 主任研究員　横山梓	5月14日	上野動物園、国立科学博物館、東京国立博物館　三館園合同事業 オンライン講座
84	同上	感覚過敏の来館者のための「東京国立博物館　センサリーマップ」の制作について（口頭発表）	博物館教育課長　鈴木みどり 博物館教育課教育普及室 アソシエイトフェロー 増田万里奈	6月4日	日本ミュージアムマネージメント学会
85	同上	感覚過敏の来館者のための「東京国立博物館　センサリーマップ」の制作について（ポスター発表）	博物館教育課長　鈴木みどり 博物館教育課教育普及室 アソシエイトフェロー 増田万里奈	6月4日	日本ミュージアムマネージメント学会
86	同上	共生社会の実現を目指したナラティブ フィンランドにおけるミュージアムの教育事例から	博物館教育課教育講座室 アソシエイトフェロー 山本桃子 ほか	6月25日	日本デザイン学会第70回春季研究発表大会
87	同上	「AIと戯れる美術鑑賞」の試み ChatGPT3.5を用いたLineChatbotとの協同鑑賞	博物館教育課教育普及室 アソシエイトフェロー 阿部美里　ほか	8月10日～9月10日（オンライン開催）	日本教育心理学会
88	同上	Digital Narrative from the University Museums and Libraries of Agricultural and Life Sciences: Prospects for the Future from the Past to Present	博物館教育課教育講座室 アソシエイトフェロー 山本桃子	8月31日	ICOM UMAC, Sydney大会
89	同上	対話の積み重ねによるミュージアムの多文化共生ーフィンランドの事例からー	博物館教育課教育講座室 アソシエイトフェロー 山本桃子	9月8日	日本社会教育学会 第70回研究大会
90	同上	東京国立博物館の鑑賞ガイドアプリとアクセシビリティ対応　（口頭発表）	博物館教育課教育普及室 アソシエイトフェロー 増田万里奈	10月16日	日韓学術交流事業（韓国中央博物館）
91	同上	韓国の博物館・美術館・科学館における鑑賞ガイドツール、デジタルコンテンツ、アクセシビリティ　（口頭発表）	博物館教育課教育普及室 アソシエイトフェロー 増田万里奈	11月14日	日韓学術交流事業（東京国立博物館）
92	同上	Digital narratives using natural history objects related to Japanese culture and tradition at the university museum and library of agricultural and life sciences	博物館教育課教育講座室 アソシエイトフェロー 山本桃子　ほか	11月21日	ICOM CECA Conference Organising Committee 2023
93	同上	「アクセシビリティと美術館」（運営、ファシリテーション）	教育普及室アソシエイトフェロー・増田万里奈	6年3月7日、6年3月8日	全国美術館会議

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
94	博物館広報・国際交流活動に関する調査研究	東京国立博物館が主催した海外展について	企画課特別展室長 佐藤寛介	8月17日	2023年中韓日国家博物館海外展覧会企画に関するセミナー

○その他有形文化財に関連する調査研究　16件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	博物館の環境保存に関する調査研究	展示室内滞留者データの可視化に関する研究	保存修復課長　和田浩	6月18日	日本展示学会第42回研究大会
2	同上	空気質特性を考慮した資料保管用中性紙箱の適切な使用方法に関する検証	保存修復課長　和田浩	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
3	同上	AR技術を用いた文化財の履歴情報の利活用に関する基礎的研究	保存修復課長　和田浩	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
4	同上	文化財保護のための安全輸送・梱包設計に関する研究	保存修復課長　和田浩	7月20日	日本包装学会第32回年次大会
5	同上	国内長距離輸送における振動の連続計測と解析	保存修復課長　和田浩	7月20日	日本包装学会第32回年次大会
6	同上	落下衝撃試験による綿の衝撃吸収特性の検証	保存修復課長　和田浩	9月4日	日本機械学会2023年度年次大会
7	同上	文化財の保存におけるシミュレーション技術の活用と今後の展望	保存修復課長　和田浩	11月17日	RecurDyn Users’ Conference 2023
8	同上	東京国立博物館における文化財の保存	保存修復課長　和田浩	6年2月11日	みんぱく創設50周年記念国際シンポジウム　博物館における資料保存の過去、現在、そして未来
9	同上	Visualization of airflow and humidity transfer occurring within a display case	保存修復課長　和田浩	6年2月27日	The Staatliche Museen zu Berlin Evening Lecture
10	博物館資料・業務の情報処理に関する調査研究	東京国立博物館におけるMLAの情報連携を語る	博物館情報課情報管理室長 阿児雄之	4月22日	アート・ドキュメンテーション学会美術館図書室SIG
11	同上	鼎談2：東京国立博物館におけるMLAの情報連携を語る	博物館教育課情報管理室長 阿児 雄之、百五十年史編纂室　小野美香、博物館情報課情報資料室長　山﨑美和	4月22日	アート・ドキュメンテーション学会美術館図書室SIG「『ミュージアム・ライブラリとミュージアム・アーカイブズ』刊行記念ワークショップ ミュージアム・ライブラリとミュージアム・アーカイブズの地平 ―― その過去・現在・未来を見とおす」
12	同上	デジタルアーカイブと技能獲得	博物館情報課情報管理室長 阿児雄之	7月15日	情報メディア学会第22回研究大会シンポジウム
13	同上	寺院所蔵の文化財の保存と活用	博物館情報課情報管理室長 阿児雄之	7月23日	第1回地域歴史協働ユニット研究会
14	同上	スリムモデル実装階梯	博物館情報課情報管理室長 阿児雄之	8月9日	多様な自然史情報発信のための講座（１）
15	同上	『令和4年度教育における広域なデジタルコンテンツの利活用環境の整備に向けた調査研究報告書』の分析	博物館情報課情報管理室長 阿児雄之	10月28日	アート・ドキュメンテーション学会第16回秋季研究集会
16	創立150年へ向けた館史編纂のための基礎的な資料整理と調査研究	国宝でたどる東京国立博物館の150年	客員研究員　惠美千鶴子	7月22日	中日文化センター

【京都国立博物館】42件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　29件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	近畿地区を中心とする社寺文化財の調査研究	清水寺縁起絵巻について	学芸部企画室主任研究員 井並林太郎	11月26日	清水寺 北法相宗仏教文化講座
2	同上	石位寺石仏の歴史と現在	学芸部教育室主任研究員 竹下繭子	10月7日	忍坂街道まつり講演会
3	同上	多武峯の歴史と仏像	同上	10月22日	清水寺 北法相宗仏教文化講座
4	同上	経典にみる観音菩薩	学芸部調査・国際連携室 研究員　上杉智英	8月27日	清水寺 北法相宗仏教文化講座
5	同上	袈裟と有職織物	学芸部上席研究員兼企画室長兼工芸室長　山川暁	6年1月24日	真宗大谷派所蔵 染織品調査報告会・研究会（千總文化研究所）
6	同上	日本にのこる伝法衣ー異国の師からの相伝品ー	学芸部上席研究員兼企画室長兼工芸室長　山川暁	6年2月15日	禅宗法式シンポジウム（花園大学）

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
7	収蔵品・寄託品等及び各博物館の特色に応じた歴史・伝統文化に関連する調査研究	瓦の文様のはるかな旅路―京博所蔵の瓦から―	学芸部考古室長　石田由紀子	12月24日	清水寺 北法相宗仏教文化講座
8	同上	マリー・アントワネットも愛蔵した清水寺図の蒔絵小箱	学芸部列品管理室長　永島明子	5月28日	清水寺 北法相宗仏教文化講座
9	同上	釈迦堂縁起絵巻（清涼寺蔵）の修理報告と研究	学芸部企画室主任研究員　井並林太郎	5月13日	「五台山仏教文化圏における文物の生成・継承・波及」第3回ワークショップ（於京都大学人文科学研究所、オンライン開催）
10	同上	仏像の見方	学芸部教育室主任研究員　竹下繭子	7月15日	智積院　智山専修学院特別講義
11	同上	「茶の湯の歴史」	学芸部・調査・国際連携室長　降矢哲男	4月15日	兵庫陶芸美術館 特別展「丹波の茶道具 茶の湯を彩る兵庫のやきもの」関連事業
12	同上	「古田織部とその時代ー利休以後の茶人たちとその好みー」	同上	5月20日	華鴿大塚美術館 茶論講座（茶の湯事始 2　古田織部の時代展関連講座）
13	同上	「茶の湯の成り立ち」	同上	8月8日	京都国立博物館講堂 第75回日米学生会議
14	同上	「佐竹本からみえる数寄者の想い」	同上	8月26日	中條文化振興財団 あ・うんの数寄講座　「第9回　茶の湯をさらに楽しむ夏期講習」
15	同上	「高麗茶碗ー茶人たちが魅せられたその背景ー」	同上	9月3日	京都市国際交流会館 野村美術館開館40周年記念シンポジウム「茶碗　茶を飲む器の変遷と多様性」
16	同上	「開山堂に納められた高麗青磁」	同上	10月1日	天野山金剛寺 第18回天野山金剛寺ヴェーダ講座
17	同上	「小堀遠州と高麗茶碗」	同上	10月9日	日比谷コンベンションホール 公益財団法人小堀遠州顕彰会秋季講演会
18	同上	「高麗時代の陶磁器」	同上	12月19日	裏千家東京茶道会館 茶の湯教養講座「青山グリーンアカデミー」
19	同上	「茶の湯の歴史にみえる天目」	同上	6年2月17日	多治見市産業文化センター シンポジウム「小名田窯下の白天目をめぐって」
20	同上	「畠山即翁と数寄者との交友 ―益田鈍翁、松永耳庵、小林逸翁を中心に―」	同上	6年3月16日	大分県立美術館 畠山記念館名品展関連講演会
21	同上	京都国立博物館蔵、明覚著述の紹介	学芸部調査・国際連携室研究員　上杉智英	8月10日	薬王院温泉寺　明覚上人顕彰会
22	同上	The Chinese Painter Muqi in Japanese Culture（日本における牧谿の受容）	学芸部調査・国際連携室研究員　森橋なつみ	11月17日	学術交流基本協定に基づく共催展開催記念講演会（サンフランシスコ・アジア美術館）
23	同上	京都東山から欧米に渡った袈裟	学芸部調査・国際連携室主任専門職 リンネ　マリサ	6月25日	清水寺　北法相宗仏教文化講座博物館の仕事―仏教文化から博物館の日常まで―
24	同上	近世の植物画と大森文庫	学芸部列品管理室研究員　森道彦	6年3月17日	きょうと生物多様性センター「フォーラム　京都の文化と生物多様性～動植物標本のデジタル化の意義」（京都府立京都学・歴彩館）
25	同上	極書を極める―狩野派画家、もうひとつの仕事―	学芸部保存修理指導室主任研究員　福士雄也	6年3月30日	徳島城博物館 美術史アカデミー「狩野派研究最前線！」
26	特別展「親鸞―生涯と名宝」に関する調査研究	中世の高僧伝絵の作画工房について	学芸部保存修理指導室長兼美術室長　羽田聡	4月23日	公益財団法人仏教美術上野記念算段　研究発表と座談会「浄土真宗を中心とした祖師信仰とその造詣」（京都国立博物館）
27	同上	14世紀真宗の絵画制作と絵師・工房	学芸部企画室主任研究員　井並林太郎	4月23日	公益財団法人仏教美術研究上野記念財団　研究発表と座談会　浄土真宗を中心とした祖師信仰とその造形（於京都国立博物館）
28	同上	親鸞の肖像と絵伝-祖師信仰の美術-	同上	4月26日	「京都国立博物館 親鸞聖人生誕850 年特別展『親鸞　生涯と名宝』展の見どころ」（於栄中日文化センター）
29	同上	親鸞と聖徳太子　ー京博 vs 龍谷　学芸員イチ推しバトルー	学芸部調査・国際連携室研究員　上杉智英	4月16日	龍谷ミュージアム記念講演会

○その他有形文化財に関連する調査研究　13件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	国内外の博物館等への援助・助言等	浄土宗総本山知恩院境内施設の保管環境に関する調査	学芸部保存科学室長　降幡順子、企画室主任研究員　井並林太郎、文化財防災センターアソシエイトフェロー　中屋菜緒、列品管理室研究員　近藤無滴、知恩院　前田昌信、関良法、三枝樹典子、北村まどか	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
2	同上	Introduction on the Kyoto National Museums facilities and disaster risk countermeasures for movable cultural properties	学芸部保存科学室長　降幡順子	9月15日	立命館大学International Training Course on Disaster Risk Management of Cultural Heritage 2023
3	同上	シミュレーションを用いた彫刻作品の転倒防止に関する研究-框の形状に着目して-	学芸部保存科学室長　降幡順子、アソシエイトフェロー　中屋菜緒、学芸部教育室主任　竹下繭子、追手門学院大学教授　淺湫毅	10月21日	日本文化財科学会第40回大会
4	博物館情報、文化財情報に関する調査研究	SNSを利用した仏像のフォトグラメトリーにおける検証と考察	奈良県立大学特任教授　山田修、学芸部教育室主任研究員　竹下繭子、東京藝術大学准教授　岡田靖	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
5	文化財の製作技法・材料等に関する調査研究	京都・浄瑠璃寺に伝来した十二神将立像に対するCT調査と修理	学芸部保存科学室長　降幡順子、東京国立博物館鳥越俊行・西木政統・宮田将寛・浅見龍介、静嘉堂文庫美術館　小池富雄・長谷川祥子、調査員池田素子、追手門学院大学教授　淺湫毅	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
6	同上	寺家遺跡出土ガラス関連遺物の非破壊材質分析	学芸部保存科学室長　降幡順子、東京電機大学阿部善也・村串まどか、岡山私立オリエント美術館　四角隆二、金沢大学小嶋芳孝	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
7	同上	博物館とX線CT調査-作品修理、時々新発見-	学芸部保存科学室長　降幡順子、列品管理室主任研究員　末兼俊彦、四天王寺　南谷恵敬	9月13日	日本非破壊検査協会放射線部門講演会
8	同上	御室仁清窯出土陶片の胎土に関する調査	学芸部保存科学室長　降幡順子、調査・国際研究室長　降矢哲夫、学芸部長　尾野善裕	10月21日	日本文化財科学会第40回大会
9	同上	絵画資料にみる真鍮泥の使用-法華経絵巻（京博本）を中心として-	学芸部保存科学室長　降幡順子	6年1月13日	黄銅（鍮石・真鍮）の歴史と伝来の道「Bross　Road」の研究、2023年度研究会
10	その他有形文化財に関連する調査研究	6世紀末から8世紀の瓦窯と瓦生産	学芸部考古室長　石田由紀子	11月4日	発掘された明石の歴史展～明石の古窯とやきもの・瓦～講演会とシンポジウム
11	同上	古代日韓(加耶他)交流史の問題点Ⅱ-分析と研究の展望-	学芸部研究員　古谷 毅	7月8日	第3回古代東アジア文化交流史 共同学術研究会(慶北大學校・京都国立博物館科学研究費基盤B研究会 合同研究会)
12	同上	古代日韓(加耶他)交流史の問題点Ⅱ-分析と研究の展望-	学芸部研究員　古谷 毅	10月7日	第4回古代東アジア文化交流史 共同学術研究会(ソウル大學校・京都国立博物館科学研究費基盤B研究会 合同研究会)
13	同上	古代日韓交流史の問題点Ⅲ-日韓埴輪群構成における人物・動物表現-	学芸部研究員　古谷 毅	6年3月2日	第5回古代東アジア文化交流史 共同学術研究会(慶北大學校・京都国立博物館科学研究費基盤B研究会 合同研究会)

【奈良国立博物館】　62件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　30件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	収蔵品等及び館の特色に応じた歴史・伝統文化に関連する調査研究	文化遺産を守る――法隆寺と博物館――	館長　井上洋一	7月26日	法隆寺夏季大学
2	同上	古代ローマとテルマエ・大分	同上	10月26日	「テルマエ展 お風呂でつながる古代ローマと日本」関連イベント講演会
3	同上	本州西端の地　周防・長門の仏像	美術室長　岩井共二	8月23日	第49回奈良国立博物館夏季講座
4	同上	藤原道長と紫式部の時代	列品室長　斎木涼子	12月17日	奈良国立博物館サンデートーク
5	同上	伯耆国府跡出土の八稜鏡鋳型をめぐる世界	教育室長　中川あや	12月24日	おうちだにアカデミー　とっとりのお宝おひろめ展記念講演会
6	同上	奈良国立博物館の近代建築―旧帝国奈良博物館本館・旧奈良県物産陳列所―	情報サービス室長　宮崎幹子	4月6日	畿央大学人間環境デザイン学科
7	同上	百済観音の世界	工芸考古室主任研究員　三田覚之	5月21日	奈良国立博物館サンデートーク
8	同上	円空上人と静岡―作仏聖の系譜―	同上	5月25日	みのり大学藁科学級公開講座
9	同上	大行寺本尊阿弥陀如来像について	企画室主任研究員　山口隆介	9月30日	鎌倉時代の阿弥陀如来立像　名品を訪ねて
10	同上	尾添区の阿弥陀如来立像について―保存修理の知見をふまえて―	同上	11月3日	白山ミュージアムサーキット記念イベント
11	同上	獅子・狛犬の魅力	教育室研究員　内藤航	10月14日	奈良国立博物館サンデートーク
12	同上	愛すべき狛犬の世界	同上	11月11日	「特別展　神殿狛犬の魅力」関連講座
13	同上	香の美術	工芸考古室アソシエイトフェロー　伊藤旭人	6月18日	奈良国立博物館サンデートーク
14	同上	奈良の山々と美術	美術室アソシエイトフェロー　松井美樹	4月16日	奈良国立博物館サンデートーク
15	浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念　特別展「聖地　南山城―奈良と京都を結ぶ祈りの至宝―」に関する調査研究	南山城と律宗の美術	企画室長　谷口耕生	8月19日	「浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念　特別展　聖地　南山城―奈良と京都を結ぶ祈りの至宝―」公開講座
16	同上	浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念 特別展「聖地 南山城」に伴う科学調査	保存修理指導室長　鳥越俊行、教育室長　中川あや、保存修理指導室アソシエイトフェロー　加藤沙弥	10月22日	日本文化財科学会第40回記念大会
17	同上	聖地　南山城の仏像	企画室主任研究員　山口隆介	3月26日	木津川市加茂文化財愛護会事業　愛護のつどい
18	同上	聖地　南山城の神と仏	同上	8月26日	「浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念　特別展　聖地　南山城―奈良と京都を結ぶ祈りの至宝―」公開講座
19	「第75回　正倉院展」に関する調査研究	正倉院宝物の源流を考える	学芸部長　吉澤悟	8月25日	奈良カレッジズ学問祭
20	同上	今年も正倉院展に行こう	同上	9月10日	奈良学セミナー
21	同上	正倉院宝物の魅力―美しい文様とかたち、その起源―	同上	9月29日	京都アスニー講座
22	同上	正倉院宝物と仏教美術	同上	10月29日	正倉院学術シンポジウム2023
23	同上	せいぶ正倉院講座	同上	11月2日	奈良市西部公民館
24	同上	正倉院宝物と聖武天皇の葬儀	同上	11月5日	国立歴史民俗博物館共同研究「死者への行為が形成する認識と社会変容」
25	同上	宝物に込められた祈り―転輪聖王としての聖武天皇―	工芸考古室主任研究員　三田覚之	10月28日	「第75回　正倉院展」公開講座
26	同上	今年の正倉院展のみどころ	工芸考古室主任研究員　三本周作	9月25日	読売新聞社主催　正倉院展講座in東京
27	同上	第75回正倉院展が100倍面白くなる！奈良国立博物館の主任研究員が教える今年の見どころ	同上	10月6日	奈良公園バスターミナルイベント実行委員会主催　大人のならびと見聞録
28	同上	正倉院の箱を観る	工芸考古室アソシエイトフェロー　伊藤旭人	11月11日	「第75回　正倉院展」公開講座

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
29	同上	研究員レクチャー付き鑑賞券講演会　第75回正倉院展編	同上	11月13日	奈良国立博物館講堂
30	同上	8世紀の柄香炉について―正倉院宝物を中心に―	同上	12月21日	国立慶州博物館

〇その他有形文化財に関連する調査研究　32件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	その他有形文化財に関する調査研究	文化遺産力―その価値と社会的役割―	館長　井上洋一	6年1月28日	なら・観光ボランティアガイドの会
2	同上	さがみはらの弥生文化	館長　井上洋一	6年3月2日	田名向原遺跡旧石器時代学習館(旧石器ハテナ館)
3	同上	対談：奈良国立博物館と私	学芸部長　吉澤悟（共同発表：西山厚）	6年1月20日	奈良市生涯学習財団
4	同上	ならめぐりの事前学習として	保存修理指導室長　鳥越俊行	9月21日	奈良教育大学附属中学校フィールドワーク授業「奈良めぐり」の事前授業
5	同上	東京国立博物館所蔵チベット仏教関係資料にみる中国・明清代の黄銅使用	同上（共同発表：西木政統）	6年1月14日	黄銅（鍮石・真鍮）の歴史とその伝来の道「Brass Road」の研究」2023年度研究会
6	同上	国立西洋美術館3作品の年輪年代調査	保存修理指導室長　鳥越俊行（共同発表：大山幹成、宮田将寛）	6年3月15日	第74回 日本木材学会大会
7	同上	材料分析から見た丁銀の特徴	保存修理指導室長　鳥越俊行	6年3月19日	石見銀山遺跡客員研究員検討会
8	同上	イギリス王子たちがみた日本―明治14年の旅行記と古写真―	資料室長　宮崎幹子	6年2月18日	奈良国立博物館サンデートーク
9	同上	魅せる博物館をめざして―奈良国立博物館の挑戦―	教育室研究員　翁みほり	6月17日	奈良大学
10	同上	文化財の魅力を広めるための挑戦	教育室研究員　翁みほり	8月20日	奈良国立博物館サンデートーク
11	同上	博物館の教育普及事業	教育室アソシエイトフェロー　久米彩也加	11月18日	深志課題探究ゼミ2023
12	同上	文化財防災センターの取り組み	保存修理指導室アソシエイトフェロー　小峰幸夫	7月27日	令和五年度文化財防犯・防火・防災関係者連絡会議
13	同上	文化財防災センターの役割	同上	9月29日	令和五年度 文化財等救済ネットワーク会議
14	同上	聖なる吉野のほとけさま	美術室アソシエイトフェロー　松井美樹	6年1月14日	奈良学セミナー後期第3回
15	保存科学の観点からの収蔵品・寄託品等の調査研究	アイヌ民族資料の保存管理にむけた修復部位の現況調査	保存修理指導室長　鳥越俊行	6月24日	文化財保存修復学会第45回大会
16	同上	京都・浄瑠璃寺に伝来した十二神将立像に対するＣＴ調査と修理	同上	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
17	同上	16世紀から19世紀にかけて日本で鋳造された古銀貨の蛍光Ｘ線分析	同上	8月11日	2023東アジア文化遺産保存国際シンポジウム
18	同上	五條猫塚古墳出土龍文透彫帯金具の研究	同上	8月11日	2023東アジア文化遺産保存国際シンポジウム
19	同上	材料分析から見た丁銀の特徴	同上	10月2日	石見銀山遺跡客員研究員検討会
20	同上	虫損を受けたマキリ（小刀）鞘の保存・活用にむけた三次元情報の整備	同上	10月22日	日本文化財科学会第40回記念大会
21	同上	木質文化財でのＣＴ調査とその応用	同上	11月12日	2023年樹木年輪研究会・木質文化財研究会合同例会講演会
22	同上	文化財を科学するⅧ	同上	11月19日	奈良国立博物館サンデートーク
23	同上	三次元画像解析による興福寺乾漆像における修理技法の研究―日本美術院による文化財修理の様相―	保存修理指導室アソシエイトフェロー　加藤沙弥	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
24	同上	Ｘ線ＣＴを用いた木質文化財への調査事例	同上	11月12日	2023年樹木年輪研究会・木質文化財研究会合同例会講演会
25	同上	マダラシミおよびニュウハクシミに対するベイト剤の殺虫効果	保存修理指導室アソシエイトフェロー　小峰幸夫	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
26	同上	家の中のいろいろな虫たちの話	同上	7月16日	奈良国立博物館サンデートーク
27	同上	歴史的建造物の保存技術	同上	8月5日	令和5年度あいちヘリテージマネージャー養成講座
28	同上	文化財建造物を加害するシバンムシ類のフラスを用いたＰＣＲ検査法	同上	10月21日	日本文化財科学会第40回記念大会
29	同上	資料が安定して保管できる一時保管環境づくり	同上	12月8日	令和5年度 文化財防災センター研修事業
30	同上	文化財防災センターの業務	同上	6年1月25日	文化財防災センター（文化財防火デートークイベント）

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
31	同上	文化財を加害する害虫と防除対策	同上	6年3月15日	日本木材学会生物劣化研究会（2024年春季研究会）
32	同上	東日本大震災文化財レスキューの今	上席研究員　荒木臣紀	6年1月21日	奈良国立博物館サンデートーク

【九州国立博物館】　46件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　7件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	有形文化財の収集・保管・展覧事業・教育普及活動等に関する調査研究	博物館ってなーに?–みんなで考える未来の博物館–	学芸部企画課研究員 大澤信	11月3日	福岡県立修猷館高等学校　令和5年度出前授業
2	同上	対馬の文化財ってこんなにすごいんだ！―対馬仏の世界―	学芸部企画課研究員 大澤信	11月11日	朝鮮半島由来文化財を知るための釜山・対馬国際ワークショップ 対馬市交流センター
3	同上	開かれた博物館への取り組み	学芸部企画課特別展室主任研究員　西島亜木子	11月10日	放送大学面接授業、九州国立博物館
4	同上	More Engaging than the Classroom, More Illuminating than a Textbook: Cultural Heritage Programs at the Kyushu National Museum	学芸部企画課特別展室主任研究員　西島亜木子	11月16日	Cultural Heritage Studies for Children （0ー18） Workshop IV： Field, Museum and Natural Heritage Educational Practices、Koç University VEKAM、アンカラ、トルコ
5	同上	Become an Archaeologist, Become an Ancient Person: How to Create Workshops to Appreciate Cultural Heritage	学芸部企画課特別展室主任研究員　西島亜木子	11月17日	Cultural Heritage Studies for Children （0ー18） Workshop IV： Field, Museum and Natural Heritage Educational Practices、Koç University VEKAM、アンカラ、トルコ
6	同上	博物館の展示―特別展―	学芸部企画課特別展室長 川畑憲子	11月10日	放送大学面接授業、九州国立博物館
7	同上	特別展の展示について	学芸部企画課特別展室長 川畑憲子	8月17日	博物館実習、九州国立博物館

○その他有形文化財に関連する調査研究　39件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	その他有形文化財に関連する調査研究	被帽地蔵の図像成立に関する一考察―西域起源説の再検討―	学芸部企画課研究員 大澤信	5月21日	第76回美術史学会全国大会
2	同上	地蔵菩薩像研究―東アジアにおける被帽地蔵の図像展開と高麗での受容―	学芸部企画課研究員 大澤信	6年1月23日	国際シンポジウム「伝統遺産と未来遺産」韓国・東亜大学校
3	同上	青銅製浄瓶の製作技法に関する予察：内視鏡カメラを用いた内面観察の結果を踏まえて	学芸部企画課文化交流展室長　川村佳男	10月17日	韓国国立扶餘博物館と九州国立博物館との学術交流講演会、扶餘、韓国
4	同上	麦積山石窟壁画研究 ――パルメット	学芸部企画課アソシエイトフェロー　李梅	10月24日	韓国国立公州博物館と九州国立博物館との学術交流講演会、公州、韓国
5	同上	泥篳再考：内容物「泥料」の材質を視野に入れて	学芸部企画課文化交流展室長　川村佳男、東京文化財研究所保存科学研究センター 分析科学研究室長　犬塚将英、学芸部企画課特別展室研究員　桑原有寿子	12月17日	2023年度日本中国考古学会大会（ポスター発表）
6	同上	文化財と光学調査（絵画作品）（博物館資料保存論）	博物館科学課　主任研究員 鷲頭桂	6月16日	西南学院大学
7	同上	ろせつ入門！	博物館科学課　主任研究員 鷲頭桂	6年2月17日、3月9日	九州国立博物館
8	同上	「特別展生誕270年長沢芦雪―若沖・応挙につづく天才画家」（講義）	博物館科学課　主任研究員 鷲頭桂	6年2月20日	「しっとこ九博」筑紫野市歴史博物館
9	同上	徹底解剖・長沢芦雪―江戸絵画のトリックスターの魅力に迫る―	博物館科学課　主任研究員 鷲頭桂	6年2月14日	九州国立博物館特別展応援セミナー、九州経済調査協会
10	同上	八幡縁起と高良大社画縁起	博物館科学課　主任研究員 鷲頭桂	6年3月8日	高良大社崇敬会

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
11	同上	国宝「初音の調度」のうち、初音蒔絵書棚と胡蝶蒔絵書棚にみる木地構造・加工精度と損傷の関係	大西漆芸修復スタジオ　大西智洋、学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基、徳川美術館　吉川美穂、学芸部企画課特別展室長　川畑憲子、学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史、学芸部博物館科学課研究補佐員　田中麻美、同課長　木川りか	6月24日	文化財保存修復学会第45回大会
12	同上	空気汚染物質の放散が少ない材料を用いた展示台の試作と検証	学芸部博物館科学課アソシエイトフェロー　和泉田絢子、同研究員　渡辺祐基、学芸部企画課研究員　桑原有寿子、学芸部博物館科学課研究補佐員　松尾実香、山本花乃、同課長　木川りか	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
13	同上	マダラシミおよびニュウハクシミに対するベイト剤の殺虫効果	東京文化財研究所　小野寺裕子、島田潤、学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基、奈良国立博物館　小峰幸夫、学芸部博物館科学課長　木川りか、東京文化財研究所　佐藤嘉則	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
14	同上	文化財害虫の歩行パターン解析手法の検討	学芸部博物館科学課研究員渡辺祐基、同課長　木川りか	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
15	同上	X線CTによる木材害虫の検出と生態解析	学芸部博物館科学課研究員渡辺祐基	8月10日	2023東アジア文化遺産保存国際シンポジウム in 札幌 CTの活用ワーキンググループ
16	同上	"Black spots"による青銅製遺物の劣化およびその再処理法の検討	奈良文化財研究所　柳田明進、脇谷草一郎、学芸部博物館科学課長　木川りか、東京文化財研究所　佐藤嘉則、学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史、副館長　小泉惠英、松浦市教育委員会　内野義、安木由美、奈良文化財研究所副所長　高妻洋成	8月11～12日	2023東アジア文化遺産保存国際シンポジウム in 札幌
17	同上	木材加害昆虫の活動のX線CTなどによる解析	学芸部博物館科学課研究員渡辺祐基	9月21日	日本木材保存協会第39回年次大会 公開シンポジウム「木材を見て・知る ―木材保存学への展開―」
18	同上	国宝「初音の調度」のうち机、色紙箱、長文箱（胡蝶蒔絵）の木地構造および制作技法のX線CT調査	学芸部博物館科学課研究員渡辺祐基、学芸部企画課特別展室長　川畑憲子、徳川美術館　板谷寿美、吉川美穂、学芸部博物館科学課研究補佐員　田中麻美、同課長　木川りか	10月21日	日本文化財科学会第40回記念大会
19	同上	九州国立博物館におけるX線CTを用いた木質文化財の調査	学芸部博物館科学課研究員渡辺祐基	11月12日	2023年樹木年輪研究会・木質文化財研究会合同例会（東北大学）
20	同上	湿度制御した温風処理による木造建造物加害甲虫類の殺虫	東京文化財研究所　藤井義久、京都大学　藤原裕子、日光　社寺文化財保存会　原田正彦、トータルシステム研究所　北原博幸、関西電力　島田正理　、近藤修平、東京文化財研究所　佐藤嘉則、島田潤、学芸部博物館科学課長　木川りか、同研究員　渡辺祐基、奈良国立博物館　小峰幸夫、国立民族学博物館　日高真吾、京都大学　小椋大輔	11月11日～12日	2023年樹木年輪研究会・木質文化財研究会合同例会（東北大学）
21	同上	Eradication of Beetles Attacking Wooden Historical Buildings by Humidity-Controlled Warm-Air Treatment	東京文化財研究所　藤井義久、京都大学　藤原裕子、日光　社寺文化財保存会　原田正彦、トータルシステム研究所　北原博幸、関西電力　島田正理　、近藤修平、東京文化財研究所　佐藤嘉則、島田潤、学芸部博物館科学課長　木川りか、同研究員　渡辺祐基、奈良国立博物館　小峰幸夫、国立民族学博物館　日高真吾、京都大学　小椋大輔	11月29日	IRG 2023 Webinar (International Research Group on Wood Protection)

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
22	同上	九州国立博物館における収蔵庫の環境管理	学芸部博物館科学課長 木川りか	6月23日	令和5年度公開承認施設担当者会議（文化庁）
23	同上	博物館における生物被害とIPMについて	学芸部博物館科学課長 木川りか	7月1日	別府大学
24	同上	博物館の環境管理	学芸部博物館科学課長 木川りか	11月9日	放送大学、九州国立博物館
25	同上	文化財に関わる生物学者の仕事	学芸部博物館科学課長 木川りか	11月9日	九州大学大学院システム生命科学府
26	同上	文化財の生物被害と加害生物およびレベルコントロールについて	学芸部博物館科学課長 木川りか	12月7日	第12回文化財IPMコーディネーターのための講習会
27	同上	コメント：セッション　博物館における文化財保存のこれから	学芸部博物館科学課長 木川りか	6年2月10日～11日	『みんぱく創設50周年記念国際シンポジウム　博物館における資料保存の過去、現在、そして未来』国立民族学博物館
28	同上	身近に潜む文化財害虫 － お宝を食べてしまう虫について	学芸部博物館科学課長 木川りか	6年3月17日	熊本博物館、企画展関連講演会
29	同上	弥生時代～古墳時代の赤色顔料について	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史	12月8日	群馬県埋蔵文化財調査事業団の研修会講師
30	同上	文化財の保存と修理	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史	11月10日	放送大学（九州国立博物館）講師
31	同上	文化財の修復①②	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史	6月23日・30日	西南学院大学講師
32	同上	博物館の環境保全と文化財の調査・文化財の修復	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史	8月18日	博物館実習（九州国立博物館）講師
33	同上	資料保存の意義、博物館資料 の劣化とその要因総論	学芸部博物館科学課長 木川りか	4月21日	西南学院大学
34	同上	温度・湿度環境、光環境	学芸部博物館科学課長 木川りか	4月28日	西南学院大学
35	同上	文化財の3次元調査、生物被害とその対策	学芸部博物館科学課研究員 渡辺祐基	6月2日	西南学院大学
36	同上	文化財の材質調査、室内空気汚染とその対策	学芸部博物館科学課アソシエイトフェロー　和泉田絢子	6月9日	西南学院大学
37	同上	海を渡った日本の漆器―南蛮漆器	学芸部企画課特別展室長 川畑憲子	6年2月3日	まどかぴあ市民大学おとなの楽校、大野城まどかぴあ図書館
38	同上	国宝　初音の調度について	学芸部企画課特別展室長 川畑憲子	6年1月13日	九州国立博物館
39	同上	徳川美術館所蔵　国宝　初音の調度	学芸部企画課特別展室長 川畑憲子	6年1月13日	歴史講座、旧福岡県公会堂貴賓館

【皇居三の丸尚蔵館】　6件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　4件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究	特別講演会「三の丸尚蔵館の過去・現在・未来」	副館長　朝賀浩	11月23日	石川県立美術館「皇室と石川」展
2	同上	若冲と応挙と相国寺と一動植綵絵を生んだ人と場	学芸部管理・情報課研究員　上嶋悟史	6年1月13日	相国寺承天閣美術館「若冲と応挙」展
3	同上	狩野永悳立信―最後の奥絵師にして、最初の帝室技芸員	学芸部展示・普及課研究員　田中純一朗	6年1月21日	静岡県富士山世界遺産センター公開講座「幕末明治、政治・外交史のなかの富士山」
4	同上	ギャラリートーク「第３期　近世の御所を飾った品々(書跡)」（午前・午後）	学芸部調査・保存課長 髙梨真行	6年3月20日	皇居三の丸尚蔵館開館記念展「皇室のみやび―受け継ぐ美」

○その他有形文化財に関連する調査研究　2件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	有形文化財に関連する調査研究	中国書法の伝来と展開―書の楽しみと魅力	館長　島谷弘幸	11月15日	日本漢字学会
2	同上	明治陶磁研究史	学芸部展示・普及課主任研究員　岡本隆志	12月2日	東洋陶磁学会　第50回大会2「明治陶磁研究の現在地」

【東京文化財研究所】　72件

(1) 新たな知見の開拓につながる基礎的・探求的な調査研究　15件

○有形文化財、伝統的建造物群に関する調査研究　14件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	文化財に関する調査研究成果および研究情報の共有に関する総合的研究	東京文化財研究所の活動と羅漢図調査研究	文化財情報資料部主任研究員　米沢玲	11月16日	セインズベリー視覚芸術センターギャラリートーク、講演会
2	同上	朝鮮時代における陶磁器製作をめぐる韓国の新知見	文化財情報資料部研究員 田代裕一朗	12月9日	岡山理科大学
3	日本東洋美術史の資料学的研究	西洞院時慶の庭―長谷川派の藤花図屏風をめぐって―	文化財情報資料部　日本東洋美術史研究室長小野真由美	10月20日	第57回オープンレクチャー
4	同上	新出の野馬図―旧日光院客殿障壁画との関連から	文化財情報資料部　日本東洋美術史研究室長小野真由美	3月26日	文化財情報資料部研究会
5	同上	ワット・ラーチャプラディットの漆扉の研究について	文化財情報資料部　文化財情報研究室長 二神葉子	11月21日	茗渓学園中学校「タイ研修旅行事前学習」
6	日本の近・現代美術に関する調査研究・情報整備・資料収集	画廊資料」をいかに残し、活用するか	文化財情報資料部　文化財アーカイブズ研究室長 橘川英規	10月21日	第57回オープンレクチャー
7	同上	絵画と「美術写真」―岸田劉生の場合―	文化財情報資料部 研究員 吉田暁子	12月5日	東京文化財研究所総合研究会
8	同上	山口蓬春と大和絵	文化財情報資料部 上席研究員 塩谷純	6年3月7日	文化財情報資料部研究会
9	美術作品の様式表現・制作技術・素材に関する複合的研究と公開	酒呑童子絵巻の研究―調査中間報告	文化財情報資料部長 江村知子	4月28日	文化財情報資料部研究会
10	同上	在日朝鮮人と韓国朝鮮美術史の形成について(予察)	文化財情報資料部 研究員 田代裕一朗	5月30日	文化財情報資料部研究会
11	同上	桑山玉洲の旧蔵資料に関する復原的考察	文化財情報資料部広領域研究室長　安永拓世	7月25日	文化財情報資料部研究会
12	同上	薬師寺金堂薬師三尊像について―中尊台座異形像に見る薬師寺と韓国・慶州四天王寺の関係から―	文化財情報資料部アソシエイトフェロー 黒﨑夏央	11月28日	文化財情報資料部研究会
13	同上	郭店楚簡の用字避複に関する中間報告	元・文化財情報資料部アソシエイトフェロー 片倉俊平（現・東北大学史料館・特任講師）	12月11日	文化財情報資料部研究会
14	同上	ポルトガルで「発見」された2基のキリスト教書見台について―桃山・江戸初期の禁教実相と日葡関係を映す新出資料―	文化財情報資料部 特任研究員 小林公治	6年1月23日	文化財情報資料部研究会

○無形文化財、無形民俗文化財等に関する調査及び研究　1件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	無形文化遺産保護に関する研究交流・情報収集等	Changes of safeguarding measure for intangible cultural heritage and national identity in Japan	無形文化遺産部部長　石村智	10月23日	国際シンポジウム「New Era, New Subject, New Mission-International Academic Forum on Intangible Cultural Heritage Studies」天津大学

(2) 科学技術を応用した研究開発の進展等に向けた基盤的な研究　42件

○文化財の調査手法に関する調査研究　4件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	文化財情報の分析・活用と公開に関する調査研究	文化財アーカイブの意義	文化財情報資料部長 江村知子	11月10日	「学芸員のための文化財写真研修会」（北海道立北方民族博物館）
2	同上	写真に記録すべきこと	文化財情報資料部 専門職員 城野誠治	11月10日	「学芸員のための文化財写真研修会」（北海道立北方民族博物館）

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
3	同上	日本美術の魅力	文化財情報資料部長 江村知子	11月11日	講演会「文化財写真の魅力と役割」（北海道立北方民族博物館）
4	同上	文化財の姿・形・色をとらえる	文化財情報資料部 専門職員 城野誠治	11月11日	講演会「文化財写真の魅力と役割」（北海道立北方民族博物館）

○文化財の保存修復及び保存技術等に関する調査研究　38件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	文化財生物劣化の分子生物学的手法による機構解明と環境調和型対策	水損紙資料から分離されたカビの湿熱処理による殺菌評価	生物科学研究室長　佐藤嘉則、生物科学研究室研究補佐員　轟丈瑠、生物科学研究室研究補佐員　岡部迪子	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
2	同上	マダラシミおよびニュウハクシミに対するベイト剤の殺虫効果	生物科学研究室研究補佐員　小野寺裕子、生物科学研究室長佐藤嘉則他4名	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
3	同上	三内丸山遺跡「子供の墓」土遺構に発生した外生菌根菌子実体の同定とその分布	生物科学研究室研究補佐員　轟丈瑠、生物科学研究室研究補佐員　山田紀代美、生物科学研究室長　佐藤嘉則他4名	10月21日	日本文化財科学会第40回大会
4	同上	文化財建造物を加害するシバンムシ類のフラスを用いたPCR検査法	生物科学研究室研究補佐員　轟丈瑠、生物科学研究室アソシエイトフェロー　島田潤、生物科学研究室長　佐藤嘉則他8名	10月21日	日本文化財科学会第40回大会
5	同上	湿度制御した温風処理による木造文化財加害甲虫類の殺虫	生物科学研究室客員研究員　藤井義久、生物科学研究室客員研究員　北原博幸、生物科学研究室アソシエイトフェロー　島田潤、生物科学研究室長　佐藤嘉則他9名	11月12日	2023年樹木年輪研究会・木質文化財研究会合同例会
6	同上	Eradication of Beetles Attacking Wooden Historical Buildings by Humidity-Controlled Warm-Air Treatment	生物科学研究室客員研究員　藤井義久、生物科学研究室客員研究員　北原博幸、生物科学研究室アソシエイトフェロー　島田潤、生物科学研究室長　佐藤嘉則他9名	11月29日	International Research Group on Wood Protection 2023 Webinar
7	文化財の保存環境にかかる調査研究	美術館における冬季の館内温湿度と熱源消費電力の測定 ―博物館・美術館での保存環境維持と省エネルギーの両立に向けて―	保存環境研究室長　秋山純子　他3名	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
8	同上	塩化ナトリウム溶液を含むレンガの電気的脱塩に関する研究- 電気的脱塩の評価のためのICによる塩分布の定量とXRFによる塩分布の推定と可視化	保存環境研究室　研究員・水谷悦子　他3名	9月4日	2023年度日本建築学会大会（近畿）
9	同上	博物館の消費エネルギー削減と保存環境の両立に関する研究　- ある美術館の冬季の熱源の消費エネルギーと収蔵庫内環境の測定 -	保存環境研究室　研究員・水谷悦子、客員研究員・伊庭千恵美、保存環境研究室室長・秋山純子	9月4日	2023年日本建築学会大会（近畿）
10	同上	ハギア・ソフィア大聖堂北西エクセドラの複合塩による壁面の劣化	保存環境研究室　研究員・水谷悦子　他3名	9月11日	2023年東アジア文化遺産保存国際シンポジウム
11	同上	Effects of the indoor and outdoor environment on salt mixture precipitation in a brick masonry with wall paintings	保存環境研究室　研究員・水谷悦子　他2名	9月21日	SWBSS　ASIA
12	同上	組積造建造物の電気的脱塩に関する研究 塩分布の定量化と可視化の試み	保存環境研究室　研究員・水谷悦子他2名	10月22日	日本文化財科学会第40回大会
13	文化財の材質・構造・状態調査に関する研究	東京光明寺所蔵羅漢図に使用された彩色材料	分析科学研究室アソシエイトトフェロー　紀芝蓮、分析科学研究室長　犬塚将英　他4名	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
14	同上	ハイパースペクトルカメラによる絵画作品の色と材料の解析ー「高松松平家博物図譜（香川県立ミュージアム保管）」を事例として	分析科学研究室アソシエイトトフェロー　紀芝蓮、分析科学研究室長　犬塚将英 他2名	10月22日	日本文化財科学会第40回大会
15	同上	彩色のある文化財に対する赤外線画像の有効性に関する研究	保存環境研究室長　秋山純子　他3名	9月10日-12日	2023年東アジア文化遺産保存国際シンポジウム
16	屋外文化財の保存修復計画に関する調査研究	文化財としての富士塚の保存と修復	修復計画研究室長 朽津信明	6月24日	文化財保存修復学会第45回大会
17	同上	新宮市万歳の草書体一遍上人名号碑の破片資料	修復計画研究室長 朽津信明、研究補佐員　白石明香　後誠介	10月21日	日本文化財科学会第40回大会

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
18	同上	三次元計測に基づく宝塔寺塩なめ地蔵奉納台の劣化状態評価	修復計画研究室 研究補佐員　白石明香、室長　朽津信明	10月21日	日本文化財科学会第40回大会
19	文化財修復と伝統技法に関する調査研究	デンプン糊で裏打ちされる文化財へのα－アミラーゼ適用方法に関する検討	修復材料研究室長 早川典子　他	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
20	同上	和紙用ネリの安定供給に向けた取り組み及びネリの各種物性に関する調査	修復材料研究室　アソシエイトトフェロー　西田典由　他	6月24日	文化財保存修復学会第45回大会
21	同上	生糸の抱合と画絹の性状に関する研究	修復材料研究室長 早川典子　他	6月24日	文化財保存修復学会第45回大会
22	同上	漆塗装時における水の接触が塗膜に与える影響	修復材料研究室　研究員 倉島玲央　他	10月21日	日本文化財科学会第40回大会
23	同上	タンニン酸鉄媒染綿布に対するフノリと膠処置による保存方法の検討	修復材料研究室長 早川典子　他	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
24	同上	重要文化財「板絵著色廻船入港図額」における銅系彩色材料の変色と紫色の表現について	修復材料研究室　研究員 倉島玲央　他	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
25	同上	近代の文化財修理に使用された材料・技術に関する調査	修復材料研究室　研究員 倉島玲央　他	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
26	同上	膠の概説 -関連史料及び研究動向等-	修復材料研究室客員研究員　宇高健太郎	11月19日	膠文化研究会第15回公開研究会
27	同上	紙文化財補修用材料としての高機能化楮繊の調製 ー砥石摺り合わせの改善と外部フィブリル化処理ー	修復材料研究室　アソシエイトトフェロー　西田典由　他	6月24日	文化財保存修復学会第45回大会
28	同上	楮紙と宣紙の肌裏紙を用いた日本画掛軸モデル試料における接着性の比較	修復材料研究室客員研究員　稲葉政満　他	6月25日	文化財保存修復学会第45回大会
29	同上	異なる環境で保管された同じ紙質の4種の図書試料の劣化挙動の比較	修復材料研究室客員研究員　稲葉政満　他	8月10ー13日	2023東アジア文化遺産保存国際シンポジウム
30	同上	紙の保存性評価のための強度測定	修復材料研究室　客員研究員稲葉政満	9月16日	和紙文化研究会　月例会
31	同上	楮紙の製造法と耐久性	修復材料研究室　客員研究員稲葉政満	12月16日	和紙文化研究会　月例会
32	高松塚古墳・キトラ古墳の恒久的保存に関する調査研究	泥に覆われたキトラ古墳壁画の元素マッピング調査	分析科学研究室長　犬塚将英、修復材料研究室長 早川典子　他	10月22日	日本文化財科学会第40回大会
33	多様な文化財の保存修復技術に関する研究	関東大震災で被災した文化財はどう記録されたか	修復技術研究室　研究員 千葉毅　他	8月10ー13日	2023東アジア文化遺産保存国際シンポジウム
34	同上	被災紙資料を想定した真空凍結乾燥処理の利用と乾湿繰り返しによる状態変化について	修復技術館吸湿　研究員 芳賀文絵　他	8月10ー13日	2023東アジア文化遺産保存国際シンポジウム
35	同上	赤星直忠による関東大震災被災機関への復興支援	修復技術研究室　研究員 千葉毅　他	10月22日	日本文化財科学会第40回大会
36	同上	Overview and Examples of Mordern Cultural Heritage Protection and Utilization in Japan	修復技術研究室　研究員 千葉毅　他	11月10日	韓国文化財保存科学会第58回秋季大会
37	同上	航空資料保存の研究	修復技術研究室　客員研究員　苅田重賀　他	6年1月23日	航空資料の保存と活用
38	同上	南九州市近代文化遺産に関する東京文化財研究所の取り組み	修復技術研究室　研究員 芳賀文絵　他	6年1月23日	航空資料の保存と活用

(3) 文化遺産保護に関する国際協働　11件

○文化遺産保護に関する国際協働の総合的な推進　11件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	文化遺産の保存修復技術に係る国際的研究	旧機那サフラン酒本舗鰻絵の保存状態調査	文化遺産国際協力センターー主任研究員　前川佳文他	6月24日	文化財保存修復学会第45回大会
2	アジア諸国等文化遺産保存修復協力	後藤健氏旧蔵、西アジア文化遺産写真のデジタル・アーカイブ化	文化遺産国際協力センターアソシエイトフェローー山田綾乃　他	6月25日	日本西アジア考古学会第28回大会
3	同上	バハレーンにおけるイスラーム墓碑の3次元計測調査	文化遺産国際協力センターー研究補佐員　長尾琢磨他	6月25日	日本西アジア考古学会第28回大会
4	同上	イランの垂直軸型風車　その１　建築構法建築技術者の現状	文化遺産国際協力センターー研究員　淺田なつみ	9月13日	2023年度日本建築学会大会
5	同上	ブータンの伝統的石造民家の建築的特徴と文化財的価値の評価（その１）：トンサ県及びブムタン県における予備調査の概要	文化遺産国際協力センターー国際情報研究室長 金井健　他	9月15日	2023年度日本建築学会大会
6	同上	フランス領インドシナにおける「歴史的記念物」保全の組織化とその変容	文化遺産国際協力センターアソシエイトフェローー黒岩千尋	6年3月7～8日	2023年度建築学会関東支部研究発表会

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
7	文化遺産保護に関する国際情報の収集・研究・発信	Reassessing the Silk Road: Integrating Marine and Inland Perspectives for an Inclusive Cultural Heritage	文化遺産国際協力センターアソシエイトフェロー 前田康記、藤井郁乃	6月30日	Architecture Media Politics Society :Past and Present - Built and Social
8	同上	Research on the Historical and Geographical Range of Marine Silk Route	文化遺産国際協力センターアソシエイトフェロー 藤井郁乃	8月8日	International Conference on Interdisciplinary Research in Social Sciences
9	同上	Outline of the Current Legal Framework for the Restoration of Cultural Properties in Japan	文化遺産国際協力センター国際情報研究室長 金井健	8月10日～8月31日	ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保存協力事務所　文化遺産の保護に資する研修2023
10	同上	世界文化遺産の50年：はじまりとこれまで	文化遺産国際協力センターアソシエイトフェロー 藤井郁乃	6年1月20日	令和5年度文化遺産国際協力コンソーシアムシンポジウム「世界文化遺産の50年：日本の貢献のこれまでとこれから」
11	文化遺産の保存修復技術に係る国際的研究	旧補強剤の除去が壁画の保存状態に及ぼす効果	文化遺産国際協力センター主任研究員　前川佳文他	10月21日	日本文化財科学会第40回大会

(4) 文化財に関する情報資料の収集・整備及び調査研究成果の公開・活用　4件

○文化財情報基盤の整備・充実　3件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	文化財情報基盤の整備・充実	デジタルデータの長期保存について	文化財情報資料部 主任研究員 小山田智寛	6月28日	文化財情報資料部研究会
2	同上	「売立目録デジタルアーカイブ」の活用とシステムの改修について	文化財情報資料部主任研究員 小山田智寛	10月28日	2023年度アート・ドキュメンテーション学会第16回秋季研究集会
3	同上	WordPressコンテンツのリニューアルと採用システムの選定について（仮）	文化財情報資料部主任研究員 小山田智寛	6年2月24日	WordCamp Kansai 2024

○調査研究成果の発信　1件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	文化財情報基盤の整備・充実	東京文化財研究所における文化財情報のデータおよびシステムについて　作成から公開、保存まで	文化財情報資料部 主任研究員 小山田智寛	11月10日	第146回（通算175回）デジタルアーカイブサロン

【奈良文化財研究所】　99件

(1) 新たな知見の開拓につながる基礎的・探求的な調査研究　22件

○有形文化財、伝統的建造物群に関する調査研究　1件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	近畿を中心とする古寺社等所蔵の歴史資料等に関する調査研究	南北朝期の理性院流相承をめぐる諸問題	歴史研究室アソシエイトフェロー　橘悠太	11月11日	第73回仏教史学会学術大会

○記念物、文化的景観、埋蔵文化財に関する調査研究　21件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	我が国の記念物に関する調査研究（遺跡等整備）	西隆寺の記憶	文化遺産部主任研究員 高橋知奈津	11月11日	第129回公開講演会
2	平城宮・京跡出土遺物・遺構の調査・研究	四王堂・薬師金堂の発掘調査	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）考古第三研究室長　林正憲	6月10日	第128回公開講演会
3	同上	弥勒金堂の発掘調査	都城発掘調査部（平城）考古第三研究室研究員　田中龍一	6月10日	第128回公開講演会
4	同上	西大寺金堂院の復元	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）遺構研究室長　鈴木智大	6月10日	第128回公開講演会
5	同上	発掘調査成果が語る西隆寺の伽藍と建物	都城発掘調査部長　箱崎和久	11月11日	第129回公開講演会
6	同上	西大寺旧境内の発掘調査	都城発掘調査部副部長　今井晃樹	12月9日	西大寺特別公開講演会
7	同上	西大寺出土の木簡	都城発掘調査部（平城）史料研究室長　馬場基	12月9日	西大寺特別公開講演会
8	同上	平城京の暮らしと生駒の須恵器	都城発掘調査部（平城）考古第二研究室長　神野恵	10月28日	令和5年度生駒ふるさとミュージアム秋季特別展「生駒の古代須恵器展」　特別展記念講演会
9	飛鳥・藤原京跡出土遺物・遺構に関する調査研究等	飛鳥池遺跡におけるガラス生産	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）考古第一研究室研究員 谷澤亜里	7月15日	2023年度 令和あすか塾

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
10	同上	古代都城における大極殿院の成立過程　ー藤原宮大極殿後殿の発見とその意義ー	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）考古第一研究室長　廣瀬覚	9月30日	歴史をたのしもうかい（堺市）
11	同上	陰陽寮と天文観測	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）主任研究員　若杉智宏	10月15日	四神の館 飛鳥星まつり ギャラリートーク
12	同上	東・西漢氏と漢人	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）史料研究室長　山本崇	11月20日	川崎市民アカデミー講座エクセレントⅡ　渡来文化の伝来と古代国家の形成（第４回）
13	同上	石神遺跡周辺の地形と小字について	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）主任研究員　福嶋啓人	11月28日	2023年度 令和あすか塾
14	同上	藤原宮から平城宮へ　ー受け継がれるモノと思想ー	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）考古第三研究室長　林正憲	12月16日	令和５年度歴史公園ガイド研修会
15	文化的景観及びその保存・活用に関する調査研究	育成林は重要文化的景観として評価できるのか	文化遺産部主任研究員　惠谷浩子	9月1日	文化的景観研究集会（第11回）
16	同上	街道でつながる京の中心と周縁	文化遺産部主任研究員　惠谷浩子	9月18日	日本学術会議環境学委員会・統合生物学委員会合同自然環境分科会
17	同上	原始集落遺跡の整備の現状と課題に関するアンケート の集計・分析結果	文化遺産部主任研究員　惠谷浩子	10月19日	第47回全国遺跡環境整備会議
18	同上	地層と歴史は、勝手も許す。自然と人間との関係を守る法律、文化的景観とは?	文化遺産部主任研究員　惠谷浩子	12月10日	金沢21世紀美術館フォーラムR
19	同上	南山城村ー山なみの中での暮らしと風景	文化遺産部主任研究員 惠谷浩子	12月14日	宇治茶の文化的景観地域フォーラムin南山城村
20	水中文化遺産に関する調査研究	"Black spots"による青銅製遺物の劣化およびその処理法の検討	埋蔵文化財センター主任研究員・柳田明進、保存修復科学研究室長・脇谷草一郎、文化財防災センター長・高妻洋成　他	8月11日	2023東アジア文化遺産保存国際シンポジウム in 札幌
21	同上	水中遺跡および出土遺物の劣化と保存	埋蔵文化財センター主任研究員　柳田明進	8月24日	わくわく!! 水中考古学体験講座 in 鷹島

(2) 科学技術を応用した研究開発の進展等に向けた基盤的な研究　61件

○文化財の調査手法に関する研究開発の推進　21件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	埋蔵文化財の探査・計測方法の研究開発	考古学から見る過去と未来 ー3Dデータの構築と活用ー	遺跡・調査技術研究室客員研究員　中川朋美	5月11日	ナイスステップな研究者2022 講演会
2	同上	遺跡調査における三次元計測方法の比較	遺跡・調査技術研究室研究員　山口欧志、埋蔵文化財センター長　金田明大	5月28日	日本考古学協会第89回総会
3	同上	文化財の調査研究・保存保護のための三次元計測	遺跡・調査技術研究室研究員　山口欧志	8月5日	考古学研究会第39回東海例会「考古学における三次元計測・データの活用と未来」
4	同上	三次元計測とデータの研究活用	遺跡・調査技術研究室客員研究員　中川朋美	8月5日	考古学研究会 第39回東海例会「考古学における三次元計測・データの活用と未来」
5	同上	画期的な石造物の画像処理技術 ひかり拓本	遺跡・調査技術研究室研究員　上椙英之	9月16日	NPO法人書物研 2023年製本修復・夏期講座
6	同上	‘ひかり拓本’、縄文土器に光をあてる	埋蔵文化財センター長金田明大、遺跡・調査技術研究室研究員　山口欧志、同　上椙英之、同客員研究員　高野紗奈江　他	10月21日	日本文化財科学会第40回記念大会ポスター発表
7	同上	地球温暖化による劇的環境変動に適した石造文化遺産の調査・保存法の総合的研究(1)ー竹田城花屋敷曲輪での危険個所の状態調査・モニタリング計画の概要ー	埋蔵文化財センター長金田明大　他	10月21日	日本文化財科学会第40回記念大会ポスター発表
8	同上	地球温暖化による劇的環境変動に適した石造文化遺産の調査・保存法の総合的研究(2)ー竹田城花屋敷曲輪での物理探査の試行	埋蔵文化財センター長金田明大　他	10月22日	日本文化財科学会第40回記念大会ポスター発表
9	同上	文化財三次元計測のためのリアルタイムフォトグラメトリの実現	遺跡・調査技術研究室研究員　山口欧志	10月22日	日本文化財科学会第40回記念大会要旨集
10	同上	AIによる深層学習を活用した‘縄文’の素材同定	遺跡・調査技術研究室客員研究員　高野紗奈江	10月22日	日本文化財科学会第40回記念大会ポスター発表
11	同上	地域住民と専門学生のためのVRによる遺跡発掘現場の“追体験”	遺跡・調査技術研究室客員研究員　平川ひろみ他	12月2日	日本情報考古学第48回大会
12	同上	「悉皆的3D発掘」および「ペーパーレス発掘」の進展―鹿児島県三島村黒島大里遺跡（第4報）―	遺跡・調査技術研究室客員研究員　平川ひろみ他	12月2日	日本情報考古学第48回大会
13	同上	文化財の表面痕跡の可視化の試行	埋蔵文化財センター　金田明大	6年3月1日	新学術領域研究「出ユーラシアの統合的人類史学」第10回全体会議　ポスター発表
14	年輪年代学研究	栗塚古墳出土埴輪を対象としたハケメの年輪年代学的検討	年代学研究室長　星野安治	10月22日	日本文化財科学会第40回記念大会

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
15	同上	奈良文化財研究所文化財用X線CTを用いた研究事例	年代学研究室長　星野安治　他	11月12日	2023年樹木年輪研究会・木質文化財研究会合同例会
16	同上	X線CTを用いた民具漆器の非破壊年輪計測と産地推定	年代学研究室長　星野安治　他	12月3日	第38回日本植生史学会大会・日本花粉学会第64回大会合同大会
17	同上	徳島県川西遺跡出土木質遺物の年輪年代測定ー文字による年代情報が少ない地域における木質遺物の重要性ー	年代学研究室長　星野安治　他	6年3月13日	第74回日本木材学会大会
18	同上	近畿地方を中心とした木質文化財によるヒノキ科2000年標準年輪曲線の拡充	年代学研究室長　星野安治　他	6年3月15日	第74回日本木材学会大会
19	動植物遺存体の分析方法の研究開発	動物考古学に関する展示活用の実践事例	環境考古学研究室長　山崎健	7月2日	日本動物考古学会第10回大会
20	同上	愛知県朝日遺跡の内水面漁撈	環境考古学研究室長　山崎健	9月5日	水田稲作技術比較研究プロジェクト例会
21	同上	日本における考古動物学の展望と課題	環境考古学研究室長　山崎健	11月3日	近江貝塚研究会第360回例会

○文化財の保存修復及び保存技術等に関する調査研究　40件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	考古遺物の保存処理法に関する調査研究	木材への濡れ性と結晶化効率から見たトレハロース処理法の有効性に関する検討	保存修復科学研究室長・脇谷草一郎、同研究員・松田和貴、埋蔵文化財センター主任研究員　柳田明進、都城発掘調査部（飛鳥・藤原）主任研究員　田村朋美、文化財防災センター長・高妻洋成　他	8月12日	2023東アジア文化遺産保存国際シンポジウム in 札幌
2	同上	トレハロース処理法の寸法安定性に関する考察2　- 結晶化効率がトレハロース処理法の寸法安定性に及ぼす影響 -	保存修復科学研究室長・脇谷草一郎、同研究員・松田和貴、埋蔵文化財センター主任研究員　柳田明進、都城発掘調査部（飛鳥・藤原）主任研究員　田村朋美、文化財防災センター長・高妻洋成　他	10月21日	日本文化財科学会第40回記念大会
3	同上	鉄製遺物の発掘後の劣化特性に及ぼす埋蔵環境の影響 −平城宮跡出土鉄製遺物の悉皆的調査と非破壊分析による検討	埋蔵文化財センター主任研究員・柳田明進、保存修復科学研究室長・脇谷草一郎　他	10月21日	日本文化財科学会第40回記念大会
4	同上	出土銅製品に施された塗膜の剥離メカニズムの検討（その2）―塗膜の層構造および埋蔵時の劣化による成分変化の調査―	保存修復科学研究室アソシエイトフェロー・楊曼寧、主任研究員・柳田明進、保存修復科学研究室長・脇谷草一郎　他	10月21日	日本文化財科学会第40回記念大会
5	同上	平城宮跡出土鉄製文化財の腐食状態に及ぼす埋蔵環境の影響	埋蔵文化財センター主任研究員・柳田明進, 保存修復科学研究室長・脇谷草一郎　他	10月30日	第70回材料と環境討論会
6	同上	埋蔵環境が出土鉄製文化財の腐食状態に及ぼす影響　−平城宮跡および鷹島海底遺跡での調査を例に	埋蔵文化財センター主任研究員・柳田明進	11月29日	ナチュラルアナログワークショップ2023
7	同上	トレハロース処理法における木材細胞壁に対する結晶物の強化作用	保存修復科学研究室長・脇谷草一郎、同研究員・松田和貴、埋蔵文化財センター主任研究員・柳田明進、都城発掘調査部（飛鳥・藤原）主任研究員・田村朋美、文化財防災センター長・高妻洋成　他	6年3月13日	日本木材学会第74回大会
8	同上	水浸出土木製遺物の保存処理におけるトレハロース含浸と真空凍結乾燥併用の諸問題	保存修復科学研究室アソシエイトフェロー・楊曼寧、埋蔵文化財センター主任研究員・都城発掘調査部（飛鳥・藤原）田村朋美、保存修復科学研究室研究員・松田和貴	6年3月15日	日本木材学会第74回大会
9	同上	遺跡出土鉄製品の保存と活用の最前線	埋蔵文化財センター主任研究員・柳田明進	6年3月23日	北海道・東北保存科学研究会の例会
10	遺構の安定した保存のための維持管理方法に関する調査研究	元町石仏における石仏表面に蓄積する塩分量の測定および予測に関する研究　ーその1 蛍光X線を用いた石材表面に蓄積する塩分量の測定手法の検討ー	保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同室長・脇谷草一郎、同客員研究員・小椋大輔　他	6月25日	日本建築学会近畿支部研究発表会
11	同上	元町石仏における石仏表面に蓄積する塩分量の測定および予測に関する研究　ーその２ 数値解析による多孔質材料表面に蓄積する塩分量の予測	保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同室長・脇谷草一郎、同客員研究員・小椋大輔　他	6月25日	日本建築学会近畿支部研究発表会

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
12	同上	屋外文化財の塩類風化と保存環境に関する研究 ー湿潤過程の違いが硫酸ナトリウムによる材料の変形挙動に与える影響の比較ー	保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同客員研究員・小椋大輔、同室長・脇谷草一郎　他	6月25日	日本建築学会近畿支部研究発表会
13	同上	乾湿繰り返しによって引き起こされる石材表面剥離現象に関する基礎的検討 ー画像相関法による乾湿時の石材ひずみ定量化の試みー	保存修復科学研究室長・脇谷草一郎、埋蔵文化財センター主任研究員・柳田明進　他	8月12日	2023東アジア文化遺産保存国際シンポジウム in 札幌
14	同上	元町石仏における石仏表面に蓄積する塩分量の測定および予測に関する研究 ーその1 蛍光X線を用いた石材表面に蓄積する塩分量の測定手法の検討ー	保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同室長・脇谷草一郎、同客員研究員・小椋大輔　他	9月14日	日本建築学会大会学術講演会
15	同上	元町石仏における石仏表面に蓄積する塩分量の測定および予測に関する研究 ーその２ 数値解析による多孔質材料表面に蓄積する塩分量の予測	保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同室長・脇谷草一郎、同客員研究員・小椋大輔　他	9月14日	日本建築学会大会学術講演会
16	同上	塩化ナトリウム溶液を含むレンガの電気的脱塩に関する研究　電気的脱塩の評価のためのICとXRFによる塩分布の推定と可視化	保存修復科学研究室客員研究員・小椋大輔、同室長・脇谷草一郎　他	9月14日	日本建築学会大会学術講演会
17	同上	屋外文化財の塩類風化と保存環境に関する研究 ー湿潤過程の違いが硫酸ナトリウムによる材料の変形挙動に与える影響の比較ー	保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同客員研究員・小椋大輔、同室長・脇谷草一郎　他	9月14日	日本建築学会大会学術講演会
18	同上	Optimizing exhibition methods for the remains in the Ichijodani Asakura Family Site Museum, Fukui Prefectural, Japan	保存修復科学研究室長・脇谷草一郎、同主任研究員・柳田明進　他	9月20日	SWBSS-ASIA 2023
19	同上	Comparison of damage by various hydration process of thenardite: water absorption and moisture adsorption	保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同室長・脇谷草一郎、同客員研究員・小椋大輔　他	9月20日	SWBSS-ASIA 2023
20	同上	Measuring the amount of accumulated salt on the surface of porous materials using X-ray fluorescence	保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同室長・脇谷草一郎、同客員研究員・小椋大輔　他	9月20日	SWBSS-ASIA 2023
21	同上	乾湿繰り返しによる石造文化財の劣化メカニズムの解明に関する基礎研究	埋蔵文化財センター主任研究員・柳田明進、保存修復科学研究室長・脇谷草一郎、文化財防災センター長・高妻洋成　他	10月21日	日本文化財科学会第40回記念大会
22	同上	蛍光Ｘ線を用いた多孔質材料表面に蓄積する塩の濃度の測定	保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同室長・脇谷草一郎、同客員研究員・小椋大輔　他	10月21日	日本文化財科学会第40回記念大会
23	同上	組積造建造物の電気的脱塩に向けた煉瓦内の塩分布の定量化と可視化の試み	保存修復科学研究室客員研究員・小椋大輔、同室長・脇谷草一郎	10月21日	日本文化財科学会第40回記念大会
24	同上	湿潤過程の違いが硫酸ナトリウムによる材料の変形挙動に与える影響の比較	保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同客員研究員・小椋大輔、同室長・脇谷草一郎　他	10月21日	日本文化財科学会第40回記念大会
25	考古遺物を中心とした文化財の材質調査に関する調査研究	匈奴および鮮卑におけるガラス交易：分析化学的アプローチ	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）主任研究員・田村朋美	5月28日	日本考古学協会第89回総会
26	同上	東京藝術大学大学美術館所蔵「龍文存星香合」の制作工程に関する研究	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室アソシエイトフェロー・楊曼寧　他	6月24日	文化財保存修復学会第45回大会
27	同上	科学の目で古代ガラスを見る：化学分析からわかる古代ガラスの産地と交易ー元素分析と同位体比分析ーにおけるガラス交易：分析化学的アプローチ	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）主任研究員・田村朋美	7月19日	大阪大学 共通教育科目 学問への扉「文化財を見る科学のしくみー意味合いの世界と物質の世界とは」
28	同上	中・近世期の北海道におけるガラス小玉の様相について	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）主任研究員・田村朋美　他	8月11日	2023東アジア文化遺産保存国際シンポジウムin札幌
29	同上	北海道の続縄文文化期から出土したガラス玉の様相について-北大Ⅰ式期におけるガラス玉の特徴について-	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）主任研究員・田村朋美　他	10月21日	日本文化財科学会第40回記念大会
30	同上	京都府奈具岡遺跡からみた弥生時代中期後半におけるガラスの舶載と再加工	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）主任研究員・田村朋美	10月22日	日本文化財科学会第40回記念大会
31	同上	青森県舟場向川久保（２）遺跡出土細形管玉のXRF、ESR、XRDによる非破壊分析	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）主任研究員・田村朋美　他	5月28日	日本文化財科学会第40回記念大会
32	同上	Discrimination of jasper from Pohang in Korea and beads using of jasper from Kasenzan （花仙山） in Japan by non-destructive XRD analysis	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）主任研究員・田村朋美　他	6月24日	韓国文化財保存科学会第58回秋季学術大会
33	同上	日本で出土する古代ガラスの産地-元素分析および同位体比分析によるアプローチ-	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）主任研究員・田村朋美	7月19日	第2回 人・モノ・自然シンポジウム

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
34	同上	日紀元前1世紀の日本で流通したインド・パシフィックビーズの特徴	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）主任研究員・田村朋美	8月11日	日韓ガラス研究会
35	同上	The Connection between the Mediterranean Sea and Japan from the Perspective of Ancient Glass Beads	都城発掘調査部主任研究員(保存修復科学研究室兼任）・田村朋美	10月21日	International Symposium Glass Beads Changed the World: Production, Trade and Social Network Global Mediterranean at the National Museum of Ethnology
36	古墳壁画の恒久的保存に関する調査研究	泥に覆われたキトラ古墳壁画の元素マッピング調査	保存修復科学研究室アソシエイトフェロー・大迫美月、同研究員・柳田明進、松田和貴、同室長・脇谷草一郎、都城発掘調査部（飛鳥・藤原）主任研究員・田村朋美、文化財防災センター長・高妻洋成　他	10月22日	日本文化財科学会第40回記念大会
37	同上	泥に覆われたキトラ古墳壁画の元素マッピング調査	埋蔵文化財センター長　金田明大　他	10月22日	日本文化財科学会第40回記念大会　ポスター発表
38	遺跡現地における壁画の安定した保存に関する研究	文化財資料の変形・損傷予測に基づいた保存環境の制御方法の検討 ー法隆寺金堂飛天壁画下地の模擬材料を対象とした引張強度測定ー	保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同客員研究員・小椋大輔、同室長・脇谷草一郎　他	6月25日	日本建築学会近畿支部研究発表会
39	同上	文化財資料の変形・損傷予測に基づいた保存環境の制御方法の検討 ー法隆寺金堂飛天壁画下地の模擬材料を対象とした引張強度測定ー	保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同客員研究員・小椋大輔、同室長・脇谷草一郎　他	9月14日	日本建築学会大会学術講演会
40	同上	法隆寺金堂飛天壁画下地の模擬材料を対象とした圧縮・引張強度と弾性率の測定	保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同客員研究員・小椋大輔、同室長・脇谷草一郎　他	10月21日	日本文化財科学会第40回記念大会

(3) 文化遺産保護に関する国際協働　8件

○文化遺産保護に関する国際協働の総合的な推進　8件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	文化遺産保護に関する国際情報の収集・研究・発信	生命科学が切り開いたミクロ世界の考古学	国際遺跡研究室長　庄田慎矢	11月14日	NAISTマテリアル研究プラットフォームセンター・生命科学研究基盤センターキックオフシンポジウム
2	同上	文化遺産の研究・保護に関わる技術移転の取り組み	国際遺跡研究室長　庄田慎矢	6年1月20日	世界文化遺産の50年:日本の貢献のこれまでとこれから
3	文化遺産に関する研究交流（イギリス等）	残存脂質分析の歴史時代への応用	国際遺跡研究室アソシエイトフェロー　村上夏希	4月2日	国際シンポジウム 考古学マススペクトロメトリーが明かす古代の食
4	同上	日本における残存脂質分析の21世紀的展開	国際遺跡研究室長　庄田慎矢	4月2日	国際シンポジウム 考古学マススペクトロメトリーが明かす古代の食
5	同上	Scoping the Foodways in Prehistoric East Asia Using Biomolecular Techniques	国際遺跡研究室長　庄田慎矢	9月7日	Joint seminar with Archaeology, Lund University
6	同上	Exploring East Eurasian food traditions through the window of pottery lipid residues	国際遺跡研究室長　庄田慎矢	9月8日	University of Copenhagen The Globe Institute Seminar
7	同上	Regional differences in stone cooking in the Japanese Palaeolithic as revealed by lipid residues	国際遺跡研究室長　庄田慎矢	9月13日	10th Meeting of the International Society for Biomolecular Archaeology
8	アジア地域等の文化遺産に関する調査研究及び保護協力事業	残存有機物分析からみた古代祭祀とキビ料理 ―カザフスタン南西部2遺跡を事例に―	国際遺跡研究室アソシエイトフェロー　村上夏希	10月21日	日本文化財科学会第40回記念大会

(4) 文化財に関する情報資料の収集・整備及び調査研究成果の公開・活用　8件

○文化財情報基盤の整備・充実　8件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	文化財に関するデータベースの充実	大坂城石垣関連石材における刻印鮮明化手法の意義と可能性―考古学×文献史学×ITによる成果―	企画調整部主任研究員　高田祐一	5月28日	日本考古学協会 第89回総会研究発表
2	同上	沿岸部潮間帯におけるSUP及びサイドスキャンソナーによる水中遺跡の分布調査―小豆島西海岸の近世石丁場の事例―	企画調整部主任研究員　高田祐一　他	5月28日	日本考古学協会 第89回総会研究発表
3	同上	趣旨説明 セッション「デジタル化時代の遺跡・埋蔵文化財包蔵地・遺跡地図を考える」	企画調整部主任研究員　高田祐一	5月28日	日本考古学協会 第89回総会
4	同上	佐賀藩の巨石採石技術の変遷	企画調整部主任研究員　高田祐一	6月4日	公益財団法人鍋島報效会第22回研究助成 研究報告会
5	同上	異世界文化財探索者の冒険ー未知の可能性への道を照らすGISー	企画調整部主任研究員　高田祐一	9月3日	Code4Lib JAPAN Conference 2023
6	同上	奈良文化財研究所の取り組み	企画調整部主任研究員　高田祐一	6年3月11日	人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業フォーラム
7	同上	航空レーザー測量データを活用した遺跡の探し方	企画調整部主任研究員　高田祐一	6年3月13日	令和5年度鳥取県埋蔵文化財センター埋蔵文化財担当職員専門研修

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
8	同上	近世初期の巨石採石技術：小豆島石丁場の分析から	企画調整部主任研究員 高田祐一	6年3月31日	大阪府立狭山池博物館 歴史講演会

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】　2件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	アジア太平洋地域の無形文化遺産保護に関する調査研究	IRCI による研究活動の成果と課題	アソシエイトフェロー 山本倫未	12月16日	京都民俗学会 第357 回談話会「民俗学で表現する無形文化遺産―民俗学実践フォーラム2023」
2	アジア太平洋地域の無形文化遺産保護に関する調査研究	Intangible Cultural Heritage Perspectives for Heritage Management: Introducing Initiatives of IRCI	アソシエイトフェロー 辻　貴志 研究担当室長　野嶋洋子	6年3月4日	We Are Site Managers 国際シンポジウム

c-④ シンポジウム開催実績一覧

令和6年3月31日現在

国立文化財機構合計	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	皇居三の丸尚蔵館
	4件	0件	1件	1件	2件	0件
23件	文化財研究所計	東京文化財研究所			奈良文化財研究所	
	12件	7件			5件	
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター	本部文化財活用センター			本部文化財防災センター	
	0件	0件			7件	

【本部文化財活用センター】　0件

【本部文化財防災センター】　7件

○令和 5 年度文化財防災センター講演会　「大災害時代の文化財防災　過去・現在・未来―関東大震災 100 年」

開 催 日　8月20日
開催場所　東京国立博物館　平成館　大講堂
主　　催　文化財防災センター　東京国立博物館　東京文化財研究所
参加者数　会場 190人
事業内容　関東大震災から100年を迎えるにあたり、人文科学、自然科学の両面から関東大震災の被害と復興を振り返るとともに、これからの地域形成や防災における文化財の果たす役割や課題について議論した。

○トルコ地震に係る専門家会議
開 催 日　会議：12月1日
開催場所　トルコ共和国文化遺産観光省博物館総局カンファレンスホール
共　　催　文化財防災センター、東京文化財研究所、トルコ共和国文化遺産観光省博物館総局
参加者数　40人
事業内容　2023年2月6日に発生したトルコ地震に関して、日本側の災害対応の事例紹介を行ったうえで、トルコ側の対応について報告をもらい、どのような協力関係が構築できるかについて討論を行った。

○トルコ地震に係る総括会議
開 催 日　会議：12月6日
開催場所　トルコ共和国文化観光省文化遺産博物館総局上級委員会サロン
共　　催　文化財防災センター、東京文化財研究所、トルコ共和国文化遺産観光省博物館総局
参加者数　59人
事業内容　12月1日の専門家会議、その後のトルコ国内における被災地巡検を経て、日本、トルコの文化財防災に係る協力関係の方向性について総括討議を行った。

○国際会議「アジア太平洋地域における文化財防災の現状と課題(III)　―災害へのレジリエンスを高めるための減災の取り組みと事前の備え―」
開 催 日　会議：12月13日～14日、エクスカーション：12月15日
開催場所　奈良県コンベンションセンター等
共　　催　文化庁、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所、文化財防災センター
参加者数　28人
事業内容　アジア太平洋地域の国々において取り組まれている様々な事例の共有と意見交換を通して、災害に対してより強靭な状況を創出するための平常時の取り組みを検討する国際会議を開催した。

○令和5年度文化財防火デートークイベント「正倉院と国立民族学博物館の文化財防災」
開 催 日　1月25日
開催場所　奈良国立博物館講堂
主　　催　文化財防災センター、奈良国立博物館
参加者数　会場50人
事業内容　文化財の災害やその対策、保存等の活動を通して、文化財防災の理解を深めてもらうことを目的として、これまでの歴史や自然災害や生物被害、人為的災害と現場で行われている災害対策や保存館、修理等を紹介するイベントを開催した。

○トルコにおける文化遺産防災体制構築を見据えた被災文化遺産復興支援事業現地調査報告会
開 催 日　6年2月4日
開催場所　東京文化財研究所
参加者数　対面：25人、オンライン：35人
事業内容　視察及び現地専門家会議についてのフィードバックを得るための報告会を開催し、トルコ・シリア地震における被災文化遺産救援について、復興後の体制構築までを見据えた次の展開を検討した。

○研究集会「気候変動下の文化財防災」
開 催 日　6年2月22日
開催場所　奈良文化財研究所
主　　催　文化財防災センター
参加者数　31人
事業内容　気候変動により被害が拡大すると想定される災害について関係者内で共有をはかるとともに、そうした災害により被災を受けた過去の経験の共有をはかり、気候変動の進む現在におけう文化財防災の課題について議論を行う研究集会を開催した。

【東京国立博物館】　0件

【京都国立博物館】　1件

○研究発表と座談会　浄土真宗を中心とした祖師信仰とその造形
開 催 日　4月23日
開催場所　京都国立博物館
主　　催　公益財団法人仏教美術研究上野記念財団・京都国立博物館
参加人数　53人
事業内容　仏教美術研究上野記念財団と当館との共催で行ったシンポジウム。特別展「親鸞―生涯と名宝」（3月25日～5月21日）に合わせて開催したものである。浄土真宗を含む「鎌倉新仏教」は宗祖への篤い尊崇に特徴があり、多くつくられた肖像画や肖像彫刻、あるいは絵伝がその祖師信仰の強さを物語っていることをテーマとして、仏教史、美術史の学際的な研究者4名の発表、それに基づき座談会を行った。

【奈良国立博物館】　1件

○正倉院学術シンポジウム2023「正倉院宝物と仏教美術」
開 催 日　10月29日
開催場所　奈良国立博物館　講堂
主　　催　奈良国立博物館
参加者数　38人
事業内容　テーマに基づき3名の研究者による研究発表とパネルディスカッションを行った。
第1部：研究発表　「正倉院の『樹皮色』の袈裟についての一考察」、「初唐・盛唐期の絵画様式と正倉院宝物 ―漆六角厨子・漆金銀絵仏龕扉の位置づけを中心に―」、「正倉院宝物の捍撥絵―狩猟宴楽図と騎象奏楽図を中心に―」
第2部：パネルディスカッション

○令和5年度文化財防火デートークイベント「正倉院と国立民族学博物館の文化財防災」
開 催 日　1月25日
開催場所　奈良国立博物館　講堂
主　　催　文化財防災センター、奈良国立博物館
参加者数　会場50人
事業内容　文化財の災害やその対策、保存等の活動を通して、文化財防災の理解を深めてもらうことを目的として、これまでの歴史や自然災害や生物被害、人為的災害と現場で行われている災害対策や保存館、修理等を紹介するイベントを開催した。

【九州国立博物館】　2件

○公開シンポジウム　全国高等学校歴史学フォーラム2023
開 催 日　8月5日
開催場所　ミュージアムホール
主　　催　九州国立博物館
参加者数　28人(参加校関係者数)
事業内容　高校生が、歴史学研究に関する活動内容や成果をポスターセッションにて発表。
「天岩戸伝説が問いかける「秋月の乱」」（福岡県立朝倉高等学校 史学部）、「「神宿る島」壱岐の信仰について～歴史的変遷と特異性～」（長崎県立壱岐高等学校 東アジア歴史・中国語コース）、「僕らのキュートな象嵌鍔」（福岡県立糸島高等学校 歴史部）、「「決号作戦」下において篠栗町に設置された司令部と戦時中の篠栗町の調査」（福岡県立香住丘高等学校）、「東洋一！？大刀洗飛行場の謎にせまる！！」（九州産業大学付属九州産業高等学校 史跡探索研究部）、「密着！！女工・工女さんのカッポウ着とおやつ」（埼玉県立熊谷西高等学校）、「双龍文環頭太刀柄頭の謎」（福島県立相馬高等学校 郷土部）、「養蚕信仰が現在の地域社会に与えている影響について」（群馬県立高崎北高等学校）、「山田棒ノ尾遺跡における須恵器窯採集資料の検討」（福岡県立宗像高等学校 歴史研究会）、「栃木県における猫神信仰」（栃木県立矢板東高等学校 リベラルアーツ同好会）

○九州国立博物館「大宰府学研究」事業シンポジウム　大宰府と坂道を考える。- つづら折りの官道と古代の坂越え -
開 催 日　6年2月3日
開催場所　ミュージアムホール
主　　催　九州国立博物館
参加者数　140人
事業内容　基調講演「坂・峠と日本古代の交通」 鈴木景二（富山大学）
報告1「つづら折りの古代官道の発見 -因幡国山陰道跡の調査-」坂本嘉和（鳥取県教育文化財団）
報告2「大宰府山越えの古代道 -塹山埋谷・辟山通道・大直小曲-」小鹿野亮（筑紫野市歴史博物館）
報告3「大宰府管内の坂道 -西海道につづら折り官道はあったか-」大高広和（九州国立博物館）
パネルディスカッション

【皇居三の丸尚蔵館】　0件

【東京文化財研究所】　7件

○特別講演会「ツタンカーメン王墓発見100周年　エジプト王家の谷発掘調査の現在」
開 催 日　4月30日
開催場所　東京国立博物館平成館大講堂
主　　催　金沢大学古代文明・文化資源学研究所、東京文化財研究所
参加者数　275人
事業内容　バーゼル大学ビッケル教授を招聘し、古代エジプトの王墓地に関する最新調査成果についての特別講演会を催した。

○国際シンポジウム「大エジプト博物館のいま　ファラオの至宝をまもる2023」
開 催 日　8月6日
開催場所　東京国立博物館平成館大講堂
主　　催　東京文化財研究所、大エジプト博物館、JICA
参加者数　315人
事業内容　エジプト人専門家2名を招聘し、大エジプト博物館の展示内容と保存修復技術支援についてのシンポジウムを開催した。

○第33回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会「文化遺産保護の国際動向」
開 催 日　11月12日
開催場所　東京文化財研究所
主　　催　文化遺産国際協力コンソーシアム、文化庁
参加者数　62人
事業内容　直近の世界遺産委員会の様子や無形文化遺産保護条約をめぐる動向のほか、文化財の保存及び修復のための国際センターであるICCROMの最近の活動を共有し、国際的な文化遺産保護の潮流やその中での日本の役割を考える研究会を開催した。

○「万物の黎明ー人類史を根本からくつがえす」を読む
開 催 日　12月17日
開催場所　東京文化財研究所
主　　催　比較考古学研究会、東京文化財研究所
参加者数　160人
事業内容　「万物の黎明ー人類史を根本からくつがえす」公刊記念シンポジウムを開催した。

○世界遺産研究協議会「複雑化する世界遺産をみまもる目―作業指針、事前評価そして影響評価―」
開 催 日　12月21日
開催場所　東京文化財研究所
主　　催　東京文化財研究所
参加者数　90人
事業内容　国内の世界遺産に関係する自治体担当者や研究者等とする研究会を開催した。

○令和5年度文化遺産国際協力コンソーシアムシンポジウム 世界遺産条約制定50周年記念「世界文化遺産の50年：日本の貢献のこれまでとこれから」
開 催 日　　6年1月20日
開催場所　　京都大学国際科学イノベーション棟5階シンポジウムホール
主　　催　　文化遺産国際協力コンソーシアム、文化庁、外務省
参加者数　　会場 137人、オンライン433人
事業内容　　世界遺産条約制定50周年を記念し、世界遺産制度のこれまでのあゆみとともにこの分野における我が国の貢献を振り返り、今後の国際協力に向けた展望や課題を議論する国際シンポジウムを開催した。

○タネイ寺院遺跡東門修復竣工記念研究会
開 催 日　　6年2月14日
開催場所　　東京文化財研究所
主　　催　　東京文化財研究所
参加者数　　会場 24人
事業内容　　東文研とAPSARAによる協力事業の一環としてタネイ寺院遺跡東門の解体修復工事が竣工したことを記念し、本事業に携わったカンボジア側の主な担当者を本邦に招聘し、タネイを含むアンコール遺跡群の保存整備をテーマとする公開研究会を開催した。

【奈良文化財研究所】　5件

○国際シンポジウム「考古学マススペクトロメトリーが明かす古代の食」
開 催 日　　4月2日
開催場所　　同志社大学今出川キャンパス
主　　催　　奈良文化財研究所、同志社大学
参加者数　　会場 29人、オンライン 1人
事業内容　　質量分析計をもちいた考古学的研究に関する最新の研究成果を持ち寄った。

○文化的景観研究集会（第11回）山の風景史 ― 育成林のとらえ方とその保全 ―
開 催 日　　9月1日
開催場所　　大会議室
主　　催　　奈良文化財研究所
参加者数　　会場38人、オンライン105人
事業内容　　林業に関わる文化的景観の事例や保護の課題等について、保護行政担当者などの参加者とともに検討した。

○第27回古代官衙・集落研究集会「古代集落の構造と変遷4」（古代集落を考える4）
開 催 日　　12月16日
開催場所　　平城宮跡資料館講堂
主　　催　　奈良文化財研究所
参加者数　　会場50人、オンライン97人
事業内容　　「古代集落における「建物群」の把握に関する試算」のほか5名の報告者が各地域の集落遺跡の構造とその変遷についての研究報告を行った。

○国際シンポジウム「ウクライナの戦災文化財をどのように保護するか」
開 催 日　　6年1月15日
開催場所　　東京文化財研究所
主　　催　　文化庁
共　　催　　奈良文化財研究所・東京文化財研究所
参加者数　　会場 38人、オンライン 2人
事業内容　　ウクライナの考古学者・人類学者3名を招へいし、また現地とオンラインでつなぎ、同国における戦災被害の状況の共有と日本からどのような援助ができるかについて討議した。

○第23回古代瓦研究会シンポジウム「平安時代前・中期の軒瓦」
開 催 日　　6年2月3日・4日
開催場所　　平城宮跡資料館講堂
主　　催　　奈良文化財研究所
参加者数　　会場132人、オンライン65人
事業内容　　畿内の平安時代前期・中期の瓦に焦点をあて、各地の瓦の紋様や製作技法の特徴をあきらかにし、都と周辺地域との関係等を議論した。

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】　0件

c-⑤ 論文等発表実績一覧

令和 6 年 3 月 31 日現在

国立文化財機構合計	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	皇居三の丸尚蔵館
	310 件	161 件	53 件	56 件	30 件	10 件
532 件	文化財研究所計	東京文化財研究所		奈良文化財研究所		
	211 件	65 件		146 件		
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター	本部文化財活用センター		本部文化財防災センター		
	1 件	1 件		9 件		

【本部文化財活用センター】　1件

〇有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　0 件

〇その他有形文化財に関連する調査研究　1件

	研究テーマ	発表者（職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載年月日	査読有無
1	展示・収蔵環境の管理と改善に関する調査研究	本部文化財活用センター保存担当研究員　間渕創	文化財保存におけるカビの驚異	「絲綢之路」No.103 2023 年秋号	（公財）文化財保護・芸術研究助成財財団	10月20日	無

【本部文化財防災センター】　9件

〇文化財防災に関する調査研究　　9件

	研究テーマ	発表者（職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載年月日	査読有無
1	文化財防災に関する調査研究	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	文化財防災センターが取り組む防災体制	全科協 NEWS　53	全国科学博物館協議会	5月1日	無
2	同上	文化財防災センター研究員　黄川田翔	東京都を取り巻く災害リスクと文化財防災で目指すレジリエンスな地域社会	文化財の保護 第 56 号	東京都教育委員会	7月31日	無
3	同上	文化財防災センター研究員　中島志保、同センター長　高妻洋成	The Establishment of the Cultural Heritage Disaster Management Center and the Development of a Collaborative System for Cultural Property Disaster Prevention	EARTHQUAKE DISASTER PREVENTION OF CULTURAL HERITAGES-EXPERIENCE AND DEVELOPMENT IN JAPAN-	ICOMOS JAPAN	8月	無
4	同上	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	災害調査システムの実働	2023 年度日本建築学会大会（近畿）建築歴史・意匠部門パネルディスカッション（1）資料「歴史的建築データベースのこれまでこれから」	日本建築学会	9月12日	無
5	同上	文化財防災センター研究員　水谷悦子	予防的保存の担い手を育てる―一時保管場所のゾーニングに関するワークショップを一例に	月刊文化財　12 月号	第一法規	12月１日	無
6	同上	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	地域文化を災害から守る―文化財防災センターの役割	地域文化と博物館	人間文化研究機構	12月30日	無
7	同上	文化財防災センター　主任研究員　鷲頭桂	災害・復興・アートの力―長沢芦雪の場合―	特別展図録『生誕 270 年長沢芦雪』	九州国立博物館	6年2月6日	無
8	同上	文化財防災センター　中島志保、後藤知美、鷲頭桂	文化財保存活用大綱における「防災・災害発生時の対応」の分析	保存科学　63	東京文化財研究所	6年3月18日	有
9	同上	文化財防災センター研究員　後藤知美	Disaster Risk Assessment and Prevention for ICH – Introducing the activities of Cultural Heritage Disaster Risk Management Center, Japan–	Final paper on DRM Project 2023	IRCI	6年3月	無

【東京国立博物館】161件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　150件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	有形文化財の収集・保管・展覧事業・教育普及活動等に関する調査研究	調査研究課考古室研究員 菊池望	弥生時代無茎銅鏃の基礎的検討	考古学と文化史 -同志社大学考古学研究室開設70周年記念論集-	同志社大学考古学研究室	4月1日	無
2	同上	客員研究員　惠美千鶴子	装飾料紙と書3 和歌体十種	ビオシティ94号	ブックエンド	4月10日	無
3	同上	列品管理課 登録室・貸与特別観覧室長　瀬谷愛	国宝「普賢菩薩像」修理の経緯	国宝 普賢菩薩像 令和の大修理 全記録	東京美術	4月15日	無
4	同上	副館長　浅見 龍介,客員研究員　皿井 舞, 列品管理課登録室主任研究員 西木 政統	《特集》運慶展X線断層(CT)調査報告Ⅱ	『Museum』703号	東京国立博物館	4月15日	有
5	同上	調査研究課工芸室主任研究員　清水健	鎮壇具の世界	『東日本大震災復興祈念 悠久の絆　奈良・東北のみほとけ展』	東北放送株式会社	4月15日	無
6	同上	列品管理課 登録室・貸与特別観覧室長　瀬谷愛	幕府御用絵師板谷桂舟弘延	浦佐毘沙門堂楼門天井画修復記念 板谷桂舟 天井画展	毘沙門堂楼門天井画修復記念事業実行委員会	4月29日	無
7	同上	企画課特別展室主任研究員　河野正訓	農具鉄製刃先の所有と社会システムの変化ー古墳時代の西日本を中心にー	日本考古学協会第89回総会 研究発表要旨	東京国立博物館	5月16日	無
8	同上	保存修復課環境保存室研究員　黄川田翔	文化財のマテリアルライフへ及ぼす照明の影響 博物館・美術館の展示空間におけるLEDの活用と保存環境への影響	マテリアルライフ学会誌35(2)	マテリアルライフ学会	5月31日	無
9	同上	調査研究課考古室長　井出浩正	古代メキシコ文明の概説	『うえの』766号	上野のれん会	6月1日	無
10	同上	調査研究課考古室長　井出浩正	古代メキシコと日本の「目」の表現について	特別展図録『古代メキシコーマヤ、アステカ、テオティワカン』	東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社	6月16日	無
11	同上	学芸研究部長　河野一隆	正面から描くか側面から描くか？ー時を越えたメキシコ壁画行脚	特別展図録『古代メキシコーマヤ、アステカ、テオティワカン』	東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社	6月16日	無
12	同上	保存修復課保存修復室主任研究員　大橋美織	浦上玉堂筆「山水図扇面」	國華第1532号	國華社	6月20日	無
13	同上	客員研究員　惠美千鶴子	装飾料紙と書4 平家納経	ビオシティ95号	ブックエンド	7月1日	無
14	同上	博物館教育課ボランティア室主任研究員　小野塚拓造	Excavating at the Lower Shelf of Tel Rekhesh	Proceedings of the 12th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East 2	Harrassowitz Verlag	7月22日	無
15	同上	博物館教育課教育普及室主任研究員　小野塚拓造	考古資料から探る鉄器時代の人々といきものとの関り	シンポジウム 西アジアのいきものを巡る歴史と文化	古代オリエント博物館	7月23日	無
16	同上	学芸研究部長　河野一隆、調査研究課考古室 飯田茂雄、列品管理課平常展調整室長　市元塁、企画課特別展室主任研究員　河野正訓、調査研究課考古室研究員　山本亮	シアトル美術館所蔵 日本・東洋考古作品調査概報	MUSEUM 705号	東京国立博物館	8月15日	有
17	同上	調査研究課考古室長　井出浩正	パプアニューギニア東部島嶼地域の民族誌	『パプアニューギニア民族誌と縄文社会』	同成社	8月31日	無
18	同上	調査研究課考古室長　井出浩正	パプアニューギニア本島低地部の民族誌	『パプアニューギニア民族誌と縄文社会』	同成社	8月31日	無
19	同上	学芸研究部長　河野一隆	威信財論の超克	何が歴史を動かしたのか 第2巻　弥生文化と世界の考古学	雄山閣	9月25日	無
20	同上	上席研究員　勝木言一郎	「聞こえてくる、異邦人の調べ」「もはやクライマックス！天地を巻き込んだパフォーマンス」「コラム　舎利容器に描かれた異邦人の芸能」「光のフェス」「古代より続く光の祭り」「熱気みなぎる神の舞」	『博物館でアジアの旅 アジアのパーティー』	東京国立博物館	9月26日	無
21	同上	調査研究課工芸室研究員 沼沢ゆかり	作品解説等	『博物館でアジアの旅 アジアのパーティー』	東京国立博物館	9月26日	無
22	同上	学芸企画部長　松嶋雅人	東京国立博物館の近世やまと絵コレクション	東京国立博物館編『東京国立博物館所蔵　近世やまと絵50選』	吉川弘文館	9月28日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
23	同上	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕	やまと絵の伝統と変容―古代・中世から近世へ―/近世土佐派の消長/住吉派の再興と板谷派の創出/復古やまと絵を担った三人の絵師	東京国立博物館編『東京国立博物館所蔵　近世やまと絵 50 選』	吉川弘文館	9 月 28 日	無
24	同上	保存修復課保存修復室主任研究員　大橋美織	狩野派―日本美術史上最大の絵師集団／琳派―雅の系譜／宮廷と京都画壇―東博コレクションから	東京国立博物館編『東京国立博物館所蔵　近世やまと絵 50 選』	吉川弘文館	9 月 28 日	無
25	同上	客員研究員　惠美千鶴子	書からみえた「円珍」	湖国と文化 185 号	びわ湖芸術文化財団	10 月 1 日	無
26	同上	調査研究課絵画・彫刻室研究員　村瀬可奈	楊洲周延　武士から絵師へ　絵筆で時代を切り拓く	『楊洲周延　明治を描き尽くした浮世絵師』展図録	町田市立国際版画美術館	10 月 7 日	無
27	同上	企画課特別展室長　佐藤寛介	重要な役割担う岡山の博物館	山陽新聞	山陽新聞社	10 月 8 日	無
28	同上	調査研究課絵画・彫刻室研究員　村瀬可奈	小林清親―旧幕臣絵師の幕末明治―	『激動の時代　幕末明治の絵師たち』展図録	サントリー美術館	10 月 11 日	無
29	同上	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕	–	『もっと知りたい　やまと絵』	東京美術	10 月 30 日	無
30	同上	客員研究員　髙濱秀	シアルク B 墓地出土の馬具について	考古学雑誌　第 106 巻第 1 号	日本考古学会	11 月	有
31	同上	企画課特別展室研究員　福島修	「和製唐物漆器の展開と特質」	『鹿島美術研究』年報第 40 号別冊	鹿島美術財団	11 月	無
32	同上	客員研究員　鍋島稲子	空海の書―唐からの贈り物	『国宝「三十帖冊子」修理から見えてきたもの』	（株）勉誠社	11 月 11 日	無
33	同上	調査研究課工芸室主任研究員　清水健	春日若宮御祭礼図屏風について	『春日若宮おん祭　江戸時代の御渡り式』（「春日若宮おん祭解説書」第 39 集）	一般財団法人春日若宮おん祭保存会	12 月 7 日	無
34	同上	企画課長　原田あゆみ	「スコータイ刻文と仏塔建立：仏舎利安置と蓮蕾形仏塔」	2019-2022 年度科学研究費研究成果報告書『東南アジア「古代史」の下限としての 14・15 世紀に関する地域・分野横断的研究』	東京外国語大学	12 月 10 日	無
35	同上	調査研究課工芸室　沼沢ゆかり	インドネシア、スラウェシ島伝世インド更紗の年代考察–模様表現を視座として–	『MUSEUM』 707 号	東京国立博物館	12 月 15 日	有
36	同上	客員研究員　谷豊信、列品管理課平常展調整室長　市元塁、保存修復課調査分析室専門職　宮田将寛　ほか	高精細 X 線 CT スキャナによる古代中国封泥の研究	『MUSEUM』 707 号	東京国立博物館	12 月 15 日	有
37	同上	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	玄証本と請来図像	アジア仏教美術論集　東アジアⅦ（アジアの中の日本）	中央公論美術出版	12 月 26 日	無
38	同上	調査研究課考古室長　井出浩正	縄文時代中期の社会交流	『縄文社会の研究』	六一書房	6 年 1 月	無
39	同上	保存修復課調査分析室専門職　宮田将寛	文化財の立体的構造調査とデジタルデータの活用	絲綢之路　No.104	公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団	6 年 1 月 25 日	無
40	同上	客員研究員　鍋島稲子	『世説新語』の世界	『連携企画 20 周年　王羲之と蘭亭序』	公益財団法人台東区芸術文化財団	6 年 1 月 31 日	無
41	同上	客員研究員　鍋島稲子	日本の曲水宴	『連携企画 20 周年　王羲之と蘭亭序』	公益財団法人台東区芸術文化財団	6 年 1 月 31 日	無
42	同上	客員研究員　鍋島稲子	中林梧竹と蘭亭序	『連携企画 20 周年　王羲之と蘭亭序』	公益財団法人台東区芸術文化財団	6 年 1 月 31 日	無
43	同上	企画課特別展室研究員　福島修	「「橘の小島」と留守模様」	図録『源氏物語 THE TALE OF GENJI』	東京富士美術館	6 年 2 月	無
44	同上	企画課特別展室研究員　福島修	作品解説	図録『源氏物語 THE TALE OF GENJI』	東京富士美術館	6 年 2 月	無
45	同上	博物館教育課ボランティア室長　川岸瀬里	能面の写しと能面研究の課題について	美學美術史論集	成城大学大学院文学研究科	6 年 3 月	有
46	同上	保存修復課調査分析室専門職　宮田将寛　ほか	国立西洋美術館所蔵絵画 3 作品の年輪年代調査	国立西洋美術館研究紀要 No.28	国立西洋美術館	6 年 3 月	無
47	同上	客員研究員　谷豊信　ほか	高精細Ｘ線ＣＴスキャナ活用を中心とする古代中国の封泥の作成方法に関する総合的研究	科学研究費補助金研究報告書	―	6 年 3 月	無
48	同上	調査研究課工芸室主任研究員　清水健	神宝より見える、見えない日本の神々の姿	『「見える」ものや「見えない」ものをあらわす東アジアの思想・文物・藝術』	勉誠社	6 年 3 月 25 日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
49	同上	企画課特別展室主任研究員 河野正訓、保存修復課保存修復室研究員　野中照美、調査研究課考古室研究員 山本亮、保存修復課調査分析室専門職　宮田将寛　ほか	―	修理調査報告　国宝　埴輪 挂甲の武人	東京国立博物館	6年3月26日	無
50	同上	客員研究員　谷豊信	秦漢封泥とはなにか	『秦帝国と封泥　ー社会を支えた「伝送」システム』	同成社	6年3月29日	有
51	同上	調査研究課考古室研究員 菊池望	弥生時代中期の銅鐸生産における鋳掛技術の位置づけ	アジア鋳造技術史学会誌 FUSUS	アジア鋳造技術史学会	6年3月31日	有
52	同上	上席研究員・勝木言一郎	大英博物館所蔵の報恩経変相 Stein Painting の図像に関するー考察	『儒教美術研究』第1号	筑波大学日本美術史研究室	6年3月31日	無
53	同上	企画課特別展室長　佐藤寛介	水野勝成の甲冑から見た日本甲冑の特質	刈谷市指定文化財「鉄錆地塗紺糸縅塗込仏胴具足・尉頭形兜」修復・調査報告書	刈谷市	6年3月31日	無
54	同上	企画課長　原田あゆみ	「調査データ編　個別作品データ（碑文解題）」	2020-2022年度科学研究費研究成果報告書『東南アジアにおける聖地誕生の諸相：古代から近世にいたる仏教文化交流網の研究』	九州国立博物館	6年3月31日	無
55	特別調査「法隆寺献納宝物」（第43次）	調査研究課絵画・彫刻室研究員　増田政史	作品解説5件	『法隆寺献納宝物特別調査概報43 伎楽面X線断層（CT）調査』	東京国立博物館	6年3月31日	無
56	同上	列品管理課登録室主任研究員　西木政統	作品解説11件	『法隆寺献納宝物特別調査概報43 伎楽面X線断層（CT）調査』	東京国立博物館	6年3月31日	無
57	収蔵品等の有形文化財に関する調査研究	調査研究課絵画・彫刻室主任研究員　植松瑞希	明代蘇州における輞川憧憬の諸相	輞川図と蘭亭曲水図　イメージとテクストの交響	勉誠出版	5月10日	無
58	同上	調査研究課東洋室研究員 六人部克典	宋代以降の王羲之書法の継承	輞川図と蘭亭曲水図　イメージとテクストの交響	勉誠出版	5月10日	無
59	同上	調査研究課長　小山弓弦葉	The Beauty of Kimono ; Formal Outer Kimono ("Uchikake") with Bamboo Curtains, "Kusudama", and Cherry Blossoms	High lighting Japan, vol.180	政府広報	5月31日	無
60	同上	列品管理課平常展調整室長　市元塁	脚付三連容器	『MUSEUM』 704号	東京国立博物館	6月15日	有
61	同上	保存修復課保存修復室研究員　佐藤萌	タンニン酸鉄媒染綿布に対するフノリと膠処置による保存方法の検討	文化財保存修復学会第45回大会	文化財保存修復学会	6月25日	無
62	同上	調査研究課長　小山弓弦葉	The Beauty of Kimono ; "Furisode" (kimono with long sleeves) Plum trees, standing screens, and falcon design on whity brown chirimen crepe ground	High lighting Japan, vol.181	政府広報	6月30日	無
63	同上	列品管理課平常展調整室長　市元塁	鮮卑考古学の現在―中国北・東北部の調査研究を中心に―	考古学ジャーナル 784 24-26	ニューサイエンス社	7月30日	無
64	同上	調査研究課長　小山弓弦葉	The Beauty of Kimono ; Nuihaku (Noh Costume)-Design of Lily and Court-Cow-Cartage Patterns of Brown Fabric	High lighting Japan, vol.182	政府広報	7月31日	無
65	同上	調査研究課長　小山弓弦葉	美の10選「きものは自由」	日本経済新聞	日本経済新聞社	8月10日～8月24日	無
66	同上	調査研究課絵画・彫刻室主任研究員　植松瑞希	南宋　伝趙昌筆　茉莉花図	『國華』1534号	國華社	8月18日	無
67	同上	企画課特別展室研究員　高橋真作	元 虎巌浄伏賛 拾得図	『國華』1534号	國華社	8月18日	無
68	同上	学芸研究部調査研究課東洋室研究員・六人部克典	元　馮子振筆　易元吉画巻跋	『國華』1534号	國華社	8月18日	無
69	同上	調査研究課長　小山弓弦葉	The Beauty of Kimono ; Summer Robe (Katabira) with Plants, Courtly Carriages, and Brushwood Fences	High lighting Japan, vol.183	政府広報	8月31日	無
70	同上	調査研究課長　小山弓弦葉	The Beauty of Kimono:Kosode (a Garment with Small Wrist Openings) with Autumn Flower-Plants Pattern on Twill Weave Fabric , Painted by Ogata Korin	High lighting Japan, vol.184	政府広報	9月30日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
71	同上	調査研究課長　小山弓弦葉	日本伝統工芸展 60 回記念　特別展「人間国宝―生み出された美、伝えゆくわざ―」	日本工芸会創立 70 周年記念会誌	日本工芸会	10 月	無
72	同上	調査研究課長　小山弓弦葉	月次風俗図の服飾および風俗表現にみる制作時期	MUSEUM 706 号	東京国立博物館	10 月 15 日	有
73	同上	特任研究員　田沢裕賀	Hokusai:Life and Works	Late Hokusai:Society,Thought,Technique,Legacy	The British Museum	10 月 31 日	無
74	同上	調査研究課長　小山弓弦葉	The Beauty of Kimono:Kosode (Garment with Small Wrist Openings), Design of Mandarin Ducks and Waves on Black Figured Satin	High lighting Japan, vol.185	政府広報	10 月 31 日	無
75	同上	調査研究課絵画・彫刻室主任研究員　植松瑞希	文伯仁筆「四万山水図」について―画風と主題の再検討	中国美術史の眺望	汲古書院	11 月 29 日	無
76	同上	調査研究課長　小山弓弦葉	世界とつながる江戸モード　第一回「サムライが愛した南蛮服」	美しいキモノ　春号	ハースト婦人画報社	6 年 2 月 20 日	無
77	同上	調査研究課東洋室研究員　六人部克典	虚堂智愚墨蹟　与徳惟禅者偈	『國華』1540 号	國華社	6 年 2 月 20 日	無
78	同上	企画課特別展室研究員　高橋真作	仲安真康筆「山水人物図」（東京国立博物館蔵）について	『美学美術史論集』23 号	成城大学大学院文学研究科	6 年 3 月	有
79	同上	保存修復課保存修復室研究員　佐藤萌	Identification of plastics and improvement of their storage at the Kyoto Costume Institute	Textile Conservation: Advances in Practice, Second Edition	Taylor & Francis	6 年 3 月 7 日	有
80	同上	調査研究課絵画・彫刻室主任研究員　植松瑞希	「石鼓文（中権本）」「定武蘭亭序（呉炳本）」「夢筠図巻　唐寅筆」「書画合璧冊　董其昌筆」	中国書画抄録（一）	東京国立博物館	6 年 3 月 29 日	無
81	同上	調査研究課東洋室研究員　六人部克典	「石鼓文（中権本）」「定武蘭亭序（呉炳本）」	中国書画抄録（一）	東京国立博物館	6 年 3 月 29 日	無
82	同上	保存修復課保存修復室研究員　佐藤萌	Effect of Funori and Nikawa Consolidation Treatment on Iron-tannate Artificially Aged Cotton	「保存科学」第 63 号	東京文化財研究所	6 年 3 月 31 日	有
83	同上	学芸研究部長　河野一隆	石製模造品の起源と古墳文化の東方伝播	考古学雑誌	日本考古学会	6 年 3 月 31 日	有
84	同上	列品管理課平常展調整室長　市元塁	隋式馬装の成立	東京国立博物館紀要第 59 号	東京国立博物館	6 年 3 月 31 日	無
85	特集「虫譜づくりの舞台裏―栗本丹洲著『千虫譜』とその展開」に関連する調査研究	調査研究課書跡・歴史室研究員　長倉絵梨子	リーフレット 作品解説等	「虫譜づくりの舞台裏―栗本丹洲著『千虫譜』とその展開」リーフレット	東京国立博物館	6 月 20 日	無
86	特集「儒教の美術―湯島聖堂由来の絵画・工芸を中心にして」に関連する調査研究	保存修復課保存修復室主任研究員　大橋美織、列品管理課長　沖松健次郎、調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕、企画課特別展室研究員　福島修、博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	作品解説	『特集　儒教の美術　湯島聖堂由来の絵画・工芸を中心にして』リーフレット	東京国立博物館	6 月 27 日	無
87	特集「関東大震災と東京国立博物館」に関連する調査研究	企画課特別展室長　佐藤寛介、保存修復課環境保存室研究員　黄川田翔	関東大震災と東京国立博物館	特集パンフレット	東京国立博物館	7 月 11 日	無
88	特集「姫君婚礼につき―蒔絵師総出の晴れ舞台 」に関連する調査研究	企画課特別展室研究員　福島修	作品解説	リーフレット 特集「姫君婚礼につき―蒔絵師総出の晴れ舞台 」	東京国立博物館	7 月 25 日	無
89	特集「日本初のチベット探検―僧河口慧海の見た世界―」に関連する調査研究	列品管理課登録室主任研究員　西木政統	日本初のチベット探検 ： 僧河口慧海の見た世界 ： 特集	リーフレット	東京国立博物館	8 月 22 日	無
90	特集「創立 80 周年記念　常盤山文庫の名宝」に関連する調査研究	特任研究員　今井敦	常盤山文庫の中国陶磁コレクション	図録『常盤山文庫創立八十周年記念名品選　蒐集のまなざし』	公益財団法人常盤山文庫	8 月 29 日	無
91	同上	企画課特別展室研究員　福島修	作品解説	図録『常盤山文庫創立八十周年記念名品選　蒐集のまなざし』	東京国立博物館	8 月 29 日	無
92	特集「近世のやまと絵ー王朝美の伝統と継承ー」に関連する調査研究	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕、博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一、客員研究員　恵美千鶴子、保存修復課保存修復室主任研究員　大橋美織、学芸研究部長松嶋雅人	テーマ解説・作品解説	『特集　仏画のなかのやまと絵山水/特集　近世のやまと絵―王朝美の伝統と継承―』リーフレット	東京国立博物館	9 月 5 日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
93	特集「日本の伝統模様「秋草」」に関連する調査研究	調査研究課長　小山弓弦葉、調査研究課工芸室主任研究員　清水健、博物館教育課教育普及室研究員　中村麻友美	特集　日本の伝統模様　秋草	『特集　日本の伝統模様　秋草』	東京国立博物館	10月11日	無
94	特集「博物館に初もうで　謹賀辰年―年の初めの龍づくし―」に関連する調査研究	調査研究課書跡・歴史室研究員　長倉絵梨子	展覧会紹介	『月刊うえの』773号	上野のれん会	6年1月1日	無
95	同上	調査研究課東洋室主任研究員　児島大輔、調査研究課書跡・歴史室研究員　長倉絵梨子	作品解説等	「博物館に初もうで　謹賀辰年―年の初めの龍づくし―」リーフレット	東京国立博物館	6年1月2日	無
96	同上	調査研究課東洋室主任研究員　児島大輔	年始は龍づくしの東博へ	「新美術新聞」2024年1月15日号	美術年鑑社	6年1月9日	無
97	特集「生誕180年記念　呉昌碩の世界−金石の交わり−」に関連する調査研究	客員研究員　鍋島稲子	呉昌碩の生涯	『生誕180年記念　呉昌碩の世界』	公益財団法人台東区芸術文化財団	6年1月2日	無
98	同上	客員研究員　鍋島稲子	呉昌碩と山田寒山	『生誕180年記念　呉昌碩の世界』	公益財団法人台東区芸術文化財団	6年1月2日	無
99	同上	調査研究課絵画・彫刻室主任研究員　植松瑞希	海上派と呉昌碩―花卉図を中心に	『生誕180年記念　呉昌碩の世界』	公益財団法人台東区芸術文化財団	6年1月2日	無
100	同上	調査研究課東洋室研究員　六人部克典	碑学派と呉昌碩	『生誕180年記念　呉昌碩の世界』	公益財団法人台東区芸術文化財団	6年1月2日	無
101	特集「塔と厨子」に関連する調査研究	調査研究課工芸室主任研究員　清水健	特集　塔と厨子	『特集　塔と厨子』	東京国立博物館	6年1月16日	無
102	特別展「東福寺」に関連する調査研究	企画課特別展室研究員　高橋真作	ポートレイト・イン・ゼン	『芸術新潮』880号	新潮社	4月25日	無
103	同上	企画課特別展室研究員　高橋真作	全50幅で描いた羅漢ワールド	『芸術新潮』880号	新潮社	4月25日	無
104	同上	企画課特別展室研究員　高橋真作	近世を先取りする闥達なる線	『芸術新潮』880号	新潮社	4月25日	無
105	同上	企画課特別展室研究員　高橋真作	白衣観音が、好き!	『芸術新潮』880号	新潮社	4月25日	無
106	同上	企画課特別展室研究員　高橋真作	明兆筆五百羅漢図をめぐる諸問題	石川登志雄編『重要文化財 東福寺五百羅漢図 修理と研究』	勉誠出版	10月31日	無
107	特別展「古代メキシコ　ーマヤ、アステカ、テオティワカン」に関連する調査研究	調査研究課考古室研究員　山本亮	古代メキシコ紀行	特別展古代メキシコ―マヤ、アステカ、テオティワカン展覧会図録	NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社	6月15日	無
108	同上	調査研究課考古室研究員　山本亮	古代メキシコの都市と文明―特別展「古代メキシコ」に寄せて	国立国際美術館ニュース252	独立行政法人国立美術館　国立国際美術館	6年2月1日	無
109	浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念　特別展「京都・南山城の仏像」に関連する調査研究	調査研究課絵画・彫刻室研究員　増田政史	京都・南山城の仏像への祈り	浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念　特別展「京都・南山城の仏像」図録	日本経済新聞社、テレビ東京、BSテレビ東京	9月16日	無
110	同上	調査研究課絵画・彫刻室研究員　増田政史	九体阿弥陀と極楽往生	浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念　特別展「京都・南山城の仏像」図録	日本経済新聞社、テレビ東京、BSテレビ東京	9月16日	無
111	同上	調査研究課絵画・彫刻室研究員　増田政史	浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念　特別展　京都・南山城の仏像	『月刊うえの』770号	上野のれん会	10月1日	無
112	「横尾忠則　寒山百得」に関連する調査研究	学芸企画部長　松嶋雅人	横尾忠則という寒山拾得、あるいは不自由という自由	「横尾忠則　寒山百得展」図録	東京国立博物館	9月12日	無
113	同上	企画課特別展室研究員　高橋真作	東博で「寒山拾得」に浸る	『美術の窓』482号	生活の友社	10月19日	無
114	特別展「やまと絵―受け継がれる王朝の美―」に関連する調査研究	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕	この秋は東博でやまと絵三昧	『月刊うえの』770号	上野のれん会	10月1日	無
115	同上	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕	やまと絵　時代とともに変遷をとげた日本美術の代表格	『小原流挿花』875号	一般財団法人小原流	10月1日	無
116	同上	企画課特別展室研究員　高橋真作	室町漢画における「和漢統合」	特別展『やまと絵　受け継がれる王朝の美』図録	東京国立博物館ほか	10月11日	無
117	同上	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	仏画のなかのやまと絵山水	特別展『やまと絵　受け継がれる王朝の美』図録	東京国立博物館	10月11日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
118	同上	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	宮廷絵師と絵仏師	特別展『やまと絵　受け継がれる王朝の美』図録	東京国立博物館	10月11日	無
119	同上	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	白描やまと絵―彩色画と異なる清楚な絵画	特別展『やまと絵　受け継がれる王朝の美』図録	東京国立博物館	10月11日	無
120	同上	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	十界図屏風―聖俗、和漢のあわい	特別展『やまと絵　受け継がれる王朝の美』図録	東京国立博物館	10月11日	無
121	同上	企画課特別展室研究員　福島修	作品解説	特別展『やまと絵　受け継がれる王朝の美』図録	東京国立博物館	10月11日	無
122	同上	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕	やまと絵の成立と展開	特別展『やまと絵　受け継がれる王朝の美』図録	東京国立博物館	10月11日	無
123	同上	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕	後白河天皇と常磐光長	特別展『やまと絵　受け継がれる王朝の美』図録	東京国立博物館	10月11日	無
124	同上	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕	高階隆兼と宮廷絵所様式の革新	特別展『やまと絵　受け継がれる王朝の美』図録	東京国立博物館	10月11日	無
125	同上	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕	融通念仏縁起絵巻と六人のやまと絵師	特別展『やまと絵　受け継がれる王朝の美』図録	東京国立博物館	10月11日	無
126	同上	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕	戦国のやまと絵師三代―土佐光信、光茂、光元―	特別展『やまと絵　受け継がれる王朝の美』図録	東京国立博物館	10月11日	無
127	同上	保存修復室長・猪熊兼樹	「蒔絵の心象風景」	特別展「やまと絵―受け継がれる王朝の美―」図録	東京国立博物館	10月11日	無
128	同上	客員研究員　恵美千鶴子	平安時代の書におけるやまと―『白氏文集』から「平家納経」まで―	特別展「やまと絵―受け継がれる王朝の美―」図録	東京国立博物館	10月11日	無
129	同上	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕	やまと絵の精華を堪能する30年ぶりの大規模展覧会	『美術の窓』481号	生活の友社	10月20日	無
130	特別展「本阿弥光悦の大宇宙」に関連する調査研究	学芸企画部長　松嶋雅人	本阿弥光悦の実像―法華町衆ネットワークからのアプローチ	特別展「本阿弥光悦の大宇宙」図録	東京国立博物館	6年1月16日	無
131	同上	企画課特別展室長　佐藤寛介	本阿弥光悦と刀剣	特別展「本阿弥光悦の大宇宙」図録	東京国立博物館	6年1月16日	無
132	同上	企画課特別展室長　佐藤寛介	「花形見」の意味	特別展「本阿弥光悦の大宇宙」図録	東京国立博物館	6年1月16日	無
133	同上	企画課特別展室研究員　福島修	作品解説	特別展「本阿弥光悦の大宇宙」図録	東京国立博物館	6年1月16日	無
134	同上	企画課特別展室研究員　福島修	「「嵯峨本」と「光悦蒔絵」」	特別展「本阿弥光悦の大宇宙」図録	東京国立博物館	6年1月16日	無
135	同上	企画課特別展室研究員　福島修	「「光悦蒔絵」と「舟橋蒔絵硯箱」」	特別展「本阿弥光悦の大宇宙」図録	東京国立博物館	6年1月16日	無
136	同上	企画課出版企画室主任研究員　三笠景子	コラム「樂茶碗の革新性と光悦のオマージュ」	特別展「本阿弥光悦の大宇宙」図録	東京国立博物館	6年1月16日	無
137	同上	企画課出版企画室主任研究員　三笠景子	各論「「今」を映す茶碗ー光悦茶碗にかんする試論」	特別展「本阿弥光悦の大宇宙」図録	東京国立博物館	6年1月16日	無
138	同上	企画課出版企画室主任研究員　三笠景子	「本阿弥光悦の大宇宙」	『陶説』846号	日本陶磁協会	6年2月1日	無
139	同上	企画課出版企画室主任研究員　三笠景子	「特別展「本阿弥光悦の大宇宙」」	『炎芸術』157号	阿部出版	6年2月1日	無
140	創建900年特別展「中尊寺金色堂」に関連する調査研究	保存修復課保存修復室長　猪熊兼樹	「蒔絵の心象風景」金色堂の造形様式」	『建立900年特別展　中尊寺金色堂』図録	東京国立博物館	6年1月23日	無
141	同上	調査研究課工芸室主任研究員　清水健	金色堂の三種の華鬘と三つの須弥壇	『建立900年特別展　中尊寺金色堂』図録	東京国立博物館	6年1月23日	無
142	同上	調査研究課東洋室主任研究員　児島大輔	夢の光芒―中尊寺金色堂の歴史と文化財	『建立900年特別展　中尊寺金色堂』図録	東京国立博物館	6年1月23日	無
143	同上	調査研究課東洋室主任研究員　児島大輔	中尊寺金色堂―昭和の大修理と藤原清衡の夢	『建立900年特別展　中尊寺金色堂』図録	東京国立博物館	6年1月23日	無
144	同上	調査研究課東洋室主任研究員　児島大輔	金色堂の仏像―当初安置壇の推定	『建立900年特別展　中尊寺金色堂』図録	東京国立博物館	6年1月23日	無
145	同上	調査研究課東洋室主任研究員　児島大輔	建立900年 特別展中尊寺金色堂	「月刊うえの」774号	上野のれん会	6年2月1日	無
146	同上	調査研究課東洋室主任研究員　児島大輔	知って楽しいアート「世界遺産・平泉の至宝 国宝と CG で知る金色堂の世界」	「小原流挿花」880号	一般財団法人小原流	6年3月1日	無
147	博物館教育に関する調査研究	博物館教育課長　鈴木みどり	トーハクキッズデー	「月刊うえの」767号	上野のれん会	7月1日	無
148	同上	アソシエイトフェロー　山本桃子	フィンランドのミュージアムにみる多文化共生	月刊社会教育　第67巻 第8号（No.807）	旬報社	8月1日	無
149	同上	博物館教育課長　鈴木みどり	東京国立博物館の博物館教育	東京国立博物館百五十年史	東京国立博物館	9月30日	無
150	博物館広報・国際交流活動に関する調査研究	広報室長　鬼頭智美、広報室専門職　江原香、広報室専門職　小島桂、企画課デザイン室研究員　荻堂正博	《報告》東京国立博物館創立一五〇年記念　広報活動について	『MUSEUM』708号	東京国立博物館	6年2月15日	有

○その他有形文化財に関連する調査研究　11件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	博物館の環境保存に関する調査研究	保存修復課長　和田浩	電池なし無線センサを用いた輸送包装試験	日本包装学会誌 32(3)	日本包装学会	6月1日	有
2	同上	保存修復課長　和田浩	空気質特性を考慮した資料保管用中性紙箱の適切な使用方法に関する検証	文化財保存修復学会第 45 回大会	文化財保存修復学会	6月24日	無
3	同上	保存修復課長　和田浩	AR 技術を用いた文化財の履歴情報の利活用に関する基礎的研究	文化財保存修復学会第 45 回大会	文化財保存修復学会	6月24日	無
4	同上	保存修復課長　和田浩	文化財保護のための安全輸送・梱包設計に関する研究	日本包装学会第 32 回年次大会	日本包装学会	7月20日	無
5	同上	保存修復課長　和田浩	国内長距離輸送における振動の連続計測と解析	日本包装学会第 32 回年次大会	日本包装学会	7月20日	無
6	同上	保存修復課長　和田浩	落下衝撃試験による綿の衝撃吸収特性の検証	日本機械学会 2023 年度年次大会	日本機械学会	9月3日	無
7	同上	保存修復課長　和田浩	展示室内滞留者データの可視化に関する研究	展示学 66	日本展示学会	10月15日	無
8	同上	保存修復課長　和田浩	データサイエンスとミュージアム	教職課程センター紀要 8	大東文化大学	12月	無
9	博物館資料・業務の情報処理に関する調査研究	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之	東京国立博物館における情報連携事例から見るミュージアム情報の流通	『ミュージアム・ライブラリとミュージアム・アーカイブズ（博物館情報学シリーズ８）』	樹村房	4月22日	無
10	同上	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之 前･東京国立博物館百五十年史編纂室・小野 美香 博物館情報課情報資料室長　山﨑美和	第５章　ミュージアムの中の情報連携（なぜＭＬＡ連携はＡＭ（Ｌ＋Ａ）から始まるのか？―「作品の「生命誌」を編む」をめぐって；東京国立博物館資料館と情報連携事例；東京国立博物館百五十年史編纂事業に関わる活動と情報連携事例；東京国立博物館における情報連携事例から見るミュージアム情報の流通）	『ミュージアム・ライブラリとミュージアム・アーカイブズ （博物館情報学シリーズ８）』	樹村房	4月22日	無
11	同上	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之	博物館における資料と情報提供の実際：東京国立博物館を例に	『情報の科学と技術』第 73 巻第 10 号	情報科学技術協会	10月1日	無

【京都国立博物館】 53件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　38件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	特別展「親鸞―生涯と名宝」に関する調査研究	学芸部企画室主任研究員 井並林太郎	十四世紀浄土真宗の絵画と絵師・工房	公益財団法人仏教美術研究上野記念財団研究報告書第 50 冊『研究発表と座談会　浄土真宗を中心とした祖師信仰とその造形』	公益財団法人仏教美術研究上野記念財団	12月	無
2	同上	学芸部保存修理指導室長 兼美術室長　羽田聡	中世の高僧伝絵の作画工房について	公益財団法人仏教美術研究上野記念財団研究報告書第 50 冊『研究発表と座談会　浄土真宗を中心とした祖師信仰とその造詣』	公益財団法人仏教美術研究上野記念財団	12月	無
3	特別展「東福寺」に関する調査研究	学芸部列品管理室研究員 森道彦	東福寺の復興と明兆	『重要文化財 東福寺五百羅漢図修理報告書[修理と研究]』	勉誠出版	10月	無
4	特集展示に関する調査研究	学芸部教育室主任研究員 竹下繭子	修理完成記念特集展示　泉穴師神社の神像	修理完成記念特集展示 泉穴師神社の神像　リーフレット	京都国立博物館	6年1月2日	無
5	同上	学芸部教育室主任研究員 竹下繭子	神さまのすがた	『博物館ディクショナリー』233 号	京都国立博物館	6年1月2日	無
6	同上	学芸部調査・国際連携室研究員　森橋なつみ	分かたれた双龍（新春特集展示辰づくし）	新美術新聞	美術年鑑社	6年1月15日	無
7	同上	学芸部保存修理指導室長 兼美術室長　羽田聡	特集展示　日中 書の名品	『典蔵』371	典蔵藝術家庭出版	8月1日	無
8	同上	学芸部調査・国際連携室長　降矢哲男	茶人に好まれてきた茶碗　高麗茶碗	『博物館ディクショナリー』230 号	京都国立博物館	6月20日	無
9	同上	同上	特集展示　茶の湯の道具　茶碗	『炎芸術』№155	阿部出版	8月1日	無
10	同上	同上	茶碗の形	『京都国立博物館だより』221 号	京都国立博物館	6年1月1日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
11	同上	学芸部研究員　古谷毅	美術館だより 377　銅鐸と武器形青銅器	『なにわ』№822、12 月号	大阪府警察本部	11月29日	無
12	同上	同上	はじめに、弥生青銅器の成立と展開、弥生青銅製祭器の分布、弥生社会と青銅器、付編Ⅱ時代概説 1～5、コラム 6・7	『弥生時代 青銅の祀り』（特集展示図録）	京都国立博物館	6年1月2日	無
13	収蔵品・寄託品等及び各博物館の特色に応じた歴史・伝統文化に関連する調査研究	学芸部上席研究員兼企画室長兼工芸室長　山川暁	「祇園祭芦刈山　神体着用小袖の復元をめぐる諸問題　―初期小袖の製織と裁断―」	『学叢』45	京都国立博物館	6月9日	無
14	同上	同上	項目解説	『新修 豊田市史　総集編』	豊田市	9月7日	無
15	同上	同上	「三十帖冊子を飾る染織品」	『国宝「三十帖冊子」修理から見えてきたもの』	勉誠社	11月11日	無
16	同上	同上	「打敷が語る豊臣家の装い　高台寺所蔵打敷の修理とその意義」	『禅文化』271 号	禅文化研究所	6年1月25日	無
17	同上	学芸部考古室長　石田由紀子	平安京の瓦窯出土の鳳凰文鴟尾	『学叢』　45 号	京都国立博物館	6月9日	無
18	同上	同上	平安京の鴟尾をめぐるあれこれ	清風会会報 211 号	一般社団法人清風会	7月25日	無
19	同上	同上	縄文に注目してみると	『博物館ディクショナリー』229 号	京都国立博物館	6年1月2日	無
20	同上	学芸部企画室主任研究員井並林太郎	歌仙絵と似絵の創成―うた／絵／物語が交差する場としての歌林苑―	和歌文学研究　第 126 号	和歌文学会	6月	無
21	同上	学芸部列品管理室研究員森道彦	以心崇伝をめぐる文物	『國華』1536 号	國華社	10月	無
22	同上	同上	作品紹介　元信印 楼閣山水図	『國華』1536 号	國華社	10月	無
23	同上	同上	画僧鑑貞と中世南都の水墨画壇	『鹿島美術研究』年報 40 号別冊	公益財団法人鹿島美術財団	11月	無
24	同上	同上	十四世紀の日本人画僧と文人文化	『美術フォーラム』第 48 号	一般社団法人美術フォーラム	12月	無
25	同上	学芸部教育室長　大原嘉豊	「京都国立博物館蔵釈迦金棺出現図に関する諸問題―主題の観点を中心に」	稲本泰生編『釈迦信仰と美術　作品解釈の新視点』	思文閣出版	9月4日	無
26	同上	同上	「高橋逸斎（一斎）再論―新出作品の紹介と幕末復古派に関する一視点」	筒井忠仁編『仏師と絵師　日本・東洋美術の制作者たち』	思文閣出版	4月10日	無
27	同上	学芸部教育室主任研究員竹下繭子	仏像修理の魅力	清風会会報 212 号	一般社団法人清風会	10月25日	無
28	同上	学芸部調査・国際連携室研究員　森橋なつみ	修理報告　重要文化財　紙本墨画遠浦帰帆図　伝牧谿筆	『學叢』45 号	京都国立博物館	6月9日	無
29	同上	学芸部調査・国際連携室研究員　森橋なつみ 岡墨光堂　岡岩太郎	作品紹介　李方膺筆　墨梅図冊	『國華』1539 号	國華社	6年1月20日	無
30	同上	学芸部保存修理指導室長兼美術室長　羽田聡	後陽成天皇の書	『後陽成天皇』	宮帯出版社	6年1月	無
31	同上	学芸部保存修理指導室主任研究員　福士雄也	池大雅筆　漁楽図	『國華』1530 号	國華社	4月20日	有
32	同上	同上	歴史上の人物を描く―細川ガラシャの場合―	『博物館ディクショナリー』229 号	京都国立博物館	6月13日	無
33	同上	同上	華山と京博	華山会報第 50 号	華山会	4月11日	無
34	その他有形文化財に関連する調査研究	学芸部教育室長　大原嘉豊	「大阪・金剛寺所蔵『別尊雑記』調査報告」	『学叢』45 号	京都国立博物館	6月9日	無
35	同上	同上	（単著）	『決定版　仏画の見方―名画でみがく鑑賞力―』	淡交社	11月10日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
36	同上	学芸部保存修理指導室主任研究員　福士雄也	贋作が受容されるとき	京都国立博物館だより 218 号	京都国立博物館	4月1日	無
37	同上	同上	「因州名家画展観」始末記（下）	清風会会報 210 号	一般社団法人清風会	4月25日	無
38	博物館教育及びボランティアに関する調査研究	学芸部教育室主任研究員　水谷亜希	「子どもに分かりやすく伝える方法」を共有する	美術による学び研究会メールマガジン　第 498 号	美術による学び研究会	11月5日	有

○その他有形文化財に関連する調査研究　15件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	博物館情報、文化財情報に関する調査研究	学芸部保存修理指導室主任研究員　福士雄也	京都国立博物館文化財保存修理所の現状と課題	月刊文化財 722 号	第一法規	11 月 1 日	無
2	文化財の製作技法・材料等に関する調査研究	学芸部保存科学室長　降幡順子、名誉館員　久保智康、治村嘉史	「鉄地鍍金」技法の検証実験について	『鳳凰学叢』第 19 號	平等院	5 月 31 日	無
3	同上	学芸部保存科学室長　降幡順子	新創館（旧育真館）地点出土坩堝資料の科学的調査	『上京遺跡・新町校地遺跡発掘調査報告書－同志社大学新創館（旧育真館）建替え工事に伴う発掘調査－』	同志社大学歴史資料館	6 年 2 月	無
4	同上	学芸部長　尾野善裕 学芸部保存科学室長　降幡順子	西石根第 7 号窯出土の推定「黄土」調剤容器について	『刈谷市歴史博物館研究紀要』第 4 号	刈谷市歴史博物館	6 年 3 月 31 日	無
5	同上	学芸部研究員　古谷毅	古墳時代甲冑研究の現状と課題	『季刊考古学』第 165 号（特集 古墳時代の甲冑）	雄山閣	10 月 25 日	無
6	同上	同上	前期の甲冑 -小札革綴冑・甲と竪矧板革綴・方形板革綴短甲-	同上	同上	同上	無
7	同上	同上	帯金式甲冑の技術と金銅・装飾・非定型甲冑	同上	同上	同上	無
8	その他有形文化財に関連する調査研究	学芸部長　尾野善裕	猿投窯 11 世紀の復活とその背景―院政期における瓦生産の検討を通して―	『学叢』第 45 号	京都国立博物館	6月9日	無
9	同上	同上	「織部焼」の不都合なる現実	『炎芸術』No.155	阿部出版	8月1日	無
10	同上	同上	「鉄絵三日月文堅手茶碗」ほか８項目	『新編 西尾市史 別編１美術工芸・建造物』	愛知県西尾市	6年1月	無
11	同上	学芸部考古室長　石田由紀子	瓦からみた宮殿・寺院の造営期間と生産体制	季刊考古学 165 号	雄山閣	10月	無
12	同上	同上	6 世紀末から 8 世紀の瓦窯と瓦生産	明石の古窯とやきもの・瓦	発掘された明石の歴史展実行委員会	10月28日	無
13	同上	学芸部列品管理室長　永島明子	「京都で漆にかぶれるつもりのみなさんへ」	『漆青会報』第 47 号	京都漆器青年会	5月25日	無
14	同上	同上	Un rare et précieux《 bric-à-brac 》de plaques décoratives dans le cabinet Jehannin de Chamblanc	Pauline d'Abrigeon, Pauline Guyot et Catherine Tran-Bourdonneau (ed.), À portée d'Asie. Collectionneurs, collecteurs et marchands d'art asiatique en France	Institut national d'histoire de l'art/ Musée des Beaux-Arts de Dijon/ LIENART, Paris	10月	無
15	同上	学芸部上席研究員兼企画室長兼工芸室長　山川曉	鉄錆地塗紺絲威塗込仏胴具足・尉頭形兜使用染織品について	『野田八幡宮所蔵　「鉄錆地塗紺糸縅塗込仏胴具足・尉頭形兜」調査・修復報告書』	刈谷市歴史博物館	6年3月31日	無

【奈良国立博物館】 56件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　21件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	特別展「東日本大震災復興祈念　悠久の絆 奈良・東北のみほとけ展」に関する調査研究	学芸部長　吉澤悟、美術室長　岩井共二、列品室長　斎木涼子、企画室長　谷口耕生、工芸考古室主任研究員　三本周作、企画室主任研究員　山口隆介、教育室研究員　内藤航、工芸考古室アソシエイトフェロー　伊藤旭人、美術室アソシエイトフェロー　松井美樹	作品解説	『特別展　東日本大震災復興祈念　悠久の絆　奈良・東北のみほとけ展』展覧会図録	tbc 東北放送	4 月	無
2	同上	美術室長　岩井共二	鑑真和上像と行基菩薩像　肖像彫刻の魅力（コラム）	同上	同上	同上	無
3	同上	企画室長　谷口耕生	鑑真和上画像と仏法東流（コラム）	同上	同上	同上	無
4	同上	工芸考古室主任研究員　三本周作	天寿国繡帳の「再生」と叡尊	同上	同上	同上	無
5	同上	教育室研究員　内藤航	会津の仏像―出陳作品を中心に	同上	同上	同上	無
6	「自性寺」に関する調査研究	工芸考古室アソシエイトフェロー　伊藤旭人	作品解説	『自性寺』展覧会図録	花園大学歴史博物館	5 月	無
7	浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念　特別展「聖地　南山城―奈良と京都を結ぶ祈りの至宝―」に関する調査研究	学芸部長　吉澤悟、美術室長　岩井共二、列品室長　斎木涼子、企画室長　谷口耕生、教育室長　中川あや、工芸考古室主任研究員　三田覚之、工芸考古室主任研究員　三本周作、企画室主任研究員　山口隆介、教育室研究員　内藤航、美術室研究員　樋笠逸人、工芸考古室アソシエイトフェロー　伊藤旭人、美術室アソシエイトフェロー　松井美樹	作品解説	『浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念　特別展　聖地　南山城―奈良と京都を結ぶ祈りの至宝―』展覧会図録	奈良国立博物館、日本経済新聞社、テレビ大阪	7 月	無
8	同上	企画室長　谷口耕生	南山城の行基信仰と律宗文化	同上	同上	同上	無
9	同上	教育室長　中川あや	各論　考古学から眺めた古代の南山城」	同上	同上	同上	無
10	同上	工芸考古室主任研究員　三本周作	笠置寺梵鐘をめぐる信仰世界¬重源・貞慶の文殊信仰との関係から	同上	同上	同上	無
11	同上	企画室主任研究員　山口隆介	概説　聖地　南山城をめぐる	同上	同上	同上	
12	同上	教育室研究員　内藤航	近世戒律復興における清涼寺式釈迦像造立の意義―京都・巌松院釈迦如来立像の調査報告と序論的考察―	同上	同上	同上	
13	同上	企画室主任研究員　山口隆介	浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念特別展　聖地　南山城―奈良と京都を結ぶ祈りの至宝―のみどころ	『月刊大和路ならら』第 298 号	一般社団法人なら文化交流機構	7 月	無
14	同上	保存修理指導室アソシエイトフェロー　加藤沙弥	浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念 特別展「聖地 南山城」に伴う科学調査	『日本文化財科学会第 40 回大会研究発表要旨集』	日本文化財科学会第 40 回記念大会実行委員会	10 月 22 日	無
15	特別展「第 75 回正倉院展」に関する調査研究	学芸部長　吉澤悟、美術室長　岩井共二、列品室長　斎木涼子、企画室長　谷口耕生、教育室長　中川あや、工芸考古室主任研究員　三田覚之、工芸考古室主任研究員　三本周作、企画室主任研究員　山口隆介、教育室研究員　内藤航、美術室研究員　樋笠逸人、工芸考古室アソシエイトフェロー　伊藤旭人、美術室アソシエイトフェロー　松井美樹	作品解説	『第 75 回 正倉院展』展覧会図録	奈良国立博物館	10 月	無
16	同上	学芸部長　吉澤悟	概説　正倉院展と正倉院宝物について	同上	同上	同上	無
17	同上	工芸考古室主任研究員　三田覚之	宝物に込められた祈り―転輪聖王としての聖武天皇―	同上	同上	同上	無
18	同上	工芸考古室アソシエイトフェロー　伊藤旭人	宝物寸描　正倉院の箱を観る	同上	同上	同上	無
19	同上	工芸考古室主任研究員　三田覚之	第七十五回「正倉院展」の、ここが凄い！	『月刊大和路ならら』第 301 号	一般社団法人なら文化交流機構	同上	無
20	特別展「神殿狛犬の魅力」に関する調査研究	教育室研究員　内藤航	狛犬―霊獣をめぐる断章	『特別展　神殿狛犬の魅力』展覧会図録	豊川市桜ケ丘ミュージアム	11 月	無
21	有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究	教育室研究員　翁みほり	―	『見るだけで楽しめる！　発見！ほとけさまのかたち―わくわくする仏像の見方―』	株式会社河出書房新社	11 月 30 日	無

○その他有形文化財に関連する調査研究　35件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	その他有形文化財に関連する調査研究	館長　井上洋一	The origins of Japanese art	Legacies of Beauty : Archaeological Treasures from Japan	Heraklion Archaeological Museum.	5月	無
2	同上	同上	「第二章～第七章　特別展概説」「モナ・リザ展」「日本国宝展」「レオナルド・ダ・ヴィンチ――天才の実像」「第七章　総説」	『東京国立博物館百五十年史』	東京国立博物館	9月	無
3	同上	学芸部長　吉澤悟	三村山極楽寺跡（茨城県つくば市）出土の塑像断片について	『鹿園雑集』第26号	奈良国立博物館	6年3月	無
4	同上	美術室長　岩井共二	佛従何出生―ブッダイメージの中国化と二元化	『釈迦信仰と美術　作品解釈の新視点』	思文閣出版	9月	無
5	同上	列品室長　斎木涼子	翻刻・校訂	『史料纂集　平戸記』第一	八木書店	11月	無
6	同上	同上（共著：大山幹成、宮田将寛）	国立西洋美術館3作品の年輪年代調査	『国立西洋美術館紀要』	国立西洋美術館	6年3月	無
7	同上	保存修理指導室長　鳥越俊行	宮古島金頭銀茎鉾の科学調査	『宮古島市総合博物館紀要』	宮古島市総合博物館	6年3月	無
8	同上	同上（共著：杉山智昭）	アイヌ民族狩猟用矢筒の非破壊内部調査	『奈良大学紀要』	奈良大学	6年3月	無
9	同上	企画室長　谷口耕生	達磨寺所蔵仏涅槃図考	『釈迦信仰と美術　作品解釈の新視点』	思文閣出版	8月	無
10	同上	教育室長　中川あや	考察　隅田八幡神社経塚出土鏡について	『隅田八幡神社経塚発掘調査報告書』	橋本市教育委員会	6月	無
11	同上	同上（共著：田村朋美、柳 成煜、西田紀子）	調査報告　飛鳥坐神社伝来大型柄鏡の調査	『鹿園雑集』第26号	奈良国立博物館	6年3月	無
12	同上	教育室長　中川あや	編集・解説	『奈良国立博物館所蔵古瓦名品選』	奈良国立博物館	6年3月	無
13	同上	資料室長　宮崎幹子	アーカイブワーキング・グループ研究成果　法隆寺金堂壁画写真ガラス原板のデジタル化とその公開	『法隆寺金堂壁画の保存と活用に関する提言』	法隆寺金堂壁画保存活用委員会	5月	無
14	同上	工芸考古室主任研究員　三田覚之	法隆寺探訪記〈四〉よみがえる天寿国	『聖徳』第250号	聖徳宗教学部	7月	無
15	同上	同上	飛鳥寺塔跡出土舎利容器	『奈良文化財研究所　紀要』	奈良文化財研究所	8月	無
16	同上	企画室主任研究員　山口隆介	作品解説	『快慶作品集』	東京美術	10月	無
17	同上	同上	東大寺伝来伎楽面銘記集成	『鹿園雑集』第26号	奈良国立博物館	6年3月	無
18	同上	教育室研究員　内藤航	なら仏像館―その歴史とこれから	『月刊大和路ならら』第295号	一般社団法人なら文化交流機構	4月	無
19	同上	同上	京都・槙尾山西明寺本尊　釈迦如来立像	『鹿園雑集』第26号	奈良国立博物館	6年3月	無
20	同上	美術室研究員　樋笠逸人	僧林幸法隆寺一切経勧進状	『聖徳』第250号	聖徳宗教学部	7月	無
21	同上	美術室アソシエイトフェロー　松井美樹	興福寺護法善神像と笠置寺般若台	『鹿園雑集』第26号	奈良国立博物館	6年3月	無
22	保存科学の観点からの収蔵品・寄託品等の調査研究	保存修理指導室長　鳥越俊行	Ｘ線ＣＴの現況	『月刊考古学ジャーナル』第786号	ニューサイエンス社	9月	無
23	同上	同上（共著：大山幹成、宮田将寛）	国立西洋美術館3作品の年輪年代調査	『国立西洋美術館紀要』	国立西洋美術館	6年3月	無
24	同上	保存修理指導室長　鳥越俊行	宮古島金頭銀茎鉾の科学調査	『宮古島市総合博物館紀要』	宮古島市総合博物館	6年3月	無
25	同上	同上（共著：杉山智昭）	アイヌ民族狩猟用矢筒の非破壊内部調査	『奈良大学紀要』	奈良大学	6年3月	無
26	同上	保存修理指導室アソシエイトフェロー　加藤沙弥	三次元画像解析による興福寺乾漆像における修理技法の研究―日本美術院による文化財修理の様相―	『文化財保存修復学会第45回大会研究発表要旨集』	文化財保存修復学会	6月25日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
27	同上	保存修理指導室アソシエイトフェロー　加藤沙弥	Ｘ線ＣＴを用いた木質文化財への調査事例	『2023 年樹木年輪研究会・木質文化財研究会合同例会講演会・研究発表要旨集』	樹木年輪研究会・木質文化財研究会	11 月 12 日	無
28	同上	保存修理指導室アソシエイトフェロー　小峰幸夫	文化財防災センター年次報告書	『令和 4 年度文化財防災センター年次報告書』	文化財防災センター	4 月 28 日	無
29	同上	同上	マダラシミおよびニュウハクシミに対するベイト剤の殺虫効果	『文化財保存修復学会第 45 回大会研究発表要旨集』	文化財保存修復学会	6 月 25 日	無
30	同上	同上	文化財建造物を加害するシバンムシ類のフラスを用いたＰＣＲ検査法	『日本文化財科学会第 40 回記念大会研究発表要旨集』	日本文化財科学会第 40 回記念大会実行委員会	10 月	無
31	同上	同上	文化財建造物の虫害と新たな殺虫処理の効果判定	『クリンネス』	イカリホールディングス	10 月	無
32	同上	同上	湿度制御した温風処理による木造建造物加害甲虫類の殺虫	『2023 年樹木年輪研究会・木質文化財研究会合同例会講演会・研究発表要旨集』	樹木年輪研究会・木質文化財研究会	11 月 12 日	無
33	同上	同上	Eradication of Beetles Attacking Wooden Historical Buildings by Humidity-Controlled Warm-Air Treatment	『IRG Scientific Conference on Wood Protection』	IRG	11 月 29 日	無
34	同上	同上	令和 5 年度文化財防火デートークイベント〈報告〉	カレントアウェアネス―E	国立国会図書館	6 年 3 月	無
35	同上	同上	文化財に使用できる防虫剤	みずのお（創刊号）	NPO 法人文化財保存支援機構	6 年 3 月	有

【九州国立博物館】　30件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　10件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究	学芸部企画課研究員 大澤信	作品解説	『うるわしき祈りの美―高麗・朝鮮時代の仏教美術』（特集展示図録）	九州国立博物館	9 月 4 日	無
2	同上	学芸部企画課研究員 大澤信	高麗仏の世界ー様式展開を中心に	『うるわしき祈りの美―高麗・朝鮮時代の仏教美術』（特集展示図録）	九州国立博物館	9 月 4 日	無
3	同上	学芸部企画課研究員 大澤信	作品解説	『憧れの東洋陶磁ー大阪市立東洋陶磁美術館の至宝』（特別展図録）	東京美術	7 月 11 日	無
4	同上	学芸部企画課研究員 大澤信	柳宗悦と浅川兄弟　朝鮮陶磁の美を見出した 3 人の絆	『憧れの東洋陶磁ー大阪市立東洋陶磁美術館の至宝』（特別展図録）	東京美術	7 月 11 日	無
5	同上	学芸部企画課文化交流展室長　川村佳男、東京文化財研究所保存科学研究センター 分析科学研究室長　犬塚将英、学芸部企画課特別展室研究員　桑原有寿子	泥範再考：内容物「泥料」の材質を視野に入れて	『2023 年度日本中国考古学会大会予稿集』	日本中国考古学会	12 月 16 日	無
6	同上	学芸部企画課文化交流展室長　川村佳男、特別展室主任研究員　西島亜木子、展示課主任研究員　加藤小夜子	誰にでも分かりやすい展示室マップと触知図の常設化：インクルーシブな作品鑑賞環境の実現に向けて	紀要『東風西声』19 号	九州国立博物館	6 年 3 月	無
7	同上	学芸部企画課長　伊藤信二	教育普及　外的要因と組織	東京国立博物館百五十年史	東京国立博物館	9 月 30 日	無
8	同上	学芸部博物館科学課主任研究員　鷲頭桂	作品解説 27 件	『生誕 270 年　長沢芦雪』	九州国立博物館	6 年 2 月 6 日	無
9	同上	学芸部博物館科学課主任研究員　鷲頭桂	コラム「肖像としての大原女図」	『生誕 270 年　長沢芦雪』	九州国立博物館	6 年 2 月 6 日	無
10	同上	学芸部博物館科学課主任研究員　鷲頭桂	コラム「災害・復興・アートの力―長沢芦雪の場合―」	『生誕 270 年　長沢芦雪』	九州国立博物館	6 年 2 月 6 日	無

○その他有形文化財に関連する調査研究　20件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	その他有形文化財に関連する調査研究	学芸部博物館科学課長 木川りか	Pest Management after phasing out a common fumigant - challenges for museums	MINPAKU Anthropology Newsletter No. 56., p3-5.	国立民族学博物館	8月	有
2	同上	学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基、東京文化財研究所　島田潤、佐藤嘉則、学芸部博物館科学課長　木川りか	Development and Reproduction of a Japanese Strain of *Ctenolepisma calvum* (Ritter, 1910) at Room Temperature	Insects 14(6)	MDPI	6月	有
3	同上	学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基、東京文化財研究所　島田潤、学芸部博物館科学課アソシエイトフェロー　和泉田絢子、東京文化財研究所　佐藤嘉則、学芸部博物館科学課長　木川りか	残効性ピレスロイド系薬剤の使用によるニュウハクシミ対策の一事例	『保存科学』63号	東京文化財研究所	6年3月	有
4	同上	東京文化財研究所　島田潤、小野寺裕子、学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基、奈良国立博物館　小峰幸夫、学芸部博物館科学課長　木川りか、東京文化財研究所　佐藤嘉則	異なる温湿度環境におけるニュウハクシミの生存率の検討	『保存科学』63号	東京文化財研究所	6年3月	有
5	同上	皇居三の丸尚蔵館長　島谷弘幸、東京文化財研究所　早川典子、（株）岡墨光堂　岡岩太郎、東京藝術大学　一宮八重、学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基、同課長　木川りか	北米の美術館における日本美術の保存・活用および修理状況について -アメリカ、メトロポリタン美術館およびスミソニアン協会国立アジア美術館における取組-	紀要『東風西声』19号	九州国立博物館	6年3月	無
6	同上	学芸部博物館科学課 アソシエイトフェロー 和泉田絢子、同研究員 渡辺祐基、同課長　木川りか	「博物館の展示空間における空気環境の管理：展示ケースの換気システム導入および空気汚染物質の放散が少ない展示材料の検証」	紀要『東風西声』19号	九州国立博物館	6年3月	無
7	同上	展示課主任研究員　一瀬智、学芸部企画課研究員　桑原有寿子、学芸部博物館科学課アソシエイトフェロー　和泉田絢子、同保存修復室長　志賀智史	「九州国立博物館所蔵の「奉天誥命」」	紀要『東風西声』19号	九州国立博物館	6年3月	無
8	同上	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史	「新出の「對馬國住吉社　神寶」図について」	『九州旧石器』第27号	九州旧石器文化研究会	11月	無
9	同上	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史	「桜井茶臼山古墳から出土した赤色顔料について」	『桜井茶臼山古墳発掘調査報告書』	奈良県立橿原考古学研究所	6年3月	無
10	同上	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史	「須玖岡本遺跡から出土した赤色顔料について」	『須玖岡本遺跡発掘調査報告書（総括編）』	福岡県・春日市教育委員会	6年3月	無
11	同上	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史	「島内139号地下式横穴墓から出土した赤色顔料について」	『島内139号地下式横穴墓Ⅲ』	宮崎県・えびの市教育委員会	6年3月	無
12	同上	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史	「人吉盆地に分布する石塔に用いられた黒色物質の材質調査」	『多良木町文化財調査報告第３集　多良木相良氏遺跡』	熊本県・多良木町役場	6年3月	無
13	同上	学芸部博物館科学課 主任研究員　鷲頭桂	「月次風俗図の光学調査―犬追物図と富士巻狩図を中心に―」	『MUSEUM』706号	東京国立博物館	10月15日	有
14	同上	学芸部文化財課研究員 松浦晃佑	好古社と松浦詮	紀要『東風西声』19号	九州国立博物館	6年3月	無
15	同上	学芸部文化財課長 野尻忠	摂津職移案（天平勝宝二年四月十二日）（口絵解説）	『正倉院文書研究』18号	正倉院文書研究会	11月	無
16	同上	学芸部企画課アソシエイトフェロー　李梅	麦積山石窟壁画研究 ――弟子・供養者	麦積山石窟芸術研究所『石窟芸術研究』第7輯	文物出版社	5月	無
17	同上	学芸部企画課アソシエイトフェロー　李梅	麦積山石窟壁画研究 ――装飾文様　蓮華	中国古跡遺址保護協会石窟専業委員会/龍門石窟研究院『石窟寺研究』第15輯	科学出版社	11月	有
18	同上	学芸部企画課特別展室長 川畑憲子、学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基、同研究補佐員　田中麻美	叢梨地牡丹唐草向鶴絞散蒔絵調度の木地構造について（4）化粧道具（鏡台・鏡建・柄鏡箱）	紀要『東風西風』19号	九州国立博物館	6年3月	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
19	同上	学芸部企画課特別展室長 川畑憲子、学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基、同アソシエイトフェロー　和泉田絢子	黒漆菊花鳥虫沈金丸外櫃及び緑漆鳳凰雲沈金丸内櫃の木地構造について	紀要『東風西風』19号	九州国立博物館	6年3月	無
20	同上	学芸部文化財課アソシエイトフェロー　折山桂子	「ヤマヤナ物語屏風　―ミャンマーにおける『ラーマーヤナ』とジャータカ表現の一例―」	紀要『東風西声』19号	九州国立博物館	6年3月	無

【皇居三の丸尚蔵館】　10件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　6件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	開館記念展「皇室のみやび受け継ぐ美」に関する調査研究	副館長　朝賀浩、学芸部展示・普及課長　戸田浩之、学芸部管理・情報課長 五味聖、学芸部調査・保存課長　高梨真行、学芸部主任研究員　岡本隆志、同 小林彩子、同 清水緑、学芸部　木村真美,木谷知香、上嶋悟史、田中純一朗、野中愛理、細川晋太郎、山田千穂、芳澤直之	章解説・作品解説	『開館記念展　皇室のみやび―受け継ぐ美―』図録	皇居三の丸尚蔵館	10月	無
2	特別展示御即位５年御成婚３０年記念「令和の御代を迎えて―天皇皇后両陛下が歩まれた３０年」に関する調査研究	学芸部管理・情報課長 五味聖、同主任研究員 小林彩子、学芸部　野中愛理、同 木村真美	作品解説	『特別展示御即位５年御成婚３０年記念　令和の御代を迎えて―天皇皇后両陛下が歩まれた３０年』展覧会図録	皇居三の丸尚蔵館	10月	無
3	収蔵品研究	学芸部管理・情報課研究員　野中愛理	作品解説	作品紹介リーフレット・英　版　「Illustrated Miracles of the Kasuga Deity」（日本語訳：「春日権現験記絵」）	皇居三の丸尚蔵館	10月	無
4	同上	学芸部管理・情報課研究員　野中愛理	作品解説	作品紹介リーフレット「中世の傑作　国宝春日権現験記絵」	皇居三の丸尚蔵館	10月	無
5	開館記念展「皇室のみやび受け継ぐ美」に関する調査研究	学芸部調査・保存課長 高梨真行、学芸部展示・普及課主任研究員　岡本隆志、同研究員田中純一朗、学芸部管理・情報課研究員　芳澤直之	章解説・作品解説	『開館記念展　皇室のみやび―受け継ぐ美―第2期近代皇室を彩る技と美』図録	皇居三の丸尚蔵館	6年1月	無
6	同上	学芸部展示・普及課長 戸田浩之、学芸部管理・情報課長　五味聖、学芸部調査・保存課長　高梨真行、同研究員　細川晋太郎、学芸部管理・情報課研究員　上嶋悟史、同　野中愛理、	章解説・作品解説	『開館記念展　皇室のみやび―受け継ぐ美―第3期近世の御所を飾った品々』図録	皇居三の丸尚蔵館	6年1月	無

○その他有形文化財に関連する調査研究　4件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	その他有形文化財に関連する調査研究	学芸部管理・情報課研究員　上嶋悟史	近世における仏像を描くという営為についての研究	『令和４年度　高梨学術奨励基金年報』	公益財団法人高梨学術奨励基金	11月	無
2	同上	学芸部管理・情報課研究員　上嶋悟史	近世における羅漢図の受容と再生産	宮治 昭・肥田路美・板倉聖哲編『アジア仏教美術論集 東アジアⅦ（アジアの中の日本）』	中央公論美術出版	12月	無
3	同上	学芸部調査・保存課長 高梨真行	永禄期加賀国冨墓庄相論再考―「北野社家引付」に見る将軍足利義輝、政所当人伊勢貞孝、松永久秀の動向―	『埼玉学園大学紀要　人間学部篇』23号	埼玉学園大学	12月	無
4	同上	学芸部展示・普及課研究員　田中純一朗	狩野永悳立信―最後の奥絵師にして、最初の帝室技芸員	『特別展　シリーズ江戸文化のなかの富士山 6 富士山　藝術の源泉』	静岡県富士山世界遺産センター	6年1月	無

【東京文化財研究所】　65件

(1) 新たな知見の開拓につながる基礎的・探求的な調査研究　17件

○有形文化財、伝統的建造物群に関する調査研究　6件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	日本東洋美術史の資料学的研究	文化財情報資料部日本東洋美術史研究室長 小野真由美	十六世紀末・十七世紀初頭の公家日記にみる絵巻の受容―『言経卿記』『時慶記』から―	美術研究　442 号	東京文化財研究所	6 年 3 月 29 日	無
2	同上	文化財情報資料部文化財情報研究室長　二神葉子	同時代の資料から読み解く在タイ日本人 三木栄の漆工専門家としての活動	『タイ所在日本製漆工品に関する調査研究 2ー日本製漆工品と日本人漆工専門家ー』	東京文化財研究所	6 年 3 月 29 日	無
3	同上	文化財情報資料部文化財情報研究室長　二神葉子	三木栄の道具箱	『タイ所在日本製漆工品に関する調査研究 2ー日本製漆工品と日本人漆工専門家ー』	東京文化財研究所	6 年 3 月 29 日	無
4	近・現代美術に関する調査研究と資料集成	文化財情報資料部研究員吉田暁子	「《手を描き入れし静物》細見―光学調査結果の報告と「手」という図像の発想源についての試論」	美術研究　441 号	東京文化財研究所	12 月 29 日	無
5	同上	文化財情報資料部上席研究員　塩谷純	秋元洒汀と明治の日本画」（三）	美術研究　441 号	東京文化財研究所	12 月 29 日	無
6	美術作品の様式表現・制作技術・素材に関する複合的研究と公開	特任研究員　小林公治	研究ノート　螺鈿の位相―理智院所蔵豊臣秀吉像厨子から見る高台寺蒔絵と南蛮漆器の関係―	美術研究　440 号	東京文化財研究所	8 月 31 日	無

○無形文化財、無形民俗文化財等に関する調査及び研究　　11件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	重要無形文化財の保存・活用に資する調査研究等	無形文化遺産部無形文化財研究室長 前原恵美	「楽器を中心とした文化財保存技術調査報告 7」	無形文化遺産研究報告 第 18 号	東京文化財研究所	6 年 3 月 31 日	有
2	同上	同上	「豊後三流の『山姥』考―文化財保護委員会作成の富本節レコードを起点に―」	桐朋学園大学研究紀要 49	桐朋学園大学	10 月	有
3	同上	無形文化遺産部主任研究員 菊池理予	「東京藝術大学美術学部近現代美術史・大学史研究センター所蔵中村勝馬資料から見た工芸技術保護の実態Ⅰ」	無形文化遺産研究報告 第 18 号	東京文化財研究所	6 年 3 月 31 日	有
4	同上	無形文化遺産部無形文化財研究室研究員 鎌田紗弓・無形文化遺産部調査研究アシスタント 齋藤穂歌	「無形のわざを書き記す：浅田譜における「作譜」(2)」	無形文化遺産研究報告 第 18 号	東京文化財研究所	6 年 3 月 31 日	有
5	重要無形民俗文化財の保存・活用に資する調査研究等	無形文化遺産部無形民俗文化財研究室長 久保田裕道	「『風流踊』とは何か」	『月刊文化財』717	第一法規	6 月	無
6	同上	無形文化遺産部主任研究員　今石みぎわ	「南西諸島における製糖技術」	無形文化遺産研究報告 第 18 号	東京文化財研究所	6 年 3 月 31 日	有
7	同上	同上	「阿波晩茶の製造技術とその展開」	『ゾミアの地球環境学：四国山地の地質・生態・歴史』	昭和堂	6 年 2 月	無
8	無形文化遺産保護に関する研究交流・情報収集	文化財情報資料部文化財情報資料研究室長　二神葉子	無形文化遺産の保護に関する第 17 回政府間委員会における議論の概要と今後の課題	無形文化遺産研究報告 第 18 号	東京文化財研究所	6 年 3 月 31 日	有
9	同上	無形文化遺産部部長　石村智	人類学者・泉靖一と済州島：ポストコロニアル的批判	『日韓無形文化遺産研究』3	韓国国立無形遺産院・東京文化財研究所	11 月 28 日	無
10	同上	無形文化遺産部無形文化財研究室長 前原恵美	韓国の国家無形文化財（楽器匠）にかかる保存・活用とその周辺	同上	同上	同上	無
11	同上	無形文化遺産部無形文化財研究室長 前原恵美・無形文化遺産部無形民俗文化財研究室長 久保田裕道	新型コロナ禍の日本の無形文化財・無形民俗文化財	同上	同上	同上	無

(2) 科学技術を応用した研究開発の進展等に向けた基盤的な研究　30件

○文化財の調査手法に関する研究開発の推進　4件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	文化財情報の分析・活用と公開に関する調査研究	特任研究員　早川泰弘、文化財情報資料部専門職員　城野誠治	春日権現験記絵の彩色材料調査（巻十五・巻十六）	皇居三の丸尚蔵館収蔵国宝 絹本著色 春日権現験記絵 巻十五・巻十六 光学調査報告書	東京文化財研究所	2 月 28 日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
2	同上	文化財情報資料部客員研究員　山梨絵美子	「春日権現験記絵」の成立と受容の変遷	皇居三の丸尚蔵館収蔵国宝 絹本著色 春日権現験記絵 巻十五・巻十六 光学調査報告書	東京文化財研究所	2月28日	無
3	同上	文化財情報資料部客員研究員　田中潤	「春日権現験記絵」にみられる灯火具	皇居三の丸尚蔵館収蔵国宝 絹本著色 春日権現験記絵 巻十五・巻十六 光学調査報告書	東京文化財研究所	6年2月28日	無
4	同上	文化財情報資料部専門職員　城野誠治	ものの記憶―色を遺し・伝える（仮）	ものの記憶―色を遺し・伝える	東京文化財研究所	6年3月31日	無

○文化財の保存修復及び保存技術等に関する調査研究　26件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	文化財生物劣化の分子生物学的手法による機構解明と環境調和型対策	九州国立博物館学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基、同課長　木川りか、生物科学研究室アソシエイトフェロー島田潤、同室長　佐藤嘉則	Development and Reproduction of a Japanese Strain of Ctenolepisma calvum (Ritter, 1910) at Room Temperature	Insects	MDPI	6月16日	有
2	同上	生物科学研究室補佐員　轟丈瑠、アソシエイトフェロー　島田潤、同室長　佐藤嘉則　他	PCR法によるフラスからのシバンムシ類の検出手法の検討	保存科学　第63号	東京文化財研究所	6年3月31日	有
3	同上	九州国立博物館学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基、同課長　木川りか、文化財防災センター　アソシエイトフェロー　小峰幸夫、生物科学研究室アソシエイトフェロー島田潤、研究補佐員　小野寺裕子、同室長　佐藤嘉則	異なる温湿度環境におけるニュウハクシミの生存率の検討	保存科学　第63号	東京文化財研究所	6年3月31日	有
4	同上	生物科学研究室研究補佐員　小野寺裕子、同室長　佐藤嘉則　他	空調設備のない収蔵空間の保存環境改善ー千葉県佐倉市宝金剛寺の事例ー	保存科学　第63号	東京文化財研究所	6年3月31日	有
5	同上	九州国立博物館学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基、同課長　木川りか、生物科学研究室アソシエイトフェロー島田潤、同室長　佐藤嘉則	残効性ピレスロイド系薬剤の使用によるニュウハクシミ対策の一事例	保存科学　第63号	東京文化財研究所	6年3月31日	有
6	文化財の保存環境にかかる調査研究	保存環境研究室　研究員　水谷悦子，保存環境研究室長　秋山純子	持続的な文化財の予防保存の確立に向けて	月刊文化財　第723号	第一法規株式会社	12月1日	無
7	同上	保存環境研究室長　秋山純子、生物科学研究室長　佐藤嘉則	収蔵庫の保存環境をめぐる現状と課題	博物館研究　通巻667号	公益財団法人　日本博物館協会	11月25日	無
8	同上	保存環境研究室　研究員　水谷悦子，客員研究員　伊庭千恵美，研究補佐員　由井和子，保存環境研究室長　秋山純子	博物館・美術館の夏季の空調消費エネルギーと空調設定温度が冬季の収蔵庫内環境に及ぼす影響	保存科学　第63号	東京文化財研究所	6年3月31日	有
9	同上	保存環境研究室長　秋山純子、研究補佐員　由井和子，呂俊民	「美術館・博物館のための空気清浄化の手引き」に記載の”のぞましい値”について	保存科学　第63号	東京文化財研究所	6年3月31日	有
10	文化財の材質・構造・状態調査に関する研究	分析科学研究室アソシエイトフェロー　紀芝蓮、同室長　犬塚将英　他3名	ハイパースペクトルカメラを用いた絵画作品の彩色材料の包括的評価と面的検討	保存科学　第63号	東京文化財研究所	6年3月31日	有
11	屋外文化財の保存修復計画に関する調査研究	修復計画研究室長　朽津信明他2名	新宮市万歳の草書体一遍上人名号碑の破片資料	保存科学　第63号	東京文化財研究所	6年3月31日	有
12	同上	修復計画研究室長　朽津信明	文化財の物理的劣化を促進する風習について考える	保存科学　第63号	東京文化財研究所	6年3月31日	有
13	文化財修復と伝統技法に関する調査研究	修復材料研究室長　早川典子　他	Effect of Funori and Nikawa Aqueous Treatment on Iron-tannate Artificially Aged Cotton	保存科学　第63号	東京文化財研究所	6年3月31日	有
14	同上	修復材料研究室長　早川典子　他	植物繊維の同定―苧麻・大麻の識別ー	保存科学　第63号	東京文化財研究所	6年3月31日	有
15	同上	修復材料研究室長　早川典子	今生み出されている大切なものを残すための知恵	文化財の標本と劣化図鑑	朝倉書店	10月1日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
16	同上	修復材料研究室AF 西田典由　他	ノリウツギネリの黒変原因調査および対策	保存科学　第63号	東京文化財研究所	6年3月31日	有
17	同上	修復材料研究室長 早川典子	文化財修理に使用された合成樹脂とその再処置について	月刊文化財　715号	第一法規株式会社	4月1日	無
18	同上	修復材料研究室長 早川典子	美術工芸品の修理に用いられる接着剤の現状	月刊文化財　722号	第一法規株式会社	11月1日	無
19	同上	修復材料研究室長 早川典子	法明寺所蔵板絵著色三人静白拍子図および大森彦七図の修理に使用したポリビニルアルコール分解酵素	文化財の保護　第56号	東京都	7月	無
20	同上	修復材料研究室、倉島玲央他	韓国における伝統的管楽器と竹材・漆芸に関する報告	無形文化遺産研究報告18	東京文化財研究所	6年3月31日	有
21	同上	修復材料研究室、倉島玲央	漆芸品修理と必要な用具・原材料の現状	月刊文化財　722号	第一法規株式会社	11月1日	無
22	同上	修復材料研究室　客員研究員稲葉政満	Effect of Hemicellulose on the Wet Tensile Strength of Kozo Paper	Molecules 28(19)	Chemical Conservation of Paper-Based Cultural Heritage	10月9日	有
23	同上	修復材料研究室　客員研究員稲葉政満	重合度変化からみた楮紙の寿命和紙と韓紙	和紙文化研究29	和紙文化研究会	12月	無
24	同上	修復材料研究室　アソシエイトフェロー　西田典由	和紙材料「ネリ」について	月刊文化財　722号	第一法規株式会社	11月1日	無
25	同上	修復材料研究室　アソシエイトフェロー　西田典由	多層ワイヤーを用いた機械的解繊セルロースナノファイバー脱水濃縮法の開発	Journal of Fiber Science and Technology	一般社団法人繊維学会	5月26日	有
26	高松塚古墳・キトラ古墳の恒久的保存に関する調査研究	分析科学研究室長　犬塚将英、修復材料研究室長　早川典子　他	泥に覆われたキトラ古墳壁画の元素マッピング調査	保存科学　第63号	東京文化財研究所	6年3月31日	有

(3) 文化遺産保護に関する国際協働　13件

○文化遺産保護に関する国際協働の総合的な推進　13件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	アジア諸国等文化遺産保存修復協力	文化遺産国際協力センター　アソシエイトフェロー　山田綾乃	コラム（動向）　文化遺産研究の裾野を広げる：こども文化遺産ワークショップの開催	『文化遺産の世界　ウェブサイト　コラム』	NPO法人　文化遺産の世界	6月23日	無
2	同上	文化遺産国際協力センター国際情報研究室長 金井健　他	ブータンの伝統的民家の建築的特徴と文化財的価値の評価その1―トンサ県及びブムタン県における予備調査の概要―	2023年度学術講演梗概集　日本建築学会大会	日本建築学会	8月10日	無
3	同上	文化遺産国際協力センター　研究員　浅田なつみ	イランの垂直軸型風車　その1　建築構法と建築技術者の現状	2023年度学術講演梗概集　日本建築学会大会	日本建築学会	8月10日	無
4	同上	文化遺産国際協力センター　アソシエイトフェロー　黒岩千尋	フランス領インドシナにおける「歴史的記念物」保全の組織化とその変容	2023年度建築学会関東支部研究発表会研究報告集	日本建築学会	6年3月7~8日	無
5	海外に所在する日本古美術品等の保存に関する協力	文化遺産国際協力センター　技術支援研究室長 加藤雅人	Analysis of papermaking technology in selected Japanese woodblocks from Taisho period	The European Physical Journal plus	Springer	10月12日	有
6	文化遺産保護に関する国際情報の収集・研究・発信	文化遺産国際協力センター国際情報研究室長 金井健	諸外国等の建築文化振興に係る制度：フランス、イギリス、台湾	近現代建築等の保護・継承に係る海外事例調査	東京文化財研究所	11月30日	無
7	同上	文化遺産国際協力センター国際情報研究室長 金井健	フランス：創造の自由、建築、文化財に関する法律（LCAP法）の運用	近現代建築等の保護・継承に係る海外事例調査	東京文化財研究所	11月30日	無
8	同上	文化遺産国際協力センター国際情報研究室長 金井健	デンマーク：リアルダニアによる建築遺産保護を目的とした活動	近現代建築等の保護・継承に係る海外事例調査	東京文化財研究所	11月30日	無
9	同上	文化遺産国際協力センター国際情報研究室長 金井健	台湾：PFI事業等による建築遺産の保存活用の実施	近現代建築等の保護・継承に係る海外事例調査	東京文化財研究所	11月30日	無
10	同上	文化遺産国際協力センター　アソシエイトフェロー　松浦一之介	諸外国等の建築文化振興に係る制度：ドイツ、イタリア、オランダ	近現代建築等の保護・継承に係る海外事例調査	東京文化財研究所	11月30日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
11	同上	文化遺産国際協力センター　アソシエイトフェロー　松浦一之介	イタリア：ローマ市における現代建築の保護	近現代建築等の保護・継承に係る海外事例調査	東京文化財研究所	11月30日	無
12	同上	文化遺産国際協力センター　アソシエイトフェロー 前田康記、藤井郁乃	The potential of the Maritime Silk Routes as shared heritage –Through advocacy of the Maritime Exchange Network (MEN)	2022 UNESCO Silk Roads Youth Research Grant report	UNESCO	12月	無
13	同上	文化遺産国際協力センター　アソシエイトフェロー　松浦一之介	オランダにおける文化遺産保護	各国の文化財保護法令シリーズ[28]オランダ	東京文化財研究所	6年3月31日	無

(4) 文化財に関する情報資料の収集・整備及び調査研究成果の公開・活用　5件

○調査研究成果の発信　5件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	専門的アーカイブと総合的レファレンスの拡充	文化財情報資料部主任研究員　米沢玲	展覧会評　上原美術館　無冠の仏像―文化財の指定とその価値をめぐって―	美術研究　440号	東京文化財研究所	8月31日	無
2	同上	文化財情報資料部研究員　田代裕一朗	朝鮮初訪問時の蒐集品をめぐって	『柳宗悦の心と眼―日本民藝館所蔵朝鮮関連資料をめぐって』	東京藝術大学出版会	12月26日	無
3	同上	文化財情報資料部研究員　田代裕一朗	『李朝陶磁器展覧会』について	『柳宗悦の心と眼―日本民藝館所蔵朝鮮関連資料をめぐって』	東京藝術大学出版会	12月26日	無
4	同上	文化財情報資料部研究補佐員　田村彩子	東京文化財研究所年史資料公開に向けての記述編成	国文学研究資料館紀要アーカイブズ研究篇　20号	国文学研究資料館	6年3月	無
5	同上	文化財情報資料部長　江村知子	研究ノート：遊楽図へのまなざし―徳川美術館蔵「遊楽図屏風(相応寺屏風)」の細部表現について	美術研究　442号	東京文化財研究所	6年3月29日	無

【奈良文化財研究所】146件

(1) 新たな知見の開拓につながる基礎的・探求的な調査研究　57件

○有形文化財、伝統的建造物群に関する調査研究　8件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	歴史的建造物及び伝統的建造物群の保存・修復・活用の実践的研究	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）遺構研究室長　鈴木智大	高野山の寺院建築の特質	奈良文化財研究所紀要2023	奈良文化財研究所	8月28日	無
2	同上	都城発掘調査部（平城）遺構研究室研究員　高野麗	高野山の棟札の特質	奈良文化財研究所紀要2023	奈良文化財研究所	8月28日	無
3	同上	文化遺産部建造物研究室長　大林潤	松江藩御作事所の作例と建築的特徴ー松江市社寺建築詳細調査よりー	奈良文化財研究所紀要2023	奈良文化財研究所	8月28日	無
4	同上	都城発掘調査部（平城）遺構研究室研究員　目黒新吾、文化遺産部建造物研究室長　大林潤	松江市美保関町美保関の伝統的建造物群調査	奈良文化財研究所紀要2023	奈良文化財研究所	8月28日	無
5	同上	都城発掘調査部（平城）遺構研究室研究員　山崎有生、文化遺産部建造物研究室長　大林潤	西トップ遺跡の建築調査ー2022年度の成果–	奈良文化財研究所紀要2023	奈良文化財研究所	8月28日	無
6	近畿を中心とする古寺社等所蔵の歴史資料等に関する調査研究	文化遺産部歴史研究室長吉川聡、同アソシエイトフェロー　橘悠太	当麻寺所蔵古経典の調査	奈良文化財研究所紀要2023	奈良文化財研究所	8月28日	無
7	同上	文化遺産部歴史研究室長吉川聡、同アソシエイトフェロー　橘悠太、埋蔵文化財センター遺跡・調査技術研究室研究員　上椙英之	当麻寺曼荼羅堂・金堂の中近世銘文	『木簡研究』第45号	木簡学会	11月25日	無
8	同上	文化遺産部歴史研究室アソシエイトフェロー　橘悠太	奈良文化財研究所所蔵『東宝記』仏宝中について	奈文研論叢第4号	奈良文化財研究所	6年3月	無

○記念物、文化的景観、埋蔵文化財に関する調査研究　49 件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	我が国の記念物に関する調査研究（遺跡等整備）	文化遺産部長　内田和伸	近世における名所旧跡の保存と顕彰について	『近世における名所旧跡の保存と顕彰』令和 5 年度奈良文化財研究所遺跡整備・活用研究集会報告書	奈良文化財研究所	6 年 3 月 25 日	無
2	同上	文化遺産部主任研究員 高橋知奈津	よみがえった古代のボードゲーム「かりうち」―平城宮跡の活用に関する実践的研究	奈良文化財研究所紀要 2023	奈良文化財研究所	8 月 28 日	無
3	我が国の記念物に関する調査研究（庭園）	文化遺産部主任研究員 高橋知奈津	鳥取県の庭園の特質	『鳥取県庭園調査報告書』	鳥取県地域社会振興部文化財局	6 年 3 月 29 日	無
4	平城宮・京跡の発掘調査	都城発掘調査部（平城）山崎有生　他	平城宮北面大垣の調査ー第 648 次	奈良文化財研究所発掘調査報告 2023	奈良文化財研究所	12 月 22 日	無
5	同上	都城発掘調査部（平城）桑田訓也・高野麗　他	平城宮西北部の調査ー第 646・652 次	奈良文化財研究所発掘調査報告 2023	奈良文化財研究所	12 月 22 日	無
6	同上	都城発掘調査部（平城）山崎有生　他	平城京左京一条二坊十坪・一条条間路の発掘調査ー647 次	奈良文化財研究所発掘調査報告 2023	奈良文化財研究所	12 月 22 日	無
7	同上	都城発掘調査部（平城）川畑純　他	法華寺境内および法華寺庭園の調査ー第 644・645・651 次	奈良文化財研究所発掘調査報告 2023	奈良文化財研究所	12 月 22 日	無
8	同上	都城発掘調査部（平城）田中龍一　他	西大寺小塔院の調査ー第 24・627・654 次	奈良文化財研究所発掘調査報告 2023	奈良文化財研究所	12 月 22 日	無
9	同上	都城発掘調査部（平城）田中龍一　他	西大寺弥勒金堂院の調査ー第 655 次	奈良文化財研究所発掘調査報告 2023	奈良文化財研究所	12 月 22 日	無
10	飛鳥・藤原京跡出土遺物・遺構に関する調査研究等	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）研究員　谷澤亜里	石神遺跡調査（飛鳥藤原第 212 次）	『奈文研ニュース』No. 89	奈良文化財研究所	6 月	無
11	同上	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）主任研究員　山藤正敏	三次元計測機を用いた土器実測の実践	奈良文化財研究所紀要 2023	奈良文化財研究所	8 月 28 日	無
12	同上	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）特任研究員　玉田芳英	飛鳥・藤原地域の墨書土器・刻書土器（２）	奈良文化財研究所紀要 2023	奈良文化財研究所	8 月 28 日	無
13	同上	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）研究員　道上祥武	日高山瓦窯の調査（飛鳥藤原第 213 次）	『奈文研ニュース』No. 90	奈良文化財研究所	9 月	無
14	同上	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）研究員　岩永玲	速報展「日高山瓦窯の瓦」	『奈文研ニュース』No. 90	奈良文化財研究所	9 月	無
15	同上	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）史料研究室長　山本崇	奈良・藤原京跡	『木簡研究』第 45 号	木簡学会	11 月 25 日	無
16	同上	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）考古第一研究室長　廣瀬覚	石室解体事業と発掘調査　ー国宝壁画の救出ー	高松塚古墳壁画を伝える　発見から石室解体修理を経て	奈良文化財研究所	11 月	無
17	同上	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）研究員　岩永玲	日高山瓦窯の調査（飛鳥藤原第 213 次）	『奈文研ニュース』No. 91	奈良文化財研究所	12 月	無
18	同上	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）道上祥武・岩永玲・山藤正敏・廣瀬覚・村田泰輔	藤原宮大極殿院の調査　ー第 210 次	奈良文化財研究所発掘調査報告 2023	奈良文化財研究所	12 月 22 日	無
19	同上	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）岩永玲・山藤正敏	藤原宮東方官衙南地区の調査　ー第 211-1 次	奈良文化財研究所発掘調査報告 2023	奈良文化財研究所	12 月 22 日	無
20	同上	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）道上祥武・岩永玲	藤原宮大極殿院北部域出土瓦の検討　ー藤原宮第 20 次	奈良文化財研究所発掘調査報告 2023	奈良文化財研究所	12 月 22 日	無
21	同上	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）ほか　松永悦枝・谷澤亜里・岩永玲・田中龍一・山藤正敏・森川実・林正憲・樋口典昭	石神遺跡東方の調査　ー第 209・212 次	奈良文化財研究所発掘調査報告 2023	奈良文化財研究所	12 月 22 日	無
22	同上	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）主任研究員　若杉智宏	奥山廃寺（奥山久米寺）の調査　ー第 211-6 次	奈良文化財研究所発掘調査報告 2023	奈良文化財研究所	12 月 22 日	無
23	同上	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）主任研究員　山藤正敏	石神遺跡 SD1347B 出土の土器群ー石神遺跡第 14 次	奈良文化財研究所発掘調査報告 2023	奈良文化財研究所	12 月 22 日	無
24	同上	企画調整部長　清野孝之	川原寺瓦窯産の瓦の再検討	奈良文化財研究所発掘調査報告 2023	奈良文化財研究所	12 月 22 日	無
25	同上	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）史料研究室長　山本崇	木簡	『西橘遺跡発掘調査報告書』明日香村文化財調査報告書 18	明日香村教育委員会	6 年 3 月	無
26	同上	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）ほか　松永悦江・谷澤亜里	木製品・骨角製品・植物遺存体	『西橘遺跡発掘調査報告書』明日香村文化財調査報告書 18	明日香村教育委員会	6 年 3 月	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
27	同上	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）第二研究室長　森川実	石神遺跡 A 期遺構群の出土土器とその年代	『奈文研論叢』第４号	奈良文化財研究所	6 年 3 月	無
28	同上	都城発掘調査部（飛鳥・藤原地区）主任研究員　福嶋啓人	石神遺跡の調査（飛鳥藤原第 214 次）	『奈文研ニュース』No. 92	奈良文化財研究所	6 年 3 月	無
29	中国との共同研究	都城発掘調査部（平城）丹羽崇史ほか	平城宮・京出土白瓷の再整理	奈良文化財研究所紀要 2023	奈良文化財研究所	8 月 28 日	無
30	韓国との共同研究	都城発掘調査部　道上祥武ほか	日韓発掘交流に参加して	『奈文研ニュース』No. 91	奈良文化財研究所	12 月	無
31	文化的景観及びその保存・活用に関する調査研究	文化遺産部主任研究員　惠谷浩子	育成林業に関わる文化的景観研究会の開催	『奈文研ニュース』No. 89	奈良文化財研究所	6 月	無
32	同上	文化遺産部主任研究員　惠谷浩子	鷲峰山への参道と石造物	和束の茶業景観ー文化的景観保護推進事業調査報告書	和束町	7 月 31 日	無
33	同上	文化遺産部景観研究室長　中島義晴	原始集落遺跡の整備の現状と課題に関するアンケート の集計・分析結果	第 47 回全国遺跡環境整備会議資料集	国東市教育委員会	10 月 19 日	無
34	同上	文化遺産部景観研究室長　中島義晴	高松塚古墳の仮整備と公開活用	第 14 回東京講演会ー高松塚古墳壁画を伝える―記録集	奈良文化財研究所	11 月 30 日	無
35	同上	文化遺産部景観研究室長　中島義晴	国有林野事業と森林鉄道	山の風景史―育成林業に関わる文化的景観報告書	奈良文化財研究所	6 年 3 月 29 日	無
36	同上	文化遺産部主任研究員　惠谷浩子	森林の利用に関する景観地の特質と課題	山の風景史―育成林業に関わる文化的景観報告書	奈良文化財研究所	6 年 3 月 29 日	無
37	同上	文化遺産部主任研究員　惠谷浩子	智頭林業の歴史的展開と特質	山の風景史―育成林業に関わる文化的景観報告書	奈良文化財研究所	6 年 3 月 29 日	無
38	同上	文化遺産部主任研究員　惠谷浩子	芦津の水利用の変遷と特性	山の風景史―育成林業に関わる文化的景観報告書	奈良文化財研究所	6 年 3 月 29 日	無
39	同上	文化遺産部主任研究員　惠谷浩子	東山・沖ノ山の利用と現在	山の風景史―育成林業に関わる文化的景観報告書	奈良文化財研究所	6 年 3 月 29 日	無
40	同上	文化遺産部主任研究員　惠谷浩子	近代日本におけるスギ生産地の多様性	山の風景史―育成林業に関わる文化的景観報告書	奈良文化財研究所	6 年 3 月 29 日	無
41	同上	飛鳥資料館学芸室研究員　竹内祥一朗	智頭町の地勢	山の風景史―育成林業に関わる文化的景観報告書	奈良文化財研究所	6 年 3 月 29 日	無
42	同上	飛鳥資料館学芸室研究員　竹内祥一朗	集落立地の指向性	山の風景史―育成林業に関わる文化的景観報告書	奈良文化財研究所	6 年 3 月 29 日	無
43	同上	飛鳥資料館学芸室研究員　竹内祥一朗	智頭町域の歴史における智頭宿と芦津	山の風景史―育成林業に関わる文化的景観報告書	奈良文化財研究所	6 年 3 月 29 日	無
44	同上	飛鳥資料館学芸室研究員　竹内祥一朗	智頭宿における景観と生業活動の変遷史	山の風景史―育成林業に関わる文化的景観報告書	奈良文化財研究所	6 年 3 月 29 日	無
45	同上	飛鳥資料館学芸室研究員　竹内祥一朗	芦津における景観と生業活動の変遷史	山の風景史―育成林業に関わる文化的景観報告書	奈良文化財研究所	6 年 3 月 29 日	無
46	同上	飛鳥資料館学芸室研究員　竹内祥一朗	墓地と石造物の特徴	山の風景史―育成林業に関わる文化的景観報告書	奈良文化財研究所	6 年 3 月 29 日	無
47	同上	飛鳥資料館学芸室研究員　竹内祥一朗	村から捉える林業景観史	山の風景史―育成林業に関わる文化的景観報告書	奈良文化財研究所	6 年 3 月 29 日	無
48	水中文化遺産に関する調査研究	埋蔵文化財センター主任研究員・柳田明進、保存修復科学研究室長・脇谷草一郎、文化財防災センター長・高妻洋成　他	"Black spots"による青銅製遺物の劣化およびその処理法の検討	2025 東アジア文化遺産保存国際シンポジウム in 札幌 要旨集	東アジア文化遺産保存学会	8 月 11 日	無
49	同上	埋蔵文化財センター主任研究員・柳田明進	水中遺跡での沈没船の現地保存	月刊文化財	第一法規株式会社	12 月 1 日	無

(2) 科学技術を応用した研究開発の進展等に向けた基盤的な研究　65 件

○文化財の調査手法に関する研究開発の推進　25 件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	埋蔵文化財の探査・計測方法の研究開発	遺跡・調査技術研究室客員研究員　小澤毅	藤原京の条坊	山川歴史 PRESS（13）	山川出版社	4 月	無
2	同上	遺跡・調査技術研究室客員研究員　平川ひろみ他	From “Made of” to “Made from”	The Oxford Handbook of Cognitive Archaeology	Oxford University Press	5 月 22 日	有

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
3	同上	遺跡・調査技術研究室研究員　山口欧志、埋蔵文化財センター長　金田明大	遺跡調査における三次元計測方法の比較	日本考古学協会第 89 回総会研究発表要旨	日本考古学協会	5 月 27 日	無
4	同上	遺跡・調査技術研究室客員研究員　野下浩司	Network feature-based phenotyping of leaf venation robustly reconstructs the latent space	PLOS Computational Biology	PLOS	7 月 20 日	有
5	同上	遺跡・調査技術研究室客員研究員　野下浩司　他	heoretical morphological analysis of differential morphospace occupation patterns for terrestrial and aquatic gastropods	Evolution	Oxford Academic	7 月 27 日	有
6	同上	埋蔵文化財センター長　金田明大	平城京の古道を想像する 前編 二条大路と東大寺	月刊　大和路ならら 26(7)	月刊大和路ならら編集部	7 月	無
7	同上	埋蔵文化財センター長　金田明大	平城京の古道を想像する 後編	月刊　大和路ならら 26(8)	月刊大和路ならら編集部	8 月	無
8	同上	埋蔵文化財センター長　金田明大	埋蔵文化財を探す・測る・守る	月刊文化財 719	第一法規株式会社	8 月	有
9	同上	遺跡・調査技術研究室研究員　山口欧志	国内におけるフォトグラメトリの応用	月刊文化財 719	第一法規株式会社	8 月	有
10	同上	遺跡・調査技術研究室研究員　上椙英之	新技術の利用事例④ ひかり拓本 40	月刊文化財 719	第一法規株式会社	8 月	有
11	同上	遺跡・調査技術研究室客員研究員　平川ひろみ　他	特殊器台の製作体制	『何が歴史を動かしたのか』弥生文化と世界の考古学 2	雄山閣	9 月	無
12	同上	埋蔵文化財センター長　金田明大、遺跡・調査技術研究室研究員　山口欧志、同上椙英之、同客員研究員　髙野紗奈江　他	‘ひかり拓本’、縄文土器に光をあてる	日本文化財科学会第 40 回記念大会研究発表要旨集	日本文化財科学会	10 月 21 日	無
13	同上	遺跡・調査技術研究室研究員　山口欧志	文化財三次元計測のためのリアルタイムフォトグラメトリの実現	日本文化財科学会第 40 回記念大会研究発表要旨集	日本文化財科学会	10 月 21 日	無
14	同上	遺跡・調査技術研究室客員研究員　小澤毅	古代大和の王宮と都城（単著）	古代大和の王宮と都城（単著）	同成社	11 月 27 日	無
15	同上	遺跡・調査技術研究室研究員　山口欧志	DEVELOPING A MULTIMODAL DATABASE OF DIGITAL ARCHIVES FOR CULTURAL HERITAGE SITES - A CASE OF DIGITALLY PRESERVING THE BOROBUDUR TEMPLE OF INDONESIA	The International Archives of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences	Copernicus GmbH	12 月 13 日	有
16	同上	埋蔵文化財センター長　金田明大、遺跡・調査技術研究室客員研究員　野下浩司、同中川朋美　他	三次元データを計測する／三次元データを用いて研究する：具体例	カタチの由来、データの未来 三次元計測の人類史学	勁草書房	6 年 2 月 13 日	無
17	年輪年代学研究	年代学研究室長　星野安治ほか	曲物の年輪年代測定からみた平城宮・京跡出土資料の年代学的研究	日本考古学 56	日本考古学協会	5 月 10 日	無
18	同上	年代学研究室長　星野安治	輪王寺護法天堂および二荒山神社神輿舎の年輪年代	奈良文化財研究所紀要 2023	奈良文化財研究所	8 月 28 日	無
19	同上	年代学研究室長　星野安治　他	飛鳥寺塔跡出土舎利容器	奈良文化財研究所紀要 2023	奈良文化財研究所	8 月 28 日	無
20	動植物遺存体の分析方法の研究開発	環境考古学研究室長　山崎健　他	ネズミによるモモ核の食痕形成に関する実験報告	奈良文化財研究所紀要 2023	奈良文化財研究所	8 月 28 日	無
21	同上	環境考古学研究室長　山崎健	かじられたモモ核とネズミの骨／ボラの骨	女帝のいのりー発掘された西大寺と西隆寺ー	奈良文化財研究所	10 月 28 日	無
22	同上	環境考古学研究室長　山崎健	西橘遺跡から出土した動物遺存体	西橘遺跡発掘調査報告書	明日香村教育委員会	6 年 3 月 25 日	無
23	物質文化・地質情報等を基とした防災・減災・復興・復旧の歴史的研究	遺跡・調査技術研究室主任研究員 村田泰輔　他	飛鳥寺塔跡出土舎利容器	奈良文化財研究所紀要 2023	奈良文化財研究所	8 月 28 日	無
24	同上	遺跡・調査技術研究室主任研究員 村田泰輔　他	藤原京大極殿院の調査―第 210 次	奈良文化財研究所発掘調査報告 2023	奈良文化財研究所	12 月 22 日	無
25	同上	遺跡・調査技術研究室主任研究員 村田泰輔　他	平城宮左京一条二坊十坪・一条条間路の調査	奈良文化財研究所発掘調査報告 2023	奈良文化財研究所	12 月 22 日	無

○文化財の保存修復及び保存技術等に関する調査研究　40 件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	考古遺物の保存処理法に関する調査研究	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室長・脇谷草一郎、同研究員・松田和貴、柳田明進、考古第一研究室主任研究員・田村朋美、防災センター長・高妻洋成　他	木材への濡れ性と結晶化効率から見たトレハロース処理法の有効性に関する検討	24 東アジア文化遺産保存国際シンポジウム in 札幌　要旨集	東アジア文化遺産保存学会	8 月 12 日	無
2	同上	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室長・脇谷草一郎、同研究員・松田和貴、柳田明進、考古第一研究室主任研究員・田村朋美、防災センター長・高妻洋成　他	トレハロース処理法の寸法安定性に関する考察 2 - 結晶化効率がトレハロース処理法の寸法安定性に及ぼす影響 -	日本文化財科学会第 40 回大会要旨集	日本文化財科学会	10 月 21 日	無
3	同上	埋蔵文化財センター主任研究員・柳田明進、保存修復科学研究室長・脇谷草一郎　他	鉄製遺物の発掘後の劣化特性に及ぼす埋蔵環境の影響 −平城宮跡出土鉄製遺物の悉皆的調査と非破壊分析による検討	日本文化財科学会第 40 回大会要旨集	日本文化財科学会	10 月 21 日	無
4	同上	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室アソシエイトフェロー・楊曼寧、主任研究員・柳田明進、同室長・脇谷草一郎　他	出土銅製品に施された塗膜の剥離メカニズムの検討（その 2）　―塗膜の層構造および埋蔵時の劣化による成分変化の調査―	日本文化財科学会第 40 回大会要旨集	日本文化財科学会	10 月 21 日	無
5	同上	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室室長・脇谷草一郎、同研究員・松田和貴、同主任研究員・柳田明進、都城発掘調査部主任研究員・田村朋美、文化財防災センターセンター長・高妻洋成　他	トレハロース処理法における木材細胞壁に対する結晶物の強化作用	第 74 回日本木材学会大会発表要旨集	日本木材学会	6 年 3 月 1 日	無
6	同上	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室アソシエイトフェロー・楊曼寧、都城発掘調査部主任研究員・田村朋美、埋蔵文化財センター保存修復科学研究室研究員・松田和貴	水浸出土木製遺物の保存処理におけるトレハロース含浸と真空凍結乾燥併用の諸問題	第 74 回日本木材学会大会発表要旨集	日本木材学会	6 年 3 月 1 日	無
7	遺構の安定した保存のための維持管理方法に関する調査研究	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同室長・脇谷草一郎、同客員研究員・小椋大輔　他	元町石仏における石仏表面に蓄積する塩分量の測定および予測に関する研究 ーその 1 蛍光 X 線を用いた石材表面に蓄積する塩分量の測定手法の検討ー	日本建築学会近畿支部研究発表会梗概	日本建築学会近畿支部	6 月 25 日	無
8	同上	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同室長・脇谷草一郎、同客員研究員・小椋大輔　他	元町石仏における石仏表面に蓄積する塩分量の測定および予測に関する研究 ーその 2 数値解析による多孔質材料表面に蓄積する塩分量の予測	日本建築学会近畿支部研究発表会梗概	日本建築学会近畿支部	6 月 25 日	無
9	同上	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同客員研究員・小椋大輔、同室長・脇谷草一郎　他	屋外文化財の塩類風化と保存環境に関する研究 ー湿潤過程の違いが硫酸ナトリウムによる材料の変形挙動に与える影響の比較ー	日本建築学会近畿支部研究発表会梗概	日本建築学会近畿支部	6 月 25 日	無
10	同上	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室室長・脇谷草一郎、主任研究員・柳田明進　他	乾湿繰り返しによって引き起こされる石材表面剥離現象に関する基礎的検討 ー画像相関法による乾湿時の石材ひずみ定量化の試みー	2023 東アジア文化遺産保存国際シンポジウム in 札幌　要旨集	東アジア文化遺産保存学会	8 月 12 日	無
11	同上	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同室長・脇谷草一郎、同客員研究員・小椋大輔　他	元町石仏における石仏表面に蓄積する塩分量の測定および予測に関する研究 ーその 1 蛍光 X 線を用いた石材表面に蓄積する塩分量の測定手法の検討ー	日本建築学会大会学術講演会梗概	日本建築学会	8 月 12 日	無
12	同上	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同室長・脇谷草一郎、同客員研究員・小椋大輔　他	元町石仏における石仏表面に蓄積する塩分量の測定および予測に関する研究 ーその 2 数値解析による多孔質材料表面に蓄積する塩分量の予測	日本建築学会大会学術講演会梗概	日本建築学会	9 月 14 日	無
13	同上	文化財防災センター研究員・水谷悦子、埋蔵文化財センター保存修復科学研究室客員研究員・小椋大輔、同室長・脇谷草一郎　他	塩化ナトリウム溶液を含むレンガの電気的脱塩に関する研究　電気的脱塩の評価のための IC と XRF による塩分布の推定と可視化	日本建築学会大会学術講演会梗概	日本建築学会	9 月 14 日	無
14	同上	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同客員研究員・小椋大輔、同室長・脇谷草一郎　他	屋外文化財の塩類風化と保存環境に関する研究 ー湿潤過程の違いが硫酸ナトリウムによる材料の変形挙動に与える影響の比較ー	日本建築学会大会学術講演会梗概	日本建築学会	9 月 14 日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
15	同上	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室長・脇谷草一郎、同主任研究員・柳田明進　他	Optimizing exhibition methods for the remains in the Ichijodani Asakura Family Site Museum, Fukui Prefectural, Japan	Proceedings of SWBSS ASIA 2023	奈良文化財研究所	9月20日	有
16	同上	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同室長・脇谷草一郎、同客員研究員・小椋大輔　他	Comparison of damage by various hydration process of thenardite: water absorption and moisture adsorption	Proceedings of SWBSS ASIA 2023	奈良文化財研究所	9月20日	有
17	同上	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同室長・脇谷草一郎、同客員研究員・小椋大輔　他	Measuring the amount of accumulated salt on the surface of porous materials using X-ray fluorescence	Proceedings of SWBSS ASIA 2023	奈良文化財研究所	9月20日	有
18	同上	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室主任研究員・柳田明進、同室長・脇谷草一郎、防災センター長・高妻洋成　他	乾湿繰り返しによる石造文化財の劣化メカニズムの解明に関する基礎研究	日本文化財科学会第40回大会要旨集	日本文化財科学会	10月21日	無
19	同上	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同室長・脇谷草一郎、同客員研究員・小椋大輔　他	蛍光X線を用いた多孔質材料表面に蓄積する塩の濃度の測定	日本文化財科学会第40回大会要旨集	日本文化財科学会	10月21日	無
20	同上	文化財防災センター研究員・水谷悦子、埋蔵文化財センター保存修復科学研究室客員研究員・小椋大輔、同室長・脇谷草一郎	組積造建造物の電気的脱塩に向けた煉瓦内の塩分布の定量化と可視化の試み	日本文化財科学会第40回大会要旨集	日本文化財科学会	10月21日	無
21	同上	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同客員研究員・小椋大輔、同室長・脇谷草一郎　他	湿潤過程の違いが硫酸ナトリウムによる材料の変形挙動に与える影響の比較	日本文化財科学会第40回大会要旨集	日本文化財科学会	10月21日	無
22	考古遺物を中心とした文化財の材質調査に関する調査研究	都城発掘調査部主任研究員・田村朋美	匈奴および鮮卑におけるガラス交易：分析化学的アプローチ	文化財保存修復学会第45回研究発表要旨集	日本考古学協会	5月27日	無
23	同上	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室アソシエイトフェロー・楊曼寧	東京藝術大学大学美術館所蔵「龍文存星香合」の制作工程に関する研究	文化財保存修復学会第45回研究発表要旨集	文化財保存修復学会	6月24日	無
24	同上	都城発掘調査部主任研究員　田村朋美　他	中・近世期の北海道におけるガラス小玉の様相について	2024東アジア文化遺産保存国際シンポジウム in 札幌　要旨集	東アジア文化遺産保存学会	8月12日	無
25	同上	都城発掘調査部主任研究員　田村朋美、埋蔵文化財センター保存修復科学研究室客員研究員・大賀克彦	京都府奈具岡遺跡からみた弥生時代中期後半におけるガラスの舶載と再加工	日本文化財科学会第40回大会要旨集	日本文化財科学会	10月21日	無
26	同上	都城発掘調査部主任研究員・田村朋美、ほか	青森県舟場向川久保（2）遺跡出土細形管玉のXRF、ESR、XRDによる非破壊分析	日本文化財科学会第40回大会要旨集	日本文化財科学会	10月21日	無
27	同上	都城発掘調査部主任研究員・田村朋美　他	北海道の続縄文文化期から出土したガラス玉の様相について-北大Ⅰ式期におけるガラス玉の特徴について-	日本文化財科学会第40回大会要旨集	日本文化財科学会	10月21日	無
28	同上	都城発掘調査部主任研究員・田村朋美　他	iscrimination of jasper from Pohang in Korea and beads using of jasper from Kasenzan (花仙山) in Japan by non-destructive XRD analysis	韓国文化財保存科学会第58回秋季学術大会発表論文集	韓国文化財保存科学会	11月10日	無
29	同上	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同室長・脇谷草一郎、同客員研究員・小椋大輔　他	Nondestructive Observation of Multilayered Paintings on a Single Canvas by THz Time-Domain Imaging and X-ray Fluorescence Elemental Mapping	Journal of Infrared Millimeter and Terahertz Waves	Springer	6年1月19日	無
30	同上	都城発掘調査部主任研究員・田村朋美　他	北大構内から出土したガラス玉の分析	北大構内の遺跡	北海道大学埋蔵文化財センター	6年3月	無
31	同上	都城発掘調査部主任研究員・田村朋美	ガラスの考古科学	文化財科学会40周年記念誌	文化財科学会	6年3月	無
32	同上	都城発掘調査部主任研究員・田村朋美	分析化学（玉類）	考古学研究会70周年記念誌　考古学の輪郭	考古学研究会	6年3月	無
33	同上	都城発掘調査部主任研究員・田村朋美　他	続縄文文化におけるガラス小玉の流通と変遷	北海道考古　60	北海道考古学	6年3月	無
34	古墳壁画の恒久的保存に関する調査研究	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室アソシエイトフェロー・大迫美月、同研究員・柳田明	泥に覆われたキトラ古墳壁画の元素マッピング調査	日本文化財科学会第40回大会要旨集	日本文化財科学会	10月22日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
		進、松田和貴、同室長・脇谷草一郎、考古第一研究室主任研究員　田村朋美、防災センター長・高妻洋成　他					
35	同上	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室アソシエイトフェロー・大迫美月、同主任研究員・柳田明進、同研究員・松田和貴、同室長・脇谷草一郎、都城発掘調査部主任研究員・田村朋美、文化財防災センター長・高妻洋成　他	泥に覆われたキトラ古墳壁画の元素マッピング調査	保存科学第 63 号	東京文化財研究所	6 年 3 月 18 日	無
36	遺跡現地における壁画の安定した保存に関する研究	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同客員研究員・小椋大輔、同室長・脇谷草一郎　他	文化財資料の変形・損傷予測に基づいた保存環境の制御方法の検討ー法隆寺金堂飛天壁画下地の模擬材料を対象とした引張強度測定ー	日本建築学会近畿支部研究発表会梗概	日本建築学会近畿支部	6 月 25 日	無
37	同上	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同客員研究員・小椋大輔、同室長・脇谷草一郎　他	文化財資料の変形・損傷予測に基づいた保存環境の制御方法の検討ー法隆寺金堂飛天壁画下地の模擬材料を対象とした引張強度測定ー	日本建築学会大会学術講演会梗概	日本建築学会	9 月 14 日	無
38	同上	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同客員研究員・小椋大輔、同室長・脇谷草一郎　他	法隆寺金堂飛天壁画下地の模擬材料を対象とした圧縮・引張強度と弾性率の測定	日本文化財科学会第 40 回大会要旨集	日本文化財科学会	10 月 21 日	無
39	同上	埋蔵文化財センター保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同客員研究員・小椋大輔、同室長・脇谷草一郎　他	Mechanical properties of white clay used as wall painting substrate material: Measurement of strength and modulus of elasticity of simulated substrate material of wall paintings Hiten at Kondo, the main hall at Horyu-ji Temple	Heritage Science	Springer Nature	11 月 21 日	有
40	考古・文献史料からみた歴史災害情報の収集とデータベース構築・公開並びにその地質考古学的解析	遺跡・調査技術研究室主任研究員 村田泰輔　他	災害痕跡地図上のマーカーデザインに関する研究	大分県立芸術文化短期大学研究紀要 61	大分県立芸術文化短期大学	6 年 3 月	有

(3) 文化遺産保護に関する国際協働　7 件

○文化遺産保護に関する国際協働の総合的な推進 7 件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	文化遺産保護に関する国際情報の収集・研究・発信	国際遺跡研究室長　庄田慎矢	Pottery Impressions Reveal Earlier Westward Dispersal of Foxtail Millet in Inner Asian Mountain Corridor	Agronomy 13(7)	MDPI	6 月 26 日	有
2	同上	国際遺跡研究室アソシエイトフェロー　西原和代	西トップ遺跡の発掘調査 ―第 16 次調査―	奈良文化財研究所紀要 2023	奈良文化財研究所	6 月 30 日	無
3	同上	国際遺跡研究室長　庄田慎矢	DART を用いた非破壊による土器残存脂質分析	奈良文化財研究所紀要 2023	奈良文化財研究所	6 月 30 日	無
4	同上	国際遺跡研究室長　庄田慎矢	韓国の搗臼から考える古代日本の食	半田山地理考古 11	岡山理科大学	9 月 26 日	無
5	同上	国際遺跡研究室長　庄田慎矢	Archaeobotany: Microscopic and Molecular Techniques	Encyclopedia of Archaeology (Second Edition)	Elsevier	12 月 14 日	無
6	文化遺産に関する研究交流（イギリス等）	国際遺跡研究室長　庄田慎矢	欧州旧石器時代の焼石調理の考古生化学	考古学ジャーナル 784	ニューサイエンス社	7 月 30 日	無
7	アジア地域等の文化遺産に関する調査研究及び保護協力事業	国際遺跡研究室アソシエイトフェロー　村上夏希	焼石調理の実験考古生化学的アプローチ	考古学ジャーナル 784	ニューサイエンス社	7 月 30 日	無

(4) 文化財に関する情報資料の収集・整備及び調査研究成果の公開・活用　17件

○調査研究成果の発信　0件

○文化財情報基盤の整備・充実　17件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	データベースの充実と順次公開	企画調整部主任研究員 高田祐一　ほか	COMPARISON AND EVALUATION OF TLSS AND MOBILE LIDAR SCANNERS FOR MULTI-SCALE 3D DOCUMENTATION OF CULTURAL HERITAGE	The International Archives of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences	ISPRS	6月26日	有
2	同上	企画調整部主任研究員 高田 祐一	佐賀藩の巨石採石技術の変遷-慶長期佐賀城石垣・川上石丁場および元和寛永期大坂城石垣・甲山石丁場の調査を通じて-	公益財団法人鍋島報效会研究助成研究報告書	公益財団法人鮫島	9月	無
3	同上	企画調整部主任研究員 高田祐一、アソシエイトフェロー　ヤナセ　ペーテル	Following the Thread: Integrating SORAN's Japanese Dataset into ARIADNE	Internet Archaeology	the Department of Archaeology at the University of York	11月1日	有
4	同上	企画調整部主任研究員 高田 祐一、アソシエイトフェロー　ヤナセ　ペーテル	Improving the FAIRness of Japanese Archaeological Grey Literature	Revista Del Museo De Antropología	Universidad Nacional de Córdoba	12月28日	有
5	同上	企画調整部主任研究員 高田祐一ほか	航空LiDARによる詳細遺跡3D点群計測と文化財デジタルツイン	月刊考古学ジャーナル	月刊考古学ジャーナル	6年1月30日	無
6	同上	企画調整部主任研究員 高田 祐一	GISによって文化財の災害被災リスクの可視化	奈文研ニュース（91）	奈良文化財研究所	12月1日	無
7	同上	企画調整部主任研究員 高田 祐一ほか	文化財デジタルアーカイブ課程フォローアップ座談会	オンラインライブラリ	奈良文化財研究所	6年3月28日	無
8	同上	文化財情報研究室研究員 三谷 直哉	文化財デジタルアーカイブ課程受講者アンケートの結果報告	オンラインライブラリ	奈良文化財研究所	6年3月28日	無
9	同上	企画調整部主任研究員 高田 祐一	文化財データリポジトリと文化財オンラインライブラリーの公開 ：データ再利用性および論文アクセス向上のためのプラットフォーム	オンラインライブラリ	奈良文化財研究所	6年3月28日	無
10	同上	企画調整部主任研究員 高田 祐一	UAV-LiDARによる小豆島加藤家石丁場の高精度地形計測	オンラインライブラリ	奈良文化財研究所	6年3月28日	無
11	同上	企画調整部主任研究員 高田 祐一ほか	文化財3Dモデル公開に関する検討会議	オンラインライブラリ	奈良文化財研究所	6年3月28日	無
12	同上	企画調整部主任研究員 高田 祐一ほか	水中遺跡を調査する―サイドスキャンソナーとReefMasterを用いた海底面探査―	オンラインライブラリ	奈良文化財研究所	6年3月28日	無
13	同上	企画調整部主任研究員 高田祐一、主任研究員国武貞克	遺跡位置情報に関する検討会	オンラインライブラリ	奈良文化財研究所	6年3月28日	無
14	同上	企画調整部主任研究員 高田 祐一ほか	文化財とハザードマップ ―災害のリスクを未然に調査する―	オンラインライブラリ	奈良文化財研究所	6年3月28日	無
15	同上	文化財情報研究室 研究員　三谷 直哉ほか	災害データの公開状況調査	オンラインライブラリ	奈良文化財研究所	6年3月28日	無
16	同上	企画調整部主任研究員 高田 祐一	公設試験研究機関で蛍光 X 線分析をやってみた	オンラインライブラリ	奈良文化財研究所	6年3月28日	無
17	同上	企画調整部主任研究員 高田 祐一	2023年度数字で見る全国遺跡報告総覧	オンラインライブラリ	奈良文化財研究所	6年3月28日	無

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】　1件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	アジア太平洋地域の無形文化遺産保護に関する調査研究	研究担当室長　野嶋洋子、前アソシエイトフェロー　橋田　力	Mobilizing Research for Safeguarding ICH in the Era of Climate Change: International Research Centre for Intangible Cultural Heritage in the Asia-Pacific Region (IRCI)	Living Heritage Journal	Regional Centre for the Safeguarding of Intangible Cultural Heritage in South-Eastern Europe	9月	無

c-⑥ 調査研究刊行物一覧

令和6年3月31日現在

【本部文化財活用センター】

○調査研究刊行物　　1件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	2022年度ぶんかつアウトリーチプログラム報告書	300	文化庁、首都圏小中学校、都道府県教育委員会、都道府県教育センター、国内の美術館・博物館等

【本部文化財防災センター】

○調査研究刊行物　4件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	令和4年度文化財防災センター年次報告書	400	連携協力機関、関係者・協力者等 （奈良文化財研究所「全国遺跡報告総覧」を通じて、WEB上にて公開）
2	社寺等における文化財の安全対策に関する調査研究　研究結果報告書	540	連携協力機関、関係者・協力者等 （奈良文化財研究所「全国遺跡報告総覧」を通じて、WEB上にて公開）
3	無形文化遺産と防災―被災の経験から考える防災・減災―　報告書	400	連携協力機関、関係者・協力者等 （奈良文化財研究所「全国遺跡報告総覧」を通じて、WEB上にて公開）
4	「トルコにおける文化遺産防災体制構築を見据えた被災文化遺産復興支援事業」報告書	60	文化庁、関係機関、関係者等

【東京国立博物館】

○調査研究刊行物　　4件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	「MUSEUM」703～708号（6冊）	各1,800	美術館・博物館・大学・研究所等
2	「東京国立博物館紀要」59号	500	美術館・博物館・大学・研究所等
3	「東京国立博物館文化財修理報告」24	―	ウェブ公開
4	「法隆寺献納宝物特別調査概報」43　伎楽面X線断層（CT）調査	―	ウェブ公開

○展覧会図録等　　22件

	刊　行　物　名		発行部数	配　　布　　先
1	特別展図録	『特別展　古代メキシコ―マヤ、アステカ、テオティワカン』	―	―
2		『特別展　横尾忠則　寒山百得』	―	―
3		『特別展　京都・南山城の仏像』	―	―
4		『特別展　やまと絵―受け継がれる王朝の美』	―	―
5		『特別展　本阿弥光悦の大宇宙』	―	―
6		『特別展　中尊寺金色堂』	―	―
7	特集展示 そのほか	「特集 親と子のギャラリー 尾・しっぽ」リーフレット	3,000	来館者無料配布、ウェブ公開
8		「特集 虫譜づくりの舞台裏―栗本丹洲著『千虫譜』とその展開」リーフレット	2,000	来館者無料配布、ウェブ公開
9		「特集 儒教の美術―湯島聖堂由来の絵画・工芸を中心にして」リーフレット	2,000	来館者無料配布、ウェブ公開
10		「特集 関東大震災と東京国立博物館」リーフレット	6,500	来館者無料配布、ウェブ公開
11		「特集 姫君婚礼につき―蒔絵師総出の晴れ舞台」リーフレット	2,000	来館者無料配布、ウェブ公開
12		「特集 日本初のチベット探検―僧河口慧海の見た世界」リーフレット	2,000	来館者無料配布、ウェブ公開
13		「東京国立博物館の寒山拾得図―伝説の風狂僧への憧れ」リーフレット	4,000	来館者無料配布、ウェブ公開
14		「特集 近世のやまと絵―王朝美の伝統と継承―」「特集 仏画のなかのやまと絵山水」（8頁）	5,000	来館者無料配布、ウェブ公開
15		「特集 日本の模様 秋草」	3,000	来館者無料配布、ウェブ公開
16		「特集 大聖寺藩（石川県）前田家伝来の能面」	4,000	来館者無料配布、ウェブ公開
17		「博物館に初もうで　謹賀辰年―年の初めの龍づくし」	8,000	来館者無料配布、ウェブ公開
18		「特集 塔と厨子」	3,000	来館者無料配布、ウェブ公開
19		『博物館でアジアの旅　アジアのパーティー』	1,500	関係機関・協力先等
20		『修理記念報告　国宝　埴輪 挂甲の武人』	700	関係機関・協力先等
21		『法隆寺宝物館』増刷	1,500	関係機関・協力先等
22		『東京国立博物館ハンドブック（中国語）』増刷	3,000	関係機関・協力先等

【京都国立博物館】

○調査研究刊行物　　4件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	研究紀要「學叢」第45号	800	美術館・博物館・大学等
2	文化財保存修理所　修理報告書21	390	美術館・博物館・図書館・大学・研究機関・教育委員会等
3	社寺調査報告33　禅居庵・大中院・久昌院（建仁寺塔頭）〈陶磁編〉	500	美術館・博物館・図書館・大学・研究機関・教育委員会等
4	浄土宗総本山知恩院所蔵国宝「阿弥陀二十五菩薩来迎図」修理事業にともなう科学調査報告書	250	美術館・博物館・図書館・大学・研究機関・教育委員会等

○展覧会図録等　　5件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	親鸞聖人生誕850年特別展　親鸞―生涯と名宝	―	美術館・博物館・大学等
2	特別展　東福寺	―	同上
3	特集展示　弥生時代青銅の祀り	1,000	同上
4	修理完成記念 特集展示　泉穴師神社の神像　リーフレット	10,000	来館者無料配布、ウェブ公開
5	特集展示　雛まつりと人形―古今雛の東西―　リーフレット	7,000	同上

※博物館だより、Newsletterの発行数については「1-(3)-②-6 広報刊行物一覧」参照

【奈良国立博物館】

○調査研究刊行物　　3件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	奈良国立博物館研究紀要「鹿園雑集」第26号	700	美術館・博物館・大学・研究機関等
2	奈良国立博物館 文化財保存修理所 修理報告書 第6号	650	美術館・博物館・大学・研究機関等・教育委員会等
3	奈良国立博物館蔵古瓦名品選	600	美術館・博物館・大学・研究機関等

○展覧会図録等　　3件

	刊　行　物　名		発行部数	配　　布　　先
1	特別展	『浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念　特別展　聖地　南山城　―奈良と京都を結ぶ祈りの至宝―』	7,800	美術館・博物館・大学・研究機関等
2	特別展	『第75回正倉院展』	5,000	美術館・博物館・大学・研究機関等
3	特別公開	特別公開　奈良・普門院本尊　不動明王坐像	10,000	来館者等無料配布

※博物館だよりの発行数については「1-(3)-②-6 広報刊行物一覧」参照

【九州国立博物館】

○調査研究刊行物　　2件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	九州国立博物館　研究紀要『東風西声』第19号	850	美術館・博物館・大学・研究機関等
2	九州国立博物館　文化財修復報告　第6号（平成28年度～平成29年度）	600	文化財所有者・博物館・行政機関・研究機関等

○展覧会図録等　　6件

	刊　行　物　名		発行部数	配　　布　　先
1	特別展	特別展『アール・ヌーヴォーのガラス』	2,500	博物館・美術館・大学・研究機関等
2	特別展	特別展『憧れの東洋陶磁』	2,300	博物館・美術館・大学・研究機関等
3	特別展	特別展『古代メキシコ』	6,000	博物館・美術館・大学・研究機関等
4	特別展	特別展『長沢芦雪』	6,000	博物館・美術館・大学・研究機関等
5	特集展示等	特集展示「うるわしき祈りの美―高麗・朝鮮時代の仏教美術―」	2,300	博物館・美術館・大学・研究機関等
6	特集展示等	図録「日本刀の美　北崎徹郎コレクション」	1,500	博物館・美術館・大学・研究機関等

※アジアージュの発行数については「1-(3)-②-6 広報刊行物一覧」参照

【皇居三の丸尚蔵館】

○展覧会図録等　　6件

	刊　行　物　名		発行部数	配　　布　　先
1	開館記念展図録	開館記念展『皇室のみやび―受け継ぐ美―』	12,000	博物館・美術館・大学・研究機関等
2	開館記念展図録	開館記念展『皇室のみやび―受け継ぐ美―　第2期近代皇室を彩る技と美』	2,000	博物館・美術館・大学・研究機関等
3	開館記念展図録	開館記念展『皇室のみやび―受け継ぐ美―　第3期近世の御所を飾った品々』	2,000	博物館・美術館・大学・研究機関等
4	展覧会図録	特別展示御即位５年御成婚３０年記念『令和の御代を迎えてー天皇皇后両陛下が歩まれた３０年』	1,800	博物館・美術館・大学・研究機関等

	刊　行　物　名		発行部数	配　　布　　先
5	作品紹介リーフレット・英語版	作品紹介リーフレット・英語版「Illustrated Miracles of the Kasuga Deity」（日本語訳：「春日権現験記絵」）	20,000	博物館・美術館・大学・研究機関等
6	作品紹介リーフレット	中世の傑作　国宝春日権現験記絵	20,000	博物館・美術館・大学・研究機関等

【東京文化財研究所】

○調査研究刊行物

(1) 新たな知見の開拓につながる基礎的・探求的な調査研究　　6件

・有形文化財、伝統的建造物群に関する調査研究　3件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	『妙法寺蔵　与謝蕪村筆　寒山拾得図復原襖プロジェクト』（リーフレット）	5000	来訪者および上野公園150周年イベントでの無料配布、大学・研究機関・博物館・美術館・図書館等
2	『タイ所在日本製漆工品に関する調査研究2ー日本製漆工品と日本人漆工専門家ー』	600	大学・研究機関・教育委員会・博物館・美術館・図書館等
3	『光学調査・研究資料リーフレット1 岸田劉生《手を描き入れし静物》』（リーフレット）	1000	来訪者への無料配布、大学・研究機関・教育委員会・博物館・美術館・図書館等

・無形文化財、無形民俗文化財等に関する調査及び研究　3件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	第16回東京文化財研究所 無形文化遺産部 公開学術講座「無形文化財と映像」報告書	100	大学・研究機関・教育委員会・図書館等、ウェブ公開
2	『日本の芸能を支える技Ⅱ　三味線象牙駒』英語版	200	大学・研究機関・教育委員会・図書館等、ウェブ公開
3	『日本の芸能を支える技Ⅲ　太棹三味線』英語版	200	大学・研究機関・教育委員会・図書館等、ウェブ公開

(2) 科学技術を応用した研究開発の進展等に向けた基盤的な研究　　5 件

・文化財の調査手法に関する研究開発の推進　3件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	『皇居三の丸尚蔵館収蔵 国宝 絹本著色 春日権現験記絵 巻十五・巻十六 光学調査報告書』	500	大学・研究機関、図書館等
2	『ものの記憶―色を遺し・伝える』	700	大学・研究機関、図書館等
3	『文化財アーカイブとしての写真―北海道立北方民族博物館所蔵民族資料を例に』（リーフレット）	2000	来訪者および上野公園150周年イベントでの無料配布、大学・研究機関・博物館・美術館・図書館等

・文化財の保存修復及び保存技術等に関する調査研究　2件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	『未来につなぐ人類の技 21 近代文化遺産の活用』	800	大学・研究機関、図書館等
2	『Utilization of Modern Cultural Properties』	150	大学・研究機関、図書館等

(3) 文化遺産保護に関する国際協働　　15 件

・文化遺産保護に関する国際協働の総合的な推進　15件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	令和4年度世界遺産研究協議会　文化財としての「景観」を問いなおす	300	官公庁、自治体、国際機関等
2	令和5年度世界遺産研究協議会　複雑化する世界遺産をみまもる目	300	官公庁、自治体、国際機関等
3	各国の文化財保護法令シリーズ［28］オランダ	120	官公庁、図書館等
4	アジア諸国等文化遺産保存修復協力　令和5年度事業成果報告書	30	外部評価委員会、事業関係者等
5	カンボジア・アンコール遺跡群タネイ寺院東門修復工事報告書	30	大学・研究機関・図書館等
6	Project Report on Church of the Saint Michael the Archangel	40	外部評価委員会、研究機関、関係団体等
7	令和5年度　旧機那サフラン酒製造本舗土蔵鏝絵の保存修復に関する研究	40	外部評価委員会、研究機関、関係団体等
8	近現代建築等の保護・継承に係る海外事例調査	35	文化庁、関係者・関係機関等
9	令和4年度文化遺産国際協力コンソーシアムシンポジウム　気候変動と文化遺産ーいま、何が起きているのかー（英語版）	200	大学・研究機関・図書館等
10	第32回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会「中央ヨーロッパにおける文化遺産国際協力のこれまでとこれから」（英語版）	200	大学・研究機関・図書館等
11	第33回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会「文化遺産保護の国際動向」（日本語版）	200	大学・研究機関・図書館等
12	令和5年度文化遺産国際協力コンソーシアムシンポジウム　世界文化遺産の50年：日本の貢献のこれまでとこれから（日本語版）	200	大学・研究機関・図書館等
13	文化遺産国際協力コンソーシアム令和4年度国際協力調査　パキスタン洪水　被災文化遺産調査報告書（日本語版）	200	大学・研究機関・図書館等
14	小冊子　文化遺産の国際協力	300	関係機関・一般
15	ブータンの伝統的民家建築保存のための調査　概報2023	PDF	ブータン内務省、事業関係者等

(4) 文化財に関する情報資料の収集・整備及び調査研究成果の公開・活用　　12 件

・調査研究成果の発信 12件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	『東京文化財研究所年報』2022年度版	100	博物館・美術館・大学・研究機関等
2	『東京文化財研究所概要』2023年度版	2,000	博物館・美術館・大学・研究機関等
3	『東文研ニュース』80号	10,000	博物館・美術館・大学・研究機関等
5	『令和2年版　日本美術年鑑』	600	大学・研究機関、図書館等
6	『美術研究』437号	400	大学・研究機関、図書館等
7	『美術研究』438号	400	大学・研究機関、図書館等
8	『美術研究』439号	400	大学・研究機関、図書館等
9	『無形文化遺産研究報告』第18号	300	博物館・美術館・大学・研究機関等
10	『第18回無形民俗文化財研究協議会報告書』	800	博物館・美術館・大学・研究機関等
11	『保存科学』63号	600	博物館・美術館・図書館・大学・研究機関等
12	『国宝　キトラ古墳壁画　蛍光X線分析調査　データ集』	300	博物館・美術館・大学・研究機関等

【奈良文化財研究所】

○調査研究刊行物

(1) 新たな知見の開拓につながる基礎的・探求的な調査研究　　16件

・有形文化財、伝統的建造物群に関する調査研究　1件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	『吉野山舟知家資料調査報告書』	300	大学・研究機関・教育委員会・図書館等

・記念物、文化的景観、埋蔵文化財に関する調査研究　15件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	『令和４年度遺跡整備・活用研究集会報告書』	70	執筆者・掲載図版所蔵先・図書館等
2	『法華寺の庭園』（リーフレット）	100	一般来訪者
3	『興福寺：第１期境内整備事業にともなう発掘調査概報Ⅸ』	100	興福寺
4	奈良文化財研究所学報第 103 冊『平城京左京三条一坊一・二・八坪の発掘調査報告』	100	大学・研究機関・教育委員会・図書館等
5	『平城宮跡の過去・現在・未来』	―	ウェブ公開
6	『東大寺東塔の復元研究　奈良文化財研究所学報第 104 冊』（［本文編］・［図版・資料編］）	500	東大寺、大学・研究機関・教育委員会・図書館等
7	日高山瓦窯の調査　飛鳥藤原第 213 次調査　記者発表資料	20	奈良県内報道機関
8	日高山瓦窯の調査　飛鳥藤原第 213 次調査　現地見学会資料	400	現地見学会・一般参加者
9	石神遺跡の調査　飛鳥藤原第 214 次調査　記者発表資料	20	奈良県内報道機関
10	石神遺跡の調査　飛鳥藤原第 214 次調査　現地見学会資料	850	現地見学会・一般参加者
11	『スギ林業地域の文化的景観』	300	大学・研究機関・教育委員会・図書館等
12	『第 26 回古代官衙・集落研究会報告書　古代集落の構造と変遷 3』（奈良文化財研究所研究報告第 39 冊）	300	研究会会員等
13	『第 27 回古代官衙・集落研究集会古代集落の構造と変遷４　報告資料集』	120	大学・埋文関係諸機関・研究会会員等
14	『第 23 回シンポジウム「平安時代前・中期の軒瓦」』発表要旨	120	会場参加者（オンライン参加者はデータ配布）
15	『古代瓦研究Ⅻ』	400	大学・埋文関係諸機関・研究会会員等

(2) 科学技術を応用した研究開発の進展等に向けた基盤的な研究　　1 件

・文化財の調査手法に関する研究開発の推進　1 件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	『ひかり拓本入門書』	1,200	大学・研究機関・教育委員会・図書館等、ウェブ公開

(3) 文化遺産保護に関する国際協働　　1 件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	『海外からみた日本考古学の魅力　奈良文化財研究所国際遺跡研究室リレートーク』	―	ウェブ公開

(4) 文化財に関する情報資料の収集・整備及び調査研究成果の公開・活用　　44件

・文化財情報基盤の整備・充実　33件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	奈良文化財研究所研究報告第41冊『デジタル技術による文化財情報の記録と利活用６』	―	ウェブ公開
2	奈良文化財研究所研究報告第42冊『文化財多言語化研究報告４』	―	ウェブ公開
3	『発掘調査報告書総目録』長崎県編	95	教育委員会・図書館、ウェブ公開
4	『発掘調査報告書総目録』福井県編	100	教育委員会・図書館、ウェブ公開
5	『発掘調査報告書総目録』山形県編	110	教育委員会・図書館、ウェブ公開
6	『発掘調査報告書総目録』徳島県編	100	教育委員会・図書館、ウェブ公開
7	『発掘調査報告書総目録』沖縄県編	120	教育委員会・図書館、ウェブ公開
8	『発掘調査報告書総目録』愛媛県編	94	教育委員会・図書館、ウェブ公開
9	『発掘調査報告書総目録』和歌山県編	110	教育委員会・図書館、ウェブ公開
10	『発掘調査報告書総目録』秋田県編	99	教育委員会・図書館、ウェブ公開
11	『発掘調査報告書総目録』宮崎県編	100	教育委員会・図書館、ウェブ公開
12	『発掘調査報告書総目録』岐阜県編	120	教育委員会・図書館、ウェブ公開

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
13	『発掘調査報告書総目録』熊本県編	120	教育委員会・図書館、ウェブ公開
14	『発掘調査報告書総目録』岡山県編	110	教育委員会・図書館、ウェブ公開
15	『発掘調査報告書総目録』佐賀県編	94	教育委員会・図書館、ウェブ公開
16	『発掘調査報告書総目録』香川県編	91	教育委員会・図書館、ウェブ公開
17	『発掘調査報告書総目録』山梨県編	110	教育委員会・図書館、ウェブ公開
18	『発掘調査報告書総目録』栃木県編	99	教育委員会・図書館、ウェブ公開
19	『発掘調査報告書総目録』広島県編	97	教育委員会・図書館、ウェブ公開
20	『発掘調査報告書総目録』山口県編	93	教育委員会・図書館、ウェブ公開
21	『発掘調査報告書総目録』鹿児島県編	120	教育委員会・図書館、ウェブ公開
22	『発掘調査報告書総目録』富山県編	89	教育委員会・図書館、ウェブ公開
23	『発掘調査報告書総目録』北海道編	250	教育委員会・図書館、ウェブ公開
24	『発掘調査報告書総目録』群馬県編	110	教育委員会・図書館、ウェブ公開
25	『発掘調査報告書総目録』大分県編	92	教育委員会・図書館、ウェブ公開
26	『発掘調査報告書総目録』福岡県編	140	教育委員会・図書館、ウェブ公開
27	『発掘調査報告書総目録』青森県編	120	教育委員会・図書館、ウェブ公開
28	『発掘調査報告書総目録』岩手県編	110	教育委員会・図書館、ウェブ公開
29	『発掘調査報告書総目録』千葉県編	130	教育委員会・図書館、ウェブ公開
30	『発掘調査報告書総目録』石川県編	93	教育委員会・図書館、ウェブ公開
31	『発掘調査報告書総目録』鳥取県編	93	教育委員会・図書館、ウェブ公開
32	『建造物調査報告書総目』	30	教育委員会・図書館、ウェブ公開
33	奈良文化財研究所研究報告第40冊『遺跡踏査とデジタル技術−遺跡地図・航空レーザー測量・3次元点群データ・機械学習・GIS・LiDAR−』	40	教育委員会・図書館、ウェブ公開

・調査研究成果の発信　8件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	奈良文化財研究所紀要2023	2,300	大学・研究機関・教育委員会・図書館等
2	奈良文化財研究所概要2023	100	関係者、ウェブ公開
3	『奈文研ニュース』No.89～No.92	各2,200	大学・研究機関等、ウェブ公開
4	奈文研論叢第4号	300	大学・研究機関・教育委員会・図書館等
5	奈良文化財研究所発掘調査報告2023	300	県立図書館及び埋蔵文化財センター等、ウェブ公開

・展示公開施設の充実　3件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	平城宮跡資料館夏期企画展図録『イカロスの翼』	1,500	一般頒布のほか大学・研究機関・教育委員会・図書館等
2	平城宮跡資料館秋期特別展図録『女帝のいのり−発掘された西大寺と西隆寺−』	1,500	一般頒布のほか大学・研究機関・教育委員会・図書館等
3	飛鳥資料館図録第76冊『川原寺と祈りのかけら』	2,300	一般頒布のほか大学・研究機関・教育委員会・図書館等

(5) 地方公共団体等を対象とする文化財に関する研修及び協力等　　0件

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】

○調査研究刊行物　　4件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	『IRCI概要2023(日本語版)』	600 データ版でも公開	ユネスコ関係、研究協力依頼機関等
2	『IRCI概要2023(英語版)』	600 データ版でも公開	ユネスコ関係、研究協力依頼機関等
3	ICH Resilience amid COVID-19 Pandemic	1,100 データ版でも公開	ユネスコ関係、研究協力依頼機関等
4	Natural Hazards and the Safeguarding of Intangible Cultural Heritage: Experiences from the Asia-Pacific Region	データ版で公開	ユネスコ関係、研究協力依頼機関等

c-⑦ 科学研究費助成事業による調査研究

令和6年3月31日現在

件数	国立文化財機構計	博物館					文化財研究所			アジア太平洋無形文化遺産研究センター
		計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	計	東京文化財研究所	奈良文化財研究所	
合計	181	69	45	10	4	10	111	38	73	1
科学研究費補助金のみ	51	22	12	5	2	3	29	12	17	0
学術研究助成基金助成金のみ	130	47	33	5	2	7	82	26	56	1
科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※各施設に所属する研究員が研究代表者として交付された研究課題のみ記載している。（日本学術振興会特別研究員を除く）
※科学研究費助成事業の研究分担者等として参画しているものについてはc①2）他機関の共同研究への参画実績参照
※科学研究費の交付決定額には間接経費を含む。

【東京国立博物館】

1）科学研究費補助金のみ　12件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	交付決定額（千円）
1	日本染織文化資源の再発見とその活用に資する基盤研究	小山　弓弦葉	学芸研究部調査研究課長	基盤研究(A)	11,440
2	文化遺産アセットの効率的利活用を目指したミュージアムDX技術の開発	和田　浩	学芸研究部保存修復課長	基盤研究(A)	14,560
3	能狂言面の制作年代および作者に関する総合的研究	浅見　龍介	副館長	基盤研究(B) 【令和4年度繰越】	1,200
4	能狂言面の制作年代および作者に関する総合的研究	浅見　龍介	副館長	基盤研究(B)	2,730
5	失われた古代・中世絵巻の復原的研究―作品伝来情報の検討から―	土屋　貴裕	学芸研究部調査研究課 絵画・彫刻室長	基盤研究(B)	3,120
6	ユーラシア草原地帯と東アジアの青銅器鋳造技術の比較研究	高浜　秀	客員研究員	基盤研究(B) 【令和4年度繰越】	2,517
7	ユーラシア草原地帯と東アジアの青銅器鋳造技術の比較研究	高浜　秀	客員研究員	基盤研究(B)	3,900
8	学校教育とデジタル・アーカイブを結ぶ学習内容情報LODを用いた架橋モデルの設計	阿児　雄之	学芸企画部博物館情報課 情報管理室長	基盤研究(B)	2,770
9	統計的画像処理と機械学習を併用した文化財のデジタル復元技術の基盤創出	河野　一隆	学芸研究部長	基盤研究（B)	2,470
10	在外日本美術の保存修復技法の比較調査と国際的な保存活用に向けて	島谷　弘幸	皇居三の丸尚蔵館長	基盤研究(B) 【令和4年度繰越】	1,450
11	在外日本美術の保存修復技法の比較調査と国際的な保存活用に向けて	島谷　弘幸	皇居三の丸尚蔵館長	基盤研究(B)	4,550
12	3Dマルチ入力・マルチ出力土器分類ＤＬモデルの開発研究	山本　亮	学芸研究部調査研究課 考古室研究員	学術変革領域研究（A） 【令和4年度繰越】	500

2）学術研究助成基金助成金のみ　33件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	当年度の交付決定額（採択時）（千円）	全研究期間での交付決定額（千円）〈研究期間〉
1	中世律宗絵画に関する基礎的研究	瀬谷　愛	学芸研究部列品管理課 登録室長	基盤研究(C)	0	4,420 〈平成30～5年度〉
2	礼拝像・祭具制作における素材選択の心性史：材質とその聖性の喧伝に関する調査・研究	児島大輔	学芸研究部調査研究課 東洋室主任研究員	基盤研究(C)	0	4,420 〈平成30～5年度〉
3	文書・典籍料紙における繊維の再利用に関する基礎的研究	高橋 裕次	客員研究員	基盤研究(C)	0	2,210 〈元～5年度〉
4	縄文時代の地域間交流の研究－CADを用いた土器容量の比較―	井出 浩正	学芸研究部調査研究課 考古室長	基盤研究(C)	0	4,160 〈元～5年度〉
5	藤原定家の和歌に基づく「定家詠十二ヶ月和歌花鳥図」の歴史的展開の解明	遠藤　楽子	学芸企画部企画課 出版企画室主任研究員	基盤研究(C)	650	4,420 〈2～6年度〉
6	仏教儀礼的観点に基づく明兆作品の総合的研究	高橋　真作	学芸企画部企画課 特別展室研究員	基盤研究(C)	1,040	4,420 〈2～6年度〉
7	高精細複製絵画による屏風絵を中心とする実験的展示照明による基盤的理論の構築	松嶋　雅人	学芸企画部長	基盤研究(C)	260	4,160 〈2～5年度〉

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	当年度の交付決定額（採択時）（千円）	全研究期間での交付決定額（千円）〈研究期間〉
8	海外博物館の日本美術展示にみる現代「日本」観の研究	鬼頭　智美	学芸企画部上席研究員	基盤研究(C)	0	4,290 〈2～5年度〉
9	中国と日本の書画における表装文化の総合的研究	鍋島　稲子	客員研究員	基盤研究(C)	1,430	4,160 〈3～5年度〉
10	明治初期宝物調査資料の収集整理による書の鑑賞・受容の歴史に関する研究	恵美　千鶴子	客員研究員	基盤研究(C)	1,300	3,900 〈3～5年度〉
11	高精細スキャナー画像を活用した日本刀の研究	佐藤　寛介	学芸企画部企画課 特別展室長	基盤研究(C)	260	2,600 〈3～7年度〉
12	X線断層写真(CT)を用いた乾漆技法の研究	丸山　士郎	学芸研究部調査研究課 絵画・彫刻室研究員	基盤研究(C)	520	4,160 〈3～7年度〉
13	大谷探検隊将来品を中心とした西域美術の再評価に関する研究	勝木　言一郎	学芸研究部上席研究員	基盤研究(C)	1,300	4,160 〈3～5年度〉
14	高精細X線CTスキャナ活用を中心とする古代中国の封泥の作成方法に関する総合的研究	谷　豊信	客員研究員	基盤研究(C)	1,820	4,160 〈3～5年度〉
15	パレスチナ沿岸地域に展開した古代の覇権主義勢力と在地社会に関する考古学的研究	小野塚　拓造	学芸企画部博物館教育課 ボランティア室主任研究員	基盤研究(C)	1,300	4,030 〈3～5年度〉
16	中世の神仏習合における仏教彫刻に関する研究	増田　政史	学芸研究部調査研究課 絵画・彫刻室研究員	基盤研究(C)	650	2,470 〈4～6年度〉
17	保存環境と鑑賞環境が調和した次世代型の展示照明の構築に向けた基礎的研究	黄川田　翔	学芸研究部保存修復課 環境保存室研究員	基盤研究(C)	1,430	3,770 〈4～6年度〉
18	東アジア宮廷空間を形成する工芸に関する物質文化研究―文化相対主義的歴史観による―	猪熊　兼樹	学芸研究部保存修復課 保存修復室長	基盤研究(C)	1,950	4,680 〈5～7年度〉
19	造形化された聖性：仏像・青銅器等の礼拝像・祭具制作における心性に関する調査・研究	児島　大輔	学芸研究部調査研究課 東洋室主任研究員	基盤研究(C)	1,950	4,680 〈5～8年度〉
20	近世前期における刀剣目利書（鑑定書）のテキスト分析と文化史上の位置づけ	酒井　元樹	学芸研究部調査研究課 工芸室主任研究員	基盤研究(C)	2,340	3,900 〈5～9年度〉
21	大谷探検隊将来染織資料の基礎研究：6～10世紀オアシス都市における染織品の諸相	廣谷　妃夏	学芸研究部列品管理課 アソシエイトフェロー	基盤研究(C)	1,300	4,680 〈5～7年度〉
22	16・17世紀中国江南地域における旅行と絵画の関係についての事例研究	植松　瑞希	学芸研究部調査研究課絵画・彫刻室主任研究員	若手研究(B)	0	3,250 〈平成29～5年度〉
23	江戸時代後期における風景表現に関する研究	大橋　美織	学芸研究部保存修復課保存修復室主任研究員	若手研究	0	4,030 〈平成30～5年度〉
24	農工具からみた古代東アジアにおける技術交流の研究	河野　正訓	学芸企画部企画課特別展室主任研究員	若手研究	0	2,080 〈平成30～5年度〉
25	黒染め染織文化財に対する脱酸化・抗酸化・強化処置法の開発	佐藤 萌	学芸研究部保存修復課保存修復室研究員	若手研究	1,430	3,900 〈平成30～7年度〉
26	ICT技術を用いた個人的コンテキストに応じた展示解説の研究	中村 麻友美	学芸企画部博物館教育課 教育普及室研究員	若手研究	0	3,900 〈元～5年度〉
27	天台宗における仏像の模刻と信仰上の意義	西木　政統	学芸研究部列品管理課登録室主任研究員	若手研究	520	4,290 〈2～5年度〉
28	瀟湘八景の受容研究　絵画・建築・庭園	武　瀟瀟	学芸企画部企画課 アソシエイトフェロー	若手研究	650	3,250 〈3～6年度〉
29	フィンランドを事例とした多文化共生のためのミュージアムの教育機能	山本　桃子	学芸企画部博物館教育課 アソシエイトフェロー	若手研究	0	4,290 〈元～5年度〉
30	地中海世界の大転換期（前12世紀～前10世紀）と「フェニキア人」の出現	小野塚　拓造	学芸企画部博物館教育課 ボランティア室主任研究員	国際共同研究強化(A)	0	15,210 〈2～5年度〉
31	人類遺産としての先史壁画の保存と公開活用にむけた研究基盤の確立	河野　一隆	学芸研究部長	国際共同研究強化(B)	1,495	18,330 〈元～5年度〉
32	文化財デジタル復元のための統計的画像処理および機械学習技術の創出	河野　一隆	学芸研究部長	挑戦的研究（萌芽）	2,210	6,240 〈4～6年度〉
33	古代壁画物理モデル構築に向けての探索的研究	和田　浩	学芸研究部保存修復課長	挑戦的研究（萌芽）	3,510	6,240 〈4～6年度〉

3）科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究　0件

【京都国立博物館】

1）科学研究費補助金のみ　5件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	交付決定額(千円)
1	備前児島の野﨑家に伝わる文化財の総合調査：塩田王の美術コレクション	永島　明子	学芸部教育室　室長	基盤研究（A）	5,330
2	高雄曼荼羅の復元と空海の造形観の研究	松本　伸之	京都国立博物館長	基盤研究（A） 【令和4年度繰越】	0

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	交付決定額(千円)
3	博物館史資料アーカイブズを活用したメタ文化財情報構築の検討	羽田　聡	学芸部美術室　室長	基盤研究（B）	5,460
4	埴輪生産組織の構造分析と古代手工業論による古墳時代日韓交渉史再構築の基礎的研究	古谷　毅	研究員	基盤研究（B） 【令和4年度繰越】	0
5	抒情のアイデンティティ：金素雲『朝鮮詩集』と金時鐘『再訳朝鮮詩集』	権　保慶	学芸部企画室　アソシエイトフェロー	研究成果公開促進費（学術図書）	1,500

2）学術研究助成基金助成金のみ　5件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	当年度の交付決定額（採択時）（千円）	全研究期間での交付決定額（千円）〈研究期間〉
1	藤原宮造営に伴う造瓦の新技術とその導入経路に関する総合的研究	石田　由紀子	学芸部考古室　室長	基盤研究（C）	0	9,100 〈平成30～5年度 （補助事業期間延長）
2	御室仁清窯跡出土陶片の科学的特徴―野々村仁清が受容した生産技術と陶工必用―	降幡　順子	学芸部保存科学室 室長	基盤研究（C）	1,300	4,290 （2～5年度）
3	仏教における伝法衣―染織史および心性史の視座からの考察―	山川　暁	学芸部工芸室　室長	基盤研究（C）	390	1,560 （4～6年度）
4	中国の王朝交替期における絵画動向をめぐって―宋代以後の遺民画家の作例を中心に	森橋　なつみ	学芸部調査　国際連携室・研究員	若手研究（B）	0	4,030 （平成28～5年度） （補助事業期間延長）
5	博物館の多言語翻訳への翻訳論的アプローチ	権　保慶	学芸部企画室　アソシエイトフェロー	若手研究	520	2,470 （5～9年度）

3）科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究　0件

【奈良国立博物館】

1）科学研究費補助金のみ　2件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	交付決定額(千円)
1	明治時代の文化財保護法制と帝国博物館の成立に関する総合的研究	宮崎　幹子	学芸部情報サービス室長	基盤研究（B）	3,120
2	古写真・絵はがき・売立目録をもちいた仏像彫刻の研究―奈良地方の作品を中心に―	山口　隆介	学芸部企画室主任研究員	若手研究	3,400

2）学術研究助成基金助成金のみ　2件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	当年度の交付決定額（採択時）（千円）	全研究期間での交付決定額（千円）〈研究期間〉
1	密教聖教に基づく護国修法の基礎的研究	斎木　涼子	学芸部列品室長	若手研究（B）	0	1,560 〈平成29～5年度〉 （補助事業期間延長）
2	博物館が所蔵する古丁銀類の科学分析を通じた石州銀の解明	鳥越　俊行	学芸部保存修理指導室長	基盤研究（C）	1,950	4,856 〈5年度～7年度〉

3）科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究　0件

【九州国立博物館】

1）科学研究費補助金のみ　3件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	交付決定額(千円)
1	中国書画における題跋等の付属資料に関する総合的研究	富田　淳	館長	基盤研究（B）	3,250
2	東南アジアにおける聖地誕生の諸相：古代から近世にいたる仏教文化交流網の研究	小泉　惠英	副館長	基盤研究（B） 【令和4年度繰越】	0
3	博物館等の展示収蔵環境の有機酸等VOCs低減に向けた現場システムの構築	木川　りか	学芸部博物館科学課長	基盤研究（B）	4,030

2）学術研究助成基金助成金のみ　7件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	当年度の交付決定額（採択時）（千円）	全研究期間での交付決定額（千円）〈研究期間〉
1	金属製幡の基礎的研究ー特に密教における灌頂道具としての用途と機能	伊藤　信二	学芸部企画課長	基盤研究（C）	0	2,860 （元～5年度） （補助事業期間延長）
2	中国製鎗金器の基盤的研究-東アジアにおける漆器の相互的影響-	川畑　憲子	学芸部企画課特別展室長	基盤研究（C）	780	4,030 〈3～7年度〉

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	当年度の交付決定額（採択時）（千円）	全研究期間での交付決定額（千円）〈研究期間〉
3	近世大名家伝来コレクションの基礎的研究-松浦家コレクションの分析を通じて-	松浦　晃佑	学芸部文化財課資料登録室研究員	基盤研究（C）	520	2,860〈3～7年度〉
4	九州の古墳出土ベンガラの流通に関する実証的研究	志賀　智史	学芸部博物館課保存修復室長	基盤研究（C）	910	2,860〈3～5年度〉
5	名物裂を中心とした日本伝世古渡裂の歴史的・技法的成立過程を探る研究	桑原　有寿子	学芸部企画課・研究員	若手研究	1,040	4,160〈2～5年度〉
6	数理モデルと非破壊評価法に基づく文化財害虫の検出精度の向上	渡辺　祐基	学芸部博物館科学課・研究員	若手研究	1,820	4,550〈4～6年度〉
7	日本絵画に用いられる色材の光褪色挙動の詳細分析と褪色計算オンラインソフトでの利用	木川　りか	学芸部博物館科学課・課長	海外連携研究	4,160	20,930〈5～8年度〉

3）科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究　0件

【東京文化財研究所】

1）科学研究費補助金のみ　12件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	交付決定額(千円)
1	アジア螺鈿文化交流史の構築―物質文化史の視点から	小林　公治	特任研究員	基盤研究(A)	6,200
2	酒呑童子絵巻の研究	江村　知子	部長	基盤研究(B)	3,500
3	絵画に使用された絹・自然布の非破壊分析方法の開発と製法・修復に関する総合的調査	早川　典子	室長	基盤研究(B)	900
4	ポンペイ遺跡壁画における無機物を主体とした保存修復材料による補強技法の確立	前川　佳文	主任研究員	基盤研究(B)	2,700
5	白鳳時代の壁画の構造と材料に関する研究	犬塚　将英	副センター長	基盤研究(B)【令和4年度繰越】	0
6	紙文化財補修用材料としての高機能化楮繊維の開発	稲葉　政満	客員研究員	基盤研究(B)	2,300
7	江戸時代の和歌山の画家における彩色材料と絵画表現に関する研究	安永 拓世	室長	基盤研究(B)	2,200
8	能管の「製作技術」と「原材料の安定的な確保」に関する研究	前原 恵美	室長	基盤研究(B)	4,100
9	ブータンにおける伝統的石造民家の建築的特徴の解明と文化遺産保護手法への応用	友田 正彦	副所長	基盤研究(B)	4,500
10	近世日本における彩色文化史の解明を目的とした多色摺木版画の色材研究	大和 あすか	アソシエイトフェロー	基盤研究(B)	8,000
11	イラン東部へのウルク文化の拡大に関する考古学的研究	安倍　雅史	主任研究員	新学術領域研究(研究領域提案型)【令和4年度繰越】	0
12	沖縄久高島イザイホー映像記録データベース	石村　智	部長	研究成果公開促進費（データベース）	1,600

2）学術研究助成基金助成金のみ　26件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	当年度の交付決定額（採択時）（千円）	全研究期間での交付決定額（千円）〈研究期間〉
1	ポストコンフリクト国における文化多様性と平和構築実現のための文化遺産研究	石村　智	部長	挑戦的研究（萌芽）	2,200	6,370（令和4～令和6）
2	様々な文化財に使用された彩色材料への赤外線画像による画的調査の検討	秋山　純子	室長	基盤研究(C)	600	4,290（令和元～令和5）
3	地域文化の表象としての「箕」の形態に関する学際的研究	今石　みぎわ	主任研究員	基盤研究(C)	400	4,290（令和2～令和5）
4	イランの乾燥地帯における農業施設の建築構法および建築技術者の存在形態に関する研究	淺田　なつみ	研究員	基盤研究(C)	600	1,950（令和3～令和5）
5	近現代建造物の価値評価における同時代性に着目した文化財の現状変更概念の再考	金井　健	室長	基盤研究(C)	500	3,510（令和3～令和6）
6	ブータンにおける祭礼芸能の変容実態とその保護に関する研究	久保田　裕道	室長	基盤研究(C)	800	3,770（令和4～令和6）
7	博物館で用いるためのサンプリングバッグによる放散試験方法の開発	古田嶋　智子	客員研究員	基盤研究(C)	1,100	4,160（令和4～令和6）
8	占領期の文化財保護に関する研究ーGHQの博物館概念と博物施策の展開ー	境野 飛鳥	客員研究員	基盤研究(C)	700	3,510（令和4～令和7）

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	当年度の交付決定額（採択時）（千円）	全研究期間での交付決定額（千円）〈研究期間〉
9	シミ科未記載種の国内分布の実態調査と生態学的特徴に基づく防除方法の検討	島田　潤	アソシエイトフェロー	基盤研究(C)	1,000	4,160（令和4～令和6）
10	縄文土器の微視的観察から縄文時代における集団の移動・交流を探る	千葉　毅	研究員	基盤研究(C)	800	2,730（令和3～令和5）
11	染織技術史に関する研究ー原材料の国産化に焦点をあててー	菊池 理予	主任研究員	基盤研究(C)	1,700	4,810（令和5～令和9）
12	古典的膠及び墨に関する文化財修復材料及び書画制作材料としての材料学的体系化	宇髙　健太郎	客員研究員	基盤研究(C)	1,600	4,680（令和5～令和7）
13	磨崖仏で過去に行われた保存対策の効果に関する定量的研究	朽津　信明	室長	基盤研究(C)	1,600	4,550（令和5～令和8）
14	一般室を使用した文化財収蔵施設運用法に関する研究	芳賀　文絵	研究員	基盤研究(C)	1,600	4,550（令和5～令和7）
15	木材からの化学物質放散挙動の解明と博物館における選定指標の提案	古田嶋　智子	客員研究員	若手研究	0	4,160（令和元～令和5）
16	古典的膠の製造方法と各用途適性の体系化	宇髙　健太郎	客員研究員	若手研究	0	4,160（令和元～令和5）
17	南西諸島における風葬の定着過程に関する研究	牛窪　彩絢	アソシエイトフェロー	若手研究	0	3,770（令和2～令和5）
18	組積造建造物の通電による脱塩の適応可能性に関する検討	水谷　悦子	研究員	若手研究	0	4,160（令和2～令和5）
19	初期合成染料の染色堅牢性評価と変退色挙動の検討	片渕　奈美香	アソシエイトフェロー	若手研究	400	3,380（令和3～令和5）
20	日本音楽合奏における「間」：多様な拍の伸縮をめぐって	鎌田　紗弓	研究員	若手研究	1,300	4,550（令和4～令和6）
21	洪水常襲地における水害経験の地域史と災害文化形成プロセスの解明	後藤　知美	研究員	若手研究	800	4,680（令和4～令和7）
22	協働的な博物館活動に関する研究ーオランダ「共有の文化遺産」概念の検証	邱 君妮	アソシエイトフェロー	若手研究	1,400	4,160（令和5～令和7）
23	日本における土地利用計画に準拠した史跡環境の評価および保護に向けた研究	松浦 一之介	アソシエイトフェロー	若手研究	600	4,550（令和5～令和8）
24	近代の河川工事絵馬にみる河川管理のあり方と地域社会の接点：利根川中流域を中心に	後藤　知美	研究員	研究活動スタート支援	0	3,120（令和3～令和5）
25	言説分析を用いた保存修復家の職業像の研究：修復と医療の比喩をてがかりに	大川　柚佳	アソシエイトフェロー	研究活動スタート支援	500	1,430（令和4～令和5）
26	コンピュータを援用した中国出土資料の用字避複研究	片倉　峻平	元アソシエイトフェロー	研究活動スタート支援	1,100	2,860（令和5～令和6）

3）科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究　0件

【奈良文化財研究所】

1）科学研究費補助金のみ　17件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	交付決定額(千円)
1	植物考古学から探るイネ、雑穀、ムギ食文化の交流と変容	庄田　慎矢	企画調整部　国際遺跡研究室長	学術変革領域研究（A)計画研究	18,460
2	災害で埋没した建物による民家建築史の研究	箱崎　和久	都城発掘調査部長	基盤研究（A）	6,370
3	東北アジアの農耕化過程における食と調理の変化への考古生化学的アプローチ	庄田　慎矢	企画調整部　国際遺跡研究室長	基盤研究（A）	8,190
4	中央アジア 天山ーパミール地域における後期旧石器文化成立過程の研究	国武　貞克	主任研究員	基盤研究（B）	4,550
5	ユーラシア東部における細石刃石器群の出現と拡散：中国北部クロスロード仮説の検証	加藤　真二	副所長	基盤研究（B）	3,380
6	蛍光Ｘ線分析と鉱物組成分析による大和の古代寺院・宮都出土瓦の生産・供給体制の研究	清野　孝之	企画調整部長	基盤研究（B）	1,300
7	埴輪の生産・流通体制の総合的検証にもとづく王権中枢部巨大古墳群造営過程の解明	廣瀬　覚	都城発掘調査部　飛鳥・藤原地区考古第一研究室長	基盤研究（B）	5,070
8	古代都城から出土する製塩土器の生産地推定	神野　恵	都城発掘調査部　平城地区考古第二研究室長	基盤研究（B）	3,250
9	土製鋳型を中心とした冶金関連資料による東アジア冶金史学の構築	丹羽　崇史	都城発掘調査部　主任研究員	基盤研究（B）	3,640
10	古建築用語の相互訳及び英訳を通した系統的把握による東アジア木造建築史の基盤構築	鈴木　智大	都城発掘調査部　飛鳥・藤原地区遺構研究室長	基盤研究（B）	2,990
11	古代官衙における空間構造の変遷と展開に関する実証的研究	小田　裕樹	都城発掘調査部　主任研究員	基盤研究（B）	1,040

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	交付決定額(千円)
12	古代における年輪年代学的木材産地推定を可能にする標準年輪曲線ネットワークの整備	星野　安治	埋蔵文化財センター　年代学研究室長	基盤研究（B）	3,510
13	平城宮跡・藤原宮跡・飛鳥宮跡における風景の再現・創造・継承に関する計画論的研究	本中　眞	所長	基盤研究（B）	2,730
14	石造物による被災履歴学習を通した持続可能な社会のための地域総合学習プログラム開発	上椙　英之	埋蔵文化財センター　遺跡・調査技術研究室　研究員	基盤研究（B）	2,990
15	全国遺跡報告総覧	高田　祐一	企画調整部　主任研究員	研究成果公開促進費（データベース）	1,800
16	歴史災害痕跡データベース	村田　泰輔	埋蔵文化財センター　主任研究員	研究成果公開促進費（データベース）	5,400
17	奈良の都の木簡に会いに行こう！２０２３	馬場　基	都城発掘調査部　平城地区史料研究室長	ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI	500

2）学術研究助成基金助成金のみ　56 件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	当年度の交付決定額（採択時）（千円）	全研究期間での交付決定額（千円）〈研究期間〉
1	カザフスタンにおける現生人類北回り拡散ルートの解明に関する国際共同研究の基盤強化	国武　貞克	主任研究員	国際共同研究強化（B）	-	18,200 〈平成30～5年度〉
2	東アジア窯業考古学の開拓：奈良三彩成立過程解明を目的として	丹羽　崇史	都城発掘調査部　主任研究員	海外連携研究	2,470	21,190 〈令和5～10年度〉
3	展示施設を拠点とする地域住民参加型の歴史的建造物の調査	西田　紀子	都城発掘調査部　平城地区遺構研究室長	基盤研究（C）	-	4,550 〈平成29～5年度〉
4	近世における北前船と東北産木材の流通に関する年輪年代学的研究	光谷　拓実	埋蔵文化財センター　年代学研究室　客員研究員	基盤研究（C）	-	4,420 〈平成30～5年度〉
5	近世末期から近代に生じた日本庭園の意匠の地域性と現代への継承―出雲地方を中心に	中島　義晴	文化遺産部　景観研究室長	基盤研究（C）	-	3,250 〈平成30～5年度〉
6	塩類風化が進行する遺跡構成材料からの効果的な脱塩方法の開発	脇谷　草一郎	埋蔵文化財センター　保存修復科学研究室長	基盤研究（C）	-	3,250 〈元～5年度〉
7	ポスト・バイヨン期のクメール建築の建築的特徴に関する研究	大林　潤	文化遺産部　建造物研究室長	基盤研究（C）	-	3,510 〈元～5年度〉
8	絵画表現の多様性を生みだす彩色材料のナノ構造	杉岡　奈穂子	埋蔵文化財センター　保存修復科学研究室　客員研究員	基盤研究（C）	-	4,420 〈2～5年度〉
9	東アジア出土の植物灰ガラスは西アジア産か？ーガラス交易路解明に向けての基礎研究ー	田村　朋美	都城発掘調査部　主任研究員	基盤研究（C）	-	4,290 〈2～5年度〉
10	古墳に埋葬された鉄製文化財の腐食は予測可能か？ー数値解析による現地保存評価の確立	柳田　明進	埋蔵文化財センター　主任研究員	基盤研究（C）	910	4,030 〈3～5年度〉
11	古代における食文化の実態解明に関する環境考古学的研究	山崎　健	埋蔵文化財センター　環境考古学研究室長	基盤研究（C）	910	4,160 〈3～7年度〉
12	三次元データで拓く木簡研究の新地平	山本　祥隆	都城発掘調査部　主任研究員	基盤研究（C）	1,300	4,160 （4～7年度）
13	３次元デジタル技術を活用した古代瓦葺技術の系譜と展開に関する考古学的検討	岩戸　晶子	企画調整部　展示企画室長	基盤研究（C）	650	4,160 （4～8年度）
14	出土漆塗膜の模擬試料作成の試み―より安定的な保存処理法の開発のために	楊　曼寧	埋蔵文化財センター　保存修復科学研究室　アソシエイトフェロー	基盤研究（C）	1,690	4,160 （4～6年度）
15	大嘗宮にみる宮中祭祀施設の配置・造営計画に関する研究	福嶋　啓人	都城発掘調査部　主任研究員	基盤研究（C）	650	3,900 （4～8年度
16	近代庭園における遺跡由来石造物の取り扱いとインタープリテーションに関する研究	内田　和伸	文化遺産部長	基盤研究（C）	1,300	4,030 （4～6年度）
17	飛鳥地域を中心とした古代彩色の絵画技法および素材の研究	濱村　美緒	飛鳥資料館　学芸室　アソシエイトフェロー	基盤研究（C）	1,560	3,640 （5～7年度）
18	丹波丹後地域出土文字資料の悉皆再釈読による古代山陰道の歴史的地域的特質の解明	山本　崇	都城発掘調査部　飛鳥・藤原地区史料研究室長	基盤研究（C）	1,170	4,680 （5～8年度）
19	前４千年紀末南西カナン出土土器群の悉皆分析によるエジプト系拠点の考古学的検証	山藤　正敏	都城発掘調査部　主任研究員	基盤研究（C）	1,430	4,680 （5～7年度）
20	令制施行時の土器・陶器調納制と都城・宮都出土土器の基礎的研究	森川　実	都城発掘調査部　飛鳥・藤原地区考古第二研究室長	基盤研究（C）	1,300	3,770 （5～7年度）

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	当年度の交付決定額（採択時）（千円）	全研究期間での交付決定額（千円）〈研究期間〉
21	生産技術伝承の高精度検証と社会構造復元に基づく埴輪生産体制の維持管理モデルの構築	和田　一之輔	都城発掘調査部　平城地区考古第一研究室長	基盤研究（C）	1,820	4,680 （5～8年度）
22	地域における古墳と寺院の関係とその社会的背景	林　正憲	都城発掘調査部　飛鳥・藤原地区考古第三研究室長	基盤研究（C）	780	2,470 （5～7年度）
23	水浸出土木製遺物の保存処理の飛躍的効率化を実現する非水溶性薬剤含浸法の開発	松田　和貴	埋蔵文化財センター　保存修復科学研究室　研究員	基盤研究（C）	2,080	4,680 （5～7年度）
24	境界領域のガラス玉ー日本ガラス史構築に向けての基礎的研究ー	田村　朋美	都城発掘調査部　主任研究員	基盤研究（C）	1,820	4,680 （5～7年度）
25	近世末期から近代の住宅庭園の地域性とその要因―地域の文化遺産の継承に向けて	中島　義晴	文化遺産部　景観研究室長	基盤研究（C）	1,300	3,250 （5～8年度）
26	歴史災害の実像解明への考古・歴史・地質学的複合解析による災害履歴検索地図の開発	村田　泰輔	埋蔵文化財センター　主任研究員	挑戦的研究（開拓）	4,030	22,880 〈平成30～5年度〉
27	XR技術を活用した発掘・被災文化財保護現場のデジタルトランスフォーメーション	金田　明大	埋蔵文化財センター長	挑戦的研究（開拓）	6,240	24,700 （4～8年度）
28	埴輪ハケメの年輪年代学：年輪年代学的同一材推定を応用した埴輪同工品の認定	星野　安治	埋蔵文化財センター　年代学研究室長	挑戦的研究（萌芽）	2,210	6,370 〈3～5年度〉
29	後期旧石器時代開始期の日本列島における新人到来研究の革新	国武　貞克	主任研究員	挑戦的研究（萌芽）	1,040	6,500 〈3～5年度〉
30	出土カンボジア漆分析に関する学際的研究	佐藤　由似	企画調整部　国際遺跡研究室　主任専門職	挑戦的研究（萌芽）	1,781	6,240 （4～6年度）
31	X線CTを用いた非破壊観察による固着資料の文字復元	上椙　英之	埋蔵文化財センター　遺跡・調査技術研究室　研究員	挑戦的研究（萌芽）	1,300	6,500 （4～6年度）
32	シルクロード天山北路の形成過程に関する考古学的研究	山藤　正敏	都城発掘調査部　主任研究員	若手研究	－	4,160 〈平成30～5年度〉
33	墨書木製品の分類を手がかりとした日本における木簡利用全史の解明	藤間　温子	都城発掘調査部　飛鳥・藤原地区史料研究室　客員研究員	若手研究	－	2,860 〈元～5年度〉
34	古代壁画の制作技法の伝習に関する研究-シルクロード近隣地域と日本の壁画を中心に	中田　愛乃	埋蔵文化財センター　保存修復科学研究室　客員研究員	若手研究	－	2,600 〈元～5年度〉
35	文化的景観における棚田集落の相対的価値の解明にむけた比較研究	恵谷　浩子	文化遺産部　主任研究員	若手研究	－	3,900 〈元～5年度〉
36	石造物からみるブリテン島における古代と初期中世の境界	岩永　玲	都城発掘調査部　飛鳥・藤原地区考古第三研究室研究員	若手研究	－	1,560 〈2～5年度〉
37	玉類の流通からみた弥生・古墳時代併行期の日韓交渉	谷澤　亜里	都城発掘調査部　飛鳥・藤原地区考古第一研究室研究員	若手研究	－	4,290 〈2～5年度〉
38	西日本集落遺跡の分析に基づく古代地域社会の実証的研究	道上　祥武	都城発掘調査部　飛鳥・藤原地区考古第三研究室研究員	若手研究	650	4,290 〈2～5年度〉
39	飲食物表現からみた古代東アジアにおける古墳葬送儀礼の考古学的研究	松永　悦枝	都城発掘調査部　主任研究員	若手研究	520	2,210 〈2～5年度〉 R5.6.30廃止
40	文化財修理に用いられる和紙の膨潤収縮挙動	金　旻貞	埋蔵文化財センター　保存修復科学研究室　客員研究員	若手研究	－	3,900 〈2～5年度〉
41	考古系展示施設における観覧行動分析とそれに基づく多様な「学び」の構築と実践	廣瀬　智子	企画調整部　展示企画室客員研究員	若手研究	－	4,030 〈2～5年度〉
42	越後大工・小黒杢右衛門一族の作風―近世在方大工の作家論的研究	目黒　新悟	都城発掘調査部　平城地区遺構研究室　研究員	若手研究	520	4,160 〈2～5年度〉
43	『築山庭造伝』前編・後編にみる作庭技術とその流布に関する基礎的研究	高橋　知奈津	文化遺産部　主任研究員	若手研究	520	2,340 〈2～5年度〉
44	大破した寺院聖教の保存・活用にむけた調査方法に関する研究	橘　悠太	文化遺産部　歴史研究室アソシエイトフェロー	若手研究	1,300	3,250 〈3～5年度〉
45	3Dデジタル技術等の多角的応用による土器製作者の動的身体技法復元のための基礎研究	平川　ひろみ	埋蔵文化財センター　遺跡・調査技術研究室　客員研究員	若手研究	1,300	4,680 〈3～5年度〉
46	残材と周辺植生に基づく古墳時代集落における木材調達とその利用に関する研究	浦　蓉子	都城発掘調査部　平城地区考古第一研究室　研究員	若手研究	1,170	3,900 〈3～6年度〉
47	考古生化学から探る古代日本の土器利用	村上　夏希	企画調整部　国際遺跡研究室　アソシエイトフェロー	若手研究	2,080	4,680 （4～6年度）

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	当年度の交付決定額（採択時）（千円）	全研究期間での交付決定額（千円）〈研究期間〉
48	近代における日本人産婆の越境実態の検証ー渡韓産婆の事例を通じてー	扈　素妍	企画調整部　文化財情報研究室　アソシエイトフェローー	研究活動スタート支援	-	1,820 〈3～5年度〉
49	平安京・大和国における瓦生産・流通構造―９～12世紀を中心に―	田中　龍一	都城発掘調査部　平城地区考古第三研究室　研究員	研究活動スタート支援	-	2,340 〈3～5年度〉
50	顕在化した遺跡である古墳が持つ顕著な文化財的価値とその現在的な利活用に関する研究	川畑　純	都城発掘調査部　主任研究員	研究活動スタート支援	1,430	2,860 〈4～5年度〉
51	戦後文化財修理としての桂離宮御殿整備工事の研究―合成樹脂を始めとした新技術の導入	髙野　麗	都城発掘調査部　平城地区遺構研究室　研究員	研究活動スタート支援	1,430	2,860 〈4～5年度〉
52	古墳壁画の漆喰下地がCu含有顔料に及ぼす劣化機構の解明	大迫　美月	埋蔵文化財センターー　保存修復科学研究室　アソシエイトフェローー	研究活動スタート支援	1,430	2,860 〈5～6年度〉
53	古墳測量手法の新規開発に基づく墳丘構造論の再構築	柴原　聡一郎	都城発掘調査部　藤原地区考古第一研究室　アソシエイトフェローー	研究活動スタート支援	1,300	2,600 〈5～6年度〉 R5.12.31廃止
54	博物館施設を拠点とする現代飛鳥地域の景観変化と地域特性の再構築	竹内　祥一朗	飛鳥資料館　学芸室　研究員	研究活動スタート支援	1,430	2,730 〈5～6年度〉
55	中央アジアの雑穀をめぐる料理と物質文化の考古生化学的研究	庄田　慎矢	企画調整部　国際遺跡研究室　国際遺跡研究室長	特別研究員奨励費	1,100	1,100 〈5年度〉 ４年度まで補助金
56	古代東アジアにおける彩色顔料の科学的研究	柳　成煜	都城発掘調査部　飛鳥・藤原地区考古第一研究室　アソシエイトフェローー	特別研究員奨励費	200	200 〈5年度〉

3）科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究　0件

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】

1）科学研究費補助金のみ　0件

2）学術研究助成基金助成金のみ　1件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	当年度の交付決定額（採択時）（千円）	全研究期間での交付決定額（千円）〈研究期間〉
1	無形文化遺産の継承・変容と自然災害による影響の動態的把握：バヌアツ北部事例研究	野嶋　洋子	研究担当室長	基盤研究（C）	0	4,160 〈平成30～5年度〉 （補助事業期間延長）

3）科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究　0件

c-⑧ 客員研究員一覧

令和6年3月31日現在

国立文化財機構合計	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館
151人	56 人	36人	12人	8人	0人
	文化財研究所計	東京文化財研究所		奈良文化財研究所	
	88 人	38人		50人	
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター	本部文化財防災センター			
	0 人	7 人			

【東京国立博物館】　36人

	氏 名（所 属）	研 究 課 題
1	松原　茂（公益財団法人根津美術館理事・副館長）	絵画に関する研究
2	宮永 美知代	解剖学・美術解剖学及び医学関係の館史資料に関する調査研究
3	東野　治之（公益財団法人武田科学振興財団杏雨書屋館長）	法隆寺献納宝物の資料の研究
4	田辺　龍太（一般財団法人水原フィラテリー財団主任）	切手に関する調査研究
5	金子　浩昌（日本考古学協会員）	日本考古・民族資料の骨角牙製品に関する調査研究
6	湊　信幸（元東京国立博物館副館長）	絵画に関する研究
7	鍋島　稲子（台東区立書道博物館主任研究員）	中国書跡の調査研究
8	西岡　康宏（元東京国立博物館副館長）	東洋漆工に関する研究
9	田中　淑江（共立女子大学家政学部教授）	江戸時代を中心とする小袖に関する研究
10	佐々木　利和	アイヌ・琉球民族資料に関する調査研究
11	望月　幹夫（松戸市立博物館長）	日本考古資料に関する調査研究
12	澤田　むつ代（名誉館員）	法隆寺献納宝物のうち法隆寺裂などの上代裂の保存と修理に関する調査研究
13	佐藤　サアラ（公益財団法人常盤山文庫主任学芸員）	東洋陶磁（宋・元代）に関する研究
14	高濱　秀	中央ユーラシア青銅器に関する研究
15	加藤　雅久（居住技術研究所主宰）	帝室博物館・復興本館建設における技術史的考察
16	池田　宏（元東京国立博物館上席研究員）	工芸品、歴史資料に関する調査研究
17	田中　公明（公益財団法人中村元東方研究所専任研究員）	チベット・ネパール仏教美術の調査研究
18	日高　慎(東京学芸大学教育学部文化財科学分野(考古学)教授)	埴輪 挂甲の武人 についての調査と修理における助言
19	石松 日奈子 (文化庁文化審議会専門委員(文化財分科会))	日本所在の中国彫刻に関する調査研究
20	赤沼　多佳	茶陶の調査
21	西脇　康（東京大学史料編纂所学術支援専門職員）	貨幣の鑑別・完全非破壊品位測定
22	高橋　裕次（公益財団法人大倉文化財団大倉集古館学芸部長）	東京国立博物館百五十年史に関わる研究
23	石川　岳彦（東京大学大学院人文社会系研究科研究員）	漢代土器の調査研究
24	藤田　晴啓（新潟国際情報大学経営情報学部経営学科教授）	考古資料デジタルデータの活用研究
25	村上　佳代（文化学園服飾博物館学芸員）	アジア遊牧民染織コレクションに関する調査研究
26	谷　豊信（元東京国立博物館学芸研究部長）	館蔵及び構内出土品の調査研究
27	中川原 育子（名古屋大学人文学研究科助教）	大谷探検隊収集品の価値の再評価に向けての基礎的調査研究
28	堀内　秀樹（東京大学埋蔵文化財調査室准教授）	館蔵陶片の調査研究
29	皿井　舞（学習院大学文学部哲学科教授）	新規購入の仁王像に関する調査研究・活用
30	小林　牧	複製やデジタル技術を使った新しい鑑賞コンテンツ、地域の博物館や学校と協働した文化財鑑賞プログラム
31	鄭　美娟（韓国国立中央博物館学芸研究士）	朝鮮絵画の悉皆調査（撮影、調書作成補助）
32	阿利　よし乃（沖縄国際大学総合文化学部講師）	琉球コレクションにおける民俗資料基礎調査
33	稲田　奈津子（東京大学史料編纂所准教授）	正倉院宝物の模写・模造の研究
34	豊久　宗玄（(株)キルトプランニングオフィス）	来館者行動評価に関する基礎的研究 展示環境の来館者行動に与えるファクターに関する基礎的研究
35	鎌田　由美子（慶應義塾大学経済学部准教授）	博物館に所蔵されるイスラーム美術およびインド・西アジア染織の調査研究
36	惠美　千鶴子（嚴島神社学芸員）	日本書跡の鑑賞と受容の歴史

【京都国立博物館】　12人

	氏 名（所 属）	研 究 課 題
1	宇都宮　啓吾（大阪大谷大学文学部教授）	訓点資料としての典籍に関する調査研究
2	後藤　真（国立歴史民俗博物館准教授）	文化財情報に関する調査研究
3	守屋　雅史（大阪市立東洋陶磁美術館長）	陶磁器に関する調査研究
4	赤尾　栄慶（京都国立博物館名誉館員）	古写経に関する調査研究
5	増記　隆介（東京大学大学院准教授）	仏画に関する調査研究
6	山本　英男（嵯峨美術短期大学教授）	中世絵画に関する調査研究
7	久保　智康（京都国立博物館名誉館員）	金工品に関する調査研究
8	呉　孟晋（京都大学准教授）	漆工及び染織に関する調査研究
9	池田　宏（京都国立博物館名誉館員）	中国絵画に関する調査研究
10	難波　洋三（京都国立博物館名誉館員）	甲冑に関する調査研究
11	淺湫　毅（追手門学院大学教授）	彫刻に関する調査研究
12	根立　研介（京都大学名誉教授）	彫刻に関する調査研究

【奈良国立博物館】　8人

	氏 名（所 属）	研 究 課 題
1	井出誠之輔（九州大学大学院人文科学研究院教授）	仏教絵画の調査及び整理
2	清水昭博（帝塚山大学文学部教授）	飛鳥・奈良時代の仏教考古、斑鳩地区出土瓦の調査及び整理
3	根立研介（公益財団法人美術院理事長）	仏教彫刻の調査と整理
4	板倉聖哲（東京大学東洋文化研究所教授）	中国・朝鮮絵画の調査及び整理

	氏 名（所 属）	研 究 課 題
5	橋詰　文之（和泉市久保惣記念美術館副館長）	金工品の調査及び研究
6	澤田　むつ代（東京国立博物館名誉館員）	染織品の調査及び研究
7	藤田　譲（大阪大学大学院文学研究科教授）	仏教彫刻の調査と整理
8	高橋　悠介（慶応義塾大学斯道文庫准教授）	書跡の調査及び研究

【九州国立博物館】　0人

【東京文化財研究所】　38人

	氏 名（所 属）	研 究 課 題
1	三上　豊（和光大学非常勤講師）	近現代美術資料の収集・整理・公開に関する調査研究
2	丸川雄三（国立民族学博物館先端人類科学研究部准教授）	近現代美術資料の収集・整理・公開に関する調査研究
3	山梨絵美子(千葉市美術館長)	文化財に関する調査研究成果および研究情報の共有に関する総合的研究
4	田中　淳（大川美術館長）	近現代美術資料の収集・整理・公開に関する調査研究
5	片山まび（東京藝術大学美術学部教授）	『売立目録』工芸部門の調査研究
6	永崎研宣（一般財団法人人文情報学研究所主席研究員）	刊行物アーカイブズシステムの運用・評価に関する調査研究
7	津田徹英（青山学院大学文学部比較芸術学科　教授）	日本東洋古美術に関する資料整理とウェブ公開
8	田中　潤（学習院大学非常勤講師）	古文書の解読や絵画等に見られる服飾の解析
9	川瀬由照（早稲田大学教授）	仏教美術作品の専門的アーカイブと総合的レファレンスの拡充
10	山崎　剛（金沢美術工芸大学教授）	無形文化財の保存・継承に関する調査研究
11	俵木　悟（成城大学文芸学部教授）	無形民俗文化財の保存・活用に関する調査研究
12	大西秀紀（京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター客員研究員）	音声映像記録に関する調査研究
13	菊池健策（都留文科大学非常勤講師）	無形民俗文化財の調査
14	森下愛子（公益財団法人泉屋博古館分館学芸課学芸員）	工芸技術（主に陶芸分野）に関する調査研究
15	宮田繁幸（東京福祉大学大学院特任准教授）	ユネスコ無形文化遺産条約に関わる調査研究及び情報収集
16	神野知恵（国立民族学博物館機関研究員）	無形文化遺産保護に関する研究交流・情報収集
17	谷垣内和子（日本芸能実演家団体協議会常勤職員）	伝統芸能に関わる選定保存技術の調査研究及び情報収集
18	伊藤　純（川村学園女子大学講師）	無形民俗文化財の保存・活用に関する調査研究
19	川野邊渉	文化財修復材料と伝統技術に関する研究
20	佐野真規	無形民俗文化財の保存・活用に関する調査研究
21	伊庭千恵美（京都大学大学院工学研究科准教授）	文化財の保存環境と維持管理に関する調査研究
22	藤井義久（京都大学大学院農学研究科教授）	木造建造物の生物被害対策の研究
23	稲葉政満（東京藝術大学名誉教授）	近代文化遺産の保存修復に関する調査研究
24	本多貴之（明治大学理工学部准教授）	伝統的修復材料に関する分析調査研究
25	北原博幸（トータルシステム研究所代表）	湿度制御温風殺虫処理の処理システムに関するプロジェクト研究を進める上での工学技術的な指導・助言及び基礎研究
26	山本記子（一般社団法人国宝修理装潢師連盟代表理事）	日本画修復に使用される材料及び技法の研究
27	貴田啓子（東京藝術大学准教授）	日本における絵画の劣化要因に関する研究
28	岡田　健（奈良大学教授）	法隆寺金堂壁画をはじめとする文化財の化学分析調査
29	片山葉子（東京農工大学名誉教授）	高松塚・キトラ古墳壁画及び他の装飾古墳等における微生物生態学的調査研究
30	苅田重賀（日本航空協会専任課長）	近代文化遺産（特に航空関連）の保存修復に関する調査・研究
31	古田嶋智子（国立アイヌ民族博物館ｱｿｼｴｲﾄﾌｪﾛｰ）	文化財を取り巻く空気環境の成分分析
32	宇髙健太郎	文化財構成材料としての墨，煤，膠並びに修理材料としての膠の研究と，修理用膠の製造あるいは関連技術供与等
33	大河原典子（鎌倉女子大学児童学部児童学科准教授）	在外日本古美術品保存修復協力事業の修復研究及び技術移転の手法研究
34	杉山恵助（東北芸術工科大学芸術学部文化財保存修復学科准教授）	在外日本古美術品保存修復協力事業における修復手法研究、国際研修での技術移転方法に関する研究
35	山田大樹（帝京大学文化財研究所講師）	南アジア・西アジア地域等における歴史的都市・集落保存に関する研究
36	境野飛鳥（国際日本文化研究センター特任専門職員）	文化財保護制度に関する研究
37	間舎裕生（慶応義塾大学非常勤講師）	西アジアをはじめとする考古学に関する研究
38	邱君妮（東京藝術大学芸術未来研究場ケア&コミュニケーション領域共創拠点推進機構特任研究員）	協働的な博物館活動に関する研究

【奈良文化財研究所】　50人

	氏 名（所 属）	研 究 課 題
1	小林謙一	古墳出土甲冑を中心とする遺物及びその調査技術、文化財情報の蓄積に関する指導助言
2	杉山洋(龍谷大学文学部歴史学科教授)	カンボジアプロジェクトを中心とした国際遺跡研究室事業への助言
3	羽生淳子(総合地球環境学研究所研究部客員教授)	研究所の研究活動へ国際的な視野と新たな研究課題の点から指導助言
4	森本晋(ユネスコ･アジア文化センター文化遺産保護協力事務所所長)	ACCUへの協力をはじめとする国際遺跡研究室事業への助言
5	廣瀬智子	考古系展示施設に関わる調査研究、教育普及事業および展示活動等に対する助言
6	綾村宏	歴史研究室所蔵の調書・写真類の調査
7	前川歩(畿央大学健康科学部人間環境デザイン学科講師)	近現代建築に関する調査・研究
8	小野健吉(大阪観光大学教授)	庭園史研究・遺跡整備研究についての指導・助言
9	EmmanuelMARES(京都産業大学文化学部文化学科准教授)	森蘊旧蔵資料・村岡正旧蔵資料の整理に関する助言
10	岩永省三	古代都城制および都城出土遺物の調査・研究
11	小池伸彦	平城宮・京跡等出土冶金関連遺物・遺構の調査・研究
12	難波洋三	都城及び寺院出土の金属器等の調査・研究
13	青木敬(國學院大學文学部教授)	官衙・集落に関するデータベース拡充に関する指導・助言

	氏 名（所 属）	研 究 課 題
14	巽淳一郎	中国河南省文物考古研究所との共同研究「東アジアにおける生産遺跡の調査研究協力」に参加
15	深澤芳樹	学報の編集作業にかかる弥生土器整理における学術的な助言
16	黒田洋子（奈良女子大学古代学学術センター協力研究員）	木簡の文字に関する研究協力及び助言
17	杉本一樹（宮内庁正倉院事務所調査員）	都城発掘調査部史料研究室における正倉院文書関連研究などに対する指導・助言
18	舘野和己（奈良女子大学名誉教授 大阪府立近つ飛鳥博物館長）	木簡の整理・釈読等に関する指導・助言
19	方国花（韓国慶北大学人文学術院HK研究教授）	東アジア木簡の共同研究
20	渡邉晃宏（奈良大学文学部教授）	木簡の整理・釈読に関する指導・助言
21	諫早直人（京都府立大学文学部歴史学科准教授）	中国遼寧省文物考古研究所と行う共同研究「３－６世紀日中古代遺跡出土遺物の比較研究」に参加
22	上原眞人（公益財団法人辰馬考古資料館長）	都城発掘調査部考古第一研究室の出土木器整理、研究及び出土木器の資料集作成にむけた指導、助言
23	松村恵司	都城発掘調査部考古第一研究室の出土木器・金属器整理、研究に関する指導、助言
24	藤間温子	墨書木製品等の調査研究
25	青木政幸（公益財団法人辰馬考古資料館学芸員）	考古遺物の調査
26	大賀克彦（奈良女子大学古代学学術研究センター特任講師）	古代における玉類の生産と流通に関する調査研究
27	荻山琴美（大分県教育文化課主事）	彩色文化財や埋蔵文化財の科学調査・分析等
28	小椋大輔（京都大学大学院工学研究科教授）	文化財の保存環境の研究
29	北田正弘	考古遺物等の調査分析
30	金旻貞（株式会社修美　社員）	彩色文化財の材料調査業務
31	肥塚隆保	古墳壁画の保存修理業務
32	杉岡奈穂子	壁画等の材料調査業務
33	髙取伸光（京都大学大学院工学研究科助教）	文化財の保存環境および遺跡の塩害に関する研究
34	辻本與志一（株式会社文化財保存）	古墳壁画の保存修理業務
35	中田愛乃	彩色文化財の材質分析等
36	中村力也（宮内庁正倉院事務所保存課長）	奈良時代の遺物および古代壁画等の材料調査業務
37	福永香（国立研究開発法人情報通信研究機構電磁波研究所電磁波先進研究センター長）	文化財の非破壊診断調査
38	村上隆（京都美術工芸大学工芸学部美術工芸学科特任教授）	考古遺物の保存科学
39	大江文雄	遺跡出土資料の指導助言や調査研究
40	伊東隆夫（京都大学名誉教授）	木造文化財の木材組織学的研究
41	光谷拓実	木造文化財の年輪年代学的研究
42	小澤毅（三重大学人文学部教授）	遺跡及びその調査技術に関する研究
43	岸田徹（同志社大学文化遺産情報科学調査研究センター）	遺跡探査法の開発および遺跡探査の知見からの考古学研究の推進
44	狭川真一（大阪大谷大学文学部歴史文化学科教授）	遺跡及びその調査技術に関する研究
45	髙野紗奈江（京都大学大学院文学研究科非常勤講師）	山内清男縄文原体関係資料の調査および指導
46	中川朋美（名古屋大学人文学研究科准教授）	出土古人骨への形態測定学・三次元計測手法の開発研究の推進
47	西口和彦	遺跡探査の研究
48	西山昭仁（京都大学防災研究所地震・火山研究グループ非常勤研究員）	「考古・文献資料からみた歴史災害情報の収集とデータベース構築・公開並びにその他地質考古学的解析」事業への協力
49	野下浩司（九州大学理学研究院　助教）	考古資料への形態測定学・三次元計測手法の開発研究の推進
50	平川ひろみ（鹿児島国際大学非常勤講師・同志社大学文化遺産情報科学調査研究センター研究員）	三次元計測手法の開発及び民族学的知見からの考古学研究の推進

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】　0人

【本部文化財防災センター】　7人

	氏 名（所 属）	研 究 課 題
1	天野真志（大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館准教授）	地域防災体制の構築、災害時ガイドライン等の整備
2	岡田健（奈良大学文学部教授）	災害時ガイドライン等の整備
3	鶴岡典慶（京都女子大学家政学部教授）	災害時ガイドライン等の整備、レスキュー及び収蔵・展示における技術開発
4	浜田拓志（元和歌山県立近代美術館副館長）	災害時ガイドライン等の整備
5	日髙真吾（大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館人類基礎理論研究部教授）	災害時ガイドライン等の整備、レスキュー及び収蔵・展示における技術開発
6	前川歩（畿央大学健康科学部専任講師）	災害時ガイドライン等の整備、レスキュー及び収蔵・展示における技術開発
7	松下正和（国立大学法人神戸大学地域連携推進室特命准教授）	地域防災体制の構築、レスキュー及び収蔵・展示における技術開発

d ウェブサイトアクセス件数

令和6年3月31日現在

	R1	R2	R3	R4	R5
国立文化財機構	362,356	302,279	409,102	379,623	422,016
文化財活用センター※5	42,733	124,300	114,951	166,535	94,525
e国宝※5	4,247,236	1,952,296	650,197	818,665	193,341
国立文化財機構所蔵品統合検索システム（ColBase）※5	76,875	140,553	142,970	250,005	106,174
国立文化財機構寄附ポータルサイト※1	―	3,998	6,166	11,698	8,856
文化財防災センター※2	182,485	219,544	52,561	18,111	167,561
東京国立博物館※5	8,235,810	7,021,923	11,382,143	10,569,749	10,377,906
京都国立博物館※3	4,948,829	3,480,100	3,514,043	1,948,061	2,262,584
奈良国立博物館※5	1,704,901	1,082,864	1,236,917	1,129,746	1,374,092
九州国立博物館※5	2,047,955	824,819	977,605	1,430,301	1,726,318
皇居三の丸尚蔵館※4	―	―	―	―	945,068
東京文化財研究所	2,989,314	5,094,252	3,865,899	3,457,717	5,455,299
奈良文化財研究所	17,604,865	15,138,198	10,467,301	11,020,663	16,549,750
アジア太平洋無形文化遺産研究センター※5	13,261	13,284	15,472	17,146	44,229

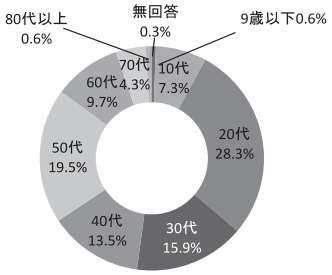
・アクセス件数の単位は、ユーザーセッション数。
・「文化財活用センター」及び「文化財防災センター」以外の施設は、データベースのアクセス件数を含む。
※1「国立文化財機構寄附ポータルサイト」は2年8月7日に開設。
※2 2年度までは、文化財防災ネットワークのウェブサイトアクセス件数。（3年度のウェブサイトリニューアルにより統合）
※3 ウェブサイトの解析システム変更のため、4年度のウェブサイトアクセス件数は、旧解析システム期間（4/1～5/17）及び新解析システム期間（5/18～3/31）のアクセス数を合算し実績値とした。
※4「皇居三の丸尚蔵館」webサイトは5年10月1日に開設。

※5 5年度よりウェブサイト解析システムのバージョン変更による計測方法変更があった。

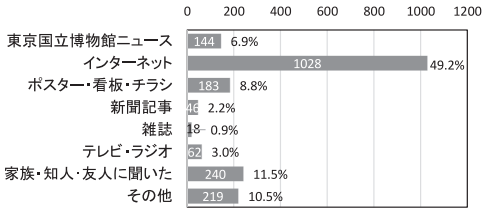
平常展（総合文化展）アンケート集計結果

開催期間：令和5年4月1日（土）～令和6年3月31日（日） うち開館日数：310日間
アンケート実施日：4月8日　5月18日　6月10日　8月12日　9月18日　11月3日　12月9日　1月12日　1月13日　2月10日
（計10回、1月12日・1月13日は英語のみ）
回答者数：1,726人（日本語821人＋英語905人）
アンケート実施日総合文化展来館者数：59,527人
アンケート回収率：2.90%

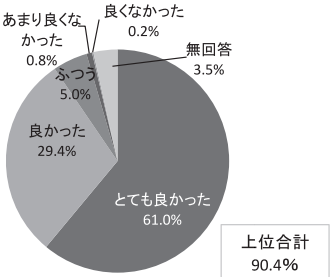
①アンケート回答年齢層



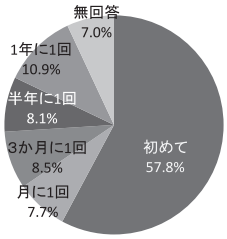
②認知経路（複数回答）



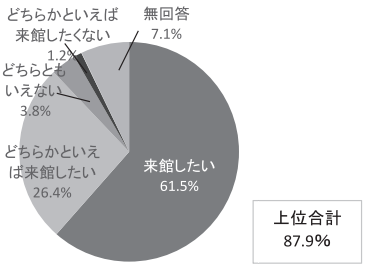
③展示に関する満足度



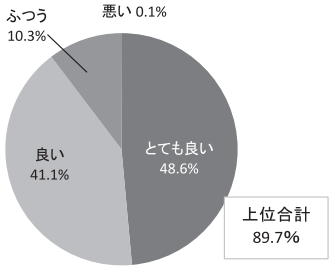
④来館頻度



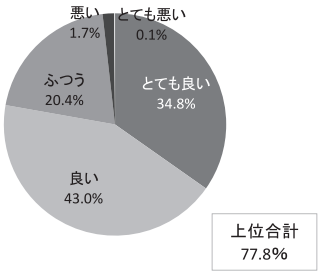
⑤再来館希望率



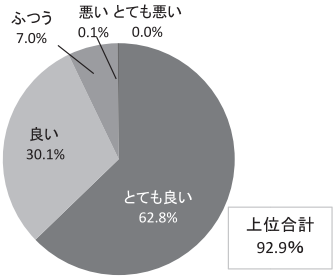
⑥ミュージアムショップに対する満足度



⑦レストランに対する満足度



⑧館内スタッフの対応について

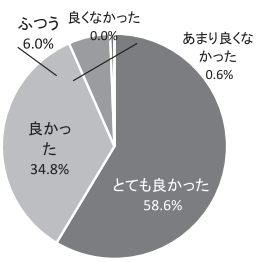


主な意見・感想

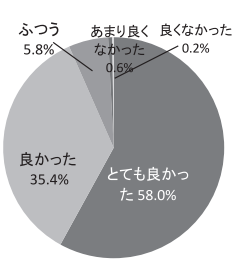
・予想以上にボリュームが多く、満足感があった。
・その日にどの作品が展示されているか、わかりやすく告知してほしい。
・キャプションの文字が小さくて見づらい。
・館内Wi-Fiがつながりにくい。
・敷地内に軽食・チェーンのカフェのような店舗が欲しい。
・書には書き下し文や現代語訳をつけてほしい。
・夜間開館を再開してほしい。→11月3日から金・土曜日の夜間開館を再開

《外国人アンケート集計結果》

1.（外国人アンケート）施設の案内・説明・看板



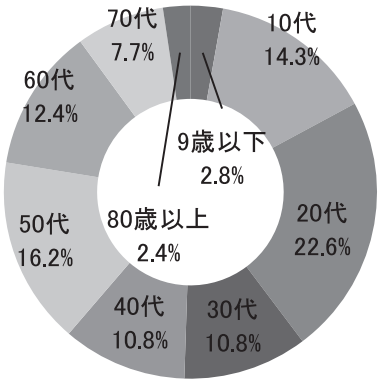
2.（外国人アンケート）展示のパネル、キャプション



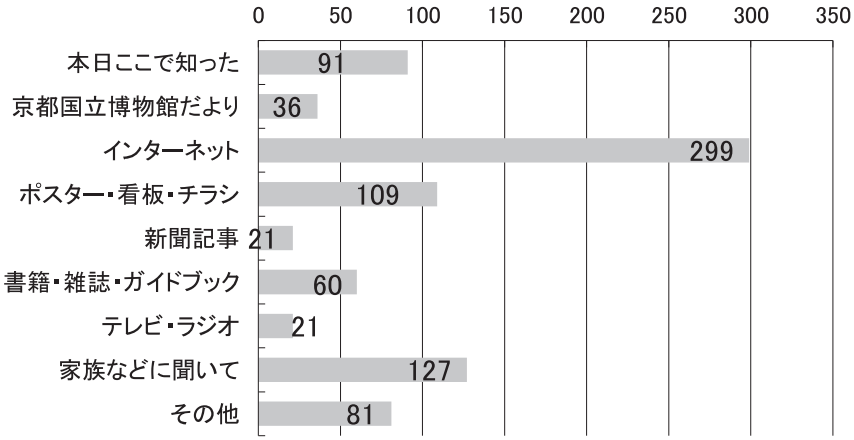
平常展（名品ギャラリー）
アンケート集計結果

開催期間：令和5年6月13日（火）～令和5年9月18日（月・祝）　開館日数：84日間
　　令和6年1月2日（火）～令和6年3月24日（日）　開館日数：72日間
回答者数：747人
来館者数：140,562人（平常展開催期間のみ）
アンケート回収率：0.5%

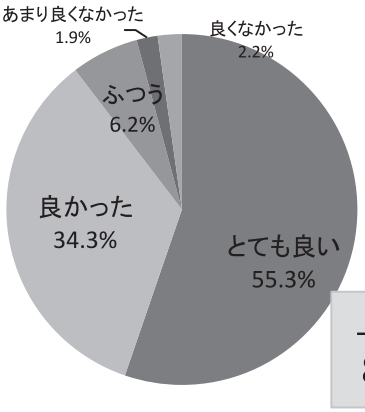
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）

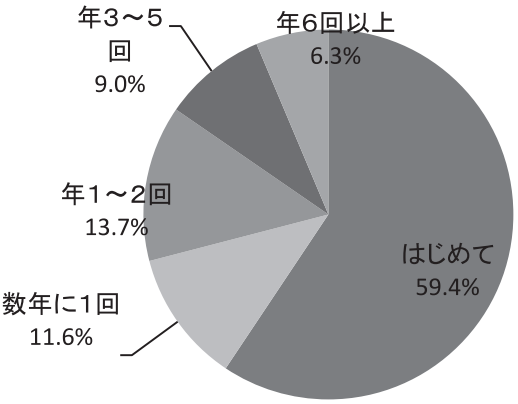


③展示に関する満足度



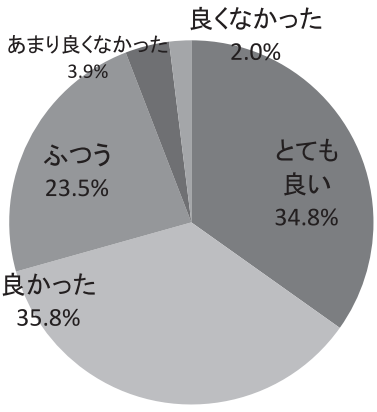
上位合計 89.7%

④来館頻度



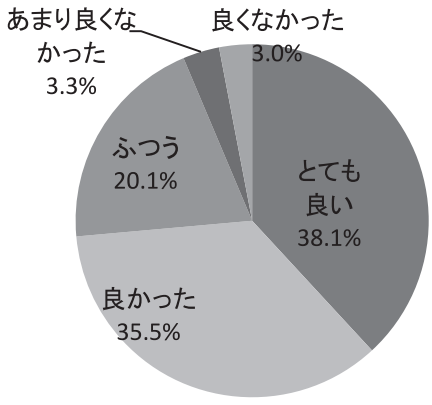
上位合計 15.4%

⑤ミュージアムショップに対する満足度



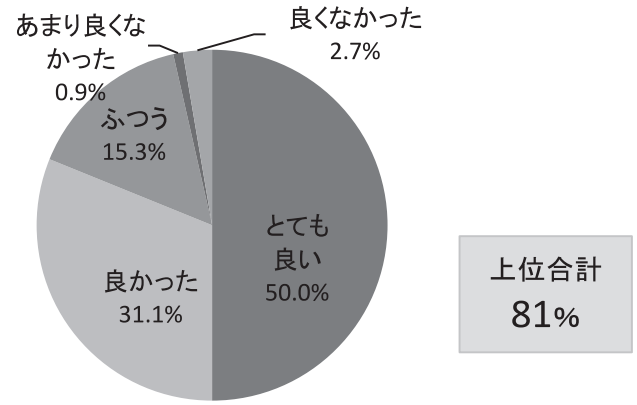
上位合計 70.7%

⑥カフェに対する満足度



上位合計 73.6%

⑦館内スタッフの対応について



主な意見・感想

・土曜講座を受講し、学芸員の解説は重要だと感じた
・子供向けのコーナーがほしい
・絵巻等に現代語訳がほしい
・収蔵品を知るよい機会となった
・特別展と並行し、常設展も途切れなく展示してほしい
・写真を撮れないことが不満だった

奈良国立博物館

平常展（名品展）アンケート集計結果

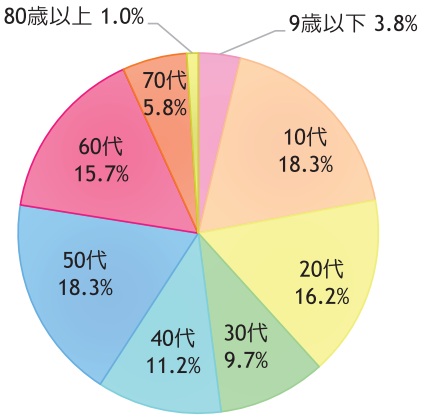
開催期間：令和5年4月1日（土）～令和6年3月31日（日）　開館日数：317日間

※台風7号接近に伴う臨時休館(8/15)のため1日減

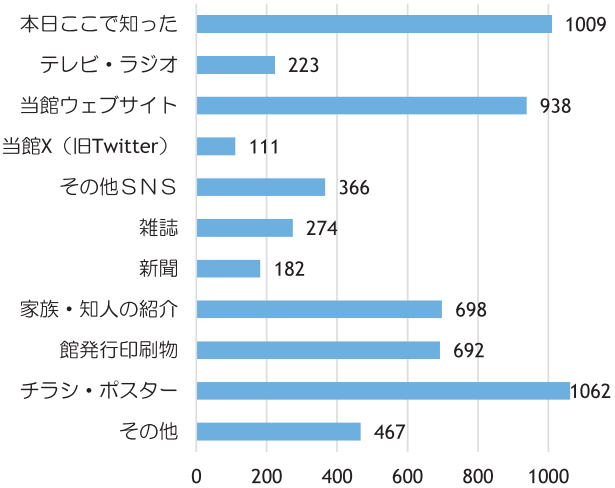
（回答者数：4,133人　入館者数：181,494人　アンケート回収率：2.28%）

（日本語：3,357人／英語：776人）

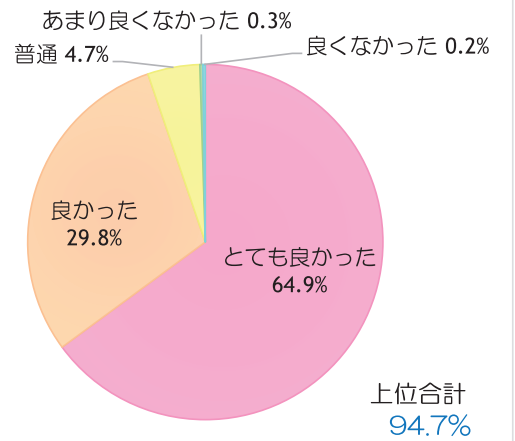
①年齢層



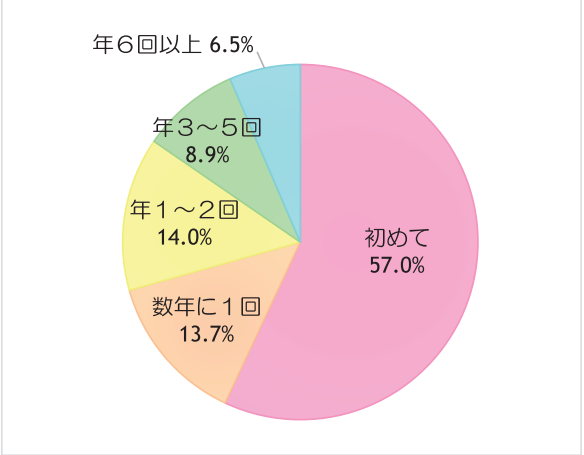
②認知経路（複数回答）



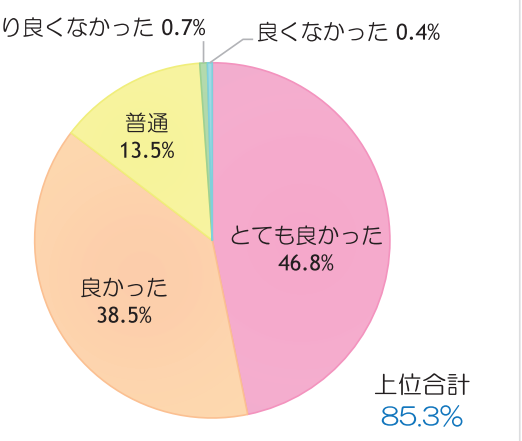
③展示に関する満足度



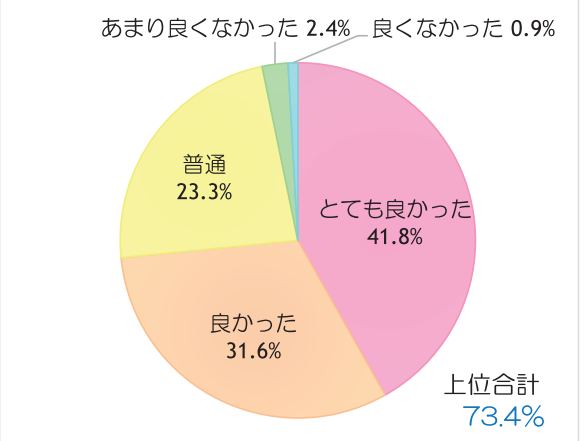
④来館頻度



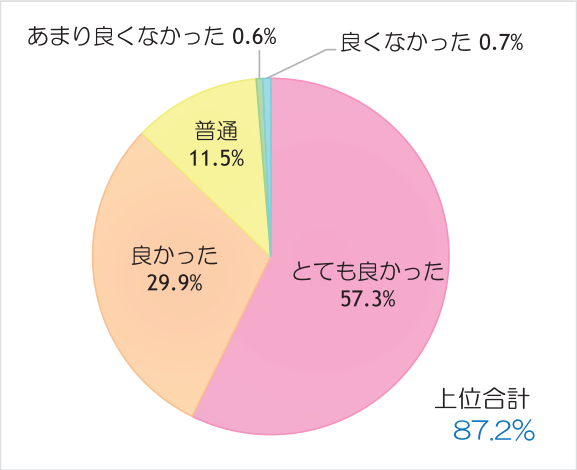
⑤ミュージアムショップに対する満足度



⑥レストランに対する満足度



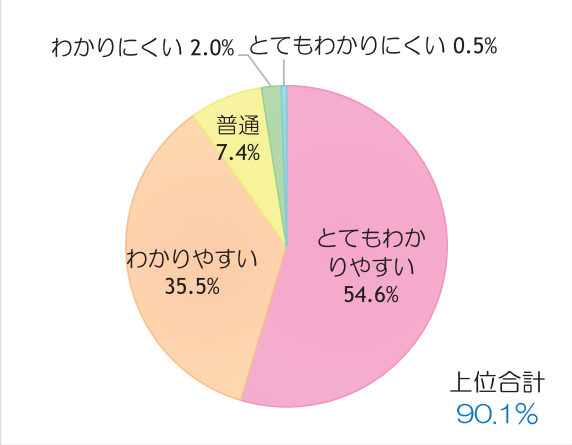
⑦スタッフ対応に関する満足度



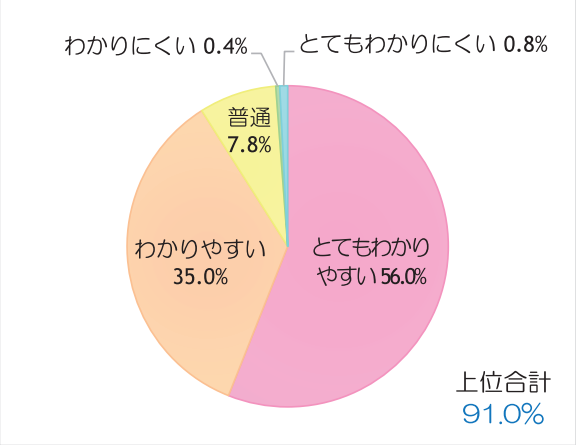
⑧主な意見・感想
- 仏像の解説がわかりやすかった。
- 仏像の迫力が印象的だった。
- 青銅器館が充実していて素晴らしい。
- 貴重な文化財が見られて良かった。
- 展示替えをもう少ししてほしい。
- 順路が分かりにくかった。

《外国人アンケート集計結果》
回答者数：776人

1．（外国人アンケート）
施設の案内・説明・看板について



2．（外国人アンケート）
展示のパネル・キャプションについて

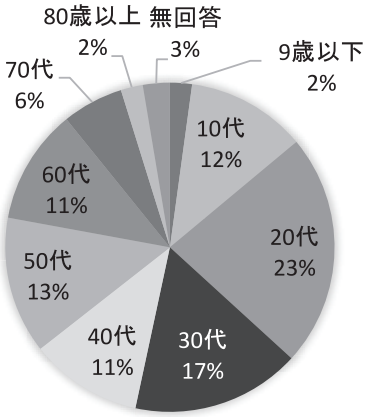


⑧主な意見・感想
- 全てが素晴らしかった。
- 英語の説明がない展示が多すぎる。

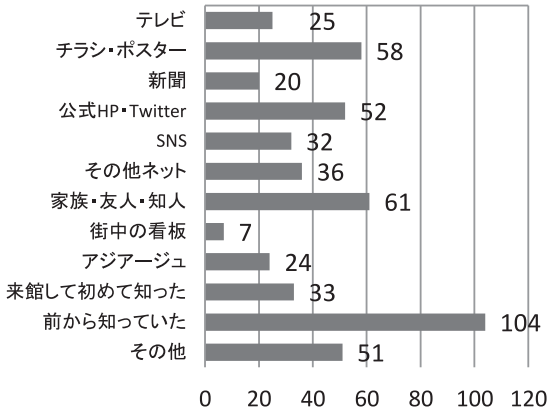
文化交流展　アンケート集計結果

開催期間：令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)　開館日数:309日間
回答者数：416人　来館者数：287,160人　アンケート回収率：0.14%

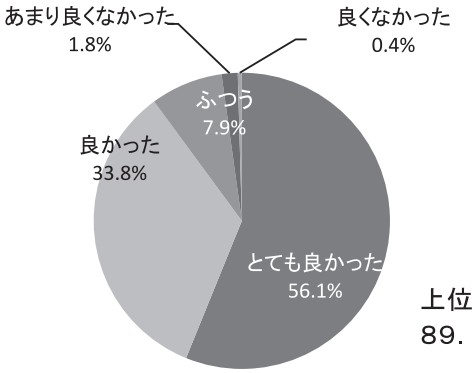
①年齢層



②認知経路（複数回答）

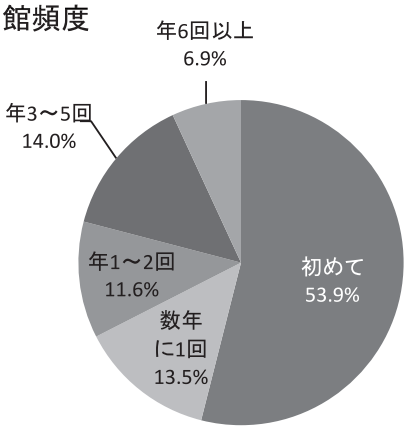


③平常展の満足度

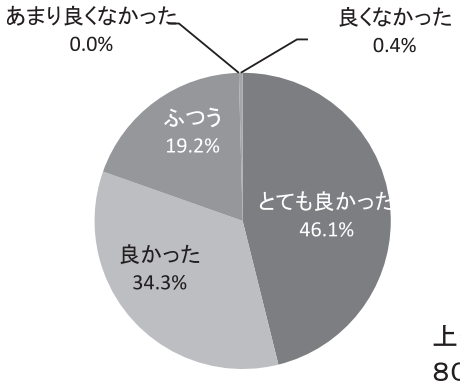


上位合計の平均
89．9%

④来館頻度

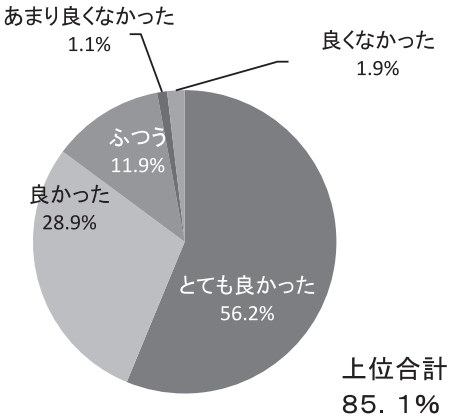


⑤ミュージアムショップに対する満足度



上位合計
80．4%

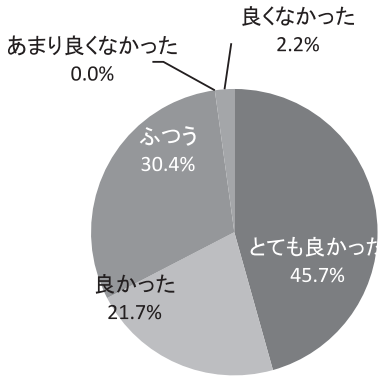
⑥館内スタッフの対応について



上位合計
85．1%

主な意見・感想
・とてもわかりやすい解説で良かった。展示物も素晴らしいものが多かった。
・歴史の勉強になり、社会が少し苦手なのですが、前より社会の授業が楽しくなりそうです！
・とても広く驚きました。
・分野に分かれて展示されておりとても分かりやすかった。

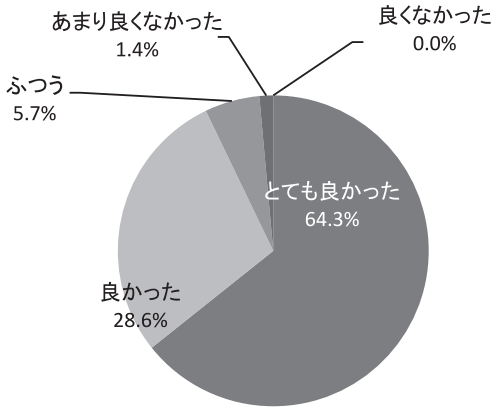
⑥レストランに対する満足度



上位合計
67．4%

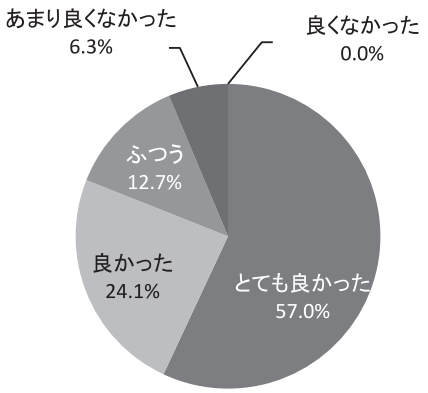
《外国人アンケート集計結果》
回答者数:82人

1．（外国人アンケート）
施設の案内・説明・看板について



上位合計
92．9%

2．（外国人アンケート）展示のパネル・キャプションについて



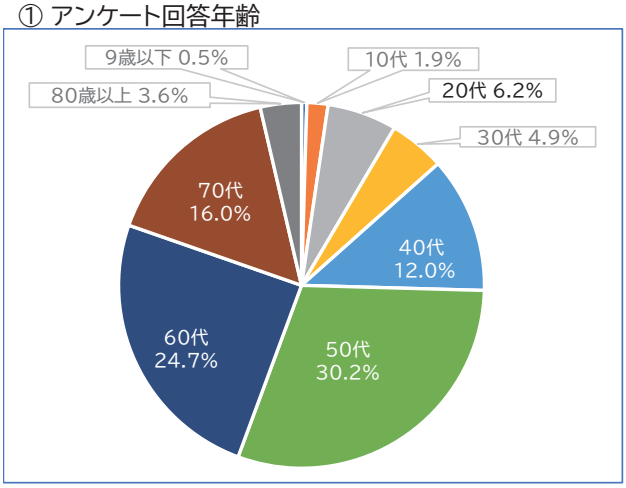
上位合計
81．1%

主な意見・感想
とてもよかった。ありがとうございます。
本当に楽しめました。展示は面白かったです。説明書きに英語の翻訳があるのが有難かったです。

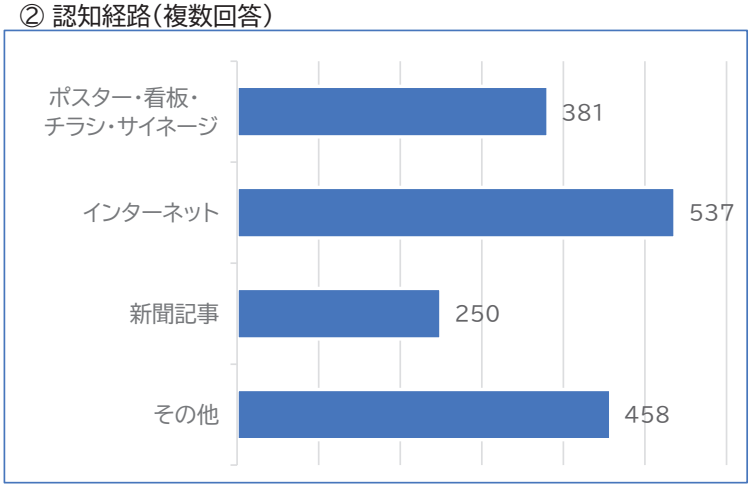
皇居三の丸尚蔵館　開館記念展「皇室のみやび―受け継ぐ美―」
アンケート集計結果

開催期間 ： 令和5年11月3日(金･祝)～令和6年6月22日(日)
※第1期は令和5年11月3日(金･祝)～12月24日(日)、第2期は令和6年1月4日(木)～3月3日(日)
アンケート実施日 ： 令和5年12月23日、24日、令和6年2月24日、25日
回答者数 ： 1,159人
アンケート実施日の来館者数 ： 4,250人(12月23日 1,445人、24日 1,434人、2月24日 566人、2月25日 805人)
アンケート回収率 ： 27.3%

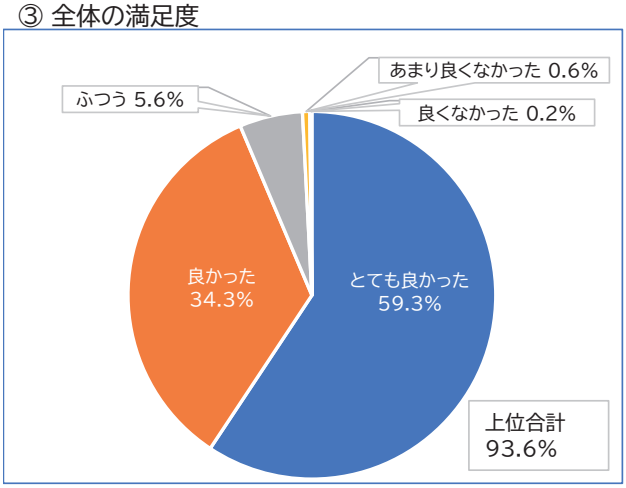
① アンケート回答年齢



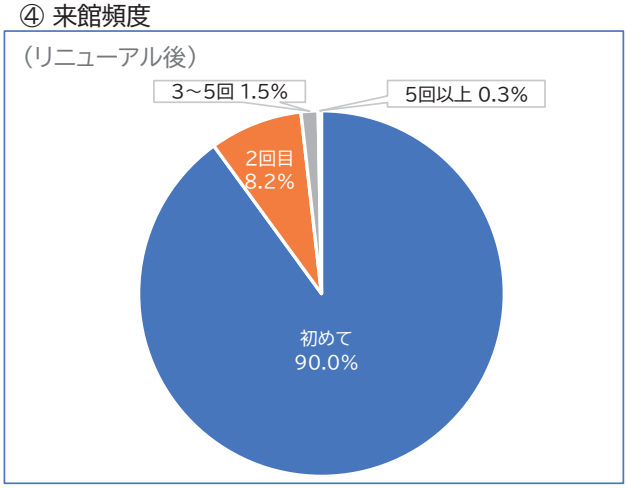
② 認知経路(複数回答)



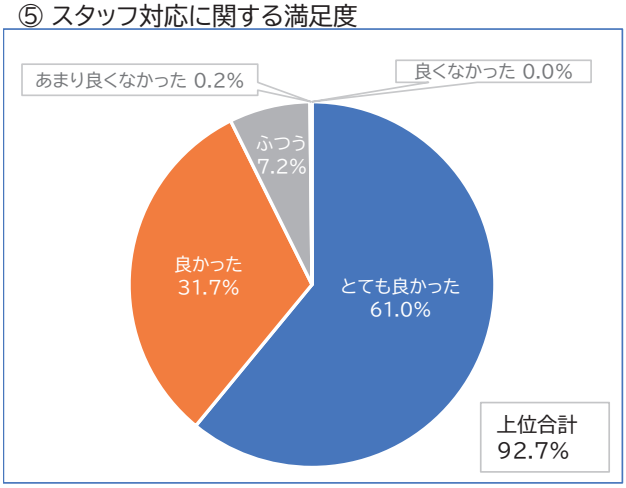
③ 全体の満足度



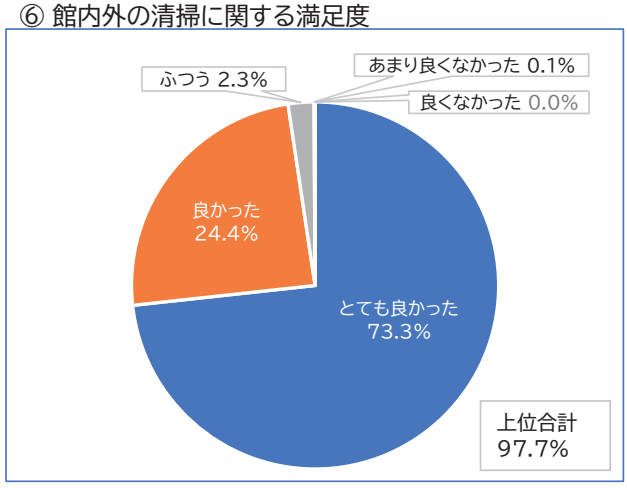
④ 来館頻度



⑤ スタッフ対応に関する満足度



⑥ 館内外の清掃に関する満足度

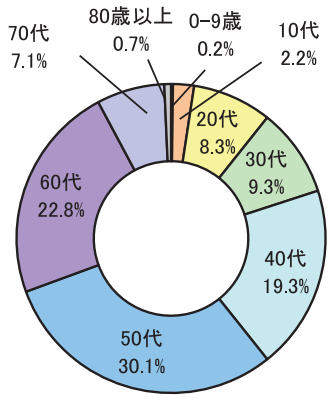


主な意見･感想
･展示品がもっと多いとうれしい。
･音声による解説(有料)などが利用できるともっと良い。
･写真OKなのが嬉しかった。
･貴重な作品を見られて良かった。
･予約制なので混みすぎないのも良い。
･伊藤若冲の作品をもっと見たい。30幅全部一堂に展示してほしい。

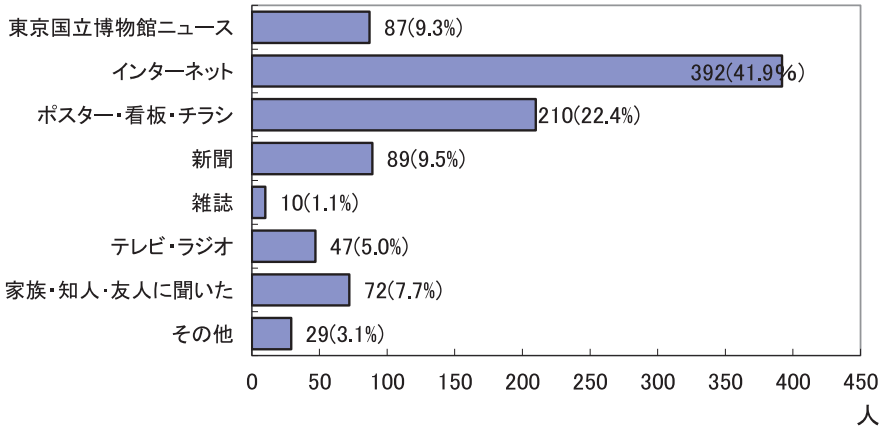
特別展「東福寺」
アンケート集計結果

開催期間：令和５年３月７日（火）～５月７日（日）（５６日）
総入館者数 ： １１７，４８９人
回答者数：８０９人

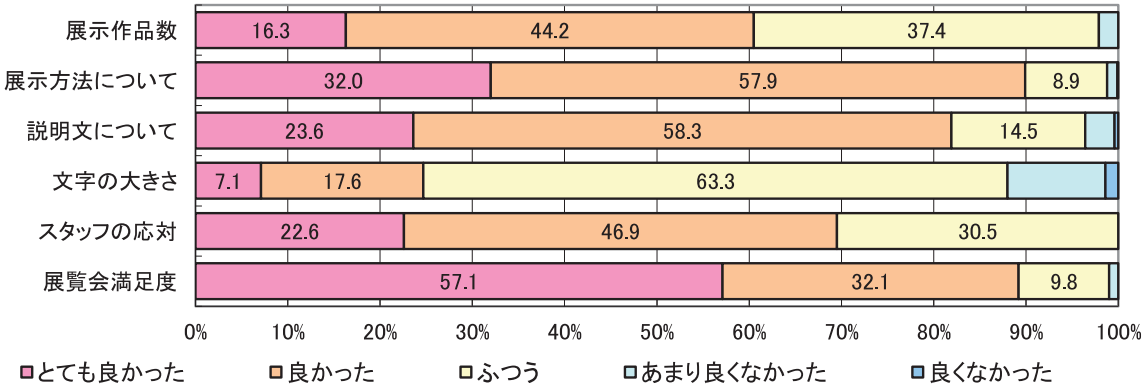
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

＜良かった点＞
・五百羅漢図のマンガ風解説がわかりやすかった。総合文化展でもやってほしい。
・展示室が全体的に見やすかった。
・仏像コーナーが圧巻だった。通天橋もよかった。
・音声ガイドがよかった。

＜不評またはご要望＞
・撮影できるものが少ない。
・順路と目録の作品番号（音声ガイド番号）の不一致がわかりにくかった。
・音声ガイド現金払いのみは不便。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	2.1	0.0
展示方法	1.1	0.1
説明文	3.2	0.4
文字サイズ	10.6	1.4
スタッフの応対	0.0	0.0
展覧会の満足度	1.0	0.0

（%）

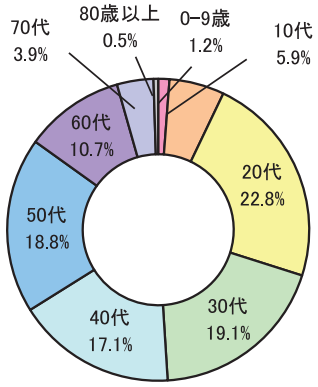
新緑や紅葉の名所として知られる東福寺は、京都を代表する禅寺の一つです。日本から中国へと渡り、南宋時代の高僧無準師範に禅を学んだ円爾（聖一国師）を開山に迎えて創建されました。「東福寺」の名は、奈良の東大寺と興福寺になぞらえて、その一字ずつをとったことに由来します。東福寺の寺宝をまとめて紹介する初の機会となる本展では、「画聖」とも崇められた絵仏師・明兆による記念碑的大作「五百羅漢図」全幅を修理後初公開するとともに、応仁の乱による戦火を免れた貴重な文化財の数々や、巨大伽藍にふさわしい特大サイズの仏像や書画類の優品も一堂に会しました。草創以来の東福寺の歴史を辿りつつ、大陸との交流を通して花開いた禅宗文化の全容を幅広く紹介し、東福寺の日本文化における意義とその魅力を余すところなく展覧しました。

本アンケートに回答いただいた89.2%の方から「とても良かった」「良かった」と好意的なご感想をいただきました。東福寺のスケール感を通天橋や仏像コーナーの展示で体感でき、また難解な印象のある禅宗の作品・五百羅漢図はマンガ風解説がついていたことで『面白い』と感じられたようで特に好評でした。木村多江さん・子安武人さんを起用した音声ガイドも好評でした。一方で、音声ガイドの会場支払いが現金のみで不便だというご意見や、目録と展示順路の不一致に混乱したとのお声もあり、よりストレスフリーな観覧環境の提供を望まれています。今後も来館者の皆様よりお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。

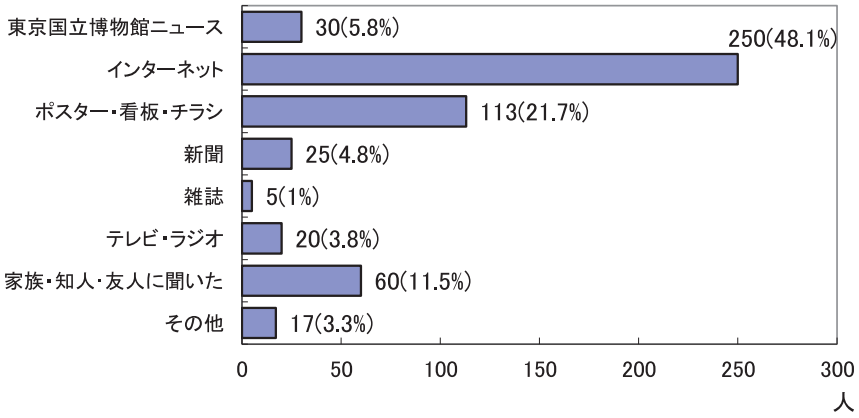
特別展「古代メキシコ －マヤ、アステカ、テオティワカン」
アンケート集計結果

開催期間：令和５年６月１６日（金）～９月３日（日）　７０日間
総入館者数：３３０，０１３人
回答者数：５９７人

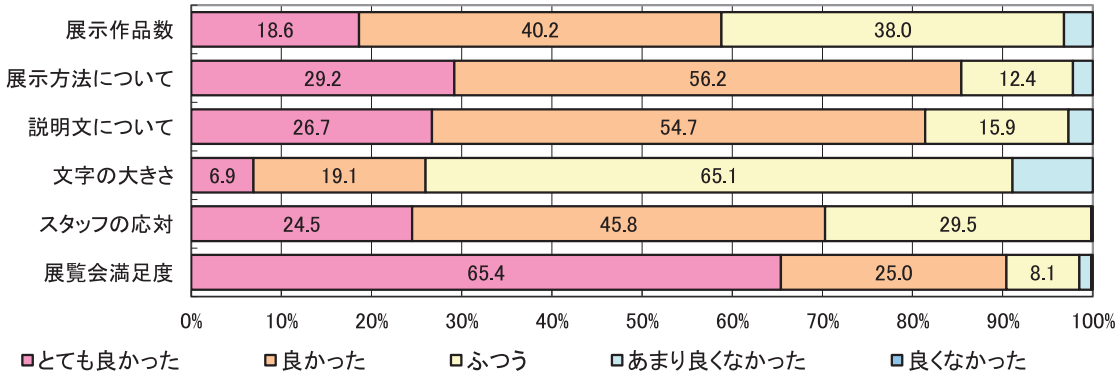
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

・展示空間を広く活用し、見やすかった
・臨場感があって圧倒された、前後座右から見られて良かった
・赤の女王の展示が現地で見ているようでよかった
・音声ガイドがよかった
・撮影できるのはありがたい
・もっとメキシコについて知りたくなった

＜不評・要望＞

・撮影者が邪魔で作品を見られない
・撮影のシャッター音が多く集中できない
・滞留が発生した際に観覧者を整理をしてほしい
・展示室が寒い

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	3.2	0.0
展示方法	2.2	0.0
説明文	2.7	0.0
文字サイズ	8.9	0.0
スタッフの応対	0.2	0.0
展覧会の満足度	1.3	0.2

（%）

本展では「マヤ」「アステカ」「テオティワカン」というメキシコを代表する3つの文明に焦点をあて、普遍的な神と自然への祈り、そして多様な環境から生み出された独自の世界観と造形美を通じて、古代メキシコ文明の奥深さと魅力に迫りました。

本アンケートの回答者のうち90.4%の方から「とても良かった」「良かった」とのご感想をいただきました。夏休み期間ということもあって、他の当館特別展と比べ若いお客様や家族連れ、本展で初めて当館を訪れる方も多く見受けられました。また、本展のみを観覧し帰られるお客様の割合が他の特別展の平均よりも10%程度高いことから、特別展の観覧を目的とした方々を総合文化展に案内することが、引き続き課題となっています。

全体的に展示スペースを広く活用したこと、360度から観覧できる作品が多かったこと、そして特に「赤の女王」やピラミッド関連の展示が好評でした。没入感・臨場感のある空間に作品を置いたことで、実際にで観たような気分を味わえてよかったと多くのご意見が寄せられました。また全作品を撮影可能にしたことは、概ね好意的に受け入れられましたが、撮影者による滞留で一部の作品が見られなかった、シャッター音が気になり観覧に集中できなかったとのご意見も寄せられました。

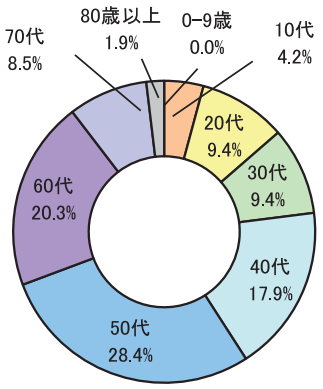
今回のアンケート結果や頂いたご意見を参考に、引き続き観覧環境の向上に努めてまいります。

浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念 特別展「京都・南山城の仏像」

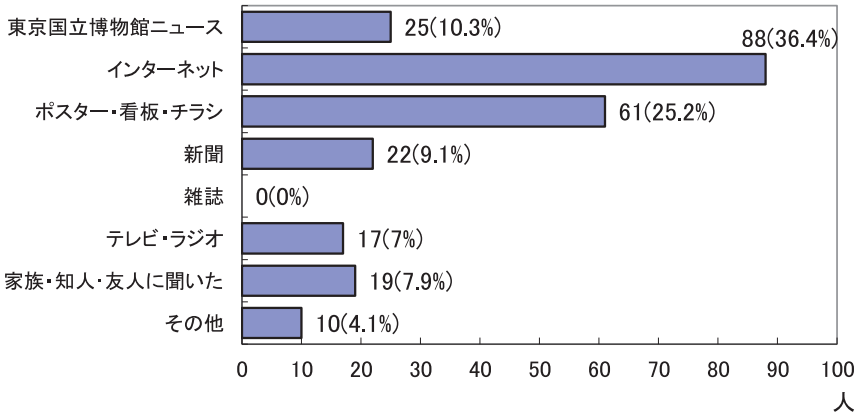
アンケート集計結果

開催期間：令和５年９月１６日（土）～１１月１２日（日）（会期日数：５０日）
総入館者数：７９，５６７人
回答者数：２１２人

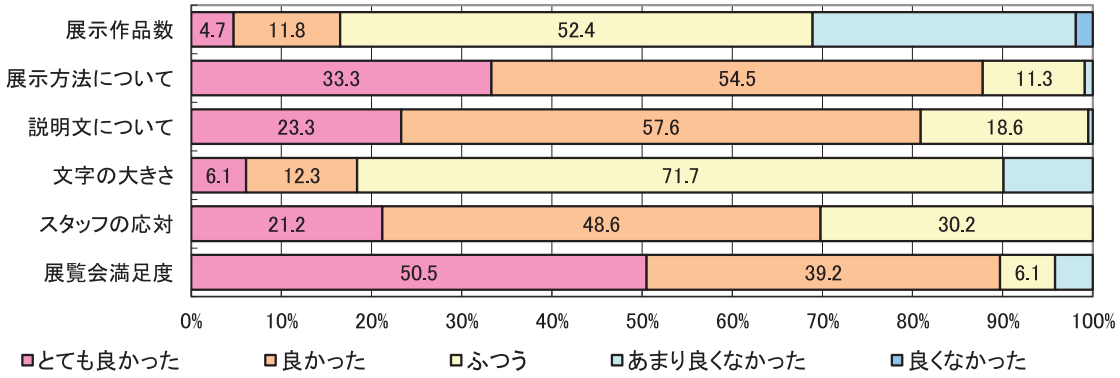
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

・展示品を360度どの側からも見られるのは良かった、その展示方法を全ての展示品で行ってほしい
・もっと多くの作品を見たい
・音声ガイドの説明がわかりやすかった
・さらに詳しい解説が欲しい
・観覧の順路が分かりづらい

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	29.2	1.9
展示方法	0.9	0.0
説明文	0.5	0.0
文字サイズ	9.9	0.0
スタッフの応対	0.0	0.0
展覧会の満足度	4.2	0.0

（%）

本特別展は、浄瑠璃寺の九体阿弥陀の、明治期以来およそ110年ぶりの修理の完成を記念して開催されたものです。

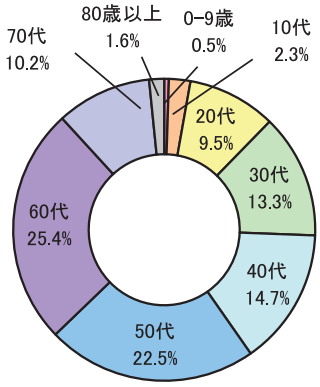
今回の出展作品について、本尊など現地寺院を訪れてもなかなか見られない貴重なものが多かったことから、特別展という形で東京で一挙に鑑賞できた点について、好意的な感想を多くいただきました。先に開催された奈良国立博物館での特別展「聖地　南山城―奈良と京都を結ぶ祈りの至宝―」と本展、共に観覧されたというお声もありました。

本館特別5室での開催だったこともあり、作品数に物足りなさを訴える声があった一方で、「今回ほどの規模感がちょうどよい」という感想もいただきました。
仏像に高い関心を寄せられている方からの熱のこもったコメントも多く、「（もっと広い会場で）もっと見たい」というご意見もありました。仏像に造詣の深いみうらじゅん・いとうせいこう両氏がナビゲーターを務めた音声ガイドも好評でした。
展示方法・観覧環境に関しては、作品の周囲360度から観覧できる点が特に好評でした。
本展に関して寄せられたご感想・ご意見を参考に、今後も来館者の皆様へより充実した展示・観覧環境を提供できるよう、努めてまいります。

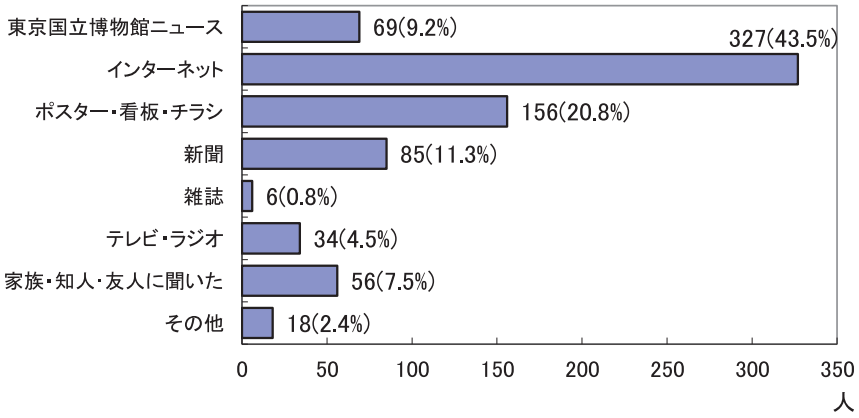
特別展「やまと絵 －受け継がれる王朝の美－」
アンケート集計結果

開催期間：令和５年１０月１１日（水）～１２月３日（日）（会期日数：４８日）
総入館者数：１６２，１０４人
回答者数：５８０人

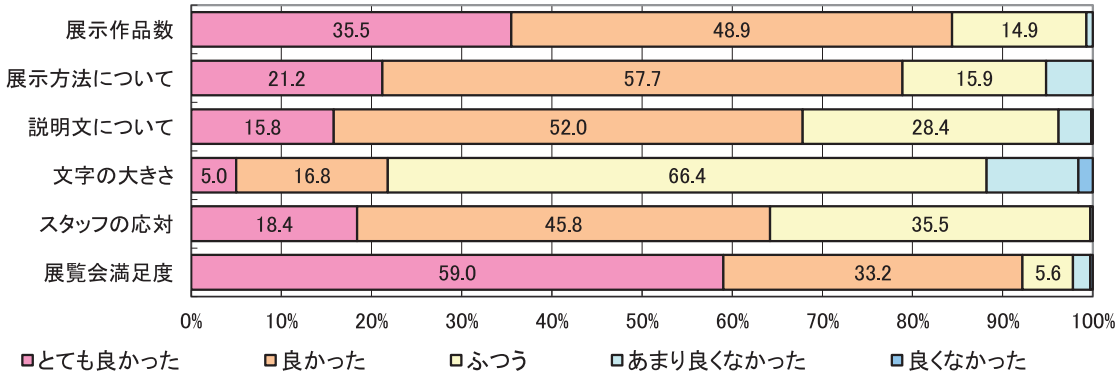
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

・国宝、重要文化財や教科書で見た作品が数多く見られて良かった
・展示作品数が多く、ボリュームがありよかった
・作品の主な部分・見所を拡大したパネルが掲示してあり、後列からでも確認できて非常によかった
・夏木マリさんの音声ガイドがとても良かった

・特に絵巻物の展示では人がなかなか動かず、見にくいことがあった
・照明が暗くて見づらかった
・会場内の休憩スペースを増やしてほしい

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	0.7	0.0
展示方法	5.2	0.0
説明文	3.6	0.2
文字サイズ	10.2	1.6
スタッフの応対	0.3	0.0
展覧会の満足度	1.9	0.3

（%）

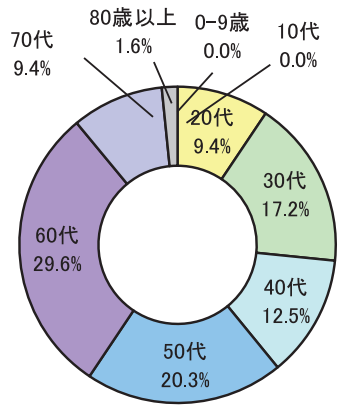
本展は、平安時代前期に成立し、その後さまざまな変化を遂げながら描き続けられてきたやまと絵が、各時代の最先端のモードを貪欲に取り込みつつ発展していく様を、特に平安時代から室町時代の優品を精選してご紹介するものです。「日本美術の教科書」と呼ぶに相応しい豪華な作品の数々が一堂に会する、とても貴重な機会となりました。

今回、展示作品に四大絵巻や三大装飾経、神護寺三像をはじめとして国宝・重要文化財が多数出品されていたこと、教科書等に掲載されている作品が多かったこともあり、「一度見てみたかった作品の本物が見られてよかった」旨のご感想を多くいただきました。展覧会全体の満足度も高く、本展をご覧になった92.2%の方から「とてもよかった」「よかった」との評価をいただきました。
一方で、展示替えが多かったこともあり、一度の来館では全ての作品を見ることができないため、チケットのリピーター割引のようなサービスを求める声もありました。
また、特に絵巻物の展示に関しては、人流に滞留が発生しやすく、スムーズな観覧が難しい状況に対するご意見を複数いただきました。
今回のアンケート結果を参考に、引き続き、観覧環境の向上に努めてまいります。

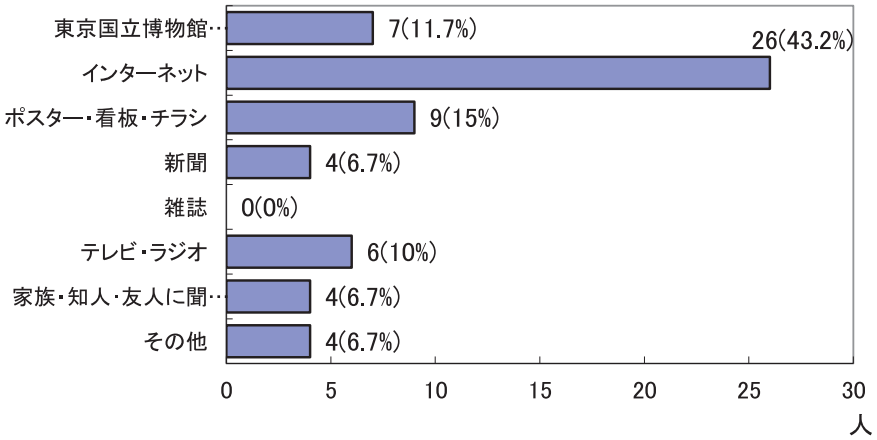
「横尾忠則　寒山百得」展
アンケート集計結果

開催期間：令和５年９月１２日（火）～１２月３日（日）（会期日数：７２日）
総入館者数：４７，７１９人
回答者数：６５人

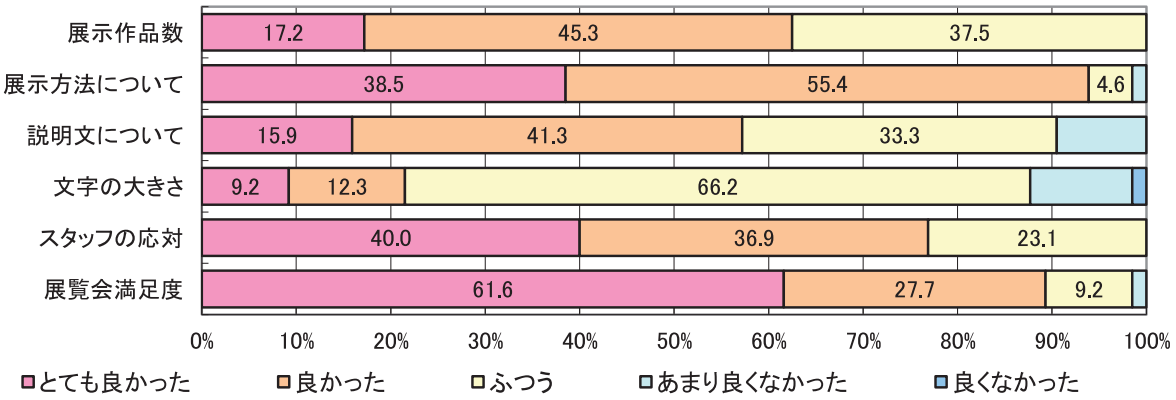
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想
・作品数が多くてよかった
・表慶館の建物と横尾作品のバランスが面白かった
・順路が分かりづらい
・解説がもっと欲しい

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	0.0	0.0
展示方法	1.5	0.0
説明文	9.5	0.0
文字サイズ	10.8	1.5
スタッフの応対	0.0	0.0
展覧会の満足度	1.5	0.0

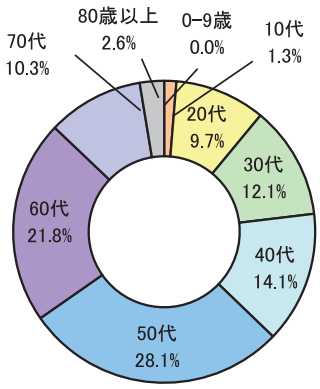
（%）

本展は、現代美術家・横尾忠則が、寒山拾得を独自の解釈で再構築した「寒山拾得」シリーズの完全新作102点を一挙初公開したものです。このシリーズは、寒山と拾得という、中国、唐の時代に生きた伝説的な2人の詩僧をテーマとしたものです。彼らはその奇行ぶりから「風狂」ととらえられ、日本、中国では伝統的な画題となりました。
本展を観覧された89.3%の方から、「とても良かった」「良かった」との評価をいただきました。
また、本館では特集「東京国立博物館の寒山拾得図―伝説の風狂僧への憧れ―」を開催したことあり、他の特別展のアンケート結果と比較して、同日に総合文化展もご覧になった方の割合が高い傾向にありました。本館の総合文化展への誘客にも繋がるなど、表慶館における展覧会開催の成果が表れたと言えます。
一方で、観覧にあたり、「順路が分かりづらい」とのご意見もいただきました。展示環境を維持しながら、観覧のサポートとなる案内板の設置などを、今後の展覧会では検討してまいります。
今回頂いたアンケート結果・感想などをもとに、引き続き来館者サービスの向上に努めてまいります。

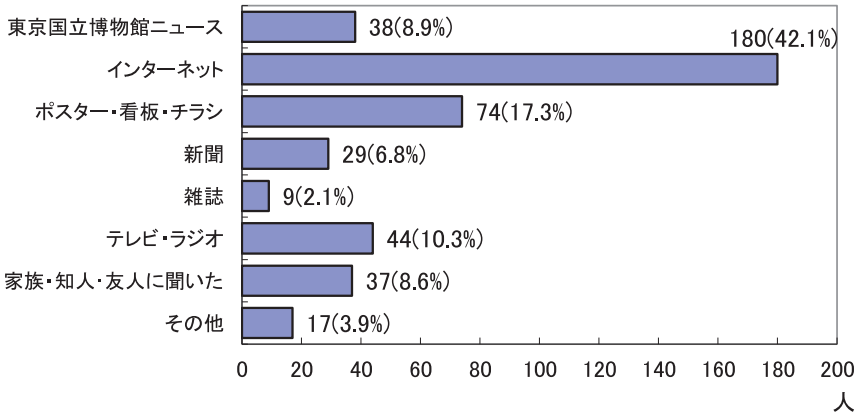
特別展「本阿弥光悦の大宇宙」
アンケート集計結果

開催期間：令和６年１月１６日（火）～３月１０日（日）（会期日数：４８日）
総入館者数：１２２，２０５人
回答者数：３９０人

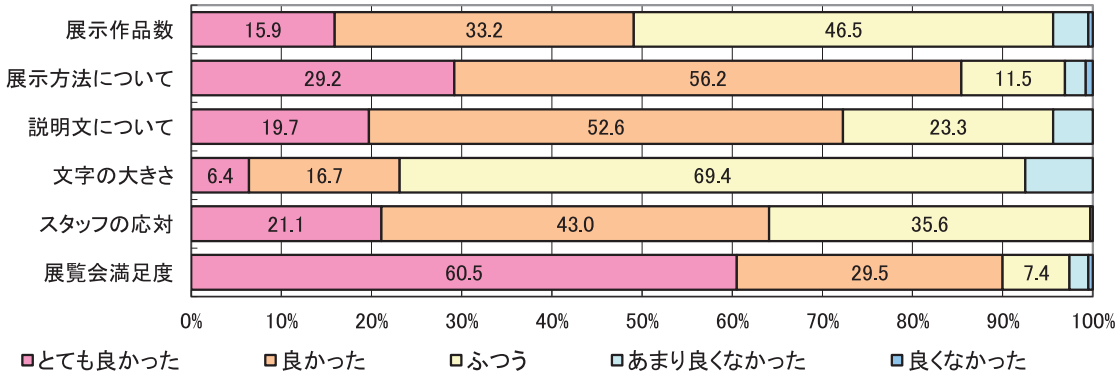
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

＜よかった点＞
・展示作品数が丁度よかった。
・広さに余裕のある作品レイアウトになっていて見やすかった。
・幅広い分野の作品を通じて、光悦を知ることができた。

＜要望など＞
・書跡に現代語訳あるいは現代仮名遣いによる釈文を添えてもらいたかった。
・展示位置が高く、見づらい作品があった。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	3.9	0.5
展示方法	2.3	0.8
説明文	4.4	0.0
文字サイズ	7.5	0.0
スタッフの応対	0.3	0.0
展覧会の満足度	2.1	0.5

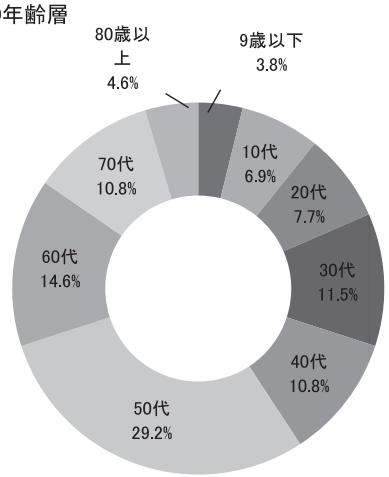
（%）

特別展「本阿弥光悦の大宇宙」は、「一生涯へつらい候事至てきらひの人」で「異風者」（『本阿弥行状記』）といわれた本阿弥光悦が、篤い信仰のもと確固とした精神に裏打ちされた美意識によって作り上げた諸芸の優品の数々を、造形の世界の最新研究と信仰のあり様とを照らしあわせることで、総合的に紹介する展覧会でした。
本展は「刀」「信」「漆」「書」「陶」の五つのキーワードに沿って構成されており、幅広い分野にわたる作品を一度に観覧することで、光悦を理解することができたという感想を数多くいただきました。また、解説文のわかりやすさや、多方向から見られる展示方法も好評でした。
一方で、解説文に釈文や現代語訳を併記してほしいといった要望や、一部の展示に関して位置が高いとの意見もありました。
展覧会全体としては、合計90%の方から「とてもよかった」「よかった」との評価をいただきました。
今回のアンケート結果を参考に、引き続き、観覧環境の向上に努めてまいります。

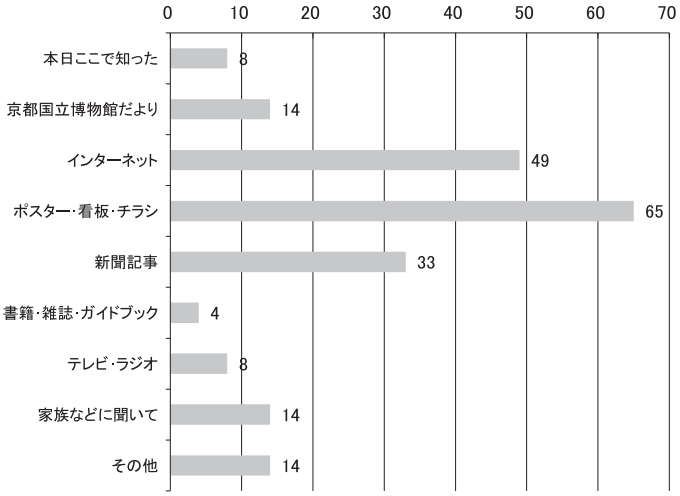
特別展覧会「親鸞」
アンケート集計結果

開催期間：令和 5年 3月 25日（水）～ 5月21日（水）（50日間）
回答者数：146人（総来館者数　112,461人　アンケート回収　0.1%）

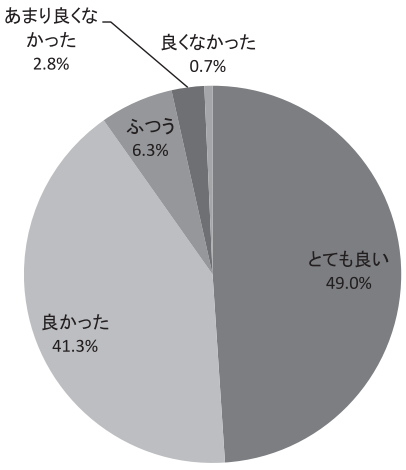
①年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



アンケート結果の上位合計
（とても良かった+良かった）
90.3%

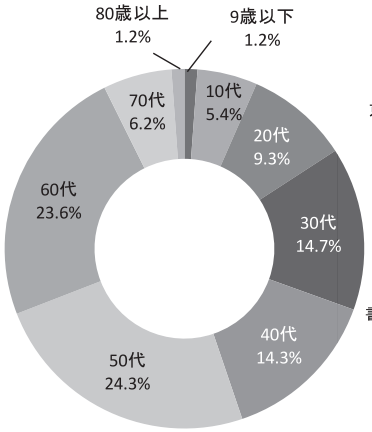
④主な意見・感想

・英訳を増やしてほしい
・展示室に入った瞬間迫力を感じた
・文化財を保存することの大切さが分かった
・全体的に難しかった

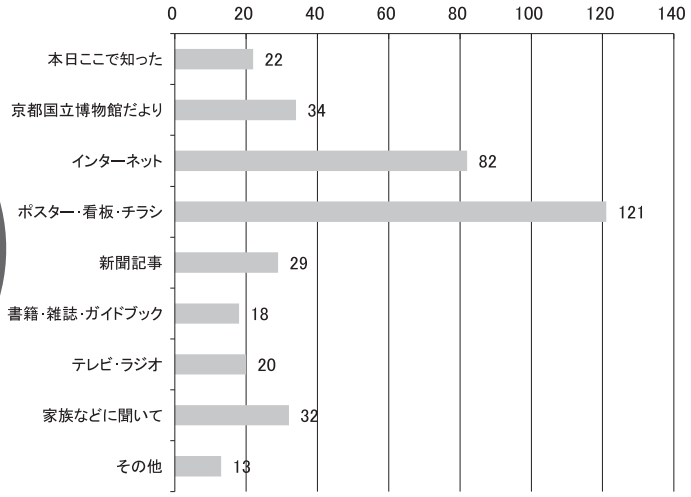
特別展覧会「東福寺」
アンケート集計結果

開催期間：令和 5年 10月 7日（土）～ 12月 3日（日）（50日間）
回答者数：274人（総来館者数 69,294人　アンケート回収率 0.4%）

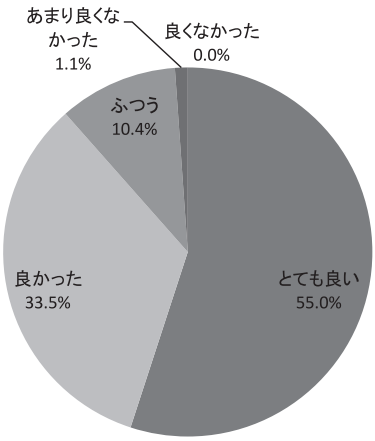
①年齢層



②認知経路(複数回答)



③展示に関する満足度



アンケート結果の上位合計
（とても良かった+良かった）
88.5%

④主な意見･感想
･照明がすばらしい。作品の美しさを引き立てている。
･休憩スペースを増やしてほしい
･解説が読みやすくわかりやすかった
･専門用語の解説がほしい

浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念 特別展「聖地 南山城 ―奈良と京都を結ぶ祈りの至宝―」

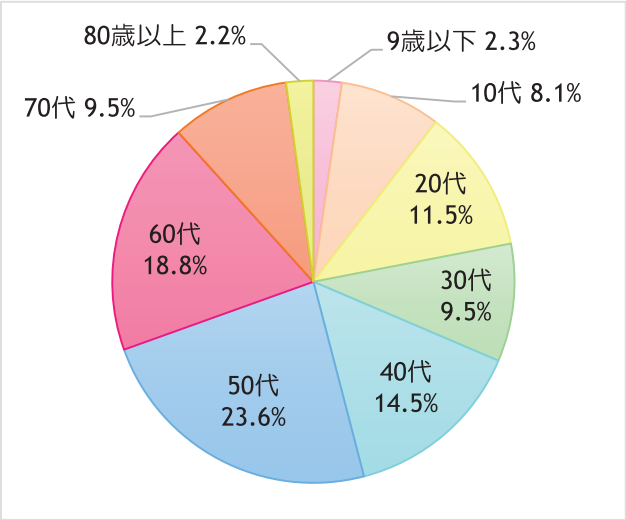
アンケート集計結果

開催期間：令和5年7月8日（土）～令和5年9月3日（日）（49日間）

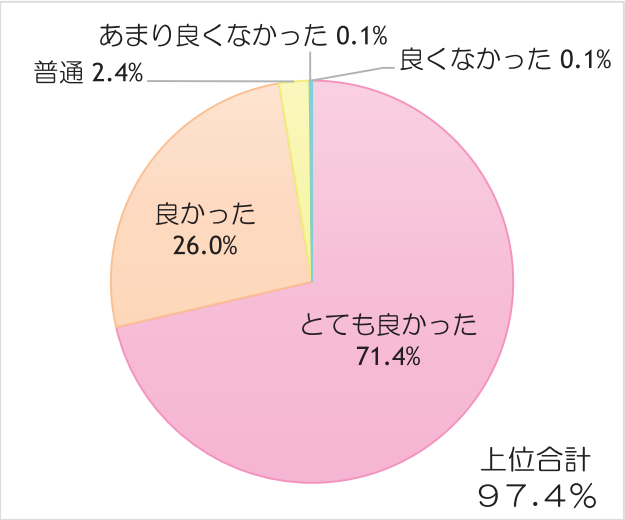
※台風7号接近に伴う臨時休館のため1日減

回答者数：2,119人　入場者数：58,559人　回収率：3.62%

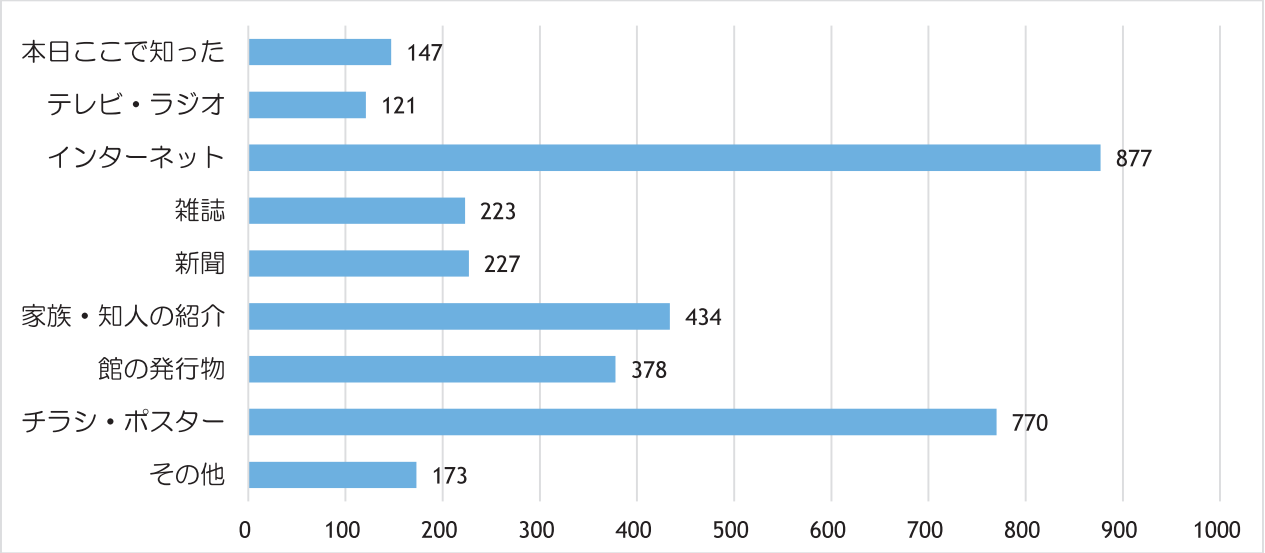
①年齢層



②展示に関する満足度



③認知経路（複数回答あり）



④主な意見・感想

- 展示が充実していてすばらしい展覧会だった
- 鑑賞ワークシートがわかりやすかった
- 南山城に興味をもった、理解が深まった
- 南山城のまとまった宝物を見れた
- 各お寺に行ってみたくなった
- 音声ガイドがよかった
- 展示室の途中にイスがあってよかった
- 九体阿弥陀全部見たい
- 解説キャプションの字をもう少し大きくしてほしい

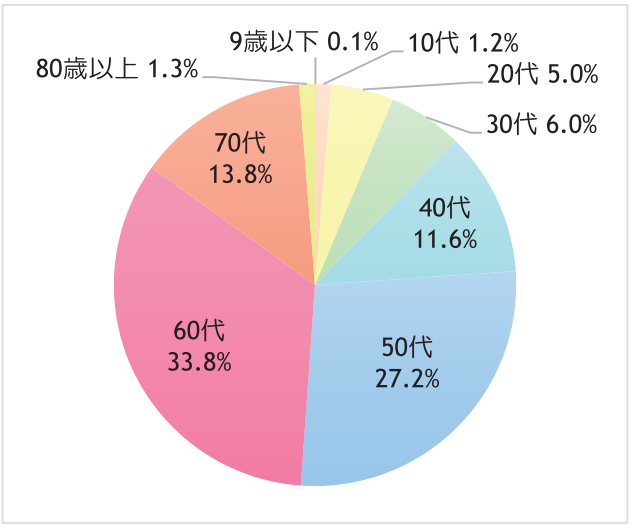
「第75回正倉院展」
アンケート集計結果

開催期間：令和5年10月28日（土）～令和5年11月13日（月）（17日間）

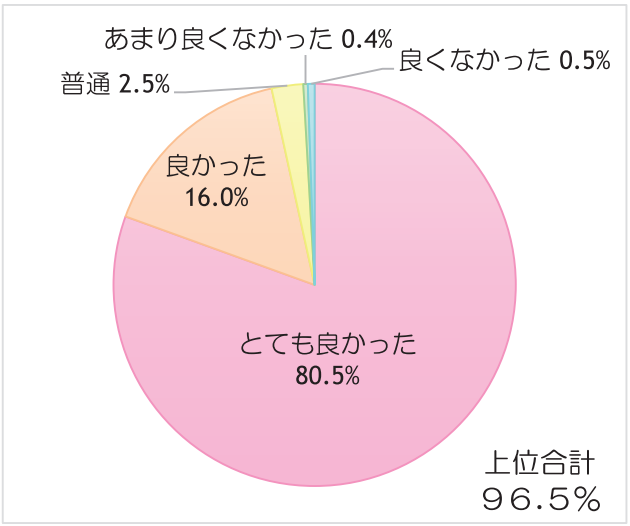
回答者数：2,763人　入場者数：115,193人　回収率：2.40%

（日本語：2,653人／英語：110人）

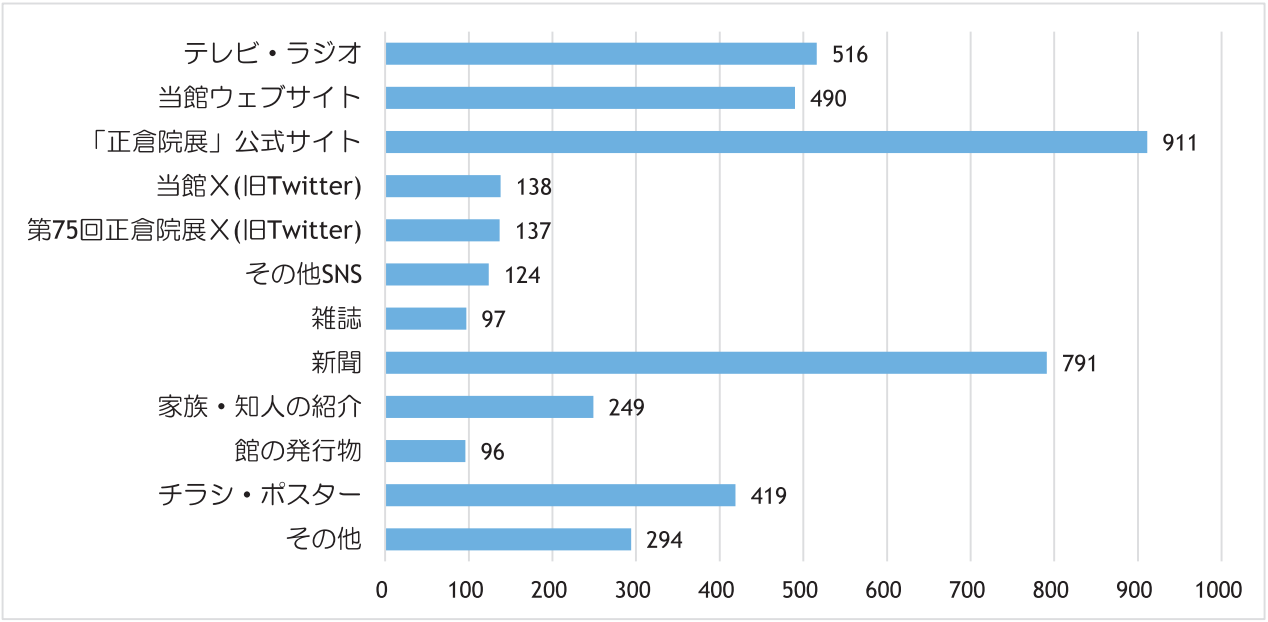
①年齢層



②展示に関する満足度



③認知経路（複数回答あり）



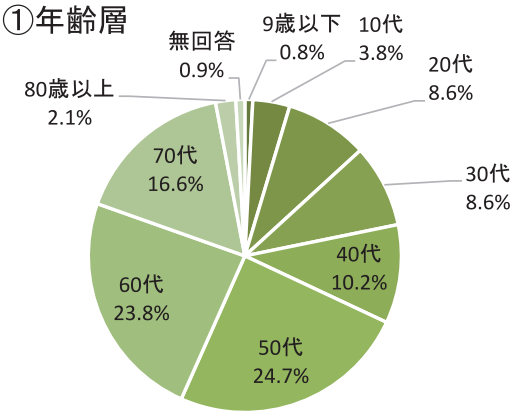
④主な意見・感想

- 展示物の保存状態の良さに驚かされた
- 日本の宝をこのような形で鑑賞できる事はとてもありがたい
- 昔の工芸技術が素晴らしかった
- 希少性が高く、デザインがとっても素敵なものが多い
- 今後も日時指定制にしてほしい
- 展示ケースが高くて見づらい
- 目玉が少ない
- グッズ売り場のレジが長蛇の列だった
- 当日券を発売してほしい
- 日時指定制なのに混雑しているのでもう少し人数制限をしても良いかもと思う

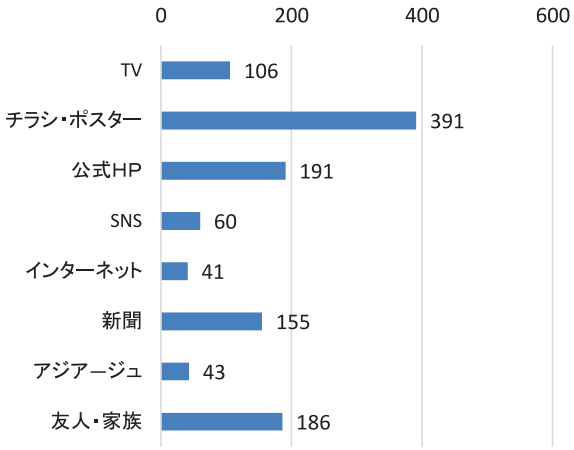
特別展「アール・ヌーヴォーのガラス　ーガレとドームの自然賛歌ー」アンケート集計結果

開催期間：令和5年4月18日(火)～6月11日(日)（49日間）
総回答者数：863人（総来館者数：49,485人　アンケート回収率：1.74%）

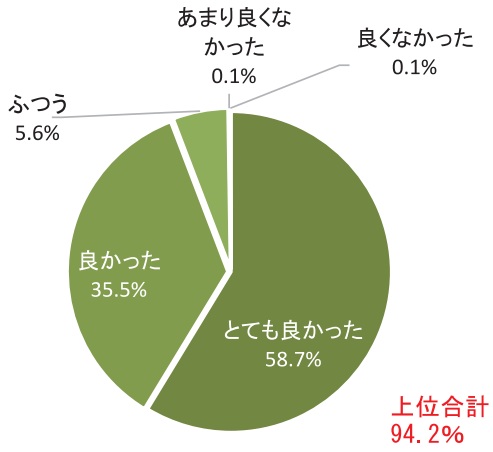
①年齢層



②認知経路(複数回答)



③展示に関する満足度



上位合計
94.2%

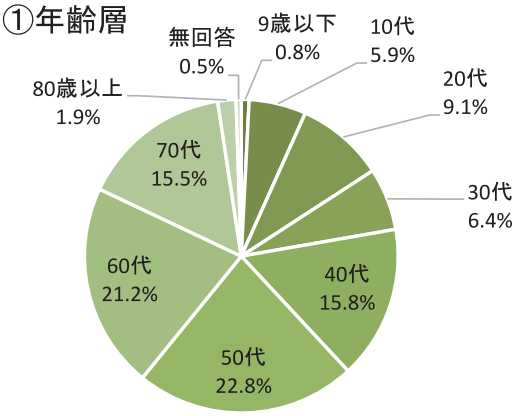
④主な意見・感想

・前後左右から見られ、撮影OK、近くにベンチ、素晴らしいレイアウトだと思いました。
・背面も見えるようにミラーを配置したり、美しく見えるよう反射が計算されたりしていて素敵でした。
・車椅子の方々の目線でも楽しめる展示品の高さで有難く感じました。
・展示品の美しさに時間を忘れてしまいました。
・1つ1つの作品をゆっくり見られる展示でとても楽しめた。
・ビデオ上映のTVの位置を高い所にして欲しかった。前の人の頭で見えません。

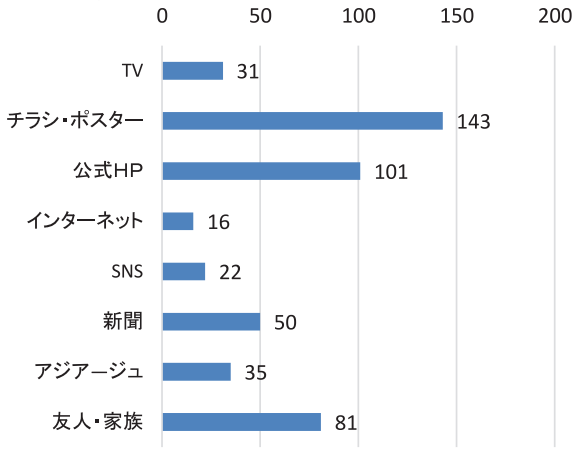
特別展「憧れの東洋陶磁ー大阪市立東洋陶磁美術館の至宝」アンケート集計結果

開催期間：令和5年7月11日(火)～9月3日(日)（48日間）
総回答者数：373人（総来館者数：20,851人　アンケート回収率：1.79%）

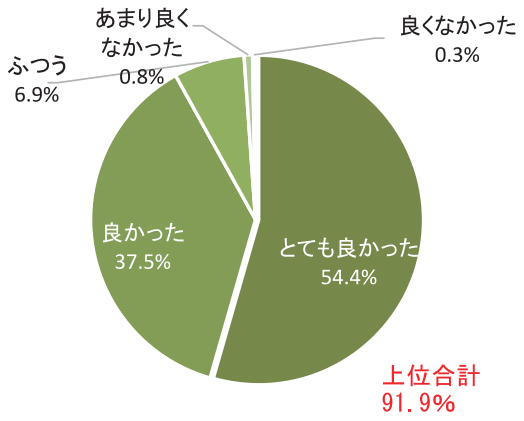
①年齢層



②認知経路(複数回答)



③展示に関する満足度



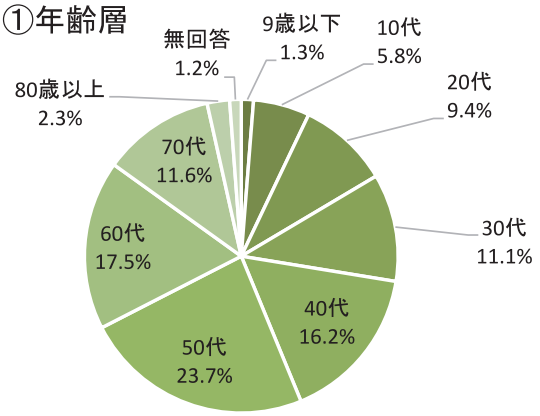
④主な意見・感想

・油滴天目が並んだ姿を見れたのは圧巻でした。
・8Kで、ふれる、まわせる茶碗、たいへんよかったです。
・解説が分かりやすく、作品と照らし合わせながら魅力が伝わった。
・展示品スペースがゆったりしていて、見やすかった。
・音声ガイドがほしかった。本当に来てよかった。

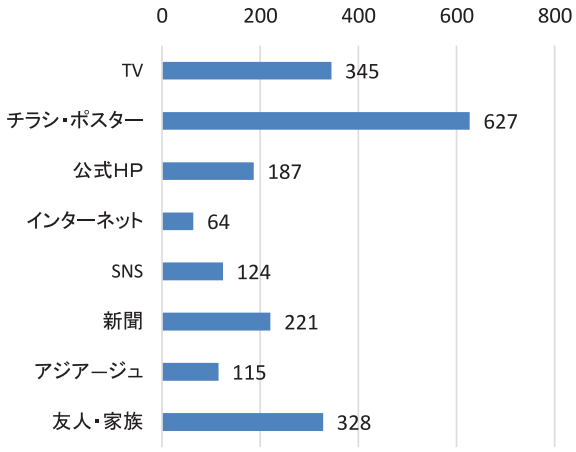
特別展「古代メキシコ ― マヤ、アステカ、テオティワカン」アンケート集計結果

開催期間：令和5年10月3日（火）～12月10日（日）（60日間）
総回答者数：1,512人（総来館者数：88,895人　アンケート回収率：1.7%）

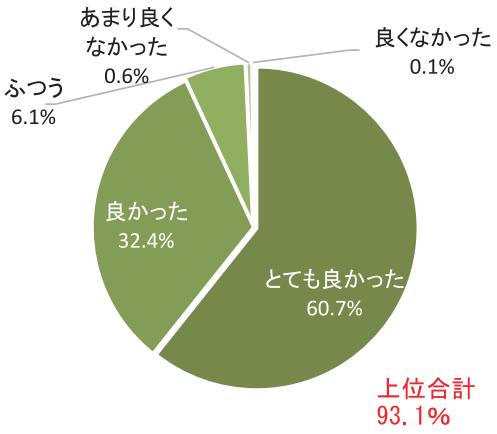
①年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



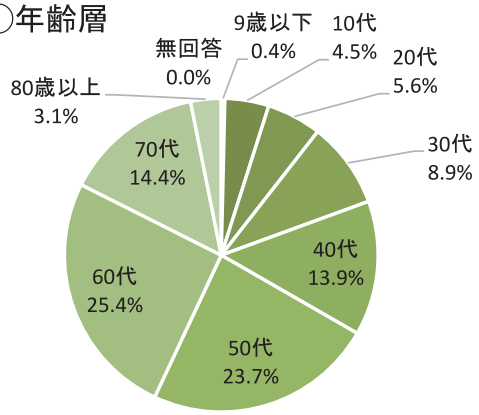
④主な意見・感想

・赤の女王が観ることができて良かった。大変貴重な体験になった。
・メキシコへ行ってみたいと思わせる、素敵な展示でした。
・死のディスクや赤の女王、背景のパネルや展示室の色など、演出も良く印象に残った。
・本物のサイズ感とか現地に行ったような感覚で見られて嬉しい。とっても良かったです!!
・どの文明にも生贄を奉げる人身供犠があったことにおどろきました。
・展示品の材質を説明文に加えて欲しい。

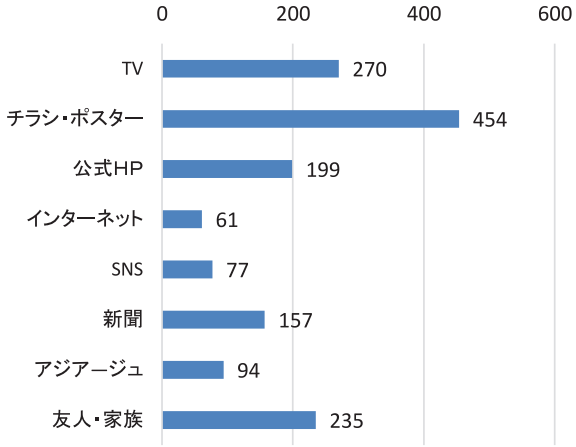
特別展「生誕270年　長沢芦雪 ― 若冲、応挙につづく天才画家 ―」アンケート集計結果

開催期間：令和6年2月6日(火)～3月31日(日)（48日間）
総回答者数：1,656人（総来館者数：83,080人　アンケート回収率：1.99%）

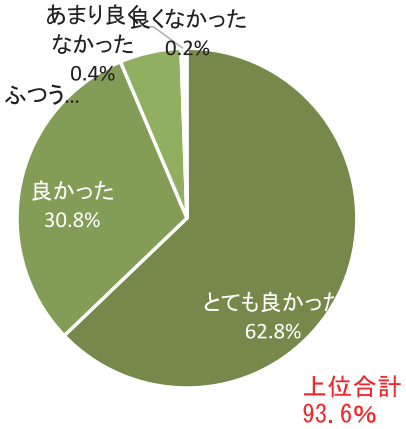
①年齢層



②認知経路(複数回答)



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

・龍虎図が迫力があって観に来てよかった。
・龍と虎は圧巻です。すごみの中にかわいらしさがあります。
・虎や犬がかわいらしくてとにかく楽しかった。解説文もガイドもわかりやすくてよかった。
・芦雪の作品だけでなく同時代に活躍した絵師の絵画も展示されていたので違いを楽しめることができました。
・解説文をガラス前面か文字を大きくしてほしい。後方から説明が読みづらい。